
教義と聖約

末日聖徒イエス・キリスト教会の

教義と聖約

預言者ジョセフ・スミスに
与えられた啓示
ならびにその継承者である
大管長たちに
与えられた啓示

目次

年代順	序文	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
x	v	
公式の宣言	章	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
393	1	

序

文

『教義と聖約』は、終わりの時に地上に神の王国を設立して治めるために与えられた、神の啓示と靈感による宣言を集めたものである。そのほとんどどの章は末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に於てられたものであるが、そのメッセージと警告、および勧告は全人類を益するものであつて、そこには、主イエス・キリストの聲に耳を傾けるようにとの全地のすべての人への招きが含まれている。主イエス・キリストは、人々のこの世における幸福と永遠の救いのために語っておられるのである。

この書に収められている啓示のほとんどは、末日聖徒イエス・キリスト教会の最初の預言者であり大管長であるジョセフ・スミス・ジュニアを通して与えられたものである。そのほかの啓示は、彼の継承者として大管長の職に就いた人々を通して発表された（教義と聖約第百三十五、百三十六、百三十八章の前書きと、公式の宣言一、二を参照）。

『教義と聖約』の書は、『聖書』『モルモン書』『高価な真珠』とともに、当教会の標準聖典の一つを成している。しかしながら、『教義と聖約』はほかの聖典とは趣を

異にする。これは昔の記録の翻訳ではなく、その起源が近代にあり、この時代に神の聖なる業を回復し、地上に神の王国を設立するために、選ばれた預言者たちを通して神から与えられたものだからである。これらの啓示からは、時満ちる神権時代に新たに語りかけられた主イエス・キリストの優しい、それでいて確固とした声が聞こえてくる。この声によつて開始された業は、主の再臨に備えるものであり、世界が始まつて以来のすべての聖なる預言者たちの言葉を成就し、それにかなうものである。

ジョセフ・スミス・ジュニアは、千八百五十二年十二月二十三日に、アメリカ合衆国のバーモント州ウインザー郡シャロンで生まれた。そして若いときに、家族とともにニューヨーク州西部の現在のマンチェスターに移り住んだ。彼が最初の示現を受けたのは、千八百二十年の春、十四歳で、そこに住んでいたときのことである。そのとき、彼は永遠の父なる神とその御子イエス・キリストの直接の訪れを受けた。彼はこの示現の中で、新約の時代に設立されて完全な福音を伝えたいイエス・キリストのまことの教会

が、もはや地上にないことを告げられた。その後も何度か神聖な現れがあり、彼は多くの天使から教えを受けた。そして、彼が地上でなすべき特別な業を神が備えておられること、また彼によってイエス・キリストの教会が地上に回復されることが明らかにされた。

やがてジョセフ・スミスは神の助けを得て、『モルモン書』を翻訳し、出版するに至った。その間、千八百二十九年五月に、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、パテスマのヨハネによってアロン神権に聖任され（教義と聖約第十三章を参照）、その後間もなく、昔の使徒ペテロとヤコブとヨハネによってメルキゼデク神権にも聖任された（教義と聖約第二十七章十二節を参照）。その後も聖任を受け、モーセ、エリヤ、エライアス、および昔の多くの預言者から神権の鍵を授けられた（教義と聖約第一百十章、百二十八章十八、二十一節を参照）。実際、これらの聖任によって、地上の人間に神の権能が回復されたのである。そして、預言者ジョセフ・スミスは天からの指示を受けて、千八百三十年四月六日に教会を組織した。このようにして、イエス・キリストのまことの教会が、福音を教え、救いの儀式を執行する権能を持つ一つの組織として、もう一度人々の間で働きをすることになったのである。

（教義と聖約第二十章と高価な真珠、ジョセフ・スミス―歴史第一章を参照）。

これらの神聖な啓示は、必要な折々に祈りへの答えとして受けたものであり、実在の人々の現実の状況に応じて与えられたものである。預言者と彼の同僚たちは神の導きを求めた。そして、これらの啓示は、彼らがその導きを受けたことを証明している。これらの啓示から、イエス・キリストの福音が回復され、明らかにされ、そして時満ちる神権時代が到来したことが分かるのである。ニューヨーク州とペンシルベニア州から、オハイオ州、ミズーリ州、イリノイ州を経て、ついにアメリカ西部の大盆地に至る教会の西方への移動、また近代にシオンを地上に築き上げようとした聖徒たちの力強い努力も、これらの啓示の中に示されている。

初めの幾つかの章は、『モルモン書』の翻訳と出版に関する事柄に関連したものである（教義と聖約第三、五、十、十七、十九章参照）。また、その後の幾つかの章は、靈感により『聖書』の翻訳を行っていた預言者ジョセフ・スミスの働きを反映したものである。この翻訳の間に、重要な教義を含む章の多くが与えられたのであった（例として、教義と聖約第三十七、四十五、七十三、七十六、七十

七、八十六、九十一、百三十二章を参照。これらの各章は、『聖書』の翻訳に直接何らかの関連を持つている。

これらの啓示の中では、次のような基本的な事柄について福音の教義が説かれ、明らかにされている。すなわち、神会の属性、人の起源、サタンの實在、死すべき生涯の目的、従順の必要性、悔い改めの必要性、聖なる御霊の働き、救いの必要の儀式と行い、地球の行く末、復活と裁きに続く人の将来の状態、婚姻関係が永遠に続くこと、家族の永遠性。さらに、ビシヨップと大管長会、十二使徒評議会、および七十人の召し、ならびにその他の管理の職と定員会の設置に伴い、教会の管理組織が次第に明らかになされたことも示されている。最後に、イエス・キリストについて、すなわち、イエス・キリストの神性、尊厳、完全、愛、贖いの力について述べられた証は、この書を全人類にとって非常に貴重なもの、また「教会にとって全地の富にも相当するもの」としている（教義と聖約第七十章の前書きを参照）。

啓示は当初ジョセフ・スミスの筆記者たちによって記録され、教会員は熱心に手書きの写しを互いに分かち合った。より永久的な記録を作成するために、筆記者たちは間もなくこれらの啓示を原稿記録簿に書き写した。教会

指導者たちはこれを用いて啓示を印刷する準備をした。

ジョセフと初期の聖徒たちは、その啓示を教会と同様に、生ける、力強い、啓示がさらに与えられることで洗練されていくものと考えていた。彼らはまた、啓示を書き出し出版の準備をする過程で、意図していない誤りが生じた可能性があることを理解していた。そのため、千八百三十一年の教会の大会で、ジョセフ・スミスは、「聖なる御霊によって見つけることができたなら、それらの誤りや間違いを正す」ように要請された。

啓示が検討され、修正された後、ミズーリ州の教会員は、*A Book of Commandments for the Government of the Church of Christ*（『キリストの教会の統治のための戒めの書』）と題する書物の印刷所を始めた。これには預言者が受けた初期の啓示の多くが含まれていた。しかしながら、啓示を出版するというこの最初の試みは打ち切られた。千八百三十三年七月二十日に、暴徒がジャクソン郡にある聖徒の印刷所を破壊したからである。

ミズーリ州の印刷所が破壊されたことを聞き、ジョセフ・スミスとほかの教会指導者たちは、オハイオ州カーランドで啓示を出版する準備を始めた。ジョセフ・スミスは、改めて誤りを修正し、表現を明確にし、教会の

教義と組織の発展が分かるように、幾つかの啓示の本文の編集を監督し、千八百三十五年に *Doctrine and Covenants of the Church of the Latter Day Saints* (『末日聖徒の教会の教義と聖約』) としてそれを出版する準備をした。ジョセフ・スミスは『教義と聖約』の別の版の出版を認可したが、それは千八百四十四年の預言者の殉教からわずか数か月後に出版された。

初期の末日聖徒は、啓示を尊び、それを神からのメッセージと考えていた。千八百三十一年末のある時、教会の数人の長老たちは、これらの啓示は真実であると主が自分たちに証を述べてくださったと厳肅に証した。この証は、十二使徒の証として千八百三十五年版の『教義と聖約』の一部として刊行された。

『教義と聖約』の書が真実であるという 十二使徒の証

主の戒めの書についての証人の証。これらの戒めは、主がジョセフ・スミス・ジュニアを通して主の教会に与えられたものであり、ジョセフ・スミス・ジュニアはこの目的のために教会員の声によって任命された者である。

したがって、わたしたちは、これらの戒めが神から靈感によつて与えられ、すべての人にとつて有益であり、まことに真実であると、主がわたしたちに注がれた聖霊を通してわたしたちに証されたことを、全人類、すなわち地の面のすべての造られたものに進んで証したいと思う。

主をわたしたちの助け主として、わたしたちはこの証を世の人々に伝えるものである。わたしたちが世の人々に証を述べるといふこの特権にあずかることを許されているのは、父なる神とその御子イエス・キリストの恵みによるものである。わたしたちはこの特権を大いに喜び、人の子らがこれによつて益を得るようにと常に主に祈っている。

十二使徒の名前は次のとおりである。

トーマス・B・マーシユ	デビッド・W・パッテン
ブリガム・ヤング	ヒーバー・C・キンボール
オーソン・ハイド	ウイリアム・E・マクレリン
パーリー・P・プラット	ルーク・S・ジョンソン
ウイリアム・スミス	オーソン・プラット
ジョン・F・ポインソン	ライマン・E・ジョンソン

『教義と聖約』のその後の版には、さらに別の啓示やそ

のほかの記録事項が、与えられたままに、また教会の所管の会議や大会で受け入れられたままに追加されてきた。千八百七十六年版は、ブリガム・ヤングの指示の下でオーソン・プラット長老によつて準備され、啓示が年代順に配置され、歴史上の説明を含む新しい前書きが加えられたものである。

また、千八百三十五年版以来、*Lectures on Faith* (「信仰に関する講話」と呼ばれる七課から成る神学上の一連の教えが掲載されていた。これは、オハイオ州カートランドにおける「預言者の塾」で使用するために、千八百三十四年から千八百三十五年にかけて準備されたものである。これらの講話は教義と教えの点では有益であるが、教会全体への啓示として与えられたものではなく、また受け入れの提示もされていなかったため、千九百二十一年版以降、『教義と聖約』から省かれていく。

千九百八十一年英語版の『教義と聖約』に初めて三つの文書が加えられた。死者のための救いの基本の教えについて述べた第三百三十七章と第三百三十八章、ならびに教会のすべてのふさわしい男性会員は人種や肌の色にかかわらずな

く、神権への聖任を受けることができるということを発表した公式の宣言二がそれである。

『教義と聖約』の版が新たにされる度に、過去の誤りが訂正され、新しい情報が追加された。特に章の前書きの歴史に関わる部分が訂正されてきた。この版では、さらに日付と地名が修正され、またそのほかの訂正が行われた。これらの変更は、最も正確な歴史情報に合致させて行われたものである。この最新版のそのほかの特徴としては、啓示が与えられた主要な地点を示す地図が改訂されたこと、さらに教会の史跡の写真、相互参照聖句、章の前書き、および主題に関する概要が改善されたことにある。こうした変更はすべて、読者が『教義と聖約』の中に述べられている主のメッセージを理解して喜びを得られるようにすることを目的に加えられたものである。章の前書きの情報は、教会歴史草稿と既刊の *History of the Church* (『教会歴史』) (章の前書きでは両方をまとめてジョセフ・スミスの歴史と呼んでいる)、ならびに *Joseph Smith Papers* (『ジョセフ・スミス文書』) から取られたものである。

年代順に見た目次

年月	場所	章	
1823年 9月	ニューヨーク州マンチェスター	2	
1828年 7月	ペンシルベニア州ハーモニー	3	
1829年	2月	4	
	3月	5	
	4月	6, 7, 8, 9, 10	
	5月	11, 12, 13*	
	6月	14, 15, 16, 17, 18	
	夏	19	
1830年	ニューヨーク州ウェイン郡	74	
	4月	20*, 21	
	4月	22, 23	
	7月	24, 25, 26	
	8月	27	
	9月	28, 29, 30, 31	
	10月	32	
	10月	33	
	11月	34	
	12月	35*, 36*, 37*	
	1831年	1月	38, 39, 40
		2月	41, 42, 43, 44
3月		45, 46, 47, 48	
5月		49, 50	
5月		51	
6月		52, 53, 54, 55, 56	
7月		57	
8月		58, 59	
8月		60	
8月		61	
8月		62	
8月		63	
9月		64	
10月		65, 66	
11月		1, 67, 68, 69, 70, 133	
12月		71	
12月		72	
1832年		1月	73
	1月	75	
	2月	76	
	3月	77, 79, 80, 81	
	3月	78	
	4月	82, 83	
	8月	99	

*その場所、またはその付近

年月	場所	章
	9月 オハイオ州カートランド	84
	11月 オハイオ州カートランド	85
	12月 オハイオ州カートランド	86, 87*, 88
1833年	2月 オハイオ州カートランド	89
	3月 オハイオ州カートランド	90, 91, 92
	5月 オハイオ州カートランド	93
	6月 オハイオ州カートランド	95, 96
	8月 オハイオ州カートランド	94, 97, 98
	10月 ニューヨーク州ペリーズバーグ	100
	12月 オハイオ州カートランド	101
1834年	2月 オハイオ州カートランド	102, 103
	4月 オハイオ州カートランド	104*
	6月 ミズーリ州フィッシング川	105
	11月 オハイオ州カートランド	106
1835年	4月 オハイオ州カートランド	107
	8月 オハイオ州カートランド	134
	12月 オハイオ州カートランド	108
1836年	1月 オハイオ州カートランド	137
	3月 オハイオ州カートランド	109
	4月 オハイオ州カートランド	110
	8月 マサチューセッツ州セーレム	111
1837年	7月 オハイオ州カートランド	112
1838年	3月 ミズーリ州ファーウエスト	113*
	4月 ミズーリ州ファーウエスト	114, 115
	5月 ミズーリ州デイベーズ郡スプリングヒル	116
	7月 ミズーリ州ファーウエスト	117, 118, 119, 120
1839年	3月 ミズーリ州クレイ郡リバティ어의監獄	121, 122, 123
1841年	1月 イリノイ州ノーブー	124
	3月 イリノイ州ノーブー	125
	7月 イリノイ州ノーブー	126
1842年	9月 イリノイ州ノーブー	127, 128
1843年	2月 イリノイ州ノーブー	129
	4月 イリノイ州レイマス	130
	5月 イリノイ州レイマス	131
	7月 イリノイ州ノーブー	132
1844年	6月 イリノイ州ノーブー	135
1847年	1月 ウィンタークォーターズ (現ネブラスカ州)	136
1890年	10月 ユタ準州ソルトレーク・シティー	公式の宣言一
1918年	10月 ユタ州ソルトレーク・シティー	138
1978年	6月 ユタ州ソルトレーク・シティー	公式の宣言二

*その場所、またはその付近

教義と聖約

第1章

千八百三十一年十一月一日、オハイオ州ハイラムで開かれた教会の長老たちの特別大会中に、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。このときより前に主から多くの啓示が与えられており、これらの啓示を編集して書物として出版することが、この大会で決議された主要な議題の一つであった。この章は、この神権時代に与えられた教義、聖約、および戒めについての主のししがきとなっている。

1-7 警告の声がすべての民に及ぶ。8-16 再臨に先立つ背教と悪事。17-23 主の真理と力を地上に回復するために、ジョセフ・スミスが召される。24-33 『モルモン書』が出され、まことの教会が設立される。34-36 平和が地から取り去られる。37-39 これらの戒めを調べなさい。

1 聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。高

い所に住み、その目がすべての人のうえにある者の声は言う。まことにわたしは言う。遠くの民よ、聴きなさい。海の島々にいる者よ、ともに耳を傾けなさい。

2 まことに、主の声はすべての人に及び、逃れる者は一人もない。目として見ないものはなく、耳として聞かないものはなく、心として貫かれな

3 また、背く者は深い悲しみに刺し貫かれる。彼らの罪悪が屋根の上で語られ、彼らの隠れた行いが暴かれるからである。

4 また、警告の声は、この終わりの時にわたしが選んだ弟子たちの口を通して、すべての民に及ぶ。5 彼らは出て行き、彼らをとどめる者はいない。主なるわたしが彼らに命じたからである。

6 見よ、これはわたしの権威であり、わたしの僕たちの権威であり、わたしの戒めの書へのししがきである。おお、地に住む者よ、これらの戒めは、あなたがたに知らせるためにわたしが僕たちに与えたものである。

7 それゆえ、おお、民よ、畏れおののきなさい。

教義と聖約

第1章

- 1 ① 7・27・3、
② 20・27・3、
③ 教義20・1、
④ GS「イエス・キリストの教会」
- 2 ① 教義38・7-8、
② 申命32・1
③ GS「神、神会」
- 3 ① 教義133・16
② ビリ2・9-11
③ GS「心」
- 3 ① GS「背く」
- 2 ルカ8・17、
2ニフ27・11
② エゼ5・8
③ 教義63・37
- 4 ① エゼ3・17-21、
② GS「警告」
- ① GS「終わりの時、末日」
- ② GS「イエス・キリストの権威」
- ③ ① 教義72・21
② 申命5・29、
③ 伝道12・13

主なるわたしがこれらの中で告げたことは成就するからである。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。地に住む者にこれらのおとずれを伝えるために出て行く者には、信じない者や背く者を地上でも天でも結び固める力が与えられる。

9 まことに、神の激しい怒りが限りなく悪人のうえに注がれる日のために、彼らを結び固めるのである。

10 主が来てすべての人にその行いに応じて報いを与え、またすべての人をその同胞を量ったばかりで量る日のために。

11 それゆえ、主の声は、聞こうとするすべての人が聞けるように地の果てにまで及ぶ。

12 あなたがたは備えなさい。来るべきことのために備えなさい。主は近いからである。

13 主の怒りは燃え、主の剣は天において浸されている。そして、それは地に住む者のうえに下る。

14 主の腕が現される。そして、主の声もその僕たちの声も聞こうとせず、預言者たちや使徒たちの言葉も心に留めようとしない者たちが、民の中から

ら絶たれる日が来る。

15 彼らはわたしの定めから離れ去り、わたしの永遠の聖約を破った。

16 彼らは主の義を打ち立てるために主を求めようとせず、すべての人が自分の道を、自分の神の像を求めて歩む。その像は俗世の形であり、その本質は偶像のそれである。それは古びて、バビロン、まことに大いなるバビロンにおいて滅び、バビロンは倒れる。

17 主なるわたしは、地に住む者に下る災いを知っているので、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアを訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。

18 また、ほかの者たちにも戒めを与えて、彼らがこれらのことを世に宣言するようにした。これはすべて、預言者たちによって書き記されたことが成就するためである。

19 すなわち、世の弱い者たちが出て来て、力ある強い者たちを打ち破る。それは、人がその同胞に忠告することや、肉の腕に頼ることのないようにするためであり、

20 すべての人が主なる神、すなわち世の救い主の名

7 ② 教義1:38
 8 ① GS「再く」
 ② GS「結び固め」
 ③ 黙示19:15-16、
 9 ① 二ツ22:16、17
 ② モサ16:2、
 10 ジーマター1:31、55
 ① GS「イエス・キリス
 トの再臨」
 ② 箴言24:12、
 アル9:28、41:2-5、
 教義6:33、
 教義7:4、
 教義56:19、GS「イエ
 ス・キリストに裁き」
 ④ マク7:2
 13 ① 教義63:6
 ② エゼ21:3、
 教義35:14
 14 ① イザ53:1
 ② 二ツ79:31、
 モサ26:28
 ③ 教義11:2
 ④ 使徒3:23、
 アル50:20、
 教義50:8、56:3
 15 ① GS「定め」
 ② ヨシ23:16、
 イザ24:5
 ③ GS「新しくかつ水
 遠の聖約」
 ④ GS「再教、背信」
 16 ① マク6:33
 ② イザ53:6
 ③ 教義82:6
 ④ 出エ20:4、
 3ニツ21:17、
 GS「偶像礼拝」
 ⑤ イザ50:9
 ⑥ 教義64:24、133:14
 GS「バビロン、バベル」
 ⑦ 物欲
 17 ① イザ24:1-6

よって語るため、

21 信仰もまた地に増すため、

22 わたしの永遠の聖約が確立されるため、

23 わたしの完全な福音が弱い者や純朴な者によって世界の果てまで、また王や統治者の前に宣べられるためである。

24 見よ、わたしは神であり、わたしがこれを語った。これらの戒めはわたしから出ており、わたしの僕たちに、彼らの弱さのあるままに、彼らの言葉に倣って与えられた。それは、彼らが理解できるようにするためである。

25 また、彼らが誤りを犯したならば、それを知らされるため、

26 知恵を求めたならば、教えを授けられるため、

27 罪を犯したならば、懲らしめを受けて、悔い改められるようにするため、

28 謙遜であれば、強くされ、高い所から祝福を受け、また折々知識を与えられるようにするためである。

29 また、まことにわたしの僕シヨセフ・スミス・ジュニアが、ニーファイ人の記録を受けた後、神の

憐れみによって、神の力により「モルモン書」を翻訳する力を持つるようになるためであった。

30 また、これらの戒めを与えられた人々もこの教会の基礎を据える力と、暗黒から、また暗闇から、全地の面に唯一まことの生ける教会をもたらす力を持つるようになるためであった。教会について言えば、主なるわたしはこれを心から喜んで、一人一人を指すのではない。

31 主なるわたしは、ほんのわずかでも罪を見過ごしにすることはないからである。

32 それでも、悔い改めて主の戒めを行う者は赦されるであろう。

33 また、悔い改めない者は、すでに受けている光さえ取り去られる。わたしの御霊はいつでも人を励ますわけではないからである、と万軍の主は言う。

34 さらにまた、おお、地に住む者よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。主なるわたしは、これらのことを進んですべての肉なるものに知らせようと思う。

35 わたしは人を偏り見ない者であり、その日が速

19 ① 使徒4:13、1コリ1:27、教義35:13、133:58-59、GS「柔和」

20 ① 2コリ28:31、GS「信頼」

21 ① GS「証する」

22 ① 教義39:11、GS「新しくかつ永遠の聖約」聖約「契約」

23 ① GS「福音」

24 ① 1コリ1:26-29、GS「伝道活動」

25 ① 2コリ27:28、モロ10:27-28、2コリ31:3、エテ12:39、GS「教義50:12、50:12」

26 ① 新ヤコ1:5、教義42:68、GS「知恵」

27 ① GS「怒らしめ」

28 ① GS「悔い改め」

29 ① GS「謙遜」

30 ① GS「知識」

31 ① GS「福音の回復」

32 ① GS「モルモン書」

33 ① GS「知恵」

34 ① GS「暗闇（霊的な）」

35 ① GS「まことの教会のしるし」

④ 教義1:4-5、17:18

⑤ 教義38:10、31:アル45:16、17

⑥ 教義24:2、GS「罪」

⑦ 教義58:42-43、GS「赦し」

⑧ 1モサ26:32、2アル24:30、30、教義60:2-3、GS「聖霊」

やかに来ることをすべての人^{ひと}が知るよう^{よう}にと望^{のぞ}んで
 いるからである。平和^{へい}が地^ちから取り去^とられ、悪魔^{あくま}
 が自分の領域^{りやういき}を支配^しする力^{ちから}を持つ時^{とき}はまだ来^きてい
 ないが、それはもう近い。

36 そして、主^{しゅ}も聖徒^{せいと}たちを支配^しする力^{ちから}を持^もち、彼^{かれ}
 らの中^{なか}で治^{おさ}め、またイドマヤすなわち世^よを裁^さく
 ために降^{くだ}つて来る。

37 これらの戒め^{いまいし}を調^{しら}べなさい。これらは真実^{しんじつ}であ
 り、確^{たしか}かであつて、これらの中^{なか}にある預言^{よげん}と約束^{やくそく}
 はすべて成就^{じゆうじゆ}するからである。

38 主^{しゅ}なるわたしが語^{かた}つたことは、わたしが語^{かた}つたので
 あつて、わたしは言^いひ逃^にげをしない。たとえ天地^{てんち}が過^す
 ぎ去^さつても、わたしの言葉^{ことば}は過^すぎ去^さることがなく、
 すべて成就^{じゆうじゆ}する。わたし自身^{じしん}の声^{こゑ}によろうと、わ
 たしの僕^{しもべ}たちの声^{こゑ}によろうと、それは同じ^{おなじ}である。
 39 見^みよ、見^みよ、主^{しゅ}は神^{かみ}であり、御靈^{おんたま}は証^{あかし}する。そ
 して、その証^{あかし}は真実^{しんじつ}であり、真理^{まこと}はとこしえにい
 つまでも変^かわらない。アーメン。

第 2 章

千八百二十三年九月二十一日の夜、預言者^{よげんしや}ジョセフ・

スミスがニューヨーク州^{ニューヨーク州}マンチエスターの父^{ちち}の家に住^す
 っていたときに受^うけた、天使^{てんし}モロナイの言葉^{ことば}に関する^{かん}ジョ
 セフ・スミスの歴史^{れきし}からの抜粋^{はつすい}。モロナイは、現在^{げんざい}「モ
 ルモン書^{しよ}」として世^よに出^いだされている記録^{きらく}を作^{つく}つた歴代^{れきだい}の
 歴史^{れきし}家^かの中^{なか}の最後^{さいご}の人物^{じんぶつ}である（マラキ書^{マラキ書}第四章^{しやう}五・六
 節^{せつ}と比較^{ひかく}。本書^{ほんしよ}第二十七章^{しやう}九節^{せつ}、第一百十章^{しやう}十三・十六
 節^{せつ}、第二百二十八章^{しやう}十八節^{せつ}とも比較^{ひかく}）。

1 エリヤが神権^{しんけん}を現^{あわ}す。 2-3 先祖^{せんぞ}の約束^{やくそく}が子孫^{しそん}の心^{こゝろ}
 に植^うえられる。

1 見^みよ、主^{しゅ}の大きいなる恐^{おそ}るべき日^ひが来^くる前に、わ
 たしは預言者^{よげんしや}エリヤの手^てによつてあなたがたに神^{しん}
 権^{けん}を現^{あわ}そう。
 2 彼は先祖^{せんぞ}に与^{あた}えられた約束^{やくそく}を子孫^{しそん}の心^{こゝろ}に植^うえ、
 子孫^{しそん}の心^{こゝろ}はその先祖^{せんぞ}に向^むかうであらう。
 3 そうでなければ、主^{しゅ}の来臨^{らいりん}の時^{とき}に、全地^{ぜんち}はことごとく
 荒廢^{こうはい}するであらう。

第 3 章

千八百二十八年七月、ペンシルベニア州^{ペンシルベニア州}ハーマニーに

33 ④創世6・3、2ニフ
 26・11、モル5・16、
 エテ2・18、モロ9・4
 34 ①マテ25・19、9
 ②教義1・2、42、58
 35 ①申命10・17、
 使徒10・34、モロ
 8・12、教義38、
 ②GS「終わりの時、末日
 ③教義87・1-2、GS
 「時のしるし」平安、
 平和」
 36 ④GS「悪魔」
 ①GS「聖徒」
 ②ゼカ2・10-11、
 教義29・11、84・118-119
 ③GS「イエスキリス
 トンキリストによる福
 千年の統治」
 ④GS「世」
 ⑤GS「裁き」
 37 ①GS「聖文」
 ②教義58・31、62・6、
 82・10
 38 ①列下10・10、マテ
 ②教義18・25、2ニフ
 9・16、24、35、マテ
 ③申命18・64、
 ④申命18・18、
 ⑤教義18・33、38、21・5、
 教義18・33、38、21・5、
 ⑥GS「預言者」
 ⑦GS「權威、権限、
 権能」
 ⑧GS「支持、教會指導
 者の」
 39 ①1ヨハ5・6、
 教義20・27、42、17
 ②GS「真理」
 第2章
 1 ①教義34・6-9、
 43・17、26

おいて、預言者ジヨセフ・スミスに与えられた啓示。「モルモン書」の最初の部分はリーハイ書と呼ばれたが、この啓示は、それから翻訳された百十六ページの原稿の紛失に関連して与えられたものである。これより以前、預言者はこの原稿を自己の保管よりマーティン・ハリスの保管に移すことを心ならずも許した。このマーティン・ハリスは、「モルモン書」の翻訳で短期間筆記者を務めた人物である。この啓示はウリムとトンニムによって与えられた（本書第十章を参照）。

1-4 主の道は一つの永遠の環である。5-15 ジョセフ・スミスは悔い改めなければならぬ。そうしなければ、翻訳の賜物を失う。16-20 リーハイの子孫を救うために「モルモン書」が出る。

1 神の業と計画と目的がくじかれることはあり得ず、またそれらが無に帰することもあり得ない。
 2 神は曲がった道を歩まず、右にも左にも曲がらず、また述べたことからそれることはない。それゆえ、神の道はまっすぐであり、その道は一つの永遠の環である。

3 覚えておきなさい。くじかれるのは神の業ではなく、人間の業であることを覚えておきなさい。

4 たとえある人が多くの啓示を受け、多くの力ある業を行う力を持つとしても、もし自分の力を自慢し、神の勧告を無視して、自分の思いと肉の欲望が命じることに従うならば、彼は必ず落ちて、公正な神の報復を自分に招くであろう。

5 見よ、あなたはこれらのものを託された。しかし、あなたに与えられた戒めは何と厳しかったことか。また、戒めに背かないという条件であなたに与えられた約束も思い出しなさい。

6 また見よ、あなたは何としばしば神の戒めと律法に背き、人々の説き伏せに乗ってきたことか。

7 見よ、あなたは人を神よりも恐れてはならなかった。たとえ人々が神の勧告を無視し、神の言葉を軽んじてても、

8 それでも、あなたは忠実でなければならなかった。そうすれば、神はその腕を伸べて、敵対する者の放つすべての火の矢からあなたを助けたであろう。また、苦難のときには、いつもあなたとともにいたであろう。

1 ② マラ4:5-6、
 3ニフ25:5-6、
 教義110・1315・128・17、
 ジー歴史1・3839、
 GS「エリヤ」神権の鍵」
 2 ① 教義27・9、
 98・1617、
 ② GS「死者の救い」
 「結び固め」

第3章
 1 ① 詩篇8・3-9、
 教義10・43、
 2 ① アル7・20、
 GS「神、神会」
 ② ① ニフ10・18-19、
 教義35・1
 ① 使徒5・38-39、
 モル8・22、教義10・43
 4 ① 教義84・73、
 GS「高慢」
 ② ヤコ4・10、
 アル37・37、
 GS「戒め(神の)」
 GS「勸告、勧め」

③ GS「現世的」
 ④ GS「報復」
 ⑤ GS「報復」
 6 ① 教義5・21、
 ジー歴史45・29、2829
 ② ① 詩篇27・1、ルカ
 9・26、教義129・9、
 GS「畏れ、恐れ」
 GS「勇敢、勇気」
 「勇敢、勇気」
 ① レビ26:42-43、
 1ニフ19:7、
 ヤコ4・810、
 ① GS「悪魔」
 ② エペ6・16、
 1ニフ15・24、
 教義27・17、
 ③ アル38・5

9 見よ、あなたはジョセフである。あなたは主の業を行うために選ばれた。しかし、背きのゆえに、あなたは用心しなければ落ちるであろう。

10 しかし、神は憐れみ深いというのを覚えておきなさい。それゆえ、あなたが行ったことで、わたしがあなたに与えた戒めに反する行いを悔い改めなさい。そうすれば、あなたはまた選ばれた者であつて、再び業に召される。

11 こうしなければ、あなたは見放されてほかの人々と同様になり、もう賜物を持つことはなくなるであろう。

12 また、あなたは、神から与えられた眼力と力によつて翻訳したものを引き渡したとき、悪人の手に神聖なものを引き渡したのである。

13 彼は神の勧告を無視し、神の前で交わした最も神聖な約束を破り、自分の分別に頼り、自分の知恵を自慢した。

14 この理由で、あなたはしばらくの間特権を失うことになった。

15 導きを与える者の勧告が踏みにじられるのを初めから許したからである。

16 それでも、わたしの業は進み行く。ユダヤ人の証によつて救い主のことが世に知られるようになったが、まさにそのように、救い主のことがわたしの民にも知られるようになるであろう。

17 すなわち、ニーファイ人と、ヤコブ人と、ヨセフ人と、ゾーラム人に、彼らの先祖の証によつて知られるようになるであろう。

18 また、この証はレーマン人と、レムエル人と、イシマエル人にも知られるようになるであろう。彼らは先祖の罪惡のゆえに不信仰に陥つた者たちであり、彼らの先祖は主から許されて、同胞であるニーファイ人をその罪惡と忌まわしい行いのゆえに滅ぼした者たちである。

19 そして、まさしくこの目的のために、すなわち、主がその民に与えた約束が果たされるために、これらの記録が載せられている版は保存されているのである。

20 また、レーマン人が彼らの先祖についての知識を得、主の約束を知り、そして福音を信じてイエス・キリストの功徳に頼り、イエス・キリストの名を信じる信仰によつて栄光を得、また悔い改める

12 ① 教義1:29、5:4
 13 ① GS「高慢」
 14 ① 主のこと
 15 ① 1ニフ13:23-25、
 16 ② 2ニフ29:4、6
 17 ② GS「救い主」
 18 ③ モサ3:20
 19 ① 2ニフ5:8-9
 20 ② GS「エルエン書」
 ② 2ニフ5:14、
 ③ エノ1:13、18、
 ④ 2ニフ26:15-16
 ⑤ 1モル8:2-3
 ⑥ 3ニフ9:3、5
 ⑦ 1ニフ9:14-15、
 ⑧ 教義10:46、50
 ⑨ GS「金版」
 ⑩ ① 2ニフ30:3-6、
 ⑪ 教義28:8、49-24
 ⑫ ② モル3:19、21
 ⑬ ③ 2ニフ31:19、
 ⑭ モロ6:4
 ⑮ モロ7:26、38

ことによつて救われるためである。アーメン。

第 4 章

千八百二十九年二月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して彼の父ジョセフ・スミス・シニアに与えられた啓示。

1-4 主の務めに携わる者は、雄々しく奉仕することによつて救われる。5-6 神聖な特質を持つ者には、その務めに携わる資格がある。7 人は神に関することを求めなければならない。

1 さて見よ、驚くべき業が、まさに人の子らの中に現れようとしている。
2 それゆえ、おお、神の務めに立とうとする人々よ、終わりの日に神の前に罪のない状態で立てるように、あなたがたの心と、勢力と、思いと、力を尽くして神に仕えなさい。
3 あなたがたは神に仕えたいと望むならば、その業に召されている。
4 見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待つてい

るからである。見よ、勢力を尽くして鎌を入れる者は、滅びることなく自分に救いをもたらすように蓄えるのである。

5 神の栄光にひたすら目を向けて、信仰、希望、慈愛、愛を持つ者には、その業に携わる資格がある。

6 信仰、徳、知識、節制、忍耐、兄弟愛、信心、慈愛、謙遜、勤勉を思い起こしなさい。

7 求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。アーメン。

第 5 章

千八百二十九年三月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、マーティン・ハリスの求めに応じて預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-10 この時代の人々は、ジョセフ・スミスを通して主の言葉を受ける。11-18 三人の証人が「モルモン書」について証する。19-20 前の時代における同様に、主の言葉は実証される。21-35 マーティン・ハリスは悔い

第 4 章

1 ①イザ29・14、
1ニフ14・7、22・8、
教義6・1・18、44、
GS「福音の回復」
2 ①GS「奉仕」
②①ヨ1・18、
ヤコ1・19
3 ①コ27・20
③GS「思い、心」
④「心」
④ヨ1・22、5、
サ上7・3、3、
教義20・19、76、5
3 ①教義11・4、15、
36・5、63、57、
③GS「召し、神の召し」
4 ①ヨハ4・35、
アル26・31、5、
教義11・3、33、3、
②GS「刈り入れ」
①テモ6・19
5 ①GS「栄光」
②詩篇141・8、
マク6・22、
モル8・15
6 ①GS「信仰」
④GS「希望」
④GS「慈愛」
⑥GS「愛」
⑥GS「忍耐」
④GS「謙遜」
④GS「熱心」
7 ①マク7・7、8、
2ニフ32・4、
GS「祈り」

改めて、証人の一人となることができる。

1 見よ、わたしはあなたに言う。わたしの僕マーティン・ハリスは、あなた、すなわちわたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアがわたしから受けたと証し、証言した版を持っていることについて、わたしの手から確証を得たいと望んでいるので、

2 さて見よ、あなたはこのことを彼に言わなければならぬ。すなわち、あなたに語った者があなたに次のように述べたことを。主なるわたしは神であり、あなた、すなわちわたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアにこれらのものを与えて、これらのものの証人となるように命じた。

3 また、わたしはあなたに命じた人々のほかにはこれらのものを見せない、という聖約をあなたに交わさせた。これらのものを自由にする力は、わたしがあなたに授けなにかぎり、あなたは決して持つことはないのである。

4 あなたは版を翻訳する賜物を持つている。これは、わたしがあなたに授けた最初の賜物である。そしてわたしは、これによってわたしの目的が達せら

れるまで、ほかの賜物を求めてはならないと命じた。これが終わるまで、わたしはあなたにほかの賜物を授けないからである。

5 まことに、わたしはあなたに言う。地に住む者がわたしの言葉に聞き従わなければ、彼らに災いが及ぶであろう。

6 この後、あなたは聖任され、出て行って人の子らにわたしの言葉を告げるからである。

7 見よ、もし彼らがわたしの言葉を信じなければ、たとえあなた、すなわちわたしの僕ジョセフが、わたしからゆだねられたこれらのものをすべて彼らに見せることができたとしても、彼らはあなたを信じないであろう。

8 ああ、この不信仰でかたくなな時代の人々よ。わたしの怒りは彼らに向かつて燃えている。

9 見よ、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの内にある賢明な目的のために、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに託したそれらのものを保存してきた。その目的は、後の時代の人々に知らされるであろう。

10 しかし、この時代の人々は、あなたを通してわた

第5章

1 ① 教義 5・23-24
② GS「金版」

2 ① GS「証人証」

3 ① 2ニフ27・13。「モ
ルモン書」の証人のペー

②「三人の証人の証」と「八人の証人の証を

参照

② 2ニフ3・11

5 ① エレ26・4・5、
アル5・37・38、

6 ① 教義20・2・3、
GS「聖任」

7 ① ルカ16・27・31、
② 2ニフ29・7

7 ① ルカ16・27・31、
教義63・7・12

8 ② ① GS「不信仰」

② モル8・33、
③ GS「高慢」

9 ① アル37・18

しこの言葉を受ける。

11 また、あなたの証のほかに、わたしの三人の僕の証がある。わたしは彼らを召して聖任し、これらのものを彼らに示し、彼らはあなたを通して与えられるわたしの言葉を携えて行くであろう。

12 まことに、彼らはこれらのものが真実であることを確かに知るであろう。天からわたしが彼らにそれを宣言するからである。

13 わたしは、彼らがありのままにこれらのものを目にし、見る事ができるように、彼らに力を与えよう。

14 わたしはこの時代の人々の中では、ほかのだれにも、これと同じ証を受ける力を授けない。今はわたしの教会が荒野から立ち上がって出て来る始まりであり、わたしの教会は、月のように明るく、太陽のように美しく、旗を立てた軍勢のように恐ろしいものとなる。

15 わたしは、わたしの言葉について、三人の証人の証を送り出そう。

16 そして見よ、だれでもわたしの言葉を信じる者に、わたしは、わたしの御霊の現れを与えよう。

彼らはわたしから生まれる、すなわち、水と御霊によって生まれるであろう。

17 あなたは、もうしばらくの間待たなければならぬ。あなたはまだ聖任されていないからである。

18 また、彼らの証も進み行き、この時代の人々は、もしわたしの言葉に対してその心をかたくなにするならば、罪の宣告を受けるであろう。

19 荒廃をもたらす懲らしめが地に住む者の間に及び、もし彼らが悔い改めなければ折々に続けて懲らしめが与えられ、ついに地はむなしくなり、地に住む者はわたしの来臨の輝きにより焼き尽くされて、ことごとく滅ぼされるからである。

20 見よ、わたしは、エルサレムの滅亡について民に告げたように、あなたがたにこれらのことを告げる。わたしの言葉は、これまでに実証されたように、そのときにも実証されるであろう。

21 さて、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに命じる。悔い改めてわたしの前をさらにまっすぐに歩み、これからはもう人々の説き伏せに乗ることのないようにしなさい。

22 また、わたしがあなたに命じた戒めを確固として

11 ① 2ニフ27、12、

エテ5・3 | 4、

教義17・1 | 5

14 ① 2ニフ27、13

② GS「イエス・キリス

トの教会」

15 「福音の回復」

③ 教義105・31、109・73

GS「証人(モルモン書

の)」

16 ① エテ4・11

GS「聖霊」

② ② 教義8・1 | 3

③ ④ 1ニフ2・16

⑤ GS「聖霊の賜物」

「アブテスマ」

17 「再び生まれる」

① GS「権威、権限

権能」

18 「聖任」

① 1ニフ14・7、

教義20・13 | 15

19 ① 教義29・8、35・

GS「終わりの時、末日」

11、43 | 27、

20 「時のしるし」

② GS「悔い改め」

③ ③ イザ24・1、5 | 6

④ ④ イザ66・15 | 16、

GS「イエス・キリスト

の再臨」

20 ① 1ニフ17・18、

② 2ニフ25・9

教義1・38

①守りなさい。あなたがそうするならば、見よ、たとえあなたが殺されようと、わたしはあなたに永遠の命を授ける。

23 さらにまた、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに、証を得たいと望んでいるその人について語る。

24 見よ、わたしは彼に言う。彼は自分を高くして、わたしの前に十分にへりくだっていない。しかし、もし彼がわたしの前に身をかがめて、熱烈な祈りと信仰とをもって真心からへりくだるならば、わたしは、見たいと望んでいるものを見ることを彼に認めよう。

25 その後、彼はこの時代の人々に言わなければならない。「まことに、わたしは、主がジョセフ・スミス・ジュニアに示されたものを見た。わたしはそれらが真実であることを確かに知っている。わたしはそれらを見たからである。それらは人の力ではなく、神の力によってわたしに示されたからである」と。
26 主なるわたしは、彼、すなわちわたしの僕マーティン・ハリスに命じる。これらのものについて次のように言う以外に、人々に何も言ってはならない。

「わたしはそれらのものを見た。それらのものは神の力によってわたしに示された。」これが彼の言うべき言葉である。

27 しかし、彼がこれを拒めば、彼は以前にわたしと交わした聖約を破ることになる。そして見よ、彼は罪に定められる。

28 さて、彼はへりくだり、自分が行った誤った事柄をわたしに認め、わたしの戒めを守ると聖約し、わたしを信じる信仰を働かせなければ、見よ、わたしは彼に、このようなものを見ないであろうと言う。わたしは前に語ったものを見ることを彼に認めないからである。

29 そしてこの場合、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに命じる。あなたは彼に、これ以上何も行わないように、またこの件についてももうわたしを煩わさないように言いなさい。

30 そしてこの場合、見よ、わたしはあなた、ジョセフに言う。もう数枚翻訳を終えたならば、わたしが再び命じるまで、しばらくの間、中止しなければならぬ。その後、あなたは再び翻訳することができぬ。

22 ① GS 「従順、従う」
② アル 60:13
23 ① 教義 5:1
24 ① 「モルモン書」の序のページの「三人の証」を参照
25 ① エテ 5:3

31もしあなたがこうしなければ、見よ、あなたはもう賜物たまものを持たず、わたしはあなたに託たくしたものを取り上げるであろう。

32さて、わたしはあなたを滅ほろぼそうとするたくらみがあることをあらかじめ知っており、まことに、わたしの僕しもべマーティン・ハリスが、へりくだってわたしの手から証を受けなければ過あやまちに陥おちることをわたしはあらかじめ知っているので、

33また、あなたを地の面おもてから滅ほろぼし去ろうとたくらんでいる者が多くいるので、このために、すなわちあなたの命いのちが長く保たもたれるようにするために、わたしはこれらの戒いしめをあなたに与あたえたのである。

34まことに、このためにわたしは言ったのである。「中止ちゅうしして、わたしがあなたに命めいじるまでそのままいなさい。そうすれば、わたしがあなたに命めいじたことを成し遂とげる手立ててを与あたえよう。」

35わたしの戒いしめを忠実まことに守るならば、あなたは終わりの日ひに高く上げられるであろう。アーメン。

第 6 章

千八百二十九年四月、ペンシルベニア州ハーモニーに

において、預言者よげんしやジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに与あたえられた啓示けいし。オリバー・カウドリは、千八百二十九年四月七日に、『モルモン書』の翻訳ほんやくの筆記者ひつきしやとして働き始めた。彼は『モルモン書』の記録きらくが刻きまれている版ばんに関する預言者よげんしやの証あかしが真実しんじつであるという神かみの示ししをすに受けていた。預言者よげんしやはウリムとトンミムによって主しゆに尋ね、この答こたえを受けた。

1-6 主しゆの畑はたけで働く者は救すくいを得る。7-13 救すくいの賜物たまものに勝る大いなる賜物たまものはない。14-27 真理しんりの証あかしは御霊みたまの力ちからによって得られる。28-37 キリストを仰あおぎ見て、絶たえず善ぜんを行ないなさい。

1 大いなる驚おどろくべき業わざが、まさに人ひとの子こらに現あわれようとしている。

2 見よ、わたしは神かみである。わたしの言葉ことばを心に留とどめなさい。わたしの言葉ことばは生きていて、力があ
り、もろ刃はの剣つるぎよりも鋭とどろくて、関節かんせつも骨髄こつぎも切り離はなすほどである。それゆえ、わたしの言葉ことばを心に留とどめなさい。

3 見よ、畑はたけはすでに白しろくなり刈り入れを待まっている

第 6 章

- 33 ① 教義 10、6、
- 38 ① ① 二フ、3、7
- 35 ① ① 出エ、15、26、
- 34 ① ① 出エ、15、26、
- ② ヨハ、6、39、40、
- 1 テサ、4、17、
- 3 ニフ、15、1、
- 7 教義、9、14、17、8、
- 75 ① ① 9、14、17、8、
- 22
- 1 ① イサ、29、14、
- 2 ① ヘブ、4、12、44
- 黙示、1、16、
- ② 教義、27、1
- ② ヒラ、3、29、
- 3 ① ヨハ、4、35、
- 教義、31、4、33、3、
- 101、64

る。それゆえ、だれでも刈り入れをしたいと望む者は、永遠の救いが神の王国で自分のために蓄えられるように、勢力を尽くして鎌を入れ、日のあるうちに刈り取りなさい。

4 まことに、だれでも鎌を入れて刈り取ろうとする者は、神から召されている。

5 それゆえ、あなたはわたしに求めれば、与えらるであろう。たたけば、開かれるであろう。

6 さて、あなたは求めたので、見よ、わたしはあなたに言う。わたしの戒めを守り、シオンの大義を起こして確立するように努めなさい。

7 富を求めずに、知恵を求めなさい。そうすれば、見よ、神の奥義はあなたに明らかにされ、そのとき、あなたは豊かにされる。見よ、永遠の命を持つ者は豊かである。

8 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたがわたしに望むことが、あなたにそのとおりになるであろう。もしあなたが望むならば、あなたはこの時代に大いに善を行ふ仲間となるであろう。

9 この時代の人々には、悔い改めのほかに何も語ってはならない。わたしの戒めを守り、またわたし

の命じたとおりにわたしの業を起こす助けをしなさい。そうすれば、あなたは祝福見よ、あなたは一つの賜物を持つている。この賜物されるであろう。

10 見よ、あなたは一つの賜物を持つている。この賜物のゆえに、あなたは幸いである。これは神聖で、上から来ていることを覚えておきなさい。

11 あなたは尋ねるならば、大いなる驚くべき奥義を知るであろう。それゆえ、奥義を見いだして、多くの人を真理の知識に導き、まことに彼らの行いが誤っていることを納得させるために、あなたは自分の賜物を使わなければならない。

12 あなたと同じ信仰を持つ者以外、だれにもあなたの賜物を知らせないようにしなさい。神聖なものを軽んじないようにしなさい。

13 あなたは善を行ひ、そして最後まで忠実であり続けられ、神の王国に救われるであろう。これは、神のあらゆる賜物の中で最も大いなるものである。救いの賜物に勝る大いなる賜物はないからである。

14 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたが行ってきたことのために、あなたは幸いである。あなたはわたしに尋ね、そして見よ、尋ねる

4 ① 黙示 14:15-19
 アル 26:5
 教義 11:3 | 4、27
 ⑤ マタ 7:7 | 8
 6 ① GS「シオン」
 ② ① 1ニ7 | 13
 ③ ① 1ニ7 | 37
 7 ① 列上 3:10 | 13
 マタ 19:28 | 19
 GS「富」-「物欲」
 ② アル 39:14、
 教義 68:31 | 37
 ③ ④ GS「知恵」
 ④ ④ 教義 42:61、
 GS「神の奥義」
 9 ① アル 29:9、
 教義 15:6
 18:14 | 15、34、6、
 11 ① ① 教義 63:64
 GS「伝道活動」
 ① ① 教義 102:23、64
 ジー 歴史 1:18
 12 マタ 11:25、
 13:10 | 11、
 アル 12:9
 ③ ③ 新ヤコ 5:20、
 アル 62:45、
 ④ GS「賜物」
 ④ ④ 教義 18:44
 13 ① GS「誓え忍ぶ」
 ① ① GS「誓え忍ぶ」
 ① ① GS「誓え忍ぶ」
 エテ 4:19、
 教義 51:19 | 63、47
 ④ ④ 1ニ7 | 15、24
 ④ GS「救い」
 ① GS「祈り」

度に、わたしの御霊からの教えを受けてきたからである。そうでなかったならば、現在あなたがいる所に來ることはなかったであろう。

15 見よ、あなたがわたしに尋ねたので、わたしがあなたの思いを照らしたことを、あなたは知っています。そして今、あなたが真理の御霊に照らされたことを知るように、わたしはこれらのことをあなたに告げるのである。

16 まことに、わたしはあなたに告げる。それは、あなたの心の思いと志を知っている者は神のほかにだれもないことを、あなたが知るためである。

17 わたしはあなたへの証としてこれらのことを告げる。すなわち、あなたが記してきた言葉、すなわちその書は真実である。

18 それゆえ、熱心でありなさい。わたしの僕ジョセフがその言葉のためにどのような困難な状況に陥ろうと、忠実に彼の傍らに立っていなさい。

19 彼の過ちについて彼を訓戒し、また彼からも訓戒を受けなさい。忍耐強くありなさい。まじめでありなさい。自制しなさい。忍耐と信仰、希望、慈愛を持ちなさい。

20 見よ、あなたはオリバーであり、わたしがあなたに語ったのは、あなたが望んだからである。それゆえ、これらの言葉をあなたの心の中に大切に蓄えておきなさい。神の戒めを忠実かつ熱心に守りなさい。そうすれば、わたしはあなたをわたしの愛の腕の中に抱くであろう。

21 見よ、わたしは神の子イエス・キリストである。わたしは自分の民のところに來た者である。

そして、民はわたしを受け入れなかった。わたしは暗闇の中に輝いている光である。そして、暗闇はそれを理解しない。

22 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたはこれ以上の証を望むならば、これらのことが真実であることを知ろうとして心の中でわたしに叫び求めた夜のことを思い出しなさい。

23 わたしはこの件についてあなたの思いに平安を告げなかったであろうか。神からの証よりも大いなる証があるであろうか。

24 さて見よ、あなたは証を得た。だれも知らない事柄をわたしがあなたに告げたので、あなたは証を得たではないか。

16 ① GS「思い、心」
② 歴上 8:39

マク 12:25、
ヘブ 4:12、
モサ 24:12、
3ニフ 28:6、
GS「全知」

18 17
① GS「熱心」
② 教義 124:95-96

20 ① エテ 3:21
教義 84:85

21 ① GS「イエス・キリスト」
② ヨハ 1:10、12、
使徒 3:13、17、
3ニフ 9:16、
教義 45:8

③ GS「暗闇(霊的な)」
④ ヨハ 1:5、
教義 10:58、

23 22
① GS「光、キリストの光」
② GS「識別の賜物」
③ GS「平安(平和)」
④ 1ヨハ 5:9、
教義 18:2

25 見よ、もしあなたがわたしに望むならば、わたしはあなたに、わたしの僕ジョセフのように、翻訳する賜物を受ける。

26 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの福音の多くを載せた数々の記録がある。それらは人々の悪のゆえに与えられなかったものである。

27 さて、わたしはあなたに命じる。もしあなたが善い望み、すなわち、自分自身のために天に宝を蓄えたいという望みを持つならば、あなたは自分の賜物をもって、罪悪のゆえにこれまで隠されてきたわたしの聖文のそれらの部分を明るみに出す助けをしなければならぬ。

28 さて見よ、わたしはあなたと、わたしの僕ジョセフに、この賜物の鍵を与える。それはこの務めを明るみに出すのであろう。そして、一人または三人の証人の口によって、すべての言葉が確定される。

29 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。たとえ人々がわたしの言葉と、わたしの福音と務めのこの部分とを拒んだとしても、あなたが

たは幸いである。彼らはわたしに行つた以上のことをあなたがたに行えないからである。

30 また、たとえ彼らがわたしに行つたようにあなたがたに行うとしても、あなたがたは幸いである。あなたがたはわたしとともに栄光の中に住むからである。

31 しかし、彼らと与えられる証によつて確定されるわたしの言葉を拒まないならば、彼らは幸いである。そのとき、あなたがたは自分たちの労苦の結ぶ実を喜ぶであらう。

32 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。一つのことについて二人または三人がわたしの名によつて集まっている所には、見よ、わたしもその中にいる、とわたしが弟子たちに言つたように、まさにそのようにわたしはあなたがたの中にいるのである。

33 息子たちよ、善を行うのを恐れてはならない。あなたがたは、何であろうとまいたものをまた刈り入れるからである。それゆえ、あなたがたは善をまけば、報いとしてまた善を刈り入れることになる。34 それゆえ、小さい群れよ、恐れてはならない。善

25 ①モサ8・13、
教義5・4、
9・11、10
26 ①教義8・1、9・2、
「聖文」出現を預言
された聖文
27 ①「邪悪」
28 27 ①「申命19・15、
2コリ13・1、
2ニコ27・12、14、
教義128・3
30 ①教義5・22、13章
「殉教者、殉教」
31 ①「黙示3・21
②③④GS「栄光」
32 ①GS「証」
②③ニコ7・10-14、
教義20・8-15
32 ①マテ18・19-20、
GS「一致」
33 ②教義29・5、38・7
①GS「勇敢、勇気」
②ガラ6・7-8、
モサ7・30-31、
アル9・28
教義1・10

を行いなさい。この世と地獄をあなたがたに對して連合せなさい。あなたがたがわたしの岩の上に建てられるならば、それらは打ち勝つことができなからである。

35 見よ、わたしはあなたがたを罪に定めない。あなたがたの道を行き、これからはもう罪を犯さないようにしなさい。わたしがあなたがたに命じた業をまじめに行いなさい。

36 あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。疑つてはならない。恐れてはならない。

37 わたしのわきを突き刺した傷跡と、わたしの手と足にある釘の跡を見なさい。忠実であり、わたしの戒めを守りなさい。そうすれば、あなたがたは天の王国を受け継ぐであろう。アーメン。

第 7 章

千八百二十九年四月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに与えられた啓示。彼らが、主から愛された弟子ヨハネが肉体にとどまっているか、それとも死んでしまったか、ウリムとトンムムによって尋ねたときに与えられた

ものである。この啓示は、ヨハネが羊皮紙に記して自ら隠しておいた記録の訳文である。

1-3 主から愛されたヨハネは、主が来られるときまで生き長らえる。4-8 ペテロとヤコブとヨハネは、福音の鍵を持つ。

1 主はわたしに言われた。「わたしの愛するヨハネよ、あなたは何を望むか。あなたの欲することを求めれば、授けられるであろう。」

2 そこで、わたしは主に申し上げた。「主よ、わたしが生き長らえて、人々をあなたのみもとに導くことができるように、死を制する力をお与えください。」

3 すると、主はわたしに言われた。「まことに、まことに、あなたに言う。あなたがこれを望んでいるので、わたしが栄光のうちに来るときまであなたはこの世にとどまり、もろもろの国民、部族、国語の民、民族の前で預言するであろう。」

4 そしてこのために、主はペテロに言われた。「わたしが来るときまで彼がこの世にとどまっている

34 ① 詩篇 71:3、マタ 7:24-25、1 コリ 10:1-4、ヒラ 5:12、教義 10:69、18、4、モセ 7:53、13

35 GS「岩」

36 35 ① ヨハ 8:3-11

37 ① GS「十字架の刑」

② GS「イエス・キリスト」

③ GS「死後の現れ」

④ GS「神の王国、天の王国」

⑤ マタ 5:3、10、3 ニフ 12:3、10

第 7 章

1 ① GS「ヨハネ・ゼベダイの子」

② 3 ニフ 28:1-10

③ ルカ 9:27、GS「死（肉体の）」

3 ① GS「イエス・キリストの再臨」

② ③ GS「栄光」

④ ② ヨハ 21:20-23、GS「身を変えられた人」

⑤ ③ 黙示 10:11

ことを、わたしは望んだとしても、それがあなたに何の関係があるのか。彼は人々をわたしのものとに連れてくることを望んだが、あなたはわたしの王国においてわたしのものと速やかに来ることを望んでいるからである。

5 わたしはあなたに言う。ペテロよ、これは善い望みであった。しかし、わたしの愛する者はそれ以上のこと、すなわち、彼がこれまで行ってきたことよりもさらに大いなる業を人々の中で行うことを望んだ。

6 まことに、彼はさらに大いなる業を引き受けた。それゆえ、わたしは彼を燃える火のようにし、また仕える天使とする。地上に住んでいる救いを受け継ぐ者のために、彼は仕えるであろう。

7 また、わたしはあなたを、彼とあなたの兄弟ヤコブのために仕えさせよう。そして、わたしはあなたがた三人に、わたしが来るときまでこの力とこの務めの鍵とを授けよう。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは二人とも、望みどおりに与えられるであろう。あなたがたは二人とも、望んだことを喜びとして

いるからである。」

第 8 章

千八百二十九年四月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してオリバー・カウドリに与えられた啓示。「モルモン書」の翻訳中筆記者として働き続け、預言者の口述を筆記していたオリバーは、翻訳の賜物を授けられることを願った。主はこの啓示を下して、彼の嘆願にこたえられた。

1-5 啓示は聖霊の力によつて与えられる。6-12 神の奥義についての知識と昔の記録を翻訳する力は、信仰によつて与えられる。

1 ①オリバー・カウドリよ、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたの神であり、あなたの贖い主である主が生きているように確かに、あなたが古い記録に刻まれたものについて知識を与えられると信じながら、信仰をもつて、正直な心で求めるものは何であろうと、その知識を確かに与えられるであろう。その古い記録は昔のものであ

4 ① GS 「神の王国、天の王国」

6 ① 教義 130:5

2 ② ヨハ 10:8-11

7 ① ③ 教義 77:14

③ 教義 76:86-88

16 ④ マタ 16:19

7 ⑤ 使徒 15:7

⑥ ジー歴史 1:72

8 ⑦ GS 「神権の鍵」

⑧ ① GS 「喜び」

第 8 章

1 ① ジー歴史 1:66

GS 「カウドリ、オリバー」

② GS 「祈り」

③ GS 「知識」

④ 教義 6:26-27

9 ⑤ 2

り、わたしの聖文のうち、わたしの御霊の現れによって語られた部分を含むものである。

2 まことに見よ、あなたに降ってあなたの心の中にとどまる聖霊によって、わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。

3 さて見よ、これは啓示の霊である。見よ、モーセがイスラエルの子らを導いて乾いた地を通って紅海を渡らせたのは、この霊による。

4 これがあなたの賜物である。この賜物を使いなさい。そうすれば、あなたは幸いである。これはあなたを敵の手から救い出すからである。もしそうしなければ、彼らはあなたを殺し、あなたの霊を滅びに至らせるであろう。

5 おお、これらの言葉を覚えておき、わたしの戒めを守りなさい。これがあなたの賜物であること覚えておきなさい。

6 ところで、これがあなたの賜物のすべてではない。あなたはもう一つの賜物を持っている。それはアロンの賜物である。見よ、それは多くのことをあなたに告げてきた。

7 見よ、このアロンの賜物をあなたに持たせる力

は、神の力をおいてほかにない。

8 それゆえ、疑ってはならない。それは神の賜物だからである。そして、あなたはそれを手に持ち、驚くべき業をなすであろう。また、それは神の業であるから、いかなる力もあなたの手からそれを取り去ることができないであろう。

9 また、あなたがその手立てによって告げてほしいとわたしに求めることは何であろうと、わたしはあなたに授けよう。そして、あなたはそれについての知識を得るであろう。

10 信仰がなければ何も行えないことを覚えておきなさい。それゆえ、信仰をもつて求めなさい。これらのものを軽んじないようにしなさい。求めてはならないものを求めないようにしなさい。

11 神の奥義を知ることができるよう、また隠されていた、神聖な、それらのすべての昔の記録を翻訳して知識を得ることができるよう、求めなさい。そうすれば、あなたの信仰にに応じてそのとおりになるであろう。

12 見よ、これを語ったのはわたしである。わたしは初めからあなたに語った者である。アーメン。

2 1 ⑤ 教義 5・16
 ① GS「聖霊」
 3 GS③ 教義 9・7-9、
 ① GS「啓示」
 ① 出エ 14・13-22、
 申命 11・4、
 1二フ 4・2、
 モサ 7・19、
 GS「紅海」
 10 5
 ① 申命 11・18-19
 ① GS「信仰」
 ① 教義 88・63-65
 ① 教義 9・1、65
 10

第9章

千八百二十九年四月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してオリバー・カウドリに与えられた啓示。オリバーは忍耐強くなるように戒められ、また、翻訳を試みるよりは、今のところ翻訳者の口述を受けて書き取ることに満足するように勧められる。

1-6 まだ翻訳されていない昔の記録がほかにある。
7-14 『モルモン書』は、研究と御霊の確認とによつて翻訳される。

1 見よ、わたしは、わたしの子であるあなたに言う。あなたがわたしに望んだようには翻訳をせず、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアのために再び書き取ることを始めたので、まことにわたしは、彼に託したこの記録をあなたが書き続けて完結するように望むものである。

2 その後、見よ、ほかの記録があるので、わたしはあなたに力を与えて翻訳を助けさせよう。

3 息子よ、忍耐強くなりなさい。それはわたしの知恵にかなうからである。現在あなたが翻訳する

ことは適切ではない。

4 見よ、あなたが行うように召されている業は、わたしの僕ジョセフのために筆記することである。

5 また見よ、わたしがあなたからこの特権を取り去つたのは、あなたが翻訳を開始したときのように翻訳を続けなかつたからである。

6 息子よ、つぶやいてはならない。わたしがこのようにあなたを遇したことは、わたしの知恵にかなうからである。

7 見よ、あなたは理解していなかった。あなたはわたしに求めさえすれば、何も考えなくてもわたしから与えられると思つてきた。

8 しかし見よ、わたしはあなたに言う。あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうかわたしに尋ねなければならぬ。もしそれが正しければ、わたしはあなたの胸を内から燃やそう。それゆえ、あなたはそれが正しいと感じるのであろう。

9 しかし、もしそれが正しくなければ、あなたはこのような感じを少しも受けず、思いが鈍くなり、それによつて誤っている事柄を忘れるようになる。

第9章

1 ① 教義 8・1、11
2 ① ほかにも翻訳されるものがあることを示している。「聖書のジョセフ・スミス訳」と「フラハム書」もこれに当たる。オリバー・カウドリは筆記者としてその翻訳を助けた。
GS「ジョセフ・スミス訳」(B)
3 ① ① 教義 6・26、8・1
4 ① GS「つぶやき」
5 ① GS「深く考える」
6 ① GS「祈り」
7 ① ルカ 24・32
8 ① GS「証」
9 ① GS「雲感」
① 教義 8・2・13
① 教義 10・2

る。それゆえ、あなたはわたしから与えられなければ、神聖なことを書くことはできない。

10 さて、もしあなたがこれを知っていたならば、翻訳できたであろう。しかしながら、あなたが今翻訳することは適切ではない。

11 見よ、あなたが始めたときには適切であった。しかし、あなたは恐れた。そして、時は過ぎ去り、今や適切ではなくなつた。

12 あなたは、わたしがそれを補う十分な力をわたしの僕ジョセフに与えたのを見ていないか。あなたがたのどちらをも、わたしは罪に定めない。

13 わたしがあなたに命じたこのことを行いなさい。そうすれば、あなたは栄えるであろう。忠実であり、決して誘惑に負けないようにしなさい。

14 わたしがあなたを召した業にしつかりと立ちなさい。そうすれば、あなたの髪の毛一筋も失われることはない。そして、あなたは終わりの日に高く上げられるであろう。アーメン。

第 10 章

ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセ

フ・スミスに与えられた啓示。恐らく千八百二十九年四月ごろの啓示であるが、一部は千八百二十八年夏にはすでに与えられていたと思われる。主はこの啓示の中で、「モルモン書」中のリーハイ書から翻訳された百十六ページの原稿が悪人たちによって変更されたことをジョセフに告げておられる。これらの原稿は、一時それを預かつたマーティン・ハリスの手もとから紛失したものである（第三章の前書きを参照）。悪人たちの計画は、盗んだ原稿の相当部分が予想どおりに再翻訳されるのを待ち、書き変えたことよって生じた違いを示して翻訳者の信用を落とすことであつた。この悪計が悪しき者によって考え出され、昔のニーファイ人の歴史家モルモンが集積された版の要約を作つていた時点ですでに主に知られていたことが、「モルモン書」の中に示されている（モルモンの言葉第一章二七節を参照）。

1—26 サタンは主の業に反対するように悪人たちをおり立てる。27—33 サタンは人々の霊を滅ぼそうとしてゐる。34—52 福音は「モルモン書」によってレーマン人とすべての国民に伝わる。53—63 主は人々の間に御自分の教会と福音を確立される。64—70 主は悔い改めたものを

10 ① 教義 8・11
11 ① 教義 8・11
12 ① GS「誘惑」
13 ① GS「誘惑」
14 ① GS「誘惑」
17 ③ アル 13・29、
18 ③ コリ 16・13
19 ③ アル 13・29、
20 ③ アル 13・29、
21 ③ アル 13・29、
22 ③ アル 13・29、
23 ③ アル 13・29、
24 ③ アル 13・29、
25 ③ アル 13・29、
26 ③ アル 13・29、
27 ③ アル 13・29、
28 ③ アル 13・29、
29 ③ アル 13・29、
30 ③ アル 13・29、
31 ③ アル 13・29、
32 ③ アル 13・29、
33 ③ アル 13・29、
34 ③ アル 13・29、
35 ③ アル 13・29、
36 ③ アル 13・29、
37 ③ アル 13・29、
38 ③ アル 13・29、
39 ③ アル 13・29、
40 ③ アル 13・29、
41 ③ アル 13・29、
42 ③ アル 13・29、
43 ③ アル 13・29、
44 ③ アル 13・29、
45 ③ アル 13・29、
46 ③ アル 13・29、
47 ③ アル 13・29、
48 ③ アル 13・29、
49 ③ アル 13・29、
50 ③ アル 13・29、
51 ③ アル 13・29、
52 ③ アル 13・29、
53 ③ アル 13・29、
54 ③ アル 13・29、
55 ③ アル 13・29、
56 ③ アル 13・29、
57 ③ アル 13・29、
58 ③ アル 13・29、
59 ③ アル 13・29、
60 ③ アル 13・29、
61 ③ アル 13・29、
62 ③ アル 13・29、
63 ③ アル 13・29、
64 ③ アル 13・29、
65 ③ アル 13・29、
66 ③ アル 13・29、
67 ③ アル 13・29、
68 ③ アル 13・29、
69 ③ アル 13・29、
70 ③ アル 13・29、
71 ③ アル 13・29、
72 ③ アル 13・29、
73 ③ アル 13・29、
74 ③ アル 13・29、
75 ③ アル 13・29、
76 ③ アル 13・29、
77 ③ アル 13・29、
78 ③ アル 13・29、
79 ③ アル 13・29、
80 ③ アル 13・29、
81 ③ アル 13・29、
82 ③ アル 13・29、
83 ③ アル 13・29、
84 ③ アル 13・29、
85 ③ アル 13・29、
86 ③ アル 13・29、
87 ③ アル 13・29、
88 ③ アル 13・29、
89 ③ アル 13・29、
90 ③ アル 13・29、
91 ③ アル 13・29、
92 ③ アル 13・29、
93 ③ アル 13・29、
94 ③ アル 13・29、
95 ③ アル 13・29、
96 ③ アル 13・29、
97 ③ アル 13・29、
98 ③ アル 13・29、
99 ③ アル 13・29、
100 ③ アル 13・29、

御自分の教会に集め、従順な者を救われる。

1 さて見よ、わたしはあなたに言う。あなたは、
① ウリムとトンミムによつて翻訳する力を与えられ
たあの書き物を悪人の手に渡したので、それを失
つてしまった。

2 また、同時にあなたの賜物も失い、あなたの思
いは暗くなつた。

3 それにもかかわらず、それは今再びあなたに返
された。それゆえ、あなたは忠実であり、あなたが
始めたとおりに翻訳の仕事の残りの部分を完結する
まで続けるようにしなさい。

4 あなたは翻訳できるように与えられた力と手段
以上に急いだり、それ以上に働いたりすることのな
いようにしなさい。しかし、最後まで励みなさい。

5 勝利者となるために、まことに、サタンに打ち
勝つために、またサタンの業を支えるサタンの手下
どもの手から逃れるために、常に祈りなさい。

6 見よ、彼らはあなたを滅ぼそうとした。まことに、
あなたが信頼した人でさえもあなたを滅ぼそ
うとした。

7 この理由で、わたしは、彼は悪人であると言つ
たのである。それは、彼があなたに託されたものを
取り去ろうとし、またあなたの賜物を損なおうとし
たからである。

8 そして、あなたが彼の手にその書き物を渡した
ので、見よ、悪人たちはあなたからそれを奪つた。

9 それゆえ、あなたはそれを、すなわち神聖なも
のを悪に引き渡したのである。

10 また見よ、サタンはあなたが書き取らせた言
葉、すなわち、あなたが翻訳した言葉であるあな
たの手を離れたものを書き変えようとする思いを彼
らの心に入れた。

11 そこで見よ、わたしはあなたに言う。彼らがそ
れらの言葉を書き変えたので、それはあなたが翻
訳して書き取らせたものとは反対の意味に読まれて
しまう。

12 このように、悪魔はこの業を損なうために狡猾
な計画を企ててきた。

13 サタンは、あなたが翻訳したと見せかけたその
言葉であなたを見破つたと彼らが偽って言えるよ
うに、彼らの心にこのことを行う思いを入れた。

14 まことに、わたしはあなたに言う。わたしはサタンがこのことについて悪計を遂げるのを許さない。

15 見よ、サタンは、あなたにもう一度それを翻訳することを神に求めさせて主なるあなたの神を試みさせようとする思いを、彼らの心に入れた。

16 その後、見よ、彼らはその心の中で次のように言って考える。「我々は神が彼に翻訳する力を与えたかどうか見よう。もしそうであれば、神は再び彼に力を与えるだろう。」

17 もし神が再び彼に力を与えれば、つまり彼が再び翻訳すれば、言い換えれば、彼が同じ言葉を訳し出すれば、見よ、同じものが我々のところにある、我々はそれを書き変えていた。

18 だから、両者は一致しない。そこで我々は、彼の言葉について偽りを語った、彼は賜物を持っておらず、力も持っていない、と言おう。

19 こうして我々は彼を滅ぼし、その業も損なおう。我々は最後に恥じるのではないように、また世の誉れを得るために、このことを行おう。」

20 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。

サタンは彼らの心をしつかりと捕らえている。彼は善いことに逆らって罪悪を行うように彼らをおおりに立てている。

21 そして、彼らの心は腐敗しており、悪と忌まわしさに満ちている。また、彼らはその行いが悪いので、光よりも闇を愛している。そのため、彼らはわたしに求めようとしない。

22 サタンは彼らをおおりに立てて、彼らの霊を滅びに導くのである。

23 このように、サタンは神の業を損なおうと考えて、狡猾な計画を企てた。しかし、わたしは彼らの手にこの責任を求めよう。これは裁きの日に彼らの恥となり、罪の宣告となるであろう。

24 まことに、サタンは彼らの心をおおりに立てて、この業に対して怒らせている。

25 まことに、サタンは彼らに、「欺き、たくらんでわなにかけて、滅ぼせ。見よ、これは少しも悪いことではない」と言う。このように、彼は彼らにへつらい、偽りを言う者を見破って滅ぼすために自ら偽りを言うのは何ら罪ではないと彼らに告げる。

26 このように、サタンは彼らにへつらい、彼らを

20 GS「罪」
 21 ① 教義12：28、20、22
 ② 2ニフ2
 ③ GS「邪悪」
 ④ ヨハ3：18、21、
 教義29：45
 22 ④ モサ15：26、
 GS「暗闇（霊的な）」
 ⑤ モセ5：13、18
 23 ① ヒラ8：25、
 GS「誘惑」
 ② 2ニフ2：17、18
 24 ① 教義12：23、25
 25 ① 2ニフ2：18、
 28：8、9、
 アル10：17、
 モセ4：4、
 GS「偽り」

導いて、最後には彼らの霊を地獄へと引きずり込む。また、このようにして彼は、彼らが自分で仕掛けたように陥るようにするのである。

27このように、サタンは人々の霊を滅ぼそうとして、地を行きつ戻りつ、あちらこちらと歩き回っている。

28まことに、まことに、わたしはあなたに言う。ほかの者が偽り欺いていると考えて自分も偽り欺く者は、災いである。このような者は神の正義を免れないからである。

29さて見よ、サタンが彼らに、「彼はあなたがたを欺いた」と言うので、彼らはこれらの言葉を書き変えた。このように、サタンは彼らにへつらつて、罪悪を行うように、すなわち、あなたに主なるあなたの神を試みさせるように彼らを仕向ける。

30見よ、わたしはあなたに言う。あなたの手を離れたそれらの言葉を再び翻訳してはならない。

31見よ、彼らはそれらの言葉に対する偽りの悪計を遂げることはない。見よ、もしもあなたが同じ言葉を訳出すれば、彼らはあなたが偽った、翻訳したと見せかけたが食い違っていた、と言うであ

ろう。

32そして見よ、彼らはこれを出版する。そして、サタンは人々の心をかたくなにし、あなたに対して怒るように人々をおり立て、人々がわたしの言葉を信じないようにする。

33このように、サタンはこの時代におけるあなたの証を打ち倒そうと考えているが、それは、この時代における業が進まないようにするためである。

34しかし見よ、ここに知恵がある。わたしがあなたに知恵を示し、あなたが何をなすべきか、これらのことについて戒めをあなたに与えるので、あなたは翻訳の業を完了するまでそれを世に示してはならない。

35わたしがあなたに、「ここに知恵がある。それを世に示してはならない」と言ったことを不思議に思ってはならない。あなたが守られるために、わたしは、「それを世に示してはならない」と言ったのである。

36見よ、わたしは義人にそれを示してはならないとは言わない。

37しかし、あなたは必ずしも義人を判定できない

26 ① GS 「背教、背信」
 ② GS 「地獄」
 ③ 箴言 29 : 5、6、
 1ニフ 14 : 3
 27 ① 2ニフ 28 : 19、23、
 28 ② ヨブ 1 : 7
 ③ ロマ 2 : 3、
 「正義」
 29 マタ 4 : 7
 30 ① GS 「悪魔」
 ② GS 「知恵」
 31 マタ 23 : 28

ので、すなわち、あなたは必ずしも義人と悪人を見分けることができないので、わたしはあなたに言う。この件についてすべてのことを世に知らせるのがふさわしいとわたしが認めるまで、黙していなさい。

38 さて、まことに、わたしはあなたに言う。あなたが書き取った、あなたの手を離れてしまった事柄についての話が、ニーファイの版に刻まれている。

39 また、ニーファイの版にはこれらの事柄についてもっと詳細な話が記されていることが、あの書き物の中に言われていたのを、あなたは記憶している。

40 さて、ニーファイの版に刻まれている話は、わたしがこの話によつて人々に知らせたいと自らの知恵により望んでいる事柄に関して、もっと詳細なものである。

41 それゆえ、あなたはベニヤミン王の治世に至るまで、すなわち、あなたが翻訳して所持している部分に至るまで、ニーファイの版に刻まれている記録を翻訳しなければならない。

42 そして見よ、あなたはこれをニーファイの記録として出版しなければならない。このようにして、わたしは、わたしの言葉を書き変えた者たちを辱めよう。

43 わたしは彼らがわたしの業を損なうのを許さないう。まことに、わたしの知恵が悪魔の狡猾さに勝っていることを彼らに示そう。

44 見よ、彼らはただ一部分、すなわち、ニーファイの記録の要約を持っているにすぎない。

45 見よ、ニーファイの版には、わたしの福音についてもっと深い見方を与える多くの事柄が刻まれている。それゆえ、あなたがこのニーファイの刻まれた記録の最初の部分を翻訳して、この書に加えることは、わたしの知恵にかなっている。

46 また見よ、この書の残りのすべてに、わたしの聖なる預言者たちと弟子たちが彼らの祈りの中でこの民に伝わるようにと願った、わたしの福音のすべての部分が載っている。

47 またわたしは、彼らが祈りで示した信仰に忠じてそれがかなえられることを彼らに告げた。

48 まことに、彼らの信仰は次のとおりであった。

38 37 ① 出エ14・14
 ② ①「モルモン書」の初版のはしがりの中で、預言者は、失われた百十六ページの記事は「ハイイ書」と呼ばれたものであることを説明している

46 41 ① モ言1・3・7
 ① GS「モルモン書」
 ② エノ1・12・18、モル8・24・26、9・34・37
 ③ GS「信仰」

47 ① GS「信仰」
 ② ③ 3ニフ5・13・15、教義3・19・20

すなわち、彼らがその時代に宣べ伝えることができ
るようにわたしが与えた福音が、彼らの同胞である
①レーマン人と、離反してレーマン人となったすべ
ての者に伝わる、と。

49 さて、それだけではない。彼らが祈りて示した
信仰は、もしほかの国民がこの地を所有すること
があれば、この福音が知らされるといふものであ
った。

50 このようにして、彼らは、この地でこの福音を
信じる者が永遠の命を得られるように、彼らの祈
りの中でこの地に祝福を残したのである。

51 まことに、いかなる国民、部族、国語の民、民
族であろうと、すべての者がそれを働なしに得られ
るように祝福を残したのである。

52 さて見よ、彼らが祈りて示した信仰に応じて、
わたしは、わたしの福音のこの部分をわたしの民に
知らせよう。見よ、わたしがこれを知らせるのは、
わたしの民が受けているものを損なうためではな
く、それを築き上げるためである。

53 そしてこのために、わたしは、「もしこの時代の
人々がその心をかたくなにしなければ、わたしは彼

らの間にわたしの教会を設けよう」と言ったので
ある。

54 さて、わたしがこのように言うのは、わたしの
教会を滅ぼすためではなく、わたしの教会を築き
上げるためである。

55 それゆえ、だれでもわたしの教会に属する者は、
①恐れる必要がない。このような者は天の王国を
受け継ぐからである。

56 しかし、わたしを畏れず、わたしの戒めを守ら
ず、利を得ようとして自分のために教会を築き上
げる者、また悪を行ない、悪魔の王国を築き上げるす
べての者を、まことに、まことに、わたしはあなた
に言うが、わたしはこれらの者を乱し、おののか
せ、中心までも震わせよう。

57 見よ、わたしは神の子イエス・キリストであ
る。わたしは自分の民のところに来たのに、民はわ
たしを受け入れなかった。

58 わたしは暗闇の中に輝いている光である。そし
て、暗闇はそれを理解しない。

59 わたしは、「わたしには、この囲いにはない他の
羊がある」とわたしの弟子たちに言った者であ

48 ①モロ10・1ー5、
55 ①教義100・65、166
②GS「畏れ、恐れ」
③GS「神の王国、天
の王国」
56 ③マケ5・10
②①伝道12・13、14
④ニフ1・26
③GS「悪魔、悪魔の
教会」
59 ①ロマ1・4
②①教義6・21
③ヨハ10・16、21
④GS「良い羊飼」

る。そこにいた多くの者はわたしを理解しなかつた。

60 わたしには他の羊がおり、彼らはヤコブの家の一枝であったことを、わたしはこの民に示そう。

61 そして、わたしは他の羊がわたしの名によって行つた驚くべき業を明るみに出そう。

62 わたしはまた、彼らに教えられたわたしの福音も明るみに出そう。見よ、この民はあなたが受けたものを否定せずにそれを築き上げ、わたしの教義の真の要点を明るみに出すであろう。その教義は、わたしの内にある唯一の教義である。

63 わたしがこのことを行うのは、わたしの福音を確立し、ひどい争いがないようにするためである。まことに、サタンは人々の心をあおり立て、わたしの教義の要点について争わせる。そして、人々はこのらのことについて過ちを犯す。聖文を曲げて解釈し、それを理解しないからである。

64 それゆえ、わたしはこの大いなる奥義を彼らに明らかにしよう。

65 見よ、彼らが心をかたくなにしなければ、わたしはめんどりが羽の下にひなを集めるように、彼ら

を集めよう。

66 まことに、彼らは来ようと思うならば、来て、働なしに命の水を飲むことができる。

67 見よ、これはわたしの教義である。すなわち、だれでも悔い改めてわたしのもとに来る者は、わたしの教会である。

68 だれでもこれ以上のこと、あるいはこれに及ばないことを告げる者は、わたしにつく者ではなく、わたしに反対する者である。それゆえ、その人はわたしの教会に属する者ではない。

69 さて見よ、だれでもわたしの教会に属し、教会にあつて最後まで堪え忍ぶ者を、わたしはわたしの岩の上に建てよう。そうすれば、地獄の門も彼らに打ち勝つことはない。

70 さて、世の命であり光である者、あなたの贖い主、あなたの主、またあなたの神である者の言葉

を覚えておきなさい。アーメン。

第 11 章

千八百二十九年五月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して彼の兄ハイラ

59 ① GS 3ニフ15、16、18
 ② GS「ぶら園」
 ③ GS「悪魔」
 60 ① GS 3ニフ11、31、40
 ② GS「争い」
 ③ GS 2ベテ3、16
 61 ① ルカ13、34、
 ② 3ニフ10、4、6、
 ③ 教義43、24
 62 ① GS「生ける水」
 ② マテ11、28、30
 ③ GS「イエス、キリス
 トの教会」
 63 ① 3ニフ11、40
 ② ルカ11、23
 ③ GS「岩」
 64 ① GS 2ニフ4、18、
 ② 2ニフ4、31、32、
 ③ 教義17、8、128、10
 70 ① GS「光」
 ② GS「イエス、
 キリスト」

ム・スミスに与えられた啓示。この啓示は、ジョセフの嘆願と問いに対する答えとして、ウリムとトンシムによって受けたものである。ジョセフ・スミスの歴史によれば、この啓示を受けたのはアロン神権が回復された後のことであつたと思われる。

1-6 ぶどう園で働く者は救いを得る。7-14 知恵を求め、悔い改めを叫び、御霊を信頼しなさい。15-22、戒めを守り、主の言葉を研究しなさい。23-27 啓示の霊と預言の霊を否定してはならない。28-30 キリストを受け入れる者は神の子となる。

1 大いなる驚くべき業が、まさに人の子らの中に現れようとしている。

2 見よ、わたしは神である。わたしの言葉を心に留めなさい。わたしの言葉は生きていて、力があり、もろ刃の剣よりも鋭くて、関節も骨髓も切り離すほどである。それゆえ、わたしの言葉を心に留めなさい。

3 見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待っている。それゆえ、だれでも刈り入れをしたいと望む

者は、永遠の救いが神の王国で自分のために蓄えられるように、勢力を尽くして鎌を入れ、日のあるうちに刈り取りなさい。

4 まことに、だれでも鎌を入れて刈り取ろうとする者は、神から召されている。

5 それゆえ、あなたはわたしに求めれば、与えられるであろう。たたけば、開かれるであろう。

6 さて、あなたは求めたので、見よ、わたしはあなたに言う。わたしの戒めを守り、シオンの大義を起こして確立するように努めなさい。

7 富を求めずに、知恵を求めなさい。そうすれば、見よ、神の奥義はあなたに明らかにされ、そのとき、あなたは豊かにされる。見よ、永遠の命を持つ者は豊かである。

8 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたがわたしに望むことは、あなたにそのとおりになるであろう。もしあなたが望むならば、あなたはこの時代に大いに善を行う仲立ちとなるであろう。

9 この時代の人々には、悔い改めのほかに何も語つてはならない。わたしの戒めを守り、またわたし

第11章

- 1 ① イザ29・14、
教義4章、
GS「福音の回復」
- 2 ① ヘブ4・12、
② ① ニコ15・23・25、
教義1・14、84・43・45、
③ アル4・19、31・5、
④ ヒラ3・29・30
- 3 ① 教義6・2、
教義12・3
- ② ① 一テモ6・19、
③ ルカ18・22、
④ ヒラ5・8
- 4 ① 黙示14・15、
教義14・3・4
- 5 ① GS「祈り」
6 ① イザ52・7・8、
教義66・11
- 7 ① 列上3・11・13、
2ニコ26・31、
ヤコ2・17・19、
教義38・39
- 9 ① GS「悔い改め」
② 教義19・21・22

10 命じたとおりにわたしの業を起す助けをしなさい。そうすれば、あなたは祝福されるであろう。

11 見よ、あなたは一つの賜物を持っている。すなわち、イエス・キリストの力、すなわち今あなたに語っているわたしの力を信じながら、信仰をもって、正直な心でわたしに願うならば、あなたは一つの賜物を持つであろう。

12 見よ、今語っているのはわたしである。見よ、わたしは暗闇の中に輝いている光であり、わたしの力によってこれらの言葉をおあなたに与える。

13 さて、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。善を行うように導く、すなわち、公正に行動し、へりくだって歩み、義になつて裁くように導く御霊を信頼しなさい。これはわたしの御霊である。

14 まことに、まことに、あなたに言う。わたしはあなたにわたしの御霊を授けよう。わたしの御霊はあなたの思いを照らし、あなたの霊に喜びを満たすであろう。

15 そのとき、あなたは知るであろう。すなわち、これによってあなたは、わたしから与えられると信

じながら信仰をもってわたしに願うことで、義にかかわることは何であろうとすべて知るであろう。

16 見よ、わたしはあなたに命じる。あなたは召しを受けるまで、教えを説くために召されたと思うには及ばない。

17 あなたはわたしの教義を確実に知るために、わたしの言葉、わたしの岩、わたしの教会、わたしの福音を得るまで、もう少しの間待ちなさい。

18 その後、見よ、あなたの望みに応じて、まことにあなたの信仰に応じてそのとおりになるであろう。

19 わたしの戒めを守り、黙して、わたしの御霊に請い求めなさい。

20 まことに、これまで語ってきたそれらのもの、すなわちわたしの業の翻訳を明るみに出す助けができるように、心の底からわたしにすがりなさい。それを成し遂げるまで忍耐強くありなさい。

21 見よ、あなたの勢力と意思と力を尽くしてわたしの戒めを守ることが、あなたのなすべきことである。

22 わたしの言葉を告げようとししないで、まずわた

9 ③ 教義105
 10 ① ② ③ 教義46・85
 11 ① GS「光、キリストの光」
 12 ① GS「力」
 ② GS「歩み（神とともに）」
 ③ マク7:1-15、アル41:14-15、1ヨハ4:1-6、④ ロマ8:1-9、⑤ 教義84、116、GS「信頼」
 13 ① GS「思い、心」
 ② 教義76、12
 ③ GS「喜び」
 ④ GS「義」
 14 ① 箇条1:5、GS「権威、権限、権能」
 15 ① GS「召し、神の召し」
 16 ① 教義6、34、GS「岩」
 19 ① ヤコ6:5、20 教義98、11 GS「従順、従う」

しの言葉を得るように努めなさい。そうすればその後、あなたの舌は緩められる。それから望むならば、あなたはわたしの御霊とわたしの言葉、すなわち人々を確信に導く神の力を受けるであろう。

22 しかし、今は黙していなさい。まことに、あなたはわたしがこの時代に人の子らに授けるすべてのものを得るまで、すでに人の子らの中に出ているわたしの言葉を研究し、さらにまた人の子らの中に出て行くわたしの言葉、すなわち現在翻訳されたつつあるわたしの言葉を研究しなさい。そうすればその後、すべてのものがこれに加えられるであろう。

23 見よ、あなたはわたしの子、ハイラムである。神の王国を求めなさい。そうすれば、正当であるかぎりすべてのものが添えて与えられるであろう。

24 わたしの福音であるわたしの岩の上に建てなさい。

25 啓示の霊も預言の霊も否定してはならない。これらのものを否定する者は災いだからである。

26 それゆえ、あなたが出て行くことがわたしの知恵にかなうときまで、あなたの心の中に大切に蓄

えておきなさい。

27 見よ、善い望みを持ち、刈り入れのために鎌を入れておくすべての者に、わたしは語る。

28 見よ、わたしは神の子イエス・キリストである。わたしは自分の民のところに来た者である。そして、民はわたしを受け入れなかった。

29 わたしは自分の民のところに来た者である。そして、民はわたしを受け入れなかった。

30 しかし、まことに、まことに、あなたに言う。わたしを受け入れるすべての者、すなわち、わたしの名を信じる者に、わたしは神の子となる力を与えよう。アーメン。

第 12 章

千八百二十九年五月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してジョセフ・ナイト・シニアに与えられた啓示。ジョセフ・ナイトは、ジョセフ・スミスが『モルモン書』の版を所有していること、ならびに当時翻訳の業が進行中であることについて語った彼の言葉を信じて、ジョセフ・スミスと彼の筆記者が翻訳を続けられるように、数回にわたって物質的な援助を与えてきた。預言者はジョセフ・ナイトの求め

21 ①アル17・2・3、
②教義84・85

22 ①アル29・8

②「聖書」のこと

③「モルモン書」のこと

④GS「聖文・聖文の価値」

23 ①ジー歴史1・4

24 ①GS「福音」

25 ①GS「啓示」

26 ①申命11・13、
②教義6・20・43・34、
③ジーマター1・37

27 ①GS「伝道活動」

28 ①GS「イエス・キリスト」

29 ①GS「光、キリストの光」

②ヨハ1・12

③ヨハ1・12

④ヨハ1・12

に^お応^じて^し主^に尋^ね、この^啓示^を受^けた。

1-6 ぶどう園で働く者は救いを得る。7-9 望みを持ち、資格のあるすべての者は、主の業を助けることができる。

1 大いなる驚くべき業が、まさに人の子らの中に現れようとしている。

2 見よ、わたしは神である。わたしの言葉を心に留めなさい。わたしの言葉は生きていて、力があり、もろ刃の剣よりも鋭くて、関節も骨髓も切り離すほどである。それゆえ、わたしの言葉を心に留めなさい。

3 見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待っている。それゆえ、だれでも刈り入れをしたいと望む者は、永遠の救いが神の王国で自分のために蓄えられるように、勢力を尽くして鎌を入れ、日のあるうちに刈り取りなさい。

4 まことに、だれでも鎌を入れて刈り取ろうとする者は、神から召されている。

5 それゆえ、あなたはわたしに求めれば、与えら

れるであろう。たたけば、開かれるであろう。

6 さて、あなたは求めたので、見よ、わたしはあなたに言う。わたしの戒めを守り、シオンの大義を起こして確立するように努めなさい。

7 見よ、わたしはあなたと、またこの業を起こして確立したいと望むすべての者に語る。

8 人は謙遜であり、愛に満ち、信仰と希望と慈愛を持ち、また自分に任せられたすべてのことについて自制しなければ、だれもこの業を助けることはできない。

9 見よ、これらの言葉を語っているわたしは、世の光であり命である。それゆえ、力を尽くしてこれらの言葉を心に留めなさい。そうすれば、あなたは召されるであろう。アーメン。

第 13 章

千八百二十九年五月十五日、ペンシルベニア州ハーモニーの近くで行われた、預言者とオリバー・カウドロのアロン神権への聖任について述べているジョセフ・スミスの歴史からの抜粋。この聖任は、自らヨハネと名乗った一人の天使の手によって行われた。このヨハネは、「新

第 12 章

1 ① 類似の相互参照として、教義 1:1-6 を

8 ① GS 「謙遜」

② GS 「愛」

③ GS 「信仰」

④ GS 「希望」

⑤ GS 「慈愛」

約聖書」の中でバプテスマのヨハネと呼ばれている人物である。この天使は、メルキゼデクの神権と呼ばれる大神権の鍵を持つている昔の使徒、ペテロとヤコブとヨハネの指示の下に務めを果たしていることを説明した。いずれ時が来ればこの大神権がジョセフとオリバーに授けられるという約束が、彼らに与えられた（第二十七章七八、十二節を参照）。

アロン神権の鍵と力について説明される。

1 わたしと同じ僕であるあなたがたに、メシヤの御名によつて、わたしはアロンの神権を授ける。これは天使の働きの鍵と、悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。また、レビの子らが再び義をもつてささげ物を主にささげるまで、これは決して再び地上から取り去られることはないであらう。

第 14 章

千八百二十九年六月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してデビッド・ホ

イットマーに与えられた啓示。ホイットマー家の人々は、「モルモン書」の翻訳に大いに関心を寄せるようになっていた。預言者はピーター・ホイットマー・シニアの家を住まいとし、翻訳の仕事を完了してこの出版予定の書の版権を取得するまでそこに住んだ。ホイットマー家の息子たちのうちの三人はそれぞれ、この業が真実のものであるという証を得ていたので、自分のなすべき務めをひどく気にかけるようになった。この啓示と次の二つの啓示（第十五章と第十六章）は、問いに対する答えとして、ウリムとトンニムによつて与えられたものである。デビッド・ホイットマーは、後に「モルモン書」に関する三人の証人の一人となった。

1-6 ぶどう園で働く者は救いを得る。7-8 永遠の命は、神の賜物の中で最も大きいものである。9-11 キリストは天と地を創造された。

1 大いなる驚くべき業が、まさに人の子らに現れようとしている。

2 見よ、わたしは神である。わたしの言葉は心に留めなさい。わたしの言葉は生きていて、力があ

第 13 章

1 ① 教義 27 : 8、84 : 18、34、

GS「アロン神権」

② ジー「歴史」1 : 68-75、

GS「聖徒」

③ GS「天使」

④ GS「悔い改め」

⑤ GS「バプテスマ」

⑥ 「ジョセフ・スミス」

「歴史」の最後にある、アロン神権の回復

についてのオリバー・カウドリの記事を参照。申命 10 : 8、

歴上 6 : 48、

教義 28 : 24

⑦ GS「義」

第 14 章

1 ① 類似の相互参照として、教義 11 : 1-6 を参照

り、もろ刃の剣よりも鋭くて、関節も骨髓も切り離すほどである。それゆえ、わたしの言葉を心に留めなさい。

3 見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待っている。それゆえ、だれでも刈り入れをしたいと望む者は、永遠の救いが神の王国で自分のために蓄えられるように、勢力を尽くして鎌を入れ、日のあるうちに刈り取りなさい。

4 まことに、だれでも鎌を入れて刈り取るとする者は、神から召されている。

5 それゆえ、あなたはわたしに求めれば、与えられるであろう。たたけば、開かれるであろう。

6 わたしのシオンを起こして確立するように努めなさい。すべてのことについてわたしの戒めを守りなさい。

7 わたしの戒めを守り、最後まで堪え忍ぶならば、あなたは永遠の命を得るであろう。この賜物は、神のあらゆる賜物の中で最も大いなるものである。

8 さて、あなたが信じて、信仰をもつて、わたしの名によって父に求めるならば、あなたは、あなた

の見聞きする事柄の証人になれるように、またこの時代の人々に悔い改めを告げることができるように、語るべき言葉を与える聖霊を受けるであろう。

9 見よ、わたしは生ける神の子イエス・キリスト、天と地を創造した者、暗闇の中に隠れることのできない光である。

10 わたしは必ずわたしの完全な福音を異邦人からイスラエルの家にもたらす。

11 見よ、あなたはデビッドであり、あなたは助けるために召されている。あなたはこのことを行い、忠実であれば、霊的にも物質的にも祝福され、あなたの受ける報いは大きいであろう。アーメン。

第 15 章

千八百二十九年六月、ニューヨーク州フアイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してジョン・ホイットマーに与えられた啓示(第十四章の前書きを参照)。このメッセージは、主がジョン・ホイットマーと主御自身にしか分からない事柄を述べておられるという意味で、感銘深く、きわめて個人的な内容のものである。ジョン・ホイットマーは、後に「モルモン書」に関する八

7 レビ 26:3-12

ヨハ 15:22

2 モサ 2:10, 41

3 教義 58:2

4 ② GS「堪え忍ぶ」

5 ③ GS「永遠の命」

6 ④ GS「永遠の命」

7 ⑤ GS「モルモン書」の序

8 ⑥ GS「三人の証人の証」を参照

9 ⑦ GS「モサ 18:8-10」

10 ⑧ GS「聖霊」

11 アル 7:6

12 教義 20:19

13 ロマ 1:4

14 ③ モサ 4:2

15 ④ アブ 4:12, 24

16 ⑤ ヨハ 1:1-3, 14

17 ⑥ ニフ 9:15

18 ⑦ 教義 45:1

19 ⑧ GS「創造、創造する」

20 ⑨ GS「暗闇(霊的的な)」

21 ⑩ サ下 22:29

22 ⑪ 教義 20:8-9

23 ⑫ ジー 歴史 1:34

24 ⑬ GS「異邦人」

人の証人の一人となった。

1-2 主の腕は全地のうえにある。3-6 福音を宣べ伝えて人々を救うことは、最も価値のあることである。

1 聴きなさい、わたしの僕ジョンよ。あなたの主であり、あなたの贖い主であるイエス・キリストの言葉に耳を傾けなさい。

2 見よ、わたしはあなたに、はっきりと力強く語る。わたしの腕は全地のうえにあるからである。

3 わたしは、わたしとあなた一人のほかにだれも知らない事柄を告げよう。

4 あなたは自分にとって最も価値のあることを知るために、何度もわたしに願ったからである。

5 見よ、あなたはこのことのゆえに、またわたしがあなたに与えた言葉をわたしの命じたとおりに語ったので、幸いである。

6 さて見よ、わたしはあなたに言う。あなたにとつて最も価値のあることは、この民に悔い改めを告げて人々をわたしのもとに導き、わたしの父の王国で彼らとともに安息を得られるようにするこ

とである。アーメン。

第 16 章

千八百二十九年六月、ニューヨーク州フアイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してピーター・ホイットマー・ジュニアに与えられた啓示(第十四章の前の書を参照)。ピーター・ホイットマー・ジュニアは、後に『モルモン書』に関する八人の証人の一人となった。

1-2 主の腕は全地のうえにある。3-6 福音を宣べ伝えて人々を救うことは、最も価値のあることである。

1 聴きなさい、わたしの僕ピーターよ。あなたの主であり、あなたの贖い主であるイエス・キリストの言葉に耳を傾けなさい。

2 見よ、わたしはあなたに、はっきりと力強く語る。わたしの腕は全地のうえにあるからである。

3 わたしは、わたしとあなた一人のほかにだれも知らない事柄を告げよう。

4 あなたは自分にとって最も価値のあることを知るために、何度もわたしに願ったからである。

第 15 章

2 ① ヒラ 3・29-30、

6 ① 教義 18・15-16、

GS 「伝道活動」

② GS 「天の御父」

③ GS 「神の王国、天の王国」

④ GS 「安息」

第 16 章

1 ① 類似の相互参照として、教義 15 章を参照

5 見よ、あなたはこのことのゆえに、またわたしがあなたに与えた言葉^{ことば}をわたしの命^{いのち}じたとおりに語ったので、幸^{さいわい}いである。

6 さて見よ、わたしはあなたに言う。あなたにとつて最も価値^{かち}のあることは、この民^{たみ}に悔^{くわい}い改^{あらた}めを告^{あつ}げて人々^{ひとびと}をわたしのものに導^{みちび}き、わたしの父^{ちち}の王国^{おうこく}で彼ら^{かれら}とともに安息^{あんそく}を得^えられるようにすることである。アーメン。

第 17 章

千八百二十九年六月、ニューヨーク州^{しゅう}フイエットにおいて、預言者^{よげんしや}ジョセフ・スミスを通してオリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、およびマーティン・ハリスに与えられた啓示^{けいし}。この啓示^{けいし}は、「モルモン書^{しよ}」の記録^{きらく}が刻^きまれていた版^{はん}を目にする前に与えられたものである。ジョセフ・スミスとその筆記者^{きひしや}オリバー・カウドリは、「モルモン書^{しよ}」の版^{はん}の翻訳^{ほんやく}から、三人の特別な証人^{とくべつしやうじん}が指名^{しめい}されることを知^しった（エテル書^{しよ}第五章^{しやう}二一四節、二一ファイ第二書^{だいにしやう}第十一章^{しやう}三節、第二十七章^{だいにしやう}十二節を参照^{さんしやう}）。オリバー・カウドリと、デビッド・ホイットマーと、マーティン・ハリスは、三人の特別な証人^{とくべつしやうじん}となる望^{のぞ}

みを持つよう靈感^{れいかん}によつて促^{うなが}された。預言者^{よげんしや}は主に尋^{たず}ね、その答^{こた}えとしてウリムとトンミムによつてこの啓示^{けいし}が与^{あた}えられた。

1-4 信仰^{しんこう}によつて、三人の証人^{しんしやうじん}は版^{はん}とその他の神聖^{しんせい}な品々^{しんたぐ}を見るであろう。5-9 『モルモン書^{しよ}』が神^{かみ}から与^{あた}えられたものであることについてのキリストの証^{あかし}。

1 見よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたはわたしの言葉^{ことば}に頼^{たの}まなければならぬ。あなたがたは誠心^{せいしん}誠意^{せいい}そうするならば、版^{はん}を目にし、また胸^{むね}当て、ラバンの劍^{けん}、ヤレドの兄弟^{けいだい}が主^{しゆ}と顔^{かほ}と顔を合^あわせて語^{かた}つたときに山^{やま}の上^{うへ}で授^{さづ}けられたウリムとトンミム、またリーハイが紅海^{こうかい}の境^{さかい}の荒^あれ野^のにいたときに授^{さづ}かつた不思議^{ふしぎ}な指示器^{しじき}も目にするであらう。

2 あなたがたがこれらのものを目にするのは、あなたがたの信仰^{しんこう}、すなわち、昔^{むかし}の預言者^{よげんしや}たちが持^もつていたような信仰^{しんこう}によるのである。

3 あなたがたは信仰^{しんこう}を得^えて、自分の目^めでこれらのものを見た後^{のち}、神^{かみ}の力^{ちから}によつてこれらのものについ

第 17 章

1 ①モル6・6、

GS「版」

②2ニフ27・12、

エテ5・214、

教義5・15、「モルモン

書」の序のページの

三人の証人の証を

参照

③1ニフ4・8-9、

2ニフ5・14、

ヤコ1・10、

モサ1・16、

出エ33・11、

⑤創世32・30、

⑥エテ3章

⑦1ニフ2・5、

⑧1ニフ16・10、

16、

⑨29、

アル37・38、

47

⑩GS「ウリムとトン

ミム」

て証ししなければならぬ。

4 あなたがたは、わたしの僕ジョセフ・スミスが滅ぼされることのないようにこのことを行い、わたしがこの業によって人の子らのためにわたしの義にかなった目的を達することができるようになさなければならぬ。

5 あなたがたは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアがこれらのものを見たように、あなたがたもこれらのものを見たことを証ししなければならぬ。彼がこれらのものを見たのはわたしの力によるのであり、それは彼に信仰があったからである。

6 そして、彼はその書を、すなわちわたしが彼に命じた部分を翻訳した。あなたがたの主、あなたがたの神が生きているように、その書は真実である。

7 そのため、あなたがたは彼と同じ力、同じ信仰、同じ賜物を受けた。

8 あなたがたがわたしの与えたこの最後の戒めを行なうならば、地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはない。それは、わたしの恵みがあなたがたに對して十分であり、あなたがたは終わりの日に高

く上げられるからである。

9 わたし、すなわち、あなたがたの主でありあなたがたの神であるイエス・キリストが、これをあなたがたに語ったのは、人の子らのためにわたしの義にかなった目的を達するためである。アーメン。

第 18 章

千八百二十九年六月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミス、オリバー・カウドリ、およびデビッド・ホイットマーに与えられた啓示。

預言者によれば、この啓示によって「この終わりの時に十二使徒が召されることと、教会を築き上げることに關する指示も」明らかにされた。

1-5 聖典には教会を築き上げる方法が示されている。6-8 世の罪悪は熟しつゝある。9-16 人の価値は大いなるものである。17-25 救いを得るために、人々はキリストの名を受けなければならない。26-36 十二使徒の召しと使命が明らかにされる。37-39 オリバー・カウドリとデビッド・ホイットマーは、十二使徒を探し出さなければならない。40-47 救いを得るために、人々は悔い改め、バプ

3 ① GS「証する」
 ① GS「証人」
 6 ① GS「モルモン書」
 ② 2ニフ27:22
 3 ② 2ニフ26:7, 10
 8 ① マツ16:18, 10
 3ニフ11:39
 教義10:69
 ③ ② GS「恵み」
 ③ ③ 1ニフ13:37
 3ニフ27:14, 15, 22
 教義9:14
 ① GS「主」

テスマを受け、戒めを守らなければならぬ。

1 さて見よ、あなた、すなわちわたしの僕オリバー・カウドリがわたしから知りたいた望んだ事柄のため、わたしはこれらの言葉をあなたに与える。

2 見よ、わたしは、あなたが記してきたものが真実であることを、度々わたしの御霊によって示してきた。それゆえ、あなたはそれが真実であることを知っている。

3 そして、あなたはそれが真実であることを知っているの、見よ、わたしはあなたに一つの戒めを与える。あなたは記されているものに頼りなさい。

4 その中には、わたしの教会とわたしの福音とわたしの岩の基について、すべてのことが記されているからである。

5 それゆえ、あなたがわたしの福音とわたしの岩の基の上にわたしの教会を築き上げるならば、地獄の門もあなたに打ち勝つことはない。

6 見よ、世の罪悪は熟しつがある。そして人の子らは、異邦人もイスラエルの家も、ともに悔い改めを促される必要がある。

7 さて、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアにわたしが命じたように、あなたは彼の手によってバプテスマを受けたので、彼はわたしが命じたことを果たした。

8 さて、わたしが目的を達するために彼を召したことを、不思議に思ってはならない。その目的をわたしは知っている。彼はわたしの戒めを熱心に守るならば、祝福されて永遠の命を受けるであろう。彼の名はジョセフである。

9 さて、オリバー・カウドリよ、わたしはあなたと、またデビッド・ホイットマーに戒めとして告げる。見よ、わたしはどこにいる人でもすべての人に悔い改めるように命じる。わたしは、わたしの使徒パウロに語ったようにあなたがたに語る。あなたがたはまさに、パウロが召されたと同じ召しに召されているからである。

10 人の価値が神の目に大いなるものであることを覚えておきなさい。

11 見よ、主なるあなたがたの贖い主は、肉体において死を受けた。それによって、すべての人が悔い改めて自分のもとに来ることができるよう、主

2 ① 教義 6、15、17
 3 ① 教義 98、11、17
 4 ① GS「聖文」聖文の価値」
 4 ① GS「福音」
 6 ① GS「出百」
 6 ① GS「世」
 7 ① GS「異邦人」
 7 ① GS「歴史」70-71
 8 ① GS「熱心」
 8 ② GS「従順、従」
 8 ③ GS「祝福」
 8 ④ GS「祝福」
 8 ⑤ GS「スミス、ジョセフ、ジュニア」
 9 ① GS「人」(聖業を持つ存在としての)
 9 ② GS「人」(聖業を持つ存在としての) 一人の価値」
 11 ① GS「贖い主」
 11 ② GS「十字架の刑」

はすべての人の苦を引き受けた。

12 そして、悔い改めを条件として、すべての人を自分のもとに導くことができるように、主は再び死者の中からよみがえったのである。

13 人が悔い改めるとき、主の喜びはいかに大きなことか。

14 あなたがたはこの民に悔い改めを叫ぶために召されている。

15 あなたがたはこの民に悔い改めを叫ぶことに生涯力を尽くし、一人でもわたしのもとに導くならば、わたしの父の王国で彼とともに受けるあなたがたの喜びはいかに大きなことか。

16 さて、あなたがたがわたしのもとに導いてわたしの父の王国に入れるようにした、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもとに導くとすればその喜びはいかに大きなことか。

17 見よ、わたしの福音はあなたがたの前にある。わたしの岩、またわたしの救いがある。

18 与えられると信じて、信仰をもって、わたしの名によって父に求めなさい。そうすれば、あなたが

たは人の子らに必要なすべてのことを示す聖霊を受けるであろう。

19 もしもあなたがたに信仰と希望と慈愛がなければ、あなたがたは何も行いうことができない。

20 悪魔の教会のほか、いかなる教会とも争ってはならない。

21 キリストの名を受け、まじめに真理を語りなさい。

22 悔い改めて、イエス・キリストであるわたしの名によってバプテスマを受け、最後まで堪え忍ぶ者は皆、救われるであろう。

23 見よ、イエス・キリストとは、父から与えられている名である。この名のほかには、人に救いを与えることのできる名は与えられていない。

24 それゆえ、すべての人は、父から与えられているこの名を受けなければならぬ。この名によって、人々は終わりの日に呼ばれるからである。

25 それゆえ、人々は自分が呼ばれる名を知らなければ、わたしの父の王国に住む場所を得ることはできない。

26 さて見よ、わたしの福音を異邦人とユダヤ人の

11 イザ 53 : 4-5、GS「贖罪」
 12 GS「贖い、贖う」
 12 ① 教義 19 : 4-18、GS「悔い改め」
 12 ② GS「復活」
 14 ① ルカ 15 : 7
 14 ② アル 29 : 1-2、
 15 ① 教義 34 : 5-6、63-57
 15 GS「人（霊を持つ存在としての）一人の価値」
 16 ① GS「神の王国、天の王国」
 16 ② GS「伝道活動」
 16 ③ アル 26 : 11、GS「喜び」
 18 ① GS「救い」
 18 ② ヨハ 15 : 16
 18 ③ GS「祈り」
 18 ④ 教義 88 : 63-65
 19 ① GS「希望」
 19 ② GS「信仰」
 19 ③ GS「慈愛」
 20 GS「悪魔」
 20 ① GS「悪魔」
 20 ② GS「悪魔」
 20 ③ GS「悪魔」
 21 ① GS「悪魔」
 21 ② GS「悪魔」
 21 ③ GS「悪魔」
 21 ④ GS「悪魔」
 21 ⑤ GS「悪魔」
 21 ⑥ GS「悪魔」
 21 ⑦ GS「悪魔」
 21 ⑧ GS「悪魔」
 21 ⑨ GS「悪魔」
 21 ⑩ GS「悪魔」
 21 ⑪ GS「悪魔」
 21 ⑫ GS「悪魔」
 21 ⑬ GS「悪魔」
 21 ⑭ GS「悪魔」
 21 ⑮ GS「悪魔」
 21 ⑯ GS「悪魔」
 21 ⑰ GS「悪魔」
 21 ⑱ GS「悪魔」
 21 ⑲ GS「悪魔」
 21 ⑳ GS「悪魔」
 21 ㉑ GS「悪魔」
 21 ㉒ GS「悪魔」
 21 ㉓ GS「悪魔」
 21 ㉔ GS「悪魔」
 21 ㉕ GS「悪魔」
 21 ㉖ GS「悪魔」
 21 ㉗ GS「悪魔」
 21 ㉘ GS「悪魔」
 21 ㉙ GS「悪魔」
 21 ㉚ GS「悪魔」
 21 ㉛ GS「悪魔」
 21 ㉜ GS「悪魔」
 21 ㉝ GS「悪魔」
 21 ㉞ GS「悪魔」
 21 ㉟ GS「悪魔」
 21 ㊱ GS「悪魔」
 21 ㊲ GS「悪魔」
 21 ㊳ GS「悪魔」
 21 ㊴ GS「悪魔」
 21 ㊵ GS「悪魔」
 21 ㊶ GS「悪魔」
 21 ㊷ GS「悪魔」
 21 ㊸ GS「悪魔」
 21 ㊹ GS「悪魔」
 21 ㊺ GS「悪魔」
 21 ㊻ GS「悪魔」
 21 ㊼ GS「悪魔」
 21 ㊽ GS「悪魔」
 21 ㊾ GS「悪魔」
 21 ㊿ GS「悪魔」
 22 ① GS「悪魔」
 22 ② GS「悪魔」
 22 ③ GS「悪魔」
 22 ④ GS「悪魔」
 22 ⑤ GS「悪魔」
 22 ⑥ GS「悪魔」
 22 ⑦ GS「悪魔」
 22 ⑧ GS「悪魔」
 22 ⑨ GS「悪魔」
 22 ⑩ GS「悪魔」
 22 ⑪ GS「悪魔」
 22 ⑫ GS「悪魔」
 22 ⑬ GS「悪魔」
 22 ⑭ GS「悪魔」
 22 ⑮ GS「悪魔」
 22 ⑯ GS「悪魔」
 22 ⑰ GS「悪魔」
 22 ⑱ GS「悪魔」
 22 ⑲ GS「悪魔」
 22 ⑳ GS「悪魔」
 22 ㉑ GS「悪魔」
 22 ㉒ GS「悪魔」
 22 ㉓ GS「悪魔」
 22 ㉔ GS「悪魔」
 22 ㉕ GS「悪魔」
 22 ㉖ GS「悪魔」
 22 ㉗ GS「悪魔」
 22 ㉘ GS「悪魔」
 22 ㉙ GS「悪魔」
 22 ㉚ GS「悪魔」
 22 ㉛ GS「悪魔」
 22 ㉜ GS「悪魔」
 22 ㉝ GS「悪魔」
 22 ㉞ GS「悪魔」
 22 ㉟ GS「悪魔」
 22 ㊱ GS「悪魔」
 22 ㊲ GS「悪魔」
 22 ㊳ GS「悪魔」
 22 ㊴ GS「悪魔」
 22 ㊵ GS「悪魔」
 22 ㊶ GS「悪魔」
 22 ㊷ GS「悪魔」
 22 ㊸ GS「悪魔」
 22 ㊹ GS「悪魔」
 22 ㊺ GS「悪魔」
 22 ㊻ GS「悪魔」
 22 ㊼ GS「悪魔」
 22 ㊽ GS「悪魔」
 22 ㊾ GS「悪魔」
 22 ㊿ GS「悪魔」
 23 ① マル 1 : 11、使徒 4 : 12、モサ 3 : 17、ヒラ 3 : 28-29、モサ 5 : 9-14
 25 ① GS「日の栄え」
 26 ① 教義 90 : 8-9、112 : 4

両方に告げ知らせるために召される人々がほかにいる。

27 すなわち、十二人いる。この十二人はわたしの弟子となり、彼らはわたしの名を受けるであろう。

この十二人は、十分に固い決意をもってわたしの名を受けたいと願う人々である。

28 そして、彼らが十分に固い決意をもつてわたしの名を受けたいと願うならば、彼らは全世界に出て行って、すべての造られたものにわたしの福音を宣べ伝えるために召される。

29 また彼らは、記されているとおりに、わたしの名によってバプテスマを施すために、わたしから聖任を受ける人々である。

30 あなたがたの前には記されているものがある。それゆえ、あなたがたは、記されている言葉のとおりにそれを執り行わなければならない。

31 さて、わたしはあなたがた十二人に語る。見よ、わたしの恵みはあなたがたに対して十分である。あなたがたはわたしの前をまっすぐに歩まなければならない。罪を犯してはならない。

32 また見よ、あなたがたは、祭司と教師を聖任す

るためにわたしから聖任を受ける人々である。あなたがたの内にある聖霊の力により、また人々に授けられる神の召しと賜物に応じて、わたしの福音を告げ知らせるために、聖任を受ける人々である。

33 わたし、すなわち、あなたがたの主でありあなたがたの神である、イエス・キリストがこれを語った。

34 これらの言葉は人々から、人間から出ているのではなく、わたしから出ているのである。それゆえ、あなたがたは、これらの言葉がわたしから出ているものであつて、人間から出ているものではないことを証しなければならぬ。

35 これらの言葉をあなたがたに語っているのは、わたしの声である。これらの言葉は、わたしの御霊によつてあなたがたに与えられているからである。そして、わたしの力によつて、あなたがたはこれらの言葉を互いに読み合うことができる。わたしの力によらなければ、あなたがたはこれらの言葉を得ることはできない。

36 そのために、あなたがたは、わたしの声を聞いたこと、そしてわたしの言葉を知っていることを証で

27 GS「使徒」
 28 ①マコ16:12
 ②教義1:15・16
 29 GS「福音」
 ③2ツ11:21・28、
 教義20:72・74
 30 ①教義107:23・35
 ①モロ3章、
 32 ①エペ1:21、
 GS「聖任」
 ②2ペテ1:21、
 教義68:3・4
 33 GS「声」
 ①教義1:38、
 GS「証する」

きるのである。

37 さて見よ、わたしはあなたオリバー・カウドリと、またデビッド・ホイットマーに、わたしが語ったような願いを持つ十二人を探し出す務めを与える。

38 あなたがたは、彼らの願いと行いによって彼らを見分けるであろう。

39 あなたがたは彼らを見いだしたら、これらのことを彼らに知らせなければならぬ。

40 また、あなたがたは伏して、わたしの名によって父を礼拝しなければならぬ。

41 また、あなたがたは世の人々に教えを説いて言わなければならぬ。「あなたがたは悔い改めて、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなければならぬ。」

42 すべての人は悔い改めて、バプテスマを受けなければならぬからである。男だけでなく、女も、また責任を負う年齢に達した子供たちもそうしなければならぬ。

43 さて、あなたがたはこれを受けた後、すべてのことについてわたしの戒めを守らなければならぬ。

44 あなたがたの手によって、わたしは人の子らの中に驚くべき業を行い、彼らの多くに罪のあることを自覚させ、彼らが悔い改めて、わたしの父の王国に来られるようにしよう。

45 わたしがあなたがたに与える祝福は、すべてのものに勝っている。

46 あなたがたはこれを受けた後、もしもわたしの戒めを守らなければ、わたしの父の王国に救われることはできない。

47 見よ、わたし、すなわち、あなたがたの主、あなたがたの神、またあなたがたの贖い主であるイエス・キリストが、わたしの御霊の力によってこれを語ったのである。アーメン。

第 19 章

ニユーヨーク州マンチエスターにおいて、ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。千八百二十九年夏に与えられたものと思われる。預言者は彼の記した歴史の中で、この啓示は「永遠なる御方からマーティン・ハリスに与えられた、人間の戒めではなく、神の戒め」であると述べている。

46 45 ①① GS 29 ②アル 36 12 19、
 ①教義 82 35 38
 44 43 ① GS 29 14
 ①「責任を負う」
 ②「礼拝」
 ③ GS 20 71、
 47、68 27、

1-3 キリストは一切の権威を持っておられる。4-5 人は皆悔い改めなければならぬ。そうしなければ苦しみを受ける。6-12 永遠の罰とは神の罰である。13-20 キリストはすべての人に代わって苦しみを負い、人々が悔い改めることによって苦しみを受けることのないようにされた。21-28 悔い改めの福音を宣べ伝えなさい。29-41 喜びのおとずれを告げ知らせなさい。

1 わたしはアルパでありオメガであり、主なるキリストである。すなわち、わたしは初めてであり終りである者、世の贖い主である。

2 わたしは、わたしの属する御方、すなわち父の、わたしについての御心をなし終えた。わたしは万物をわたし自身に従わせようと、このことを行つてきた。

3 わたしは、世の終わりに、最後の大きいなる裁きの日に、サタンと彼の業を滅ぼすほどの一切の権威を保持している。その日に、わたしはすべての人をそのなした行いと業に応じて裁き、世に住む者に宣告を下すであろう。

4 人は皆必ず悔い改めなければならない。そうしな

ければ苦しみを受ける。神であるわたしは無窮である。

5 それゆえ、わたしは宣告する裁きを取り消さない。まことに、わたしの左にいる者たちには、涙を流し、泣きわめき、歯ぎしりをするほどの災いが下るであろう。

6 それでも、この苦痛には終わりがないとは記されておらず、無窮の苦痛と記されている。

7 また、永遠の罰の定めとも記されている。それゆえ、これはほかの聖句よりも明確であつて、人の子らの心に十分に訴え、わたしの名の栄光を表す。

8 わたしはこの奥義をあなたがたに説明しよう。わたしの使徒たちのように、これを知るのはあなたがたにふさわしいからである。

9 わたしはこのことのために選ばれているあなたがたに、まさに一人に語るように語つて、あなたがたがわたしの安息に入れるようにしよう。

10 見よ、神性の奥義は何と深いことか。見よ、わたしは無窮であり、わたしの手から与えられる罰は無窮の罰である。無窮とはわたしの名である。それゆえ、

第19章

- 1 ① 黙示 1・8、11、3・2フ・18、18、
- 2 ① ヨハ 17・4、
- 3 ① ヨハ 17・21、
- 4 ① GS「行い」、
- 5 ① GS「最後の裁き」、
- 6 ① GS「悔い改め」、
- 7 ① GS「世」世の終わり」、
- 8 ① イザ 14・12-17、
- 9 ① ヨハ 3・8、
- 10 ① ニコ 22・26、
- 11 ① 教義 88・111-115
- 12 ① GS「力」、
- 13 ① GS「行い」、
- 14 ① GS「最後の裁き」、
- 15 ① ルカ 13・3、
- 16 ヒラ 14・19
- 17 ① モゼ 1・3
- 18 ① 教義 25・56、
- 19 ① マタ 25・41-43、
- 20 ① 教義 76・105、106、
- 21 ① 138・59
- 22 ① 教義 76・33、44-45
- 23 ① ヒラ 12・25、26、
- 24 ① 教義 29・44
- 25 ① GS「安息」、
- 26 ① ヤコ 4・8、
- 27 ① 教義 76・114、
- 28 ① モゼ 1・3、7、35
- 29 GS「無窮」

11 永遠の罰とは、神の罰である。
12 無窮の罰とは、神の罰である。

13 わたしはあなたに命じる。悔い改めなさい。また、あなたがわたしの名によってわたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアの手より受けた戒めを守りなさい。

14 あなたがそれらを受けたのは、わたしの全能の力による。

15 それゆえ、わたしは、悔い改めるようにあなたに命じる。わたしの口の鞭によって、わたしの憤りによって、またわたしの怒りによって打たれて、つらい苦しみを被ることのないように、悔い改めなさい。これらの苦しみがいかにつらいか、あなたは知らない。いかに激しいか、あなたは知らない。まことに、いかに堪え難いか、あなたは知らない。

16 見よ、神であるわたしは、すべての人に代わってこれらの苦しみを負い、人々が悔い改めるならば苦しみを受けることのないようにした。

17 しかし、もしも悔い改めなければ、彼らはわたしが苦しんだように必ず苦しむであろう。

18 その苦しみは、神であって、しかもすべての中

で最も大いなる者であるわたし自身、苦痛のためにおののき、あらゆる毛穴から血を流し、体と霊の両方に苦しみを受けたほどのものであった。そしてわたしは、その苦い杯を飲まずに身を引くことができればそうしたいと思った。

19 しかしながら、父に栄光があるように。わたしは杯を飲み、人の子らのためにわたしの備えを終えたのである。

20 それゆえ、わたしは再びあなたに命じる。悔い改めなさい。そうしなければ、わたしは全能の力によってあなたをへりくだらせよう。また、あなたの罪を告白しなさい。そうしなければ、あなたはわたしが語ったこれらの罰を受けて苦しむであろう。わたしが御霊を取り去ったときに、あなたはその最も小さなもの、まことにその最も軽度なものを味わったことがある。

21 わたしはあなたに命じる。悔い改めのほかに何も宣べ伝えてはならない。また、わたしの知恵にかなうときまで、これらのことを世の人々に示してはならない。

22 彼らは今は肉に堪えられず、乳を飲まなければ

13 11 マテ 25 : 46
10 ① 教義 5 : 17、19
15 ① アル 36 : 40、41
16 ① 「贖罪」
17 ① 「罪の赦し」
18 ① 「罪の赦し」
19 ① ヨハ 17 : 42、44
20 ① 民数 5 : 6、7、
21 ① モサ 26 : 29
22 ① 教義 58 : 43、44、
22 ① 教義 11 : 9
22 ① ジェ 1 : 18、42
22 ① 教義 50 : 40、41、14、

ならないからである。それゆえ、彼らはこれらのことを知ってはならない。そうでなければ、彼らは滅びるのである。

23 わたしに学び、わたしの言葉を聴きなさい。わたしの御霊の柔和な道を歩みなさい。そうすれば、あなたはわたしによって平安を得るであろう。

24 わたしはイエス・キリストである。わたしは父の御心によって来た。そして、父の御心を行う。

25 さらにまた、わたしはあなたに命じる。あなたは隣人の妻をむさぼってはならない。隣人の命を求めてはならない。

26 さらにまた、あなたに命じる。あなたは自分の財産をむさぼることなく、真理と神の言葉が載っている『モルモン書』を印刷するために惜しみなくそれを分け与えなさい。

27 この書は異邦人にあてたわたしの言葉であり、これはユダヤ人に、すなわちレーマン人はその残りの者である、そのユダヤ人に間もなく伝えられるであろう。それは、彼らが福音を信じて、すでに来ているメシヤが来るのを待ち望むことのないようにするためにである。

28 さらにまた、あなたに命じる。あなたは心の中で祈るだけでなく、声に出しても祈りなさい。隠れて祈るだけでなく、世の人々の前でも祈り、ひそかに祈るだけでなく、公にも祈りなさい。

29 また、あなたは喜びのおとずれを告げ知らせなさい。山々の上で、すべての高い所で、またあなたが会おうのを許されるすべての民の中で、それを告げて広めなさい。

30 また、あなたは謙遜の限りを尽くしてそれを行いなさい。わたしを信頼し、またのしる者へのしり返すことのないようにしなさい。

31 また、あなたは様々な教義を話すことをせず、悔い改めと救い主を信じる信仰、バプテスマによる罪の赦し、および火すなわち聖霊による罪の赦しを告げなさい。

32 見よ、これはこの件についてわたしがあなたに与える、大いなる最後の戒めである。あなたの日々の歩みにとって、生涯の最後までこれで十分だからである。

33 あなたはこれらの勧告を軽んじれば、悲惨を招き、あなたは自身と財産の滅亡さえ招くであろう。

23 ① GS「柔和」
② モロ7：31-4
③ GS「平安、平和」
24 ① GS「イエス、キリスト」
25 ① 出エ20：17、1コリ7：21、4、25 ② GS「貪欲、むさぼり」
27 26 ① GS「真理」
① GS「異邦人」
② GS「ユダヤ人」
③ オム1：14、19、モサ25：21、4、ヒラ8：21、3ニフ2：12、16 ④ GS「メシヤ」
28 ① 教義20：47、51、23 ② 1テモ2：8、「祈り」
31 30 29 ① GS「伝道活動」
① GS「信頼」
2 テモ2：23-24 ② GS「信仰」
③ GS「バプテスマ」
④ GS「罪の赦し」
⑤ マタ3：11 ⑥ GS「聖霊の賜物」
33 32 ① 教義58：26-29 GS「戒め、神の」

34 あなたの財産の一部、すなわちあなたの土地の一部、あなたの家族の扶養分を除くすべてを分け与えなさい。

35 印刷業者との契約によつて生じた負債を支払いなさい。束縛から自らを解放しなさい。

36 家族に会いたいと望むときのほかは、あなたの家と家庭を離れなさい。

37 そして、すべての者に自由に語りなさい。またとに大声で、「ホサナ、ホサナ、主なる神の御名がほめたたえられますように」と叫びながら喜びの声を上げて、説き、勧め、真理を告げ知らせなさい。

38 常に祈りなさい。そうすれば、わたしはあなたに御霊を注ごう。そして、あなたの祝福は大いなるものとなる。まことに、地の宝と、それと同等の腐敗するものを得るよりも、それは大きいであろう。

39 見よ、あなたはこれを読んで、喜ばずに、また喜びのために心を高揚させずにいられようか。

40 あなたは目の不自由な導き手として長く駆け回ることができようか。

41 それとも、あなたは謙遜で、柔和であり、わたし

の前であなた自身賢く振る舞うことができるか。まことに、あなたの救い主であるわたしのもとに來なさい。アーメン。

第 20 章

ニユーヨーク州フアイエットまたはその付近において、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた、教会の組織と管理に関する啓示。この啓示の一部は、千八百二十九年夏にはすでに与えられていたと考えられる。この啓示の全体は、当時「規定と聖約」として知られたものであって、千八百三十年四月六日(教会が組織された日)以降間もなく記録されたものと思われる。預言者は次のように記している。「わたしたちは預言と啓示の霊によつて、イエス・キリストから次の啓示を受けた。わたしたちはこれによつて多くの知識を得ただけでなく、主の御心と命令に従つて、この地上にもう一度主の教会を組織し始めるべき具体的な日取りも指示された。」

1-16 「モルモン書」は、末日の業が神から出ているものであることを証明している。17-28 創造と墮落、贖罪、およびバプテスマの教義が確認される。29-37 悔い

35 34 ① 使徒 4 : 34-35
 ① 「モルモン書」の初版の出版費用の支払いのために
 36 ① ② GS 「負債」
 37 ① ② ③ ④
 38 ① ② ③ ④
 39 ① ② ③ ④
 40 ① ② ③ ④
 41 ① GS 「謙遜」
 ② マタ 11 : 28-30

改めと義認、聖め、およびバプテスマに関する律法が説明される。38—67長老と祭司、教師、および執事の義務が要約される。68—74会員の義務と子供の祝福、およびバプテスマの様式が明らかにされる。75—84聖餐の祈りと教会の会員資格についての決まりが定められる。

1この終わりの時におけるキリストの教会の起り。それは、わたしたちの主であり救い主であるイエス・キリストが肉体を取って来られてから千八百三十年であつて、第四の月、四月と呼ばれる月の第六日に、神の御心と命令により、わが国の法律になつて正式に組織、設立された。

2この命令は、神から召されて、イエス・キリストの使徒に聖任され、この教会の第一の長老となつたジョセフ・スミス・ジュニアと、

3また、イエス・キリストの使徒となり、この教会の第二の長老となるために神から召され、ジョセフ・スミス・ジュニアの手の下で聖任されたオリバー・カウドリに与えられた。

4これは、わたしたちの主であり救い主である、イエス・キリストの恵みによる。主イエス・キリス

トに、今もとこしえにも、すべての栄光がありますように。アーメン。

5この第一の長老は、自分の罪の赦しを受けたことをまことに明らかにされた後、再び世の虚栄に巻き込まれた。

6しかし、彼が信仰によつて悔い改めて心からへりくだると、神は一人の聖なる天使によつて彼を教え導かれた。その天使の顔は稲妻のようであり、その衣はほかのどんな白いものにも勝つて清らかで白かつた。

7そして、神は彼を鼓舞する数々の戒めを下された。

8また、前もつて備えられた手立てによつて『モルモン書』を翻訳するために、高い所から彼に力を授けられた。

9この書には、ある墮落した民の記録と、異邦人ならびにユダヤ人にあてたイエス・キリストの完全な福音が載っている。

10これは靈感によつて与えられ、天使たちの働きによつてほかの人々に確認され、その人々によつて世の人々に知らされるのである。

第20章

1 ① 3—7 27—1—8、
 GS「教会の名称」
 ② 末日聖徒イエス・キリスト教会
 2 ① GS一權威、權限、權能」
 「召し、神の召し」
 3 GS「使徒」
 4 GS「長老」
 5 ① ジー歴史1:28—29
 6 ① ジー歴史1:30—35、
 GS「天使」
 7 ① マタ28:2—3
 8 GS「ワリム」と
 トンムム」
 9 ① ジー歴史1:34
 10 ① モ7:29—32、
 教義5:11
 ②「モルモン書」の序
 のページの「三人の証
 人の証」と「八人の証人
 の証」を参照

11 これらのことは、**聖文**が**真実**であること、また**神**が**実**に人々に**靈感**を与えて、昔と同じようにこの時期と時代にあっても**神の聖なる業**に人々を召しておられることを、**世に証明**している。

12 これによって、**神**は、**御自分が昨日**も、今日も、またとこしえに**変わる**ことのない**神**であることを示しておられるのである。**アーメン**。

13 それゆえ、このような**大いなる証**があるので、**世の人々**、すなわち、この後この**業**について知るすべての人は、これらの**証**によって**裁かれる**であろう。

14 そして、**信仰**をもってこれを**受け入れ**、**義**を行う者は、**永遠の命の冠**を受けらるであろう。

15 しかし、**不信仰**によって**心**をかたくなにし、これを拒む者は、そのことによって**自分の罪の宣告**を招くであろう。

16 **主なる神**がこれを語られたからである。わたしたち、**教会の長老**はこれを聞き、**高い所**におられる**栄えある威光の御方**の**言葉**について**証**する。この**御方**に、とこしえにいつまでも**栄光**がありますように。**アーメン**。

17 これらのことによつて、わたしたちは、**天に神**がおられ、この**神は無限**かつ**永遠**で、**永遠から永遠**にわたつて**変わる**ことのない**同じ神**であり、**天地**とその中にある**万物**を**形造**られた**御方**であることを知つてゐる。

18 また、**神は人**を**創造**された。すなわち、**御自分**の**形**に、**御自分に似せて**、**男と女**に**創造**された。

19 そして、**神は彼らに**、**唯一の生けるまことの神**である**御自分を愛し**、**御自分に仕える**ようにとの**戒め**、また**御自分が彼らの礼拝**すべき**唯一の存在**であるとの**戒め**を与えられた。

20 しかし、これらの**聖なる律法**に背いたことによつて、**人は官能**におぼれ、**悪魔**に従うようになり、**墮落した者**となつた。

21 そこで、**全能の神**は**御自分の独り子**を与えられた。それは、**与えられている聖文**に、**独り子**について書き記されているとおりである。

22 **独り子**は**数々の誘惑**に遭われたが、それらを少しも**心に留められなかつた**。

23 **独り子**は**十字架**につけられ、**死んで**、**三日目**に**よみがえり**、

11 GS「聖文」聖文の価値」
 12 GS「靈感」
 13 GS「聖い」
 14 GS「業」
 15 GS「義」
 16 GS「永遠の命」昇栄」
 17 GS「不信仰」
 18 GS「神、神会」
 19 GS「創造、創造する」
 20 GS「神、神会」
 21 GS「神、神会」
 22 GS「神、神会」
 23 GS「神、神会」

24 御父の右に座して御父の御心に従って全能の力をもって治めるために、天に昇って行かれた。

25 それは、信じて、その聖なる名によってバプテスマを受け、最後まで信仰をもって堪え忍ぶすべての人が救われるためである。

26 すなわち、独り子が時の中間に肉体を取って来られた後に信じた人々だけでなく、時の初めからのすべての人、すなわち、独り子が来られる前にいたすべての人で、聖霊の賜物によって靈感を受けるままに語り、すべてのことにおいて独り子について実際に証した聖なる預言者たちの言葉を信じたすべての人も、永遠の命を得るためであり、

27 また後に来る人々で、御父と御子のことを証する聖霊がもたらされる神の賜物と召しを信じる人々も永遠の命を得るためである。

28 この御父と御子と聖霊は、無限かつ永遠で、終りのない一つの神であられる。アーメン。

29 また、わたしたちは知っている。すなわち、すべての人は悔い改めてイエス・キリストの名を信じ、イエス・キリストの名によって御父を礼拝し、

またイエス・キリストの名を信じて最後まで堪え

忍ばなければならぬ。そうしなければ、神の王国に救われぬ。

30 また、わたしたちは知っている。すなわち、わたしたちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みによる義認は、正しく、かつ真実である。

31 わたしたちはまた知っている。すなわち、わたしたちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みによる聖めは、神を愛し、勢力と思いと力を尽くして神に仕えるすべての人にとって、正しく、かつ真実である。

32 しかし、人が恵みから落ち、生ける神から離れることもあり得る。

33 それゆえ、教会員は誘惑に陥らないように、用心して、常に祈りなさい。

34 まことに、聖められている人々でさえも用心しなさい。

35 また、わたしたちは知っている。すなわち、これらのことは真実であり、ヨハネの啓示にあるとおりであり、わたしたちは彼の書の預言や数々の聖文や、この後聖霊の賜物と力によって、神の聲によって、あるいは天使の働きによって与えられる

24 ① GS 「神、神会」天の御父」なる神」
25 ② GS 「昇天」
26 ① 教義 35 : 2、38 : 4、45 : 5、8、68 : 9、76 : 51-53
② GS 「堪え忍ぶ」
③ ① 教義 39 : 1-3
② モテ 5 : 58、
26 GS 「聖霊」
③ ① イエス・キリストに降誕と死に関する預言」
④ ヤコブ 4 : 4、7、11、モサ 13 : 33
27 ① 教義 42 : 17
② ① 教義 18 : 32
28 ① ヨハ 17 : 20、22、3 : 11、27、36、GS 「神、神会」
29 GS 「悔い改めて」
② ① GS 「信仰」
③ GS 「贖いの計画」
④ 「救い」
30 ① GS 「恵み」
② GS 「義認、義とされる」
31 ① GS 「聖め」
② 申命 6 : 5、モロ 10 : 32
32 ① GS 「背く」
② GS 「背信」
33 ① GS 「誘惑」
② GS 「聖文」
35 ① ① 教義 18 : 33-36

神の啓示に加えることも、そこから取り去ることもない。

36 主なる神がこれらのことを語られた。主なる神の聖なる御名に、今も、またいつまでも、誉れと力と栄光がありますように。アーメン。

37 さらにまた、バプテスマの様式に関して教会に与えられた戒めは、次のとおりである。すなわち、神の前にへりくだって、バプテスマを受けたいと願ひ、打ち砕かれた心と悔いる霊をもつて進み出て、自分のすべての罪を心から悔い改めたことと、最後までイエス・キリストに仕える決心をして進んでイエス・キリストの名を受けることを教会員の前に証明し、また自分の罪の赦しを得るようキリストの御霊を受けたことをその行いによってまことに明らかにする人は皆、バプテスマによってキリストの教会に受け入れられる。

38 長老と祭司、教師、執事、およびキリストの教会の会員の義務は、次のとおりである。すなわち、使徒は長老であり、その召しは、バプテスマを施し、

39 他の長老や祭司、教師、執事を聖任し、

40 キリストの肉と血の象徴であるパンとぶどう酒

の式を執行し、

41 バプテスマを受けて教会に入る人々に、聖文にあるとおりに、火と聖霊によるバプテスマのための按手による確認を行い、

42 教え、説き明かし、勧め、バプテスマを施し、

43 教会員を見守り、

44 按手と聖霊の授与とによって教会員を確認し、

45 またすべての集会を指導することである。

46 長老は、神の戒めと啓示にあるとおりに、聖霊に導かれるままに集会を執り行わなければならない。

47 祭司の義務は、説き、教え、説き明かし、勧め、バプテスマを施し、聖餐を執行することであり、

48 また各会員の家を訪れて、彼らが声に出して祈り、ひそかにも祈るよう、また家庭におけるすべての義務を果たすように勧めることである。

49 祭司はまた、他の祭司や教師、執事を聖任することもできる。

50 また、長老が一人もいないときには、祭司は集会を指導しなければならない。

37 35 黙示22・18-19

36 ① GS「バプテスマ」

36 ② GS「打ち砕かれた心」

36 ③ GS「畏え忍ぶ」

36 ④ GS「イェス・キリスト」

36 ⑤ GS「御名を受ける」

36 ⑥ GS「罪の赦し」

36 ⑦ GS「新ヤコブ2・18、

38 ① GS「使徒」

38 ② GS「3ニフ11・21-22

39 ① GS「モロコ3章、

40 ① GS「聖餐」

40 ② GS「聖霊の賜物」

40 ③ GS「按手」

40 ④ GS「教義33・11、

40 ⑤ GS「15・55・3、

40 ⑥ GS「モロコ6・9、

46 ① GS「教義46・2

46 ② GS「教義84・11、107・61

46 ③ GS「祭司（アロン神権

48 ① GS「家族」

48 ② GS「聖任」

48 ③ GS「教える、教師」

48 ④ GS「1テモ2・8

50 しかし、長老がいるときは、祭司は説き、教え、説き明かし、勧め、バプテスマを施し、
 51 また各会員の家を訪れて、彼らが声に出して祈り、ひそかにも祈るように、また家庭におけるすべての義務を果たすように勧めただけである。

52 これらのすべての義務について、祭司は、必要であれば長老を助けなければならない。

53 教師の義務は、常に教会員を見守り、彼らとともにいて彼らを強めることであり、

54 教会の中に罪悪がないように、互いにかたくなになることのないように、偽り、陰口、悪口のないように取り計らうことであり、

55 また教会員がしばしば会合するように取り計らい、またすべての会員が自分の義務を果たすように取り計らうことである。

56 また教師は、長老や祭司が不在のときに集会を指導しなければならず、

57 必要であれば、教会における教師のすべての職務について、常に執事の助けを受けなければならない。

58 しかし、教師や執事には、バプテスマを施し、

59 しかながら、彼らは警告し、説き明かし、勧め、教え、またキリストのもとに来るようにすべての人を招かなければならない。

聖餐を執行し、按手を行う権能はない。
 60 長老、祭司、教師、執事はそれぞれ、与えらるる神の賜物と召しに応じて聖任されなければならない。また、聖任する者の内にある聖霊の力によって聖任されなければならない。

61 キリストのこの教会を構成する長老たちは、三か月に一度の大会に、あるいはその大会が指示または指定する折々に集まらなければならない。

62 そして、これらの大会は、何でもそのときに行う必要のある教会の業務を行わなければならない。

63 長老たちは、自分が所属する教会の賛意の表明によって、他の長老たちから、あるいは大会から認可書を得なければならない。

64 祭司から聖任を受ける祭司や教師、執事はそれぞれ、そのときに聖任を行う祭司から証明書を受け取ることができる。聖任を受けた者はその証明書書を長老に提示すると、自分の召しの義務を遂行

65 また教員がしばしば会合するように取り計らい、またすべての会員が自分の義務を果たすように取り計らうことである。
 66 また教師は、長老や祭司が不在のときに集会を指導しなければならず、
 67 必要であれば、教会における教師のすべての職務について、常に執事の助けを受けなければならない。
 68 しかし、教師や執事には、バプテスマを施し、

53 52 ① 教義 107 : 14
 ① GS 教師、アロン
 神権の
 54 ① 1 テサ 5 : 11-13
 2 GS 「見守る、見守
 る者」
 60 57 ① ② GS 「執事」
 ② GS 「長老」
 ① GS 「召し、神の
 64 63 ① GS 「同意の律法」
 ① 教義 20 : 84、52 : 41

するための権能を与える認可書を要求できる。あるいは、それを大会から得ることができている。

65 この教会の正式に組織された支部がある所では、その教会の賛意の表明がなければ、だれもこの教会におけるいかなる職にも聖任されることはない。

66 しかし、賛意の表明を求めらるることのできる教会の支部がない所では、管理長老や巡回ビジョッブ、高等評議員、大祭司、長老が、聖任の特権を持つことができる。

67 大神権の長(すなわち管理長老)やビジョッブ、高等評議員、大祭司はそれぞれ、高等評議会あるいは総大会の指示によって聖任されなければならない。

68 パプテスマによって受け入れられた後の会員の義務は、次のとおりである。彼らが聖餐を受け、また長老たちの按手によって確認されるに先立ち、長老または祭司は、キリストの教会に関するすべてのことを説明する十分な時間を取って、彼らが理解できるようにしなければならぬ。それは、すべてが秩序正しく行われるためである。

69 そして会員たちは、聖文にかなった行いと信仰があるように、信仰深い歩みと会話によって、すなわち主の前を聖く歩むことによって、自分がそれを受けるにふさわしい者であることを教会員の前

に、また長老たちの前にも示さなければならない。70 子供を持つキリストの教会の各会員は、教会員の前で長老たちのもとに子供たちを連れて来なければならない。そして長老たちは、イエス・キリストの名によって彼らに手を置き、その名によって

彼らに祝福を授けなければならない。71 人は神の前に責任を負う年齢に達し、かつ悔い改めの能力がなければ、だれもキリストの教会には受け入れられない。

72 パプテスマは、悔い改めるすべての人のために、次の方法で執行しなければならない。73 すなわち、神から召され、イエス・キリストからパプテスマを施す権能を授けられている人は、パプテスマのために出頭した人とともに水の中に降りて行き、彼または彼女の名を呼んで、次のように

言わなければならない。「わたしはイエス・キリストより権能を受けたので、御父と御子と聖霊の御

65 ① 教義26・2、
GS「同意の律法」
67 ① GS「聖任」
② GS「ビジョッブ」
③ GS「大祭司」
④ GS「高等評議会」
68 GS「義務」
② GS「按手」
③ GS「聖餐」
69 GS「理解」
① GS「新ヤコブ」14・17
70 GS「聖き、聖く」
71 GS「祝福—子供の祝福」
① 教義18・42、29・
47、68・25・27、
GS「責任を負う」
② GS「パプテスマ—資格」
③ GS「悔い改め」
3 二711・22・28

名によって、あなたにバプテスマを施します。アーメン。」

74その後、その人は、彼または彼女は水中に沈め、そして再び水から出て来なければならぬ。

75教会員は、主イエスの記念としてパンとぶどう酒を受けるために、しばしば集まる必要がある。

76長老または祭司がこれを執行しなければならぬ。次のような方法で執行しなければならない。

すなわち、彼は教会員とともにひざまずき、厳粛な祈りによって御父に呼び求めて、次のように言わなければならない。

77「永遠の父なる神よ、わたしたちは御子イエス・キリストの御名によってあなたに願います。このパンを頂くすべての人々が、御子の体の記念にこれを頂けるように、また、進んで御子の御名を受け、いつも御子覚え、御子と与えてくださった戒めを守ることを、永遠の父なる神よ、あなたに証明して、いつも御子の御霊を受けられるように、このパンを祝福し、聖めてください。アーメン。」

78ぶどう酒を祝福する方法は、次のとおりである。

る。すなわち、彼はまた杯を取って、次のように言わなければならない。

79「永遠の父なる神よ、わたしたちは御子イエス・キリストの御名によってあなたに願います。このぶどう酒を頂くすべての人々が、この人々のために流された御子の血の記念にこれを頂けるように、また、いつも御子覚えていることを、永遠の父なる神よ、あなたに証明して、御子の御霊を受けられるように、このぶどう酒を祝福し、聖めてください。アーメン。」

80また、戒めに背いている、あるいは過ちに陥っているキリストの教会の会員はだれであるかと、聖文で指示されているとおりに取り扱われなければならない。

81キリストの教会を構成する各教会は、教会の長老たちが開く大会に出席するように一人または複数の教師を派遣する義務がある。

82その際、教師は前回の大会以来教会に加入した会員たちの名簿を携えて出席する。あるいは、それを祭司の手によって送ってもよい。これは、全教会のすべての人名の載っている正式な名簿が、

教会のすべての人名の載っている正式な名簿が、

74 ① GS 「バプテスマ
全身を水に沈める」
75 ① GS 「聖餐」
使徒 20 : 7
77 76 ①②
ルカ 22 : 19
モサ 5 : 8 - 12
③ GS 「従順、従う」
④ モサ 18 : 8 - 10、
⑤ 教義 20 : 37
78 ①②③④⑤
ルカ 22 : 16
ヨハ 14 : 20
モロ 5 : 20
⑥ 教義 27 : 2 - 4
モロ 6 : 4

他の長老たちにより折々に選任される長老によって、一冊の書に保管されるためである。

83 また、もしもだれかが教会から除名されたならば、彼らの名前を人名の一般教会記録から抹消するためでもある。

84 自分の住んでいる場所の教会から転居するすべての会員は、面識のない教会へ行く場合、自分が正式な、ふさわしい会員であることを証明する手紙を携えて行くことができる。その手紙を受ける会員は、長老または祭司をだれか個人的に知っていれば、その証明書にその長老または祭司の署名をもらうことができる。あるいは、教会の教師または執事から署名をもらってもよい。

第21章

千八百三十年四月六日、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。

この啓示は、前述の日に、ピーター・ホイットマー・シニアの家において教会が組織されたときに与えられたものである。以前にバプテスマを受けていた六名の人々が、教会の組織にかかわった。これらの人は、神が命じ

られたとおりに組織したいという彼らの望みと決心とを全会一致で表明した(第二十章を参照)。彼らはまた、

ジョセフ・スミス・ジュニアとオリバー・カウドリを教会の管理役員として受け入れ、支持するという意思の表明も行った。その後、按手によって、ジョセフはオリバーを教会の長老に聖任し、また同様にオリバーもジョセフを教会の長老に聖任した。聖餐の執行後、聖霊の授与と教会員としての確認のために、ジョセフとオリバーは関係者一人一人に按手を施した。

1-3 ジョセフ・スミスは、聖見者、翻訳者、預言者、使徒、および長老として召される。4-8 彼の言葉はシオンの大義を導く。9-12 彼が慰め主によって語るとき、聖徒たちはその言葉を信じるであらう。

1 見よ、あなたがたの間で記録を記さなければならぬ。そして、その記録の中で、父なる神の御心とあなたがたの主イエス・キリストの恵みによって、あなたは聖見者、翻訳者、預言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老と呼ばれなければならない。

83 ① 出エ32、33、アル5、57、モロ6、7、「破門」

第21章

1 ① 教義47、1、69、3、8、85、1、② ③ GS「使徒」

2 あなたは、教会の基を据えて、最も聖なる信仰のためにこれを築き上げるように、聖霊による靈感を受けた。

3 この教会は、あなたがたの主の千八百三十年、第四の月、四月と呼ばれる月の第六日に組織、設立された。

4 それゆえ、わたしの前に聖さを尽くして歩み、彼がわたしの言葉と戒めを受けるとき、あなたがたの教会員は、彼があなたがたに与えるそれらすべてを心に留めなければならぬ。

5 あなたがたは忍耐と信仰を尽くして、あたかもわたし自身の口から出ているかのように、彼の言葉を受け入れなければならない。

6 これらのことを行えば、地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはないからである。そして、主なる神はあなたがたの前から闇の力を追い払い、また、あなたがたのためと、神の名の栄光のために天を震わせるであろう。

7 主なる神はこのように言う。わたしは、善のために大いなる力をもってシオンの大義を推し進めるようにと彼に靈感を与えた。彼が勤勉であるこ

とを、わたしは知っており、また彼の祈りを、わたしは聞いた。

8 まことに、彼がシオンのために涙を流したのを、わたしは見た。そこでわたしは、もうシオンのために彼を嘆き悲しませないようにしよう。彼の罪が赦され、彼の業のうえにわたしの祝福が現れて、彼の喜ぶ日が来た。

9 見よ、わたしは力強い祝福をもって、わたしのぶどう園で働くすべての人を祝福しよう。彼らは、わたしを通じて慰め主によって彼に与えられる言葉を通じて、すなわち悔いる心に罪の赦しをもたらすために、罪人たちによって十字架につけられたことを明らかにする。

10 彼があなた、すなわちわたしの使徒オリバー・カウドリによって聖任されることは、わたしにとって必要である。

11 これはあなたのための儀式である。すなわち、彼はあなたにとつて第一の者であるから、あなたは彼の手の下で長老になる。それによって、あなたはわたしの名を持つこのキリストの教会の長老

3 ① GS「靈感」
 3 ① GS「末日聖徒イエス・キリスト教会」
 ② 教義20・1
 4 ① GS「聖さ、聖く」
 ② GS「聖文」
 5 ① 教義1・38、
 ② 支持（教会指導者の）
 6 ①「預言者」
 ①「マタ16：18、
 教義10・69、12・13」
 7 ① GS「栄光」
 ② GS「栄光」
 ③ 教義35・24
 ④ GS「シオン」
 8 ① 教義20・5、16
 ② GS「ぶどう園（果樹園）（主の）」
 ③「1ニコフ13・37、
 ヤコ5・70、76」
 ④ GS「慰め主、助け主」
 ⑤ GS「世」
 ⑥ GS「1ヨハ2・2、
 従わない人々」
 ⑦ GS「打ち砕かれた心」
 ⑧ GS「十字架の刑」
 ⑨ GS「証する」
 ⑩ 教義20・2

となり、
 12 教会員にとつての、また世の人々の前で、すなわち異邦人の前で、この教会の最初の説教者となるためである。また主なる神はこのように言う。見よ、見よ、あなたはユダヤ人にとつても、この教会の最初の説教者となる。アーメン。

第 22 章

千八百三十年四月十六日、ニューヨーク州マンチエスターにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示は、前にバプテスマを受けた人々が再びバプテスマを受けることなしに教会に加入したいと望んだことから、教会に与えられたものである。

1 バプテスマは、一つの新しくかつ永遠の聖約である。2-4 権能によって執行されるバプテスマが必要とされる。

1 見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしはこのことよって、すべての古い聖約が廃されるようにした。これは一つの新しくかつ永遠の聖約、

すなわち初めからあつたものである。
 2 それゆえ、たとえ人が百度バプテスマを受けたとしても、それはその人にとつて何の役にも立たない。あなたがたはモーセの律法によつても、あなたがたの死んだ行いによつても、狭い門から入ることはできないからである。

3 わたしが、昔に行つたようにわたしのためにこの最後の聖約を立てさせ、この教会を築き上げさせたのは、あなたがたの死んだ行いのゆえである。
 4 それゆえ、わたしが命じたように門から入りなさい。そして、あなたがたの神に忠告しようとしてはならない。アーメン。

第 23 章

千八百三十年四月、ニューヨーク州マンチエスターにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してオリバー・ウドリ、ハイラム・スミス、サミュエル・H・スミス、ジョセフ・スミス・シニア、およびジョセフ・ナイト・シニアに与えられた五つの啓示を一つにまとめたもの。前述の五人が各々の務めを知りたいと真剣に望んだ結果、預言者は主に尋ね、一人一人のために啓示を受けた。

12 ① 1ニフ13・42、
 教義19・27・90・8-9

第22章

1 ① ヘブ8・13、

3 ② 12・46・47

② 教義66・2、

GS 「新しくかつ永遠の聖約」

① 聖約（契約）

2 ① ガラ2・16、

GS 「モーセの律法」

② ② モロ8・23・26

① マタ7・13-14、

ルカ13・24、

2 ニフ9・41、

31・9、17・18、

3 ニフ14・13・14、

GS 「バプテスマ」

② ヤコ4・10

1-7 これら初期の弟子たちは、宣べ伝え、勧め、教員を強めるために召される。

1 見よ、わたしはあなた、オリバーに少しの言葉を語る。見よ、あなたは祝福されており、何ら罪の宣告を受けていない。しかし、あなたは誘惑に陥ることのないように、高慢に気をつけなさい。

2 あなたの召しを教員に、また世の人々の前に知らせなさい。そうすれば、今から後とこしえに真理を宣べ伝えるために、あなたの心は開かれるであろう。アーメン。

3 見よ、わたしはあなた、ハイラムに少しの言葉を語る。あなたもまた何ら罪の宣告を受けていない。またあなたの心は開かれ、あなたの舌は緩められている。そして、あなたの召しは、説き勧め、また絶えず教員を強めることである。あなたの務めはとこしえに教会に対するものである。これはあなたの家族のゆえである。アーメン。

4 見よ、わたしはあなた、サミュエルに少しの言葉を語る。あなたもまた何ら罪の宣告を受けていない。そして、あなたの召しは、説き勧め、また教会員を強めることである。あなたはまた世の人々の前に教えを説くように召されていない。アーメン。

5 見よ、わたしはあなた、ジョセフに少しの言葉を語る。あなたもまた何ら罪の宣告を受けていない。そして、あなたの召しもまた、説き勧め、教員を強めることである。これが今から後とこしえにあなたの務めである。アーメン。

6 見よ、わたしはこれらの言葉によつて、あなた、ジョセフ・ナイトに明らかにする。あなたは自分の十字架を負つて、世の人々の前で声を出して祈り、またひそかにも祈り、また家族の中や、友人たちの中や、あらゆる場所において祈らなければならない。

7 そして見よ、まことの教会に加わり、働き人の報いを受けるために絶えずあなたの言葉をもつて説き勧めるのが、あなたの務めである。アーメン。

第 24 章

千八百三十年七月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに与えられた啓示。教会が組織されてから四か月足らずで

第 23 章

1 ① GS 「誘惑」
 2 ① GS 「高慢」
 3 ① 教義 81・4-5、108・7
 4 ① ジー歴史 1・4
 6 ① マタ 10・38、3二 12・30
 7 ① ② ③ ④ 教義 20・47、51
 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ GS 「祈り」
 ⑨ GS 「バプテスマ」
 必要不可欠な条件

あるが、迫害が激しくなり、指導者たちは、時には隠れて生活することで身の安全を図らなければならなかった。次の三つの啓示は、このときに、彼らを強め、励まし、教えるために与えられたものである。

1-9 ジョセフ・スミスは、翻訳し、教えを説き、聖文を説き明かすために召されている。10-12 オリバー・カウドリは、福音を宣べ伝えるために召されている。13-19 奇跡、のろい、足のちりを払うこと、財布も袋も持たずに出かけることに關しての律法が明らかにされる。

1 見よ、あなたは「モルモン書」を記し、またわたしの務めに携わるために、召され、選ばれた。わたしはあなたを苦難の中から引き上げ、またあなたに勧告したので、あなたはすべての敵から救い出され、サタンの力と暗闇からも救い出された。

2 それでも、あなたは自分が戒めに背いたことについて弁解の余地がない。それでも、あなたの道を行き、これからはもう罪を犯さないようにしなさい。

3 あなたの務めを尊んで大いなるものとしなさい。

い。また、あなたは畑に種をまき、畑を安全にしてから、速やかにゴールドビルと、フエイエツトと、マンチエスターにある教会に行きなさい。彼らはあなたを支えるであろう。そうすれば、わたしは靈的にも物質的にも彼らを祝福しよう。

4 しかし、もしも彼らがあなたを受け入れなければ、わたしは彼らに祝福の代わりにのろいを送るであろう。

5 あなたは引き続きわたしの名によって神に呼び求め、慰め主によってあなたに与えられるものを記し、また教会員にすべての聖文を説き明かさなければならぬ。

6 あなたが語り、また書き記すべきことは、まさにその瞬間にあなたに与えられるであろう。そして、彼らはそれを聞かなければならない。そうしなければ、わたしは彼らに祝福の代わりにのろいを送るであろう。

7 あなたはシオンにおいてすべての務めに献身しなければならぬ。そうすれば、これに關してあなたは力を持つてであろう。

8 苦難の中で忍耐強くありなさい。あなたは多く

2 ① 教義 1:31-32
 3 ① ヤコ 1:19、2:2
 ② 教義 26:1、37:2
 ③ 教義 70:12
 5 ① GS「慰め主、助け主」
 6 ① 出エ 4:12、マタ 10:19、20、ルカ 12:11、20、ヒラ 5:18、19、モセ 6:32、85:100、5:8、7:1
 ① GS「奉仕」
 ② GS「逆境」
 ③ GS「忍耐」

の苦難を受けるからである。しかし、それに耐えなさい。見よ、わたしはあなたの生涯の最後まで、あなたとともにいるからである。

9 世俗の働きについては、あなたは力を持たないであろう。これはあなたの召しではないからである。あなたの召しに励みなさい。そうすれば、あなたの務めを尊んで大いなるものとし、すべての聖文を説き明かすのに必要なものを得るであろう。また、引き続き按手を施し、教会を強めなさい。

10 あなたの兄弟オリバーは、世の人々の前に、また教会員に、わたしの名を伝え続けなければならぬ。彼はわたしの大義のために十分に語れると思つてはならない。また見よ、わたしは最後まで彼とともにいる。

11 彼は弱いときにも、強いときにも、束縛されているときにも、自由なときにも、彼自身によつてではなく、わたしにあつて栄光を得るであろう。

12 また、いつでも、どこでも、彼は口を開き、昼も夜も、ラッパの音のようにわたしの福音を告げ知らせなければならぬ。そうすれば、わたしは人々の中で知られていないほどの力を彼に与える

であろう。

13 わたしがあなたがたに命じないかぎり、悪霊を追い出し、病人を癒し、毒蛇や毒物の毒を消すこと以外の奇跡を求めてはならない。

14 また、聖文が成就するために、これらのことを望む者から求められないかぎり、あなたがたはこれを行つてはならない。あなたがたは記されているとおりに行わなければならないからである。

15 また、あなたがたの入つて行く所がどこであろうと、彼らがわたしの名によつてあなたがたを受け入れなければ、あなたがたは彼らに対して証として足のちりを払い落とし、また道端で足を洗い清めることによつて、祝福の代わりにのろいを残さなければならぬ。

16 そしてまた、だれでもあなたがたに手をかけて暴力を振るおうとする者があれば、あなたがたはわたしの名によつて打たれるように彼らに命じなさい。すると見よ、わたしはふさわしいと思ふときに、あなたがたの言葉のとおりにならぬことを打つて

17 また、だれでもあなたがたを法に訴えようとする者

8 GS「堪え忍ぶ」
 9 GS「管理人、管理人の職」
 10 GS「管理、管理」
 11 GS「管理、管理」
 12 GS「管理、管理」
 13 GS「管理、管理」
 14 GS「管理、管理」
 15 GS「管理、管理」
 16 GS「管理、管理」
 17 GS「管理、管理」
 18 GS「管理、管理」
 19 GS「管理、管理」
 20 GS「管理、管理」
 21 GS「管理、管理」
 22 GS「管理、管理」
 23 GS「管理、管理」
 24 GS「管理、管理」
 25 GS「管理、管理」
 26 GS「管理、管理」
 27 GS「管理、管理」
 28 GS「管理、管理」
 29 GS「管理、管理」
 30 GS「管理、管理」
 31 GS「管理、管理」
 32 GS「管理、管理」
 33 GS「管理、管理」
 34 GS「管理、管理」
 35 GS「管理、管理」
 36 GS「管理、管理」
 37 GS「管理、管理」
 38 GS「管理、管理」
 39 GS「管理、管理」
 40 GS「管理、管理」
 41 GS「管理、管理」
 42 GS「管理、管理」
 43 GS「管理、管理」
 44 GS「管理、管理」
 45 GS「管理、管理」
 46 GS「管理、管理」
 47 GS「管理、管理」
 48 GS「管理、管理」
 49 GS「管理、管理」
 50 GS「管理、管理」
 51 GS「管理、管理」
 52 GS「管理、管理」
 53 GS「管理、管理」
 54 GS「管理、管理」
 55 GS「管理、管理」
 56 GS「管理、管理」
 57 GS「管理、管理」
 58 GS「管理、管理」
 59 GS「管理、管理」
 60 GS「管理、管理」
 61 GS「管理、管理」
 62 GS「管理、管理」
 63 GS「管理、管理」
 64 GS「管理、管理」
 65 GS「管理、管理」
 66 GS「管理、管理」
 67 GS「管理、管理」
 68 GS「管理、管理」
 69 GS「管理、管理」
 70 GS「管理、管理」
 71 GS「管理、管理」
 72 GS「管理、管理」
 73 GS「管理、管理」
 74 GS「管理、管理」
 75 GS「管理、管理」
 76 GS「管理、管理」
 77 GS「管理、管理」
 78 GS「管理、管理」
 79 GS「管理、管理」
 80 GS「管理、管理」
 81 GS「管理、管理」
 82 GS「管理、管理」
 83 GS「管理、管理」
 84 GS「管理、管理」
 85 GS「管理、管理」
 86 GS「管理、管理」
 87 GS「管理、管理」
 88 GS「管理、管理」
 89 GS「管理、管理」
 90 GS「管理、管理」
 91 GS「管理、管理」
 92 GS「管理、管理」
 93 GS「管理、管理」
 94 GS「管理、管理」
 95 GS「管理、管理」
 96 GS「管理、管理」
 97 GS「管理、管理」
 98 GS「管理、管理」
 99 GS「管理、管理」

は、法はによつてのろわれるであらう。

18 また、あなたは財布さいふも、袋かぶろも、杖つえも、二枚まいの上うわ着ぎも持つて行つてはならない。あなたが食物じしょつや、衣服いふくや、履物はきものや、金銭きんせんや、袋かぶろを必要ひつようとするそのときに、教会員きょうかいじんがあなたにそれを与あたえるからである。

19 あなたはわたしのぶどう園えんで、まことに最後さいごに力強く刈り込みをするように召めされている。また、あなたが聖任せいじんしたすべての人もそうである。彼らかれらはまさにこの規範きはんに倣ならつて行おこなわなければならぬ。アーメン。

第 25 章

千八百三十年七月、ペンシルベニア州ハーマニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示けいし（第二十四章の前書きを参照）。この啓示は、預言者の妻エマ・スミスへの主の御みこころ心を示している。

1-6 選ばれた婦人エマ・スミスは、夫を助け、慰めるために召される。7-11 エマは、記録し、聖文を説き明かし、賛美歌を選ぶためにも召される。12-14 義人の歌は主への祈りである。15-16 この啓示にある従順の原

則は、すべての人に当てはまる。

1 わたしがあなた、すなわちわたしの娘エマ・スミスに語る間、主なるあなたの神の声を聴きなさい。まことに、わたしはあなたに言う。わたしの福音を受け入れる者は皆、わたしの王国において息子であり、娘だからである。

2 わたしはあなたに、わたしの思いについて啓示を与える。あなたが忠実であつて、わたしの前に徳の道を歩むならば、わたしはあなたの命を守ろう。そして、あなたはシオンで受け継ぎを得るであらう。

3 見よ、あなたの罪は赦されている。あなたは、わたしが召した、選ばれた婦人である。

4 あなたは見えていないものごとでつぶやいてはならない。それらのものは、あなたにも世の人々にも見せられないからである。こうすることは、將來のためにわたしの知恵にかなうことである。

5 また、あなたが召された務めは、わたしの僕、すなわちあなたの夫であるジョセフ・スミス・ジュニアを、彼が苦難に遭うときに、慰めの言葉をもつ

18 ① マク 10 : 9-10、ルカ 84 : 4、
19 ① ヤコ 5 : 78-79、
② 教義 39 : 17、71、4、
③ GS「聖任」

第 25 章

1 ① ヨハ 1 : 12、
GS「神の息子、娘」
2 ② GS「神の王国」
天の王国」
2 ① GS「徳」ともに」
3 ① GS「歩む（神とも）」
② GS「召し、神の召し」
③ 教義 52 : 42、64 : 30、101 : 18、
GS「シオン」
④ マク 9 : 2

て柔和な心で慰めることである。

6 また、あなたは彼がでて行くときに彼とともに行き、また彼のために筆記者がだれもいないときは、筆記者とならなければならぬ。わたしが、どこでも自分の望む所にわたしの僕オリバー・カウドリを遣わすことができるようにするためである。

7 また、あなたはわたしの御霊により知らされるままに、聖文を説き明かし、教会員に説き勧めるために、彼の手の下で聖任を受けなければならぬ。

8 彼があなたに手を置くと、あなたは聖霊を受けらるであろう。また、あなたの時間は、記録することと、多く学ぶことに費やさなければならぬ。

9 また、あなたの夫が教会の中にあつてあなたを支えるので、あなたは恐れる必要がない。彼の召しは彼らに対するものであつて、わたしが望むことは何事であろうとすべて、彼らの信仰に応じて彼らに明らかにされるのである。

10 まことに、わたしはあなたに言う。あなたはこの世のものを捨てて、この世に勝る世のものを求めなければならぬ。

11 また、教会で利用できるように、あなたに示されるままに、わたしにとって喜びである神聖な賛美歌の選定をする務めがあなたに与えられる。

12 わたしは心の歌を喜ぶからである。まことに、義人の歌はわたしへの祈りである。それに対する答えとして、彼らの頭に祝福が注がれるであろう。

13 また、心を高めて喜び、あなたが交わした聖約を固く守りなさい。

14 柔和な心を持ち続け、また高慢に気をつけなさい。あなたは、あなたの夫と、彼に來る榮光とを喜びなさい。

15 絶えずわたしの戒めを守りなさい。そうすれば、あなたは義の冠を受けるであろう。あなたはこのことを行わなければ、わたしのいる所に來ることはできない。

16 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。これはすべての者へのわたしの声である。アーメン。

第 26 章

千八百三十年七月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミス、オリバー・カウドリ、

5 ① GS 「哀れみ」
 7 ① GS 「任命」
 8 ① GS 「接し」
 9 ① GS 「召し、神の召し」
 10 ① GS 「物欲」
 ② GS 「啓示」
 ③ GS 「預言」
 11 ① GS 「賞美歌」
 ② GS 「心」
 ③ エテ 12 : 4
 12 ① GS 「賞美歌」
 ② GS 「歴上 16 : 9」
 14 ① GS 「柔和」
 ② GS 「義」
 ③ GS 「高慢」
 15 ① GS 「冠」
 ② GS 「義」
 ③ GS 「昇架」
 ④ ヨハ 7 : 34
 16 ① 教義 1 : 38

およびジョン・ホイットマーに与えられた啓示（第二十章の前置きを参照）。

1 彼らは聖文を研究し、教えを説くように指示される。
2 会員の同意の律法が確認される。

1 見よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは次回の大会を開くために西部へ行くまで、聖文を研究することと、教えを説くことと、ゴールズビルの教会を強めることと、必要に応じてその地で仕事に携わることとに時間を費やしなさい。その後、あなたがたの行うべきことが知らされるであろう。

2 すべてのことは、大いなる祈りと信仰によって、教会員の同意を得て行わなければならない。すべてのことを、あなたがたは信仰によって受け入れなければならないからである。アーメン。

第 27 章

千八百三十年八月、ペンシルベニア州ハーモニーにおいて、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。パン

とぶどう酒の聖餐が執行される。宗教上の集まりの準備をするために、ジョセフはぶどう酒を手に入れようとして出かけた。その途中で、天の御使いに会い、この啓示を受けた。一部はそのときに記され、残りは翌九月に記された。当教会の聖餐式では、現在はぶどう酒の代わりに水が使われている。

1-4 聖餐を受けるときに用いられる象徴が説明される。
5-14 キリストとすべての神権時代のキリストの僕たちが、聖餐を受ける。
15-18 神の武具をことごとく身に着けなさい。

1 あなたがたの主、あなたがたの神、あなたがたの贖い主であるイエス・キリストの声を聴きなさい。その言葉は生きていて、力がある。

2 見よ、わたしはあなたがたに言う。聖餐を受けるとき、あなたがたのために葬られたわたしの体に向けて、あなたがたのために流されたわたしの血を父に記念して、それを受けるならば、あなたがたは何を食べ、何を飲んでも差し支えがな

第 26 章

- 1 ① GS 「聖文」聖文の価値
- 2 ② 教義 24・3、37・2
- ① サ上 8・7、モサ 29・26、GS 「同意の律法」

第 27 章

- 1 ① ヒラ 3・29、教義 6・2
- 2 ① GS 「聖餐」
- ② ② GS 栄光
- ③ ③ GS 罪の赦し
- ④ ④ GS 「血」

い。
 3 それゆえ、わたしはあなたがたに戒めを与える。
 あなたがたは敵からぶどう酒も、強い飲み物も買
 ってはならない。

4 それゆえ、あなたがたは、地上に築き上げられ
 るわたしの父のこの王国において、あなたがたの
 中で新たに造ったもののほかは、何も飲んでではな
 らない。

5 見よ、これはわたしの知恵にかなっている。そ
 れゆえ、驚いてはならない。ぶどうの実から造った
 ものを、わたしが地上であなたとともに飲む時が
 来るからである。またそのときに、わたしの完全な
 永遠の福音を載せた『モルモン書』を明らかにする
 ために、わたしがあなたに遣わしたモロナイ、すな
 わちわたしがエフライムの木の記録の鍵をゆだね
 たモロナイとともに、

6 また、世界が始まって以来、終わりの時に関し
 てすべての聖なる預言者たちの口を通して語られ
 た、万物の回復をもたらす鍵をわたしがゆだねた
 エライアスとともに、

7 また、彼(エライアス)がザカリヤを訪れて、ザ

カリヤは息子を持ち、その子は名をヨハネとい
 い、エライアスの霊に満たされると約束を与えた、
 そのザカリヤの息子ヨハネ、

8 すなわち、アロンのように召され聖任されるよ
 うに、わたしの僕であるあなたがた、ジョセフ・ス
 ミス・ジュニアとオリバー・カウドリを、あなたが
 たの受けた最初の神権に聖任するために、わたし
 があなたがたのもとに遣わしたヨハネとともに、

9 また、全地がのろいをもつて打たれることのな
 いように、先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に
 向ける力の鍵をわたしがゆだねたエリヤとともに、
 10 また、数々の約束をとどめるあなたがたの先
 祖、ヨセフとヤコブ、イサク、およびアブラハムと
 ともに、

11 また、すべての者の先祖、すべての者の君、日
 の老いたる者であるミカエル、すなわちアダムと
 ともに、

12 また、わたしがあなたがたのもとに遣わして、
 あなたがたを聖任し、あなたがたを使徒およびわ
 たしの名の特別な証人として確認し、またあなた
 がたの務めの鍵と、わたしが彼らに明らかにした事

5 ① マコ 26、29、
マコ 14、25

② ジー歴史 1、30、34

③ エゼ 37、16、

GS「エフライム・エフ
ライムまたはヨセフの
木」

7 ① GS「エライアス」

② ルカ 1、13、

8 ① 出エ 28、1、28、
41

GS「アロン神権」

9 ① GS「系図」

② 列下 17、1、22、

教義 2 章、110、13、16、

ジー歴史 1、38、39、

GS「エリヤ」

10 ① GS「アブラハムの
聖約(契約)」

12 ① GS「アダム」

② GS「メルキゼデク神権」

③ GS「使徒」

④ GS「使徒」

⑤ GS「使徒」

柄と同じ事柄の鍵を持つことをあなたがたに確認したペテロとヤコブとヨハネ、

13 すなわち、終わりの時代のために、また天にあるものと地にあるものすべてを一つに集める時満ちる時代のために、わたしの王国の鍵と福音の神権時代とをわたしがゆだねた三人とともに、

14 また、父が世からわたしに与えてくださったすべての者とともに、わたしは飲むであろう。

15 それゆえ、あなたがたの心を高めて喜び、また腰に帯を締めなさい。災いの日に耐えられるように、そしてすべてを成し遂げて立つことができるように、わたしの武器を身に着けなさい。

16 それゆえ、立つて真理の帯を腰に締め、正義の胸当てを着け、わたしが天使たちを遣わしてあなたがたに託した平和の福音の備えを足に履き、

17 悪い者の放つ火の矢をことごとく消すことのできる信仰の盾を取り、

18 また、救いのかぶとをかぶり、わたしがあなたがたに注ぐわたしの御霊の剣を取り、わたしがあなたがたに明らかにするわたしの言葉を保ちなさい。

また、あなたがたがわたしに求めるすべてのことに

ついて心を一つにし、わたしが来るまで忠実でありなさい。そうすれば、あなたがたは引き上げられて、わたしのいる所にあなたがたもいるようになるであろう。アーメン。

第 28 章

千八百三十年九月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してオリバー・カウドリに与えられた啓示。教会の会員であるハイラム・ペー

ージは、ある石を手に入れ、その助けによってシオンの建設と教会の秩序について啓示を受けていると公言した。何人かの会員たちはこの主張に欺かれ、オリバー・カウドリさえこれにより誤って影響を受けた。予定されていた大会の直前に、預言者はこの件に関して主に熱心に尋ね、この啓示を受けた。

1ー7 ジョセフ・スミスは奥義の鍵を持っており、彼だけが教会のために啓示を受ける。8ー10 オリバー・カウドリはレーマン人に宣べ伝えなければならぬ。11ー

16 サタンはハイラム・ページを欺き、彼に偽りの啓示を与えた。

13 ① ヤコブ 71、
② 教義 43、28、30
③ 教義 84、100、30
④ エペ 1、9、10、
教義 12、30、124、41
⑤ GS「神権の鍵」
⑥ GS「神権時代」
⑦ マタ 16、19、
⑧ ヨハ 6、37、
⑨ 1、9、11、
⑩ 3、2、24、
⑪ 3、2、24、
⑫ 3、2、24、
⑬ 3、2、24、
⑭ 3、2、24、
⑮ 3、2、24、
⑯ 3、2、24、
⑰ 3、2、24、
⑱ 3、2、24、
⑳ 3、2、24、
㉑ 3、2、24、
㉒ 3、2、24、
㉓ 3、2、24、
㉔ 3、2、24、
㉕ 3、2、24、
㉖ 3、2、24、
㉗ 3、2、24、
㉘ 3、2、24、
㉙ 3、2、24、
㉚ 3、2、24、
㉛ 3、2、24、
㉜ 3、2、24、
㉝ 3、2、24、
㉞ 3、2、24、
㉟ 3、2、24、
㊱ 3、2、24、
㊲ 3、2、24、
㊳ 3、2、24、
㊴ 3、2、24、
㊵ 3、2、24、
㊶ 3、2、24、
㊷ 3、2、24、
㊸ 3、2、24、
㊹ 3、2、24、
㊺ 3、2、24、
㊻ 3、2、24、
㊼ 3、2、24、
㊽ 3、2、24、
㊾ 3、2、24、
㊿ 3、2、24、

1 見よ、わたしはあなた、オリバーに言う。わたしが与えた啓示と戒めに關して、あなたが慰め主によつて教會員に教えるすべてのことを、教會員は聞かなければならない。

2 しかし見よ、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアのほかに、だれもこの教会で戒めと啓示を受けるために任命される者はいない。彼はモーセのように戒めと啓示を受けるからである。

3 あなたは、わたしが彼に与えることにアロンのように従順であり、力と権能をもつてその戒めと啓示を教會員に忠実に告げなければならぬ。

4 あなたはどんなときでも、教會員に語り、あるいは教え、あるいはいつでも戒めを与えるように、慰め主によつて導かれるならば、あなたはそれを行うことができる。

5 しかし、あなたは戒めとして記すのではなく、知恵をもつて記さなければならぬ。

6 また、あなたはあなたの長であり、教会の長である者に命じてはならない。

7 わたしは彼に代わる別の者を彼らのために任命

するまでは、奥義の鍵と封じられている啓示とを彼に授けたからである。

8 さて見よ、わたしはあなたに言う。あなたはレマン人のところへ行き、わたしの福音を宣べ伝えなければならぬ。そして、彼らがあなたの教えを受け入れるならば、彼らの中にわたしの教会が設立されるようにしなければならぬ。また、あなたは数々の啓示を受けるであろうが、それらを戒めとして記してはならない。

9 さて見よ、わたしはあなたに言う。どこにシオンの町が築かれるかは明らかにされておらず、だれもそれを知らない。しかし、それはこの後明らかになるであろう。見よ、わたしはあなたに言う。それはレマン人に近い境の地である。

10 あなたは大会の後まで、この地を去つてはならない。わたしの僕ジョセフは、大会の声によつて大会を管理するように任命されなければならぬ。そして、彼があなたに語ることを、あなたは述べなければならぬ。

11 さらにまた、あなたはあなたの兄弟ハイラム・ページを、彼と二人だけの所へ連れて行き、彼が

第28章

- 1 ① 教義 20・3
- 2 ② GS 慰め主、助け主
- 3 ③ GS 教える、教師—御霊によつて教える
- 2 ① 2ニフ3・14・20
- GS 「スミス、ジョセフ、ジュニア」
- ② 教義 35・17・18、43・4
- 3 ① GS アロン（モーセの兄）
- ② GS 「権威、権限、権能」
- 4 ① 出エ 4・12・16、7
- ① GS 「神の奥義」
- 7 ① GS 「神の奥義」
- ② ② 教義 64・5、84・19
- 8 ① 2ニフ3・18・22、教義 30・5・6、32・1・3
- 9 ② ② 教義 3・19・20
- ① ① 教義 52・42・43、GS 「ジョン」
- 11 ② ② 教義 57・1・3
- ① マタ 18・15

その石によって記録した事柄はわたしから出たものではないこと、そしてサタンが彼を欺いていることを彼に告げなさい。

12 見よ、これらのことは彼に命じられておらず、また教会の聖約に反することは、この教会のだれにも命じられないからである。

13 すべてのことを秩序正しく、信仰の祈りによって、教会員の同意を得て行わなければならない。

14 あなたはレーマン人の中に旅をする前に、教会の聖約にかなって、これらのことをすべて解決する助けをしなければならぬ。

15 また、あなたが行くときから戻るときまで、あなたのなすべきことがあなたに示されるであろう。

16 あなたはいつも口を開き、喜びの声を上げてわたしの福音を告げ知らせなければならない。アーメン。

第 29 章

千八百三十年九月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、六人の長老の居合わせた場所で預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示は、千八百三

十年九月二十六日に始まった大会の何日か前に与えられたものである。

1-8 キリストは御自分の選民を集められる。9-11

キリストの来臨によって福千年が始まる。12-13 十二使徒が全イスラエルを裁く。14-21 数々のしるし、疫病、

荒廃が再臨に先立ってある。22-28 福千年に続いて、最後の復活と最後の裁きがある。29-35 主にとってはずべてが霊にかかわるものである。36-39 悪魔とその軍勢は

天から追い出され、人を誘惑することになった。40-45 墮落と贖罪は救いをもたらす。46-50 幼い子供たちは贖罪によって贖われる。

1 あなたがたの贖い主、わたしは有るといふ大なる者、憐れみの腕があなたがたの罪に対する贖いをした者、イエス・キリストの声を聴きなさい。

2 わたしは自分の民を、すなわち、わたしの声に聞き従って、わたしの前にへりくだり、熱烈な祈りによってわたしを呼ぶすべての者を、めんどりが

羽の下にひなを集めるように集めよう。

3 見よ、まことに、まことに、わたしはあなたが

第 29 章

- 11 黙示 20 : 10
- 13 ③ 教義 43 : 5-7
- 15 ① ① GS 二同意の律法
- 16 ② GS 3 : 5

- 1 GS 「わたしは有る」
- 2 GS 「憐れみ」
- 2 GS 「贖罪」
- 2 GS 「謙遜」
- 3 マタ 23 : 37
- 3 ニフ 10 : 4-6

たに言う。今やあなたがたの罪は赦されているので、あなたがたはこれを受けている。しかし、数々の危険があなたがたに及ぶことのないように、よく覚えておいてこれからはもう罪を犯さないようにしなさい。

4 まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは、ラツパの音のように喜びの声を上げてわたしの福音を告げ知らせるために、世から選び出された。

5 心を高めて喜びなさい。わたしはあなたがたの中に、父に対するあなたがたの弁護者だからである。あなたがたに王国を与えてくださるのは、父の好意である。

6 また、書き記されているように、あなたがたが信仰をもつて、わたしの命じたとおりに一つになり祈つて求めるものは、何でも与えられるであろう。

7 あなたがたはわたしの選民を集めるために召されている。わたしの選民はわたしの声を聴き、その心をかたくなにしないからである。

8 それゆえ、艱難と荒廃が悪人のうえに送られる

日のために、わたしの選民の心を備え、またあらゆる点で備えられるように、彼らはこの地の面の一つの場所に集められなければならない、と父からの定めが出ている。

9 地が熟すその時は近く、その日はもう近づいている。そして、すべて高ぶる者と悪を行う者は、わらのようになる。悪が地上にないように、わたしは彼らを焼き尽くそう、と万軍の主は言う。

10 その時は近く、わたしの使徒たちが語ったことは必ず成就するからである。彼らが語ったようにそれは起こるのである。

11 わたしは力と大いなる栄光とをもって、天のすべての衆群とともに天から姿を現し、千年の間地上で人々とともに義のうちに住む。そして、悪人は耐えられない。

12 さらにまた、まことに、まことに、あなたがたに言う。父の御心によつて堅い定めとして出たことであるが、わたしの使徒たち、すなわち、わたしがエルサレムで務めに携わっていたときにわたしとともにいた十二使徒は、義の衣を身にまとい、その頭に冠をかぶり、わたしと同じように栄光を受け

3 GS「赦し」
 4 ①アル・29・1、2、
 教義19・37・30・9
 5 ①マテ18・7、88・62・63
 32・38・7・20、教義6
 ②GS「弁護者」
 ③GS「神の王国」天
 の王国
 6 ①マコ11・24
 ②③ニフ27・1・2、
 教義84・1
 7 ③マテ21・22、
 ヨハ14・13・21
 84・34、GS「選民」
 ②GS「イスラエル」
 イスラエルの集合
 ③アル5・37・41
 8 GS「心」
 ①教義5・19、
 43・17・27
 9 ①②ニフ20・33、3ニ
 フ25・1、GS「高慢」
 ②ナホ1・10、マラ
 4・1・1ニフ22・15、
 23・ジー歴史1・37
 ③教義45・57、68、
 34、54、64・24、88
 94、101、23・25、133・64
 GS「地球」地球
 の清め
 10 ①GS「イエス・キリス
 トの再臨」
 11 ①ジーマテ1・37
 ②GS「イエス・キリス
 ト」キリストによる福
 千年の統治「福千年」
 12 GS「使徒」
 ②GS「イエス・キリス
 ト」栄光」「栄光」

て、わたしが火の柱の中を来る日にわたしの右に立つてであろう。それは、ほかのだれでもなく、イスラエルの家に属するすべての者を、まことにわたしを愛してわたしの戒めを守ったすべての者を裁くためである。

13 シナイ山であったように、ラツパが長くかつ高く鳴り響き、全地が震動するであろう。そして、彼ら、すなわちわたしにあつて死んだ者が、義の冠を受けるために、わたしのよう義の衣を身にまとうために、わたしとともにいてわたしたちが一つとなるために出て来るであろう。

14 しかし見よ、わたしはあなたがたに言う。この大いなる日が来る前に、太陽は暗くなり、月は血に変わり、星は天から落ちるであろう。また、上には天に、下には地に、さらに大きな数々のしるしがあるであろう。

15 また、多くの人が涙を流し、泣きわめくであろう。

16 また、激しい雹を伴う嵐が送られて、地の作物を損なうであろう。

17 そしてまた、世の悪のゆえに、わたしは悪人に

報復しよう。彼らが悔い改めようとしないからである。わたしの憤りの杯は満ちているからである。見よ、彼らがわたしの言うことを聞かなければ、わたしの血は彼らを清めない。

18 それゆえ、主なる神であるわたしは、地の面にあぶを送る。それらは地に住む者に取り付いてその肉を食い、うじを生じさせるであろう。

19 そして、彼らの舌はこわばり、彼らはわたしに反対して語ることができなくなる。また、彼らの肉は骨から離れ、目はその穴から落ちるであろう。

20 そのとき、森の獣と空の鳥は彼らをむさぼり食うであろう。

21 また、全地の淫婦である大きな忌まわしい教会は、これらのことについて語った預言者エゼキエルの口を通して語られたとおりに、焼き尽くす火によつて倒されるであろう。これらのことはまだ起こっていないが、わたしが生きているように確かに起こる。忌まわしい行いが支配することはないからである。

22 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。千年が終わり、人々が再び彼ら

12 ③ イザ 66 : 15 - 16
 ④ 教義 130 : 7, 133 : 41
 ルカ 22 : 30, 28
 1 ニコ 12 : 9
 モル 3 : 18, 9
 13 ① 教義 43 : 18, 45 : 56
 ② 教義 88 : 97, 133 : 56
 ③ GS 「冠」 - 「昇栄」
 ④ 教義 76 : 94 - 95
 84 : 35, 39
 14 ⑤ 教義 76 : 50
 ① GS 「イエス・キリストの再臨」
 ② ヨエ 2 : 10, 3
 ジーマタ 1 : 33
 15 ③ GS 「時のしるし」
 ① マタ 13 : 42
 16 ① エゼ 38 : 22
 ② 黙示 11 : 19, 16 : 21
 17 GS 「邪悪」
 ② 黙示 16 : 7 - 11
 2 ニコ 30 : 10
 ジーマタ 1 : 53 - 55
 GS 「報復」
 ③ 一ヨハ 1 : 7, アル 11 : 40, 41
 教義 19 : 16, 18, 41
 20 19 ① セカ 14 : 12
 ① イザ 34 : 6, エゼ 39 : 17, 18
 21 ① 黙示 19 : 17, 18
 ② GS 「悪魔 | 悪魔の教会」
 ③ ヨエ 1 : 19 - 20, 2 : 3
 教義 97 : 25, 26
 GS 「地球 (地) | 地球の清め」
 22 ④ 教義 1 : 38
 ① GS 「福千年」

の神を否定し始めるとき、わたしはしはしの間だけ地をそのままにしておこう。

23 そして、終わりが来て、天地は焼き尽くされて過ぎ去り、新しい天と新しい地があるであろう。

24 すべて古いものは過ぎ去り、万物が新しくなるからである。まことに天地とその中にある万物、すなわち人も、獣も、空の鳥も、海の魚も新しくなるのである。

25 髪の毛一筋も、ちりも、失われない。それはわたしの手で造られたものだからである。

26 しかし見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。地が過ぎ去る前に、わたしの天使長ミカエルはラツパを吹き鳴らす。そのとき、墓が開かれるので、すべての死者は目を覚まし、彼ら、すなわちすべての者が出て来る。

27 そして、義人はわたしの右に集められて永遠の命を受けるであろう。また、わたしの左にいる悪人を父の前に持つことを、わたしは恥じる。

28 それゆえ、わたしは彼らに、「のろわれた者どもよ、わたしから離れ去り、悪魔とその使いのため

29 さて見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしはいまだかつて、わたし自身の口から、彼らは戻って来ると告げたことはない。わたしのいる所に、彼らは来ることができなからである。彼らにはその力がないからである。

30 しかし、わたしのすべての裁きが人々に明らか

31 わたしの御霊の力によって、わたしはそれらのもの、すなわち、霊的なものと物質的なもの、両方についてすべてのものを創造した。

32 わたしの業の初めには、先に霊的なものがあり、次に物質的なものがあり、さらにまたわたしの業の終わりには、先に物質的なものがあり、次に霊的なものがある。

33 このように言うのは、あなたがたが自然に理解

22 ② 黙示 20 : 3、
 教義 43 : 30、31、
 88、110、111
 23 GS「世一 世の終わり」
 ① マタ 24 : 14、
 ② マタ 24 : 35、
 ③ ジーマ 1 : 35
 24 GS「地球・地
 最終的な状態」
 ① 黙示 21 : 1-4
 25 ① アル 40 : 23
 26 ① GS「天使長、天使
 のかしら」
 ② GS「ゲーム」
 「ミカエル」
 ③ 1 コリ 15 : 52-55
 ④ GS「不死不滅」
 ⑤ ヨハ 5 : 28-29
 27 GS「義」
 ① マタ 25 : 33、
 ② GS「最後の裁き」
 28 ① マタ 25 : 41、
 教義 29 : 41
 29 ① GS「悪魔」
 ② 教義 43 : 33
 ③ ヨハ 7 : 34、
 教義 76 : 112
 30 ① マタ 19 : 30、
 1 ニコ 13 : 42、
 ② モセ 3 : 4-5
 31 GS「創造、創造す
 る」
 ② GS「霊の創造」
 ① GS「霊の創造」

にとつては、わたしの業には終わりもなく、初めもない。しかし、あなたがたがわたしに求めて心を一つにしているのです、あなたがたが理解できるようにこれが与えられているのである。

34 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしにとつてはすべてが霊にかかわるものであり、わたしはいまだかつて、現世の律法をあなたがたに与えたことがない。どんな人にも、人の子らにも、わたしが創造したあなたがたの先祖アダムにも与えたことがない。

35 見よ、わたしはアダムに、自ら選択し行動する者となることを許した。そして、彼に戒めを与えた。しかし、わたしが彼に与えたのは、現世の戒めではない。わたしの戒めは霊にかかわるものだからである。それらは自然のものでも、現世のものでもなく、肉欲のものでも、官能的なものでもない。

36 そして、アダムは悪魔に誘惑された。見よ、悪魔はアダムの前にいた。悪魔は、「わたしにあなたの誉れを与えてください」と言つて、わたしに背いた。彼の求めた誉れはわたしの力である。また、彼は天の衆群の三分の一を、彼らの選択の自由

によつてわたしから背き去らせた。
37 そして、彼らは落とされて、悪魔とその使いに

なつた。
38 見よ、初めから彼らのために用意された場所がある。その場所は地獄である。

39 また、悪魔が人の子らを誘惑するのは必要である。そうでなければ、人の子らは自ら選択し行動する者とはなれない。苦いことを経験しなければ、甘いことを知ることができないからである。

40 それゆえ、悪魔はアダムを誘惑した。そして、アダムは禁断の実を食べ、戒めに背いた。このようにして、彼は誘惑に負けたので、悪魔の意に従うことになつた。

41 それゆえ、主なる神であるわたしは、彼をその背きのゆえにエデンの園から、わたしの前か追出した。このようにして、彼は霊的に死ぬことになつた。これが第一の死、まことに、わたしが

「のろわれた者どもよ、離れ去れ」と言うときに悪人に宣言される霊的な最後の死と同じものである。しかし見よ、わたしはあなたがたに言う。主なる神であるわたしは、わたしの独り子の名を信じ

33 ①詩篇117:7-8、
モセ1:4
35 ①GS「選択の自由」
②GS「戒め・神の」
36 モセ4:1-4
37 ①GS「救う」
②GS「天上の會議」
③イザ14:12-14、
④教義76:28-29
⑤教義38:1、45、1、
GS「前世」
⑥黙示12:3-4
⑦GS「選択の自由」
38 ①GS「悪魔」
②2ペテ2:4、
ユダ1:6、
モセ7:26
39 ①GS「地獄」
②モセ4:3-4、
GS「誘惑」
40 ①創世3:6、55
②モセ6:13
③モセ4:7-13
④2コリ10:24、
モサ16:3、5、
アル5:41-42
41 ①GS「エデン」
②GS「墮落（アダムとエバの）」
42 ③GS「死（霊の）」
④教義29:27-28、
⑤アル40:26
⑥モセ5:6-8

る信仰による悔い改めと贖いを彼らに告げるために天使たちを遣わすまで、アダムとその子孫が肉体の死を受けることのないようにした。

43 このようにして、主なる神であるわたしは、人に試しの生涯を定めた。人が、すなわち信じるすべての者が、肉体の死によって不死不滅によみがえり、永遠の命を受けられるようにするためである。44 また、信じない者は永遠の罰の定めを受ける。彼らは悔い改めないで、霊的な墮落からの贖いを受けることができないからである。

45 彼らは光よりも闇を愛し、その行いは悪く、自分が徒おうとした者の報いを受けるのである。

46 しかし見よ、わたしはあなたがたに言う。幼い子供たちは、わたしの独り子によって世の初めから贖われている。

47 それゆえ、彼らは罪を犯さない。彼らがわたしの前に責任を負うようになるまで、サタンには幼い子供たちを誘惑する力が与えられないからである。

48 わたしは、大いなることが彼らの父親に求められるように、わたしの望むとおりに、わたし自身

の思いのままに幼い子供たちに行うのである。49 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。知識のある者に、わたしは悔い改めを命じなかったであろうか。

50 また、理解する能力のない者については、書き記されているとおりに行うだけである。さて、わたしはあなたがたに、今はこれ以上のことを告げない。アーメン。

第 30 章

千八百三十年九月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してデビッド・ホイットマー、ピーター・ホイットマー・ジュニア、およびジョン・ホイットマーに与えられた啓示。この啓示は、フエイエットでの三日間の大会後、教会の長老たちが散会する前に与えられたものである。当初は三つの啓示として出版されていたが、預言者は千八百三十五年版の「教義と聖約」でこれを一つにまとめた。

1-4 デビッド・ホイットマーは、熱心に奉仕するのを怠つたために懲らしめを受ける。5-8 ピーター・ホイッ

42 GS 「悔い改め」
43 GS 「贖い、贖う」
44 アル 12:28-30
45 ① 「不死不滅」
② 「死（肉体の）」
46 アル 12:24
47 ① 「モセ」
② 「モセ」
48 GS 「復活」
49 GS 「永遠の命」
50 ① 「教義 19:7-12」
② 「罰の定め」
③ 「ヨハ 3:18-20」
④ 「教義 93:31-32」
⑤ 「モサ 2:32」
⑥ 「アル 3:26-27」
⑦ 「アル 5:41-42」
⑧ 「モロ 8:8、12」
⑨ 「教義 93:38」
⑩ GS 「子供」
⑪ GS 「教義 74:7」
⑫ GS 「贖い、贖う」
⑬ GS 「誘惑」
⑭ GS 「責任を負う」
⑮ GS 「理解」
⑯ ① 「教義 17:7-10」
⑰ ① 「教義 68:25」

トマー・ジュニアは、オリバー・カウドリとともに、レーマン人への伝道に出かけなければならぬ。9-11 ジョーン・ホイットマーは、福音を宣べ伝えるように召される。

1 見よ、わたしはあなた、デビッドに言う。あなたは人を恐れ、当然なすべきであるのにわたしに頼って強さを得ようとしなかった。

2 それどころか、あなたの思いは、あなたの造り主であるわたしにかかわる事柄や、あなたが召された務めよりも、世の事柄のうえにあつた。そして、あなたはわたしの御霊やあなたの上に置かれた人々を心に留めず、わたしから命じられていない者たちに説きつけられてきた。

3 それゆえ、あなたは自分自身でわたしに尋ね、自分が受けた事柄について深く考えるに任されている。

4 また、わたしがあなたにさらに戒めを与えるまで、あなたは父の家に住まなければならぬ。そして、あなたは教会で、また世の人々の前で、さらに周りの地域で、務めに専念しなければならぬ。アーメン。

5 見よ、わたしはあなた、ピーターに言う。あなたは、あなたの兄弟オリバーとともに旅をしなければならぬ。あなたが口を開いてわたしの福音を告げ知らせることを、わたしが必要とする時が来たからである。それゆえ、恐れることなく、むしろあなたの兄弟があなたに与える言葉と忠告を心に留めなさい。

6 また、彼のあらゆる苦難を自分の苦難とし、彼とあなたが救い出されるように、祈りと信仰をもつていつもわたしに向かつて心を高くしなさい。わたしは彼に、レーマン人の中にわたしの教会を築き上げる力を与えたからである。

7 またわたしは、彼の兄弟ジョセフ・スミス・ジュニアのほかに、教会の諸事について教会内で彼の上に立つ助言者をだれも任命していない。

8 それゆえ、これらのことを心に留めて、わたしの戒めを熱心に守りなさい。そうすれば、あなたは祝福されて永遠の命を受けるであろう。アーメン。

9 見よ、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョンに言う。あなたはこれから先、ラツパの音のようにわたしの福音を宣言することを始めなければ

1 ① GS「ホイットマー、デビッド」
 2 ② 使徒5・29
 3 ③ 歴下16・7-9
 4 ④ GS「深く考える」
 5 ⑤ GS「仕える」
 6 ⑥ 「奉仕」
 7 ⑦ GS「ホイットマー、ピーター、ジュニア」
 8 ⑧ GS「モーセ」
 9 ⑨ GS「モーセ」
 10 ⑩ GS「モーセ」
 11 ⑪ GS「モーセ」
 12 ⑫ GS「モーセ」
 13 ⑬ GS「モーセ」
 14 ⑭ GS「モーセ」
 15 ⑮ GS「モーセ」
 16 ⑯ GS「モーセ」
 17 ⑰ GS「モーセ」
 18 ⑱ GS「モーセ」
 19 ⑲ GS「モーセ」
 20 ⑳ GS「モーセ」
 21 ㉑ GS「モーセ」
 22 ㉒ GS「モーセ」
 23 ㉓ GS「モーセ」
 24 ㉔ GS「モーセ」
 25 ㉕ GS「モーセ」
 26 ㉖ GS「モーセ」
 27 ㉗ GS「モーセ」
 28 ㉘ GS「モーセ」
 29 ㉙ GS「モーセ」
 30 ㉚ GS「モーセ」
 31 ㉛ GS「モーセ」
 32 ㉜ GS「モーセ」
 33 ㉝ GS「モーセ」
 34 ㉞ GS「モーセ」
 35 ㉟ GS「モーセ」
 36 ㊱ GS「モーセ」
 37 ㊲ GS「モーセ」
 38 ㊳ GS「モーセ」
 39 ㊴ GS「モーセ」
 40 ㊵ GS「モーセ」
 41 ㊶ GS「モーセ」
 42 ㊷ GS「モーセ」
 43 ㊸ GS「モーセ」
 44 ㊹ GS「モーセ」
 45 ㊺ GS「モーセ」
 46 ㊻ GS「モーセ」
 47 ㊼ GS「モーセ」
 48 ㊽ GS「モーセ」
 49 ㊾ GS「モーセ」
 50 ㊿ GS「モーセ」

ばならない。

10 あなたは、あなたの兄弟フイリップ・パローズの家で、またその周りの地域で、すなわち、あなたが語ることを聞く人々のいる所ならどこでも、そこから去るようにわたしがあなたに命じるまで働かなければならない。

11 今から後、あなたは精神を尽くして、シオンですべての働きをしなければならぬ。まことに、あなたは人がなし得ることを恐れずに、わたしの大義のためにいつも口を開かなければならない。わたしはあなたとともにいるからである。アーメン。

第 31 章

千八百三十年九月、預言者ジョセフ・スミスを通してトーマス・B・マーシユに与えられた啓示。この啓示が与えられたのは、教会の大会直後のことである（第三十章の書きを参照）。トーマス・B・マーシユはこの月の早い時期にバプテスマを受け、この啓示が与えられる前に当教会の長老に聖任されていた。

1-6 トーマス・B・マーシユは、福音を宣べ伝える

ように召され、また家族の幸せが保証される。7-13 彼は忍耐強くあり、常に祈り、慰め主に従うように勧告される。

1 わたしの子トーマスよ。わたしの業を信じる信仰のゆえに、あなたは幸いである。

2 見よ、あなたも家族のゆえに多くの苦難に遭ってきた。それにもかかわらず、わたしはあなたとあなたの家族、すなわちあなたの幼い者たちを祝福しよう。彼らが信じて真理を知り、わたしの教会においてあなたと一つになる日が来る。

3 心を高めて喜びなさい。あなたの伝道の時が来たからである。あなたの舌は緩められ、あなたはこの時代の人々に向かって胸躍る大いなる喜びのおとずれを告げ知らせるであろう。

4 あなたは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアに明らかにされてきたことを告げなければならぬ。あなたはこれから先、教えを説き、すでに白くなり焼かれるばかりになっている畑で刈り入れを始めなければならない。

5 それゆえ、心を尽くして鎌を入れない。そう

第 31 章

11 ① イザ 51 : 7
② GS 畏れ、恐れ
③ マタ 28 : 19 - 20

1 ① GS 「マーシユ、トーマス・B」
3 ① イザ 52 : 7、ルカ 2 : 10-11、モサ 3 : 3-5
4 ① モサ 18 : 19、教義 42 : 12、52 : 36
5 ② 教義 4 : 4-6
③ 黙示 14 : 15

すれば、あなたの罪は赦されて、あなたは背に東を積まれるであらう。働き人が報酬を受けるのは当然だからである。また、あなたの家族は生きるであらう。

6 見よ、まことに、わたしはあなたに言う。しほの間だけ家族を離れて出かけ、わたしの言葉を告げなさい。そうすれば、わたしはあなたの家族のために一つの場所を用意しよう。

7 まことに、わたしは人々の心を開こう。そして、彼らはあなたを受け入れるであらう。また、わたしはあなたの手によって一つの教会を設けよう。

8 あなたは彼らを強くし、彼らが集められるときのために彼らを備えなければならぬ。

9 苦難の中で忍耐強くあり、のしる者にのしり返してはならない。柔和に家を治め、また確固としていなさい。

10 見よ、わたしはあなたに言う。あなたは教会員にとつての医者となるであらう。しかし、世の人々にはそうではない。彼らはあなたを受け入れないからである。

11 あなたはどこでもわたしの望む所に行きなさい

い。あなたのなすべきことと行くべき所は、慰め主によつてあなたに伝えられるであらう。
12 あなたは誘惑に陥つて自分の報いを失うことのないように、常に祈りなさい。
13 最後まで忠実でありなさい。見よ、わたしはあなたとともにいる。これらの言葉は人から出ているものではなく、人々から出ているものでもなく、父の御心によつて、わたし、すなわちあなたの贖い主であるイエス・キリストから出ているものである。アーメン。

第 32 章

千八百三十年十月初めに、ニューヨーク州マンチェスターにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してパーリー・P・ブラットとザイバ・ピーターソンに与えられた啓示。教会員は「モルモン書」から、レーマン人に祝福が与えられると予告されていることを知つて、長老たちはレーマン人に深い関心を持ち、大きな望みを抱いた。その結果、当時西部のインディアンの部族のもとに長老たちを送るべきかどうかについて、御心を示してください。のように主に懇願した。そして、この啓示が与えられた。

5 ② GS 「教し」
 ③ 教義 79 : 3
 ④ ルカ 10 : 3-11、
 教義 75 : 24
 7 ① GS 「改宗」
 ⑧ ① 教義 81 : 5、108 : 7
 9 ① GS 「逆境」
 ③ GS 「忍耐」
 ④ GS 「家族」親の責任
 11 ① GS 「聖靈」
 「悪め主、助け主」
 12 ① GS 「誘惑」
 ② ③ ニフ 18 : 17-21、
 GS 「折り」
 13 ① GS 「堪える志」
 ② マタ 28 : 20
 ③ ④ GS 「イエス・キリスト」権威」

1-3 パーリー・P・プラットとザイバ・ピーターソンは、レーマン人に教えを説くように、またオリバー・カウドリとピーター・ホイットマー・ジュニアに同行するように召される。4-5 彼らは聖文の理解を求めて祈らなければならない。

1 さて、わたしの僕パーリー・P・プラットについて、見よ、わたしは彼に言う。わたしは自分が生きていくように、彼がわたしの福音を告げ知らせ、わたしに学び、また柔和で心のへりくだった者であることを望む。

2 また、わたしが彼に定めたのは、彼がわたしの僕たち、オリバー・カウドリならびにピーター・ホイットマー・ジュニアとともに荒れ野に赴いてレーマン人の中に行くことである。

3 ザイバ・ピーターソンも彼らとともに行かなければならない。また、わたし自身も彼らとともに行き、彼らの中にいるであろう。わたしは父に対する彼らの弁護者であり、何ものも彼らに打ち勝つことはないであろう。

4 また、彼らは書き記されていることを心に留め

なければならない。ほかの啓示を求めてはならない。また、わたしがそれを明らかにして彼らが理解できるように、常に祈らなければならない。5 また、彼らはこれらの言葉を心に留めるようにしなければならない。軽んじてはならない。そうすれば、わたしは彼らを祝福しよう。アーメン。

第 33 章

千八百三十年十月、ニューヨーク州フエイエットにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してエズラ・セアとノースロップ・スイートに与えられた啓示。この啓示を紹介するに当たり、ジョセフ・スミスの歴史によれば、「主はいつも、信仰をもつて熱心に求める人々を教えようとしておられる」と断言されている。

1-4 十一時に福音を告げ知らせるために、働き人たちが召される。5-6 教会が設立され、選民が集められる。7-10 天の王国が近づいているので、悔い改めなさい。11-15 教会は福音の岩の上に建てられる。16-18 花婿が来られるときのために備えなさい。

第 32 章

- 1 ① GS「プラット、パーリー・ペーカー」
- 2 ② マタ 11・28
- 3 ③ ① 教義 3・18
- 4 ④ ② 教義 58・20
- 5 ⑤ ③ 教義 6・32
- 6 ⑥ ② マタ 18・20
- 7 ⑦ ③ 教義 6・32
- 8 ⑧ ② 教義 58・20
- 9 ⑨ ③ GS「弁護者」
- 10 ⑩ ② 教義 84・43
- 11 ⑪ ① ニフ 15・25
- 12 ⑫ ③ 教義 28・2
- 13 ⑬ ② ジー 歴史 1・74
- 14 ⑭ ④ GS「理解」

1 見よ、わたしはあなたがた、すなわちわたしの僕、エズラとノースロップに言う。あなたがたの耳を開き、主なるあなたがたの神の声を聴きなさい。わたしの言葉は生きていて、力があり、もろ刃の剣よりも鋭くて、関節と骨髓、精神と霊とを切り離すほどである。また、わたしは心の思いと志とを見分ける者である。

2 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたはラツパの音のように声を上げ、曲がったよこしまな時代の人々にわたしの福音を告げ知らせるために召されている。

3 見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待っている。今は十一時であり、わたしが働き人をわたしのぶどう園に呼び入れる最後の時である。

4 わたしのぶどう園はことごとく悪くなつており、少数を除いて善を行う者はいない。また、彼らも偽善売教のために度々過ちを犯す。すべての者が腐敗した心を持っているからである。

5 まことに、まことに、あなたがたに言う。わたしはこの教会を設け、荒れ野から呼び出した。

6 同じように、わたしは地の四方からわたしの選

民を、すなわち、わたしを信じてわたしの声に聞き従うすべての者を集めよう。

7 まことに、まことに、あなたがたに言う。畑はすでに白くなり刈り入れを待っている。それゆえ、あなたがたの鎌を入れ、あなたがたの勢力と思いと力を尽くして刈り取りなさい。

8 あなたがたの口を開きなさい。そうすれば、あなたがたの口は満たされるであらう。そして、あなたがたは、エルサレムを出て荒れ野を旅した昔の二ツファイのようになるであらう。

9 まことに、あなたがたの口を開きなさい。惜しんではならない。そうすれば、あなたがたは背に束を積まれるであらう。見よ、わたしはあなたがたとともにいるからである。

10 まことに、あなたがたの口を開きなさい。そうすれば、あなたがたの口は満たされて言うであらう。「悔い改めなさい。悔い改めなさい。主の道を備え、その道筋をまっすぐにしなさい。天の王国が近づいているからである。」

11 まことに、悔い改めなさい。そして、あなたがたは一人一人、自分の罪の赦しのためにバプテス

1 ①ヘブ4・12、
ヒラ3・29、30
②アル18・32
教義6・16
2 ①イサ58・1
3 ①ヨハ4・35、
教義4・4・12・3、
4・3
4 ②マタ20・11・16
③ヤコ5・71、
教義43・28
4 ①GS「ぶらう園
栗樹園(主の)」
②2ニフ28・21・14
モル8・28・41
③ロマ3・12、
教義35・12
4 ④GS「偽善売教」
5 ①GS「末日聖徒イ
ス・キリスト教会」
2ニフ28・14
6 ①②GS「福音の回復」
1ニフ19・15・17
③GS「イスラエル
イスラエルの集合」
8 ①教義88・81
9 ②2ニフ17・28
①詩篇126・6、
アル26・3・5、
教義75・5
11 10 ①マタ3・11・3
①GS「バプテスマ」

マを受けなさい。まことに、水によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、その後、火と聖霊によるバプテスマが来る。」

12 見よ、まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。これがわたしの福音である。そして、人々はわたしを信じる信仰を持たなければならず、そうしなければ決して救われぬ、ということをおぼえておきなさい。

13 この岩の上に、わたしは、わたしの教会を建てよう。まことに、この岩の上にあなたがたは建てられる。そして、あなたがたが続けるならば、地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはない。

14 また、あなたがたは教会の規定を守らなければならぬ。これらを守るようにしなければならぬ。

15 また、あなたがたは信仰を持つている人々を、わたしの教会で按手によって確認しなければならぬ。そうすれば、わたしは彼らに聖霊の賜物を授けよう。

16 『モルモン書』と聖文が、あなたがたを教えるためにわたしから与えられている。また、わたしの御霊の力は万物を生かす。

17 忠実であり、常に祈り、あなたがたのランプの芯を切りそろえて火をともし、油を備えて、花婿が来るときに用意ができていようにしなさい。
18 見よ、まことに、まことに、あなたがたに言う。わたしはすぐに来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第 34 章

千八百三十年十一月四日、ニューヨーク州フレイエツトにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してオーソン・プラットに与えられた啓示。プラット兄弟は、当時十九歳であった。六週間前に、彼は兄パーリー・P・プラットが回復された福音を宣べ伝えるのを聞いて改宗し、バプテスマを受けた。この啓示は、ピーター・ホイツトマー・シアの家で与えられたものである。

1-4 忠実な者は贖罪によって神の子となる。5-9 福音を宣べ伝えることによって、再臨のための道が備えられる。10-12 預言は聖霊の力によって与えられる。

1 わたしの子オーソンよ、主なる神であるわたし

13 12 ① 3ニ27 13-22
13 12 ① GS 出石
② マタ 16-19、
教義 10・69・70
14 ① 第20章のこと(第20章の前置きを参照)。
教義 42・13
15 ① GS「按手」
② 教義 20・41
16 ① ③ ② GS「聖文の賜物」
GS「聖文」
② 2テモ3・16
③ ヨハ6・63
17 ① マタ 25・1-13、
GS「花婿」
18 ① 黙示 22・20、
GS「イエス・キリストの再臨」

第34章
1 ① GS フラット、
オーソン」

し、すなわちあなたの贖いの主であるイエス・キリストがあなたに言うことに耳を傾け、それを聞き、そして見なさい。

2 わたしは世の光であり命である。暗闇の中に輝いている光である。そして、暗闇はそれを理解しない。

3 わたしは自分の命を与えたほどにこの世を愛した。それは信じるすべての者が神の子となるためである。それゆえ、あなたはわたしの子である。

4 あなたは信じたので、幸いである。

5 また、あなたはわたしの福音を宣べ伝えるためにわたしから召されているので、なおさら幸いである。

6 あなたはラッパの音のように長くかつ大きな声を上げ、曲がつたよこしまな時代の人々に悔い改めを叫んで、主の再臨のために道を備えるように召されている。

7 見よ、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。わたしが力と大いなる栄光をもつて雲の中を来る時は、もう近づいている。

8 わたしの来臨の時に、それは大いなる日となる。

る。すべての国民がおののくからである。

9 しかし、その大いなる日が来る前に、太陽は暗くなり、月は血に変わり、星は光を放つのを拒み、落ちる星もある。そして、大いなる滅亡が悪人を待ち受けている。

10 それゆえ、あなたがたの声を上げなさい。惜しんではならない。主なる神が語ったからである。それゆえ、預言しなさい。そうすれば、それは聖霊の力によつて与えられるであろう。

11 あなたが忠実であれば、見よ、わたしが来るまで、わたしはあなたとともにいる。

12 まことに、まことに、あなたに言う。わたしはすぐに来る。わたしはあなたの主であり、あなたの贖い主である。まことにそのとおりである。アーメン。

第 35 章

千八百三十年十二月七日、ニューヨーク州フレイエツトまたはその付近において、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。当時、預言者はほとんど毎日、「聖書」の翻訳に従事していた。その翻訳

2 ①ヨハ1:1-5、
 ②GS「光 キリストの光」
 3 ①GS「贖い主」
 ②GS「贖い、贖う」
 ③ヨハ3:16、15:13、
 ④ヨハ1:9-12、
 ロマ8:14、16-17、
 モセ6:64、68
 4 ①ヨハ20:29
 5 ①GS「召し、神の召し」
 6 ①教義6:9
 7 ①ルカ21:27
 ②黙示1:3
 8 ①ヨエ2:11、
 マラ4:5、
 教義43:17、26、
 GS「イエス・キリストの再臨」
 10 ②イザ54:2
 ①イザ68:1
 ②ペテ1:21

は早くも千八百三十年六月には開始され、オリバー・カウドリとジョン・ホイットマーの二人が筆記者として働いてきた。今や彼らはほかの務めに召されたので、シドニー・リグドンが、この業において預言者の筆記者として働くように神の指名によって召された(第一、第二十節を参照)。この啓示の記録の前書きとして、ジョセフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「十二月に、シドニー・リグドンが主に尋ねるために「オハイオから」やって来た。また、彼とともにエドワード・パートリッジも来た。……これら二人の兄弟たちの到着後間もなく、主はこのように語られた。」

1-2 人々が神の子となる方法。3-7 シドニー・リグドンは、バプテスマを施し、聖霊を授けるために召される。8-12 しるしと奇跡は信仰によって起こる。13-16 主の僕たちは御霊の力によってもるもの国民を持つ。17-19 ジョセフ・スミスは奥義の鍵を持つ。20-21 選民は主の来られる日に堪える。22-27 イスラエルは救われる。

① 主なるあなたがたの神、すなわちアルパであり

オメガであり、初めであり終わりであり、その道が一つの永遠の環である者、昨日も、今日も、またとこしえに変わることはない者の声を聴きなさい。2 わたしは神の子イエス・キリストであり、世の罪のために、すなわちわたしの名を信じるすべての者の罪のために十字架につけられた者である。それは、彼らが神の子となり、わたしが父にあって一つであり、父がわたしにあって一つであられるのと同様に、まことに彼らがわたしにあって一つとなり、わたしたちが一つとなるためである。3 見よ、まことに、まことに、わたしの僕シドニーに言う。わたしはあなたとあなたの行いを見てきた。わたしはあなたの祈りを聞き、一つのさらに大いなる業のためにあなたを備えてきた。4 あなたは大いなることを行うので、祝福されている。見よ、あなたはヨハネのようにわたしの前に道を備えるために、またやがて来るエリヤの前に道を備えるために遣わされた。そして、あなたはそれを知らなかった。

5 あなたは悔い改めのために水によってバプテスマを施したが、人々は聖霊を受けなかった。

第35章

1 ① GS「主」
 ② 黙示1:8、
 ③ 「アルパとオメガ」
 ④ 1ニフ10、19、
 ⑤ 教義3:2
 ⑥ 教義7:13、8、
 ⑦ 教義38:1、4、
 ⑧ 1ニフ10、19、
 ⑨ 教義20:25、
 ⑩ 45:5、8
 2 ① 十字架の刑
 ② GS「神の息子、娘」
 ③ GS「神、神子」
 ④ GS「神、神子」
 ⑤ ヨハ7:20、23、
 ⑥ 「二致」
 ⑦ GS「二致」
 ⑧ マテ3:1、
 ⑨ マテ11:10、
 ⑩ 1ニフ11:27、
 ⑪ 教義84:27、28、
 ⑫ 3ニフ25:5-6、
 ⑬ 教義2:1、10、13-15、
 ⑭ ① 使徒19:1-6

6しかし今、わたしはあなたに一つの戒めを与えらる。あなたは水によってバプテスマを施さなければならぬ。そうすれば、昔の使徒たちが行ったように、按手によって人々は聖霊を受けるであろう。

7また、この地に、すなわち異邦人の中に、一つの大きな業が起るであろう。彼らの愚かさと思まわしい行いが、すべての人の目に明らかにされるであろう。

8わたしは神であり、わたしの腕は短くない。わたしの名を信じるすべての者に、わたしは数々の奇跡としるしと不思議を示そう。

9また、だれでも信仰をもってわたしの名によって求める者は、悪霊を追い出すであろう。病人を癒すであろう。目が見えない者を見るようにし、耳の聞こえない者を聞こえるようにし、口の利けない者を話せるようにし、足の不自由な者を歩けるようにするであろう。

10また、数々の大きなことが人の子らに示される時が、速やかに来る。

11しかし、信仰がなければ、不貞に對する激しい

怒りのぶどう酒をすべての国民に飲ませてきたバビロンの荒廢のほかに、何事も示されないであろう。

12また、わたしがこの時代の人々に送り出した、わたしの完全な福音を受け入れる備えのできた人々以外に、善を行う者はだれもない。

13それゆえ、わたしは、わたしの御霊の力によってもろもろの国民を打ってえり分けるために、世の弱い者たち、無学で見下されている者たちを呼ぶ。

14そして、彼らの腕はわたしの腕となる。わたしは彼らの盾となり、彼らの小盾となる。わたしは彼らの腰に帯を締めよう。そして、彼らはわたしのために勇敢に戦うであろう。彼らの敵は彼らの足に踏まれるであろう。また、わたしは彼らのために剣を下し、わたしの憤りの火によって彼らを守ろう。

15また、貧しい者と柔和な者に福音が宣傳伝えられ、彼らはわたしの來臨の時を待ち望むであろう。それはもう近いからである。

16彼らはいちじくの木のたとえを学ぶであろう。夏は今やすでに近いからである。

6 GS「バプテスマ」
7 GS「授手」
8 GS「聖霊の賜物」
9 GS「異邦人」
10 イザ50・2、59・1
11 GS「信じる」
12 GS「奇跡」
13 GS「信し」
14 GS「バプテスマ」
15 GS「バプテスマ」
16 GS「バプテスマ」
17 GS「バプテスマ」
18 GS「バプテスマ」
19 GS「バプテスマ」
20 GS「バプテスマ」
21 GS「バプテスマ」
22 GS「バプテスマ」
23 GS「バプテスマ」
24 GS「バプテスマ」
25 GS「バプテスマ」
26 GS「バプテスマ」
27 GS「バプテスマ」
28 GS「バプテスマ」
29 GS「バプテスマ」
30 GS「バプテスマ」
31 GS「バプテスマ」
32 GS「バプテスマ」
33 GS「バプテスマ」
34 GS「バプテスマ」
35 GS「バプテスマ」
36 GS「バプテスマ」
37 GS「バプテスマ」
38 GS「バプテスマ」
39 GS「バプテスマ」
40 GS「バプテスマ」
41 GS「バプテスマ」
42 GS「バプテスマ」
43 GS「バプテスマ」
44 GS「バプテスマ」
45 GS「バプテスマ」
46 GS「バプテスマ」
47 GS「バプテスマ」
48 GS「バプテスマ」
49 GS「バプテスマ」
50 GS「バプテスマ」
51 GS「バプテスマ」
52 GS「バプテスマ」
53 GS「バプテスマ」
54 GS「バプテスマ」
55 GS「バプテスマ」
56 GS「バプテスマ」
57 GS「バプテスマ」
58 GS「バプテスマ」
59 GS「バプテスマ」
60 GS「バプテスマ」
61 GS「バプテスマ」
62 GS「バプテスマ」
63 GS「バプテスマ」
64 GS「バプテスマ」
65 GS「バプテスマ」
66 GS「バプテスマ」
67 GS「バプテスマ」
68 GS「バプテスマ」
69 GS「バプテスマ」
70 GS「バプテスマ」
71 GS「バプテスマ」
72 GS「バプテスマ」
73 GS「バプテスマ」
74 GS「バプテスマ」
75 GS「バプテスマ」
76 GS「バプテスマ」
77 GS「バプテスマ」
78 GS「バプテスマ」
79 GS「バプテスマ」
80 GS「バプテスマ」
81 GS「バプテスマ」
82 GS「バプテスマ」
83 GS「バプテスマ」
84 GS「バプテスマ」
85 GS「バプテスマ」
86 GS「バプテスマ」
87 GS「バプテスマ」
88 GS「バプテスマ」
89 GS「バプテスマ」
90 GS「バプテスマ」
91 GS「バプテスマ」
92 GS「バプテスマ」
93 GS「バプテスマ」
94 GS「バプテスマ」
95 GS「バプテスマ」
96 GS「バプテスマ」
97 GS「バプテスマ」
98 GS「バプテスマ」
99 GS「バプテスマ」
100 GS「バプテスマ」

17 またわたしは、わたしの僕ジョセフの手によって、わたしの完全な福音を送り出した。また、わたしは彼を弱い状態にあって祝福した。

18 またわたしは、彼がわたしにつながっていることを条件に、封じられてきたそれらのこと、すなわち世の初めからあったことと、またこの時点からわたしの来臨までにあることの奥義の鍵を彼に与えた。もし彼がわたしにつながっていないならば、わたしは彼の代わりにほかの者を立てよう。

19 それゆえ、彼の信仰がなくならないように、彼を守りなさい。そうすれば、それは慰め主、すなわちすべてのことを知っている聖霊によって与えられるであろう。

20 また、わたしは一つの戒めをあなたに与える。あなたは彼のために書き記さなければならぬ。そうすれば、わたしの胸の内にあるままに聖文が授けられ、わたしの選民は救われるであろう。

21 彼らはわたしの声を聞き、わたしを見、また眠ることなく、わたしが来る日に堪えるであろう。わたしが清いように、彼らは清められるからである。

22 さて、わたしはあなたに言う。彼とともにどまりなさい。そうすれば、彼はあなたとともに旅するであろう。彼を見捨ててはならない。見捨てなければ、これらのことは必ず成就するであろう。

23 また、あなたがたが書き記さなときは、見よ、彼は預言することを許される。あなたはわたしの福音を宣べ伝え、また彼に言葉が与えられるままに、聖なる預言者たちを呼んで彼の言葉を証明しなければならぬ。

24 あなたがたが守る義務のあるすべての戒めと聖約を守りなさい。そうすれば、わたしはあなたがたのために天を震わせよう。そしてサタンはおのき、シオンはもろもろの丘の上で喜び、栄えるであろう。

25 イスラエルは、わたしがふさわしいと思うときに救われるであろう。わたしが与えた鍵によって彼らは導かれ、もはや決して乱されることはない。

26 心を高めて喜びなさい。あなたがたの贖いは近づいている。

27 小さい群れよ、恐れてはならない。わたしが来るまで、王国はあなたがたのものである。見よ、

17 ① 教義 135
② 教義 42
③ タニ 12
④ 9、
マク 13・35、
2ニフ 27・10、11、
エテ 4・4、7、
19 ① 教義 84
② 教義 18
③ 教義 18
④ ヨハ 14・16、26、
20 ① 当時、預言者は啓示に携わっており、シドニー・リグデンはそのための筆記者に召された
21 ① ② ③ 「選民」
④ ヨエ 2・11、
教義 43・17、25、
88・90、133・50、51
22 ① ② GS「イエス・キリストの再臨」
③ マラ 3・2・3
④ GS「清さ」
23 ① ② ③ ④ GS「清さ」
⑤ シドニー・リグデンが筆記に携わらないときは、この意
24 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
25 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
26 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
27 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

わたしはすぐに来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第36章

千八百三十年十二月九日、ニューヨーク州フエイエツトの近くで、預言者ジョセフ・スミスを通してエドワード・パートリッジに与えられた啓示(第三十五章の前書きを参照)。エドワード・パートリッジは「敬虔の模範であり、主の偉人の一人であった」と、ジョセフ・スミスの歴史に述べられている。

1-3 主はシドニー・リグドンの手によって、エドワード・パートリッジに御手を置かれる。4-8 福音を受け入れて、神権を受けるすべての者は、出て行って宣べ伝えるように召される。

1 イスラエルの力ある者である主なる神は、このように言う。見よ、わたしはあなた、すなわちわたしの僕エドワードに言う。あなたは祝福されており、あなたの罪は赦されている。また、あなたはラツバの音のようにわたしの福音を宣べ伝えるために

召されている。

2 わたしは、わたしの僕シドニー・リグドンの手によって、あなたにわたしの手を置こう。そうすれば、あなたはわたしの御霊、聖霊、すなわち慰め主を受けるであろう。その慰め主は、王国にかかわる平和をもたらず事柄をあなたに教えるであろう。

3 そこで、あなたは、「ホサナ、いと高き神の御名がほめたたえられますように」と言い、大声で王国にかかわる事柄を告げなければならぬ。

4 わたしは今、すべての人について、次のような召しと戒めをあなたに与える。

5 この召しと戒めを受け入れて、わたしの僕であるシドニー・リグドンとジョセフ・スミス・ジュニアの前に来るすべての者は、聖任を受けて、もろもろの国民の中に永遠の福音を宣べ伝えるために遣わされなければならない。

6 悔い改めを叫び、「この曲がった時代から救われなさい。そして、火から出て来て、肉によって汚されたその衣さえも忌み嫌いなさい」と言いながら、宣べ伝えるのである。

27 ② 黙示 22・20
第36章

1 ① GS 「イエス・キリスト」
「エホバ」
2 ① GS 「救手」
② GS 「聖霊」
③ 慰め主、助け主
5 ① 教義 42・61
GS 「聖任」
GS 「宣べ伝える」
6 ① 使徒 2・40
② ユダ 1・23

7 この戒めをわたしの教会の長老たちに与えて、真心をもってこれを受け入れるすべての者が、わたしの語ったように、聖任されて遣わされるようにしなければならぬ。

8 わたしは神の子イエス・キリストである。それゆえ、あなたの腰に帯を締めなさい。わたしは突如わたしの神殿に来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第 37 章

千八百三十年十二月、ニューヨーク州フエイエツトの近くで、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。ここで、この神権時代における集合に関して最初の戒めが与えられる。

1-4 聖徒たちはオハイオに集まるように告げられる。

1 見よ、わたしはあなたがたに言う。オハイオに行くまで、あなたがたがこれ以上の翻訳をすることは、わたしにとって必要ではない。これは敵のゆえであり、またあなたがたのためである。

2 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あなたがたはこの地方でわたしの福音を宣傳するまで、そして教会のあるすべての所で、特にゴールズビルで教会を強くするまで、出かけてはならない。見よ、彼らが深い信仰をもってわたしに祈っているからである。

3 さらにまた、一つの戒めをわたしは教会員に与える。わたしが必要としているのは、わたしの僕オリバー・カウドリが彼らのもとに帰るときに備えて、彼らがオハイオに集まることである。

4 見よ、ここに知恵がある。わたしが来るまで、各人に自ら選ばせなさい。まことにそのとおりである。アーメン。

第 38 章

千八百三十一年一月二日、ニューヨーク州フエイエツトにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。このときは、教会の大会であった。

1-6 キリストが万物を創造された。7-8 キリストは聖徒たちの中におられる。聖徒たちは間もなくキリス

8 ① マラ 3 : 1

第 37 章

1 ① すでに実施されて
いる「聖書」の翻訳の
こと

2 ① 教義 24 : 3、26 : 1

3 ① オハイオ州

4 ① GS「選択の自由」

トにまみえる。9-12 すべての肉なるものはキリストの前に墮落している。13-22 キリストは、この世においても永遠にわたつても、御自分の聖徒たちのために約束の地を備えておられる。23-27 聖徒たちは一つとなるように、また兄弟として互いに尊び合うように命じられる。28-29 戦争が予告される。30-33 聖徒たちは高い所から力を授けられ、すべての国民の中に出て行かなければならない。34-42 教会は貧しい人と乏しい人の世話をするように、また永遠の富を求めるように命じられる。

1 主なるあなたがたの神は、このように言う。すなわち、イエス・キリスト、わたしは有るといふ大いなる者、アルパでありオメガであり、初めであり終わりであり、世界が造られる前に永遠の大いなる広がりとの天のすべてのこうごうしい衆群を見た者、

2 すべてのことが目の前にあるのですべてのことを知っている者は、このように言う。

3 わたしは、言葉を発して、それで世界が造られ、万物がわたしによつて存在するようになったその者である。

4 わたしは自分の懐にエノクのシオンを受け入れた者である。また、まことにわたしは言うが、わたしの名を信じたすべての者を受け入れた者である。わたしはキリストであり、わたし自身の名によつて、またわたしが流した血によつて、父の前で彼らのために弁護をしてきた。

5 しかし見よ、世の終わりに訪れる大いなる日の裁きまで、わたしは悪人の残りを暗闇の鎖にとどめてきた。

6 また、わたしの声を聞こうとせずに、心をかたくなにする悪人を、同じようにとどめておこう。彼らの不幸な行く末は、災いである、災いである、災いである。

7 しかし見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの目はあなたがたのうえにある。わたしはあなたがたの中にいるが、あなたがたはわたしを見ることができない。

8 しかし、あなたがたがわたしを見て、わたしのいることを知る日がすぐに来る。暗黒の幕がもたなく裂かれるからである。清められていない者は、その日に堪えられないであろう。

第38章

1 ① GS「わたしは有る」
 ② 黙示 1:8
 ③ 詩篇 90:2
 ④ GS「前世」
 ⑤ 教義 45:1
 2 ① 箴言 5:21、22
 2 ② 2テモ 9:20、21
 2 ③ 教義 88:41、モセ 1:35
 3 ① 詩篇 33:6-9、GS「全知」
 3 ② GS「創造 創造する」
 4 ① JS 創世 14:25-40 (付録、教義 45:11-14、76:66-67、84:99-100、モセ 7:18、121、モセ 7:18、121、GS「シオン」
 2 ② 教義 20:25、35、2、45:3-5
 5 ① GS「贖罪」
 ② GS「最後の裁き」
 ③ 2ペテ 2:4、ユダ 1:6、GS「地獄」
 7 ① 教義 1:1
 ② ② 教義 6:32、29:5
 8 ① 黙示 22:4-5、GS「イエス・キリストの再臨」
 ② GS「清さ」
 ③ マラ 3:2

9 それゆえ、腰に帯を締め、備えなさい。見よ、王国はあなたがたのものであり、そして敵は勝利を得ないであろう。

10 まことに、あなたがたに言う。あなたがたは清いが、すべての者が清いわけではない。また、わたしが心から喜んでゐる者は、ほかにだれもない。

11 すべての肉なるものはわたしの前に墮落している。そして闇の力は、天のすべての衆群の前において、人の子らの中で地上に広ぐ及んでゐる。

12 そのため、沈黙が支配し、すべて永遠なるものは悲しんでゐる。また天使たちは、毒麦を集めてそれを焼くために、地を刈り入れるようにとの大いなる命令を待っている。また見よ、敵は連合してゐる。

13 さて、わたしは一つの秘密、すなわち、時がたつてまことにあなたがたを滅ぼすために密室で行われている一つの事柄をあなたがたに示そう。あなたがたはそれを知らなかった。

14 しかし今、わたしはあなたがたにそれを告げる。あなたがたは祝福されているが、それはあなたがたの罪悪のゆえでも、また不信仰の心のゆえ

でもない。まことにあなたがたのある者はわたしの前に罪悪があるが、それでもわたしは、あなたがたの弱さを憐れもう。

15 それゆえ、あなたがたは今から後、強くありなさい。恐れてはならない。王国はあなたがたのものだからである。

16 また、あなたがたの救いのために、わたしはあなたがたに戒めを与える。わたしはあなたがたの祈りを聞き、貧しい者がわたしの前へ訴えたからである。わたしは富んでゐる者をつ造つた。すべての肉なるものはわたしのものであり、わたしは人を偏り見ない者である。

17 わたしは地を豊かに造つた。見よ、それはわたしの足台である。それゆえ、わたしは再びその上に立つ。

18 わたしはさらに大いなる富、すなわち、主が来るときにまつたくのろいのない一つの約束の地、乳と蜜の流れる一つの地をあなたがたに差し出して授けよう。

19 あなたがたが一心に求めるならば、わたしはあなたがたの受け継ぎの地としてそれを与えよう。

20 ルカ 6 : 20
 21 「神の王国、天の王国」
 22 GS「清いものと清くないもの」
 23 ① イザ 1 : 30
 24 ② 教義 33 : 4
 25 ③ ミカ 3 : 6、
 26 教義 112 : 23、
 27 モセ 7 : 61、62
 28 ① モセ 7 : 41
 29 ② 教義 86 : 3、7
 30 ③ 教義 88 : 94、
 31 ④ マタ 13 : 30
 32 ⑤ GS「刈り入れ」
 33 ① 教義 5 : 32、33
 34 ② GS「勇敢、勇気」
 35 ③ GS「畏れ、恐れ」
 36 ④ 人への恐れ
 37 ① モサ 4 : 16、18
 38 ② サ上 2 : 7
 39 ③ 使徒 10 : 34、
 40 モ 8 : 11、12、
 41 教義 1 : 34、35
 42 ① 1ニフ 17 : 39、
 43 アブ 2 : 7

20 これがあなたがたと交わすわたしの聖約である。すなわち、大地のあるかぎり、あなたがたはその地をあなたがたの受け継ぎの地として、またあなたがたの子孫の受け継ぎとしていつまでも所有するであろう。また、あなたがたは再び永遠にそれを所有し、それはもう過ぎ去ることはないであろう。

21 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。やがてあなたがたは王も支配者も持たなくなる。わたしがあなたがたの王となり、あなたがたを見守るからである。

22 それゆえ、わたしの声を聞いて、わたしに従いなさい。そうすれば、あなたがたは自由な民となり、わたしが来るときにわたしの律法のほかにどんな法も持たないであろう。わたしがあなたがたの立法者だからである。何がわたしの手をとどめることができるであろうか。

23 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしがあなたがたを任命したその職に応じ、互いに教え合いなさい。

24 各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊び、わたしの前で徳高く聖くあるようにしな

さい。

25 また重ねて、あなたがたに言う。各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊びなさい。

26 あなたがたの中に、十二人の息子も持つていて、彼らを決して偏り見ることなく、彼らから従順に仕えられているのに、息子の一人に「あなたは礼服を着てここに座りなさい」と言い、またほかの息子に「あなたはほろを着てそこに座りなさい」と言い、息子たちを見て、「わたしは公平だ」と言う者がいるであろうか。

27 見よ、わたしはあなたがたに、これを一つのたとえとして告げた。これはまさにわたしのようである。わたしはあなたがたに言う。一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。

28 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。密室の敵はあなたがたの命をねらっている。

29 あなたがたは遠くの国々における戦争について聞くと、遠くの国々で間もなく大きな戦争があると言う。しかし、あなたがたはあなたがた自身の地における人々の心を知らない。

21 ① 教義 45・58

2 ① ゼカ 14・9、

2 ニフ 10・14、

アル 5・50、

22 ① ヨハ 10・27

② GS「イエス・キリス

ト・キリストによる福

千年の統治」

③ イザ 33・22、

ミカ 4・2、

教義 45・59

23 ① 教義 88・77・79、

118、122、

24 ① 申命 17・6、

1 コリ 1・20、

27 ① ヨハ 17・21・23、

1 コリ 1・10、

エペ 4・11・14、

3 ニフ 11・28・30、

モセ 7・18、

29 ① 教義 5・33、

② GS「一致」

26 ① 教義 45・33、

26 ② 教義 26・33、

130・133、

12 63・38、

13

30 わたしはあなたがたの祈りにこたえて、これらのことをあなたがたに告げる。それゆえ、あなたがたの胸に知恵を蓄えなさい。人々の悪が、その悪事によって、地を震わす声よりも大きな声でああなたがたの耳もとに語る方法で、あなたがたにこれらのことを明らかにすることのないようにするためにである。しかし、備えていれば恐れることはない。31 あなたがたが敵の力から逃れ、染みがなく、罪もない、義になつた民としてわたしのもとに集められるために、

32 このために、わたしは、オハイオへ行くようにという戒めをあなたがたに与えたのである。わたしはそこであなたがたにわたしの律法を与えよう。あなたがたはそこで、高い所から力を授けられるであろう。

33 そしてそこから、わたしの望む者がすべての国民の中に出て行くであろう。また、彼らのなすべきことが、彼らに告げられるであろう。わたしには備えてある一つの大きな業がある。イスラエルは救われ、わたしは自分の望む所に彼らを導く。そして、どのような力もわたしの手をとどめ得な

いであろう。

34 さて、わたしはこの地方の教会に戒めを与える。彼らの中のある人々を任命しなければならぬ。教会員の声によって任命しなければならぬ。35 これらの人は貧しい者と乏しい者の世話をし、彼らが苦しみを受けることのないように必要なものを与え、わたしが命じた場所に彼らを送り出すようにしなければならぬ。

36 この教会の財産に関する諸事をつかさどることが、彼らの仕事となる。

37 また、売ることのできない農場を持つてゐる者たちは、それをそのまましておくか、賃貸するか、彼らが良いと思うままにしない。

38 気をつけて、すべてのものが保たれるようにしなさい。人々が高い所から力を授けられて送り出されるときに、これらすべてのものは教会の懐に集められるであろう。

39 また、父があなたがたに与えたいと望んでおられる富を、あなたがたが求めるならば、あなたがたはすべての民の中で最も富んだ者になるであろう。あなたがたは永遠の富を持つからである。地

30 ①GS「知恵」
②「ジーマク」
③「2ペテ3:14」
④「教義37:3」
⑤「ルカ24:49、49」
⑥「教義37:8、8」
⑦「110」
⑧「9」
⑨「10」
⑩「15」
⑪「17」
⑫「17」
⑬「17」
⑭「17」
⑮「17」
⑯「17」
⑰「17」
⑱「17」
⑲「17」
⑳「17」
㉑「17」
㉒「17」
㉓「17」
㉔「17」
㉕「17」
㉖「17」
㉗「17」
㉘「17」
㉙「17」
㉚「17」
㉛「17」
㉜「17」
㉝「17」
㉞「17」
㉟「17」
㊱「17」
㊲「17」
㊳「17」
㊴「17」
㊵「17」
㊶「17」
㊷「17」
㊸「17」
㊹「17」
㊺「17」
㊻「17」
㊼「17」
㊽「17」
㊾「17」
㊿「17」

の富はわたしのものであり、わたしがそれを与えるのである。しかし、あなたがたは昔の二ツファイ人のようにならないよう、高慢に気をつけなさい。

40 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに戒めを与える。長老も、祭司も、教師も、また会員も、すべての人がわたしの命じたことを準備して成し遂げるために、勢力を尽くし、その手の労苦を尽くしなさい。

41 また、あなたがたの教えを説くことが警告の声となるように、各人がそれぞれ隣人に、穏やかに、かつ柔和に警告するようにしなさい。

42 あなたがたは悪人の中から出なさい。あなたがた自身を救いなさい。主の器を担う者たちよ、清くあらいなさい。まことにそのとおりである。アーメン。

第 39 章

千八百三十一年一月五日、ニューヨーク州フエイエツトにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してジェームズ・コベルに与えられた啓示。ジェームズ・コベルは、およそ四十年間メソジスト派の牧師を務めた人であるが、彼は主が預言者ジョセフを通して与えてくださる戒

めには何でも従うと、主に聖約した。

1-4 聖徒たちは神の子となる力を持つている。5-6 福音を受け入れることは、キリストを受け入れることである。7-14 ジェームズ・コベルは、バプテスマを受けて、主のぶどう園で働くように命じられる。15-21 主の僕たちは、再臨の前に福音を宣べ伝えなければならぬ。22-24 福音を受け入れる者は、この世においても永遠にわたつても集められる。

1 永遠から永遠にわたつて存在する者、わたしはあるという大いなる者、すなわちイエス・キリストの声に耳を傾け、聴きなさい。

2 わたしは世の光であり命である。暗闇の中に輝いている光である。そして、暗闇はそれを理解しない。

3 わたしは時の中間にわたしの民のところに来た者である。そして、民はわたしを受け入れなかった。

4 しかし、わたしは、わたしを受け入れたすべての者に、わたしの子となる力を与えた。またその

第 39 章

- 39 ハガ 2 : 8
- 40 モロ 8 : 27
- 41 1 コリ 4 : 12
- 42 GS 「直べ伝える」イザ 52 : 11
- 1 ①ヘブ 13 : 8、
- 2 ②出エ 3 : 14、
- 3 ①教義 20 : 26、
- 4 ①ヨハ 1 : 12、
- GS 「神の息子、娘」

ように、わたしを受け入れるすべての者に、わたしの子となる力を与えよう。

5 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの福音を受け入れる者はわたしを受け入れ、また、わたしの福音を受け入れない者はわたしを受け入れないのである。

6 そして、これこそわたしの福音である。すなわち、悔い改めと、水によるバプテスマ、その後、火と聖霊によるバプテスマがある。聖霊すなわち慰め主は、すべてのことを示し、王国にかかわる平和をもたらず事柄を教える。

7 さて見よ、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジェームズに言う。わたしはあなたの行いを見てきて、あなたを知っている。

8 まことに、わたしはあなたに言う。あなたの心は現在、わたしの前に正しい。また見よ、わたしはあなたの頭に数々の大いなる祝福を授けてきた。

9 それにもかかわらず、あなたが高慢と世の思い煩いのために、何どもわたしを拒んだからである。

10 しかし見よ、あなたがわたしの声を聴くなら

ば、あなたの救いの日は来ている。わたしの声はあなたに言う。「わたしの名を呼び、立つてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い清めなさい。そうすれば、あなたはわたしの御霊と、かつて知らなかったほどの大いなる祝福を受けるであろう。」

11 あなたがこれを行うならば、わたしは一つのさらに大いなる業のためにあなたを備えている。あなたは、わたしがこの終わりの時に送り出したわたしの完全な福音、すなわち、わたしがイスラエルの家に属するわたしの民を再び元に戻すために送り出した聖約を宣べ伝えるであろう。

12 そして、力があなたに宿るであろう。あなたは、大いなる信仰を持ち、わたしはあなたとともにいて、あなたに先立つて行くであろう。

13 あなたは、わたしのぶどう園で働き、わたしの教会を築き上げ、シオンをもたらし、シオンがもろもろの丘の上で喜び、栄えるようにするために召されている。

14 見よ、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたは東の地方へ行くように召されておらず、オハイオへ行くように召されている。

6 ①ヨハ 13:20
②「悔い改め」

①「バプテスマ」

②「福音」

③「聖霊」

④「再び生まれる」

⑤「教義42:61」

⑥「マツ 13:22」

⑦「教義40章」

⑧「バプテスマ」

⑨「イスラエル」

⑩「イスラエルの集合」

⑪「マツ 20:1-16」

⑫「イザ 52:8」

⑬「教義11:7」

⑭「イザ 52:8」

⑮「マツ 20:1-16」

⑯「イザ 52:8」

⑰「マツ 20:1-16」

⑱「イザ 52:8」

⑲「マツ 20:1-16」

⑳「イザ 52:8」

15 わたしの民がオハイオに集まるならば、わたしは人の子らの間に知られていないほどの祝福を備えており、それは彼らの頭に注がれるであろう。そして、そこから人々はすべての国民の中に出て行くであろう。

16 見よ、まことに、まことに、あなたに言う。オハイオの人々は、わたしがもろもろの国民に対するわたしの裁きの手をとどめると思い、深い信仰をもってわたしに呼び求めている。しかし、わたしは自分の言葉を否定し得ない。

17 それゆえ、勢力を尽くして取りかかり、わたしのぶどう園に忠実な働き人を呼び入れて、最後の刈り込みが行われるようにしなさい。

18 人々が悔い改めて、わたしの完全な福音を受け入れ、聖くなるならば、わたしは裁きの手をとどめよう。

19 それゆえ、出て行き、大声で叫んで、「天の王国は近づいている」と言い、また、「ホサナ。いと高き神の御名がほめたたえられますように」と叫びなさい。

20 出て行って水でバプテスマを施し、わたしの来

臨の時のためにわたしの前に道を備えなさい。
 21 時が近づいているからである。その日、その時間は、だれも知らない。しかし、それは確かに来る。
 22 これらのことを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。彼らは、この世においても永遠にわたつても、わたしのもとに集められるであろう。

23 さらにまた、あなたが水でバプテスマを施すすべての者に、あなたは手を置かなければならない。そうすれば、彼らは聖霊の賜物を受け、わたしの来臨のしるしを待ち望むようになり、わたしを知るであろう。

24 見よ、わたしはすぐに来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第 40 章

千八百三十一年一月六日、ニューヨーク州フレイエツトにおいて、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。この啓示の記録に先立ち、預言者の歴史には次のように述べられている。「ジエームズ〔コベル〕が主の言葉を拒んで、彼の以前の信条と人々

のものに戻って行ったので、主はわたしとシドニー・リ

15 ① 教義 38・32、95・8、110・8、10
 ② 教義 1・2
 ③ GS「伝道活動」
 17 ① ヤコブ 5・61-75、
 18 ① GS「イエス・キリス
 ト―裁き」
 20 ① GS「イエス・キリス
 トの再臨」
 21 ① マタ 24・36
 23 ① GS「按手」
 ② GS「聖霊の賜物」
 ③ 2 ペテ 3・10-14
 ④ 黙示 3・3、45、39-44
 教義 35・15、45、39-44

グドンに次の啓示を与えられた。」(第三十九章を参照)

1-3 迫害の恐れと世の思い煩いは、福音を拒む原因となる。

1 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジエームズ・コベルの心は、わたしの前に正しかった。わたしの言葉に従うと聖約したからである。

2 そして、彼は喜んで御言葉を受け入れたが、サタンはすぐに彼を誘惑した。そして、迫害の恐れと世の思い煩いが、彼に御言葉を拒ませた。

3 それゆえ、彼はわたしの聖約を破った。そこでわたしは、わたしがよいと思うままに彼に行うことにする。アーメン。

第41章

千八百三十一年二月四日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して教会に与えられた啓示。この啓示により、神の「律法」(第四十二章を参照)が与えられるように祈りなさいと預言者と教会の

長老たちに指示が与えられる。ジョセフ・スミスはニューヨークからカートランドに到着したばかりであった。オハイオ州トンブソンの近くに住む教会員、リーマン・コプリは、「自分と一緒に住むように、そうすれば住まいと食べ物を提供すると、ジョセフ兄弟とシドニー(リグドン)に申し出た。」続く啓示により、ジョセフとシドニーの住む場所が明らかにされ、またエドワード・パートリッジが教会の最初のビショップとして召される。

1-3 長老たちは、啓示の霊によって教会を治めなければならぬ。4-6 まことの弟子は、主の律法を受け入れて守る。7-12 エドワード・パートリッジが、教会のためにビショップに指名される。

1 耳を傾けて聞きなさい、おお、わたしの民よ。主であり、あなたがたの神である者は言う。わたしの語ることを聞く者よ、わたしはあなたがたを、すべての祝福の中で最も大いなるものをもつて祝福することを喜びとする。また、わたしの名を公言しながら、わたしの語ることを聞かない者よ、わた

第40章

- 1 ① 教義 39・7-11
2 ① マコ 4・16-19
② マタ 13・20-22、
「迫害」
③ GS「背教、背信」

第41章

- 1 ① GS「祝福」
② ② 教義 56・1-4、
112・24-26

しはあなたがたを、あらゆるのろいの中で最も厳しいのろいをもつてのろうであらう。

2 聴きなさい、おお、わたしが召したわたしの教会の長老たちよ。見よ、わたしはあなたがたに戒めを与える。あなたがたはわたしの言葉について

一致するために集まりなさい。

3 あなたがたは、わたしの教会を治める方法を知り、すべてのことをわたしの前に正すために、あなたがたの信仰の祈りによってわたしの律法を受け

るのであらう。

4 わたしが来るとき、わたしはあなたがたを治める者となる。見よ、わたしはすぐに来る。あなたがたは氣をつけて、わたしの律法を守るようにしなければならぬ。

5 わたしの律法を受け入れて、それを行なう者は、わたしの弟子である。また、律法を受け入れると言つて、それを行わない者は、わたしの弟子ではなく、あなたがたの中から追い出されなければならぬ。

6 王国の子らに属するものを、ふさわしくない者や犬に与えることは良くないからである。すなわ

ち、豚に真珠を投げ与えることは良くないからである。

7 さらにまた、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアが住んで翻訳するための家を一軒建てるのは、適切なことである。

8 さらにまた、わたしの僕シドニー・リグドンは、わたしの戒めを守るならば、彼がよいと思つてのままに住むのは適切なことである。

9 さらにまた、わたしは、わたしの僕エドワード・パートリッジを召した。そして、戒めを与える。彼は教会員の声によって指名され、教会のためにビショップに聖任されなければならない。それは、彼が自分の商売をやめて、教会の仕事に全時間を費やし、

10 わたしが律法を授ける日に、その律法によって彼に定められるままにすべてのことを取り計らうためである。

11 これは、彼の心がわたしの前に清いからである。彼は心に偽りのない、昔のナタナエルのようなのである。

12 これらの言葉はあなたがたに与えられており、

1 ③ 申命11:26-28、
1ニフ2:23
2 ① GS二致
3 ① 教義42章
4 ① GS「イエス・キリストの再臨」
② セカ14
教義45・59
GS「イエス・キリスト―キリストによる福千年の統治」
5 ① マタ7:24
② 新ヤコ1:22-25、
教義42・60
③ 教義50・8・9、
GS「破門」
6 ① マタ15:26
② マタ7:6
7 ① 「聖書」の翻訳のこと。教義45・60・61
9 ① 教義36
② 教義72・9・12、
107・68・75
「ビショップ」
③ 教義51章
11 ① ヨハ1:47

わたしの前であつて清い。それゆえ、これらをどう扱つか、あなたがたは気をつけなさい。裁きの日に、あなたがたはこれらに対して責任を問われるからである。まことにそのとおりである。アーメン。

第 42 章

千八百三十一年二月九日と二十三日に、オハイオ州カトランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して二つの部分に分けて与えられた啓示。最初の部分は第一一七十二節までで、これは十二人の長老たちの前で受けたもので、オハイオで「律法」が与えられると言われたかつての主の約束を果たすものである（第三十八章三十二節を参照）。第二の部分は第七十三―九十三節までで、預言者はこの啓示を、「教会の律法を含むもの」と明記している。

1―10 長老たちは、福音を宣べ伝え、改心した人にバプテスマを施し、教会を築き上げるために召されている。11―12 彼らは召され、聖任され、聖文に見いだされる福音の原則を教えなければならぬ。13―17 彼らは御霊の力によって教え、預言しなければならぬ。18―

29 聖徒たちは、殺さないように、盗まないように、偽りを言わないように、情欲を抱かないように、姦淫をしないように、ほかの人々の悪口を言わないように命じられる。30―39 財産の奉獻に関する律法が明らかにされる。40―42 高慢と怠惰が非難される。43―52 病人は癒しの祝福と信仰によって癒しを受けなければならない。53―60 聖文は教会を律するものであり、世に宣言されなければならない。61―69 新エルサレムの場所と王国の奥義が示される。70―73 奉獻された財産を教会役員の生活を支えるために使わなければならない。74―93 不貞、姦淫、殺人、盗み、罪の告白に関する律法が明らかにされる。

1 聴きなさい、おお、わたしの名によって、すなわち生ける神の子イエス・キリスト、世の救い主の名によって集まったわたしの教会の長老たちよ。あなたがたはわたしの名を信じ、わたしの戒めを守っているからである。

2 重ねて、わたしはあなたがたに言う。耳を傾けて聞き、わたしが与える律法に従いなさい。

3 まことに、あなたがたに言う。あなたがたはわたしが命じた戒めに従って集まり、この一つのこ

とについて心を一つにし、わたしの名によって父に求めてきたので、そのとおりに与えられるであろう。

4 見よ、まことに、あなたがたに言う。わたしはあなたがたにこの最初の戒めを与える。あなたがたは、わたしの僕であるジョセフ・スミス・ジュニアとシドニー・リグドンを除いて、一人残らずわたしの名によって出て行かなければならない。

5 また、わたしは彼らにも、しばしの間出て行くようにとの戒めを与える。そして、彼らがいづ帰るべきかは、御霊の力によって知らされるであろう。

6 あなたがたはわたしの御霊の力をもって出て行き、二人ずつ組んでわたしの名によってわたしの福音を宣べ伝え、ラツパの音のように声を上げ、神の天使のようにわたしの言葉を宣べなければならぬ。

7 また、あなたがたは出て行って水でバプテスマを施し、「悔い改めなさい。悔い改めなさい。天の王国は近づいているからである」と言わなければならない。

8 あなたがたはこの場所から西の地域に出て行か

なければならぬ。そして、あなたがたを受け入れる人々を見いだしたら、それぞれの地域でわたしの教会を築き上げなければならない。

9 あなたがたが一つに集められて、それによってあなたがたがわたしの民となり、わたしがあなたがたの神となるために、新エルサレムの都がいつ備えられるかが高い所から示される時が来るまで、そのようにしなさい。

10 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕エドワード・パートリッジは、わたしが任命した職において務めなければならない。もし彼が戒めに背くならば、彼の代わりに別の者が任命されるであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

11 重ねて、わたしはあなたがたに言う。だれか権能を持つ者によって聖任され、そして権能を持っていることと、教会の長たちによって正式に聖任されたことが教会員に知られないかぎり、だれもわたしの福音を宣べ伝えるために出て行くこと、あるいはわたしの教会を築き上げることは許されない。

3 マテ 18

5 ① GS「聖霊」

6 ① GS「伝道活動」

9 ① GS「イスラエル・イスラエルの集合」

② ゼカ 8:8

③ エテ 13:2-11

④ 教義 45:66-71

84:2-5、71

モセ 7:62

簡条 1:10

GS「新エルサレム」

④ 教義 57:1-2

④ 教義 41:9-11

10 ① 教義 41:9-11

11 ① 教義 64:40

① GS「権威・権限」

② GS「聖任」

③ GS「召し、神の召し」

③ GS「宣べ伝える」

12 さらにまた、この教会の長老と祭司と教師は、『^②聖書』と完全な福音が載っている『^①モルモン書』の中にあるわたしの福音の原則を教えなければならぬ。

13 また、彼らは聖約と教会の規定とを守って実行しなければならぬ。また、御霊に導かれるままに、これらを教えとしなければならぬ。

14 御霊は信仰の祈りによってあなたがたに与えられるであろう。そして、御霊を受けなければ、あなたがたは教えてはならない。

15 わたしの聖文のすべてが与えられるまで、あなたがたの教えることについてわたしが命じたとおりに、以上のことをすべて守って行うようにしなければならぬ。

16 あなたがたは慰め主によって声を上げるとき、わたしがよいと思うままに語り、預言するのである。

17 見よ、慰め主はすべてのことを知っており、父と子のことを証するからである。

18 さて見よ、わたしは教会員に語る。あなたは殺してはならない。殺す者は、この世でも来るべき

世でも、赦しを得られない。

19 また重ねて言う。あなたは殺してはならない。それでも殺す者は、死ななければならぬ。

20 あなたは盗んではならない。盗んで悔い改めようとしない者は、追い出されなければならない。

21 あなたは偽りを言ってはならない。偽りを言って悔い改めようとしない者は、追い出されなければならない。

22 あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わなければならない。その他のものと結び合ってはならない。

23 情欲を抱いて女を見る者は、信仰を否定するのであり、御霊を受けることは無い。もしも悔い改めなければ、彼は追い出されなければならない。

24 あなたは姦淫をしてはならない。姦淫をして悔い改めない者は、追い出されなければならない。

25 しかし、姦淫をしても、真心から悔い改め、それを捨てて、再び行わない者を、あなたは赦さなければならぬ。

26 しかし、再び行なうならば、赦されることはなく追い出される。

12 ① GS「長老」
 ② GS「聖書」
 ③ GS「福音」
 ④ GS「聖文」聖文の価値」
 ⑤「モルモン書」
 13 GS「教える、教師」
 ①「第20章のこと」第20章の前半を参照
 ②「折り」
 14 GS「教義」64、
 ①「御霊」によって、教師」
 15 ①「教義」42・56-58
 ①「1コリ2・10-14、
 教義68・214、
 18 GS「慰め主、助け主」
 ①「出エ20・13-17」
 ①「マタ5・21-37、
 2ニコ9・35、
 3ニコ12・21-24、
 20 ① GS「殺人」
 ② GS「死刑」
 ① GS「盗み」
 21 GS「偽り」
 22 GS「偽り」
 23 GS「愛」
 ①「結婚」
 ②「創世2・23-24」
 24 エペ5・25、28、33
 ①「マタ5・28、
 23 3ニコ12・28、
 教義63・16」
 25 GS「欲望」
 ① GS「姦淫」
 ① GS「悔い改め」
 26 ①「2ペテ2・20-22、
 教義82・7」

27 あなたは隣人の悪口を言ったり、隣人に害を与えたりしてはならない。

28 あなたは、これらのことに関するわたしの律法がわたしの聖文の中与えられていることを知っている。罪を犯して悔い改めない者は、追い出されなければならない。

29 あなたはわたしを愛するならば、わたしに仕え、わたしのすべての戒めを守るべきである。

30 また見よ、あなたは貧しい者を思い起こし、破ることのできない聖約と証書をもって、彼らに分け与える必要のある分を、彼らの扶養のためにあなたの財産のうちから奉獻するであらう。

31 あなたがたが貧しい者に持ち物を分け与えるのは、すなわち、わたしにするのである。それらは、わたしの教会のビショップ、ならびに彼がその目的のために指名して任命する、あるいは指名して任命した、二人の長老または大祭司である顧問の前に置かなければならない。

32 それらをわたしの教会のビショップの前に置いた後、また、ビショップがわたしの戒めになかった、それらを教会から取り去ることはできないと

いう、わたしの教会の財産の奉獻に関するこれらの証書を受け取った後、すべての人はわたしに對して責任を持ち、自分自身の財産、すなわち、奉獻によつて受け取った自分自身と家族に足りる分の財産の管理人とされる。

33 さらにまた、この最初の奉獻の後、教会または教会のだれか個人の手で、自らの生活に必要な分を超える財産、すなわちビショップに奉獻すべき残余があれば、持つていない人々に折々と与えるためにそれを蓄えて、困窮しているすべての人が十分に供給を受け、彼らの入り用に應じて与えられるようにしなければならぬ。

34 それゆえ、残余はわたしの倉に蓄えておき、教会の高等評議会、およびビショップとその評議会が指定するまに、貧しい者と乏しい者に与えるために、

35 また教会の公益のための土地を買い、礼拝の家を建て、この後啓示される新エルサレムを築くために使うようにしなければならぬ。

36 それは、わたしが神殿に来るその日に、わたしの聖約の民を一つに集めるためである。わたしがこ

27 GS「うわごと話」
28 GS「破門」
29 GS「奉仕」
30 GS「従順、従う」
31 GS「アル・27」
32 GS「福祉」
33 GS「貧しい」
34 GS「奉獻、奉獻の律法」

35 GS「任命」
36 GS「ビショップ」
37 GS「責任を負う」
38 GS「管理、管理人の職」

39 GS「責任を負う」
40 GS「責任を負う」
41 GS「責任を負う」
42 GS「責任を負う」

43 GS「責任を負う」
44 GS「責任を負う」
45 GS「責任を負う」
46 GS「責任を負う」

47 GS「責任を負う」
48 GS「責任を負う」
49 GS「責任を負う」
50 GS「責任を負う」

51 GS「責任を負う」
52 GS「責任を負う」
53 GS「責任を負う」
54 GS「責任を負う」

55 GS「責任を負う」
56 GS「責任を負う」
57 GS「責任を負う」
58 GS「責任を負う」

59 GS「責任を負う」
60 GS「責任を負う」
61 GS「責任を負う」
62 GS「責任を負う」

63 GS「責任を負う」
64 GS「責任を負う」
65 GS「責任を負う」
66 GS「責任を負う」

67 GS「責任を負う」
68 GS「責任を負う」
69 GS「責任を負う」
70 GS「責任を負う」

71 GS「責任を負う」
72 GS「責任を負う」
73 GS「責任を負う」
74 GS「責任を負う」

れを行^{おこな}うのは、わたしの民を救^{すく}うためである。

37 また、罪を犯^{つみ}して悔い改^{あらた}めない者は、教会から追^おい出^だされなければならず、彼^{かれ}がわたしの教会の貧^{ます}しい者と乏^{とほ}しい者のために奉^{ほう}献^{けん}したもの、言い換^かえれば、わたしにささげたものを、再^{また}び受^うけることとはない。

38 あなたがたがこれらの最も小^{ちひ}さい者にするのは、すなわち、わたしにするのである。

39 わたしの預^{よげん}言^{げん}者^{しや}たちの口を通してわたしが語^{かた}ったことは成就^{じゆうじゆ}する。わたしは、異^い邦^{ほう}人^{じん}の中でわたしの福^{ふくいん}音を心^{こころ}から受^うけ入^いれる者の富^{とみ}を聖^{せい}別^{べつ}し、イスラエルの家^{いそらえ}に属^{ぞく}するわたしの民の貧^みしい者^{もの}に与^{あた}えるからである。

40 さらにまた、あなたは心^{こころ}の中で高^{たか}ぶつてはならない。あなたの衣服^{いふく}はすべて簡^{かん}素^そで、その美^{うつく}しさはあなた自身^{みづかみ}の手^ての業^{わざ}の美^{うつく}しさであるようにしなさい。

41 また、すべてのことがわたしの前^{まへ}に清^{きよ}く行^{おこな}われるようにしなさい。

42 あなたは怠^{たい}惰^だであつてはならない。怠^{たい}惰^だな者は働^{はたら}く者のパン^{もの}を食^たべてはならないし、その衣服^{いふく}も

着^きてはならないからである。

43 また、あなたがたの中のだれかが病^び気^きで、癒^いやされる信^{しん}仰^{やう}はないが主^{しゆ}を信^{しん}じているならば、優^{やさ}しさの限^{かぎ}りを尽^{つく}し、葉^{やく}草^{そう}と柔^{やわ}らかい食^{しょく}物^{ぶつ}によつて養^{やしな}われるようにしなければならぬ。それが敵^{てき}の手^てによつて行^{おこな}われることがあつてはならない。

44 また、教会^{きやうかい}の二^{ふた}人^{たり}またはそれより多^{おほ}くの長^{ちやう}老^{らう}を呼^よんで、わたしの名^なによつて彼^{かれ}らのために祈^{いの}り、彼^{かれ}らに按^{あん}手^{しゆ}をするようにしなければならぬ。もしも彼^{かれ}らが死^しぬならば、彼^{かれ}らはわたしのために死^しぬのであり、また生^いきるならば、わたしのために生きるからである。

45 あなたは死^しぬ者^{もの}を失^{うしな}ふことで涙^{なみだ}を流^{なが}すほどに、また特^{とく}に、榮^{えい}光^{くわう}ある復^{ふく}活^{かつ}の望^{ぞのぞ}みがない者^{もの}のために涙^{なみだ}を流^{なが}すほどに、ともに愛^{あい}をもつて生^{せい}活^{かつ}するようになさなければならぬ。

46 わたしにあつて死^しぬ者^{もの}は死^しを味^{あじ}わわないであらう。死^しは彼^{かれ}らにとつて甘^{あま}いからである。

47 また、わたしにあることなく死^しぬ者^{もの}は、災^{わざわ}いである。彼^{かれ}らの死^しは苦^{くる}いからである。

48 さらにまた、わたしによつて癒^いやされるという信^{しん}

37 ① 教義 41、5、8、9、

38 ① マタ 25、34、40、律法、

38 ① 「慈愛」、

40 ① 箴言 16、5、

42 ① 教義 68、30、32、

42 ② GS「恨み」、

44 ① GS「接手」、

44 ② GS「病人への癒しの祝福」、

44 ③ GS「接手」、

44 ④ GS「病人への癒しの祝福」、

45 ① アル 28、11、12、

45 ② 1 コリ 15、19、22、

45 ③ GS「希望」、

45 ④ GS「愛」、

46 ① 1 ヨハ 4、16、

46 ② GS「死(肉体の)」

48 ① 黙示 14、13、

48 ② ① GS「癒し」、

48 ③ 教義 46、19、

48 ④ GS「信仰」、

仰うやうを持つていて、死しに定められていない者は、癒いよされるであろう。

49 見る信仰しんこうを持つ者は、見るであろう。

50 聞く信仰しんこうを持つ者は、聞くであろう。

51 足の不自由ふじゆうな者で跳とびはねる信仰しんこうを持つ者は、跳とびはねるであろう。

52 また、このような信仰しんこうは持たないが、それでもわたしを信しんじる者は、わたしの子ことなる力ちからを持つ。

彼らかれがわたしの律法りっぽうを破やぶらなにかぎり、あなたは彼らの弱よわさを負おわなければならぬ。

53 あなたは、自分の管理かんり人の職しやくの場に立たたなければならぬ。

54 あなたは、兄弟きょうだいの衣服いふくを取とってはならない。あなたは、兄弟きょうだいから受うけるものに対たいして支し払はわなければならぬ。

55 自分の生活せいかつに必要な分ぶんよりも多おほく得えるならば、すべてのことことがわたしの言いったとおりに行おこなわれるように、それをわたしの倉くらに渡わたさなければならぬ。

56 あなたは求めなければならぬ。そうすれば、わたしが定さだめたように、わたしわたしの聖文せいぶんが与あたえられるであろう。そして、それは安あん全ぜんに保ほ存ぞんされるべき

ればならぬ。

57 また、あなたはそれについて黙もくしていて、そのすべてを受うけるまで人々ひとびとに教おしえないようにすることが必要ひつようである。

58 また、わたしはあなたがたに戒いめを与あたえる。それらを受うけたならば、あなたがたはすべての人ひとに教おしえなければならぬ。すべての国民こくみん、部族ぶぞく、国語こくごの民たみ、民族みんぞくに教おしえなければならぬ。

59 あなたは受うけたこと、すなわち、わたしわたしの聖文せいぶんの中で律法りっぽうとして与あたえられたことを、わたしわたしの教おし会かいを治おさめるわたしわたしの律法りっぽうとして受うけ入れなければならぬ。

60 これらのことことに従したがって行おこなう者は、救すくわれるであろう。また、これらのことことを行おこなわない者は、もしもそれを続けるならば罰ばつの定めを受うけるであろう。

61 あなたは求めれば、啓示けいじの上に啓示けいじを、知識ちしきの上に知識ちしきを受うけて、数々かずかずの奥義おくぎと平和へいわをもたらし事柄ことびら、すなわち喜よろこびをもたらし永遠えいえんの命いのちをもたらしものを知しることができるようになるであろう。

62 あなたは求めなければならぬ。そうすれば、新エルサレムしんえるさるむがどこに建たてられるかが、わたし

48 ③ 伝道3・1-2、使徒17・26、ヘブ9・27、教義12・9

52 ① GS「神の息子、娘」GS②「ローマ11、1、15」GS③「フエロシップ」

53 ① GS「管理人、管理人の職」

55 ① 教義82・17-19、119・1-32

56 ② 教義42・34、51・13、① 教義45・60-61

58 ① GS「聖文」聖文の価値

60 58 ① 教義1・2、② 教義41・5、③ 「従順、従う」モセ5・15、

61 ① GS「啓示」GS②「アブ1・2、3」GS③「証」知識」教義63・23、

62 ① GS「神の奥義」教義39・6、② GS「喜び」教義57・1-5

ふさわしいと思うときにあなたに示されるであらう。

63 また見よ、わたしの僕たちは、東に、西に、北に、南に遣わされるであらう。

64 そして今や東に行く者は、改宗する者たちに教えて西へ逃れさせなさい。これは、地上に起こるうとしていふことと秘密結社のゆえである。

65 見よ、あなたはこれらのことをすべて守らなければならぬ。そうすれば、あなたの受ける報いは大きいであらう。あなたがたには王国の奥義を知ることが許されているが、世の人々には許されていない。

66 あなたがたは受けた律法を守り、忠実でなければならぬ。

67 あなたがたはこの後、この地と新エルサレムの両方でああなたがたを確立するのに十分な、教会の聖約を数々受けるであらう。

68 それゆえ、知恵に不足している者はわたしに願ひ求めなさい。そうすれば、わたしはとがめせず惜しみなく与えるであらう。

69 心を高めて喜びなさい。あなたがたに王国、言

い換えれば、教会の鍵が授けられたからである。まことにそのとおりである。アーメン。

70 祭司と教師は、会員と同じように自分の管理人の職を持たなければならない。

71 また、すべてのことについて顧問としてビショップを助けるように任じられている長老や大祭司は、前に述べたように、貧しい者のためと、ほかの目的のためにビショップに奉獻された財産によって、自分の家族の養いを受けなければならない。

72 あるいは彼らは、顧問とビショップが最善であると考へまたは決定したとおりに、自分のすべての務めに対して、管理人の職またはほかの形で正当な報酬を受けなければならない。

73 ビショップもまた、教会での自分のすべての務めに対して、生活費または正当な報酬を受けなければならない。

74 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたの中のだれかが、不貞が原因でその伴侶を去らせたとき、言い換えれば、これが事実であることを彼らができるかぎりへりくだった心であ

なたがたの前に証言するとき、あなたがたは、彼

64 ① 教義45 64

② GS「秘密結社」

68 ① ① 教義82・11・15

② 新ヤコブ5、

69 ① GS「知恵」

② GS「神の王国、

天の王国、

③ マタ16・19、

70 ① GS「神の鍵」

② GS「祭司アロン

神権の」

③ GS「管理人、管理

人の職」

71 ① GS「奉獻、奉獻の

律法」

74 ① GS「性的不道徳」

② GS「不貞」

らをあなただがたの中から追いで出してはならない。

75 しかし、姦淫のために自分の伴侶を見捨てた者がいて、罪を犯したのが本人で、その伴侶がまだ生きていることをあなただがたが知ったならば、その者をあなただがたの中から追い出さなければならぬ。

76 さらにまた、わたしはあなただがたに言う。あなただがたは十分に聞いて用心深くまた注意深くあり、このような者が結婚していれば、彼らをあなただがたの中に受け入れないようにしなければならぬ。

77 また、結婚していなくても、このような者は罪をすべて悔い改めなければならぬ。そうでなければ、あなただがたはこのような者を受け入れてはならない。

78 さらにまた、キリストのこの教会に属している人は皆、教会のすべての戒めと聖約を守るように努めなければならぬ。

79 もしあなただがたのだれかが人を殺すならば、その者を引き渡し、その地の法律に従って処置することになる。彼は決して赦されぬことを覚えておきなさい。また、それはその地の法律に従って立

証しなければならぬ。

80 もしだれか男または女が姦淫をするならば、彼または彼女は、教会の二人またはそれより多くの長老たちの前で審理を受けなければならぬ。そして、彼または彼女に対するすべての言葉は、敵の証人によつてではなく、教会の二人の証人によつて確定しなければならぬ。二人より多くの証人がいれば、もつとよい。

81 しかし、彼または彼女は、二人の証人の口によつて罪に定められる。そして、長老たちはこの件を教会の前に持ち出し、教会員は彼または彼女に対して拳手をし、彼らが神の律法に従つて扱われるようにする。

82 可能であれば、ビシヨップも出席することが必要である。

83 あなただがたの前に持ち出されるすべての件について、あなただがたはこのように行わなければならぬ。

84 もしある男または女が物を奪い取るならば、彼または彼女をその地の法律に引き渡さなければならぬ。

75 ① GS 「姦淫」
76 ① GS 「破門」
79 ① GS 「殺す者」
81 ① GS 「殺人」

85 もしある男または女が盗むならば、彼または彼女をその地の法律に引き渡さなければならぬ。

86 もしある男または女が偽りを言うならば、彼または彼女をその地の法律に引き渡さなければならぬ。

87 もしある男または女が何らかの罪悪を犯すならば、彼または彼女を法、すなわち神の律法に引き渡さなければならぬ。

88 もしあなたの兄弟または姉妹があなたに対して罪を犯すならば、あなたは彼または彼女と二人だけで会い、そして、もし彼または彼女が告白すれば、あなたは和解しなければならぬ。

89 もし彼または彼女が告白しなければ、あなたは彼または彼女を教会に、すなわち会員ではなく長老たちに引き渡さなければならぬ。それは一つの集会において行うべきもので、世の人々の前で行ってはならない。

90 もしあなたの兄弟または姉妹が多くのの人に対して罪を犯すならば、彼または彼女は多くの人の前で懲らしめを受けなければならぬ。

91 もしだれかが公然と罪を犯すならば、彼または

彼女が恥じるように、公然と責めなければならぬ。もし彼または彼女が告白しなければ、彼または彼女を神の律法に引き渡さなければならぬ。

92 もしだれかがひそかに罪を犯すならば、彼または彼女をひそかに責めなければならぬ。そのことによつて、彼または彼女が、自分が罪を犯した相手と、神とに、ひそかに告白する機会を持つようとして、教員が彼または彼女についてとがめるような話をするのではないようにするためである。

93 あなたがたは、すべてのことについてこのように行わなければならぬ。

第 43 章

千八百三十一年二月、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この当時、教会のある会員たちは、啓示を受けたと偽りの主張をする人々によつて心を乱されていた。そこで預言者は主に尋ね、教会の長老たちにあてたこの教えを受けた。初めの部分には教会の方針についての事柄が取り上げられており、後の部分には、長老たちが地のもろもろの国民に伝えなければならない警告が挙げられている。

86 85
① ① GS GS
「正直」 「盗み」
88
① GS
「姉妹」 「兄弟」
90
① ③ ② GS GS
「マタ 18 15」
「告白」
91
① GS
「懲らしめ」

1-7 啓示と戒めは、任命された人を通してのみ与えられる。8-14 聖徒たちは、主の前に聖さを尽くして行動することによって聖められる。15-22 長老たちは、悔い改めを叫んで人々を主の大きい日なる日に備えさせるために遣わされる。23-28 主は御自分の声によって、また自然の力によって、人々に呼びかけられる。29-35 福千年が来て、サタンが縛られる。

1 聴きなさい、おお、わたしの教会の長老たちよ。

わたしがあなたがたに語る言葉に耳を傾けなさい。

2 見よ、まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは、わたしの手から戒めと啓示を受けるようにあなたがたのためにわたしが任命した者を通して、わたしの教会のために律法として戒めを受けた。

3 あなたがたは、このことをよく知っておかなければならない。すなわち、もし彼がわたしにつながつているならば、彼が取り去られるまで、あなたがたのために戒めと啓示を受けるよう任命される者は彼のほかにだれもない。

4 しかし、まことに、まことに、あなたがたに言う。彼によらずに、この賜物を受けるように任命される者はほかにだれもない。もしもそれが彼から取り去られるならば、彼は、自分に代わる別の者を任命する力のほかに何も持たないであろう。

5 あなたがたへの律法はこれである。すなわち、あなたがたの前にやって来るだれかの教えを、あなたがたは啓示または戒めとして受け入れてはならない。

6 これをわたしがあなたがたに与えるのは、あなたがたが欺かれることのないため、またそれらの教えがわたしから出ていないことをあなたがたが知るためである。

7 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしから聖任を受ける者は、わたしが以前にあなたがたに告げたように、門から入って聖任を受けて、わたしが任命した者を通して受けた啓示を、また将来受ける啓示を教えるであろう。

8 さて見よ、わたしはあなたがたに戒めを与える。あなたがたは集まるとき、どのように行動し、わたしの教会を導くか、またどのようににわたしが

2 ① GS 「戒め（神の）」

② 教義42章

3 ①ヨハ15:4

4 ①教義28:2-3

6 ①教義46:7

7 ① GS 「聖任」

② マテ7:13-14

2 ニコ9:41

31:9

17:18

3 ニコ14:13

14

教義22章

与えられた律法と戒めの要点を実行するのを知ることができるように、互いに教え合い、教化し合わなければならぬ。

9 このようにして、あなたがたはわたしの教会の律法に通じた者となり、あなたがたが受け入れたものによって聖められるのである。またあなたがたは、わたしの前に聖さを尽くして行動する義務を自ら負わなければならない。

10 あなたがたがこれを行うならば、あなたがたの受けた王国に栄光が加えられるであろう。あなたがたがそれを行わなければ、あなたがたの受けたものさえも取り去られるであろう。

11 あなたがたは、あなたがたの間にある罪悪を清めなさい。わたしの前に自らを聖めなさい。

12 あなたがたは王国の栄光を望むならば、わたしの僕、ジョセフ・スミス・ジュニアを選び、信仰の祈りによってわたしの前で彼を支持しなさい。

13 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは王国の奥義を望むならば、彼に食物と衣服を与え、また、わたしが彼に命じた業を成し遂げるために必要とするすべてのものを与えなさい。

14 もしもあなたがたがそれを行わなければ、彼は自分を受け入れた人々のもとにとどまって、わたしが一つの清い民をわたし自身のためにわたしの前に残しておけるようにするであろう。

15 重ねて言う。わたしが任命したわたしの教会の長老たちよ、聴きなさい。あなたがたは教えを受けるためではなく、わたしが御霊の力によってあなたがたの手の中に置いたものを、人の子らに教えるために遣わされているのである。

16 あなたがたは高い所から教えを受けなければならぬ。自らを聖めなさい。そうすれば、あなたがたは力を授けられて、わたしが語ったように与えることができるであろう。

17 あなたがたは聴きなさい。見よ、主の大きいなる日はもう近い。

18 主が天から声を発する日が来る。天は震え、地は揺れ動くであろう。神のラツパが長くかつ高く鳴り響いて、眠っているもろもろの国民に、「あなたがたが聖徒よ、立ち上がって生きなさい。あなたがたが罪人よ、わたしが再び呼ぶまで、そのまま眠っていてなさい」と言うであろう。

8 ① 教義 88
9 ① GS 聖め
10 ① マルコ 4 : 25
11 ① GS 「理」
12 ① GS 「支持、教会指
導者の」
13 ① GS 「神の奥義」
14 ① GS 「清さ」
15 ① GS 「教える、教師
御霊によって教える」
16 ① GS 「霊感」
17 ① マラ 4 : 5、
② 教義 29 : 8、
③ ルカ 24 : 49、
④ 教義 38 : 32
18 ① ヨエ 2 : 11、
② ヨエ 2 : 10、
③ 教義 133 : 50
④ 教義 45 : 48
⑤ 教義 29 : 13、
⑥ 教義 76 : 85、
⑦ モル 9 : 13 - 14

19 それゆえ、あなたがたは悪人の中に見いだされることのないように、腰に帯を締めなさい。

20 あなたがたの声を上げなさい。惜しんではならない。もろもろの国民に、老いた者にも、若い者にも、束縛された者にも、自由な者にも、悔い改めを呼びかけて言いなさい。「主の大いなる日のために、自らを備えなさい。」

21 人間であるわたしが声を上げてあなたがたに悔い改めを呼びかけ、そのことであなたがたがわたしを憎むならば、やがて雷が地の果てから声を発して、『悔い改めよ。主の大いなる日のために備えよ』と、生きているすべての者の耳に告げる日が来るとき、あなたがたは何と言うつもりか。

22 さらにまた、稲妻が東から西に走り、生きているすべての者に向かって声を発し、聞くすべての者の耳を鳴らして、『悔い改めよ。主の大いなる日が来たからである』というこれらの言葉を告げる日が来るとき、あなたがたは何と言うつもりか。」

23 さらにまた、主は天から声を発して言うであろう。「聴きなさい、おお、地のもろもろの国民よ。あなたがたを造った神の言葉を聞きなさい。」

24 おお、地のもろもろの国民よ、めんどりが羽の下にひなを集めるように、わたしはあなたがたを幾度集めようとしたことか。しかし、あなたがたは応じようとしなかった。

25 わたしの僕たちの口により、また天使たちの働きにより、またわたし自身の声により、また雷の声により、また稲妻の声により、また暴風雨の声により、また地震と雷を伴う大嵐の声により、また飢饉とあらゆる疫病の声により、またラツパの大きな音により、また裁きの声により、また終日続く隣れみの声により、また栄光と誉れと永遠の命の富の声により、わたしはあなたがたを幾度呼び、永遠の救いをもつてあなたがたを幾度救おうとしてきたことか。しかし、あなたがたは応じようとしなかった。

26 見よ、わたしの憤りの激しい怒りの杯が満ちる日は来た。

27 見よ、まことに、あなたがたに言う。これは主なるあなたがたの神の言葉である。」

28 それゆえ、あなたがたは働きなさい。あなたがたはわたしのぶどう園で最後の働きをしなさい。

21 ① 2ニフ27・2、

24 ① 教義88・90

3 ① マテ23・37、

25 ① 2フ10・416

GS「預言者」

25 ② ① マテ23・34、

② 教義7・6、130・4

15 ③ エレ24・10、

アモ4・6、

教義87・6、

④ ジーマテ1・29

GS「隣れみ」

⑤ ヒラ12・2・4

GS「永遠の命」

⑥ 「救い」不死不滅

28 ① ヤコ5・71、

教義33・3、

GS「ぶどう園（果樹園

主の）」

地に住む者に最後の呼びかけをしなさい。
 29 わたしはふさわしいときに、裁きのために地上に来る。そして、わたしの民は贖われ、わたしとともに地上を治めるであろう。

30 わたしが僕たちの口を通して語った、大いなる福千年が来る。

31 そして、サタンは縛られる。また、彼は再び解放されると、しばしの間だけ支配し、その後地球の終わりが来る。

32 義のうちに生活する者は一瞬のうちに変えられ、地球は火によるかのごとくに過ぎ去るであろう。

33 悪人は消すことのできない火の中に入るであろう。彼らの末路を、地上の人はだれも知らず、彼らが裁きのためにわたしの前に来るまで決して知らないであろう。

34 あなたがたはこれらの言葉を聴きなさい。見よ、わたしは世の救い主イエス・キリストである。

これらのことをあなたがあたの心の中に大切に蓄えておきなさい。永遠の厳粛さを心にとどめなさい。

35 まじめでありなさい。わたしの戒めをすべて守

りなさい。まことにそのとおりである。アーメン。

第 44 章

千八百三十一年二月下旬、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。この中で述べられている要件に従って、教会は来る六月の初めに大会を催すことを決定した。

1-3 長老たちは大会に集まらなければならない。4

6 彼らはその地の法律に従って組織を作り、貧しい人の世話をしなければならぬ。

1 見よ、主はあなたがた、すなわち、わたしの僕たちにこのように言う。わたしが必要としているのは、わたしの教会の長老たちが手紙やその他の方法で、東から、西から、北から、南から呼び集められることである。

2 彼らが忠実であり、わたしを信じる信仰を働かせるならば、わたしは、彼らが集まる日にわたしの御霊を注ごう。

3 それから、彼らは周りの地域に出て行き、人々

29 ① GS「イエス・キリストの再臨」

31 30 ① GS「福千年」

② GS「悪魔」

③ 教義 45、55、84、100、88、110

④ 黙示 20、11、3、ヤコブ 5、27

⑤ 教義 29、22

⑥ GS「世の終わり」

32 ① GS「義」

② 1 コリ 15、51-52、教義 63、51、101、31、GS「復活」

③ ① マテ 3、12

④ GS「イエス・キリストの裁き」

34 ① GS「救い主」

② ジョージア 1、37

③ 教義 84、61、100、71、8

④ GS「深い心」

⑤ GS「深く考える」

35 ① ロマ 12、3、教義 18、21

第 44 章

2 ① 使徒 2、17

に悔い改めを宣べ伝えなければならぬ。

4 そして、多くの人が改宗するので、あなたがたは人間の法律に従って自らを組織する力を得るであらう。

5 それは、あなたがたの敵があなたがたを支配する力を持たないようにするため、またあなたがたがあらゆる点で守られるため、またあなたがたがわたしの律法を守ることができようになるため、また敵がわたしの民を滅ぼそうとして立てたあらゆる盟約が打ち破られるためである。

6 見よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは貧しい者と乏しい者を訪れ、彼らに必要なものを与えて、あなたがたの受けたわたしの律法に従ってすべてのことが行われるまで、彼らを守るようにしなければならぬ。アーメン。

第 45 章

千八百三十一年三月七日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して教会に与えられた啓示。この啓示の記録の前書きとして、ジョセフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「教会のこ

の時代に、人々が御業を研究するのを、あるいは信仰を受け入れるのを妨げようとして、多くの偽りの記事や悪かな作り話が出版されたり、流布されたりした。……しかし……聖徒たちにとって喜ばしいことに、わたしは次の啓示を受けた。」

1-5 キリストは御父に対するわたしたちの弁護者である。6-10 福音は主の前に道を備える使いである。11-15 エノクとその同胞は、主によって主御自身のもとに受け入れられた。16-23 キリストは、オリブ山で述べられたように、御自分の来臨のしるしを示された。24-38 福音は回復され、異邦人の時は満ち、荒廃をもたらす病気が地を覆う。39-47 するし不思議と復活が再臨に伴う。48-53 キリストはオリブ山に立たれ、ユダヤ人はキリストの手足の傷を見る。54-59 主が福千年の間治められる。60-62 預言者は「新約聖書」の翻訳を始めるように指示され、それによって重要な事柄が知らされる。63-75 聖徒たちは、集まって新エルサレムを建てるように命じられる。そこには、すべての国から人々がやって来る。

1 聴きなさい、おお、王国を与えられたわたしの教

第45章

- 3 ① GS「宣べ伝える」
- 4 ① GS「改宗」
- 5 ② ② 教義 98・517
- 6 ① ① 2ニコフ4・33
- 6 ① ① 新ヤコ1・27、
- GS「哀れみ」
- 「福祉」
- 1 ① 教義 50・35
- 2 ② GS「イエス・キリストの教会」

会の人々よ。聴きなさい。地の基を据え、もろもろの天と天の万物を造り、生きて、動いて、存在している万物を造った者の言葉に耳を傾けなさい。2 さらにまた、わたしは言う。死があなたがたを捕らえることのないように、わたしの声に聞き従いなさい。あなたがたの思いがけないときに、夏が過ぎ去り、刈り入れが終わり、あなたがたが救われないということのないように。

3 父に対する弁護者であって、父の前であなたがたのために弁じる者の言葉を聴きなさい。

4 すなわち、「父よ、罪を犯したことがなく、あなたが御心になうとされた者の、苦しみと死を御覧ください。あなたの子が流した血、すなわち、あなた御自身が栄光を受けるために、あなたが与えになつた者の血を御覧ください。」

5 そのために、父よ、わたしの名を信じるこれらわたしの兄弟たちが、わたしのもとに来て永遠の命を得られるように、彼らをお救いください」と。

6 聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。長老たちよ、ともに聴きなさい。今日と呼ばれる間に、わたしの声を聴きなさい。そして、心をかたく

なにしてはならない。

7 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはアルパでありオメガであり、初めてであり終わりであり、世の光であり命である。わたしは暗闇の中に輝いている光である。そして、暗闇はそれを理解しない。

8 わたしは自分の民のところに来たのに、民はわたしを受け入れなかった。しかし、わたしを受け入れたすべての者に、わたしは多くの奇跡を行う力と、神の子となる力を与えた。まことに、わたしの名を信じる者に、わたしは永遠の命を得る力を与えた。

9 まことにそのように、わたしの永遠の聖約を世に送って、世の光とし、またわたしの民とそれを求める異邦人のための旗とし、さらにわたしに先立ち、わたしの前に道を備える使者とする。

10 それゆえ、あなたがたはそれのもとにきなさい。そうすれば、昔の人々と論じたように、わたしはやつて来る者と論じよう。そして、わたしは力強い論拠をあなたがたに示そう。

11 それゆえ、あなたがたはともに聴きなさい。わ

1 ③ エレ14 : 22、
3ニフ9 : 15、
教義14 : 9。
2 ① アルパ、創造、創造する」
② マタ24 : 33、35
③ エレ8 : 20、
教義56 : 16。
3 ① GS「刈り入れ」
② GS「弁護者」
③ GS「贖罪」
4 ① GS「贖罪」
② GS「贖罪」
③ GS「贖罪」
5 ① 教義20 : 25、35、
② ヨハ3 : 16、
③ ヨハ1 : 12、28
6 ① ヘブ3 : 13、
② 黙示1 : 8、21、6、
教義19 : 1、
③ ヨハ1 : 5
7 ① GS「奇跡」
8 ① GS「奇跡」
9 ① GS「新しくかつ永遠の聖約」
② エレ31 : 31、34、
③ イザ42 : 6、
④ 二フ10 : 9、18、
⑤ 二フ27 : 29、2
⑥ マラ3 : 1
10 ① イザ41 : 21、
② 教義50 : 10、12

たしはあなたがたに、まことにわたしの知恵を、すなわち、エノクとその同胞の神であるとなあなたが言う者の知恵を示してみせよう。

12 エノクとその同胞は地から分けられて、わたし自身のもとに受け入れられた。それは、義の日が来るまで残しておかれる町である。その日はすべての聖なる人々が捜し求めた日であるが、悪事と忌まわしい行いのゆえに、彼らはその日を見いださなかつた。

13 彼らは自分たちが地上における寄留者であり旅人であることを告白したが、

14 その日を見いだして肉体にあつてそれを見るであらうとの約束を得た。

15 それゆえ、聴きなさい。わたしはあなたがたと論じ、昔の人々に行つたようにあなたがたに語り、預言しよう。

16 わたしは肉体にあつてわたしの弟子たちの前に立ち、彼らに語りながら示したように、分かりやすくそれを示そう。「あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた約束を果たすために栄光をもつて天の雲の中を来る日の、わたしの来臨のしる

しについて尋ねた。

17 あなたがたがそれについて尋ねたのは、自分の霊が体から長い間離れていることを一つの束縛と考へてきたからである。そこで、わたしは贖いの日がどのように来るか、また散らされたイスラエルの回復がどのように起こるかをあなたがたに示そう。

18 さて、あなたがたは、エルサレムにある、あなたがたが神の宮と呼んでいるこの神殿を見ている。また、あなたがたの敵は、この宮は決して倒れないと言う。

19 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。夜の盗人のように、荒廃が今の時代の人々に及ぶであらう。そして、この民は滅ぼされ、またすべての国民の中に散らされるであらう。

20 また、あなたがたが今見ているこの神殿は、一つの石が他の石の上に残ることのないように崩されるであらう。

21 そして、わたしがあなたがたに告げた荒廃がことごとく起こるまで、この時代のユダヤ人は世を去らないであらう。

12 ① モセ 7・69
② ① 創世 14・30-34

(付録、
教義 38・4、
モセ 7・21、
モセ 7・62-64、
GS「ジョン」

13 GS「ジョン」
① ヘブ 11・13、
1 ペテ 2・11、
14 ① ヘブ 11・8-13、
モセ 7・63

16 ① マタ 24章、
ルカ 21・7-36、
ジーマタ 1章

② GS「イエス・キリス
トの再臨」
① GS「聖一」

② 教義 13・50
③ ① ニコ 10・12-14、
GS「イスラエルーイス
ラエルの散乱」

④ GS「イスラエルー
イスラエルの集合」

17 ① GS「聖一」

② 教義 13・50

③ ① ニコ 10・12-14、
GS「イスラエルーイス
ラエルの散乱」

④ GS「イスラエルー
イスラエルの集合」

22 あなたがたは、世の終わりが来ることを知っていると言う。あなたがたはまた、天地が過ぎ去ることも知っていると言う。

23 これについて、あなたがたは真実を述べている。そのとおりだからである。しかし、すべてが成就するまで、わたしがあなたがたに告げたこれらのことは過ぎ去ることがない。

24 わたしはエルサレムに関して、以上のことをあなたがたに告げておく。その日が来ると、残りの者はすべての国民の中に散らされるであろう。

25 しかし、彼らは再び集められる。それでも、異邦人の時が満ちるまで、彼らはそのまま残るであろう。

26 その日、戦争と戦争のうわさが聞かれ、全地が混乱し、人々は気落ちするであろう。また、人々は、世の終わりまでキリストは来臨を延ばされると言うであろう。

27 人々の愛が冷え、不法がはびこるであろう。

28 また、異邦人の時が来ると、暗闇に座する者たちの間に光がさすであろう。それはわたしの完全な福音である。

29 しかし、彼らはそれを受け入れない。彼らはその光に気づかず、また人の訓戒のゆえに、わたしから心をそらすからである。

30 そして、その時代に異邦人の時は満ちる。

31 また、その時代に生きていて、あふれる懲らしめを見るまで世を去らない人々がいる。荒廃をもたらす病気が地を覆うからである。

32 しかし、わたしの弟子たちは聖なる場所に立ち、動かされない。しかし、悪人の中では、人々が声を上げ、神をのろつて死ぬであろう。

33 また、方々に地震もあり、また多くの荒廃もある。それでも、人々はわたしに対して心をかたくなにし、互いに剣を取り、殺し合う。」

34 さて、主なるわたしがこれらの言葉を弟子たちに語り終えると、彼らは心配した。

35 そこで、わたしは彼らに言った。「心配することはない。これらすべてのが起こるとき、あなたがたは、与えられた約束が果たされることが分かるからである。

36 そして、光がさし始めると、それは彼らにとって、わたしがあなたがたに示すとえのようになる。

22 ①GS「世の終わりの」

24 ①ニフ22・25・15
②ニフ22・10・12
③ルカ21・12・14

26 ①GS「終わりの時、末日」
②教義87章

28 ①GS「光キリストの光」福音の回復
②教義3・6・8、46・7

31 ③マタ15・8・9
④教義5・19・20

32 ①教義101・21・22
②黙示16・11・21

33 ①教義43・18
②黙示16・11・21

35 ①②教義63・33
③マタ24・6

る。

37 すなわち、あなたがたはいちじくの木を眺めてみる。あなたがたは自分の目でそれを見る。そして、いちじくの木が芽吹き始め、その葉がまだ柔らかいと、夏がもう近いと、あなたがたは言う。

38 同じように、人々はこれらすべてのことを見るその日に、時が近いことを知るであろう。

39 そして、わたしを畏れる者は、主の大きい日が来るのを、すなわち人の子の来臨のしるしを待ち望むであろう。

40 彼らは数々のしるしと不思議を見るであろう。これらは、上は天に、下は地に示されるからである。

41 彼らは血と、火と、立ち込める煙を見るであろう。

42 また、主の日が来る前に、太陽は暗くなり、月は血に変わり、星は天から落ちるのである。

43 また、残りの者はこの場所に集められるであろう。

44 そのとき、彼らはわたしを待ち望むであろう。見よ、わたしは来る。そして彼らは、天の雲の中

に、力と大きいなる栄光とをまとうて、すべての聖なる天使たちとともにいるわたしを見るであろう。また、わたしを待ち受けない者は絶たれるであろう。

45 しかし、主の腕が下る前に、一人の天使がラツパを吹き鳴らし、眠っていた聖徒たちは雲の中でわたしに会うために出て来る。

46 さて、あなたがたは安らかに眠っていたならば、幸いである。なぜなら、今わたしを見て、わたしがいることを知っているように、あなたがたはわたしのもとに来て、生きて、あなたがたの贖いは完成されるからである。また、聖徒たちは地の四方から出て来るであろう。

47 それから、主の腕がもろもろの国民に下る。

48 そしてその後、主はこの山の上に足を置く。すると、これは二つに裂ける。また、地は揺れ動き、あちらこちらとよるめき、また天も震える。

49 また、主は声を発し、地の果てに至るすべての者がそれを聞く。そして、地のもろもろの国民は嘆き悲しみ、笑った者たちは自分の愚かさを知るであろう。

37 ルカ 21 : 29、31

39 GS「畏れ、恐れ―神への畏れ―従順、従う」

② GS「イエス、キリストの再臨」

④ GS「一人の子」

⑤ GS「時のしるし」

⑤ 2 ペテ 3 : 10、13、モセ 7 : 15、16、モセ 7 : 62

41 ① 教義 29 : 21、97 : 25、26、10、黙示 6 : 12

42 ① ヨエ 2 : 10、黙示 8 : 12、13、49

44 ① GS「イエス、キリスト―栄光」

② マタ 24 : 43、51、マコ 13 : 32、37

45 ① 教義 29 : 13、43、18、1 テサ 4 : 16、17

③ 教義 88 : 96、97、GS「復活」

46 イアル 40 : 12、イザ 55 : 3

48 ① GS「永遠の命」

② ゼカ 14 : 16

③ 教義 43 : 18、88 : 87

49 ③ ヨエ 3 : 16、87 : 6

① 教義 49 : 23、87 : 6

50 災いがあざ笑った者を覆い、あざける者は焼き
 尽くされるであろう。また、罪惡の機をうかがう者
 は、切り倒されて火の中に投げ込まれるであろう。
 51 それから、ユダヤ人はわたしを見て、『あなた
 の両手と両足のこの傷は何ですか』と言うであ
 ろう。

52 そのとき、彼らはわたしが主であることを知
 る。わたしは、『この傷は、わたしの友の家で負つ
 た傷である。わたしは上げられた者である。十字
 架につけられたイエスである。神の子である』と彼
 らに言うからである。

53 そのとき、彼らは自分たちの犯した罪惡のゆえ
 に涙を流す。そのとき、彼らは自分たちの王を迫
 り害したので、嘆き悲しむであらう。

54 それから、異教の諸国民が贖われる。そして、
 律法を知らなかった者は第一の復活にあずかる。
 彼らはそれに堪えられるであろう。

55 また、サタンは縛られて、人の子らの心の中に
 決して場所を得られないであろう。

56 わたしが栄光のうちに来るその日に、わたしが
 十人のおとめについて語ったたとえは成就するで

あろう。

57 賢くて、真理を受け入れ、自分の導き手として
 聖なる御霊を受け、そして欺かれなかった者、す
 なわち、まことにわたしはあなたがたに言うが、彼
 らは切り倒されて火の中に投げ込まれることな
 く、その日に堪えるであろう。

58 そして、地球は受け継ぎとして彼らに与えられ
 る。彼らは増えて強くなり、その子孫は罪のない
 まま成長して救いを得るであろう。

59 主は彼らの中にあり、主の栄光は彼らのうえに
 あり、主は彼らの王となり、立法者となるからで
 ある。」

60 さて見よ、わたしはあなたがたに言う。『新約聖
 書』が翻訳されるまで、この章についてこれ以上知
 ることは許されないが、その『新約聖書』の中で、
 これらすべてのことが知らされるであろう。

61 それゆえ、あなたがたが来るべきことのために
 備えられるように、わたしはあなたがたが今それ
 を翻訳できるようにする。

62 まことに、わたしはあなたがたに言う。大いな
 ることがあなたがたを待ち受けている。

51 GS「ユダヤ人」
 52 ①ゼカ12・10
 ②ゼカ13・6
 53 GS「十字架の刑」
 ①黙示1・7
 ②ルカ23・38
 ③ヨハ19・3・14・15
 54 ①エゼ36・23・39・21
 ②「復活」
 ③教義75・22
 55 GS「惡魔」
 ①黙示20・2
 ②1ニフ22・26
 56 ①GS「イエスキリス
 トの再臨」
 ②教義43・1・88・110
 ③マテ25・1・13
 57 GS「真理」
 ①GS「聖靈」
 ②ジョマテ1・37
 ③教義29・7・9
 ④64・23・24
 58 ①101・22・25
 ②GS「福千年」
 ③マテ5・5
 ④29・31
 59 ①④教義29・11・104・59
 ②創世49・10
 ③ゼカ14・9
 ④教義38・1・22
 60 スミス訳「IS」
 ①「聖書」のヨセフ、
 ②スミス訳「抜粋」
 も参照

63 あなたがたは諸外国における戦争について聞いている。しかし見よ、わたしはあなたがたに言う。それは近く、あなたがたの戸口まで近づいている。これから多くの年を経ずに、あなたがたは、あなたがた自身の地における戦争について聞くであろう。

64 それゆえ、主なるわたしは言ったのである。あなたがたは東の地から集まりなさい。あなたがたは、わたしの教会の長老たちは集まりなさい。あなたがたは西の地に出て行き、住民に悔い改めるように呼びかけなさい。そして、彼らが悔い改めるならば、わたしのために教会を築き上げなさい。

65 また、心一つにし、思い一つにし、あなたがたの富を集めて、この後あなたがたに指定される受け継ぎを購入するようにしなさい。

66 それは、新エルサレム、平和の地、避け所の都、いと高き神の聖徒のための安全の地と呼ばれるであろう。

67 そして、主の栄光がそこにある。また、主の恐怖もそこにあるので、悪人はそこに来ようとしな

68 そして、悪人の中にいて、隣人に対して自分の

剣を取らない者は皆、安全のために必ずシオンに逃れて来なければならない。

69 そこには天下のあらゆる国から人々が集められるであろう。その民は互いに戦争をしない唯一の民である。

70 また、悪人の間では、「我々は上つて行ってシオンと戦わないようにしよう。シオンに住む者は恐ろしいから。だから、我々は立ち向かうことはできない」と言われるであろう。

71 また、義人はすべての国の中から集められ、永遠の喜びの歌を歌いながらシオンに来るであろう。

72 さて、わたしはあなたがたに言う。わたしが必要とするまで、これらのことを世に広めないようにしなさい。それは、あなたがたが人々の目の前で、またあなたがたの敵の目の前でこの業を成し遂げるためであり、また、わたしが命じたことをあなたがたが成し遂げるまで、彼らがあなたがたの業を知らないようにするためである。

73 それによって、彼らがそれを知るとき、これらのことを考えることができるようにするためである。

63 ① 教義 38、29、

87、1、130、12

64 ① 教義 42、64

65 ① エテ 13、5、6、

66 モセ 7、62、

67 簡条 1、10、

68 「シオン」

69 「新エルサレム」

70 GS「平安、平和」

71 ④ ③ ② ①

72 ④ イザ 4、6、

73 ④ ③ ② ①

69 ① 申命 30、3、

70 エレ 32、37、39、

71 教義 33、6

67 ① 教義 115、6

72 GS「イエス・キリスト

73 | 栄光」

74 主が現れるとき、主は彼らにとつて恐ろしい存在となり、恐れが彼らを捕らえ、彼らは遠く離れて立つておののくであらう。

75 すべての国民は、主の恐怖と主の強い力のゆえに恐れるであらう。まことにそれとおりである。アーメン。

第 46 章

千八百三十一年三月八日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して教会に与えられた啓示。教会のこの初期の時代には、教会の集会の執り行い方についてまだ統一された方式が定着していなかった。しかしながら、聖餐会やそのほかの教会の集会への出席は、教会員と熱心な求道者だけに認めるという習慣が、やや一般的となっていた。この啓示は、集会を管理し、執り行うことに関する主の御心と、御霊の賜物を求めそれを見分けることに関する主の指示を告げたものである。

1-2 長老たちは、聖なる御霊によつて導かれるままに集会を執り行わなければならない。3-6 真理の探

求者を聖餐会から締め出してはならない。7-12 神に願ひ、御霊の賜物を求めなさい。13-26 これらの賜物の幾つかが挙げられる。27-33 教会の指導者は、御霊の賜物を見分ける力を与えられる。

1 聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。まことに、わたしはあなたがたに言う。これらのことは、あなたがたに益を与え、教えるために語られたものである。

2 しかし、書き記されたそれらのものがあるにもかかわらず、聖なる御霊によつて指示され導かれるままにすべての集会を執り行うことが、初めから常にわたしの教会の長老たちに指示されてきたし、またこれから先いつまでも指示されるであらう。

3 それでも、あなたがたは、世の人々の前で開かれるあなたがたの公の集会から、決してだれも追い出さないように命じられている。

4 あなたがたはまた、教会に属する者をだれもあなたがたの聖餐会から追い出さないように命じられている。しかしながら、だれかが過ちを犯した

74 ①ゼバ 2 11

第 46 章

1 ① 2 テモ 3 : 16 - 17

2 ① モロ 6 : 9

教義 20 : 45

3 ① ② アル 6 : 1

4 ① GS 「フェローシップ」

4 ① GS 「イエス・キリストの教会」

ならば、和解するまで彼に聖餐を受けさせないようにしなさい。

5 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは、真剣に王国を求めている者をだれもあなたがたの聖餐会から追い出してはならない。わたしは、このことを教会に属してはいない者について語っている。

6 さらにまた、わたしはあなたがたの確認の会についてあなたがたに言う。教会に属していない者がだれかいても、真剣に王国を求めていれば、あなたがたは彼らを追い出してはならない。

7 しかし、あなたがたはすべてのことについて、惜しみなく与える神に願ひ求めるように命じられている。また、あなたがたがまったく聖い心をも

つて、わたしの前をまっすぐに歩み、あなたがたの救いの結末について考え、祈りと感謝をもってすべてこのことを行いながら、御霊があなたがたに証する事柄を行うようにと、わたしは望んでいる。それは、あなたがたが邪悪な霊、あるいは悪霊の教

義、または人間の戒めに打ち負かされないためである。あるものは人間から出ており、またほかの

ものは悪霊から出ているからである。

8 それゆえ、欺かれないように気をつけなさい。そして、欺かれないうために熱心に最善の賜物を求め、それらが何のために与えられているのかを常に覚えておきなさい。

9 まことに、わたしはあなたがたに言う。それらは、わたしを愛してわたしのすべての戒めを守る者たちと、そうしようと努める者たちのために与えられる。それは、わたしを求めめる者たちや、わたしに願ひ求める者たち、願ひ求めるけれども自分の欲のために使うようにしるしを求めめるのではない者たちのすべてが、益を得られるようにするためである。

10 さらにまた、まことに、あなたがたに言う。教会員に与えられているそれらの賜物が何であるか、常に覚えておき、また常に心に留めておくようにと、わたしは望んでいる。

11 すべての人があらゆる賜物を与えられるわけではない。賜物は多くあり、各人に神の御霊によって一つの賜物が与えられるのである。

12 ある人にはある賜物、またある人には別の賜物

4 ② 3ニフ18・26・32、
GS「聖餐」
6 ① 最近アブデスマを受けた人々の確認のために行われる
7 ① 新ヤコ1・5・6、
教義88・63
② GS「聖さ、聖く」
③ GS「深く考える」
4 詩篇100篇、
アル34・38、
GS「感謝」
⑤ GS「悪魔」
⑥ 教義3・6・7、
⑦ 1テモ4・1・4、
教義43・5・7
8 ① 1コリ12・31
9 ① 新ヤコ4・3
10 ② GS「しるし」
1 1コリ14・12、
GS「御霊の賜物」
11 ① GS「思い、心」
1 1コリ12・4・11

が与えられて、すべての人がそれによって益を得られるようになる。

13 ある人には、イエス・キリストが神の子であり、世の罪のために十字架につけられたことを知ることが、聖霊によって許される。

14 ほかの人には、続けて忠実であれば自分もまた永遠の命が得られるように、彼らの言葉を信じる

15 さらにまた、ある人には、様々な管理の務めを知ることが、同じ主の心になうまに、すなわち人の子らの状態に応じて憐れみを施す主が望むとおりに、聖霊によって許される。

16 さらにまた、ある人には、種々の働きが神から出ているかどうかを知ることが、聖霊によって許される。それは、御霊の現れがすべての人に与えられ、これによって益するためである。

17 さらにまた、まことに、あなたがたに言う。ある人には、神の御霊によって知恵の言葉が与えられる。

18 別の人には、知識の言葉が与えられる。それは、すべての人が教えられて賢くなり、また知識

を得るためである。

19 さらにまた、ある人には、癒される信仰を持つことが許される。

20 また、ほかの人には、癒す信仰を持つことが許される。

21 さらにまた、ある人には、奇跡の働きが与えられる。

22 また、ほかの人には、預言することが許される。

23 また、ほかの人には、霊の識別が与えられる。

24 さらにまた、ある人には、異言で語ることが許される。

25 また、別の人には、異言の解釈が与えられる。

26 これらすべての賜物は、神の子たちを益するために神から来る。

27 また、教会のビジョップ、および教会を見守るように、また教会の長老となるように神が選んで聖任する人々には、それらすべての賜物を見分けることが許される。それは、あなたがたの中に、神から出ていると公言しながらそうではない者がいることのないようにするためである。

28 そして、御霊によって求める者は、御霊によつ

14 13 GS「証」
13 ① GS「信じる」
12 ② GS「知恵」
11 ① GS「知識」
10 ① GS「信仰」
9 ① GS「教義」
8 ① GS「異言の賜物」
7 ① GS「癒し」
6 ① GS「預言」
5 ① GS「奇跡」
4 ① GS「神の息子、娘」
3 ① GS「モロ」
2 ① GS「モロ」
1 ① GS「モロ」
28 ① GS「教義」
27 ② GS「識別の賜物」
26 ① GS「異言の賜物」
25 ① GS「異言の賜物」
24 ① GS「異言の賜物」
23 ① GS「異言の賜物」
22 ① GS「異言の賜物」
21 ① GS「異言の賜物」
20 ① GS「異言の賜物」
19 ① GS「異言の賜物」
18 ① GS「異言の賜物」
17 ① GS「異言の賜物」
16 ① GS「異言の賜物」
15 ① GS「異言の賜物」
14 ① GS「異言の賜物」
13 ① GS「異言の賜物」
12 ① GS「異言の賜物」
11 ① GS「異言の賜物」
10 ① GS「異言の賜物」
9 ① GS「異言の賜物」
8 ① GS「異言の賜物」
7 ① GS「異言の賜物」
6 ① GS「異言の賜物」
5 ① GS「異言の賜物」
4 ① GS「異言の賜物」
3 ① GS「異言の賜物」
2 ① GS「異言の賜物」
1 ① GS「異言の賜物」

て与えられる。

29 それは、ある人にそれらすべての賜物を持つことが許されて、ひとりの長がいるようにし、すべての会員がそれによって益を得るためである。

30 御霊によって求める者は、神の御心になつて求めるのである。それゆえ、彼が求めるとおりに行われる。

31 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あなたがたが御霊によって行うことは何であろうと、すべてのことはキリストの名によって行わなければならない。

32 また、与えられる祝福が何であろうと、あなたがたは御霊によって神に感謝をしなければならぬ。

33 また、あなたがたは絶えずわたしの前で徳高く聖くなければならぬ。まことにそのとおりである。アーメン。

第 47 章

一千八百三十一年三月八日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。ジョン・ホイットマーはすでに預言者の書記を務め

ていたが、当初、オリバー・カウドリの代わりに教会歴史家兼記録者として働くように求められたとき、その求めに応じるのをためらった。彼はこう記している。「わたしはそのような務めを望んではないが、主の御心が行われるのを目にしてきた。それで、主がそれを望んでおられるのであれば、聖見者ジョセフを通してそれを示していただきたいと、わたしは願っている。」ジョセフ・スミスがこの啓示を受けた後、ジョン・ホイットマーは承諾して、主から指名された職に就いて働いた。

1-4 ジョン・ホイットマーは、教会の歴史を書き残し、また預言者のために書き記すように指名される。

1 見よ、わたしが必要としているのは、わたしの僕ジョンが、さらに別の務めに召されるまで正式な歴史を書き記して残すこと、またあなたが、すなわちわたしの僕ジョセフを助けてあなたに与えられるすべての事柄を書き取ることである。

2 さらに、まことに、わたしはあなたに言う。彼もまた必要なときにはいつでも、集会において声を上げることができる。

第47章

30 ① GS 「聖靈」
 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 教義 50・29
 1 テサ 1: 2、
 アル 37・37、
 教義 59・7、21、
 GS 「感謝」
 33 ① GS 「徳」
 ② GS 「聖き、聖く」
 1 ① 教義 69・2-8、
 85・1-2

3 さらにまた、わたしはあなたに言う。彼は教会の記録と歴史を絶えず書き残すために任命される。わたしはオリバー・カウドリを別の職に任命したからである。

4 それゆえ、彼が忠実であれば、これらのものを書き記すように、慰め主によって彼に知らされるであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 48 章

千八百三十一年三月十日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者は、聖徒たちの定住のために土地を入手する手順について主に尋ねた。オハイオに集まるようにとの主の命令に従って、合衆国東部から教会の会員が移り住んで来たことを考えると、これは重要な問題であった (第三十七章 1-3 節、第四十五章 64-66 節を参照)。

1-3 オハイオの聖徒たちは、彼らの土地を兄弟たちと分かち合わなければならぬ。4-6 聖徒たちは土地を購入し、町を築き、管理役員の助言に従わなければならない。

1 あなたがたの事情にかなうままに、あなたがたは今のところ、あなたがたの住んでいる場所にとどまる必要がある。

2 そして、あなたがたは土地を持つていければ、東部の兄弟たちに分け与えなければならない。

3 また、土地を持つていなければ、今のところ、その周りの地域で、彼らがよいと思うままに彼らに購入させなさい。今のところ、彼らが住む場所を得ることは、ぜひとも必要だからである。

4 あなたがたができるかぎり金銭を蓄えること、また義をもってできるかぎり金銭を得ることは、ぜひとも必要である。それは、やがてあなたがたが受け継ぎとしての土地、すなわち町を購入できるようにするためである。

5 その場所ははまだ示されない。しかし、あなたがたの兄弟たちが東から来た後、ある人々が任命されて、彼らにその場所が知らされるであろう。すなわち、彼らにそれが示されるであろう。

6 また、彼らは任命を受けてその土地を購入し、その町の基を据えることを開始しなければならぬ。そのとき、すべての人が自分の家族に応じ

第 48 章

4 ① GS 「聖霊」
「慰め主、助け主」

2 ① GS 「福祉」

4 ① 教義 57・4-5
② 教義 42・35-36、

5 ① 教義 57・6-8

6 ① 教義 57・1-3
② ① GS 「新エルサレム」
教義 51・3

て、自分の事情にに応じて、さらに、あなたがたがすでに受けた、またこの後受ける律法と戒めにかんがって教会の大管長会とピシヨップより指定されるままに、家族とともに集合を始めるであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 49 章

千八百三十一年五月七日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してシドニー・リグドン、パーリー・P・ブラット、およびリーマン・コブリーに与えられた啓示。リーマン・コブリーは福音を受け入れたが、以前に所属していたシエーカー派（キリスト再出現信者連合会）の教えの幾つかをなお信じていた。シエーカー派の人々は、キリストの再臨がすでに起こり、キリストは女の姿を取ってアン・リーとして現れたと信じていた。彼らは水によるバプテスマを必須のものと考えていなかった。また、結婚を拒み、完全な独身主義を信奉していた。シエーカー派の人々の中には肉を食べるのを禁じる者もいた。この啓示の前書きとして、ジョセフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「この件についてさらに完全な理解を得るために、

わたしは主に尋ねて、次の啓示を受けた。」この啓示は、シエーカー派の人々の基本的な考えの幾つかについての、その誤りを指摘している。前述の兄弟たちは、この啓示の写しを持って（オハイオ州クリーブランド近くの）シエーカー派の共同体へ行き、その全文を彼らに読んで聞かせた。しかし、これは拒絶された。

1—7 キリストの来臨の日時は、キリストが来られるまで知らされない。8—14 人々は救いを得るために、悔い改め、福音を信じ、儀式に従わなければならない。15—16 結婚は神によって定められた。17—21 肉を食べることは認められている。22—28 再臨前に、シオンは栄え、リーマン人はばらのように花咲く。

1 わたしの僕たち、シドニーとパーリーとリーマンよ、わたしの言葉を聴きなさい。見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたは行って、シエーカー派の人々に、あなたがたが受けたわたしの福音を、受けたそのままに宣べ伝えなければならない。

2 見よ、わたしはあなたがたに言う。彼らは真理を一部分知りたいたは望んでいるが、すべてではない。彼らはわたしの前に正しくなく、必ず悔い改めなければならない。

3 それゆえ、わたしは彼らに福音を宣べ伝えるためにあなたがた、すなわちわたしの僕たち、シドニーとパーリーを遣わす。

4 また、わたしの僕リーマンは、この業に聖任されなければならない。それは彼が、彼らから受けたことに従ってではなく、わたしの僕であるあなたがたより教えられたことに従って彼らと論じるためである。そのようにすれば、わたしは彼を祝福しよう。そうしなければ、彼は栄えないであろう。

5 主はこのように言う。わたしは神である。わたしは、世の贖いのためにわたしの独り子を世に遣わし、そして彼を受け入れる者は救われ、彼を受け入れない者は罰の定めを受けること宣言した。

6 人々はまことに彼らの欲するままに、人の子をあしらった。人の子は神の栄光の右手にあって自分の力を得て、現在 heaven において治めており、また地上に降って来てすべての敵を自分の足の下に

置くまで治めるであろう。その時はもう近づいて

いる。
7 主なる神であるわたしがこれを語った。しかし、その時、その日は、だれも知らず、天にいる天使たちも知らない。人の子が来るまで、彼らは知らないであろう。

8 それゆえ、わたしはすべての人が悔い改めることを望んでいる。わたしがわたし自身のもとに残しておいた者たち、すなわちあなたがたの知らない聖なる人々のほかは、すべての者が罪の下にあるからである。

9 それゆえ、わたしはあなたがたに言う。わたしは、わたしの永遠の聖約、すなわち初めからあったものをあなたがたに送った。

10 わたしが約束したことを、わたしはそのように果たした。地のもろもろの国民はそれに身をかがめるであろう。また、たとえ自らそうしなくても、彼らは低くなるであろう。現在自ら高ぶっている者は、力によつて低くされるからである。

11 それゆえ、わたしはあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたはこの民の中に行き、その名

1 ① 使徒 8:21
 2 ① GS「真理」
 3 ① GS「贖い、贖う」
 4 ① GS「主」
 5 ① GS「福音」
 6 ① GS「人の子」
 7 ① GS「イエス・キリスト」
 8 ① GS「謂の定め」
 9 ① GS「人の子」
 10 ① GS「イエス・キリスト」
 11 ① GS「栄光」
 12 ① GS「使徒 7:55」
 13 ① GS「使徒 7:25」
 14 ① GS「マタイ 24:36」
 15 ① GS「マタイ 24:36」
 16 ① GS「マタイ 24:36」
 17 ① GS「マタイ 24:36」
 18 ① GS「マタイ 24:36」
 19 ① GS「マタイ 24:36」
 20 ① GS「マタイ 24:36」
 21 ① GS「マタイ 24:36」
 22 ① GS「マタイ 24:36」
 23 ① GS「マタイ 24:36」
 24 ① GS「マタイ 24:36」
 25 ① GS「マタイ 24:36」
 26 ① GS「マタイ 24:36」
 27 ① GS「マタイ 24:36」
 28 ① GS「マタイ 24:36」
 29 ① GS「マタイ 24:36」
 30 ① GS「マタイ 24:36」
 31 ① GS「マタイ 24:36」
 32 ① GS「マタイ 24:36」
 33 ① GS「マタイ 24:36」
 34 ① GS「マタイ 24:36」
 35 ① GS「マタイ 24:36」
 36 ① GS「マタイ 24:36」
 37 ① GS「マタイ 24:36」
 38 ① GS「マタイ 24:36」
 39 ① GS「マタイ 24:36」
 40 ① GS「マタイ 24:36」
 41 ① GS「マタイ 24:36」
 42 ① GS「マタイ 24:36」
 43 ① GS「マタイ 24:36」
 44 ① GS「マタイ 24:36」
 45 ① GS「マタイ 24:36」
 46 ① GS「マタイ 24:36」
 47 ① GS「マタイ 24:36」
 48 ① GS「マタイ 24:36」
 49 ① GS「マタイ 24:36」
 50 ① GS「マタイ 24:36」
 51 ① GS「マタイ 24:36」
 52 ① GS「マタイ 24:36」
 53 ① GS「マタイ 24:36」
 54 ① GS「マタイ 24:36」
 55 ① GS「マタイ 24:36」
 56 ① GS「マタイ 24:36」
 57 ① GS「マタイ 24:36」
 58 ① GS「マタイ 24:36」
 59 ① GS「マタイ 24:36」
 60 ① GS「マタイ 24:36」
 61 ① GS「マタイ 24:36」
 62 ① GS「マタイ 24:36」
 63 ① GS「マタイ 24:36」
 64 ① GS「マタイ 24:36」
 65 ① GS「マタイ 24:36」
 66 ① GS「マタイ 24:36」
 67 ① GS「マタイ 24:36」
 68 ① GS「マタイ 24:36」
 69 ① GS「マタイ 24:36」
 70 ① GS「マタイ 24:36」
 71 ① GS「マタイ 24:36」
 72 ① GS「マタイ 24:36」
 73 ① GS「マタイ 24:36」
 74 ① GS「マタイ 24:36」
 75 ① GS「マタイ 24:36」
 76 ① GS「マタイ 24:36」
 77 ① GS「マタイ 24:36」
 78 ① GS「マタイ 24:36」
 79 ① GS「マタイ 24:36」
 80 ① GS「マタイ 24:36」
 81 ① GS「マタイ 24:36」
 82 ① GS「マタイ 24:36」
 83 ① GS「マタイ 24:36」
 84 ① GS「マタイ 24:36」
 85 ① GS「マタイ 24:36」
 86 ① GS「マタイ 24:36」
 87 ① GS「マタイ 24:36」
 88 ① GS「マタイ 24:36」
 89 ① GS「マタイ 24:36」
 90 ① GS「マタイ 24:36」
 91 ① GS「マタイ 24:36」
 92 ① GS「マタイ 24:36」
 93 ① GS「マタイ 24:36」
 94 ① GS「マタイ 24:36」
 95 ① GS「マタイ 24:36」
 96 ① GS「マタイ 24:36」
 97 ① GS「マタイ 24:36」
 98 ① GS「マタイ 24:36」
 99 ① GS「マタイ 24:36」
 100 ① GS「マタイ 24:36」

をペテロといった昔のわたしの使徒のように、彼らに言いなさい。

12「かつて地上におり、またやがて来る、初めであり終わりである主イエスの名を信じなさい。

13悔い改めなさい。そして、聖なる戒めのとおり、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。

14だれでもこれを行う者は、教会の長老たちの接手によって聖霊の賜物を受けるであらう。

15さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。だれでも結婚を禁じる者は、神から聖任されていない。結婚は人のために神によって定められているからである。

16それゆえ、人が一人の妻を持つこと、また彼ら二人が一体となることは正当である。これはすべて、地がその創造の目的にかなうためであり、17世界が造られる前の人の創造にに応じて、地が人の数で満たされるためである。

18また、だれでも肉を断つように言う者、すなわち、人は肉を食ってはならないとして禁じる者は、神から聖任されていない。

19見よ、野の獣と空の鳥、また地から生じるものは、食物として、また着る物として人が使うように、また人が豊かに持てるように定められているからである。

20しかし、人がほかの人以上のものを持つようには定められていない。それゆえ、世は罪の状態にある。

21必要がないのに、血を流したり、肉を無駄にしたる者は、災いである。

22さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。人の子は、女の姿や地上を旅する男の姿では来ない。

23それゆえ、欺かれてはならない。引き続き確固としていて、天が震え、地が揺れ動いて酔った者のようにあちらこちらとよるめくのを、またもるもの谷が高くなるのを、また山々が低くなるのを、また起伏の激しい所が平らになるのを待ち望みなさい。これはすべて、天使がラツパを吹き鳴らすときに起こるであらう。

24しかし、主の大きい日が来る前に、ヤコブは荒れ野に栄え、レーマン人はばらのように咲く

13 3ニフ・19

14 1GS「接手」

15 1テモ4・1-3

16 1コリ11・11

17 GS「結婚」

18 ①ヤコ2・27-30

19 マタ19・5-6

20 ③GS「地球」

21 ①GS「前世」

22 ③GS「人のために創造された」

23 ①GS「前記」

24 ③GS「前記」

25 ③GS「前記」

26 ③GS「前記」

27 ③GS「前記」

28 ③GS「前記」

29 ③GS「前記」

30 ③GS「前記」

31 ③GS「前記」

32 ③GS「前記」

33 ③GS「前記」

34 ③GS「前記」

35 ③GS「前記」

36 ③GS「前記」

37 ③GS「前記」

38 ③GS「前記」

39 ③GS「前記」

40 ③GS「前記」

41 ③GS「前記」

42 ③GS「前記」

43 ③GS「前記」

44 ③GS「前記」

45 ③GS「前記」

46 ③GS「前記」

47 ③GS「前記」

48 ③GS「前記」

49 ③GS「前記」

50 ③GS「前記」

51 ③GS「前記」

52 ③GS「前記」

53 ③GS「前記」

54 ③GS「前記」

55 ③GS「前記」

56 ③GS「前記」

57 ③GS「前記」

58 ③GS「前記」

59 ③GS「前記」

60 ③GS「前記」

61 ③GS「前記」

62 ③GS「前記」

63 ③GS「前記」

64 ③GS「前記」

65 ③GS「前記」

66 ③GS「前記」

67 ③GS「前記」

68 ③GS「前記」

69 ③GS「前記」

70 ③GS「前記」

71 ③GS「前記」

72 ③GS「前記」

73 ③GS「前記」

74 ③GS「前記」

75 ③GS「前記」

76 ③GS「前記」

77 ③GS「前記」

78 ③GS「前記」

79 ③GS「前記」

80 ③GS「前記」

81 ③GS「前記」

82 ③GS「前記」

83 ③GS「前記」

84 ③GS「前記」

85 ③GS「前記」

86 ③GS「前記」

87 ③GS「前記」

88 ③GS「前記」

89 ③GS「前記」

90 ③GS「前記」

91 ③GS「前記」

92 ③GS「前記」

93 ③GS「前記」

94 ③GS「前記」

95 ③GS「前記」

96 ③GS「前記」

97 ③GS「前記」

98 ③GS「前記」

99 ③GS「前記」

100 ③GS「前記」

であろう。

25 シオンはもろもろの丘の上で栄え、山々の上で喜び、わたしが指定した場所に集められるであろう。」

26 見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしがあなたがたに命じたように、出て行きなさい。あなたがたのすべての罪を悔い改めなさい。求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。

27 見よ、わたしはあなたがたの前を行き、またあなたがたのしんがりとなろう。わたしはあなたがたの中におり、あなたがたは打ち破られないであろう。

28 見よ、わたしはイエス・キリストである。わたしはすぐに来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第 50 章

千八百三十一年五月九日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。ジョセフ・スミスの歴史には、ある長老たちが地の

方々に見られる様々な霊の現れを理解していなかったこと、またこの啓示がその件について彼が特別に尋ねた問いへの答えとして与えられたものであることが述べられている。いわゆる心靈現象は会員たちの間では珍しくなく、彼らの中のある者たちは示現や啓示を受けていると主張した。

1-5 多くの偽りの霊が地の方々にいる。6-9 偽善者と教会から絶たれる者とは、災いである。10-14 長老たちは、御霊によつて福音を宣べ伝えなければならぬ。15-22 宣べ伝える者も聴く者も、御霊に照らされる必要がある。23-25 人を教化しないものは、神から出ではしない。26-28 忠実な者はすべてのもの所有者である。29-36 清められた者の祈りはこたえられる。37-46 キリストは良い羊飼いであり、イスラエルの石である。

1 聴きなさい、おお、わたしの教会の長老たちよ。生ける神の声に耳を傾けなさい。また、知恵の言葉を心に留めなさい。それは、あなたがたが教会と地の方々にいるもろもろの霊とについて尋ね、心一つにしてきたのに応じて与えられるもので

25 ① 創世 49 : 26、27
26 ① 教義 35 : 24
27 ① 教義 35 : 24
28 ① 教義 84 : 116、12
29 ① 教義 1 : 12
30 ① 教義 84 : 116、12
31 ① 教義 1 : 12
32 ① 教義 84 : 116、12
33 ① 教義 1 : 12
34 ① 教義 84 : 116、12
35 ① 教義 1 : 12
36 ① 教義 84 : 116、12
37 ① 教義 1 : 12
38 ① 教義 84 : 116、12
39 ① 教義 1 : 12
40 ① 教義 84 : 116、12
41 ① 教義 1 : 12
42 ① 教義 84 : 116、12
43 ① 教義 1 : 12
44 ① 教義 84 : 116、12
45 ① 教義 1 : 12
46 ① 教義 84 : 116、12
47 ① 教義 1 : 12
48 ① 教義 84 : 116、12
49 ① 教義 1 : 12
50 ① 教義 84 : 116、12

ある。

2 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。偽りの霊である多くの霊があり、その霊たちは地に出て行き、世の人々を欺いている。

3 また、サタンもあなたがたを打ち破るために、あなたがたを欺こうと努めてきた。

4 見よ、主なるわたしはあなたがたを眺め、わたしの名を公言する教会員の中に忌まわしい行いを見た。

5 しかし、忠実であって堪え忍ぶ者は、生きるも死ぬも幸いである。彼らは永遠の命を受け継ぐからである。

6 しかし、欺く者と偽善者は災いである。主が、「わたしは彼らを裁こう」と言うからである。

7 見よ、まことに、あなたがたに言う。あなたがたの中に偽善者があり、彼らはある人々を欺いてきた。このことが敵対する者に力を与えてきた。しかし見よ、このような者たちは救い出されるであらう。

8 しかし、偽善者たちは、生きるも死ぬも、わたしが望むとおりに見破られ、絶たれるであらう。

そして、わたしの教会から絶たれる者は災いである。彼らは世に打ち負かされるからである。

9 それゆえ、すべての人に、わたしの前に真理と義にかなわないことを行わないよう気をつけさせなさい。

10 さて、主は御霊によって、主の教会の長老たちに言う。さあ、あなたがたが理解できるように、わたしたちは論じ合おう。

11 人が顔と顔を合わせて互いに論じるように、わたしたちは論じよう。

12 さて、人は論じるときに、一人の人として論じるのでほかの人から理解される。そのように、主なるわたしはあなたがたと論じて、あなたがたが理解できるようにしよう。

13 それゆえ、主なるわたしはあなたがたにこう尋ねる。すなわち、「何のためにあなたがたは聖任されたのか。」

14 御霊、すなわち真理を教えるために遣わされた慰め主によって、わたしの福音を宣べ伝えるためである。

15 その後、あなたがたは、あなたがたが理解でき

2 ① 教義24章、

3 ① ルカ22：31、

3 ② 18：18、

4 ① GS「イエス・キリスト―御名を受ける」

5 ① GS「堪え忍ぶ」

6 ① GS「アルマ」

7 ① GS「アルマ」

アルマ23：13-15、

7 ② GS「悪魔」

8 ③ GS「モサ27：8-9」

4 ④ 欺かれた者のこと

8 ① 教義1：14、56、

3、64、35、

10 ① GS「破門」

10 ① イサ1：18、

12 教義45：10、18、

13 ① 教義1：24、

14 ① 教義43：15、

GS「教える教師―御霊によって教える」

2 ② GS「慰め主―助け主」

ないもろもろの霊を受け、それらを神からのものとして受け入れた。これに関して、あなたがたは義とされるであろうか。

16 見よ、あなたがたはこの問いに自ら答えなければならぬ。それでも、わたしはあなたがたを憐れもう。あなたがたの中の弱い者は、この後、強くされるであろう。

17 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしから聖任され、怒めぬすなわち真理の御霊によって真理の言葉を宣べ伝えるために遣わされる者は、真理の御霊によってそれを宣べ伝えるか、それとも何かほかの方法によって宣べ伝えるか。

18 もしもそれが何かほかの方法によるとすれば、それは神から出てはいない。

19 さらにまた、真理の言葉を受け入れる者は、真理の御霊によってそれを受け入れるか、それとも何かほかの方法によって受け入れるか。

20 もしもそれが何かほかの方法によるとすれば、それは神から出てはいない。

21 それゆえ、真理の御霊によって御言葉を受ける者は、真理の御霊によって宣べられるままにそれ

を受けるといふことを、あなたがたが理解して知ることができないのはなぜか。

22 それゆえ、説く者と受ける者が互いに理解し合い、両者ともに教化されて、ともに喜ぶのである。

23 また、人を教化しないものは、神から出てはならず、暗闇である。

24 神から出ているものは光である。光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついには真昼となる。

25 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしがそれを語るのは、あなたがたが真理を知り、暗闇をあなたがたの中から追い払うためである。

26 神から聖任され、遣わされる者は、最も小さい者であつてすべての者の僕であるにもかかわらず、最も大いなる者となるように任命されているのである。

27 それゆえ、彼はすべてのものの所有者である。天においても地上においても、すべてのものが彼に

15 GS「識別の賜物」
16 ① エテ12:23-27
17 ① GS「伝道活動」
② 宣べ伝える
18 ② 教義6:15、
22 「真理」「聖霊」
21 ① コリ14:26
ヨハ4:36
24 23 ① GS「暗闇（霊的な）」
モロ7:14、19、
教義84:45、47、88、49
「光、キリストの光」
ヨハ15:4、5、
10
26 25 ① ヨハ8:32、30
② 「奉仕」
③ マタ23:11
27 ① 教義76:5、10、
53 ① 84、34、41

従うからである。父の御心によってその子イエス・キリストを通じて送られる、命も光も、御霊も力もそうである。

28 しかし、だれもすべての罪から清められてきれいにされなければ、すべてのものの所有者ではない。

29 もしもあなたがたがすべての罪から清められてきれいにされるならば、何であろうと自分の望むことをイエスの名によって求めると、それは行われる。

30 しかし、このことを知っておきなさい。願うべきものはあなたがたに知らされるであろう。また、あなたがたは長に任命されているので、もろもろの霊はあなたがたに従うであろう。

31 それゆえ、もしもあなたがたが自分の理解できない霊が現れたのを目にし、かつその霊を受けていなければ、あなたがたはイエスの名によって父に求めなければならない。もしも父がその霊をあなたがたに与えられなければ、それが神から出でないことが分かる。

32 また、その霊を制する力があなたがたに与えら

れるであろう。そこで、あなたがたは、その霊が神から出ていないことを、大きな声でその霊に対して宣言しなければならない。

33 そのときに、あなたがたは打ち負かされないために、のしり責めることなく、またその霊に捕らえられないために、誇ったり喜んだりして宣言してはならない。

34 神から認める者は、それが神からのものであることを考えなさい。また、それを受けるにふさわしいと神から認められたことを喜びなさい。

35 それも、注意を払いながら、あなたがたが受けたこれらのこと、またこの後あなたがたが受けることを実行することによってである。王国は父からあなたがたに与えられており、また父から定められていないすべてのものに打ち勝つ力も、あなたがたに与えられている。

36 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕の口から今わたしのこれらの言葉を聞いているあなたがたは、幸いである。あなたがたの罪は赦されたからである。

37 わたしが心から喜んでいるわたしの僕ヨセ

27 GS 「力」
28 ① 3ニフ19ニ28ニ29
GS 「清き」聖約
GS 「清き」聖約
29 ① ヒヨハ17ニ9
教義46・30
30 ① GS 「権威、権限、権能」
31 ① 一ヨハ4・1、GS 「聖霊」
32 GS 「聖霊」
33 ① ユダ10・1
34 ② 教義84・67、73
35 ① GS 「神の王国、天の王国」
36 ① 教義63・20、47、43
37 ① 教義58・42ニ43
GS 「教し」

フ・ウェイクフィールドと、わたしの僕パトリ
 ー・P・ブラットは、諸教会の中に出て行き、勸
 めの言葉によつて彼らを強めなさい。

38 また、わたしの僕ジョン・コリルや、この職に
 聖任されるわたしのすべての僕たちも、同様であ
 る。これらの者はぶどう園で働きなさい。また、
 わたしが定めたことを彼らが行うのを、だれも妨
 げてはならない。

39 それゆえ、このことに關して、わたしの僕エド
 ワード・パートリッジは義とされぬ。しかしなが
 ら、悔い改めなさい。そうすれば、赦されるであ
 ろう。

40 見よ、あなたがたは幼い子供であり、今はすべ
 てのことに耐えることはできない。あなたがたは
 恵みと真理の知識とにおいて、成長しなければ
 ならない。

41 幼い子供たちよ、恐れてはならない。あなた
 がたはわたしのものであり、わたしはすでに世に
 勝っており、そしてあなたがたは父がわたしに与
 えてくださった者に属しているからである。

42 父がわたしに与えてくださった者は、だれも失

われない。

43 父とわたしとは一つである。わたしは父にお
 り、父はわたしにおられる。そして、あなたがたが
 わたしを受け入れたので、あなたがたはわたしにお
 り、わたしはあなたがたにいる。

44 それゆえ、わたしはあなたがたの中にいる。わ
 たしは良い羊飼いであり、イスラエルの石であ
 る。この岩の上に建てる者は、決して倒れること
 はない。

45 そして、あなたがたがわたしの声を聞き、わた
 しを見て、わたしがいることを知る日が来る。

46 それゆえ、目を覚ましていて、用意ができてい
 るようにしなさい。まことにそのとおりである。ア
 ーメン。

第 51 章

千八百三十一年五月二十日、オハイオ州トンブソンに
 おいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓
 示。当時、東部諸州から移住しつつあった聖徒たちが、
 オハイオに到着し始めた。そこで、彼らの定住のために
 具体的な準備をすることが必要になった。この仕事は特

37 ① GS「ブラット、
 パーリー・バーカー」
 ② 教義 97・3・5
 38 ① GS「ぶどう園（果
 樹園）(全上)」
 39 ① GS「パートリッ
 ジ、エドワード」
 40 ① 3・2・17・2・3、
 教義 78・17・18
 ② GS「恵み」
 ③ GS「真理」
 41 ① 1・コリ 2・2・3、
 教義 19・22・23
 ② 1・ヨハ 4・18
 ③ ④ ⑤ ヨハ 16・33
 ④ ヨハ 10・27・29、
 17・2、
 3・ニフ 15・84、
 教義 27・14・24、63
 42 ① ヨハ 17・12、31
 3・ニフ 27・30・31
 43 ① ヨハ 17・20・23、
 3・ニフ 11・35、36、
 44 GS「神、神会」
 ① ヨハ 10・14・15、
 GS「良い羊飼いで」
 ② 創世 49・24、
 1・ベテ 2・4・8、
 GS「隅の石」
 ③ 1・コリ 10・1・4、
 GS「イエス・キリスト」
 ④ ヒラ 5・12
 45 ① ② ③ ④ 教義 67・10・13
 ① GS「見守る、見守
 る者」
 ② アル 34・33

にビシヨップの職に属するものであったので、エドワード・パートリッジビシヨップはこの件について指示を求め、預言者が主に尋ねた。

1—8 エドワード・パートリッジは、管理人の職と財産を監督するために任命される。9—12 聖徒たちは正直に振る舞い、等しく受けるようにしなければならぬ。13—15 彼らはビシヨップの倉を持ち、主の律法に従って財産を整えなければならない。16—20 オハイオは一時的な集合地となる。

1 わたしの言葉を聴きなさい、と主なるあなたがたの神は言う。わたしは、わたしの僕エドワード・パートリッジに語り、彼に指示を与える。彼はこの民を組織する方法について指示を受けることが必要だからである。

2 彼らをわたしの律法に従って組織することが必要だからである。もしもそうしなければ、彼らは絶たれるであろう。

3 それゆえ、わたしの僕エドワード・パートリッジと、彼が選んだわたしの心にかなう者たちは、この

民に対して彼らの受取分を、各人の家族に應じて、また各人の事情と入り用と必要に応じて、平等に指定しなさい。

4 また、わたしの僕エドワード・パートリッジは、ある人にその人の受取分を指定するとき、その受取分を保証する文書、すなわち、彼が戒めに背いて、教会員の声によって、また教会の律法と聖約によって教会に属するにふさわしくないと見なされるまで、教会におけるこの権利とこの受け継ぎを保有することを述べた文書を彼に渡しなさい。

5 もしも彼が戒めに背いて、教会に属するにふさわしくないと見なされたならば、彼はわたしの教会の貧しい者や乏しい者のためにビシヨップに奉獻したその分については、これを要求する権利を持たない。それゆえ、彼はそのささげ物を保有せず、ただ文書をもって彼に譲渡された分だけを受け取る権利を持つ。

6 すべてのことがこのように、その地の法律に従って確実にされなければならない。

7 また、この民に属するものは、この民に指定しなさい。

第51章

1 ① GS「パートリッジ、エドワード」
 2 ① 教義42・30・39、105・5
 3 ① 使徒2・44・45、4二テ2・7・3
 4 ② 教義49・20
 ① 第20章は「キリストの教会の規定と律法」と呼ばれる。
 GS「聖約（契約）」
 6 ① 教義58・21・22
 ② 1ベテ2・13、
 教義98・5—7

8 この民の残りの金銭に關しては、この民の入り用に應じて食物と衣服を提供するためにその金銭を受け取る一人の代理人を、この民のために任命するようになさい。

9 また、わたしがあなたがたに命じたように、あなたがたが一つとなるために、すべての人がこの民の中で正直に振る舞い、平等であり、等しく受けるようになさい。

10 また、この民に属するものを取って、別の教会に与えることのないようになさい。

11 それゆえ、もし別の教会がこの教会から金銭を受けようとするときは、その教会に、両者の合意するとおりにこの教会への返済をさせなさい。

12 このことは、教会員の声によって任命されるビショップか代理人を通して行わなければならない。

13 さらにまた、ビショップはこの教会のために倉を設けなさい。そして、金銭と食物の両方について、この民の入り用のために必要とされる分を超えたすべてのものが、ビショップの手の中に保管されるようになさい。

14 また、ビショップにはこの仕事を行う務めがあ

るので、ビショップはまた自分自身の入り用のため、またその家族の入り用のため、自分の分を残しておきなさい。

15 このようにわたしはこの民に、わたしの律法に従って自らを組織する特権を授ける。

16 また、主なるわたしが彼らのために別の備えをして、彼らにここから出て行くよう命じるまで、わたしはしばしの間、彼らのためにこの地を聖別する。

17 その時もその日も彼らには示されない。それゆえ、彼らに、多年にわたって住むかのようにこの地で行動させなさい。そうすれば、これは彼らのために益となるであろう。

18 見よ、これはわたしの僕エドワード・パートリッジにとつて、ほかの場所でのすべての教会における一つの手本である。

19 だれでも忠実で、正しく、賢い管理人であると認められる者は、主の喜びに入り、永遠の命を受け継ぐであろう。

20 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはイエス・キリストであり、あなたがたの思いが

8 ① 教義 84 104

9 ① 教義 104 15-18

② 教義 38 27、

③ 致し

10 GS 「正直」

① 別の教派ではな

くと、教会の別の支部の

12 GS 「同意の律法」

13 GS 「倉」

② 教義 42 33-34、

③ 教義 51 2

15 ① オハイオ州カート

ランドの地域

18 ① 一つの規範

② マタ 24 45-47、

GS 「管理人、管理人の

職」

③ GS 「喜び」

④ マタ 24 44

20

けないときにすぐに来る。まことにそのとおりである。アーメン。

第52章

千八百三十一年六月六日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して教会の長老たちに与えられた啓示。カートランドで大会が開かれ、それは六月三日に始まり六日に終わった。この大会では、大祭司の職への聖任が明確な形で初めて行われ、また偽りと欺きの霊の現れが見破られ、叱責された。

1-2 次の大会をミスリーで開くように指示される。
 3-8 ともに旅をするように、ある長老たちに指示が与えられる。9-11 長老たちは、使徒たちや預言者たちが書き記してきた事柄を教えなければならぬ。12-21 御霊に照らされる人々は、賛美と知恵の実を結ぶ。22-44 何人も長老たちが、出て行って、大会のためにミスリーへ旅をしながら福音を宣べ伝えるように任命される。
 1 見よ、主は、この終わりの時に、主の御霊の声によって召して選んだ長老たちにこのように言う。

2 すなわち、主なるわたしは、今から次の大会までに行つてほしいことをあなたがたに知らせよう。次の大会はミスリー、すなわち、ヤコブの残りの者であり、聖約による相続人であるわたしの民のためにわたしが聖別する地において開かれる。
 3 それゆえ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアとシドニー・リグドンは、彼らの家を離れる準備が整い次第、旅に出て、ミスリーの地へ向かいなさい。
 4 彼らがわたしに忠実であれば、彼らのなすべきことが知らされるであろう。
 5 彼らが忠実であれば、あなたがたの受け継ぎの地もまた彼らに知らされるであろう。
 6 もしも彼らが忠実でなければ、わたしが望むまに、わたしがよいと思うまに、彼らは絶たれる。
 7 さらにまた、まことに、あなたがたに言う。わたしの僕ライマン・ワイトと、わたしの僕ジョン・コリルは、速やかに旅に出なさい。
 8 また、わたしの僕ジョン・マードックと、わたしの僕ハイラム・スミスも、デトロイトを通過して同

20 ② 黙示22:6-16
 第52章

1 ① GS「召し、神の召し」
 2 ① 詩篇135:4、3ニフ5:21-26
 3 ② アブ2:6-11、GS「アブラハムの聖約(契約)」
 ③ 教義58:57、84:3-4
 ④ 教義57:1-3
 5 ① 教義57:1-3

じ所に旅をしなさい。

9 彼らは、そこから先は途中で御言葉を宣べ伝えながら旅をしなさい。しかし、預言者たちや使徒たちが書き記したことで、信仰の祈りによって慰め主により教えられることのほかは何も語ってはならない。

10 二人ずつ組んで行きなさい。このようにして、旅の途中すべての会衆の中で教えを説き、水によって、また水辺での按手によって、バプテスマを施しなさい。

11 主はこのように言う。わたしは義にかなってわたしの業を短くしよう。わたしが勝利のために裁きを送る日が来るからである。

12 わたしの僕ライマン・ワイトは気をつけなさい。サタンがもみ殻のようにふるいにかけることを願っているからである。

13 また見よ、忠実な者は、多くのものを治める者とされるであろう。

14 さらにまた、あなたがたが欺かれないうために、わたしはすべてのことに關して規範を与えよう。

サタンは地の方々におり、出て行ってもろもろの国

民を惑わすからである。

15 祈り、また悔いる霊を持つている者は、わたしのために従うならば、わたしに受け入れられる。

16 語り、悔いる霊を持ち、その言葉が柔和で人を教化する者は、わたしのために従うならば、神から出ているのである。

17 さらにまた、わたしの力の下でおののく者は強くされ、わたしがあなたがたに与えたもろもろの啓示と真理にかなって賛美と知恵の実を結ぶであろう。

18 さらにまた、打ち負かされ、まことにこの規範に従って実を結ばない者は、わたしから出ている者ではない。

19 それゆえ、あなたがたはこの規範によって、どのような場合にも、すべての天の下のもろもろの霊を知るであろう。

20 人々の信仰に応じて彼らに行われる日が来た。

21 見よ、この戒めは、わたしが選んだすべての長老たちに与えられる。

22 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕トーマス・B・マーシュと、わ

9 ① 教義 42、12、52・36、GS「聖文」

② ② GS「教える、教師」
「御霊によって教える」
「聖霊」

「慰め主、助け主」

③ モサ 18、19、20

④ マコ 6・7、

⑤ 教義 61・35

⑥ ヨハ 1・26

⑦ 使徒 8・14、17

⑧ ロマ 9・28、

⑨ ルカ 9・22、31、

⑩ マテ 18・17、18

⑪ 2コ 12・25、23、

⑫ 教義 132・53

⑬ GS「打ち砕かれた心」

⑭ GS「定め」

⑮ 教義 97・8

⑯ ① 教義 66・8、133・58

⑰ ② GS「知恵」

⑱ ③ GS「知恵」

⑲ マタ 3・10

⑳ ④ GS「識別の賜物」
トーマス・B・

たしの僕エズラ・セアも旅に出て、この同じ地に向かう途中で御言葉を宣べ伝えなさい。

23 さらにまた、わたしの僕アイザック・モーリーと、わたしの僕エズラ・ブラスも旅に出て、この同じ地に向かう途中で御言葉を宣べ伝えなさい。

24 さらにまた、わたしの僕エドワード・パートリッジとマーティン・ハリスは、わたしの僕シドニー・リグドンならびにジョセフ・スミス・ジュニアとともに旅に出なさい。

25 わたしの僕デビッド・ホイットマーとハービー・ホイットロックも旅に出て、この同じ地に向かう途中で教えを説きなさい。

26 また、わたしの僕パーリー・P・プラットとオーソン・プラットは旅に出て、まことにこの同じ地に向かう途中で教えを説きなさい。

27 また、わたしの僕ソロモン・ハンコックとシメオン・カーターもこの同じ地に向かつて旅をし、途中で教えを説きなさい。

28 わたしの僕エドソン・フラーとジェイコブ・スコットも旅に出なさい。

29 わたしの僕リーバイ・W・ハンコックとゼベデイ

ー・コルトリンも旅に出なさい。

30 わたしの僕レイノルズ・カフィンとサミュエル・H・スミスも旅に出なさい。

31 わたしの僕ホイラー・ポールドウィンとウリアム・カーターも旅に出なさい。

32 また、わたしの僕ニューエル・ナイトとセラ・J・グリフィンの兩人は聖任を受け、彼らも旅に出なさい。

33 まことに、わたしは言う。これらすべての者は、それぞれ別の道の一つの所に向かつて旅をしなさい。その際、互いにほかの人の土台の上に建てることのないように、またほかの人の通った跡を旅することのないようにしなければならぬ。

34 忠実な者は守られて、多くの実を祝福されるであらう。

35 さらにまた、あなたがたに言う。わたしの僕ジョセフ・ウエイクフィールドとソロモン・ハンフリーは東の地に旅をしなさい。

36 この二人は、自分の家族に働きかけて、使徒たちと預言者たちの教え、ならびに彼らが見聞きした最も深く確かに信じていることだけを告げ知

24 ① GS「パートリッジ、エドワード」
 26 ① GS「フラット、パーリー、パーカー」
 ② GS「フラット、オーソン」
 32 ① 教義 56 : 6-7
 33 ① ① ロマ 15 : 20
 34 ① ① ヨハ 15 : 16、
 36 ① ① ヨハ 3 : 11
 ② GS「倍する」
 ③ モサ 18 : 19-20、
 教義 52 : 9

らせて、預言が成就するようにしなさい。

37 ヒーマン・バセットは戒めに背いたので、彼に授けられていたものを取り去り、それをサイモンズ・ライダーの頭に置きなさい。

38 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。ジェレド・カーターが祭司に聖任され、またジョージ・ジェームズも祭司に聖任されるようにしなさい。

39 残りの長老たちは、教会を見守り、また周りの地域で御言葉を告げ知らせなさい。また、偶像礼拝や悪事が行われないように、自分の手を使って働きなさい。

40 また、貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者を、すべてのことにおいて思い起こしなさい。これらのことを行わない者は、わたしの弟子ではないからである。

41 さらにまた、わたしの僕たちジョセフ・スミス・ジュニアと、シドニー・リグドンと、エドワード・パートリッジは、教会からの推薦状を持って行きなさい。また、わたしの僕オリバー・カウドリも推薦状を得るようにしなさい。

42 このようにしてわたしが言ったように、あなたがたは忠実であれば、あなたがたの受け継ぎの地であるが、今はあなたがたの敵の地である、ミズーリの地に集まって喜びを得るであらう。

43 しかし見よ、主なるわたしは、その時が来れば速やかに町を築き、忠実な者に喜びと歓喜の冠を与えよう。

44 見よ、わたしは神の子イエス・キリストである。わたしは終わりの日に彼らを高く上げよう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 53 章

千八百三十一年六月八日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してアルジャン・シドニー・ギルバートに与えられた啓示。シドニー・ギルバートの求めに応じて、預言者は教会におけるギルバート兄弟の務めと任命について主に尋ねた。

1-3 教会におけるシドニー・ギルバートの召しと選びは、長老に聖任されることである。4-7 彼はまた、ピショップの代理人としても働かなければならない。

38 37 ① マタ 25:25-30
② ① 教義 79:1
GS 「祭司 アロン 神権の」

39 GS 「偶像礼拝」
① 教義 104:15-18

40 「貧しい」
GS 「福祉」

42 41 ② GS 「福祉」
① 教義 25:64

43 57 ② GS 「シオン」
① 教義 88:96-98

44 ① ① 教義 88:96-98

1 見よ、わたしはあなた、すなわちわたしの僕シドニー・ギルバートに言う。わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたはわたしを呼び、主なるわたしがこの終わりの時に起こした教会におけるあなたの召しと選びについて、主なるあなたの神から知らせを受けることを願った。

2 見よ、世の罪のために十字架につけられた主なるわたしは、あなたのために戒めを与える。あなたは世を捨てなければならぬ。

3 わたしの聖任、すなわち長老への聖任を受け入れて、わたしの言葉のとおりには、信仰と悔い改めと罪の赦しと、また按手により聖なる御霊を受け、ことを宣べ伝え、

4 また、この後与えられる戒めに従って、ビショップから指定される所でこの教会のために代理人となりなさい。

5 さらにまた、まことに、わたしはあなたに言う。あなたは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアならびにシドニー・リグドンとともに旅に出なさい。

6 見よ、これらはあなたが受ける最初の定めである。残りは、わたしのぶどう園におけるあなたの

働きに応じて、将来知らされるであろう。7 さらにまた、わたしは、最後まで堪え忍ぶ者だけが救われるということを、あなたが知るようにと望んでいる。まことにそのとおりである。アーメン。

第 54 章

千八百三十一年六月十日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してニューエル・ナイトに与えられた啓示。オハイオ州トンブソンに住んでいる教会員たちは、財産の奉獻に関する問題で分裂していた。利己心と貪欲が表面化していた。リーマン・コプリイは、シエーカー派の人々への伝道後(第四十九章の前置きを参照)、自分の広い農場をニューヨーク州コールズビルから到着しつつあった聖徒たちの受け継ぎの場所として奉獻するという聖約を破っていた。その結果、(トンブソンに住んでいる会員の指導者であった)ニューエル・ナイトとほかの長老たちは、預言者のところに来て、対処する方法を尋ねた。そこで預言者は主に尋ね、リーマン・コプリイの農場を去ってミズーリへ旅するようにトンブソンの会員に命じるこの啓示を受けた。

第 53 章

1 ① GS 「選び」
 「選民」
 「召しと選び」
 2 ① GS 「十字架の刑」
 「物欲」
 「世」
 3 ① GS 「罪の赦し」
 ② ② GS 「按手」
 4 ① 教義 57:6、
 8-10、14-15、84
 7 ① GS 「堪え忍ぶ」

1-6 聖徒たちは、憐れみを受けるために、福音の聖約を守らなければならない。7-10 聖徒たちは、艱難の中で忍耐強くなければならない。

1 見よ、主、すなわちアルパでありオメガであり、初めてあり終わりであり、世の罪のために十字架につけられた者はこのように言う。

2 見よ、まことに、まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ニューエル・ナイトに言う。あなたは、わたしが任命した職にしっかりと立たなければならない。

3 また、あなたの兄弟たちは、敵から逃れたいと望むならば、すべての罪を悔い改め、わたしの前から心から謙遜になり、悔いるようにしなければならない。

4 また、彼らがわたしに立てた聖約は破られたので、それはむなしくなり、無効となった。

5 このつまずきをもたらした者は災いである。彼らにとつては、海の深みに沈められた方がよかつたからである。

6 しかし、聖約を守り、戒めに従つてきた者は幸

いである。彼らは憐れみを受けるからである。

7 また、あなたがたの敵に襲われないように、今去つてこの地を逃れなさい。旅に出なさい。また、あなたがたが望む者を指導者とし、あなたがたのために金銭を支払う者としなさい。

8 このようにして、あなたがたは西の地域へ、ミズーリの地へ、レーマン人の境の地へ旅をしななければならない。

9 そして、旅を終えたら、見よ、わたしはあなたがたに言うが、わたしがあなたがたのために場所を用意するまで、ほかの人々のように生計を求めなさい。

10 さらにまた、わたしが来るまで、艱難の中で忍耐強くありなさい。見よ、わたしはすぐに来る。そして、わたしの報いはわたしともにある。わたしを早く求めた者は、自分自身に安息を見いだすであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 55 章

千八百三十一年六月十四日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してウイリア

第 54 章

1 ① 黙示 1:8、
教義 19:1、
GS 「アルパとオメガ」
2 ② GS 「十字架の刑」
3 ③ GS 「謙遜」
4 ④ GS 「教義 42:30-39、
GS 「奉獻、奉獻の律法」
5 ① ① 教義 58:32-33
② マタ 18:6-7
6 ① GS 「憐れみ」
7 ① 教義 52:42
8 ① 1 テサ 4:11
9 ① 黙示 22:12、
10 GS 「イエス・キリストの再臨」
11 ① GS 「忍耐」
12 ② 箴言 8:17、
13 ③ 「折り」
14 ④ マタ 11:28-30、
15 「安息」

ム・W・フェルプスに与えられた啓示。印刷業者のウィリアム・W・フェルプスとその家族がカートランドに到着したばかりで、預言者は彼についての情報を主に求めた。

1-3 ウィリアム・W・フェルプスは、バプテスマを受け、長老に聖任され、福音を宣べ伝えるように召され、選ばれる。4 彼はまた、教会の学校の子供たちのために本を書かなければならない。5-6 彼は、自分が働く地となるミズーリへ旅をしなければならぬ。

1 見よ、主、すなわち全地の主は、あなた、すなわちわたしの僕ウィリアムにこのように言う。あなたは召され、選ばれている。あなたは水によってバプテスマを受けると、しかも神の栄光にひたすら目を向けてそうするならば、罪の赦しを受け、按手によって聖なる御霊を受けるであろう。

2 その後あなたは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアの手により聖任されて、この教会のために長老となり、悔い改めと、生ける神の子イエス・キリストの名によるバプテスマによつての罪の赦しを

宣べ伝えるであろう。

3 また、だれでもあなたが手を置く者がわたしの前に悔いる状態であれば、あなたはその人に聖なる御霊を授ける力を持つであろう。

4 さらにまた、あなたは、わたしの僕オリバー・カウドリを助けるように聖任されて、印刷の仕事をし、また幼い子供たちもわたしの前で教えを受けられるように、この教会の学校のために書籍を選び、著作する仕事に携わるであろう。幼い子供たちが教えを受けることは、わたしにとつての喜びである。

5 さらにまた、まことに、わたしはあなたに言う。あなたはこのために、すなわち、あなたの受け継ぎの地に根を下ろしてこの仕事ができるようにするために、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアならびにシドニー・リグドンとともに旅に出なければならぬ。

6 さらにまた、わたしの僕ジョセフ・コーも、彼らとともに旅に出なさい。残りには、わたしが望むままに、この後知らされるであろう。アーメン。

第 56 章

千八百三十一年六月十五日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示は、以前の啓示（第八節では「戒め」と述べられている）に従わないことでエズラ・セアを叱責している。かつてジョセフ・スミスはエズラ・セアのために啓示を受け、彼が住んでいるフレデリック・G・ウイリアムズの農場における彼の義務について教えていた。また、続く啓示は、トーマス・B・マーシュとともにミズーリへ旅をするようにというセアの召しを取り消している（第五十二章二十二節を参照）。

1-2 聖徒たちは救いを得るために、自分の十字架を負い、主に従わなければならない。3-13 主は命じられ、また取り消される。そして、不従順な者は絶たれる。14-17 貧しい人を助けない金持ちは災いである。また、貧しい人で、心が打ち砕かれていないものは災いである。18-20 貧しい人で、心が清い者は幸いである。彼らは地を受け継ぐからである。

1 聴きなさい、おお、わたしの名を公言する人々

よ。主なるあなたがたの神は言う。見よ、わたしの怒りは背く者に向かって燃えている。彼らは、もろもろの国民に下される刑罰と激しい怒りの日に、わたしの腕とわたしの憤りを知るであろう。2 自分の十字架を負ってわたしに従おうとせず、またわたしの戒めを守ろうとしない者は、救われないであろう。

3 見よ、主なるわたしは命じる。そして、わたしが命じた後に、その戒めが破られると、従おうとしない者は、わたしがふさわしいと思うときに絶たれる。

4 それゆえ、主なるわたしは、わたしがよいと思うままに命じ、また取り消す。そして、これはすべて背く者の頭に帰する、と主は言う。

5 それゆえ、わたしは、わたしの僕たちトーマス・B・マーシュとエズラ・セアに与えた戒めを取り消し、わたしの僕トーマスに新しい戒めを与える。彼はミズーリの地へ速やかに旅をしなればならない。また、わたしの僕セラ・J・グリフィンも彼とともに行かなければならない。

6 見よ、わたしは、トンプソンにいるわたしの民

第 56 章

- 1 ① 教義 41 : 1
- 2 ② イザ 10 : 3-4、
モル 9 : 2、
教義 1 : 13、14、124 : 10
- 2 ① ルカ 12 : 27、
2 ニコ 31 : 10、13、
モロ 7 : 11
- GS 「イエスキリスト
―模範―」
- 3 ① GS 「従順、従う」
2 教義 1 : 14、16、
50 : 8
- 4 ① 教義 58 : 31-33
- 5 ② GS 「背く」、
トーマス・B」

が強情であり、背いたために、わたしの僕たちセラ・J・グリフィンとニューエル・ナイトに与えた戒めを取り消す。

7 それゆえ、わたしの僕ニューエル・ナイトは、彼らとともにとどまりなさい。わたしの前に悔いる状態であつて、行くことを望むすべての者は、彼に導かれて、わたしが指定した地に行くことができる。

8 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕エズラ・セアは、高慢とわがまを悔い改め、彼の住む場所に関してわたしが与えた以前の戒めに従わなければならない。

9 もしそうするならば、彼はなおミズーリの地へ行くように命じられる。土地の分配が行われないからである。

10 そうしなければ、彼は自分が納めた金銭を受け取つて、その場所を去り、わたしの教会から絶たれなければならない、と主なる万軍の神は言う。

11 たとえ天地が過ぎ去ろうと、これらの言葉は過ぎ去ることがなく、成就するであろう。

12 また、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニア

が金銭を払ふ必要があれば、見よ、主なるわたしはミズーリの地で彼にそれを払い戻そう。それは、彼に金銭を与える人々が、彼らの行うことに応じて報われるためである。

13 彼らの行うことに応じて、彼らは土地を受け継ぎとして得るであろう。

14 見よ、主はわたしの民にこのように言う。すなわち、あなたがたにはなすべきことと、悔い改めべきことがたくさんある。見よ、あなたがたの罪はわたしのもつと上つてきているが、赦されていない。あなたがたが自分の方法で勧めをしようにするからである。

15 あなたがたの心は満足していない。あなたがたは真理に従わないで、不義を喜んでいる。

16 あなたがた、金持ちで自分の持ち物を貧しい者に与えようとしない者は、災いである。あなたがたの富はあなたがたを腐敗させるからである。そして、刑罰と裁きと憤りの日におけるあなたがたの悲しみは、このようである。すなわち、「刈り入れの時は過ぎ、夏は終わつた。しかし、わたしは救われていない」と。

8 ① GS「高樓」
 11 ① GS「破門」
 11 ① ヤコフ 2:7
 11 ① アル 41:10
 11 ① アル 41:16
 16 ① エレ 17:11
 2 ② 箴言 14:31
 2 ② フ 9:30
 3 ② アル 5:55
 3 ② アル 5:56
 4 ③ GS「施し」
 4 ③ 新ヤコブ 5:3
 5 ④ エレ 8:20
 5 ④ アル 34:33
 5 ④ アル 34:35
 教義 45:2

17 あなたがた、貧しい者で心が打ち砕かれておらず、霊が悔いておらず、腹が満たされておらず、他人の所有物に手を置くのをとどめられず、その目が貪欲に満ちており、自分自身の手で働こうとしないものは、災いである。

18 しかし、貧しい者で、心が清く、心が打ち砕かれており、霊が悔いている者は、幸いである。彼らを救い出すために力と大いなる栄光とのうちに来る神の王国を見るからである。地の豊かなものが彼らのものとなるであろう。

19 見よ、主は来る。主は報いを携えて来て、すべての人に報いを与え、貧しい者は喜ぶであろう。

20 彼らの子孫は代々とこしえにいつまでも、地を受け継ぐであろう。これで、わたしはあなたがたに語ることを終わりにする。まことにそのとおりである。アーメン。

第 57 章

千八百三十一年七月二十日、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。「あなたがたの受け継ぎの地」を示すのでミ

ズーリへ旅をしなさいという主の命令（第五十二章）に従って、長老たちはオハイオからミズーリ州西部の州境の地へ旅をした。ジョセフ・スミスはレーマン人の状態についてつくづくと考え、次のことを知りたいと思つた。「いつ荒野のばらのように花咲くのでしょうか。いつシオンはその栄光のうちに築き上げられ、また、終わりの時にすべての国民がやって来るあなたの神殿は、どこに立つのでしょうか。」その後、この啓示を受けた。

1-3 ミズーリ州インディペンデンスは、シオンの町と神殿のための場所である。4-7 聖徒たちはその地方で土地を購入し、受け継ぎを得なければならぬ。8-16 シドニー・ギルバートは店を開き、ウィリアム・W・フェルプスは印刷を行い、オリバー・カウドリは出版のために資料を編集しなければならぬ。

1 聴きなさい、おお、わたしの命じたとおりにこの地、すなわちミズーリの地に集まって来たわたしの教会の長老たちよ。主なるあなたがたの神は言う。ここは、わたしが聖徒の集合のために指定し、聖別した地である。

第 57 章

17 ① モサ 4 : 24、27、
 教義 42 : 42、68、30-32
 ② GS 「貪欲、むさぼり」
 18 ① マテ 5 : 3、8、
 ルカ 6 : 20、
 3 コリ 12 : 3、
 GS 「貧しい」
 ② GS 「打ち砕かれた心」
 ③ GS 「神の王国、天の王国」
 ④ GS 「地球、地」
 19 ① 黙示 22 : 12、
 教義 1 : 10
 20 ① マテ 5 : 5、
 教義 45 : 56-58
 1 ① 教義 52 : 42
 ② GS 「イスラエル」
 ③ GS 「イスラエルの集合」
 ④ 教義 61 : 17
 ④ 教義 29 : 7-8、
 45 : 64-66

2 それゆえ、ここは約束の地であり、シオンの町のための場所である。

3 また、主なるあなたがたの神はこのように言う。もしあなたがたが知恵を得たいと望むならば、ここに知恵がある。見よ、今インディペンデンスと呼ばれている場所は中心の場所であり、神殿の建てられる地点は西方の、郡庁舎から遠くない地所にある。

4 それゆえ、聖徒たちがその土地を購入することは賢明である。また、西方に位置している土地、すなわち、ユダヤ人と異邦人の間をまっすぐ走っている境界線に至るまでのすべての土地を、

5 また大平原に接するすべての土地も、わたしの弟子たちがそれらの土地を買い取るかぎり購入することは賢明である。見よ、これは賢明なことである。彼らが永遠の受け継ぎとしてそれを得るためである。

6 また、わたしの僕シドニー・ギルバートは、わたしが任命した職に就いて、金銭を受け取り、教会のために代理人となり、また義をもって行えるかぎり、知恵に導かれるままに、周りのすべての地

域で土地を買いなさい。

7 また、わたしの僕エドワード・パートリッジは、わたしが任命した職に就いて、わたしが命じたように、聖徒たちに彼らの受け継ぎを分配しなさい。また、彼を助けるように彼から任命された人々も同様である。

8 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕シドニー・ギルバートはこの地に定住し、一軒の店を開くことによつて、正直に品物を買取り、聖徒たちのために土地を買い取金を得、弟子たちが受け継ぎの地に定住するために必要なものを何でも得られるようにしなさい。

9 また、わたしの僕シドニー・ギルバートは許可証を手に入れて、自分の業務で店員として雇いたいと思う者たちを使い、人々に品物を送るようにしなさい。見よ、ここに知恵がある。読む者は理解しなさい。

10 このようにして、わたしの聖徒たちに必要なものを与えて、暗闇に、また死の地と陰に座している人々にわたしの福音が宣べ伝えられるようにしなさい。

2 ① GS「フオ」

2 ② 教義 28 : 9、

3 ① 教義 58 : 57、

4 ① 教義 48 : 4

4 ② ここで言われている「ユダヤ人」とはレ

1 マン人のことであ

り、「異邦人」とは白人

住民のことである

5 ① 教義 58 : 49、51、

6 ① 教義 53 章、

7 GS「パートリッジ、

エドワード」

② ② 教義 41 : 9-11、

10 マタ 4 : 16、2、

② ② 58 : 14-18、

GS「暗闇(霊的な)」

② ② 詩篇 23 : 4

11 さらにまた、まことに、あなたがたに言う。わたしの僕ウイリアム・W・フェルプスはこの地に定住し、教会のために印刷の仕事をしなさい。

12 また見よ、世の人々が彼の書いたものを受け入れるならば―見よ、ここに知恵がある―彼は、義をもつて得られるものをすべて聖徒たちの益のために得るようにしなさい。

13 また、わたしの僕オリバー・カウドリは、わたしに指定するあらゆる場所、わたしが命じたように、ウイリアム・W・フェルプスが筆写し、校正し、選択するのを助けなさい。御霊により彼を通して明らかにされるままに、すべてのことがわたしの前に正しくあるためである。

14 このように、わたしが語った人々は、できるだけ速やかに家族とともにシオンの地に定住し、わたしが語ったとおりにそれらのことを行いなさい。

15 さて、集合に関して、ビショップと代理人は、できるだけ早く、この地に来るように命じられたそれらの家族のために準備をし、彼らを受け継ぎの地に定住させるようにしなさい。

16 また、長老たちと会員たちの残りには、この後

さらに指示が与えられるであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 58 章

千八百三十一年八月一日、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。ミズーリ州ジャクソン郡に預言者と一行が到着した後の最初の安息日にすでに礼拝が行われ、バプテスマによって二人の会員が受け入れられていた。その週の間に、トンブソン支部より、コールズビルの聖徒たちから成る会員たちと他の人々が到着した（第五十四章を参照）。多くの人が、新たな集合地での自分たちに関する主の御心を知りたいとしきりに願った。

1―5 艱難に耐える者は、栄光を冠として与えられる。6―12 聖徒たちは、小羊の婚宴と主の晩餐に備えなければならない。13―18 ビショップはイスラエルの判士である。19―23 聖徒たちは、その地の法律に従わなければならない。24―29 人は自分の選択の自由を使って、善を行うようにしなければならない。30―33 主は命じられ、また取り消される。34―43 悔い改めるために、人は

11 ① GS 「フェルプス、ウイリアム・W・フェルプス」
 ② 教義 58 : 37, 40―41
 13 GS 「カウドリ、オリバー」

自分の罪を告白し、それを捨てなければならぬ。44 - 58 聖徒たちは受け継ぎの地を購入し、ミズーリに集まなければならない。59 - 65 福音はすべての造られたものに宣べ伝えられなければならない。

1 聴きなさい、おお、わたしの教会の長老たちよ。わたしの言葉に耳を傾けて、あなたがたに、またわたしがあなたがたを遣わしたこの地に、またわたしが望んでいる事柄をわたしから学びなさい。

2 まことに、わたしはあなたがたに言う。生きるも死ぬも、わたしの戒めを守る者は幸いである。艱難の中で忠実な者の受ける報いは、天の王国においてもっと大きい。

3 あなたがたは、この後に起こることに関するあなたがたの神の計画と、多くの艱難の後に来る栄光を、今は肉体の目で見る事ができない。

4 多くの艱難の後に祝福は来る。それゆえ、あなたがたが大いなる栄光を冠として与えられる日が来る。その時はまだ来ていないが、もう近い。

5 わたしが前もってあなたがたに告げるこのこと

を覚えておきなさい。そうすれば、あなたがたはそれを心に留めて、来るべきものを受けることができると。

6 見よ、まことに、あなたがたに言う。わたしはあなたがたをこの理由で遣わしたのである。すなわち、あなたがたが従順であるため、またあなたがたの心が来るべきことについて証を述べるように備えられるためである。

7 さらに、あなたがたが基を据えるという誉れと、また神のシオンが立つ地について証するという誉れを与えられるためである。

8 また、肥えたものの祝宴が貧しい者のために備えられるようにするためでもある。まことに、預言者たちの口が偽りを言わないことを、地の人々が知ることのできるように、肥えたものと、濼がよく精製されたぶどう酒の祝宴が備えられるようになるためである。

9 まことに、よく備えられた主の家の晩餐に、すべての国民が招かれるであろう。

10 まず、富者と学者、知者と貴人が招かれる。

11 その後、わたしの力の日が来る。それから、貧

しい者と、足の不自由な者、目の見えない者、耳の聞こえない者が、小羊の婚宴に来て、来るべき大いなる日のために備えられた主の晩餐にあずかるであろう。

12 見よ、主なるわたしがこれを語った。

13 また、証がシオンから、すなわち神の譲りの町の口から出るように、

14 まことに、この理由で、わたしはあなたがたをここに遣わし、わたしの僕エドワード・パートリッジを選んで、この地における使命を彼に定めたのである。

15 しかし、もしも彼が自分の罪、すなわち不信仰と心の暗さを悔い改めなければ、倒れることのないように彼に気をつけさせなさい。

16 見よ、彼の使命はすでに与えられており、再びそれが与えられることはない。

17 この使命に携わる者は、昔と同じように、イスラエルの判士となるように任命されて、神の子らに神の譲りの地を分け、

18 また、神の預言者たちより与えられる王国の律法に従って、正しい者の証言により、また彼の顧

問たちの助けにより神の民を裁くのである。

19 まことに、わたしはあなたがたに言う。この地でわたしの律法は守られなければならない。

20 だれも自分を支配者であると考えてはならない。そうではなく、裁く者、言い換えれば、勧告する者や裁きの座に着く者を、神に神の思いのまま

21 だれもその地の法律を破ってはならない。神の律法を守る者は、その地の法律を破る必要がないからである。

22 それゆえ、治める権利を持つ者が治め、すべての敵をその足の下に従わせるまで、今ある権力にしがなさい。

23 見よ、あなたがたがわたしの手から受けた律法は、教会の律法である。このことに照らして、あなたがたはこれらを掲げるようにしなければなら

24 ない。見よ、ここに知恵がある。

24 さて、わたしの僕エドワード・パートリッジについて語ったように、この地は彼の居住の地、また彼が顧問として任命した者たちの居住の地である。また、わたしの倉を管理するようにわたしが

11 ① マテ 22 : 1-14
黙示 19 : 9、
教義 65 : 3

12 ① ② ルカ 14 : 16-24
③ ミカ 4 : 2

13 ① GS「パートリッジ、エドワード」

14 ① ① 1 コリ 10 : 12
② ① 教義 87 : 72-74
③ 「ピンナップ」

15 ① ② GS「神の息子、娘」

16 ① ① GS「預言者」
② ① ルカ 20 : 22、26
③ 教義 98 : 4、10、12

17 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」

18 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

19 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

20 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

21 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

22 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

23 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

24 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

25 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

26 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

27 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

28 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

29 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

30 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

31 ① GS「政府」
② GS「イエス・キリスト」
③ 「福千年」

任命した者の居住の地でもある。

25 それゆえ、彼らに、彼ら自身とわたしとの間で協議するとおりに、彼らの家族をこの地に連れて来させなさい。

26 見よ、わたしがすべてのことを命じるのは適切ではない。すべてのことを強いられて行う者は怠惰であつて、賢い僕ではない。したがって、彼は報いを受けない。

27 まことに、わたしは言う。人は熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によつて行い、義にかなう多くのことを成し遂げなければならぬ。

28 人は自らの内に力があり、それによつて自ら選択し行動する者だからである。そして、人は善を行ふならば、決してその報いを失うことはない。

29 しかし、命じられるまで何事も行わず、疑いの心をもつて戒めを受け入れ、それを不承不承守る者は、罰の定めを受ける。

30 主は言う。人を造つたわたしが、わたしの戒めに従わない者を罪のない者とするであろうか。

31 主は言う。わたしが約束をして、果たさなかつ

たことがあるであろうか。

32 わたしが命じて、人々が従わないと、わたしは命じたことを取り消し、彼らは祝福を受けない。

33 すると、彼らは心の中で、「これは主の業ではない。約束が果たされていないから」と言う。しかし、このような者は災いである。彼らの報いは下に潜み、上からは来ないからである。

34 さて、わたしはこの地に関してさらに幾つかの指示をあなたがたに与える。

35 わたしの僕マーティン・ハリスが彼の金銭を教会のビショップの前に置いて、教会員の模範となることは、わたしの知恵にかなつてゐる。

36 またこれは、受け継ぎを得るためにこの地にやつて来るすべての人への律法である。そして、彼らはその律法が指示するとおりに、その金銭を処置しなければならぬ。

37 倉のために、また印刷所のために、インディペンデンスに土地を購入することもまた賢明である。

38 また、わたしの僕マーティン・ハリスには、彼がよいと思うままに受け継ぎを得られるように、彼に関するほかの指示が御霊によつて与えられる

26 ① マテ 24 : 45 - 51
 27 ① GS「行い」
 28 ① GS「熱心」
 29 ① GS「罰の定め」
 30 ① イザ 45 : 9 - 10
 31 ヒラ 12 : 6
 32 ① 教義 1 : 37 - 38
 33 ① 教義 56 : 3 - 4
 34 ① 教義 42 : 29 - 45
 35 ① 教義 57 : 11 - 12
 36 ① 教義 57 : 12 - 32

であろう。

39 しかし、彼は世の誉れを求めているので、罪を悔い改めさせなさい。

40 また、わたしの僕ウィリアム・W・フェルプスも、わたしが任命した職に就いて、この地で彼の受け継ぎを得るようにさせなさい。

41 しかし、彼も悔い改める必要がある。彼は抜きんでることを求めて、わたしの前に十分柔和になつていないので、主なるわたしは彼を喜んでいないからである。

42 見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。

43 人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる。

44 さて、まことに、わたしは、わたしの教会の長老たちの残りについて言う。彼らがこの地で受け継ぎを得る時は、彼らが信仰の祈りによってそれを望んで、主から定められなければ、まだ長年の間来ない。

45 見よ、彼らは地の果てから人々を押し集めなけ

ればならないからである。

46 あなたがたは集まりなさい。そして、この地にとどまるように命じられていない者は、周りの地域で福音を宣べ伝えなさい。それから、自分の家に帰らなさい。

47 長老たちは途中で教えを説き、すべての場所ですりについて証を述べ、富んでいる者や、地位の高い者や低い者、また貧しい者に悔い改めを呼びかけなさい。

48 そして、地に住む者が悔い改めるならば、教会を築き上げなさい。

49 また、教会員の声によってオハイオの教会に代理人を定め、シオンの土地を購入する金銭を受け取らせなさい。

50 わたしは、わたしの僕シドニー・リグドンに戒めを与える。彼は御霊によって知らされるままに、シオンの地の詳細と神の御心を知らせる声明とを記さなければならぬ。

51 また、金銭を得るためにすべての教会に渡す手紙と同意書を作成して、神の子らの受け継ぎの地を購入するため、彼がよいと思ふままに、あるいは

39 ① 2ニフ26・29、
 ① 教義12・34・37、
 40 ① GS「フェルプス、
 ウィリアム・W・
 42 ① GS「悔い改め」
 GS「イザ1 18」
 GS「イザ43」
 GS「救し」
 43 ① 教義19・20、64・7、
 GS「告白」
 45 ② 教義82・7
 GS「申命33 17、
 「イスラエルイス
 ラエルの集合」
 47 ① 教義68・8
 48 ① 教会の支部のこと
 49 ① GS「シオン」
 50 ① 教義63・55
 51 ① 56

彼が指示するままに、ビショップか、彼自身、あるいは代理人の手にその金銭を納めるようにしなければならぬ。

52 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。

主は弟子たちと人の子らがその心を開いて、まことに時間の許すかぎりできるだけ早く、この地域全体を購入することを望んでいる。

53 見よ、ここに知恵がある。彼らにこれを行わせなさい。そうでなければ、彼らは血を流すことなしには、決して受け継ぎを得られないであろう。

54 さらにまた、土地を手に入れたならば、すべての職種の働き手をこの地に送って、神の聖徒たちのために働かせなさい。

55 これらすべてのことを秩序正しく行いなさい。また、教会のビショップや代理人は、時々この土地で得られる特権について報告するようにしなさい。

56 集合の業は慌てることのないようにし、また逃げるようにして行うことのないようにしなさい。しかし、それは、教会の長老たちが大会で決めるとおりに、また彼らが折々に受ける知識に従って行

うようにしなさい。

57 また、わたしの僕シドニー・リグドンは、この土地と神殿用地を主のために聖別し、奉献しなさい。

58 大会の集会を召集しなさい。その後、わたしの僕シドニー・リグドンとジョセフ・スミス・ジュニアは帰り、また彼らとともにオリバー・カウドリも

帰って、わたしが彼ら自身の土地で彼らに指定した業の残り、ならびに大会で決定されることの残務を果たしなさい。

59 また、この地から帰る者は、自分が知っており、最も深く確かに信じている事柄について、途中で証を述べないで帰ることのないようにしなさい。

60 ザイバ・ピーターソンに授けられたものを彼ら取り去りなさい。そして、彼を教会の一会員として、彼が自分のすべての罪に対して十分に懲らしめを受けるまで、兄弟たちとともに彼自身の手を使って働かせなさい。彼は自分の罪を告白せず、それらを隠そうと考えているからである。

61 この地に向かってこの教会の長老たちの残りの者も、この地で大会を開きなさい。その中のあ

る者たちは非常に、まことに計り知れないほど祝福されている。

62 わたしの僕エドワード・パートリッジは、彼らが開く大会を指導しなさい。

63 そして、彼らも帰り、途中で福音を宣べ伝え、彼らに明らかにされた事柄について証を述べなさい。

64 まことに、この知らせはこの地から全世界に、また地の最も遠い所まで出て行くであろう。福音はすべての造られたものに宣べ伝えられ、信じる者は数々のしるしが伴うであろう。

65 そして見よ、人の子が来る。アーメン。

第 59 章

千八百三十一年八月七日、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示に先立ち、その土地は主から指示されたとおりに聖別され、また将来の神殿のための敷地が奉獻された。この啓示を受けた日に、ジョセフ・ナイト・シニアの妻、ポリー・ナイトが亡くなった。彼女はシオンで亡くなった最初の教会員である。初期の会員た

ちは特にこの啓示を「安息日の守り方と断食と祈りの仕方」を聖徒に教えるもの」とみなした。

1-4 シオンの忠実な聖徒たちは祝福される。5-8

6 彼らは主を愛し、主に仕え、主の戒めを守らなければならない。9-19 主の目を聖く守ることによって、聖徒たちは物質的にも霊的にも祝福される。20-24 義人はこの世において平和を、また来るべき世において永遠の命を約束される。

1 見よ。主は言う。わたしの命じたとおりに、わたしの栄光にひたすら目を向けてこの地上に上つて来た人々は、幸いである。

2 生きている者は地を受け継ぎ、死ぬ者はその労苦をすべて解かれて休み、彼らの業は彼らについて行くからである。そして、彼らは、わたしが彼らのために用意した父の住まいで冠を受けるであろう。

3 まことに、わたしの福音に従っていて、自分の足でシオンの地に立つ者は、幸いである。彼らは地の良いものを報いとして受けるからである。そして、地は力強く産するであろう。

第 59 章

64 ① GS 「宣べ伝える」
② GS 「しるし」
65 ① GS 「イエス・キリストの再臨」

1 ① マタ 6 : 22-24
教義 88 : 67
2 ① マタ 5 : 5、
教義 63 : 20、48、49
② 黙示 14 : 13、
GS 「死（肉体の）」
「パラダイス」
③ ヨハ 14 : 2、
教義 72 : 4、76、
81 : 6、98 : 18
④ GS 「冠」
3 ① 創世 4 : 12、
モセ 5 : 37

4 彼らは上からの数々の祝福を、また少なからぬ戒めを、さらに時になつた数々の啓示を冠して与えられるであろう。わたしの前に忠実かつ熱心である者は、このとおりである。

5 それゆえ、わたしは彼らに戒めを与えて、このように言う。あなたは心を尽くし、勢力と思いと力を尽くして、主なるあなたの神を愛さなければならぬ。また、イエス・キリストの名によつて、神に仕えなければならぬ。

6 あなたは自分自身を愛するように隣人を愛さなければならぬ。あなたは盗んではならない。姦淫をしてはならない。殺してはならない。これに類することをしてはならない。

7 あなたはすべてのことについて、主なるあなたの神に感謝しなければならぬ。

8 あなたは、義をもつて主なるあなたの神に犠牲を、すなわち打ち砕かれた心と悔いる霊の犠牲をささげなければならぬ。

9 また、あなたは、世の汚れに染まらずに自らをさらに十分に清く保つために、わたしの聖日に祈りの家に行つて、聖式をささげなければならぬ。

10 まことに、この日は、あなたがたの労苦を解かれて休み、いと高き方に礼拝をささげるように定められた日だからである。

11 それでも、あなたの誓言は、毎日、また常に、義をもつてささげなければならぬ。

12 しかし、この主の日に、あなたはいと高き方にあなたの供え物と聖式をささげ、また兄弟たちと主の前にあなたの罪を告白しなければならぬことを覚えておきなさい。

13 また、この日には、あなたはほかに何事もしないようにしなければならぬ。ただ、あなたの食物を真心を込めて準備して、あなたの断食が完全になるように、言い換えれば、あなたの喜びが満たされるようにするだけである。

14 まことに、これは断食と祈り、言い換えれば、喜びと祈りである。

15 あなたがたが、感謝して、楽しんで心と表情をもつて、しかも、ひどく笑うことは罪であるので、そうすることなく、しかし喜びの心と楽しんで表情をもつて、これらのことを行ふならば、

16 まことに、わたしは言うが、あなたがたがこれ

4 ① 教義 42 : 61、76、98 : 12、26、29
 7 GS「啓示」
 8 GS「ふさわしさ」
 9 GS「心」
 10 GS「熱心」
 11 ② 申命 11 : 1、マタ 22 : 37、モロ 10 : 12、教義 20 : 19、37
 12 GS「愛」
 13 GS「奉仕」
 14 GS「フエロー」
 15 GS「盗み」
 16 GS「殺人」
 17 GS「姦淫」
 18 GS「殺入」
 19 ① 詩篇 92 : 1、アル 37 : 37、教義 46 : 32、33
 20 GS「感謝」
 21 GS「義」
 22 GS「義」
 23 GS「犠牲」
 24 GS「打ち砕かれた心」
 25 ① 新ヤコブ 27 : 12、10 GS「安息日」
 11 GS「礼拝」
 12 ① 神と同僚のためにささげる時間や才能、財産。
 13 GS「犠牲」
 14 GS「告白」
 15 GS「断食」
 16 GS「喜び」
 17 GS「感謝」
 18 ① 出エ 25 : 2、教義 64 : 34、34、箴言 17 : 22、4 教義 88 : 69

を行^{おこな}うならば、地に満^みちているもの、すなわち、野^{のほ}の獣^{けもの}と空^{そら}の鳥、また木に登^{のぼ}るものと地上^{ちじょう}を歩^{ある}くものは、あなたがたのものとなる。

17 まことにまた、草^{くさ}と、地^ちから生^{しょう}じる良いものも、あなたがたのものとなる。これらのものは、食^く物のため、または衣服^{いふく}のため、または家屋^{かおく}のため、または小屋^{こや}のため、または果樹園^{かじゅえん}のため、または菜園^{さいえん}のため、またはぶどう園^{ぶどうえん}のために用^{もち}いられる。

18 まことに、季節^{きせつ}に応じて地^ちから生^{しょう}じるすべてのものは、人の益^{ひと}と利用^{りよう}のため、目を楽^{たの}しませ、心を喜^{よろこ}ばせるために造^{つく}られている。

19 まことに、食物^{じよく}のため、また衣服^{いふく}のため、味^{あじ}のため、また香り^{かおり}のため、体^{からだ}を強^{つよ}くするため、また霊^{れい}を活^いきづけるために造^{つく}られている。

20 神^{かみ}はこれらのものをすべて人^{ひと}に与^{あた}えたことを喜^{よろこ}んでいる。この目的^{もく}のためにこれらのものは、思慮^{しりょ}分別^{ぶんべつ}をもつて、度^どを越^こさず、貪欲^{どんよく}に取^とることなく使^{つか}うように造^{つく}られたからである。

21 また、すべてのことの中に神^{かみ}の手^てを認^{しん}めない者と、神^{かみ}の戒^いめに従^{したが}わない者のほかに、人^{ひと}はどのよ^ようなことに ついても神^{かみ}を怒^{いか}らせることはない、す

なわち、ほかのどのような人^{ひと}に向^むかっても神^{かみ}の激^げしい怒^{いか}りは燃^もえない。

22 見^みよ、これは律法^{りつぽう}と預言者^{よげんしゃ}にかなっている。それゆえ、この件^{けん}についてこれからはもうわたしを煩^{わづら}わさないようにしなさい。

23 しかし、義^ぎの業^{わざ}を行う者^{おこな}はその報^{むく}いを受ける、すなわち、この世^よにおいて平和^{へい}を、また来^{きた}るべき世^よにおいて永遠^{えい}の命^{いのち}を受けるとい^いうことを知^しっておきなさい。

24 主^{しゅ}なるわたし^{わたし}がこれを語^かつた。そして、御^み霊^{たま}が証^{あかし}する。アーメン。

第 60 章

千八百三十一年八月八日、ミズーリ州^{みずうりしゅう}ジャクソン郡^{じやくん}インディペンデンスにおいて、預言者^{よげんしゃ}ジョセフ・スミス^{すミス}を通じて与^{あた}えられた啓^け示^し。このとき、ジャクソン郡^{じやくん}へ旅^{たび}をして、その土地^ちと神殿^{しんでん}用地^{ようち}の奉^{ほう}献^{けん}に参加^{さんか}していた長老^{ちやうらう}たちは、自分^{じぶん}たちのなすべきことは何^{なに}か知^しりたいと望^{のぞ}んだ。

1-9 長老^{ちやうらう}たちは、悪^{あく}人の集^{あつ}まりの中^{なか}で福^{ふく}音^{おん}を宣^{のたま}べなければならぬ。10-14 長老^{ちやうらう}たちは時^じ間^{かん}を無^む駄^だに過^すごし

23 21 18
GS ③ ② ① ① ① GS 「地球 地」
GS ③ ② ① ① ① ヨブ 1:21
GS 「義」
GS 「祝福」
マク 11:28-30
「平安 平和」
教義 14:7

てはならず、自分のタラントを隠してはならない。15
 17 彼らは福音を拒む者に對する証として、自分の足を洗
 うことができる。

1 見よ、自分たちが出て来た地に速やかに帰らな
 ければならない主の教会の長老たちに、主はこの
 ように言う。見よ、あなたがたがここに上つて来た
 ことを、わたしは喜んでゐる。

2 しかし、ある人々については、わたしは心から
 喜んではいない。彼らは口を開こうとせず、人を
 恐れて、わたしが与えたタラントを隠しているか
 らである。このような者は災いである。わたしの怒
 りは彼らに向かつて燃えているからである。

3 そして、彼らはもつとわたしに忠実でなけれ
 ば、持っているものまでも取り上げられるであろ
 う。

4 主なるわたしは、上は天で治め、また地の軍勢
 の中でも治めているからである。そして、わたしが
 自分の宝石を集める日に、すべての人は、神の力
 を示すものが何かを知るであろう。

5 しかしまことに、わたしは、あなたがたが出て

来た地に帰る旅について語ろう。舟を造ろうと買お
 うと、あなたがたがよいと思うようにしなさい。そ
 れはわたしにとつては問題ではない。そして、セン
 トルイスと呼ばれている地に向かつて速やかに旅に
 出なさい。

6 そこから、わたしの僕たちシドニー・リグドン
 と、ジョセフ・スミス・ジュニアと、オリバー・カ
 ウドリは、シンシナテイに向けて旅をしなさい。

7 この地で、彼らは声を上げ、また怒つたり疑つ
 たりしないで聖い手を挙げて、大きな声でわたしの
 言葉を告げなさい。わたしはあなたがたを聖くす
 ることができ、あなたがたの罪は赦されている。

8 また、残りの者は、二人ずつ組んでセントルイ
 スから旅をし、彼らが出て来たそれぞれの教会に
 帰り着くまで、悪人の集まりの中で急ぐことなく御
 言葉を宣べなさい。

9 これはすべてそれぞれの教会のためである。こ
 の目的でわたしは彼らを遣わしたのである。

10 また、わたしの僕エドワード・パートリッジ
 は、わたしが与えた金銭の一部を、戻るように命じ
 られているわたしの長老たちに分け与えなさい。

2 ① エベ6、19-20、
 GS「畏れ、恐れ—人
 への恐れ」
 ③ ルカ8、16、
 18
 3 ① マコ4、25、
 4 ① アル43、50
 ② イザ62、3、
 ゼカ9、16、
 マラ3、17、
 7 ① GS「聖く、聖く」
 ② GS「教し」
 10 ① GS「パートリッジ、
 エドワード」

11 そして、できる者には代理人を通してそれを返金させなさい。また、できない者にはそれは求められていない。

12 さて、わたしはこの地に来ることになっている残りの方について語る。

13 見よ、彼らは悪人の集まりの中でわたしの福音を宣べするために遣わされている。それゆえ、わたしは彼らに戒めを与える。それは次のとおりである。すなわち、あなたは時間を無駄に過ごしてはならず、またタラントを隠して、それが知られないようにしてはならない。

14 あなたはシオンの地の上つて来て、わたしの言葉を宣言した後、速やかに帰って、悪人の集まりの中で、急ぐことなく、怒ったり争ったりせず、わたしの言葉を宣言しなければならぬ。

15 また、あなたを受け入れない者たちに対して、あなたの足のちりを払い落としなさい。ただし、彼らを怒らせることのないように、彼らの前でせず、ひそかにしなさい。また、裁きの日における彼らに対する証として、あなたの足を洗いなさい。

16 見よ、あなたがたのためにはこれで十分であ

り、これがあなたがたを遣わした者の思いである。17 また、シドニー・リグドンとオリバー・カウドリに關しては、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアの口を通して知らされるであろう。残りはこの後に。まことにそのとおりである。アーメン。

第 61 章

千八百三十一年八月十二日、ミズーリ川のマクイルウエインズ・バンドの岸で、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者と十人の長老たちは、カーランドへの帰路、カヌーでミズーリ川を下った。その旅の三日目に、彼らは多くの危険な経験をした。ウイリアム・W・フェルプス長老は、白昼の示現の中で、滅ぼす者が力をもって水の面を進んで行くのを見た。

1-12 主は水の上に多くの滅びがあるように定められた。13-22 水はヨハネによつてのろわれた。そして、滅ぼす者が水の面を進んで行く。23-29 ある人々は水に命じる力を持つ。30-35 長老たちは二人ずつ組んで旅をし、福音を宣べ伝えなければならぬ。36-39 長老たちは人の子の來臨のために備えなければならぬ。

13 ① 教義 42、42
 GS 「怠惰」
 ② マタケ 25、24、30
 ① 教義 82、18、25
 ① マタケ 10、14、29
 ルカ 9:5、14
 使徒 13:51、14
 教義 24:15、75、20、92

1 見よ、一切の權威を持つ者、永遠から永遠にわたって存在する者、すなわち、アルパでありオメガであり、初めてであり終わりである者の声を聴きなさい。

2 見よ、この場所に集まっているあなたがた、お、わたしの教会の長老たちよ、主なるわたしは罪を赦し、またへりくだった心をもつて自分の罪を告白する者たちに憐れみ深いので、今罪が赦されているあなたがたに、主はまことにこのように言う。

3 まことに、わたしはあなたがたに言う。川の兩岸に住む者たちが不信仰で滅びつつあるときに、わたしの長老たちのこの一行全員が水の上を速く進んで行くことは必要ではない。

4 それでも、わたしは、あなたがたが証を述べられるように、水の上に行くことを許した。見よ、水の上には多くの危険があり、特にこの後さらに多くなる。

5 主なるわたしが怒って、水の上に多くの滅びがあるように定めたからである。そして、これらの水の上には特にそうである。

6 それでも、すべての肉なるものはわたしの手の内にあり、あなたがたの中の忠実な者は、水によって滅びることはない。

7 さて、わたしの僕シドニー・ギルバートとわたしの僕ウィリアム・W・フェルプスは、急いで彼らの用向きと使命に就くことが必要である。

8 それでも、わたしは、あなたがたが自分のすべての罪に対して懲らしめを受けるまで、あなたがたを別れさせようとしなかった。それは、あなたがたが一つとなるためであり、またあなたがたが悪の中で滅びないためである。

9 しかし今、まことに、わたしは言う。あなたがたが別れることは、わたしにとって必要である。それゆえ、わたしの僕シドニー・ギルバートとウィリアム・W・フェルプスを、彼らの以前の一行とともに行かせなさい。使命を果たすために、急いで旅をさせなさい。そうすれば、信仰によって彼らは勝利を得るであろう。

10 彼らは忠実であれば、守られるであろう。主なるわたしは彼らとともにいるであろう。

11 また、残りの者は、着る物として必要なものを

携えて行きなさい。

12 わたしの僕シドニー・ギルバートには、あなたが同意するままに、あなたがたに必要なものを携えて行かせなさい。

13 さて見よ、あなたがたのために、わたしはこれらのことに関して戒めを与えた。また、主なるわたしは、昔の人々と行ったようにあなたがたと論じよう。

14 見よ、主なるわたしは初めに水を祝福したが、終わりの時には、わたしの僕ヨハネの口によって水をのろつた。

15 それゆえ、肉なるものが水の上で安全でない時が来る。

16 来るべき時には、心のまつすぐな者のほかに、だれも水の上をシオンの地の上で歩くことはできないと言われるであらう。

17 また、主なるわたしは初めに地をのろつたように、終わりの時には、ふさわしいときに地をわたしの聖徒たちが使うために祝福して、彼らが地の豊かなものにあずかれるようにした。

18 さて、わたしはあなたがたに一つの戒めを与え

る。わたしは一人に言うことをすべての者に言う。

あなたがたはこれらの水に關して兄弟たちに前もつて警告して、彼らがこれらの水の上を旅をして来ないようしなければならぬ。そうでなければ、彼らの信仰はなくなり、彼らはわなにかげられる。

19 主なるわたしが定め、滅ぼす者が水的面を進んで行く。わたしはその定めを取り消さない。

20 主なるわたしは昨日はあなたがたのことを怒つたが、今日は、わたしの怒りも解けている。

21 それゆえ、急いで旅に出なければならぬとわたしが語つた者たちに、もう一度わたしはあなたがたに言うが、彼らに急いで旅をさせなさい。

22 しばしの後、彼らが自分の使命を果たすならば、彼らが水路を取ろうと、陸路を取ろうと、問題ではない。その後は、彼らの判断に従つて、彼らに知らされるままにしておきなさい。

23 さて、わたしの僕たちシドニー・リグドンと、ジョセフ・スミス・ジュニアと、オリバー・カウ德里に關してであるが、彼らは、家に向かう旅では、

運河の上のほかは再び水の上を行かないようにしなさい。言い換えれば、彼らは運河のほかは、水の上

を旅してはならない。

24 見よ、主なるわたしは、わたしの聖徒たちの旅のために一つの道を定めた。見よ、これがその道である。すなわち、彼らは旅をしてシオンの地上へ行って行くように命じられたら、運河を離れた後は、陸路を行かなければならない。

25 彼らは途中で天幕を張りながら、イスラエルの子らのように旅をしなければならぬ。

26 見よ、あなたがたはこの戒めをすべての兄弟たちに伝えなければならぬ。

27 それでも、水に命じる力を与えられる者には、御霊によって、主のすべての道を知ることが許される。

28 それゆえ、その者には、この後わたしが望むとおりに、陸上であろうと水上であろうと、生ける神の御霊が命じるままに行かせなさい。

29 また、聖徒たちが旅をする経路、すなわち主の陣営の聖徒たちが旅をする道は、あなたがたに示されている。

30 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕たちシドニー・リグドンと、ジョ

セフ・スミス・ジュニアと、オリバー・カウドリは、シンシナティに到着するまで、悪人の集まりの中で口を開いてはならない。

31 そして、その場所、彼らはその民に対して、すなわち滅亡の機がまさに熟している民に対して、神に、すなわちその民の悪事にその怒りを燃やしている神に声を上げなければならない。

32 また、彼らは、そこから兄弟たちの集まりに向かって旅をしない。彼らの働きがまことに今、悪人の集まりの中におけるよりも、彼らの中において大いに望まれているからである。

33 さて、残りの方についてであるが、彼らは旅をして、御言葉が与えられるのに応じて、悪人の集まりの中で御言葉を告げなさい。

34 彼らはこれを行うならば、その衣から汚れが除かれて、わたしの前に汚れない者となるであろう。

35 彼らは、全員一緒であろうと、二人ずつであろうと、彼らがよいと思のままに旅をしない。ただ、わたしが心から喜んでるわたしの僕たちレイノルズ・カフーンとサミュエル・H・スミスは、家

27 ① 民数 9 : 18
 ② GS 「神権」
 ③ ① 「力」
 ④ ヒラ 13 : 14
 ⑤ ① アル 37 : 31
 ⑥ ① GS 「証する」
 ⑦ ① 「責べ伝える」
 ⑧ ① ② ニコ 9 : 44
 ⑨ ヤコ 2 : 2
 ⑩ モサ 2 : 28
 ⑪ ① GS 「伝道活動」

に帰り着くまで別れてはならない。これはわたしの内にある、ある賢明な目的のためである。

36 さて、まことに、あなたがたに言う。そして、わたしは一人に言うことをすべての者に言う。幼い子供たちよ、元気を出しなさい。わたしはあなたがたの中におり、あなたがたを見捨てていないからである。

37 あなたがたがわたしの前にへりくだったので、王国の祝福はあなたがたのものである。

38 人の子の来臨を待ち望んで、腰に帯を締め、目を覚ましていて、まじめでありなさい。あなたがたの思いがけないときに、人の子は来るからである。

39 あなたがたは、誘惑に陥らないように常に祈って、生きるも死ぬも主の来る日に堪えられるようにしなさい。まことにそのとおりでである。アーメン。

第 62 章

千八百三十一年八月十三日、ミズーリ州チャリトンのミズーリ川の岸で、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この日、インディペンデンスからカートランドへ向かっていた預言者とその一行は、シオンの地

へ向かっていた数人の長老たちに出会い、喜びのあいさつを交わした後にこの啓示を受けた。

1-3 証は天で記録されている。4-9 長老たちは、自らの判断力に従って、また御霊により導かれるままに、旅をして、教えを説かなければならない。

1 見よ、おお、わたしの教会の長老たちよ、聴きなさい。主なるあなたがたの神、すなわちイエス・キリスト、あなたがたの弁護者、人の弱さを知っており、誘惑を受ける者たちを助ける方法を知っている者は言う。

2 まことに、わたしの目は、シオンの地にまだ上つて来ていない者たちのうえにある。シオンの地にまだ上つて来ていないので、あなたがたの使命はまだ果たされていない。

3 それでも、あなたがたは祝福されている。あなたがたが述べた証は、天使たちが見るために天で記録されているからである。そして、天使たちはあなたがたのことを喜んでおり、あなたがたの罪は赦されている。

第62章

36 ①ヨハ13
 ②マタ18:20
 ③イザ41:15-17
 1ニフ21:14-15
 37 ①GS見守る、見守る者
 ②①GS「誘惑」
 ②①GS「祈り」
 1 ①教義45・3-4、
 GS「弁護者」
 ②GS「誘惑」
 ③アル7:12、18、
 3イルカ12:8-9、
 GS「証」
 ②②GS「命の書」
 ③教義84・61

4 さて、あなたがたの旅を続けなさい。シオンの地に集まって、集会を開き、ともに喜び合い、いと高き方に聖式をささげなさい。

5 その後、あなたがたは証するために戻つてよい。すなわち、あなたがたがよいと思つて、全員一緒に帰ろうと、二人ずつで帰ろうと、問題ではない。ただ、忠実であつて、地に住む者に、すなわち悪人の集まりの中で喜びのおとずれを告げなさい。

6 見よ、主なるわたしは、あなたがたの中の忠実な者が守られてミズーリの地でも喜び合うという約束が果たされるように、あなたがたを集めてきた。主なるわたしは忠実な者に約束を与え、偽りを言うことができない。

7 あなたがたの中のだれかが、馬か、らばか、馬車に乗ることを望み、かつすべてのことに感謝の心をもって主の手からこの祝福を受けるならば、主なるわたしは喜んで、彼がそれを受けられるようにしよう。

8 これらのことは、判断力と御霊の指示に従つて行うようにあなたがたに任されている。

9 見よ、王国はあなたがたのものである。見よ、見よ、わたしは常に忠実な者とともにいる。まことにそのとおりである。アーメン。

第 63 章

千八百三十一年八月三十日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者、シドニー・リグドン、およびオリバー・カウドリは、ミズーリへの訪問を終えて、八月二十七日にカートランドに到着していた。ジョセフ・スミスの歴史には、この啓示について次のように述べられている。「教会のこの幼年期に、何らかの点でわたしたちの救いにかかっているあらゆる事柄について、主の言葉を頂きたいという切なる願いがあった。また、シオンの地は今考えられている最も重要なこの世界的な関心事であったので、わたしは、聖徒の集会和、土地の購入と、そのほかの事柄についてもっと知るために主に尋ねた。」

1 - 6 激しい怒りの日が悪人に及ぶ。7 - 12 しるしは信仰によって生じる。13 - 19 心の中で姦淫をする者は信仰を否定する。そして、火の池に投げ込まれる。20 忠実

な者は、変貌した地球上で受け継ぎを得る。21 変貌の山での出来事についての完全な記録は、まだ明らかにされていない。22 - 23 従順な者は王国の奥義を受ける。24 - 31 シオンにおける受け継ぎは、購入しなければならぬ。32 - 35 主は戦争を定めておられ、悪人が悪人を殺す。36 - 48 聖徒たちはシオンに集合し、シオンを築き上げるために金銭を提供しなければならぬ。49 - 54 忠実な者には、再臨の時、復活の時、福千年の間に数々の祝福が与えられることが保証される。55 - 58 今は警告の時である。59 - 66 権能を持たずに主の名を使う者たちが、御名をみだりに唱えている。

1 聴きなさい、おお、人々よ。心を聞き、遠くから耳を傾けなさい。主の民と自称するあなたがたは、聴きなさい。主の言葉と、あなたがたに関する主の思いを聞きなさい。

2 まことに、わたしは言う。悪人と背く者に向かって怒りを燃やしている者の言葉を聞きなさい。

3 まことに自分が取りたいと思う者たちを取り、また自分が命を守りたいと思う者たちの命を守る者、

4 自分の意のまま、思いのままに築き上げる者、

自分がよいと思うときに滅ぼす者、霊を地獄に投げ落とすことのできる者の言葉を聞きなさい。5 見よ、主なるわたしが声を発すると、それには従わなければならない。

6 それゆえ、まことに、わたしは言う。悪人は用心し、背く者は恐れおののき、信じない者は口をつぐみなさい。激しい怒りの日が旋風のようにこれらの者に及ぶからである。そして、すべての肉なるものはわたしが神であることを知るであらう。7 しるしを求めざる者はしるしを見るが、救いには至らない。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたの中にするしを求めざる者たちがいる。このような者は、まことに初めからいた。

9 しかし見よ、信仰はしるしによって生じないが、信じる者にはしるしが伴う。

10 まことに、しるしは信仰によって生じる。それらは人の意志によらず、人の欲するままにはなく、神の思いによる。

11 まことに、しるしは信仰によって生じ、力ある業をもたらす。信仰がなければ、だれも神に喜ば

2 ① GS 「背く」
 3 ① GS 「死肉体の」
 6 ① GS 「イエス・キリスの再臨」
 「正義」
 7 ① エレ 30
 ② エレ 26
 ③ ② 23
 10 ① エザ 49
 ② エザ 9、
 「信仰」
 11 ① モロ 7、
 ② モロ 37、
 ③ エヘ 11、
 ④ エヘ 6

れない。また、神の怒りを受ける者を、神が心から喜ぶことはない。それゆえ、このような者に、神は何のしるしも示さず、ただ激しく怒って罪の宣告を下すだけである。

12 それゆえ、あなたがたの中の、信仰のためにしるしと不思議を求めていて、人々を益してわたしの栄光をもたらすためにこれらを求めようとしぬ者たちを、主なるわたしは喜ばない。

13 さて、わたしは戒めを与える。多くの者がわたしの戒めから離れ去り、それらを守ってこなかった。

14 あなたがたの中に、姦淫をした男女がいた。そのうちのある者たちはあなたがたから離れ去った。しかし、ほかの者たちはあなたがたの中にとどまっておられ、彼らについてはこの後、明らかにされるであらう。

15 このような者たちは気をつけて、速やかに悔い改めなさい。そうしなければ、裁きがわなのようにこれらの者に及び、彼らの愚かさが明らかにされ、彼らの業が人々の目の前で彼らについて行くであらう。

16 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしが前に言ったように、情欲を抱いて女を見る者は、すなわちだれか心の中で姦淫をするならば、彼らは御霊を持たなくなり、信仰を否定し、恐れるようになる。

17 それゆえ、主なるわたしは言ってきた。すなわち、恐れる者、信じない者、すべて偽りを言う者、偽りを好んで行う者、みだらな行いをする者、魔術を使う者は、火と硫黄の燃える池で報いを受ける。これが第二の死である。

18 まことに、わたしは言う。彼らは第一の復活にあずからない。

19 さて見よ、主なるわたしはあなたがたに言う。これらの事柄があなたがたの中にあるので、あなたがたは義とされない。

20 それにもかかわらず、信仰をもって堪え忍び、わたしの思うところを行う者は、勝利を得て、地上で受け継ぎを得るであらう。それは、変貌の日が来る時、

21 大地がまことにわたしの使徒たちに山上で示されたひながたに倣って変貌する時のことであ

11

② 教義 35

③ 教義 88

④ 教義 42

⑤ 教義 21

⑥ 教義 22

⑦ 教義 23

⑧ 教義 24

⑨ 教義 25

⑩ 教義 26

⑪ 教義 27

⑫ 教義 28

⑬ 教義 29

⑭ 教義 30

⑮ 教義 31

⑯ 教義 32

⑰ 教義 33

⑱ 教義 34

⑲ 教義 35

⑳ 教義 36

㉑ 教義 37

㉒ 教義 38

㉓ 教義 39

㉔ 教義 40

㉕ 教義 41

㉖ 教義 42

㉗ 教義 43

㉘ 教義 44

㉙ 教義 45

㉚ 教義 46

㉛ 教義 47

㉜ 教義 48

㉝ 教義 49

㉞ 教義 50

㉟ 教義 51

㊱ 教義 52

㊲ 教義 53

㊳ 教義 54

㊴ 教義 55

㊵ 教義 56

㊶ 教義 57

㊷ 教義 58

㊸ 教義 59

21 ① GS「地球」地—
最終的な状態」
② マテ 17・1-3
③ GS「世—世の
終わり」

20 ① 教義 101・35
② マテ 5・5、

19 18 ① 黙示 20・6、
② GS「義認、義と
される」

19 18 ① 黙示 20・6、
② GS「死（霊の）
」

GS「地獄」
教義 76・36、

ヤコ 6・10、
アル 12・18、

28・23、
2 ニコ 9・8、19、
22・9、

④ 黙示 19・20、
教義 76・103、

⑤ 黙示 22・15、
教義 76・103、

⑥ 黙示 21・8、
GS「偽り」

⑦ GS「姦淫」
⑧ GS「淫」

⑨ GS「淫」
⑩ GS「淫」

⑪ GS「淫」
⑫ GS「淫」

⑬ GS「淫」
⑭ GS「淫」

⑮ GS「淫」
⑯ GS「淫」

る。その出来事についての完全な記録を、あなたがたはまだ受けていない。

22 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。

わたしの思いをあなたがたに知らせると言ったように、見よ、わたしはあなたがたにそれを知らせよう。しかし、戒めとしてではない。わたしの戒めを守ろうとしない多くの者がいるからである。

23 しかし、わたしの戒めを守る者に、わたしは、わたしの王国の奥義を与えよう。それは彼の内で生ける水の井戸となり、そこから永遠の命に至る水がわき出るのであろう。

24 さて見よ、主の聖徒たちに関する主なるあなたがたの神の思いは、彼らがシオンの地を集まることである。しかし、混乱が起こって疫病をもたらし、このないために、急いではならない。

25 見よ、シオンの地を。主なるわたしは、それをわたし自身の手の中に保つ。

26 それでも、主なるわたしは、カイザルのものはカイザルに返す。

27 それゆえ、主なるわたしは、あなたがたが土地を購入することを望んでいる。それによって、あ

なたがたが世に対して有利な立場を得るように、世に対して権利を持つように、また彼らがそのかされて怒ることのないようにするためである。

28 なぜならば、サタンが彼らの心の中に、あなたがたに対して怒る思いと、血を流そうとする思いを入れるからである。

29 それゆえ、シオンの地は、購入によるか、流血によるか、それ以外では得られない。そうでなければ、あなたがたのために受け継ぎはない。

30 そして、もし購入によるとすれば、見よ、あなたがたは祝福される。

31 もし流血によるとすれば、あなたがたは血を流すことを禁じられているので、見よ、敵はあなたがたを襲い、あなたがたは鞭打たれて町から町へ、会堂から会堂へと追われる。そして、残つて受け継ぎを得る者はわずかである。

32 主なるわたしは悪人のことを怒っており、地に住む者にわたしの御霊を与えるのを控えている。

33 わたしは激しく怒って誓い、地の面に戦争があるように定めた。そこで、悪人は悪人を殺し、恐怖がすべての人に及ぶであろう。

23 ① アル 12 9、11
 教義 42 : 61、84、19
 GS 「生ける水」
 26 25 ① ② ③
 ① ルカ 20 : 25
 「政府」
 23 GS 「戦争」

34 また、聖徒たちもほとんど逃れられない。それにもかかわらず、主なるわたしは彼らとともにおり、また、天から、父のもとから降って来て、消すことのできない火で悪人を焼き尽くそう。

35 見よ、これはまだではあるが、やがて起こる。

36 それゆえ、主なるわたしは、これらすべてのことが地の面にあるように定めたので、わたしの聖徒たちがシオンの地に集まるように望んでいる。

37 また、すべての人がその手に義を取り、その腰に忠信をまとい、地に住む者に警告の声を上げ、荒廃が悪人に及ぶことを言葉と逃げ去ることの両方によって告げ知らせるようにと、わたしは望んでいる。

38 それゆえ、この農場に住んでいるカートランドのわたしの弟子たちは、この世のものを整えなさい。

39 この農場を管理しているわたしの僕タイタス・ビリングズは、来春シオンの地に旅をする準備ができるように、土地を処分しなさい。わたしが命じるまで行かないようにわたし自身のために残しておく人々を除き、この地に住んでいる人々とともに行

きなさい。

40 また、節約できる金銭をすべてシオンの地に送り、これを受け取るためにわたしが任命しておいた人々に届くようにしなさい。それが少ないか多いか、それは問題ではない。

41 見よ、主なるわたしは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアに、シオンの地の上って行かなければならない者と、わたしの弟子たちのうちでとどまらなければならぬ者とを、御霊によって見分けることのできる力を与えよう。

42 わたしの僕ニューエル・K・ホイットニーには、彼の店、言い換えれば、その店を、もうしばしの間保持させなさい。

43 それでも、彼が分け与えることのできる金銭をすべて分けて、シオンの地に送らせなさい。

44 見よ、これらのことは彼の手にゆだねられている。彼に、知恵に従って行わせなさい。

45 まことに、わたしは言う。この地にとどまる弟子たちのために、彼を代理人として聖任しなさい。彼をこの力を有する職に聖任しなさい。

46 そして、わたしの僕オリバー・カウドリとともに

34 ① GS「聖徒」
 ② GS「イエス・キリストの再臨」
 ③ GS「火」
 ④ マク 3 : 12、
 2 ニフ 26 : 6、
 101 教義 45 : 57、64、24、
 23 25「邪悪」
 66
 37 GS「義」
 41 ① GS「識別の賜物」
 ② 教義 1 : 4
 ③ イザ 47 : 11
 ④ GS「識別の賜物」

に、今速やかに諸教会を訪れさせ、これらのことを詳しく説明させなさい。見よ、わたしの思いはこれである。すなわち、彼らがわたしの指示したように金銭を得ることである。

47 忠実であつて堪え忍ぶ者は、世に打ち勝つてあらう。

48 シオンの地に宝を送る者は、この世において受け継ぎを得、その業は彼について行き、また彼は来るべき世においても報いを受けるであらう。

49 また、今から後、主にあつて死ぬ者は幸いである。主が来て、古いものが過ぎ去り、万物が新しくなるとき、彼らは死者の中からよみがえり、その後死ぬことはなく、聖なる都において主の前で受け継ぎを得るであらう。

50 また、主が来るときに生きていて、信仰を保っている者は、幸いである。それでも、その人は人間の寿命で死ぬように定められる。

51 それゆえ、子供たちは高齢になるまで成長し、高齢の人々は死ぬ。しかし、彼らは地の中に眠ることはなく、一瞬のうちに変えられる。

52 したがつてこのために、使徒たちは世の人々に

死者の復活を宣べ伝えたのである。

53 これらのことは、あなたがたが待ち望まなければならぬことである。そして、主の言い方で語れば、これらのことはもう近づいており、将来、すなわち人の子の来臨の日にある。

54 そのときまで、賢いおとめたちの中に愚かなおとめがいるであらう。そしてそのときに、義人と悪人の完全な分離がある。その日に、わたしは、わたしの天使たちを遣わし、悪人を抜き取つて、消すことのできない火の中に投げ込もう。

55 さて見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。主なるわたしは、わたしの僕シドニー・リグドン^①を喜ばない。彼は心の中で高ぶり、勧告を受け入れず、御霊を悲しませた。

56 それゆえ、彼の書いたものを主は受け入れないので、彼は別のものをもう一つ作らなければならぬ。そして、もしも主がそれを受け入れなければ、見よ、彼はわたしが任命した職にもはやとどまらな

いであらう。
57 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。悔い改めるよう罪人に警告したいと心の中

47 ①モサ2、41、
教義6、13、
49 ①黙示14、13、
48 ①黙示14、47

②2コリ5、17
③GS「復活」
④黙示21、4、
アル11、45、
教義88、116、

GS「不死不滅」
GS「死肉体の」

50 ①GS「祝福」
②GS「福千年」
教義45、58、101、29、31、
51 ①イサ65、20、22、
GS「福千年」
教義43、32、
②1コリ15、51、52、

54 53 ①教義35、15、
①マテ25、1、13、
教義45、56、59、
55 ②モサ16、2、
①GS「リグドン、
シドニー」

②GS「高慢」
①教義58、50、
①教義18、14、15、
GS「警告」

「伝道活動」

で柔和に望んでいる者たちを、この力を有する職に聖任しなさい。

58 今は警告の時であり、多くの言葉を費やす時ではないからである。終わりの時に主なるわたしが侮られることはない。

59 見よ、わたしは上から来た者であり、わたしの力は下にある。わたしは万物の上であり、万物の中にあり、万物を貫いてあり、またすべてのことを究めている。そして、万物がわたしに従う日が来る。

60 見よ、わたしはアルパでありオメガである。すなわち、イエス・キリストである。

61 それゆえ、すべての人は、わたしの名をどのように口にするか気をつけなさい。

62 見よ、まことに、わたしは言う。この罪の宣告を受ける多くの者がいる。彼らは主の名を使い、権能を持たずにみだりにそれを使っている。

63 それゆえ、教会員は罪を悔い改めなさい。そうすれば、主なるわたしは彼らを自分のものとする。そうでなければ、彼らは絶たれるであろう。

64 上から来るものは神聖であり、それについては

注意して、御霊の促しによって語るようにしなければならぬことを覚えておきなさい。こうすれば、罪の宣告を受けることはなく、あなたがたは祈りによって御霊を受ける。それゆえ、こうしなければ罪の宣告がある。

65 わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアとシドニー・リグドンは、祈りによって御霊により教えられるままに、家を一軒捜し求めなさい。

66 これらのことは忍耐をもつて打ち勝つようにすべきものであり、そうすれば、彼らはさらに優れた、永遠の重みのある栄光を受けることができる。そうでなければ、もっと大きな罪の宣告を受ける。アーメン。

第 64 章

千八百三十一年九月十一日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して教会の長老たちに与えられた啓示。預言者はミズーリに行っていた間、中断していた「聖書」の翻訳の仕事を再開するため、オハイオ州ハイラムに転居する準備をしていた。(ミズーリ州) シオンへ旅をするように命じられた兄弟たち

66 65 64 61 60 59 57
 ② ① ① ③ ② ① ① ① ① ②
 教義 58: 4, 13, 16, 18, 31
 ロマ 8: 17
 GS 「祈り」
 教義 42: 14
 GS 「聖い」
 GS 「敬虔」
 GS 「不敬」
 GS 「アルパと」
 1 コリ 2: 10
 教義 4: 3, 16

の一行は、十月に出発するための準備に本格的に携わっていた。この多忙なときに、この啓示が与えられた。

1-11 聖徒たちは互いに赦し合うように命じられる。

そうしなければ、もっと大きな罪が彼らの中に残る。12-22 悔い改めない者は、教会員の前に連れて来なければならない。23-25 什分の一を納める者は、主の来臨の時に焼かれない。26-32 聖徒たちは負債を抱えることのないように警告される。33-36 背く者はシオンから絶たれる。37-40 教会はもろもろの国民を裁く。41-43 シオンは栄える。

1 見よ、主なるあなたがたの神は、あなたがたにこのように言う。おお、わたしの教会の長老たちよ、あなたがたは耳を傾けて聞き、あなたがたに關するわたしの思いを受け入れなさい。

2 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたが世に打ち勝つように望んでいるので、あなたがたを哀れもう。

3 あなたがたの中に罪を犯した者たちがいる。しかし、まことに、わたしは言う。この度に限って、

わたし自身の栄光と人々の救いのために、わたしはあなたがたの罪を赦した。

4 わたしはあなたがたに王国を与えたので、あなたがたに憐れみ深くあろう。

5 王国の奥義の鍵は、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアがわたしの定めに従うかぎり、彼が生きている間、わたしが定めた方法によって彼から取り去られることはない。

6 理由もなく彼に反対する機をうかがってきた者たちがいる。

7 それでも、彼は罪を犯してきた。しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。主なるわたしは、わたしの前に自分の罪を告白して赦しを求めらる者たちで、死に至る罪を犯していない者たちについて罪を赦す。

8 昔のわたしの弟子たちは、互いに機をうかがい合い、またその心の中で互いを赦さなかった。そして、この悪のゆえに彼らは苦しめられ、ひどく懲らしめられた。

9 それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは互いに赦し合うべきである。自分の兄弟の

2 ① 1ヨハ5・4
 ② GS「哀れみ」
 3 ① モセ1・39
 ② イザ43・25
 5 ① 教義28・7、84・19
 GS「神権の鍵」
 7 ① GS「定め」
 ② 教義5・6、7、19・20、58・43
 ③ GS「告白」
 ④ GS「罪の赦し」
 8 ① GS「争い」
 9 ① GS「懲らしめ」
 ② マコ11・25、26
 教義82・1

過ちを赦さない者は、主の前に罪があるとされ、彼の中にもっと大きな罪が残るからである。

10 主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。

11 あなたがたは心の中で言うべきである。すなわち、「神がわたしとあなたの間を裁き、あなたの行いに応じてあなたに報いてくださるように」と。

12 また、自分の罪を悔い改めず、それを告白しない者を、あなたがたは教会員の前に連れて来て、戒めによるうと啓示によるうと、聖文があなたがたに言っているとおりに彼に対処しなければならぬ。

13 神がたたえられるように、あなたがたはこれを行わなければならない。それは、あなたがたが思いやりを持っていないので赦さないためではなく、あなたがたの立法者に対して罪を犯すことのないように律法のみで義とされるためである。

14 まことに、わたしは言う。この理由で、あなたがたはこれらのことを行わなければならない。

15 見よ、主なるわたしは、わたしの僕であったエ

ズラ・ブースと、またわたしの僕アイザック・モーリーのことを怒った。それは、彼らが律法も戒めも守らなかつたからである。

16 彼らは心の中で悪を求めた。そこで、主なるわたしは、わたしの御霊を与えずにおいた。彼らはまったく悪のないものを悪として非難した。それでも、わたしはわたしの僕アイザック・モーリーを赦した。

17 また、わたしの僕エドワード・パートリッジも、見よ、彼も罪を犯し、サタンは彼の霊を滅ぼそうとしている。しかし、これらのことが彼らに知らされて、彼らが悪を悔い改めるとき、彼らは赦される。

18 さて、まことに、わたしは言う。わたしの僕シドニー・ギルバートが、数週間後に自分の仕事に戻り、シオンの地における代理人の業務に携わること、

19 また、彼の見聞きしたことをわたしの弟子たちに知らせ、彼らが滅びないようにすることは、わたしにとって必要である。このために、わたしはこれらのことを語ってきたのである。

9 ② マテ 6 : 14 - 15
 10 エベ 4 : 32
 アル 39 : 6, 19
 ② 教義 56 : 14
 11 ① 1 サ 26 : 12 - 29
 ② 2 テモ 4 : 14
 16 ① 2 ニ 7 : 15, 20, 20, 93
 ② 教義 121 : 16
 17 ① GS「パートリッジ、エドワード」
 ② GS「悪魔」

20 さらにまた、あなたがたに言う。わたしの僕アイザック・モーリーが、耐えられないような誘惑を受けて、あなたがたの害となる誤った助言をすることのないために、わたしは彼の農場を売るように命じた。

21 わたしは、わたしの僕フレデリック・G・ウイリアムズが彼の農場を売ることは望まない。主なるわたしは、五年の間、カートランドの地に一つのとりを保持したいからである。その間は、そのことによつて何人かの者たちを救えるように、わたしは悪人を打ち滅ぼさない。

22 その時が過ぎると、主なるわたしは、素直な心でシオンの地の上つて行く者をだれも罪があるとほしない。主なるわたしは、人の子らの心を求めるからである。

23 見よ、今、人の子の来臨までは今日と呼ばれる。まことに、今日は犠牲の日であり、わたしの民が自分の一を納める日である。自分の一を納める者は、主の来臨の時に焼かれないであろう。

24 今日が過ぎると、焼き払いがある。これは主の言い方である。まことに、わたしは言う。明日、す

べて高ぶる者と悪を行ふ者は、わらのようになる。わたしは彼らを焼き尽くそう。わたしは万軍の主である。わたしはバビロンにとどまる者をだれも容赦しない。

25 それゆえ、あなたがたはわたしを信じるならば、今日と呼ばれるうちに働くであろう。

26 また、わたしの僕であるニューエル・K・ホイットニーとシドニー・ギルバートが、ここにある彼らの店と所有物を売ることは、適切ではない。この地にとどまっている教会員の残りがシオンの地の上つて行くまで、それらのものを売るのは賢明ではないからである。

27 見よ、あなたがたの敵に対して負債を抱えることは、わたしの律法の中で言われている、つまり禁じられている。

28 しかし見よ、主が主の欲するときを受け取り、主のよいと思ふままに支払うこともしてはならないとは、どんなときにも言われていない。

29 さて、あなたがたは代理人であるので、主の用向きを受けている。そして、あなたがたが主の思いに従つて行うことは何であろうと、主の業務である。

22 20 ① GS 「誘惑」
 ② GS 「罪悪感」
 ③ GS 「罪悪感」
 23 ① GS 「イエスキリス
 トの再臨」
 ② 教義 45・6、
 64・24、25
 ③ GS 「犠牲」
 ④ マラ 3・10、11、
 GS 「自分の二」
 ⑤ マラ 4・1、
 3・25、1、
 24 ① イザ 66・15、16、
 GS 「地球（地）地球
 の清め」—「世」世の
 終わり」
 ② マラ 3・15、
 2・12、13、23・11、
 GS 「高樓」
 ③ 教義 1・16、
 GS 「バビロン、バベル」
 26 ① GS 「ホイットニー、
 ニューエル・K」
 ② 教義 57・8
 27 ① GS 「負債」

30 主はこの終わりの時に、主の聖徒たちがシオンの地で受け継ぎを得られるように、彼らに必要なものを与えるためにあなたがたを任命した。

31 見よ、主なるわたしはあなたがたに宣言する。

そして、わたしの言葉は確かであり、果たされないことはない。すなわち、彼らは受け継ぎを得るであらう。

32 しかし、すべてのことは時節にかなって起こる。

33 それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大きい業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大きいなることが生じるのである。

34 見よ、主は心と進んで行う精神とを求め。そして、進んで行く従順な者は、この終わりの時にシオンの地の良いものを食べるであらう。

35 しかし、背く者はシオンの地から絶たれ、追い出され、その地を受け継がない。

36 まことに、わたしは言う。背く者はエフライムの血統に属さないで、彼らは抜き取られる。

37 見よ、主なるわたしはこの終わりの時に、わたしの教会を、もろもろの国民を裁くために丘の上、あるいは高い場所に座を占める裁判官のようにした。

38 シオンに住む者は、シオンに関するすべてのことを裁くであらう。

39 そして、偽りを言う者や偽善者はシオンに住む者たちによつて立証され、また使徒でも預言者でもない者たちは知られるようになる。

40 また、判士であるピシヨップや、その顧問たちでさえ、もしも彼らが自分の管理人の職に忠実でなければ罪があるとされ、ほかの人々が代わりに立てられる。

41 見よ、わたしはあなたがたに言う。シオンは榮えて、主の栄光がそのうえにあるであらう。

42 そして、シオンは民のために旗となり、天下のあらゆる国から人々がシオンに来るであらう。

43 地のもろもろの国民がシオンのゆえにおののき、シオンの恐ろしい者たちのゆえに恐れる日が来るであらう。主がこれを語った。アーメン。

第 65 章

千八百三十一年十月三十日、オハイオ州ハイラムにお

31 30 ① 教義 63
2 ① マコ 13
2 ② 二ツ 31
3 ③ 15
31 ④ 31
48 ⑤ 48
33 ① ② 教義 76
3 ③ ガラ 6
9 ④ 教義 123
16 ⑤ 申命 32
46 ⑥ 申命 22
5 ⑦ ヨシ 9
27 ⑧ 心
8 ⑨ ミカ 6
19 ⑩ イザ 1
19 ⑪ 「従順、従う」
35 ① ② GS「背く」
③ GS「破門、破門」
50 ④ 8
9 ⑤ 56
3 ⑥ 申命 33
16 ⑦ 申命 33
17 ⑧ イザ 2
3 ⑨ 4
39 ① 黙示 2
2 ② GS「使徒」
40 ① 教義 58
17 ② 107
74 ③ GS「ピシヨップ」
④ GS「ピシヨップ」
⑤ GS「管理人、管理人の職」
41 ① GS「シオン」
② 教義 107
99 ③ 100
84 ④ 4
5 ⑤ 97
15 ⑥ 20
43 ⑦ 42
⑧ GS「旗」
44 ⑨ イザ 60
14 ⑩ 教義 97
19 ⑪ 20

いて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた祈りに関する啓示。

1-2 神の王国の鍵が地上の人にゆだねられており、福音の大義は勝利を得る。3-6 福千年の天の王国が来て、地上の神の王国と一つになる。

1 見よ、高い所から遣わされた者、力強く勢力のある者、地の果てまで出て行く者、まことにその声がか人々に及ぶ者の声を聴きなさい。「主の道を備え、その道筋をまっすぐにせよ。」

2 神の王国の鍵は地上の人にゆだねられており、あなたも人手によらずに山から切り出された石が全地に満ちるまで転がり進むように、そこから福音は地の果てまで転がり進むであらう。

3 まことに、一つの声は叫ぶ。「あなたがたは主の道を備え、小羊の婚宴を備え、花婿のために用意をせよ。」

4 主に祈り、主の聖なる名を呼び、主の驚くべき業を人々の間に知らせなさい。

5 主に呼び求めて、主の王国が地上に進み行くよ

うにして、地に住む者がそれを受け入れて来るべき時に備えられるようにしなさい。そのとき、人の子は、地上に建てられた神の王国に会うために、その栄光の輝きをまとって天の中を降って来るであらう。

6 そのために、神の王国が進み行きますように。それによって、天の王国が来て、おお、神よ、あなたが天でも地上でもたたえられ、あなたの敵が征服されますように。誉れと力と栄光は、とこしえにいつまでもあなたのもです。アーメン。

第 66 章

千八百三十一年十月二十九日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。ウィリアム・E・マクレリンは五つの質問に対する答えを預言者を通して知らせてくださるようにひそかに主に願っていた。ジョセフ・スミスはその質問を知らなかった。マクレリンの求めに応じて、預言者は主に尋ね、この啓示を受けた。

1-4 永遠の聖約は完全な福音である。5-8 長老た

第65章

1 ①イザ40:3、

マタ3:3、

ヨハ1:23、

2 ①教義90:1-5

教義42:69、

3 ②マタ16:19、

GS「神権の鍵」

③ダ2:2、34-45

④詩篇72:19、

GS「終わりの時、末日」

3「アニエルケニエル

書」

3 ①マタ22:1-14、

黙示19:9、

教義58:11

5 ②GS「花婿」

①ダ2:24

②GS「栄光」

③詩篇93:1

④マタ24:30

6 ①GS「神の王国、

天の王国」

②黙示11:15

③歴上29:11

④歴上29:11

ちは宣べ伝え、証し、人々と論じなければならぬ。9
 13 主の業において忠実に仕える者は、永遠の命の受け継ぎを保証される。

1 見よ、主はこのようにわたしにわたしに僕ウイリアム・E・マクレリンに言う。あなたは自分の罪悪を捨てて、わたしの真理を受け入れたので、幸いである、と主なるあなたの贖い主、世の救い主、すなわち、わたしの名を信じるすべての者の救い主は言う。

2 まことに、わたしはあなたに言う。あなたはわたしの永遠の聖約、すなわち、人の子らのもとに送り出されたわたしの完全な福音を受け入れているので、幸いである。それは、昔の使徒たちと預言者たちによって書き記されたとおり、人の子らが命を得て、終わりの時に明らかにされる栄光にあずかる者とされるためである。

3 まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ウイリアムに言う。あなたは清いが、完全に清いわけではない。それゆえ、わたしの目になわな事柄を悔い改めなさい、と主は言う。主はあなたにそれらの事柄を知らせるからである。

4 さて、まことに、主なるわたしは、わたしがあなたについて何を望んでいるか、すなわち、あなたに關するわたしの思いは何であるかをあなたに示そう。

5 見よ、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの思いは、あなたがわたしの福音を地方から地方へ、町から町へ、すなわち、それが宣言されていないそれらの周りの地域で宣言することである。

6 この地に長い間とどまってはならない。シオンの地にまだ上つて行つてはならない。しかし、あなたは送られるだけ送りなさい。それ以外に、あなたの財産のことを考へてはならない。

7 東の地方へ行き、あらゆる場所ですべての人に向かつて、また彼らの会堂で、証を述べ、人々と論じなさい。

8 わたしの僕サミュエル・H・スミスをあなたとともに行かせなさい。そして、彼を見捨てないようにし、彼にあなたの指示を与えなさい。忠実な者はあらゆる所で強くされるであろう。また、主なるわたしはあなたとともに行こう。

9 病人にあなたの手を置きなさい。そうすれば、快復するであろう。主なるわたしがあなたを遣わ

1 ①ヨハ1:12
 2 ①GS「信じる」
 遠の聖約」
 3 ②ヨハ10:10、
 3ニフ5:13
 3 ①ヤコ4:7、
 エテ12:27
 7 ①マコ16:15
 7 ①教義75:6
 8 ②GS「証」
 9 ①教義52:17、133:58
 9 ①GS「按手」病人への癒しの祝福」
 ②マク9:18、
 GS「癒し」

すまで、帰つてはならない。苦難の中で忍耐強くありなさい。求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。

10 煩わされないようにしなさい。すべての不義を捨てなさい。姦淫をしてはならない。これはあなたが悩まされてきた誘惑である。

11 これらの言葉を守りなさい。これらの言葉は真実であり、確かである。また、あなたは自分の務めを尊んで大いなるものとし、多くの人を、その頭へ与えられる永遠の喜びの歌とともに、シオンに押し進めなければならぬ。

12 最後までこれらのことを続けなさい。そうすればあなたは、恵みと真理に満ちておられる父の右において永遠の命の冠を受けるであろう。

13 まことに、主なるあなたの神、あなたの贖い主、すなわち、イエス・キリストはこのように言う。アーメン。

第 67 章

千八百三十一年十一月初旬、オハイオ州ハイラムにお

いて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示が与えられたのは、特別大会のときである。この大会では、預言者を通して主にから受けていた啓示の出版が検討され、決定された（第一章の前書を参照）。ウィリアム・W・フェルプスがミズーリ州インディペンデンスに教会の印刷所を設けたばかりであった。この大会で、啓示を *Book of Commandments*（「戒めの書」）として出版すること、一万部印刷することが決定された（予測できなかった困難が生じたため、後に三千部となった）。多くの兄弟たちが、彼らのうえに注がれる聖霊が証するままに、当時出版のために集められた啓示はまことに真実であることを厳粛に証した。第一章として知られている啓示を受けた後、啓示の中で使われている言葉について多少の会話があったことが、ジョセフ・スミスの歴史に記録されている。この啓示はその後に与えられたものである。

1-3 主は長老たちの祈りを聞き、見守つておられる。4-9 主は最も賢い者に、主の啓示の中で最も小さいものと同じものを作るように挑まれる。10-14 忠実な長老たちは御霊によって変えられ、神の顔を拝する。

9 ③ 新ヤコ 1:5
 10 ① GS「姦淫」
 ② ① 教義 35:24
 ③ 教義 45:10, 14
 GS「歌う」
 11 ③ 教義 11:6
 12 ① 2 テモ 3:14-15,
 2 ニコ 31:20,
 ② イサ 62:3,
 マテ 25:21
 13 ① GS「神・神会」
 なる神」

1 見よ、そして聴きなさい、おお、ともに集まっているわたしの教会の長老たちよ、わたしがその祈りを聞き、その心を知り、その望みがわたしの前に上つて来ている者よ。

2 見よ、見よ、わたしの目はあなたがたのうえにある。天と地はわたしの手の内にある。永遠の富はわたしのものであり、わたしが与えるものである。

3 あなたがたは、自分に差し出された祝福を得られると、努めて信じようとした。しかし見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたの心の中に恐れがある。まことにこれが、あなたがたが祝福を受けなかつた理由である。

4 さて、主なるわたしは、あなたがたの前にあるこれらの戒めが真実であるという証をあなたがたに与える。

5 あなたがたの目は、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアのうえにあつた。あなたがたは彼の言葉を知り、また彼の不完全なところを知つた。そして、あなたがたは自分の心の中で、彼の言葉よりも優れた表現をするために知識を求めてきた。このことはあなたがたも知つている。

6 さて、あなたがたは『戒めの書』から、まことに戒めの中で最も小さいものを捜し、またあなたがたの中で最も賢い者を選びなさい。

7 あるいは、あなたがたの中のだれかを選び、最も小さい戒めと同等のものを作るならば、そのとき、あなたがたはそれらが真実であるとは分らないと言つても義とされる。

8 しかし、あなたがたがそれと同等のものを作れない場合、それらが真実であることを証しなれば、あなたがたは罪の宣告を受ける。

9 それらの中には少しの不義もないこと、また義にかなうものは上から、光の父から降つて来ることを、あなたがたは知つているからである。

10 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。次に述べることはあなたがたの特権であり、またこの務めに聖任されたあなたがたにわたしが与える約束である。すなわち、あなたがたがねたみと恐れを除き去り、また、まだ十分にへりくだつていないのでわたしの前にへりくだるならば、幕は裂け、あなたがたはわたしを見て、わたしがいることを知るであろう。ただし、肉の思いや、生まれ

1 ① GS「長老」
 2 ① 詩篇34:15
 3 ① GS「畏れ」
 4 ① GS「証」
 「真理」
 5 ① 教義1:24
 6 ① 2ニフ9:28-29
 7 ① GS「証人証」
 8 ② 新ヤコ1:17、18
 9 ② 教義50:24、84、45、
 10 ① GS「ねたむ」
 ② GS「畏れ、恐れ」
 ③ GS「謙遜」
 ④ 教義88:68、
 ⑤ 教義88:16

ながらの心ではなく、霊の心で見られるであろう。
 11人は神の御霊によって変えられないかぎり、いまだかつて肉体において神を見た者はいない。
 12生まれながらの人はだれも神の臨在に堪えられない。肉の思いに従う者もそうである。

13あなたがたは今神の臨在にも、天使たちの働きにも堪えることができない。それゆえ、あなたがたが完全になるまで忍耐し続けなさい。

14あなたがたの心を引き戻さないようにしなさい。そうすれば、あなたがたがふさわしくなつて、わたしがよいと思うときに、あなたがたは、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアの手によって授けられたものを目にし、知るであろう。アーメン。

第 68 章

千八百三十一年十一月一日、オハイオ州ハイラムにおいて、オーソン・ハイド、ルーク・S・ジョンソン、ライマン・E・ジョンソン、およびウイリアム・E・マクレリンについて主の思いを知らせてくださるようにとの祈りにこたえて、預言者ジョセフ・スミスを通して与え

られた啓示。この啓示の一部はこの四人に向けられたものであるが、その内容の多くは全教会に關係するものである。千八百三十五年版の「教義と聖約」が出版されるとき、この啓示はジョセフ・スミスの指示の下で拡充された。

1—5 聖霊に動かされたときの長老たちの言葉は、聖文である。6—12 長老たちは宣べ伝え、バプテスマを施さなければならぬ。そうすれば、心から信じる者にはしるしが伴う。13—24 アロンの子孫の中の長子は、大管長会の指示の下に、管理ビショップとして務めることができる(すなわち、ビショップとして長の職の鍵を持つ)。25—28 両親は自分の子供たちに福音を教えるように命じられる。29—35 聖徒たちは安息日を守り、熱心に働き、祈らなければならぬ。

1 わたしの僕オーソン・ハイドは、民から民へ、地方から地方へ、悪人の集まりの中で、彼らの会堂で、彼らと論じながら、また彼らにすべての聖文を説き明かしながら、生ける神の御霊により永遠の福音を宣言するように、聖任によって召された。

11 ① 出エ 33、23

(付録、ヨハ 1:18、6:46、

1ヨハ 4:12、

(付録、

教義 84:19、22、

モセ 1:11、14

12 ① モサ 3:19、

13 GS 「生まれながらの人」

3ニフ 12:48、

② ロマ 2:7、

14 ① GS 「ふさわしく」

第 68 章

1 ① GS 「聖霊」

2 見よ、見よ、これはこの神権に聖任され、出て行く使命に定められたすべての者にとつての一つの範例である。

3 また、聖霊に動かされるままに語ることは、彼らにとつての範例である。

4 そして、何であろうと聖霊に動かされて語ることは、聖文となり、主の心となり、主の思いとなり、主の言葉となり、主の声となり、救いを得させる神の力となる。

5 見よ、おお、わたしの僕たちよ、これはあなたがたへの主の約束である。

6 元気を出しなさい。恐れてはならない。主なるわたしはあなたがたとともにおり、あなたがたの傍らに立つからである。あなたがたは、わたし、すなわちイエス・キリストについて、わたしが生ける神の子であること、わたしがかつており、今おり、やがて来ることを証しなければならぬ。

7 あなた、すなわちわたしの僕オーソン・ハイドへの、またわたしの僕ルーク・ジョンソンへの、またわたしの僕ライマン・ジョンソンへの、またわたしの僕ウィリアム・E・マクレリンへの、またわた

しの教会のすべての忠実な長老たちへの主の言葉はこれである。

8 すなわち、全世界に出て行つて、すべての造られたものに福音を宣べ伝え、わたしがあなたがたに授けた権能を行使し、父と子と聖霊の名によつてバプテスマを施しなさい。

9 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、信じない者は罰の定めを受ける。

10 信じる者は、書き記されているように、それに伴うしるしを祝福として授けられる。

11 また、あなたがたには、時のしるしと人の子の来臨のしるしを知ることが許される。

12 また、父が証されるすべての者について、あなたがたには、彼らを永遠の命に結び固める力が与えられるであろう。アーメン。

13 さて、聖約と戒めに加える幾つかの事項に関してであるが、それらは次のとおりである。

14 この後、主がふさわしいと思うときに、教会のためにほかのビショップたちが任命されて、最初のビショップと同じように仕えることになる。

15 彼らはふさわしい大祭司でなければならず、ア

① ② ペテリ：21、
 ③ 教義18：32、42、16、
 ④ ① GS「啓示」
 「聖霊」
 ② ロマ1：16
 ③ ① イザ41：10、
 ⑦ ① GS「ハイド、
 オーソン」
 ⑧ ① 教義1：2、63、
 ③ ② GS「伝道活動」
 「真伝え」
 ④ ③ マコ16：15
 ⑤ ④ GS「権威、権限
 権能」
 ⑥ ⑤ GS「バプテスマ」
 ⑨ ① マコ16：16、
 ② 教義20：25
 ⑩ ③ GS「救い」
 ⑪ ④ GS「罰の定め」
 ⑫ ① GS「しるし」
 ⑬ ① GS「時のしるし」
 ⑭ ① 教義1：8、132、
 ① GS「結び固め」
 ⑮ ① 教義72：1
 ⑯ ① GS「アロン、モ
 ーセの兄」

ロンの直系の子孫である場合を除いては、メルキゼデク神権の大管長会によって選任されなければならぬ。

16 もし彼らがアロンの直系の子孫であり、アロンの子孫の中の長子であれば、ビショップの職に就く律法上の権利を持つ。

17 長子はこの神権をつかさどる長の職の権利と、この神権の鍵すなわち権能を所有するからである。

18 だれもアロンの直系の子孫で、かつ長子でなければ、この職に就き、この神権の鍵を所有する律法上の権利を持たない。

19 しかし、メルキゼデク神権の大祭司は、それ以下のすべての職の職務を行う権能を持つので、アロンの直系の子孫がだれも見つからないときは、メルキゼデク神権の大管長会の手の下でこの力を有する職に召され、任命され、聖任されるならば、ビショップの職務を行うことができる。

20 また、アロンの直系の子孫もこの大管長会によって指名され、ふさわしいと認められ、油を注がれ、この大管長会の手の下で聖任されなければならぬ。そうでなければ、彼らはその神権において

職務を行う律法上の権能を与えられない。

21 しかし、父から息子へ伝えられる彼らの神権の権利についての定めがあるので、いつでも彼らが自分の血統を立証できるならば、あるいは前に述べた大管長会の手の下で主からの啓示によってそれを確認するならば、彼らはその油注ぎを要求することができる。

22 さらにまた、ビショップまたはこの務めのために任命される大祭司は、教会の大管長会の前で受けるほか、どのような罪科に対しても審理や罪の宣告を受けることはない。

23 彼はこの大管長会の前で、異議を申し立てる余地のない証拠によって罪があると認められたならば、罪の宣告を受ける。

24 また、悔い改めるならば、彼は教会の聖約と戒めに従って赦される。

25 さらにまた、シオンにおいて、または組織されているそのいずれかのステークにおいて、子供を持つ両親がいて、八歳のときに、悔い改め、生ける神の子キリストを信じる信仰、およびバプテスマと按手による聖霊の賜物の教義を理解するように

16 15 GS 「大管長会」
 ③ 教義 107 15 17、
 18 17 GS 「神権の鍵」
 18 17 出 40 12 15、
 19 107 13 16 70 76
 GS 「大祭司」
 20 GS 「ビショップ」
 GS 「油注ぎ」
 GS 「聖任」
 GS 「大管長会」
 GS 「ステーク」
 22 24 22 GS 「家族の親の責任」
 ③ 教義 18 42 20 71

彼らを教えなければ、罪はその両親の頭にある。

26 これが、シオン、または組織されているそのいずれかのステークに住む者への律法である。

27 その子供たちは、八歳のときに罪の赦しのためのバプテスマを受け、また按手を受けなければならない。

28 また、彼らはその子供たちに祈ることと、主の前をまつすぐに歩むことも教えなければならない。

29 シオンに住む者はまた、安息日を守ってこれを聖なる日として保たなければならない。

30 シオンに住む者はまた、働くように命じられるならば、それを覚えて忠信を尽くして働かなければならない。怠惰な者は主の前に覚えられるからである。

31 ところで、主なるわたしはシオンに住む者を喜んでいない。彼らの中に怠惰な者たちがいるからである。そして、彼らの子供たちも悪事をするようになり、彼らも永遠の富を熱心に求めず、その目は貪欲に満ちている。

32 これらのことはあってはならず、彼らの中からなくしてしまわなければならない。それゆえ、わたし

しの僕オリバー・カウドリは、これらの言葉をシオンの地に伝えなさい。

33 また、一つの戒めを、わたしは彼らに与える。

すなわち、祈るべきときに主の前に祈りをすることを守らない者が、わたしの民の判士の前に覚えられるようにしなさい。

34 これらの言葉は真実であり、確かである。それゆえ、これらに背いてはならないし、これから取り去ってもならない。

35 見よ、わたしはアルパでありオメガである。わたしはすぐに来る。アーメン。

第 69 章

千八百三十一年十一月十一日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。早期の出版を意図していた啓示の集録が、十一月一日・二日の特別大会において承認された。現在第三百三十三章となっている啓示が十一月三日に加えられ、後に「付録」と呼ばれた。オリバー・カウドリが、編集された啓示と戒めの原稿を印刷のためにミズーリ州インディペンデンスに運ぶようにすでに任命されていた。彼はま

25 ④ GS 「教える、教師」

⑤ ヤコブ 1:19

26 ① GS 「シオン」

27 ① GS 「責任を負う」

28 ② GS 「罪の赦し」

29 ③ GS 「バプテスマ」

30 ① GS 「安息日」

31 ① GS 「怠惰」

32 ① GS 「邪悪」

33 ② GS 「祈り」

34 ① GS 「怒らしめ」

35 ① GS 「黙示 22:6」

② 教義 20:35

③ GS 「アルパとオメガ」

④ 教義 1:12

た、ミズーリにおける教会を建てるために寄付された金
 銭も持参することになった。この啓示でジョン・ホイッ
 トマーはオリバー・カウドリに同伴するよう指示され、
 また教会歴史家兼記録者としての召しに従って旅をし、
 歴史資料を集めるように命じられた。

1-2 ジョン・ホイットマーは、ミズーリまでオリバ
 ー・カウドリに同行しなければならぬ。3-8 彼はま
 た教えを説き、歴史資料を集め、記し、書かなければな
 らぬ。

1 主なるあなたがたの神は言う。わたしの僕オリ
 バー・カウドリのために、わたしの言葉を聴きなさい。
 真実で忠実な者が彼とともに行くのでなければ、
 シオンの地に運ぶ戒めと金銭を彼に託すこと
 は、賢明ではない。

2 それゆえ、主なるわたしは、わたしの僕ジョ
 ン・ホイットマーがわたしの僕オリバー・カウドリ
 とともに行くことを望んでいる。

3 また、彼がわたしの教会について目にして知
 る、すべての重要な事柄の歴史を引き続き書いて

作成することを、

4 また彼がわたしの僕オリバー・カウドリやほか
 の人々から助言と助けを受けることを、主なるわ
 たしは望んでいる。

5 さらにまた、地の方々にいるわたしの僕たち
 は、自分の管理人の職についての報告書をシオン
 の地に送らなければならない。

6 シオンの地はこれらのものを受け取って行う中
 心地であり、場所だからである。

7 それでも、わたしの僕ジョン・ホイットマー
 は、もつと容易に情報を得るために、場所から場
 所へ、また教会から教会へと巡って何度も旅をし
 なさい。

8 また、教えを説き、説き明かし、教会のために
 なる、またシオンの地で成長して代々としえに
 いつまでもそれを所有する後の世代のためになる、
 すべての事柄を書き、写し、選択し、手に入れな
 さい。アーメン。

第 70 章

千八百三十一年十一月十二日、オハイオ州ハイラムに

1 ① GS 「カウドリ、
 オリバー」
 2 ① GS 「ホイットマー、
 ジョン」
 3 ① 教義 47:1-3、
 4 ① GS 「勧告、勧め」
 5 ① GS 「管理人、
 管理人の職」
 8 ① GS 「シオン」

おいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者の歴史には、十一月一日から十二日まで四回の特別大会が開かれたことが述べられている。これらの最後の集会で、後に「Book of Commandments (『戒めの書』)として、またその後「教義と聖約」として出版されることになった啓示の重要性が検討された。啓示は「教会にとつて全地の富にも相当するもの」であるということについて大会で賛意の表明が行われた後、この啓示が与えられた。ジョセフ・スミスの歴史では、啓示は「この終わりの時における教会の基であり、世に益をもたらすものであつて、わたしたちの救い主の王国の興義の鍵が再び人に託されたことを示すものである」と述べられている。

1-5 啓示を出版するために管理人たちが任命される。6-13 霊的な事柄で働く者たちが報酬を受けるのは当然である。14-18 聖徒たちは現世のものについて平等でなければならぬ。

1 見よ、そして聴きなさい、おお、シオンに住む人々と、遠くにいるわたしの教会のすべての人々

よ。わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアと、わたしの僕マーティン・ハリスと、わたしの僕オリバー・カウドリと、わたしの僕ジョン・ホイットマーと、わたしの僕シドニー・リグドンと、わたしの僕ウィリアム・W・フェルプスに、わたしが戒めとして与える主の言葉を聞きなさい。

2 わたしは彼らに一つの戒めを与える。それゆえ、耳を傾けて聞きなさい。主はこのように言う。

3 主なるわたしは彼らを選び、わたしが彼らに与えた、またこの後彼らに与える数々の啓示と戒めについての管理人となるように彼らを聖任した。

4 この管理人の職についての報告を、わたしは裁きの日に彼らに求める。

5 それゆえ、わたしはそれらとそれらにかかわる事柄、すなわちそれらによる利益を管理するように彼らを任命した。これが神の教会における彼らの務めである。

6 それゆえ、わたしは彼らに一つの戒めを与える。すなわち、これらのものを教会員にも、世の人々にも与えてはならない。

7 しかしながら、彼らは自分の必要と入り用のた

として「聖書」の翻訳を続けてきたところで、この啓示を受けた。このとき、この中で与えられている指示を果たすために、翻訳は一時中断された。背教したエズラ・ブースによって書かれた手紙が公表された結果として教会に対して生じていた悪感情を静めるために、兄弟たちは出て行って教えを説かなければならなかった。

1-4 ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは、福音を宣言するために遣わされる。5-11 聖徒の敵は言い伏せられる。

1 見よ、主はあなたがた、すなわちわたしの僕であるジョセフ・スミス・ジュニアとシドニー・リグドンにこのように言う。あなたがたが口を開いて、わたしの望むままに与えられる御霊と力によって、わたしの福音、すなわち王国にかかわる事柄を宣言し、聖文からその奥義を説き明かすことが、必要かつ望まれる時がやって来た。

2 まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたに知らされるまで、しばらくの間、周りの地域において世の人々に宣言し、また教会においても

宣言しなさい。

3 まことにこれは、わたしがあなたがたに与える、しばらくの間の使命である。

4 それゆえ、あなたがたはわたしのどどう園で働きなさい。地に住む者に呼びかけ、証し、来るべき戒めと啓示のために道を備えなさい。

5 さて見よ、これは賢明なことである。読む者は理解し、また受け入れなさい。

6 これを受け入れる者には、もつと豊かに、力さへも与えられるであろう。

7 それゆえ、あなたがたの敵を言い伏せなさい。公にも、ひそかにも、あなたがたと会うように彼らに呼びかけなさい。あなたがたが忠実であれば、彼らの恥が明らかにされるであろう。

8 それゆえ彼らに、主に反対するしつかりした論拠を示させなさい。

9 まことに、主はあなたがたにこのように言う。あなたがたを攻めるために造られる武器は、まったく役に立たない。

10 また、もしだれかがあなたがたに反対して声を上げるならば、その者はわたしがふさわしいと思う

ときに打ち破られるであろう。
 11 それゆえ、わたしの戒めを守りなさい。これらは真実であり、確かである。まことにそのとおりである。アーメン。

第 72 章

千八百三十一年十二月四日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。数人の長老と会員が、自分の務めを知るために、また、教会の教えについてさらに教化を受けるために集まっていた。本章は、同じ日に受けられた三つの啓示を一つにまとめたものである。第一―八節では、ビショップとしてのニューエル・K・ホイットニーの召しが知らされている。この後に、彼は召され聖任された。その後、ビショップの義務に関して追加の情報を与える第九―二十三節を受けた。その後、シオンへの集合に関する指示を与える第二十四―二十六節が与えられた。

1―8 長老たちは、ビショップに自分の管理人の職について報告しなければならぬ。9―15 ビショップは倉を管理し、貧しい人と乏しい人の世話をする。16―26

シヨップは長老たちのふさわしさを証明しなければならぬ。

1 耳を傾け、主の声を聴きなさい、おお、ともに集まったあなたがた、わたしの教会の大祭司であり、王国と力を与えられた者たちよ。

2 まことに、主はこのように言う。わたしが必要としているのは、一人のビショップがあなたがたのために、すなわち主のぶどう園のこの場所における教会のために、あなたがたの中から任命されることである。

3 まことに、このことに関して、あなたがたは賢明に行ってきた。この世においても永遠にわたつても、主はすべての管理人の手より、管理人の職について報告することを求める。

4 この世において忠実で賢い者は、彼のために用意された父の住まいを受け継ぐのにふさわしいと見なされる。

5 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしのぶどう園のこの場所における教会の長老たちは、わたしのぶどう園のこの場所でわたしから任

第 72 章

- 1 ① 教義 68・14-19
- 2 ① GS「神の王国」
- 3 ① GS「ビショップ」
- 4 ① GS「管理人、管理人の職」
- 5 ① GS「ぶどう園（果樹園）（主の）」
- 6 ① GS「ぶどう園」
- 7 ① GS「ぶどう園」
- 8 ① GS「ぶどう園」
- 9 ① GS「ぶどう園」
- 10 ① GS「ぶどう園」
- 11 ① GS「ぶどう園」
- 12 ① GS「ぶどう園」
- 13 ① GS「ぶどう園」
- 14 ① GS「ぶどう園」
- 15 ① GS「ぶどう園」
- 16 ① GS「ぶどう園」
- 17 ① GS「ぶどう園」
- 18 ① GS「ぶどう園」
- 19 ① GS「ぶどう園」
- 20 ① GS「ぶどう園」
- 21 ① GS「ぶどう園」
- 22 ① GS「ぶどう園」
- 23 ① GS「ぶどう園」
- 24 ① GS「ぶどう園」
- 25 ① GS「ぶどう園」
- 26 ① GS「ぶどう園」

命めいされるビシヨップに、自分の管理人かんりにんの職しやくについて報告ほうこうしなければならぬ。

6 これらのことは記録きらくに残のこして、シオンのビシヨップに渡わたさなければならぬ。

7 ビシヨップの義務ぎむは、与あたえられた戒いましめと大会たいかいの聲こゑによつて知しらされるであらう。

8 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。

わたしの僕しもべニユエル・K・ホイットニーは、この力ちからを持もつように選えらばれ、聖任せいにんされるべき人ひとである。これは主しゅなるあなたがたの神かみ、あなたがたの贖あがない主しゅの思おもいである。まことにそのとおりである。アーメン。

9 すでに与あたえられている律法りつぽうに加くわえて、ぶどう園えんのこの場所ばしよにおける教会きやうかいのために聖任せいにんされたビシヨップの義務ぎむを知らせる主しゅの言葉ことばは、まことに次のとおりである。

10 すなわち、主しゅの倉くらを管理かんりすること、ぶどう園えんのこの場所ばしよにおける教会きやうかいの基金きんきんを受け取とること、

11 前に命めいじられたように長老ちやうらうたちの報告ほうこうを記録きらくすること、および彼らかれらの入り用いりようを補おぎなうことである。

彼らかれらは返済へんさいするものを持もつていれば、自分じぶんが受け

るものに対したいして返済へんさいしなければならない。

12 これもまた教会きやうかいの益えきのために、すなわち貧しい者ますと乏へんさいしい者もののために奉獻ほうけんするためである。

13 また、返済へんさいするものを持もつていない者ものについては、報告ほうこうを記録きらくし、それをシオンのビシヨップに渡わたすようにする。するとシオンのビシヨップは、主しゅが

彼かれの手てにゆだねるものから負債ふさいの支払しはらいをする。

14 教会員きやうかいいんのために、また世の人々よのひとびとのために、福音ふくいんと王国おうこくにかかわる事柄ことがらを取り扱あつかい、靈れい的な事柄ことがらにおいて働はたらく忠実ちゆうじつな人の働はたらきは、負債ふさいに対する支払しはらいをシオンのビシヨップに求めもとめるものである。

15 このように、その支払しはらいは教会きやうかいが行おこなう。律法りつぽうに従したがつてシオンしやうに上のぼつて来きる人は皆みな、シオンのビシヨップの前まえにすべてのものを置おかなければならないからである。

16 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。

ぶどう園えんのこの場所ばしよにいる長老ちやうらうは皆みな、ぶどう園えんのこの場所ばしよのビシヨップに自分じぶんの管理人かんりにんの職しやくについての報告ほうこう書しよを出ださなければならぬので、

17 ぶどう園えんのこの場所ばしよにおける判士はんしすなわちビシヨップから、シオンのビシヨップにあてた証明書しやうめいしよ

7 ① 教義 42 : 31、46 : 27、87 : 88、17 : 18、107 : 88
8 GS「ホイットニー、
ニユエル・K」
10 ニユエル・K、7 : 11、
78 : 3
11 「倉」
13 GS「貧しい」
15 ① 教義 42 : 30、31、
GS「奉獻の律法」
17 ① 教義 20 : 64、84

によって、すべての人は受け入れられる者とされ、そして受け継ぎのために、また賢い管理人かつ忠実な働き人として迎え入れられるために、すべてのことが満たされるのである。

18 そうでなければ、シオンのビショップに受け入れられない。

19 さて、まことに、あなたがたに言う。ぶどう園のこの場所における教会のビショップに報告をするすべての長老は、自分が働いている教会や諸教会からの推薦をもらって、自分自身と自分の報告をあらゆる点で承認してもらえようになさい。

20 さらにまた、わたしの教会の出版に関する諸事を扱う管理人として任命されているわたしの僕たちは、すべての事柄についてビショップまたはビショップたちに援助を要求する権利を持つ。

21 それは、啓示が出版されて地の果てまで出て行くようにするため、また彼らがあらゆる点で教会を益する資金を得られるようにするため、

22 また彼らもあらゆる点で承認を受け、賢い管理人と見なされるためである。

23 さて見よ、これは、わたしの教会の支部が設け

られるとこの地においても、広い範囲に及ぶすべての支部のために範例とすべきものである。わたしはここでわたしの言葉を終わりにする。アーメン。

24 王国の律法に加えて、少しの言葉を、教会の会員について、すなわちシオンに上って行くように聖なる御霊により命じられる者、シオンに上って行く特権を与えられている者について述べておく。

25 これらの者は、教会の三人の長老からの証明書、またはビショップからの証明書をビショップのもとに携えて行きなさい。

26 シオンの地の上って行く者は、そうしなければ、賢い管理人とは見なされないであろう。これもまた一つの範例である。アーメン。

第 73 章

千八百三十二年一月十日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。前年の十二月月上旬以来、預言者とシドニーは教えを説く業に従事してきた。そして、この方法によって、教会に対して生じていた批判的な感情が大きいに軽減された(第七十一章の前書きを参照)。

17 ② 教義 42 : 32
20 ① 教義 70 : 3-5
21 ① GS「教義と聖約」
22 ① GS「召し、神の
召し」

1-2 長老たちは宣べ伝え続けなければならぬ。3
 6 ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは、「聖書」の翻訳を完了するまで翻訳を続けなければならない。

1 まことに、主はこのように言う。わたしが必要としているのは、大会まで、彼らが福音を宣べ伝え、周りの地域における諸教会で説き続けることである。

2 その後、見よ、大会の声によって、彼らの様々な使命が知らされるであらう。

3 さて、まことに、わたしはあなたがた、すなわちわたしの僕であるジョセフ・スミス・ジュニアとシドニー・リグドンに言う。再び翻訳する必要がある、と主は言う。

4 可能なかぎり大会まで周りの地域で教えを説き、そしてその後は、翻訳の仕事を終了するまで続ける必要がある。

5 書き記されているようにさらに知らされるまで、これを長老たちにとつての規範としなさい。

6 さて、今はこれ以上のことを示さない。腰に帯を締め、まじめでありなさい。まことにそのとおり

である。アーメン。

第 74 章

千八百三十年、ニューヨーク州ウエイン郡において、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。教会が組織される以前から、バプテスマの適切な方法について疑問が出されていた。そこで、預言者はこの問題について答えを求めたことにした。ジョセフ・スミスの歴史では、この啓示はコリント人への第一の手紙第七章十四節について説明したものであると述べられている。この聖句は幼児洗礼を正当化するためにしばしば用いられてきた。

1-5 パウロは彼の時代の教会員に、モーセの律法に従わないように忠告する。6-7 幼い子供たちは聖い者であり、贖罪によって聖められている。

1 なぜなら、信者でない夫は妻によって聖められており、また、信者でない妻も夫によって聖められているからである。もしそうでなければ、あなたがたの子供たちは汚れていることになるが、しかし今、聖いではないか。

第 73 章

1 ① 伝道中の人々のこと。

2 ① 教義 57-68 章参照

3 ① 教義 20、63、45、60-61、76、15

GS 「ジョセフ・スミス 訳」(B)

② ジョセフとシドニーは、以前に、翻訳を中止して福音を宣べ伝えるように命じられていた。

6 ① 教義 71 : 2

① 1 ペテ 1 : 13

第 74 章

1 ① 1 コリ 7 : 14-19

2 さて、使徒の時代には、イエス・キリストの福音を信じていないすべてのユダヤ人の間で、割礼の律法が守られていた。

3 そして、割礼の律法に關して人々の間で大きな論争が起こった。信者でない夫が、その子供たちが割礼を受けて、すでに成就したモーセの律法に従うことを願ったからである。

4 そして、その子供たちはモーセの律法に従って育てられたので、彼らの先祖の言い伝えを心に留め、キリストの福音を信じなかつた。このようにして、彼らは聖くない者となつた。

5 したがって、この理由で、使徒は教会員に手紙を書いて、主からではなく彼自身から出た戒めを与えたのである。すなわち、モーセの律法が彼らの中から廃されなにかぎり、信者は信者でない者と結ばれてはならないというものである。

6 それは、その子供たちに割礼が施されることのないためであり、また幼い子供たちは聖くないという言い伝えが廃されるようにするためである。そのような言い伝えがユダヤ人の中にあつたからである。

7 しかし、幼い子供たちは、イエス・キリストの

贖罪によつて聖められているので、聖い者である。これが聖文の意味していることである。

第 75 章

千八百三十二年一月二十五日、オハイオ州アマーストにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。本章は同じ日に与えられた二つの別の啓示から成る（最初の啓示は第一一二二節で、第二の啓示は第二十三―三十六節である）。この啓示が与えられた大会で、ジョセフ・スミスは大神権の大神長に支持され、聖任された。ある長老たちは、自分の当面の義務についてもつと詳しく知りたいと望んだ。そこで、これらの啓示が与えられた。

1―5 福音を宣べ伝える忠実な長老たちは、永遠の命を得る。6―12 すべてのごとを教えてくださる慰め主を受けるために祈りなさい。13―22 長老たちは、彼らの伝える教えを拒む者たちを裁き座に着く。23―36 宣教師の家族は、教会員から助けを受けなければならない。

1 まことに、まことに、わたしの御霊の声によつ

3 ① GS「割礼」
② 使徒15:1―35、ガラ2:1―15

4 ① GS「モーセの律法」
② GS「結び異なるた信仰を持つ人との結婚」

5 ① GS「モーセの律法」
② GS「結び異なるた信仰を持つ人との結婚」

7 ① モロ8:8―15、教義29:46―47、137:10

② GS「贖罪」
③ GS「救い」
④ GS「聖い」
⑤ GS「聖い」

第75章
1 ① GS「啓示」

て語る者、アルパでありオメガであり、あなたがたの主でありあなたがたの神であるわたしは、あなたがたに言う。

2 聴きなさい、おお、出て行つてわたしの福音を宣言し、わたしのぶどう園で刈り込みをすること志願した人々よ。

3 見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしの思いは、あなたがたが出て行き、とどまることも怠けることもなく、あなたがたの勢力を尽くして働くことである。

4 ラツパの音のようにあなたがたの声を上げ、わたしがあなたがたに与えた啓示と戒めに従つて真理を宣言しなさい。

5 このように、忠実であれば、あなたがたは多くの束を積まれ、誉れと、栄光と、不死不滅と、永遠の命を冠として与えられるであろう。

6 それゆえ、まことに、わたしは、わたしの僕ウリアム・E・マクレリンに言う。わたしは東の地方へ行くようにという彼に与えた任務を取り消す。

7 そして、彼に新しい任務と新しい戒めを与え、それによつて、彼の心のつぶやきに対して懲らし

めを与える。

8 彼は罪を犯した。それでも、わたしは彼を赦し、再び彼に、「あなたは南の地方へ行きなさい」と言う。

9 わたしの僕ルーク・ジョンソンを彼とともに行かせ、わたしが二人に命じた事柄を宣言させなさい。

10 二人にとつて必要なすべてのことを教える慰め主を受けるために、主の名を呼ばせなさい。

11 気を落とさないうちに常に祈らせなさい。これを行うならば、わたしはまことに最後まで彼らともにいるであろう。

12 見よ、これがあなたがたに関する、主なるあなたがたの神の思いである。まことにそのとおりである。アーメン。

13 さらにまた、まことに、主はこのように言う。わたしの僕オーソン・ハイドとわたしの僕サミユエル・H・スミスに、東の地方へ旅をさせ、わたしが彼らに命じたことを宣言させなさい。彼らが忠実であれば、見よ、わたしはまことに最後まで

彼らとともにいるであろう。

1 ② 黙示 1 : 8、
 2 ① GS 「アルパとオメガ」
 (果樹園) (主の)
 3 ② ヤコブ 5 : 62
 4 ① GS 「忍情」
 5 ② GS 「伝道活動」
 6 ① 詩篇 126 : 6、
 アル 26 : 5
 7 ① GS 「敬う」
 8 ② GS 「栄光」
 9 ① GS 「不死不滅」
 10 ① GS 「永遠の命」
 11 ① GS 「冠」
 12 ① GS 教義 66 章
 13 ① GS 「慰め主、助け主」
 ② GS 「怒らしめ」
 ③ GS 「思ひ」
 ④ GS 「ぶやき」
 ⑤ GS 「オースン」
 ⑥ GS 「ハイド」
 ⑦ GS 「スミス」
 ⑧ GS 「エリス」
 ⑨ GS 「マタ 28 : 19」
 ⑩ GS 「H」
 ⑪ GS 「22 : 32」
 ⑫ GS 「9」

14 さらにまた、まことに、わたしの僕ライマン・
 ジョンソンと、わたしの僕オーソン・プラットに
 言う。彼らも東の地方へ旅に出なければならな
 い。そうすれば、見よ、見よ、わたしは最後まで
 彼らとともにいる。

15 さらにまた、わたしの僕エイサ・ドツズと、わ
 たしの僕カーブズ・ウィルソンに言う。彼らも西の
 地方へ旅に出て、わたしが彼らに命じたようにわた
 しの福音を宣言しなければならぬ。

16 忠実な者はすべてのもに打ち勝ち、終わりの
 日に高く上げられるであらう。

17 さらにまた、わたしの僕メージャー・N・アシユ
 リーと、わたしの僕バー・リッゲズに言う。彼らも
 南の地方へ旅に出なさい。

18 まことに、これらすべての者は、わたしが命じ
 たように旅に出て、家から家へ、村から村へ、町か
 ら町へ行きなさい。

19 そして、どの家に入っても、人々があなたがた
 を迎えてくれるなら、その家にあなたがたの祝福
 を残しなさい。

20 また、どの家に入っても、人々が迎えてくれな

ければ、あなたがたは速やかにその家を去り、彼ら
 に対する証としてあなたがたの足のちりを払い落
 とさなければならぬ。

21 そうすれば、あなたがたは喜びと楽しみで満た
 されるであらう。また、このことを知っておきなさい。
 すなわち、裁きの日に、あなたがたはその家の
 裁き人となり、彼らを罪に定めるであらう。

22 裁きの日には、異教徒の方がその家よりも耐え
 やすいであらう。それゆえ、腰に帯を締め、忠実
 でありなさい。そうすれば、あなたがたはすべての
 ものに打ち勝ち、終わりの日に高く上げられるであ
 ろう。まことにそれとおりである。アーメン。

23 さらにまた、主はあなたがたにこのように言
 う。おお、あなたがたに関する主の思いを知ろうと
 して自分の名を告げた、わたしの教会の長老たち
 よ。

24 見よ、わたしはあなたがたに言う。世の人々に
 福音を宣言するために召されて、世の人々のもとに
 遣わされる必要のある人々の家族を扶養する助け
 をすること、またその人々の家族を扶養すること
 は、教会の義務である。

は、教会の義務である。

14 ① GS フラット、
 オイソン
 16 ① 教義 5、35
 ルカ 10、11、14、
 21 ① マテ 5、11、
 教義 24、15、60
 22 ① エベ 6、14、
 教義 27、15、18

25 それゆえ、主なるわたしは、あなたがたにこの戒めを与える。あなたがたは、兄弟たちが喜んで心を開くならば、あなたがたの家族の住む所を手に入れなさい。

26 そして、家族の住む所を手に入れ、かつ教会から家族の扶助を得ることのできるすべての者は、東であろうと、西であろうと、北であろうと、南であろうと、必ず世に出て行かなければならない。

27 彼らに求めさせなさい。そうすれば、彼らに与えられるであろう。たたかせなさい。そうすれば、開かれるであろう。彼らの行くべき所は、高い所から、まことに慰め主によって知らされるであろう。

28 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。自分の家族を扶養する義務を負っている者には皆、扶養させなさい。そうすれば、その人は決して冠を失うことはない。また、このような者には教会の中で働かせなさい。

29 皆、すべてのことについて熱心でありなさい。怠惰な者は、悔い改めて自分の行いを改めないかぎり、教会の中でいるべき場所を得られないであろう。

30 わたしの僕シメオン・カーターとわたしの僕エマー・ハリスに、務めに関して一つとならせなさい。

31 また、わたしの僕エズラ・セアとわたしの僕トーマス・B・マーシユも、

32 わたしの僕ハイラム・スミスとわたしの僕レイノルズ・カフーンも、

33 わたしの僕ダニエル・スタントンとわたしの僕セイモア・ブランソンも、

34 わたしの僕シルベスター・スミスとわたしの僕ギデオン・カーターも、

35 わたしの僕ラゲルズ・エイムズとわたしの僕ステイーブン・パーネットも、

36 また、わたしの僕マイカ・B・ウェルトンとわたしの僕イーデン・スミスも、同様である。まことにそのとおりである。アーメン。

第 76 章

千八百三十二年二月十六日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた示現。この示現の記録の前置きとして、ジョ

27 ① 2ニ、32、5、
 教義 8・2、
 28 ① GS 「聖霊」
 ② 1テモ 5・8、
 教義 83・2
 29 ① GS 「熱心」
 ② ② GS 「怠惰」
 31 ① GS 「マーシユ、
 トーマス・B」

セフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「わたしはアマーストの大会から帰ると、聖典の翻訳を再開した。これまでに受けた会いたるいろいろな啓示から、人の救いに関する多くの重要な事項が『聖書』から取り去られたか、あるいはそれが編さんされる前に失われたか、どちらかであることは明らかであった。残された真理からおのずと明らかになように、もし神がすべての人に肉体においてなした行いに応じて報いを与えられるとすれば、聖徒たちの永遠の住まいとされる『天』という言葉には、一つではなく複数の王国が含まれるに違いない。それで、『ヨハネによる福音書』を翻訳している最中に、わたしとリグドン長老は次のような示現を見た。「この示現が与えられたのは、預言者がヨハネによる福音書第五章二十九節を翻訳していたときのことである。」

1-4 主は神であられる。5-10 王国の奥義は、すべての忠実な者に明らかにされる。11-17 すべての者が、正しい者の復活の時か、あるいは正しくない者の復活の時に出て来る。18-24 多くの世界に住む者が、イエス・キリストの贖罪によって神のもとに生まれた息子や娘となる。25-29 神の一天使が落ちて、悪魔になった。30-

49 滅びの子は永遠の罰の定めを受ける。そのほかの者は皆、何らかの階級の救いを得る。50-70 日の栄えの王国における昇栄する者の栄光と報いが述べられる。71-80 月の栄えの王国を受け継ぐ者について述べられる。81-113 星の栄え、月の栄え、日の栄えの世界の栄光のうちにある者の状態が説明される。114-119 忠実な者は、聖なる御霊の力によって神の王国の奥義を目にし、理解することができる。

1 おお、天よ、聞け。おお、地よ、耳を傾けよ。そこに住む者よ、喜べ。主は神であり、主のほかに救い主はおられないからである。
 2 主の知恵は偉大であり、主の道は驚くべきものであつて、主の行われることの広大さをだれも知り尽くすことはできない。
 3 主の目的が達せられないことはなく、主の手をどめることが出来る者はだれもない。
 4 永遠から永遠にわたつて主は変わることはない御方であり、主の年は尽きることがない。
 5 主はこのように言われる。すなわち、「主なるわたしは、わたしを畏れる者に憐れみ深くかつ恵み

第7章

1 ① イザ1:2
 2 ② エレ10:10、
 GS「神、神会—
 子なる神」
 ③ イザ43:11、
 ホセ13:4、43:11、
 ④ GS「救い主」
 2 ① 2ニフ2:24
 2 教義38:7、13
 3 ① 列上8:3
 ② 黙示15:3
 3 教義1:38、64、31
 4 ① ヘブ13:8、8、
 教義35:1、3
 8 ① 1-4、39:1-3
 ② 詩篇102:25-27、
 ヘブ1:12
 5 ① 申命6:13、
 ヨシ4:23、24
 GS「畏れ、恐れ」
 「敬虔」
 ② 出エ34:6、
 詩篇103:8、
 GS「憐れみ」

深く、また最後まで義をもって真理になつてわたしに仕える者に誉れを与えるのを喜びとする。

6 彼らの受ける報いは大きく、彼らの栄光は永遠である。

7 わたしは彼らにすべての奥義を、すなわち昔から隠されていたわたしの王国のすべての奥義を明らかにし、また来るべき時代におけるわたしの王国に関するすべてのことについても、わたしの思いのよしとするところを彼らに知らせよう。

8 まことに、永遠の驚異さえも、彼らは知るであらう。また、わたしは来るべきこと、多くの時代のことさえも彼らに示そう。

9 彼らの知恵は大いなるものとなり、彼らの理解は天に達する。彼らの前で知者の知恵は滅び、賢者の理解も無に帰する。

10 わたしは、わたしの御霊によつて彼らに光を注ぎ、またわたしの力によつてわたしのひそかな思い、すなわち、目が見ず、耳が聞かず、人の心に思い浮かびもしなかつたそれらの事柄を彼らに知らせるからである。」

11 わたしたち、ジヨセフ・スミス・ジュニアとシ

ドニー・リグドンは、主の千八百三十二年二月十六日、御霊に感じて、

12 神にかかわる事柄を目にし理解できるように、御霊の力によつてわたしたちの目は開かれ、わたしたちの理解に光が注がれた。

13 それらの事柄は、世界が存在する前に初めからあつたこと、まことに初めから御父の懐におられた御父の独り子を通して御父によつて定められたことである。

14 わたしたちはその御方について証する。わたしたちが述べる証は、御子であるイエス・キリスト、すなわち、わたしたちが天の示現の中で目にし、言葉を交わしたイエス・キリストの完全な福音である。

15 わたしたちは、主がわたしたちに命じられた翻訳の業を行つていたときに、ヨハネによる福音書第五章二十九節に至り、それはわたしたちに次のように与えられた。

16 すなわち、それは死者の復活について、また人の子の声を聞く者について語つてゐる。

17 「善を行つた人々は正しい者の復活の時に、ま

5 ③ 教義 4・2
6 ① GS「一日の栄え」
7 ② 教義 42・61、
8 ① 49、8、12、
9 GS「知恵」
10 ② 26、33、
11 ③ 29、14、
12 ① 2、9、
13 ② 17、15、
14 ③ 17、15、
15 ① 1、11、
16 ② 1、11、
17 ③ 1、11、
18 ① 1、11、
19 ② 1、11、
20 ③ 1、11、
21 ① 1、11、
22 ② 1、11、
23 ③ 1、11、
24 ① 1、11、
25 ② 1、11、
26 ③ 1、11、
27 ① 1、11、
28 ② 1、11、
29 ③ 1、11、

た悪を行つた人々は正しくない者の復活の時に出て来るであろう。」

18 これはわたしたちを驚かせた。それが御霊によつてわたしたちに与えられたからである。

19 わたしたちがこれらについて思いにふけていたときに、主はわたしたちの理解の目にふけて触れてくださり、わたしたちの理解の目が開かれた。そして、主の栄光が周りを照らした。

20 そして、わたしたちは御父の右に御子の栄光を見、その完全を受けた。

21 また、神と小羊を拝しており、またとこしえにいつまでも神と小羊を拝する、聖なる天使たちと聖められている者たちを御父の御座の前に見た。

22 そして今、小羊についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、「小羊は生きておられる。」

23 わたしたちはまことに神の右に小羊を見たからである。また、わたしたちは証する声を聞いた。すなわち、「彼は御父の独り子であり、

24 彼によつて、彼を通じて、彼から、もろもろの世界が現在創造され、また過去に創造された。そ

して、それらに住む者は神のもとに生まれた息子や娘となる」と。

25 また、わたしたちはこのことも見たので証する。すなわち、神の前で権威を持つていた神の一天使が、御父から愛されて御父の懐におられた独り子に背き、神と御子の前から落とされ、

26 そして、滅びと呼ばれた。もろもろの天は彼のために泣き悲しんだからである。彼は暁の子ルシフェルであつた。

27 わたしたちは見た。見よ、彼は落ちた。暁の子でさえも落ちた。

28 わたしたちがまだ御霊に感じていた間に、主はわたしたちに、その示現を書き記すように命じられた。神に背き、わたしたちの神とそのキリストの王国を取ろうとしたサタン、年を経た蛇、すなわち悪魔を、わたしたちは見たからである。

29 彼は神の聖徒たちに戦いを挑み、彼らを取り囲む。

30 また、わたしたちは、彼と戦つて打ち負かされた者たちの苦しみを示現で見た。主の声が次のようにわたしたちに聞こえた。

20 19 ① GS「深く考える」
① GS「神、神会」
① GS「神、神会」

② GS「イエス・キリストの栄光」
③ GS「使徒7:56」

21 ① GS「礼拝」
② マタ25:31、
③ GS「聖め」
④ GS「聖」
⑤ GS「聖」

22 ① GS「証」
② GS「証」
③ GS「証」
④ GS「証」
⑤ GS「証」

23 ① GS「神、神会」
② GS「神、神会」
③ GS「神、神会」
④ GS「神、神会」
⑤ GS「神、神会」

24 ① GS「イエス・キリスト」
② GS「イエス・キリスト」
③ GS「イエス・キリスト」
④ GS「イエス・キリスト」
⑤ GS「イエス・キリスト」

25 ① GS「創造、創造する」
② GS「創造、創造する」
③ GS「創造、創造する」
④ GS「創造、創造する」
⑤ GS「創造、創造する」

26 ① GS「使徒17:28、29」
② GS「使徒17:28、29」
③ GS「使徒17:28、29」
④ GS「使徒17:28、29」
⑤ GS「使徒17:28、29」

27 ① GS「使徒17:28、29」
② GS「使徒17:28、29」
③ GS「使徒17:28、29」
④ GS「使徒17:28、29」
⑤ GS「使徒17:28、29」

28 ① GS「使徒17:28、29」
② GS「使徒17:28、29」
③ GS「使徒17:28、29」
④ GS「使徒17:28、29」
⑤ GS「使徒17:28、29」

29 ① GS「使徒17:28、29」
② GS「使徒17:28、29」
③ GS「使徒17:28、29」
④ GS「使徒17:28、29」
⑤ GS「使徒17:28、29」

30 ① GS「使徒17:28、29」
② GS「使徒17:28、29」
③ GS「使徒17:28、29」
④ GS「使徒17:28、29」
⑤ GS「使徒17:28、29」

31「わたしの力を知り、それにあずかる者とされながら、自らを悪魔の力に打ち負かされるに任せ、また真理を否定し、わたしの力に反抗するに自らを任せたすべての者について、主は次のように言う。
 32すなわち、彼らは滅びの子であり、生まれなかつた方が彼らのためによかつたとわたしと言う者である。

33彼らは激しい怒りの器であり、悪魔やその使いとともに永遠に神の激しい怒りを受けるように定められるからである。

34この世でも来るべき世でも赦されることはない」とわたしと言ったのは、彼らについてである。」

35それは、彼らが聖なる御霊を受けた後にそれを否定したため、また御父の独り子を否定したため、また独り子を自ら十字架につけて公に辱めたためである。

36これらの者は、悪魔やその使いとともに火と硫黄の池の中に入る者であり、

37また第二の死が何らかの力を持つ唯一の者であり、

38まことに、主の激しい怒りによる苦しみを受け

た後も、主の定められたときに贖われない唯一の者である。

39残りの者は皆、もろもろの世界が造られる前に御父の懐におられた、ほふられた小羊の勝利と栄光によつて、死者の復活により導き出されるからである。

40天からの声がわたしたちに証した福音、すなわち喜びのおとずれはこれである。

41「彼、すなわちイエスは、世のために十字架につけられ、世の罪を負い、世を聖め、それをすべての不義から清めるため世に来た。

42御父からイエスの力の下に置かれて、彼により造られたすべての者が、彼によつて救われるためである。

43彼は御父の栄光を現し、そして、御父から御子を示された後に御子を否定する滅びの子らを除く、その御手によつて造られたすべての者を救われる。」

44それゆえ、イエスは彼らを除くすべての者を救われる。しかし、彼らは悪魔やその使いとともに永遠に治めるために、永久の罰、すなわち無窮の罰、すなわち永遠の罰を受ける。そこでは、彼

32 31 ① GS「背教、背信」
 ② 教義 76 : 26
 モセ 5 : 22 1 : 26
 34 ① GS「滅びの子」
 ② GS「救」
 アル 12 : 31 1 : 32、
 35 ① 2 ペテ 2 : 20 22
 アル 39 : 6
 GS「救されない罪」
 ② ヘブ 4 : 4 6、
 1 ニコ 19 : 7、
 36 ① 黙示 19 : 20、
 20 : 10 21 : 8、
 2 ニコ 9 : 16 18、23、
 アル 12 : 16 18、
 教義 63 : 17 18、
 37 ① GS「死（霊の子）」
 ② GS「滅びの子」
 38 ① GS「イエス・キリスト」
 39 ① GS「復活」
 ② GS「復活」
 ③ GS「贖われる」の意、
 38節を参照。すべての人が復活する。
 アル 11 : 41 45、
 40 ① GS「生かす」
 ② GS「3ニコ 27 : 13 22、
 41 「福音」
 ① GS「十字架の刑」
 ② 1ヨハ 2 : 1 2
 ③ イザ 53 : 4 12、
 ヘブ 9 : 28
 44 ① GS「聖め」
 ② GS「贖い」
 ③ GS「救い」
 ④ GS「悪魔」
 ⑤ GS「救い」
 ⑥ GS「救い」
 ⑦ GS「救い」
 ⑧ GS「救い」
 ⑨ GS「救い」
 ⑩ GS「救い」
 ⑪ GS「救い」
 ⑫ GS「救い」
 ⑬ GS「救い」
 ⑭ GS「救い」
 ⑮ GS「救い」
 ⑯ GS「救い」
 ⑰ GS「救い」
 ⑱ GS「救い」
 ⑲ GS「救い」
 ⑳ GS「救い」
 ㉑ GS「救い」
 ㉒ GS「救い」
 ㉓ GS「救い」
 ㉔ GS「救い」
 ㉕ GS「救い」
 ㉖ GS「救い」
 ㉗ GS「救い」
 ㉘ GS「救い」
 ㉙ GS「救い」
 ㉚ GS「救い」
 ㉛ GS「救い」
 ㉜ GS「救い」
 ㉝ GS「救い」
 ㉞ GS「救い」
 ㉟ GS「救い」
 ㊱ GS「救い」
 ㊲ GS「救い」
 ㊳ GS「救い」
 ㊴ GS「救い」
 ㊵ GS「救い」
 ㊶ GS「救い」
 ㊷ GS「救い」
 ㊸ GS「救い」
 ㊹ GS「救い」
 ㊺ GS「救い」
 ㊻ GS「救い」
 ㊼ GS「救い」
 ㊽ GS「救い」
 ㊾ GS「救い」
 ㊿ GS「救い」
 ㉑ GS「罰の定め」

らのうじは死なず、火は消えることがない。それが彼らの苦痛である。

45 また、その終わり、その場所、その苦痛を知っている者はだれもない。

46 それを受ける者とされる者のほかに、それは人に明らかにされなかつただけでなく、今も明らかにされず、また将来も明らかにされることはない。

47 「それでも、主なるわたしはそれを示現によって多くの者に示すが、すぐにまたそれを閉じる。

48 それゆえ、その終わり、その幅、その高さ、その深さ、またその悲惨さを、彼らは理解することなく、この罪の宣告に定められる者のほかにほだれも知らない。」

49 そして、わたしたちは、「示現を書き記しなさい。見よ、これで神を敬わない者の受ける苦しみの示現は終わりである」と告げる声を聞いた。

50 さらにまた、わたしたちは証する。わたしたちは見聞きしたからである。正しい者の復活の時に出て来る人々に関するキリストの福音の証はこれである。

51 すなわち、彼らはイエスの証を受け入れ、その

名を信じ、そしてイエスの名によって水の中に沈められ、イエスから与えられた戒めのとおりにその埋葬に就つてバプテスマを受けた者である。

52 それは戒めを守ることによって、彼らが自分のすべての罪から洗われて清くされ、この力を持つように聖任され結び固められている者の按手によつて聖なる御霊を受けるためである。

53 また、彼らは信仰によつて勝利を得、御父が正しくかつ真実なる者すべてに注がれる約束の聖なる御霊により結び固められている者である。

54 彼らは長子の教会である。

55 彼らは御父からすべてのものをその手に与えられた者である。

56 彼らは祭司であり、王であり、御父の完全と御父の栄光を受けた者であり、

57 また、メルキゼデクの位に従ういと高き方の祭司である。このメルキゼデクの位は、エノクの位に従い、かつ独り子の位に従うものであった。

58 それゆえ、書き記されているように、彼らは神々、すなわち神の子である。

59 それゆえ、生も死も、現在のものも将来のもの

44 ④ イザ 66 : 24、マコ 9 : 43、48

45 ① 黙示 20 : 28、29

48 ① アル 42 : 22

50 ① GS「復活」

51 ① 教義 20 : 25、27、37

52 ② ロマ 6 : 3、5、

GS「バプテスマー全身を水に沈める」

53 ④ 教義 12 : 13

54 ① GS「バプテスマ」

55 ① 2、7、9、23、

モロ 8 : 25、26

56 ② GS「清く」

③ GS「権威、権限、権能」

④ GS「聖任」

⑤ GS「按手」

⑥ GS「聖霊の賜物」

57 ① エペ 1 : 13、

教義 88 : 3、5、

58 ① GS「約束の聖なる御霊」

② GS「結び固め」

59 ① エペ 12 : 23、

教義 93 : 21、22

② GS「長子、初子」

③ 1、2、ベテ 1 : 3、4、

教義 50 : 26、84、35、38

④ ① 出エ 19 : 6、

黙示 1 : 5、16、

20 : 6

57 ① GS「祭司、メルキゼデク神権」

② 創世 9 : 21、24、

GS「エノク」

③ 教義 101 : 1、4

④ ① 詩篇 82 : 1、6、

ヨハ 10 : 34、36 GS「一人の天の御父のようになる可能性を持った人間」

② 教義 121 : 32

GS「神、神会」

も、すべてのものは彼らのものである。すべては彼らのものであり、彼らはキリストのものであり、キリストは神のものである。

60 彼らはすべてのものに打ち勝つ。

61 それゆえ、だれも人間を誇つてはならない。むしろすべての敵をその足の下に従わせる神を誇りなさい。

62 これらの者は、とこしえにいつまでも神とそのキリストの前に住む。

63 これらは、キリストが地上でその民を治めるために天の雲の中を来られるとき、キリストが伴つて来られる者である。

64 これらは、第一の復活にあずかる者である。

65 これらは、正しい者の復活の時に出て来る者である。

66 これらは、シオンの山に、また生ける神の都、天の場所、至聖所に来る者である。

67 これらは、無数の天使の集まりと、エノクの教会の総集いと、長子の教会の総集いに加わった者である。

68 これらは、神とキリストが万民の審判者として

住まわれる、天にその名が記されている者である。

69 これらは、自らの血を流すことによつてこの完全な贖罪を成し遂げられた、新しい聖約の仲保者イエスを通じて完全な者とされた正しい人々である。

70 これらは、その体が日の栄えの状態にある者である。その栄光は太陽の栄光、すなわちすべての者の至高なる神の栄光であり、その栄光は大空の太陽によつて象徴されると記されている。

71 さらにまた、わたしたちは月の栄えの世界を見た。見よ、見よ、これらの者は月の栄えの世界に属する者であり、その栄光は、月の栄光が大空の太陽と違つているように、御父の完全を受けた長子の教会の栄光とは違つている。

72 見よ、これらは、律法なしに死んだ者である。

73 また、獄にとどめられた人々の霊であつて、肉において人間として裁きを受けるために、御子が訪れて、福音を宣べ伝えられた者である。

74 また、これらは、肉においてはイエスの証を受け入れなかったが、後にそれを受け入れた者である。

59 58 GS「神の息子、娘」

3 ルカ12:42-44

3 二テモ3:10

教義84:36-38

1 コリ3:5、21:7

1 ヨハ5:41-44

60 ① 黙示3:5、21:7

① 黙示3:5、21:7

② 教義49:6

③ 二テモ3:6

アル26:11、16、

62 GS「栄光」

GS「教義10:7、

GS「永遠の命」

② 詩篇15:1-3、

1 二テモ3:5、34、

モセ6:57

63 ① 教義58:22、

GS「イエス・キリスト

キリストによる福千

年の統治」

② マタ24:30

③ 教義88:96-98、

GS「イエス・キリス

トの再臨」

64 ① 黙示20:6

① GS「復活」

② イザ24:23、

ヘブ12:22、24、

黙示14:1、24、

67 教義84:2、133、56

② 教義45:9-12

② ヘブ12:23、

68 GS「長子、初子」

① GS「イエス・キリス

ト「裁き」

69 ① GS「命の書」

② GS「血」

③ GS「贖罪」

④ GS「新しくかつ永

遠の聖約」

75 これらは、世の高潔な人々でありながら、人間の悪巧みによって目をくらまされた者である。

76 これらは、イエスの栄光を受けるが、その完全は受けない者である。

77 これらは、御子の臨在は受けるが、御父の完全は受けない者である。

78 それゆえ、彼らは日の栄えの体ではなく、月の栄えの体であつて、月が太陽と違つてるように栄光において違つている。

79 これらは、イエスの証に雄々しくない者である。それゆえ、彼らはわたしたちの神の王国の冠を得ない。

80 さて、これでわたしたちが月の栄えの世界について見た示現は終わり、わたしたちがまだ御霊に感じてゐる間に、これを書き記すように主はわたしたちに命じられた。

81 さらにまた、わたしたちは星の栄えの世界の栄光を見た。その栄光は、星の栄光が大空の月の栄光と違つてゐるように、さらに劣つた世界の栄光である。

82 これらは、キリストの福音を受け入れず、イエ

スの証も受け入れなかつた者である。
83 これらは、聖なる御霊を否定しない者である。

84 これらは、地獄に落とされる者である。

85 これらは、最後の復活まで、主すなわち小羊なるキリストがその業を終えられるまで、悪魔から贖われない者である。

86 これらは、永遠の世界において主の完全を受けないが、月の栄えの者の働きによって聖なる御霊を受取る者である。

87 そして、月の栄えの者は、日の栄えの者の働きによつて受ける。

88 また、星の栄えの者は、彼らのために仕えるように任じられる天使たち、すなわち彼らのために仕える霊となるように任じられる天使たちの働きによつて聖き御霊を受取る。彼らは救いを受け継ぐ者だからである。

89 このように、わたしたちは天の示現の中に星の栄えの世界の栄光を見たが、それは人知ではどう

てい計り知れないものである。
90 神からそれを示された者のほかには、だれもそれを知らない。

69 モロ 10
① 教義 129 : 3、138 : 12
70 GS 131 : 1、4、137 : 7、10
71 ① 日 の 栄 え
② 教義 137 : 4
③ マタ 13 : 43
④ 教義 88 : 30、33
72 GS 1 : 15、40、41
73 GS ① 律法 7、9
② 教義 137 : 7、138 : 8
③ 地獄 ① 死者の救い
④ アル 40 : 11、14
74 GS ① 福音
② ③ ④ ① ベテ 3 : 19、20、4 : 6、
75 教義 138 : 28、37
76 ① GS ① 証
② ③ ④ ① 1 コリ 15 : 40、42
77 ① 教義 56 : 16
78 ① 教義 88 : 31、
81 GS ① 星の栄え
82 ① 教義 138 : 21
83 アル 12 : 11、
84 ① 2 ニコ 9 : 12、
85 GS ① 地獄
② アル 11 : 41、
86 教義 43 : 18、88 : 100、101
87 ① ③ GS ① 神の「小羊」
② 教義 138 : 37
③ GS ① 悪魔

91 このように、わたしたちは月の栄えの世界の栄光を見たが、それはあらゆる点で、すなわち栄光において、力において、威勢において、支配において、星の栄えの世界の栄光に勝っている。

92 またこのように、わたしたちは日の栄えの世界の栄光を見たが、それはあらゆる点で勝っている。ここにおいて、神すなわち御父は、とこしえにいつまでもその御座に着いて治めておられる。

93 その御座の前に、すべてのものが恭しく身をかめ、とこしえにいつまでも神に栄光を帰するのである。

94 神の前に住む者は長子の教会である。彼らは神の完全と神の恵みを受けたので、彼らが見られているように見、彼らが知られているように知る。

95 また、神は力において、威勢において、支配において、彼らを等しい者とされる。

96 太陽の栄光が一つであるように、日の栄えの世界の栄光は一つである。

97 また、月の栄光が一つであるように、月の栄えの世界の栄光は一つである。

98 また、もろもろの星の栄光が一つであるように、

に、星の栄えの世界の栄光は一つである。ある星と別の星との間に栄光の違いがあるように、星の栄えの世界においては、あるものと別のものとの間に栄光の違いがある。

99 これらは、パウロにつく者であり、アポロにつく者であり、またケパにつく者である。

100 これらは、自分たちはある者につく、また自分たちは別の者につくと言う者である。すなわち、ある者はキリストに、ある者はヨハネに、ある者はモーセに、ある者はエライアスに、ある者はイザヤスに、ある者はイザヤに、またある者はエノクにつく。

101 しかし福音も、イエスの証も、預言者たちも、永遠の聖約も受け入れなかった。

102 最後に、これらすべての者は、聖徒たちとともに集められず、長子の教会のもとに引き上げられて雲の中に迎えられることのない者である。

103 これらは、偽りを言う者、魔術を使う者、姦淫を行う者、みだらな行いをする者、また偽りを好んで行う者である。

104 これらは、地上で神の激しい怒りを受ける者である。

94 93 ① GS「敬虔」

② ① GS「長子」

③ ③ GS「恵み」

④ ③ GS「初子」

95 ① コリ 13:12

② ④ コリ 29:13

③ ④ コリ 13:12

④ ④ コリ 13:12

99 96 ① コリ 15:40-41

② ① コリ 3:4-7

99 96 ① コリ 15:20

② ① コリ 15:15

③ ① コリ 3:4-7

101 ① GS「新しくかつ永

102 ① テサ 4:16-17

② ① 教義 88:98

103 ① GS「偽り」

② ② 教義 78:21

③ ② 黙示 21:8

④ ② 教義 63:17-18

104 ① GS「姦淫」

② ③ GS「謂の定め」

105 これらは、永遠の火の刑罰を受ける者である。
 106 これらは、キリストがすべての敵をその足の下に從わせて、その業を完成される時の満ちるまで、地獄に投げ落とされて、全能の神の激しい怒りを受ける者である。

107 そのときに、キリストは汚れない状態で王国を御父に引き渡し、それをささげて、「わたしは勝利を得て、独りで酒ぶねを、すなわち全能の神の激しい怒りの酒ぶねを踏みました」と言われる。

108 その後、キリストは栄光の冠を受け、その力の御座に着いてとこしえにいつまでも治められる。

109 しかし見よ、見よ、わたしたちは星の栄えの世界の栄光とそこに住む者と、彼らが天の大空の星のように、あるいは海辺の砂のように数限りないのを目にし、

110 また主の声が告げられるのを聞いた。「これらすべての者はひざをかがめ、すべての舌が、とこしえにいつまでも御座に着いている者に告白するであらう。

111 彼らはその行いに応じて裁かれ、すべての人は自分の行いに応じて、用意されている住まいにお

いて自分の領域を受けるであらう。
 112 彼らはいと高き方の僕である。しかし、神とキリストの住む所には、世々限りなく、来るべきできない。」

113 これであつたわたしたちが見た示現は終わり、わたしたちはまだ御霊に感じている間に、これを書き記すように命じられた。

114 しかし、主の業と、主がわたしたちに示してくださった主の王国の奥義は、大いなる驚くべきものであり、栄光において、威勢において、支配において、すべての理解を超えている。

115 主はわたしたちに、わたしたちがまだ御霊に感じている間に、これらを書き記してはならないと命じられた。これらは、人が語ることを許されないものである。

116 また、人にはこれらを知らせる能力もない。これらは、神を愛し、神の前に自らを清くする者に神が授けてくださる聖なる御霊の力によってのみ、目にし、理解することのできるものだからである。

117 神はこれらの者に、自分で見て知るこの特権を授けられる。

116	115	114	112	111	110	108	107	106	105
②	①①	②	①	①	①	①	①⑥	④③	④
19	3	ヤコ	黙示	黙示	モサ	教義	イザ	エペ	ユタ
32	2	4	15	20	27	88	63	1	1
34	2	8	21	31	31	106	1	10	7
1	17	3	23	12	9	133	15	15	24
2	4	3	27	13	11	46	20	14	28
10	17	18	27	13	11	53	12	14	28
12	17	18	27	13	11	53	12	14	28

118 それは、御霊の力と現れによつて、彼らが肉体にあつて栄光の世界における神の臨在に堪えることができるためである。

119 神と小羊に、とこしえにいつまでも、栄光と誉れと支配がありますように。アーメン。

第 77 章

千八百三十二年三月ごろ、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。ジョセフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「聖文の翻訳に関連して、わたしは『ヨハネの黙示録』について次の説明を受けた。」

1-4 生き物は霊を持つており、永遠の幸いな状態の中に住む。5-7 この地球には、七千年間の現世の存在がある。8-10 何人もの天使が福音を回復し、地上で業を行う。11 十四万四千人に印が押される。12-14 キリストは第七の千年の初めに来られる。15 二人の預言者が、ユダヤ民族に對して立てられる。

1 問い。黙示録第四章六節でヨハネにより述べら

れているガラスの海とは何か。
答え。それは聖められた、不滅かつ永遠の状態にある地球である。

2 問い。同じ節の中で述べられている四つの生き物によつて、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。それらは黙示者ヨハネが神のパラダイスである天、および人と獣と這うものと空の鳥の幸福を描写するのに用いた比喩的な表現である。霊のものは現世のもの形であり、現世のものは霊のもの形である。人間の霊はその体の形であり、また獣の霊、および神が創造されたほかのあらゆる生き物の霊も同様である。

3 問い。四つの生き物は個々の生き物に限られるか。それとも、それらは種類や階級を表すか。

答え。それらは四つの個々の生き物に限られる。これは、幾つかの種類の生き物が永遠の幸いを享受する際の、それらに定められた創造の階級や領域における栄光を表すために、ヨハネに示されたものである。

4 問い。それらの生き物が持つていた目と翼によつて、わたしたちは何を理解すべきか。

第 77 章

- 1 ① 教義 10・6-9
- ② GS「地球」地
- 最終的な状態
- ③「日の栄え」
- ④ 教義 88・17-20
- 25 ⑤ GS「喜び」
- 26 ⑥ GS「二天」
- ⑦ GS「象徴」
- ⑧ エテ 3・15-16
- ⑨ アフ 5・7-8
- 3 GS「雲」
- ② ① 教義 93・19
- ③ ② 教義 93・33-34
- モセ 3・9

答え。それらの目は、光と知識の表れである。すなわち、それらは知識に満ちている。また、それらの翼は力の表れであり、動く力や、行動する力などを表す。

5 問い。ヨハネにより述べられている二十四人の長老によって、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、ヨハネが見たこれらの長老たちは、奉仕の業に忠実であつて、すでに亡くなつていた長老である。彼らは七つの教会に属し、そのときには神のパラダイスにいた。

6 問い。ヨハネが見た七つの封印で裏を封じられている巻き物によって、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、それには明らかにされた神の御心と奥義と業が載っている。また、この地球が存続する七千年間、すなわち現世の存在の間のこの地球に関する神の摂理についての隠された事柄も載っている。

7 問い。それを封じている七つの封印によって、

わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、最初の封印には最初の千年のことが載つており、また第二の封印には第二の千年のこと、というようにして第七に至る。

8 問い。黙示録第七章一節に述べられている四人の天使によって、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、彼らは神から遣わされた四人の天使であり、地の四方を支配する力を与えられていて、命を救つたり、滅ぼしたりする。これらの者は、あらゆる国民、部族、国語の民、民族に託す永遠の福音を持つており、また天を閉じる力、命に結び固める力、あるいは暗闇の世界に投げ落とす力を持つている。

9 問い。黙示録第七章二節の、東から上つて来る天使によって、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、東から上つて来る天使は、イスラエルの十二の部族を治めるために生ける神の印を与えられている者である。それゆえ、彼は永遠の福

4 ① GS 「知識」
 5 ② ① 黙示 4・4、
 ③ ② 黙示 14・4、
 ④ ③ 黙示 5・1、
 ⑤ ④ GS 「神の奥義」
 ⑥ ⑤ GS 「地球（地）」
 7 ① 黙示 14・108、
 ② ① マタ 8・11、
 ③ ② 黙示 14・7、
 ④ ③ 黙示 13・71、
 ⑤ ④ 黙示 7・4、
 ⑥ ⑤ 8

音を持っていてる四人の天使に叫んで、「わたしたちの神の僕たちの額に、わたしたちが印を押してしまふまでは、地も、海も、木も損なつてはならない」と言う。また、もしあなたがたがそれを受け入れることを望めば、この人こそ、イスラエルの部族を集め、万事を元どおりにするために来ることになつてゐるエライアスである。

10 問い。この章に述べられてゐることが完了するのはいつか。

答え。これらのことは第六の千年、すなわち第六の封印が解かれるときに完了する。

11 問い。イスラエルの全部族から十四万四千人、すなわち各部族から一万二千人ずつ印を押すことによつて、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、印を押される者たちは、永遠の福音をつかさどるために神の聖なる位に聖任される大祭司である。彼らは、長子の教会に來たいと望むすべての者を導くために、地のもろもろの国民を治める力を与えられてゐる天使たちによつて、あらゆる国民、部族、國語の民、民族の中から聖任さ

れる者である。

12 問い。黙示録第八章に述べられてゐる、ラツパを吹き鳴らすことによつて、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、神が六日の間に世界を造り、七日目にその業を終えて、それを聖なるものとし、また地のちりから人を造られたように、まさにそのように第七の千年の初めに主なる神は地球を聖なるものとし、人の救いを完了し、すべてのものを裁き、そしてすべてのものの終わりに至るまですべてのものを結び固め終えるときにその力の下に置かれなかつたもののほか、すべてのものを贖われる。また、七人の天使がラツパを吹き鳴らすのは、第七の千年の初めにおける主なる神の業の備えと完了、すなわち主の來臨の時に先立つ道の備えである。

13 問い。黙示録第九章に記されてゐる様々なことが完了するのはいつか。

答え。これらのことは、第七の封印が解かれた後、キリストの來臨前に完了する。

9 エゼ 9:4

② GS 「福音の回復」

① ④ GS 「エライアス」

① ④ 黙示 6:12-17

① ④ 黙示 14:3-5

GS 「大祭司」

② GS 「長子、初子」

GS 76:51-70

② ③ 黙示 8:2

② ③ 黙示 2:1-3

② ③ 出エ 20:11, 31, 12-17

② ③ モサ 13:16, 19

② ③ アブ 3:1-3

② ③ アブ 5:1-3

② ③ 創世 2:7

② ③ 教義 88:17-20

② ③ GS 「イエス・キリス

ト―裁き」

② ③ GS 「贖い、贖つ

12

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

14 問い。黙示録第十章に述べられている、ヨハネが食べた小さな巻き物によって、わたしたちは何を理解すべきか。

答え。わたしたちは次のように理解すべきである。すなわち、それは彼がイスラエルのもろもろの部族を集めるといふ使命であり、定めであった。見よ、この人こそ、書き記されているように、必ず来て万事を元どおりにするエライアスである。

15 問い。黙示録第十一章の二人の証人によって、何を理解すべきか。

答え。彼らは、終わりの時、回復の時にユダヤ民族に対して立てられ、ユダヤ人が集められて彼らの先祖の地にエルサレムの都を築いた後に彼らに預言することになっている、二人の預言者である。

第 78 章

千八百三十二年三月一日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。その日、預言者とほかの指導者たちは教会の業務について話し合うために集まっていた。当初、この啓示は預言者とシドニー・リグドン、ニューエル・K・ホイッ

トニーに対して、ミズーリに旅をし、教会の商品売買と出版の業務を監督する「商会」を設けてこれらの業務を組織化し、シオンの確立と貧しい者のために資金を生み出すようにという指示を与えるものであった。この商会は「共同商会」として知られ、千八百三十二年四月に組織され、千八百三十四年に解散した（第八十二章を参照）。その解散後しばらくして、ジョセフ・スミスの指示の下に、啓示の中の「商店と出版所」という言葉が「貧しい者のための倉の諸事」という言葉に、また「商会」という言葉が「制度」という言葉にそれぞれ置き換えられた。

1-4 聖徒たちは組織して、倉を設けなければならない。5-12 彼らの財産の賢明な使用は救いに通じる。13-14 教会はこの世の権力から独立していなければならない。15-16 ミカエル（アダム）は聖者（キリスト）の指示の下に仕えている。17-22 忠実な者は幸いである。彼らはすべてのものを受け継ぐからである。

1 主はジョセフ・スミス・ジュニアに語って言われた。「わたしの教会の大神権に聖任されている

14 ① エゼ 2:9-10, 3:1-4.

② GS 「イスラエル・イスラエルの集合」

③ マタ 17:11

④ ① 黙示 11:1-14

⑤ GS 「終わりの時、末日」

⑥ GS 「福音の回復」

⑦ GS 「アタヤ人」

⑧ アモ 9:14-15

⑨ 第 78 章

⑩ ① GS 「メルキゼデク神権」

者たち、ともに集まった者たちよ、わたしの言葉
を聴きなさい、と主なるあなたがたの神は言う。

2 高い所からあなたがたを聖任した者、あなたが
たがわたしの前に持ち出した事柄によって救いが
あなたがたにあるように、あなたがたの耳に知恵
の言葉を語る者の勧告を聴きなさい、と主なる神
は言う。

3 まことに、わたしはあなたがたに言う。時は来て
おり、今や近い。見よ、見よ、この地においてもシ
オンの地においても、わたしの民の中の貧しい者
のために倉の諸事を整え確立するに当たって、わ
たしの民の組織があることが必要である。

4 人の救いと、天におられるあなたがたの父の栄
光のために、あなたがたが支持してきた大義を推
し進める目的をもって、わたしの教会の不変かつ
永遠の組織と制度としてそれが必要である。

5 それで、あなたがたが天のものとのきずなにお
いて平等になり、また天のものを得るために地上
のものにおいても平等になるためである。

6 あなたがたは地上のものにおいて平等でなけれ
ば、天のものを得ることにいて平等にはなれな

いからである。

7 あなたがたは、わたしから日の栄えの世界で一つ
の場所を与えられることを望むならば、わたしがあ
なたがたに命じ、あなたがたに求めてきたことを行
うことよって、自らを備えなければならぬ。

8 さて、まことに、主はこのように言う。わたし
の栄光のために、この制度にもに加わっている
あなたがたよって、すべてのことが行われること
が必要である。

9 言い換えれば、わたしの僕ニューエル・K・ホイ
ットニーと、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニ
ア、およびわたしの僕シドニー・リグドンは、シオ
ンにいる聖徒たちとともに評議会の席に着きなさい。
い。

10 そうしなければ、サタンが彼らの心を真理から
そらそうとしているので、彼らは目をくらまされ
た者となり、彼らのために備えられている事柄を
理解しないであろう。

11 それゆえ、わたしは一つの戒めをあなたがたに
与える。破ることのできない盟約、すなわち永遠
の聖約によつて、自らを備えかつ組織しなさい。

2 GS「聖任」
① GS「勧告 勸め」
② 教義 57:1-2
③ 教義 42:30-31、
3 教義 72:9-10、
4 教義 82:11-12、
5 教義 49:20、
6 教義 11:12、
7 GS「一日の栄え」
8 GS「一悪魔」
9 教義 29:8、132:3
10 教義 92:1-39
11 GS「聖約」
12 GS「聖約」
13 GS「聖約」

12 それを破る者は、教会における自分の職と立場を失い、また贖いの日までサタンに引き渡されて打たれるであらう。

13 見よ、これはわたしがあなたがたを備えるものであり、基であり、またあなたがたが与えられる戒めを果たせるように、わたしがあなたがたに与える範例である。

14 それは、あなたがたに下る艱難があるにもかかわらず、わたしの摂理によって、教会が日の栄えの世界の下にある他のすべての造られたものの上で自立するためである。

15 また、あなたがたが備えられた冠を受け、多くの王国を治める者とされるためである。このように、アダム・オンダイ・アーマンの基を設けたシオンの聖者である主なる神は言う。

16 この神は、ミカエルをあなたがたの君に任じ、彼の足を定め、彼を高い所に置き、また日の初めもなく命の終わりもない聖者の勧告と指示の下における救いの鍵を彼に授けた。

17 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは幼い子供であり、父がどれほど

の大きいなる祝福を御手の中に持つていて、あなたがたのために備えておられるかをまだ理解していない。

18 あなたがたは、今はすべてのことに耐えることはできない。しかし、元氣を出しなさい。わたしがあなたがたを導いて行くからである。王国はあなたがたのものであり、その祝福もあなたがたのものであり、また永遠の富もあなたがたのものである。

19 すべてのことを感謝して受け入れる者は、栄光を与えられるであらう。また、この世のものも百倍、いやそれより多く、加えられるであらう。

20 それゆえ、わたしがあなたがたに命じたことを行いなさい、とあなたがたの贖い主、すなわち子なるアーマン、あなたがたを取り上げる前にすべてのことを備える者は言う。

21 あなたがたは長子の教会であり、主はあなたがたを雲の中に取り上げて、すべての人にその分を定めるからである。

22 そして、忠実に賢い管理人は、すべてのものを受け継ぐであらう。アーメン。」

12 ① 1コリ5:5、
 ② 教義82・21、104・8・10
 15 14 ① 教義58・2・4
 ② GS「冠」・「昇架」
 16 ② 黙示5:10、
 教義76・56・60、132・19
 ③ GS「アダム・オンダイ・アーマン」
 17 ① 教義27・11、
 GS「アダム」
 18 ① 54:55、
 ② ヨハ16:12、
 ③ 2コ17:2・3、
 教義50・40
 19 ① ② ③ GS「永遠の命」
 ① モサ2・20・21、
 GS「感謝」
 20 ① ② マク19・29
 ② ① 教義95・17
 ③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 21 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 22 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

第 79 章

千八百三十二年三月十二日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-4 ジエレド・カーターは、慰め主によつて福音を宣べ伝えるように召される。

1 まことに、わたしはあなたに言う。わたしの思いは、わたしの僕ジエレド・カーターが、聖任を受けたその聖任の力をもつて、地方から地方へ、町から町へ、再び東の地方へ赴き、胸躍る大いなる喜びのおとずれ、すなわち永遠の福音を宣言することである。

2 わたしは彼に、真理と彼の行くべき道とを教える慰め主を遣わそう。

3 そして、彼が忠実であれば、わたしはそれに応じて彼に数々の束を冠として与えよう。

4 それゆえ、わたしの僕ジエレド・カーターよ、心を喜ばせなさい、恐れてはならない、とあなたの主、すなわちイエス・キリストは言う。アーメン。

第 80 章

千八百三十二年三月七日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してステイブン・バーネットに与えられた啓示。

1-5 ステイブン・バーネットとイーデン・スミスは、どこでも彼らが選ぶ場所において宣べ伝えるように召される。

1 まことに、主はあなた、すなわちわたしの僕ステイブン・バーネットにこのように言う。行きなさい。世界に出て行って、あなたの声の下に来るすべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。

2 あなたが同僚を欲しているので、わたしはあなたにわたしの僕イーデン・スミスを与えよう。

3 それゆえ、あなたがたは行って、わたしの福音を宣べ伝えなさい。北であろうと南であろうと、東であろうと西であろうと、どこでもよい。あなたがたは迷うことはあり得ないからである。

4 あなたがたがこれまでに聞き、確かに信じ、かつ真実であると知っている事柄を告げ知らせな

第 79 章

1 ① 教義 52、38、

GS 「聖任」

2 ① ヨハ 14:26、

GS 「慰め主、助け主」

4 ① 教義 68、5-16

第 80 章

1 ① マコ 16

15

GS 「証」

い。
5 見よ、これがあなたがたを召した者、あなたがたの慰め主、すなわちイエス・キリストの思いである。アーメン。

第 81 章

千八百三十二年三月十五日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。フレデリック・G・ウィリアムズが、大祭司、ならびに大神権の大神長会における顧問に召される。歴史記録の示すところによれば、この啓示が千八百三十二年三月に与えられたとき、ジェシー・ガウスが、啓示によって大神長会におけるジョセフ・スミスの顧問の職に召された。しかしながら、彼がこの職にふさわしい態度を保ち続けられなかったとき、その召しは、その後フレデリック・G・ウィリアムズに移された。(千八百三十二年三月付の)この啓示は大神長会の正式な組織への一歩と見なされるべきものであり、特にこの組織における顧問の職を指定し、この職が尊いものであることを説明している。ガウス兄弟はしばらくの間、働いたが、千八百三十二年十二月に教会から破門された。ウィリアムズ兄弟

は、千八百三十三年三月十八日に、ここで述べられている職に聖任された。

1-2 王国の鍵は常に大神長会によって保持される。
3-7 フレデリック・G・ウィリアムズは務めに忠実であれば、永遠の命を受ける。

1 まことに、まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕フレデリック・G・ウィリアムズに言う。語る者の声、すなわち主なるあなたの神の言葉に耳を傾けなさい。あなたが召される召し、すなわち、わたしの教会における大祭司となり、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアの顧問となる召しに留意しなさい。
2 わたしは、大神権の大神長会に常に属する王国の鍵を彼に授けた。
3 それゆえ、まことに、わたしは彼を認めており、彼を祝福する。また、わたしがあなたを選任した職においてあなたが忠実に助言し、またあなたが声に出しても心の中でも、公にもひそかにも常に忠実に祈り、さらに生ける者の地で、また同胞の

5 ① GS 「召し、神の召し」

第 81 章

1 ① GS 「大祭司」
2 ① GS 「教義 107・81-9」
GS 「大神長会」
② GS 「神権の鍵」

間^{あいだ}で福音^{せういん}を宣言^{せげん}するあなた^{あなた}の務^{つと}めにも忠実^{ちゅうじつ}であるならば、わたしはあなたも祝福^{しゅふく}しよう。

4 これらのことを行うことによつて、あなたは同胞^{どうぼう}に最も^{もつと}大いなる善^{ぜん}を行^{おこな}い、またあなた^{あなた}の主^{しゅ}である者^{もの}の榮光^{えいこう}を増^ますであらう。

5 それゆえ、忠実^{ちゅうじつ}でありなさい。わたし^{わたし}があなたを任命^{にんめい}した職^{しやく}において務^{つと}めなさい。弱^{よわ}い者を助^{たす}け、垂^たれてゐる手^てを上げ、弱^{よわ}くなつたひざを強^{つよ}めなさい。

6 あなたは最後^{さいご}まで忠実^{ちゅうじつ}であれば、わたし^{わたし}が父^{ちち}の家^{いえ}に用意^{ようい}した住^すまいにおいて、不^ふ死^し不^ふ滅^{めつ}と永^{えい}遠^{えん}の命^{いのち}の冠^{かんむり}を受け^うけるであらう。

7 見^みよ、見^みよ、これらは、アルパでありオメガである者^{もの}、すなわちイエス・キリストの言葉^{ことば}である。アーメン。

第 82 章

千八百三十二年四月二十六日、ミズーリ州ジャクソン郡インディペンデンスにおいて、預言者^{よげんしや}ジョセフ・スミスに与^{あた}えられた啓示^{けいじ}。この啓示^{けいじ}が与^{あた}えられたのは、教会^{きやうかい}の大祭司^{だいたいし}と長老^{ちやうらう}の評議会^{ひやうぎかい}のときである。その評議会^{ひやうぎかい}でジ

ヨセフ・スミスは大神権^{だいかん}の大管長^{だいかんちやう}として支持^{しじ}された。彼は、千八百三十二年一月二十五日、オハイオ州アマースト^{アマースト}で大祭司^{だいたいし}と長老^{ちやうらう}と會員^{かいゐん}の大会^{たいかい}においてすでにこの職^{しやく}に聖任^{せいじん}されていた(第七十五章の前書きを参照)。この啓示^{けいじ}は、教会^{きやうかい}の商品^{しやうひん}売買^{ばいばい}と出版^{しゅつぱん}の業務^{ぎやうむ}を行うために、商會^{しやうかい}を設^{もう}けるようにという、以前^{いぜん}の啓示^{けいじ}(第七十八章)により与^{あた}えられた指示^{しじ}を繰^{ぐる}り返^{かへ}したものである。その商會^{しやうかい}は「共同商會」という名称^{めいせう}で知られていた(ジョセフ・スミスの指示^{しじ}の下^{した}に、後に「商會」は「制度」という言葉に置き換^かえられた)。

1—4 多く与^{あた}えられれば、多く求^{もと}められる。5—7 闇^{くら}闇^{くら}が世^よを支配^{しはい}している。8—13 わたしたちが主^{しゅ}の言^いわれることを行^{おこな}うとき、主^{しゅ}はそれに対^{たい}して義務^{ぎむ}を負^おわされる。14—18 シオンは美^{うつく}しさと聖^{せい}さを増^まさなければならぬ。19—24 すべての者は自分の隣人^{りんじん}の益^{えき}を圖^{はか}るように努^{つと}めなければならぬ。

1 まことに、まことに、わたしはあなたがた、すなわちわたしの僕^{しもべ}たちに言^いう。あなたがたが互^{たが}いに過^{あやま}ちを赦^{ゆる}し合^あつたので、主^{しゅ}なるわたしは同じよう

第 82 章

- 5 ① モセ 1—16
- 4 ① モサ 4 15—16
- ③ ② イザ 35 3
- ③ ③ 教義 108 7
- ① ① ヨハ 14 2—3
- 6 ① ヨハ 14 2—3
- ③ ② GS 「不死不滅」
- ③ ③ GS 「永遠の命」
- 「昇来」
- 1 ① マテ 6 14—15
- 教義 64 9—11

にあなたがたを救す。

2 それでも、あなたがたの中にはひどく罪を犯した者がいる。まことに、あなたがたのすべてが罪を犯した。しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。ひどい裁きがあなたがたの頭にくだらないように、今から後、気をつけて、罪から遠ざかりなさい。

3 多く与えられる者からは多く求められ、いっそう大いなる光に対して罪を犯す者は、いっそう大きな罪の宣告を受けるからである。

4 あなたがたが啓示を求めてわたしの名を呼ぶと、わたしはそれらをあなたがたに与える。そして、わたしがあなたがたに与えるわたしの言葉でああなたがたが守らなければ、あなたがたは戒めに背く者となる。正義と裁きは、わたしの律法に付随する罰である。

5 それゆえ、わたしは一人に言うことをすべての者に言う。すなわち、敵対する者がその領域を広げ、暗闇が支配しているので、目を覚ましていなさい。

6 神の怒りは地に住む者に向かって燃えている。

そして、だれ一人善を行う者はいない。すべての者が道を外れているからである。

7 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。主なるわたしは、どのような罪もあなたがたに負わせない。あなたがたの道を行き、これからはもう罪を犯さないようにしなさい。罪を犯す者には以前の罪が戻るであろう、と主なるあなたがたの神は言う。

8 さらにまた、あなたがたに言う。わたしはあなたがたに新しい戒めを与えて、あなたがたがわたしの思いを理解できるようにする。

9 言い換えれば、あなたがたの救いのためとなるように、あなたがたがわたしの前でどのように行動すればよいか、あなたがたに指示を与える。

10 あなたがたがわたしの言うことを行うとき、主なるわたしはそれに対して義務を負う。しかし、あなたがたがわたしの言うことを行わないとき、あなたがたは何の約束も受けない。

11 それゆえ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕たち、エドワード・パートリッジとニューエル・K・ホイットニー、A・シドニー・ギ

2 ① ロマ 3:23
3 ② ルカ 12:48、
新ヤコ 4:17、

GS 「責任を負う」

② GS 「管理人、管理
人の職」

③ ヨハ 15:22-24、
GS 「光、キリストの光」

④ GS 「罪」「背教、
背信」

4 ① GS 「啓示」
② GS 「正義」

5 ② GS 「暗闇（霊的
な）」

③ GS 「見守る、
見守る者」

6 ① ロマ 3:12、
教義 1:16

7 ① GS 「罪」

8 ① ヨハ 13:34、
58:43

9 ① ヨハ 23:14、
列上 8:23

10 ① ヨハ 23:14、
列上 8:23

11 ① ヨハ 23:14、
列上 8:23

「祝福」

ルパートとシドニー・リグドン、わたしの僕ジョセフ・スミス、ジョン・ホイットマーとオリバー・カウドリ、およびW・W・フェルプスとマーティン・ハリスは、背きによつて裁きが直ちに伴ふことなしには破ることのできない盟約と聖約によつて、あなたがたの様々な管理人の職においてともに結ばれることが必要である。

12 貧しい者の諸事と、シオンの地とカートランドの地の両方におけるピシヨップの務めに関するすべてのことを処理するためである。

13 わたしは、いと高き方の聖徒たちの益のために、またシオンのためのステークとして、わたしがおふさわしいと思うときにカートランドの地を聖別した。

14 シオンは美しさと聖さを増し、その境は広げられ、そのステークは強くされなければならぬ。また、わたしはあなたがたに言う。シオンは立ち上がり、その美しい衣を着なければならぬ。

15 それゆえ、わたしはあなたがたに次の戒めを与える。すなわち、あなたがたはこの聖約によつて結束しなさい。それは主の律法に従つて行なけ

ればならない。

16 見よ、これはあなたがたの益のために、わたしの知恵になつてゐる。

17 あなたがたは平等でなければならぬ。言い換えれば、あなたがたは自分の管理人の職に関する諸事を処理するために、その入り用が正当であれば、それぞれ自分の入り用と必要に応じて財産を要求する平等な権利がある。

18 これはすべて、生ける神の教会の益のため、またすべての者が自分のタラントをさらに増すため、またすべての者がほかのタラントをまことに百倍も得て、全教会の共有財産となるように主の倉に納めるためである。

19 すべての者はその隣人の益を図るよう努め、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことをなすようにしなければならぬ。

20 あなたがたが罪を犯さなければ、わたしはこの制度を、あなたがたのために、またあなたがたの継承者のために永遠の制度となるように定めた。

21 この聖約に対して罪を犯し、それに対して心がかたくなにする者は、わたしの教会の律法に従つ

11 ① 教義 78・3-7, 11
 13 ① イサ 33・20, 54・2, 15
 14 ① GS「シオン」
 ② イサ 52・1,
 17 教義 113・7-8
 18 ① 奉獻 51・3,
 ② マタ 25・14-30,
 13 教義 60・13
 19 ① 教義 88・67,
 20 ① GS「共同制度」
 GS「賜物」— 御霊の賜物
 GS「倉」— 42・30-34,
 119・1-3,

て扱(あつか)い、贖(あがな)いの日までサタンに引き渡(わた)して打(う)たれるに任せなければならぬ。

22 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。

そして、これは賢明(けんめい)なことである。すなわち、あなたがた自身(じしん)のために、不義(ふぎ)の富(とみ)を持つ者(もの)と友(とも)になりなさい。そうすれば、彼(かれ)らはあなたがたを滅(ほろ)ぼさないであろう。

23 裁(さば)きはわたし一人(ひとり)に任せなさい。それはわたしのすることであり、わたしが報復(ほうふく)するからである。平安(へいあん)があなたがたにあるように。わたしの祝福(しゆく)があなたがたに続(つづ)くように。

24 あなたが確(た)固(こ)とした状態(じょうたい)から墮落(だらく)しなければ、王国(おうこく)はなおあなたがたのものであり、いつまでもそうである。まことにそのとおりである。アーメン。

第 83 章

千八百三十二年(ねん)四月(げつ)三十日(にち)、ミズーリ州(しゅう)インディペンデンスにおいて、預言者(よげんしゃ)ジョセフ・スミスを通して与(あた)えられた啓示(けいじ)。この啓示(けいじ)は、預言者(よげんしゃ)が兄弟(けいどう)たちと評議会(ひやうぎかい)の席(せき)に着(き)いていたときに受(う)けたものである。

1-4 婦人(ふじん)と子供(こども)は、その夫(おつと)と父親(ちちおや)に扶養(ふよう)を求める権利(けんり)がある。5-6 やもめと孤児(こじ)は、教会(きやうかい)に扶養(ふよう)を求める権利(けんり)がある。

1 まことに、教会(きやうかい)の律法(りつぽう)に加(く)えて、女(おんな)たちと子供(こども)たち、すなわち教会(きやうかい)に属(ぞく)している者(もの)で自分(じぶん)の夫(おつと)や父親(ちちおや)を失(うしな)った者(もの)について、主(しゅ)はこのように言う。

2 女(おんな)たちは夫(おつと)が取り去(さ)られるまで、夫(おつと)に扶養(ふよう)を要求(ようきう)する権利(けんり)がある。また、彼女(かのじょ)たちは戒(いま)めに背(そむ)く者(もの)であるとされなければ、教会(きやうかい)内で会員(かいいん)資格(しかく)を持つ。

3 もし忠実(ちゅうじつ)でなければ、彼女(かのじょ)たちは教会(きやうかい)内で会員(かいいん)資格(しかく)を持たない。しかしそれでも、彼女(かのじょ)たちはその地(ち)の法律(ほうりつ)に従(したが)って自分(じぶん)の受け継(つ)ぎの地(ち)にとどまることができる。

4 すべての子供(こども)たちは成人(せいじん)になるまで、その親(おや)に扶養(ふよう)を求める権利(けんり)がある。

5 またその後(のち)、親(おや)が彼(かれ)らに受け継(つ)ぎを与える分(ぶん)を持つていなければ、彼(かれ)らは教会(きやうかい)に、言(い)い換(か)えれば、主(しゅ)の倉(くら)に求(もと)める権利(けんり)がある。

6 倉(くら)は教会(きやうかい)員の奉獻(ほうけん)によって維持(じ)しなければならぬ。そして、やもめと孤児(こじ)を扶養(ふよう)しなければならぬ。

23 21 ① 教義 104 : 8-10
 24 ① ロマ 12 : 19、
 ① ルカ 12 : 32、
 教義 64 : 35、
 GS 神の王国、天の王国

第 83 章

1 ① 新ヤコ 1 : 27
 2 ① 1 テモ 5 : 8
 4 ① モサ 4 : 14
 5 ① 教義 78 : 3、
 GS [倉]
 6 ① GS [やもめ]

らない。貧しい者も同様である。アーメン。

第 84 章

千八百三十二年九月二十二、二十三日、オハイオ州カー
トランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して
与えられた啓示。九月の間に、長老たちが東部諸州にお
ける伝道から帰り、彼らの働きについての報告を始めて
いた。次の教えを受けたのは、彼らがこの喜びの時節に
ともにいたときのことである。預言者はこれを神権に関
する啓示と呼んだ。

1-5 新エルサレムと神殿がミズーリに建てられる。 6
17 モーセからアダムに至る神権の系譜が与えられる。 18
25 大神権は神の知識の鍵を持つ。 26-32 小神権は天使
の働きと備えの福音の鍵を持つ。 33-44 人は神権の誓詞と
聖約によって永遠の命を得る。 45-53 キリストの御霊は
人々を照らす。また、世は罪の状態にある。 54-61 聖徒
たちは自分が受けたものについて証しなければならぬ。
62-76 彼らは福音を宣べ伝えなければならない。宣べ伝え
れば、しるしが伴う。 77-91 長老たちは財布や袋を持た
ずに出て行くべきである。そうすれば、主は彼らの必要と

しているものに心を配つてくださる。 92-97 悪疫とのろい
が、福音を拒む者を待ち受けている。 98-102 シオンの贖い
についての新しい歌が明らかにされる。 103-110 各人をそれ
ぞれの職に就かせ、それぞれの召しにおいて働かせなさい。
111-120 主の僕たちは、終わりの時の荒廃の忌まわしさ
について宣言しなければならぬ。

1 イエス・キリストの僕ジョセフ・スミス・ジュ
ニアと六人の長老たちがその心をつにし、高い
所にその声を上げたときに、彼らに与えられたイ
エス・キリストの啓示。

2 まことに、主がその預言者たちの口を通して語
ったとおり、主の民の回復のために、また新エル
サレムの都となるシオンの山に立つ聖徒たちの集
合のために、終わりの時に設立された主の教会に
関する主の言葉。
3 この都は主の指によって指定され、ジョセフ・
スミス・ジュニアと、主の心にながう他の者たちに
よって奉獻された、ミズーリ州の西の境にある神
殿用地を起点として建てられるであろう。
4 まことに、主の言葉は次のとおりである。すな

第 84 章

6 ② エサ4・16-26、
ヒラ4・11-13、
教義42・30-39、
GS「貧しい」
1 ① GS「祈り」
2 ① 使徒3・19-21
② GS「イスラエル」
イスラエルの集合
③ エテ13・2-11
教義42・8-9、
45・66-67、
簡条1・10、
GS「新エルサレム」
④ イサ2・2-5、
ヘブ12・22、
黙示14・1、
133・18、56
84・32、
3 ⑤ GS「聖徒」
① 教義57・3

わち、新エルサレムの都は聖徒たちの集合によって、この場所、すなわち神殿の場所を起点として建てなければならぬ。この神殿はこの時代に築かれるであろう。

5 まことに、主のために一つの家が建てられて、雲がその上にとどまるまで、この時代の人々のすべてが世を去ることはない。その雲とは、まことにその家に満ちる主の栄光である。

6 そして、聖なる神権によるモーセの息子たち、そのモーセは彼のしゅうとであるエテロの手の下でそれを受け、

7 エテロはカレブの手の下でそれを受け、
8 カレブはエリフの手の下でそれを受け、
9 エリフはエレミの手の下で受け、

10 エレミはガドの手の下で受け、
11 ガドはイザヤスの手の下で受け、

12 イザヤスは神の手の下でそれを受け、
13 イザヤスはまたアブラハムの時代に生きていて、彼から祝福を受けた。

14 このアブラハムはメルキゼデクから神権を受け、メルキゼデクは先祖の血統を通してそれを受

け、まことにノアまで至り、
15 ノアから先祖の血統を通してエノクまで至り、
16 エノクから、兄の陰謀によって殺されたアベルに至る。アベルは、神の命令により最初の人であった父アダの手によって神権を受けた。
17 この神権はあらゆる時代に神の教会の中に存続し、日の初めもなく年の終わりもない。
18 また、主はアロンとその子孫にも、代々一つの神権を確認した。この神権も、神の最も聖なる位に従う神権とともにいつまでも存続し、残るものである。
19 また、この大神権は福音をつかさどり、王国の奥義の鍵、すなわち神の知識の鍵を持つ。
20 それゆえ、この神権の儀式によって神性の力が現れる。
21 また、神権の儀式と権能がなくては、肉体を持つ人間に神性の力は現れない。
22 これがなくては、たれも神、すなわち父の御顔を見て、なお生きていることはできないからである。
23 さて、このことを、モーセは荒れ野の中でイス

4 GS「新エルサレム」
 5 GS「神殿、主の宮」
 6 GS「エテロ」
 7 GS「アブラハム」
 8 GS「メルキゼデク」
 9 GS「アベル」
 10 GS「アロン」
 11 GS「アベル」
 12 GS「アロン」
 13 GS「アベル」
 14 GS「アベル」
 15 GS「アベル」
 16 GS「アベル」
 17 GS「アベル」
 18 GS「アベル」
 19 GS「アベル」
 20 GS「アベル」
 21 GS「アベル」
 22 GS「アベル」
 23 GS「アベル」

ラエルの子らに分かりやすく教え、その民が神の顔を見ることのできるように、彼らを聖めようと熱心に努めた。

24 しかし、彼らは心をかたくなにし、神の臨在に堪えることができなかった。そのため、主の怒りは彼らに向かつて燃え、主は激しく怒って、彼らは荒野にいる間神の安息に入れないと誓った。この安息とは、主の完全な栄光のことである。

25 それゆえ、主は彼らの中からモーセを取り去り、また聖なる神権も取り去った。

26 そして、小神権が存続した。この神権は、天使の働きと備えの福音の鍵を持つものである。

27 この福音は、悔い改めとバプテスマと罪の赦しの福音、また肉の戒めの律法であって、主は激しく怒り、この律法をアロンの家とともにイスラエルの子らの中にヨハネに至るまで存続させた。

そのヨハネは、母の胎内から聖霊に満たされており、神が立てた者である。

28 彼はまだ子供のようにバプテスマを受け、また生後八日で神の天使によってこの力、すなわち、ユダヤ人の王国を打ち倒し、主の民の前に主の道

をまっすぐにし、一切の権威をその手に与えられていて主の来臨のために彼らを備える力を持つように聖任されたのである。

29 さらにまた、長老とビシヨツプの職は、大神権に属する、なくてはならない付属の職である。

30 さらにまた、教師と執事の職は、小神権に属する、なくてはならない付属の職である。この小神権は、アロンと彼の子孫に確認されたものである。

31 それゆえ、わたしがモーセの息子たちに関して言ったように、モーセの息子たちと、アロンの息子たちは、受け入れられるささげ物と犠牲を主の家においてささげるであろう。その家はこの時代に、わたしが定めたように聖別された場所に主のため

に建てられる。

32 そして、モーセの息子たちとアロンの息子たちは、シオン^①の山の主の家で、主の栄光をもって満たされるであろう。その息子たちとは、あなたがたのことである。また、わたしの教会を築き上げるためにわたしが召して遣わした多くの者も、同様である。

33 だれでも忠実であって、わたしが語ったこれら

22 ② 出エ24・9・11、
 ③ 教義93・1
 24 ① 出エ20・18・21、
 ② 詩篇95・8、
 ③ ヤコブ1・7・8、
 アル12・36
 ④ 出エ34・1・2
 ⑤ 民衆14・23、
 アプ4・11
 25 ① 申命34・1・5
 ② GS「メルキゼデク神権」
 26 ① GS「アロン神権」
 ② 教義107・20
 27 ① GS「悔い改め」
 ② GS「バプテスマ」
 ③ GS「罪の赦し」
 ④ アプ7・11・16
 ⑤ GS「モーセの律法」
 ⑥ GS「ヨハネ（バプテスマ）」
 28 ① ルカ1・15
 ② イザ40・3、マタ3・1・3、ヨハ1・23
 ③ マタ28・18、ヨハ17・2、1ペテ3・22、
 ④ 教義93・17
 ⑤ 教義107・15
 31 29 ① 教義128・24
 ② 教義57・3
 ③ ① アプ12・22、
 ④ 教義76・66、84・2、
 ⑤ GS「栄光」
 ⑥ GS「イエス・キリスの教会」
 33 ① GS「ふさわしき」

二つの神権を得て、自分の召しを尊んで大いなるものとすする者は、御霊により聖められてその体が更新される。

34 これらの者は、モーセの息子たち、またアロンの息子たちとなり、^① アブラハムの子孫となり、神の教会となり、神の王国となり、神の選民となる。

35 主は言う。この神権を受けるすべての者は、わたしを受け入れるのである。

36 わたしの僕たちを受け入れる者は、わたしを受け入れるからである。

37 また、わたしを受け入れる者は、わたしの父を受け入れる。

38 そして、わたしの父を受け入れる者は、わたしの父の王国を受けるのである。それゆえ、わたしの父が持つておられるすべてが、彼に与えられるであらう。

39 これは神権に伴う誓詞と聖約によってである。

40 それゆえ、神権を受ける者は皆、わたしの父のこの誓詞と聖約を受け入れるのである。わたしの父がこれを破られることはあり得ず、またこれが取り消されることもあり得ない。

41 しかし、だれでもこの聖約を受け入れた後にこれを破り、これから完全に離れてしまう者は、この世でも来るべき世でも、罪の赦しを受けることはない。

42 また、この神権に來ない者は皆、災いである。あなたがたはこの神権をすでに受けており、わたしは今日ここに居るあなたがたに、天からわたし自身の声によって今これを確認する。また、まことに、わたしは天の衆群とわたしの天使たちに、あなたがたに対する務めを与えた。

43 わたしは、今あなたがたに一つの戒めを与える。自分自身について気をつけ、永遠の命の言葉を熱心に心に留めるようにしなさい。

44 あなたがたは、神の口から出る一つ一つの言葉に従って生きなければならぬからである。

45 主の言葉は真理であり、また真理であるものはすべて光であり、光であるものはすべて御霊、すなわちイエス・キリストの御霊だからである。

46 御霊は世に来るすべての人に光を与え、また御霊はその声を聴く全世界のすべての人を照らす。

47 そして、御霊の声を聴くすべての人は、神、す

33 GS 「神権」
 34 ① 教義 132 : 30-32、
 GS 「アブラハムの聖約
 (契約)」
 ② ガラ 3 : 29、
 アブ 2 : 9 | 11、
 GS 「アブラハム・ア
 ラハムの子孫」
 36 ① マタ 10 : 40-42、
 ルカ 10 : 16、
 教義 112 : 20 | 21、
 ① ルカ 12 : 43-44、
 38 ① ルカ 12 : 20、
 37 ① ヨハ 13 : 20、
 黙示 21 : 7、
 3 ニコ 28 : 10、
 教義 132 : 18 | 20、
 39 GS 「昇栄」
 41 ① GS 「神権の誓詞と
 聖約」
 42 ① GS 「背教、背信」
 132 : 27、
 43 ① 教義 84 : 88、
 42 ① 一ニ 15 : 23-25、
 教義 1 : 14、
 44 ① 申命 8 : 3、
 マタ 4 : 4、
 教義 98 : 11、
 45 ① 詩篇 33 : 4、
 GS 「言葉 (神の)」
 46 ① ヨハ 1 : 9、
 教義 93 : 2、
 ② GS 「光 キリスト
 の光」
 「良心」

なわち父のもとに来る。

48 すると、父はその人に、あなたがたに更新し確認された聖約について教えられる。これはあなたがたのために、またあなたがたのためだけでなく全世界のためにも、あなたがたに確認されているものである。

49 全世界は罪の状態にあり、暗闇の下で、また罪の束縛の下でうめいている。

50 そして、彼らが罪の束縛の下にあるのは、これによって分かる。すなわち、彼らはわたしのもとに來ないからである。

51 だれでもわたしのもとに來ない者は、罪の束縛の下にあるのである。

52 また、だれでもわたしの声を受け入れない者は、わたしの声を知らず、わたしにつく者ではない。

53 これによって、あなたがたは義人と悪人の違いを知り、また今まさに全世界が罪と暗闇の下でうめいているのを知ることができるのである。

54 また、不信仰のために、また自分の受けたものを軽々しく扱ったために、あなたがたの思いは過

去に暗くなることがあった。

55 この虚栄と不信仰は全教会に罪の宣告を招いた。

56 この罪の宣告はシオンの子ら、まことにすべての者のうえにある。

57 彼らが悔い改めて、新しい聖約、すなわち「モルモン書」と、わたしが彼らに与えた以前の戒めを思い起こし、そしてただ口にするだけでなく、わたしが記してきたものに従って行動するまで、彼らは依然としてこの罪の宣告の下にある。

58 これによって、彼らが父の王国にふさわしい実を結ぶようになるためである。そうでなければ、シオンの子らのうえに注がれる懲らしめと裁きが残る。

59 王国の子らはわたしの聖なる地を汚すであろうか。まことに、わたしはあなたがたに、「汚さない」と言う。

60 まことに、まことに、わたしの言葉、すなわちわたしの声を今聞いているあなたがたに言う。あなたがたはこれらのものを受け入れるならば、幸いである。

61 わたしはあなたがたの罪を赦して、この戒めを与

48 ① GS 「新しくかつ永遠の聖約」

② GS 「聖約・契約」

③ GS 「靈感」

49 ① 1ヨハ5・19

② GS 「暗闇（霊的なる）」

50 ① GS 「罪」

② ガラ4・9

52 ① ヨハ10・27

② GS 「世」

③ GS 「物欲」

④ ロマ8・22

モセ7・48

54 ① GS 「不信仰」

② GS 「うめはれ」

③ エレ31・31

④ GS 「モルモン書」

⑤ 1ニフ13・40

⑥ 新ヤコ1・22

⑦ 41

⑧ 教義18・34

⑨ 36

61 ① 教義18・34

② 36

③ ④ 教義12・13

⑤ 15

⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑩ ⑪ ⑫ ⑬

⑭ ⑮ ⑯ ⑰

⑱ ⑲ ⑳ ㉑

㉒ ㉓ ㉔ ㉕

㉖ ㉗ ㉘ ㉙

えるからである。すなわち、あなたがたは、あなたがたに知らされたこれらのことを世のすべての人に証するために、厳粛に、また祈りの精神をもって、あなたがたの思いを確固としていなさい。

62 あなたがたは全世界に出て行きなさい。また、あなたがたはどこでも自分の行けない所に証を送り、それがあなたがたから全世界のすべての造られたものに伝わるようにしなさい。

63 わたしの使徒たちに言ったように、わたしはあなたがたに言う。あなたがたはわたしの使徒、すなわち神の大祭司だからである。あなたがたは、父がわたしに与えてくださった者である。あなたがたはわたしの友である。

64 それゆえ、わたしの使徒たちに言ったように、もう一度あなたがたに言う。あなたがたの言葉を信じて、罪の赦しのために水でバプテスマを受ける者は皆、聖霊を受けるであろう。

65 そして、信じる者には、このようなしるしが伴う。

66 すなわち、わたしの名によって、彼らは多くの驚くべき業を行う。

67 わたしの名によって、彼らは悪霊を追い出す。
68 わたしの名によって、彼らは病人を癒す。

69 わたしの名によって、彼らは目の見えない者の目を開け、耳の聞こえない者の耳を開く。

70 また、口の利けない者の舌は語るようになる。
71 だれかが毒を盛っても、それは彼らに害を与えない。

72 蛇の毒は彼らを害する力を持たない。

73 しかし、わたしは一つの戒めを彼らに与える。彼らはこれらのことを自慢してはならないし、世の人々の前でこれらを語ってもならない。これらのことはあなたがたの益のために、また救いのために、あなたがたに与えられるからである。

74 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたの言葉を信することなく、また聖霊を受けるために、わたしの名によって水の中で罪の赦しのためのバプテスマを受けない者は、罰の定めを受け、父とわたしがいる父の王国に来ることはないであろう。

75 あなたがたに於てたこの啓示と戒めは、まさに今この時点から世のすべての者に効力を持つ。そ

61 ② 教義 43 : 34
62 ① 88 : 12
② 100 : 16
③ 100 : 7
④ 100 : 15
⑤ 100 : 15
⑥ 100 : 15
⑦ 100 : 15
⑧ 100 : 15
⑨ 100 : 15
⑩ 100 : 15
⑪ 100 : 15
⑫ 100 : 15
⑬ 100 : 15
⑭ 100 : 15
⑮ 100 : 15
⑯ 100 : 15
⑰ 100 : 15
⑱ 100 : 15
⑲ 100 : 15
⑳ 100 : 15
㉑ 100 : 15
㉒ 100 : 15
㉓ 100 : 15
㉔ 100 : 15
㉕ 100 : 15
㉖ 100 : 15
㉗ 100 : 15
㉘ 100 : 15
㉙ 100 : 15
㉚ 100 : 15
㉛ 100 : 15
㉜ 100 : 15
㉝ 100 : 15
㉞ 100 : 15
㉟ 100 : 15
㊱ 100 : 15
㊲ 100 : 15
㊳ 100 : 15
㊴ 100 : 15
㊵ 100 : 15
㊶ 100 : 15
㊷ 100 : 15
㊸ 100 : 15
㊹ 100 : 15
㊺ 100 : 15
㊻ 100 : 15
㊼ 100 : 15
㊽ 100 : 15
㊾ 100 : 15
㊿ 100 : 15
1 100 : 15
2 100 : 15
3 100 : 15
4 100 : 15
5 100 : 15
6 100 : 15
7 100 : 15
8 100 : 15
9 100 : 15
10 100 : 15
11 100 : 15
12 100 : 15
13 100 : 15
14 100 : 15
15 100 : 15
16 100 : 15
17 100 : 15
18 100 : 15
19 100 : 15
20 100 : 15
21 100 : 15
22 100 : 15
23 100 : 15
24 100 : 15
25 100 : 15
26 100 : 15
27 100 : 15
28 100 : 15
29 100 : 15
30 100 : 15
31 100 : 15
32 100 : 15
33 100 : 15
34 100 : 15
35 100 : 15
36 100 : 15
37 100 : 15
38 100 : 15
39 100 : 15
40 100 : 15
41 100 : 15
42 100 : 15
43 100 : 15
44 100 : 15
45 100 : 15
46 100 : 15
47 100 : 15
48 100 : 15
49 100 : 15
50 100 : 15
51 100 : 15
52 100 : 15
53 100 : 15
54 100 : 15
55 100 : 15
56 100 : 15
57 100 : 15
58 100 : 15
59 100 : 15
60 100 : 15
61 100 : 15
62 100 : 15
63 100 : 15
64 100 : 15
65 100 : 15
66 100 : 15
67 100 : 15
68 100 : 15
69 100 : 15
70 100 : 15
71 100 : 15
72 100 : 15
73 100 : 15
74 100 : 15
75 100 : 15
76 100 : 15
77 100 : 15
78 100 : 15
79 100 : 15
80 100 : 15
81 100 : 15
82 100 : 15
83 100 : 15
84 100 : 15
85 100 : 15
86 100 : 15
87 100 : 15
88 100 : 15
89 100 : 15
90 100 : 15
91 100 : 15
92 100 : 15
93 100 : 15
94 100 : 15
95 100 : 15
96 100 : 15
97 100 : 15
98 100 : 15
99 100 : 15
100 100 : 15

して、福音はそれをまだ受けていないすべての者に及ぶ。

76 しかし、まことに、わたしは王国を与えられたすべての者に言う。彼らは以前の悪い行いを悔い改めるべきであることを、あなたがたは彼らに宣べなければならぬ。彼らはその不信仰な悪い心のゆえに、とがめを受けなければならない。また、シオンのあなたがたの兄弟たちも、わたしがあなたがたを遣わしたときにあなたがたに逆らったので、とがめを受けなければならない。

77 さらにまた、わたしは、友であるあなたがたに言う。今から後、わたしはあなたがたを友と呼ぶ。わたしがあなたがたにこの戒めを与えることは必要である。すなわち、あなたがたは、わたしがともにいて、わたしの力をもって福音を宣べ伝えるために旅をした時代のわたしの友のようになりなさい。

78 わたしは彼らに、財布も袋も、また二枚の上着も持つことを許さなかった。

79 見よ、わたしは世の人々を試みるためにあなたがたを遣わす。そして、働きの人が報酬を受けるのは当然である。

80 また、行って王国のこの福音を宣べ伝え、あらゆる点で引き続き忠実である者は、心が疲れることも暗くなることもなく、体や手足や関節が疲れることもない。髪の毛一筋も、知られずに地に落ちることはない。また、これらの者は飢えることも、渴くこともない。

81 それゆえ、あなたがたは明日のことを思い煩ってはならない。何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと思いつてはならない。

82 野のゆりがどのように育っているか、考えてみるがよい。働きもせず、紡ぎもしない。そして、栄華を極めた世の王国も、この花の一つほどにも着飾ってはいいない。

83 天におられるあなたがたの父は、これらのものがすべてあなたがたに必要であることを知っておられる。

84 それゆえ、明日のことは明日に思い煩わせなさい。

85 また、あなたがたは何を言おうかと、前もって思い煩ってはならない。ただ絶えず命の言葉をおあなたがたの心の中に大切に蓄えるようにしなさい。

78 ① マテ 10 : 9 - 10、

② 教義 24 : 18

③ ① 教義 31 : 5

④ GS 「福音」

⑤ GS 「伝道活動」

80 79

① マテ 6 : 25 - 28

② マテ 6 : 8

③ GS 「天の御父」

83 81

① マテ 6 : 34

② ルカ 12 : 11 - 12、

③ 教義 100 : 6

④ ② 2ニ 31、20、

⑤ アル 17 : 2、3、

⑥ 教義 6 : 20、11、21 - 26、

⑦ GS 「深く考える」

85 84

① マテ 10 : 9 - 10、

② 教義 24 : 18

③ ① 教義 31 : 5

④ GS 「福音」

⑤ GS 「伝道活動」

80 79

① マテ 6 : 25 - 28

② マテ 6 : 8

③ GS 「天の御父」

83 81

① マテ 6 : 34

② ルカ 12 : 11 - 12、

③ 教義 100 : 6

④ ② 2ニ 31、20、

⑤ アル 17 : 2、3、

⑥ 教義 6 : 20、11、21 - 26、

⑦ GS 「深く考える」

い。そうすれば、それぞれの者に必要な部分が、必要なときに授けられるであろう。

86 それゆえ、この戒めは神から務めに召される教会のすべての忠実な者にあてられたものであるので、あなたがたの中で、出て行って王国のこの福音を宣言する者はだれも、この時点から、財布や袋を携えてはならない。

87 見よ、わたしは世の人々を彼らのすべての不義な行いのゆえに責めるために、また来るべき裁きについて彼らに教えるために、あなたがたを遣わす。

88 そして、あなたがたを受け入れる者がだれであろうと、わたしもそこにいるであろう。わたしはあなたがたに先立つて行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。

89 だれでもあなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。その人はあなたがたに食物を与え、衣服を与え、また金銭を与えるであろう。

90 そして、あなたがたに食物を与え、衣服を与え、

え、あるいは金銭を与える者は、決してその報いを失うことはない。

91 また、これらのことを行わない者は、わたしの弟子ではない。これによって、あなたがたはわたしの弟子を知ることができる。

92 あなたがたを受け入れない者から離れて、独りになり、暑くても寒くても、あなたがたの足を水で、すなわち純粹な水で洗い清め、天におられるあなたがたの父にその証を示しなさい。そして、再びその人のもとに戻ってはならない。

93 どの村や町に入っても、同様にしなさい。

94 しかしながら、熱心に探しなさい。惜しんではならない。あなたがたや、あなたがたの言葉や、わたしについてのあなたがたの証を拒む家や村や町は、災いである。

95 わたしはもう一度言う。あなたがたや、あなたがたの言葉や、わたしについてのあなたがたの証を拒む家や村や町は、災いである。

96 全能者であるわたしは、もろもろの国民をその悪事のゆえに懲らしめるために、彼らの上にわたしの手を置いた。

85 GS「教える、教師」
86 ①「御霊によって教える」
87 ①マタ24：44-46、
88 ①マタ20：29、
89 ①マタ20：40、
90 GS「伝道活動」
91 ①マタ10：40、
92 ②「天使」
93 ①マタ10：42、
94 ①マタ9：41、
95 ①マタ10：14、
96 ①マタ10：14、
96 ①GS「全能」
②GS「邪悪」
③GS「邪悪」
13-14

97 そして、悪疫^{あくえき}が出て行く。それらの悪疫^{あくえき}は、義^ぎにならな^①って短^{みじか}くされるわたしの業^{わざ}が完了^{かんりょう}するま^②で、地^ちから取り去^とられること^③はないであ^④らう。

98 そのとき、最も^{もつと}小さい者^{もの}から最も^{もつと}大^{おお}いなる者^{もの}に至^{いた}るまで、生き残^{のこ}っているす^①べての者^{もの}が、わたしを^②知^しり、主^{しゅ}を知る知識^{しき}に満^みたされ、目^めと目^めを合^あわせ、^③声^{こゑ}を上げ、声^{こゑ}を合^あわせて次^{つぎ}のよう^④な新^{あらた}しい歌^{うた}を歌^{うた}うであ^⑤らう。

99 主^{しゅ}はシオン^{シオン}を回^{かへ}復^くされた。

① 恵^{めぐ}みの選^{えら}びによ^②つて、

主^{しゅ}はその民^{たみ}イスラエル^{イスラエル}を贖^{あがな}われた。

先^{せん}祖^ぞの信^{しん}仰^{こう}と聖^{せい}約^{やく}によ^①つて、

それは成^なし遂^とげられた。

100 主^{しゅ}はその民^{たみ}を贖^{あがな}われた。

サ^サタ^{タン}ンは縛^{しば}られ、も^①はや時^{とき}はな^②い。

主^{しゅ}は万^{ばん}物^{ぶつ}を一^{いっ}つに集^あめられた。

主^{しゅ}は上^{うへ}からシオン^{シオン}を下^{くだ}された。

主^{しゅ}は下^{した}からシオン^{シオン}を上げられた。

101 地^ちは産^うみの苦^{くる}しみ^①をなし、その力^{ちから}を産^うみ出^だした。

真^ま理^りは地^ちの中^{なか}に打^うち立^たてられ^①てい^②る。

天^{てん}は地^ちにほほえみ^①か^②けた。

地^ちはその神^{かみ}の栄^{えい}光^{こう}をま^①とつてい^②る、
神^{かみ}がその民^{たみ}の中^{なか}に立^たつてお^③られるので。

102 栄^{えい}光^{こう}と、誉^ほれと、力^{ちから}と、威^い勢^{せい}が、

わたしたちの神^{かみ}に帰^{かへ}せられるように。

神^{かみ}は憐^{あは}れみ、公^{こう}正^{せい}、恵^{めぐ}みと真^ま理^り、

平^{へい}安^{あん}に満^みちてお^①られるので。

とこしえにいつまでも、アーメン。

103 さらにまた、まことに、まことに、わたしはあ^①なたがたに言^いう。出^でて行^いってわたしの永^{えい}遠^{えん}の福^{ふく}音^{いん}を宣^{せん}言^{げん}する者^{もの}は皆^{みな}、も^②し家^か族^{ぞく}がいて、贈^{おく}り物^{もの}とし

て金^{きん}銭^{せん}を受^うけたならば、主^{しゅ}が指^し示^じするよ^③うに、そ

れを家^か族^{ぞく}に送^{おく}るか、あるいは彼^{かれ}らのため^④に利^り用^{よう}す

ることが適^{てき}切^{せつ}である。わたしにはこ^⑤うあることが

よ^①いと思^{おも}われるからである。

104 家^か族^{ぞく}を持^もたない者^{もの}で金^{きん}銭^{せん}を受^うけた者^{もの}は皆^{みな}、シオ

ンのビシヨップか、あるいはオハイオのビシヨップ

にそれを送^{おく}って、啓^{けい}示^じの公^{こう}表^{ひょう}とその印^{いん}刷^{さつ}のため

に、またシオンの確^{かく}立^{りつ}のため^①に、それが聖^{せい}別^{べつ}され

るよ^②うにしなさい。

105 また、だれかが上^う着^ぎあるいは服^{ふく}をあなた^③がたの

だ^④れかにくれたならば、古^{ふる}いものを取^とってそれ^⑤を

98 97 ① マク 24
② イザ 52
③ 詩篇 96
④ 黙示 15: 3, 96
⑤ 1

99 GS「歌」 12, 133, 56,
GS「恵み」
GS「選び」
GS「イスラエル」

④ 黙示 5: 9,
教義 43: 29

⑤ GS「アラハムの
聖約(契約)」
教義 43: 31, 45, 55,
88: 110

② エヘ 1: 10,
教義 27: 13

③ 教義 45: 11-14,
モセ 7: 62, 64,
GS「シオン」

④ 教義 76: 102, 88: 96
GS「地球」
GS「栄光」
GS「平和」
GS「平和」

② GS「平和」
① 教義 51: 8-9,
12-13

① GS「地球」
GS「栄光」
GS「平和」

106 また、あなたがたの中で御霊において強い者がい
れば、その人は弱い者を伴って行きなさい。それ
は、弱い者ができるかぎり柔和に教化されて、彼
も強くなるためである。

107 それゆえ、あなたがたは小神権に聖任されてい
る者を伴い、彼らをあなたがたに先立って行かせ
て、約束を取りつけさせ、道を備えさせ、あなた
がた自身の果たせない約束を果たさせなさい。

108 見よ、これこそ、昔のわたしの使徒たちが、わ
たしのために教会を築き上げた方法である。

109 それゆえ、各人をそれぞれの職に就かせ、それ
ぞれの召しにおいて働かせなさい。頭は足に向かっ
て、足は要らないと言ってはならない。足がなけれ
ば、体はどうして立つことができるであろうか。

110 体はまたあらゆる部分が必要としていて、すべ
てがともに教化され、全体が完全に保たれるので
ある。

111 また見よ、大祭司は旅に出なければならぬ。
また、長老も小神権の祭司も同じである。しか

し、執事と教師は教会員を見守り、教会の常任奉
仕者となるように任じられる。

112 また、ビショップのニューエル・K・ホイットニ
ーも、貧しい者を捜しながら周囲やすべての教会
の中を旅し、富んでいる者と高ぶっている者をへ
りくだらせることによって、貧しい者に彼らの入り
用としているものを与えるようにしなければなら
ない。

113 彼はまた、彼が指示するままに責任を負って彼
の実務を果たす、一人の代理人を雇わなければな
らない。

114 しかしながら、ビショップは、ニューヨーク市に、
またオールバニ市に、またボストン市にも行き、そ
れらの町の人々に、福音の知らせとともに、もしも
彼らがこれを拒むならば彼らを待ち受けている荒
廃と完全な滅亡について、大声で警告しなさい。

115 もしも彼らがこれを拒むならば、彼らの裁きの
時は近づいており、彼らの家は荒れ果てるに任さ
れるであろう。

116 ビショップはわたしを頼りなさい。そうすれ
ば、打ち破られることはない。髪の毛一筋も、知

106 ① GS 「貧しい物質
的」に貧しい人」
② GS 「アローン」
③ GS 「祭司」アロン
神権の」
④ GS 「執事」
⑤ GS 「教師」アロン
神権の」
⑥ GS 「見守る、見守
る者」
112 ① 教義 56 : 16
② GS 「福祉」
③ ① 教義 90 : 22
④ ① 教義 13 : 14
⑤ ① 教義 13 : 35
⑥ GS 「信賴」
⑦ ① 詩篇 22 : 5、
⑧ ① ペテ 2 : 6
⑨ ① マテ 10 : 29 - 31
110 ① GS 「承租」
② GS 「アロン」神権」
③ GS 「祭司」アロン
神権の」
④ GS 「執事」
⑤ GS 「教師」アロン
神権の」
⑥ GS 「見守る、見守
る者」

られずに地に落ちることはないであろう。

117 まことに、わたしはあなたがた、すなわちわたしの僕たちの残りに言う。あなたがたは事情の許すままに、それぞれの召しに応じて、大きくかつ有名な町や村へ出て行き、義をもって世の人々を彼らのすべての不義で不敬な行いのゆえに責め、また終わりの時における忌まわしい荒廃についてはつきりと分かりやすく宣べなさい。

118 全能の主は言う。あなたがたによつて、わたしは彼らの王国を裂こう。わたしは地を揺り動かすだけでなく、星の満ちた天をも震わせよう。

119 主なるわたしは、天の力を働かせるためにわたしの手を伸べた。あなたがたは今それを見ることはできないが、もうしばらくすれば、それを見て、わたしがいること、また、わたしが来てわたしの民とともに治めることを知るであろう。

120 わたしはアルパでありオメガであり、初めてであり終りである。アーメン。

第 85 章

千八百三十二年十一月二十七日、オハイオ州カートラ

ンドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この章は、ミズーリ州インディペンデンスに住んでいたウィリアム・W・フェルプスにあてた預言者の手紙からの抜粋である。これは、シオンに移り住んだが、自分の財産を奉獻するようという戒めに従つておらず、そのために教会における定められた手順に従つて受け継ぎを得ていない聖徒たちに関する疑問に答えるものである。

1-5 シオンでの受け継ぎは、奉獻によつて得なければならぬ。6-12 一人の力ある強い者が、聖徒たちにシオンでの受け継ぎを与える。

1 主が任命された主の書記の義務は、歴史を記録し、シオンで起こるすべてのことについて、また財産を奉獻してビショップから律法にかなつて受け継ぎを得るすべての人について、一般教会記録を書き残すことである。

2 また、彼らの生活の様子や、彼らの信仰や、行いについても、また受け継ぎを得た後に背教する背教者についても、記録を書き残すことである。

118 ①ゲニ2・44-45

②ヨエ2・10、45

教義43・18、45、33、

48、88・87、90、53、

GS「終わりの時、末日」

「時の来る」

119 ①教義1・12、

35・36、29・9-11、

45・59、

GS「イエス・キリストの再臨」

120 ①GS「福千年」

オメガ」

第85章

1 ①教義42・30-35

②教義21・1、69・3-6

3 神より与えられた神の律法にかなった奉獻によつて自分の受け継ぎを得ない者が、神の民とともにその名を登録されることは、神の御心と戒めに反する。神は報復と焼き払いの日に對してその民を備えるために、彼らに自分の一を納めさせようと、その律法を与えられたのである。

4 また、彼らの系図を書き残してはならず、教会のいかなる記録や歴史の中にもそれが見いだされることがあつてはならない。

5 神の律法の書に彼らの名前も、父の名前も、子孫の名前も見いだされることがあつてはならない、と万軍の主は言われる。

6 まことに、万物を貫き通してささやき、それが現れるときにわたしの骨をしばしば震わせる静かな細い声は、次のように告げられる。

7 「主なる神であるわたしは、一人の力ある強い者を遣わす。その者はその手に力の筋を持ち、光を衣としてまとい、その口は言葉、すなわち永遠の言葉を語る。また、その腹は真理の泉である。わたしが彼を遣わすのは、神の家を整えるためであり、また神の律法の書に名前が見いだされ、その父と

その子孫の名前が登録される聖徒たちの受け継ぎをくじによつて手配するためである。

8 しかし、神から召されて任命されたその人は、神の箱を支えるために手を伸べると、まぶしい稲妻に撃たれる木のように、死の矢によつて倒れるであらう。

9 また、覚えの書に記されていない者は皆、その日に何の受け継ぎも見いださず、裂かれて、その持ち分は不信仰な者たちの中に定められ、そこで泣きわめき、菌がしりをするであらう。」

10 これらのことを、わたしは自分から言っているのではない。それゆえ主は、語られるとおりに果たされる。

11 大神権を持つ者で、また小神権を持つ者や会員で、その名前が律法の書に記されていない者、あるいは背教した者、または教会から絶たれた者は、その日に、いと高き方の聖徒たちの中に受け継ぎを見いださないのであらう。

12 それゆえ、エズラ記第二章六十一、六十二節に記されている祭司の子孫に行われたように、彼らに行われなければならない。

3 ① GS 「奉獻、奉獻の律法」

② マラ 3 : 10 - 11、教義 97 : 25 - 26

5 ① GS 「自分の」

② ① ヘブ 4 : 12

③ ① 列上 19 : 11 - 12、ヒラ 5 : 30 - 31、

④ ① 2 二フ 11 : 30 - 31、

⑤ ① サ下 6 : 6 - 7、

⑥ ① 歴上 13 : 9 - 10、

⑦ GS 「契約の箱」

⑧ ① 3 二フ 24 : 16、

⑨ モセ 6 : 5 - 6、

⑩ GS 「覚えの書」

⑪ ② ① 教義 19 : 5

⑫ ② GS 「命の書」

⑬ GS 「背教、背信」

⑭ GS 「蔽門」

第 86 章

千八百三十二年十二月六日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示は、預言者が「聖書」の翻訳の原稿を校閲し校訂していたときに受けたものである。

1-7 主は小麦と毒麦のたとえの意味を明らかにされる。8-11 肉による正当な相続人である人々への神権の祝福について説明される。

1 まことに、主は、小麦と毒麦のたとえについて、わたしの僕であるあなたがたにこのように言う。

2 見よ、まことに、わたしは言う。畑は世界であり、使徒たちは種をまく者であった。

3 彼らが眠った後、教会のひどい迫害者、背教者、淫婦、すなわちバビロンが現れる。このバビロンはすべての国民に自分の杯から飲ませる。そして彼らの心の中に、敵、すなわちサタンが座して支配する。見よ、彼が毒麦をまく。それゆえ、毒麦は小麦の生長を妨げて、教会を荒野野に追

いやる。

4 しかし見よ、終わりの時に、すなわち主が御言葉をもたらし始め、葉が生えてまだ柔らかい、まさに今、

5 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言うが、畑を刈り入れるために遣わされる準備をして待つている天使たちは、日夜、主に叫び求めている。

6 しかし、主は彼らに言う。小麦も損なうといけないので、葉がまだ柔らかい間は毒麦を抜き取ってはならない。(まことに、あなたがたの信仰が弱いからである。)

7 それゆえ、作物が十分に熟すまで、小麦と毒麦をともに育つままにしておきなさい。その後、あなたがたはまず毒麦の中から小麦を集めなければならない。小麦を集めた後、見よ、見よ、毒麦は束にされ、畑は焼かれるばかりである。

8 それゆえ、主は、先祖の血統を通して神権が続いてきたあなたがたにこのように言う。

9 なぜなら、あなたがたは肉による正当な相続人であり、神のうちにキリストとともに世から隠さ

第 86 章

1 ① マタ 13 : 6-43

3 ① 黙示 17 : 1-9

GS 「バビロン、バベル」

4 ② 黙示 12 : 6、14

4 ① GS 「終わりの時、末日」

5 ① GS 「刈り入れ」

8 ② ② 教義 13 : 8、12

8 「メルキゼデク神権」

9 ① GS 「アブラハムの聖約」

9 「アブラハムの聖約」

GS 「アブラハムの聖約」

② イザ 49 : 2-3

れてきたからである。

10 それゆえ、あなたがたの命と神権は存続しており、また、世界が始まって以来すべての聖なる預言者たちの口を通して語られてきた万物の回復まで、神権はあなたがたとあなたがたの血統を通して必ず存続しなければならぬ。

11 それゆえ、もしあなたがたがわたしの慈しみの中にとどまるならば、すなわち、引き続き異邦人への光となり、この神権によってわたしの民イスラエルのために救い手となるならば、あなたがたは幸いである。主がこのことを述べた。アーメン。

第 87 章

千八百三十二年十二月二十五日、オハイオ州カートランドまたはその付近において、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた、戦争に関する啓示と預言。この時に、合衆国内で奴隷制度とサウスカロライナによる連邦関税法無効化に関する論争が巻き起こっていた。ジョセフ・スミスの歴史には、「教会が荒れ野を出て旅を始めて以来、かつてないほどに、国家間の争いの様相が」預言者には「より明白に」なっていたと述べられている。

1-4 北部諸州と南部諸州の間の戦争が預言される。
5-8 大きな災難が地の全住民のうえに降りかかる。

1 まことに、主は、間もなく起こる戦争に関してこのように言う。それはサウスカロライナの反乱で始まり、ついには多くの人の死と苦悩に終わるであろう。

2 戦争がこの地で始まって、すべての国々のうえに押し寄せる時が来る。

3 見よ、南部諸州は北部諸州に反対して分裂する。そして、南部諸州は他の国々、それもグレー

トブリテンと呼ばれている国を呼び、それらはまた他の国々から自らを守るために他の国々を呼ぶ。その後、戦争がすべての国々のうえに押し寄せる。

4 また、多くの日の後、戦争のために整えられて訓練される奴隷が、彼らの主人に反抗して立つ。

5 また、地に残っている残りの者たちが自らを整え、大いに怒り、ひどい苦しみをもって異邦人を悩ます。

6 このように、剣と流血により、地に住む者は嘆き悲しむであろう。また、地に住む者は、飢饉と、

第 87 章

10 ① 使徒 3 : 19-21
11 ① 「福音の回復」
② 教義 109 : 59-67

1 ① 教義 130 : 12-13
2 ① ヨエ 3 : 9-16、
マタ 24 : 6-7、
3 ① 教義 45 : 26、63、63
3 ① 教義 45 : 68、69
4 ① 教義 134 : 12、21、
6 ① 教義 29 : 14、21、
② 45 : 49
② ジー マタ 1 : 29

悪疫と、地震と、天の雷と、猛烈なまぶしい稲妻によつて、全能の神の激しい怒りと憤りと懲らしめの手を感じるであらう。そしてついに、定められた滅びが、すべての国をことごとく終わらせるであらう。

7 これによつて、聖徒たちの叫びと聖徒たちの血の叫びが、地から上つてサバオスの主の耳に達して彼らの敵に報復するように求めることはやむ。

8 それゆゑ、主の日が来るまで、あなたがたは聖なる場所に立ち、動かされないようにしなさい。見よ、その日はすぐに来る、と主は言う。アーメン。

第 88 章

千八百三十二年十二月二十七、二十八日と、千八百三十三年一月三日に、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者はこれを、「パラダイスの木から摘み取られた『オリブの葉』、わたしたちへの主の平和のメッセージ」と呼んだ。大会で大祭司たちが、「シオンの建設についてわたしたちへその御心を明らかにしてくださいるよう、主に

一人一人別々に、声に出して」祈つた後、この啓示が与えられた。

1-5 忠実な聖徒たちは、永遠の命の約束である慰め主を受ける。6-13 万物はキリストの光によつて統治され、治められている。14-16 復活は贖いによつて来る。

17-31 日の栄え、月の栄え、あるいは星の栄えの律法に従うことによつて、人々はそれぞれの王国と栄光に備えられる。32-35 罪の中にとどまることを望む者は、なお汚れたままである。36-41 すべての王国は律法によつて治められている。42-45 神は万物に律法を与えられた。

46-50 人は神をさえ理解するようになる。51-61 僕たちを畑に送り出して、順番に彼らを訪れる人のたとえ。62-73 主に近づきなさい。そうすれば、あなたがたは主の顔を見るであらう。74-80 自分自身を聖めて、互いに王国の教義を教え合いなさい。81-85 警告を受けた人は皆、その隣人に警告しなければならぬ。86-94 数々のしるし、自然界の大変動、および天使たちによつて、主の来臨のための道が備えられる。95-102 天使のラツパが死者を順番に呼び出す。103-116 天使のラツパが、福音の回復とバビロンの倒壊、および大いなる神の戦いを宣言

6
③ GS「懲らしめ」
④ 終わり」
7 ① エテ 8 : 22-24
② KJ 新ヤコ 5 : 4、
8 ① マタ 24 : 15
教義 45 : 32-34
② 黙示 3 : 11
11 21-22

する。117-126 学問を求め、神の宮(神殿)を建て、慈愛のきずなを身にまといなさい。127-141 洗足の儀式を含む、預言者の塾の規律が明らかにされる。

1 まことに、あなたがたに関する主の思いを受けようと集まったあなたがたに、主はこのように言う。

2 見よ、これはあなたがたの主にとって喜びであり、天使たちはあなたがたのことを喜んでいいる。あなたがたの祈りの施しはサバオスの主の耳に達し、聖められた者、すなわち日の栄えの世界に住む者の名前の書に記録されている。

3 それゆえ、わたしは今あなたがたに、まことにわたしの友であるあなたがたに、別の慰め主、すなわち約束の聖なる御霊を遣わして、それがあなたがたの心の中にとどまるようにする。この別の慰め主は、ヨハネの証の中に記されているように、わたしが弟子たちに約束したものである。

4 この慰め主は、永遠の命、すなわち日の栄えの王国の栄光について、わたしがあなたがたに与える約束である。

5 この栄光は、長子の教会の栄光、すなわちすべての中で最も聖なる御方である神の栄光であって、神の子イエス・キリストを通じて来る。

6 イエス・キリストは高い所に昇り、また万物の下に身を落とし、それによってすべてのことを悟つて、万物の中に入り、万物を貫いてあり、真理の光となった。

7 この真理は輝いている。これはキリストの光である。また、彼は太陽の中にあり、太陽の光であり、太陽が造られたその力である。

8 また、彼は月の中にあり、月の光であり、月が造られたその力である。

9 また、星の光であり、それらが造られたその力である。

10 地球、すなわちあなたがたが立っている地球と、その力も同じである。

11 また、今輝いてあなたがたに光を与える光は、あなたがたの目を明らかにする者によって来るものであり、これはあなたがたの理解を活気づける光と同じである。

12 この光は、広大な空間を満たすために神の前か

第88章

- 2 ① ルカ 15 10
- 2 ② 使徒 10 1-4,
- 3 ③ 「祈り」
- 3 ④ 新ヤコブ 5 4,
- 3 ⑤ 教義 95 7
- 3 ⑥ 「命の書」
- 3 ⑦ ヨハ 14 16,
- 3 ⑧ 教義 76 53,
- 4 ⑨ 「約束の聖なる御霊」
- 4 ⑩ 教義 14 7
- 4 ⑪ 「日の栄え」
- 5 ⑫ GS「長子、初子」
- 5 ⑬ GS「イエス・キリスト」
- 6 ⑭ ② 教義 122 8,
- 6 ⑮ GS「贖罪」
- 6 ⑯ GS「全知」
- 7 ⑰ ④ 教義 93 2, 8 39,
- 7 ⑱ 「真理」一光 キリス
- 7 ⑲ トの光」
- 7 ⑳ ① モロ 7 15-19,
- 7 ㉑ 教義 84 45
- 8 ㉒ ② 創世 1 16,
- 8 ㉓ ③ 創世、創造する」
- 8 ㉔ ④ ① モセ 2 1
- 8 ㉕ ⑤ GS「理解」
- 8 ㉖ ⑥ ① GS「光 キリスト
- 8 ㉗ ⑦ エレ 23 24

ら発している。

13 これは万物の中にあり、万物に命を与える光であり、万物が治められる律法、すなわち御座に着き、永遠の懐にあり、万物のただ中におられる神の方である。

14 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたのためになされている贖いによって、死者の中からの復活が成し遂げられる。

15 そして、霊と体が人を成す。

16 死者の中からの復活は、人の贖いである。

17 人の贖いは、万物を生かす者によって来る。その者の胸のうちに、地の貧しい者と柔和な者はそれを受け継ぐということが定められている。

18 それゆえ、地球は日の栄えの栄光に備えられるように、すべての不義から必ず聖められなければならない。

19 地球はその創造の目的を達した後、栄光、すなわち父なる神の臨在を冠として与えられるであろう。

20 それによって、日の栄えの王国に属する者たちが、とこしえにいつまでも、これを所有できるよ

うにするためである。この目的でこれは造られ、創造され、またこのために彼らは聖められるのである。

21 わたしがあなたがたに与えた律法、すなわちキリストの律法によって聖められない者は、別の王国、すなわち月の栄えの王国か、星の栄えの王国を受け継がなければならない。

22 日の栄えの王国の律法に従えない者は、日の栄えの栄光に堪えられないからである。

23 また、月の栄えの王国の律法に従えない者は、月の栄えの栄光に堪えられない。

24 また、星の栄えの王国の律法に従えない者は、星の栄えの栄光に堪えられない。それゆえ、彼は栄光の王国にふさわしくない。そこで、彼は栄光の王国ではない王国を受けなければならない。

25 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。地球は日の栄えの王国の律法に従う。地球はその創造の目的を達して、律法に背かないからである。

26 それゆえ、地球は聖められる。まことに、それは死ぬにもかかわらず、再び生かされ、それを生か

13 ①コロ1:16-17

②申命30:20

③教義10:70

④ヨブ38章

⑤教義88:36-38

⑥GS「律法」

14 ①GS「贖いの計画」

②「贖理」

15 ①GS「一人一天の御父の霊の子供としての人間」

②「霊」

③「体」

④「復活」

16 ①アル11:42

②GS「地球」

③GS「最終的な状態」

17 ①GS「地球」

②GS「貧しい」

③GS「柔和」

18 ①GS「日の栄え」

②GS「教義130:7-9」

③GS「モセ1:39」

19 ①GS「一人一天の御父のようになる可能性を持つ人間」

②GS「聖め」

20 ①GS「月の栄え」

②GS「星の栄え」

③GS「地球」

④GS「地」

⑤GS「最終的な状態」

⑥GS「世一世の終わり」

す力に堪える。そして、義人がそれを受け継ぐ。
 27 彼らも死ぬにもかかわらず、再び霊的な体によ
 みかえるからである。
 28 日の栄えの霊を持つ者は、肉の体であったその同
 じ体を受けるであろう。すなわち、あなたがたはあ
 なたがたの体を受け、またあなたがたの栄光は、
 あなたがたの体が生かされるその栄光である。
 29 日の栄えの栄光の一部によって生かされるあな
 たがたは、そのとき、その同じものを、すなわちそ
 のすべてを受ける。
 30 また、月の栄えの栄光の一部によって生かされ
 る者は、そのとき、その同じものを、すなわちその
 すべてを受ける。
 31 さらにまた、星の栄えの栄光の一部によって生
 かされる者は、そのとき、その同じものを、すなわ
 ちそのすべてを受ける。
 32 また、取り残されている者もまた生かされる。し
 かしながら、彼らは、彼らが受けることのできた
 はずのものを進んで享受しなかったため、彼らが
 進んで受け入れるものを享受するために、再び彼
 ら自身の場所に帰る。

33 ある人に贈り物が与えられても、彼がそれを受
 け取らなければ、それは彼にとって何の益があるだ
 ろうか。見よ、彼は与えられるものを喜ばず、その
 贈り物の贈り主をも喜ばない。
 34 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに
 言う。律法によって治められるものは、また律法に
 よって守られ、それによって完全にされ、聖めら
 れる。
 35 律法を破って律法に従わず、自らのために律法
 になろうとし、罪の中にとどまることを望み、そし
 て完全に罪の中にとどまるものは、律法によつて
 も、また憐れみや公正、公平によつても聖められ
 ることはあり得ない。それゆえ、彼らはなお汚れ
 たままでないなければならない。
 36 すべての王国には律法が与えられている。
 37 そして、多くの王国がある。王国のない空間は
 ないからである。また、大きな王国も小さな王国
 も、その中に空間のない王国はない。
 38 そして、すべての王国に一つの律法が与えられ
 ており、すべての律法に一定の限界と条件がある。
 39 それらの条件の中にとどまっていらない者は皆、

26 ③ 2 ペテロ 3:11-14
 ④ GS 「義」
 ⑤ マテオ 5:5、
 ⑥ 教義 45:58、59、2、
 27 63:49
 ① 1 コリ 15:44
 ② GS 「復活」
 ③ GS 「最後の裁き」
 28 ① GS 「最後の裁き」
 ② 教義 43:32、
 29 ① GS 「一人一人の御父
 63:51、101:31
 ② GS 「一人一人の御父
 のようになる可能性を
 持った人間」
 ③ 「日の栄え」
 30 ① GS 「月の栄え」
 ② GS 「星の栄え」
 ③ アル 11:41-45
 31 GS 「選択の自由」
 32 GS 「聖く」
 33 GS 「憐れみ」
 34 GS 「正義」
 ④ GS 「正義」
 ⑤ 黙示 22:11、
 ⑥ 1 ニコ 9:33、35、
 ⑦ アル 7:21
 35 ① 教義 88:13、15
 ② 教義 130:20-21
 36 ① 教義 78:21
 ② 教義 130:13、15
 ③ 教義 130:20-21

義とされぬ。

40 英知は英知に結びつき、知恵は知恵を受け入れ、真理は真理を迎え入れ、徳は徳を愛し、光は光に結びつき、憐れみは憐れみに同情を寄せて自らの権利を主張し、正義はその道を進み続けてその権利を主張し、裁きは御座に着いて万物を治め、万事をなす者の前を行くからである。

41 彼はすべてのことを悟っており、万物は彼の上にある、万物は彼の周りにある。また、彼は万物の上にある、万物の中にある、万物を貫いてあり、万物の周りにある。そして、万物は彼、すなわち神によって存在し、またとこしえにいつまでも神から出る。

42 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。神は万物に、その時とその時期に応じて運行する律法を与えた。

43 そして、それらの軌道、すなわち地球とすべての惑星を含む天と地の軌道は定まっている。

44 それらは、その時とその時期に、すなわちその分に、その時間に、その日に、その週に、その月に、その年に、互いに光を与え合う。すなわち、

これらはすべて神にとつては一年であるが、人にとつてはそうではない。

45 地球はその翼をもつて回転して進み、太陽は昼間にその光を与え、月は夜中にその光を与え、またもろもろの星も、神の力の中にあつて、その栄光をもつてその翼で回転して進みながらその光を与える。

46 あなたがたが理解できるように、わたしはこれらの王国を何にたとえようか。

47 見よ、これらはすべて王国であり、またこれらのどれでも、あるいは最も小さいものでも見た者は、尊厳と力をもつて進む神を見たのである。

48 わたしはあなたがたに言う。彼は神を見たのである。それにもかかわらず、自分の民のところに来た者は理解されなかつた。

49 その光は暗闇の中に輝いている。そして、暗闇はそれを理解しない。それにもかかわらず、あなたがたは神にあつて、また神によって生かされるので、まことに神を理解する日が来るであろう。

50 そのとき、あなたがたは、わたしを見たこと、わたしがいること、わたしがあなたがたの中にある

39 ② GS「義認、義とされる」

40 ① GS「英知」

② GS「知恵」

③ GS「真理」

④ GS「徳」

⑤ GS「光、キリストの光」

⑥ GS「哀れみ」

41 1ニヨハ3・20、

2ニヨハ3・6、

2ニヨハ3・20、

2ニヨハ3・20、

2ニヨハ3・20、

42 ①ゲニ2・20-22、

43 アブ3・4・19

44 ①GS「光、キリストの光」

②詩篇90・4、

45 2ペテ3・8、

46 アブ4・16

47 ②教義88・7-13

①アル30・44、

モセ1・27・28、6・63、

48 アブ3・21

①ヨハ1・11、

3ニヨハ1・16、

3ニヨハ1・14

49 ①教義6・21、

50 ②ヨハ17・3、

28 ①教義6・45-47

まことの光であること、またあなたがたがわたしに
 いることを知るであろう。そうでなければ、あなた
 がたは豊かになることができない。

51 見よ、わたしはこれらの王国を、畑を持ってい
 る一人の男にたとえよう。彼はその畑を耕すため
 に自分の僕たちをその畑に送り出した。

52 そして、彼は最初の僕に、「あなたは畑に行つて
 働きなさい。第一の時に、わたしはあなたのところ
 に行こう。そして、あなたはわたしの喜ぶ顔を見
 るであろう」と言った。

53 また、彼は第二の僕に、「あなたも畑に行きなさい。
 第二の時に、わたしは喜ぶ顔をもってあなたを
 訪れよう」と言った。

54 そしてまた、第三の僕にも、「わたしはあなたを
 訪れよう」と言った。

55 また第四の僕にも、というようにして第十二の
 僕に至った。

56 そして、畑の主人は第一の時に最初の僕のところ
 に行つて、その時間いっぱい彼とともにいた。そ
 して、彼はその主人の顔の光によって喜びを得た。

57 その後、彼は最初の僕のもとを去つて、第二の

僕を訪れた。そして、第三の僕、また第四の僕、
 というようにして第十二の僕に至った。

58 このようにして、彼らは皆、その時間に、その
 時に、その時期に、一人一人彼らの主人の顔の光を
 受けた。

59 すなわち、最初の僕から始めて最後に至るまで、
 そして最後から最初、また最初から最後まで、

60 すべての者がその順序で、彼の時間が終わるま
 で、その主人が彼に命じたとおりに行つた。それ
 により、その主人が彼によって栄光を受け、また
 彼もその主人によって栄光を受けて、彼らが皆栄
 光を受けるためである。

61 それゆえ、このたとえに、わたしはこれらすべ
 ての王国とそこに住む者をなぞらえよう。すなわ
 ち、神が出した定めのとおり、あらゆる王国はその
 時間に、その時に、その時期に訪れを受けるので
 ある。

62 さらにまた、まことに、わたしは友であるあなた
 がたに言う。あなたがたの心の中で深く考える
 ように、わたしはこれらの言葉と、あなたがたに与
 えるこの戒めとを残す。わたしが近くにいる間に、

あなたがたはわたしに呼び求めなければならぬ。
 63 すなわち、わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたがたに近づこう。熱心にわたしを求めなさい。そうすれば、あなたがたはわたしを見いだすであろう。求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。

64 あなたがたがわたしの名によって父に求めるもので、あなたがたにとって必要なものは何でも、与えられるであろう。

65 また、もしあなたがたが自分にとって必要でないものを求めるならば、それはあなたがたの罪の宣告となる。

66 見よ、あなたがたが聞いているのは、荒野で叫ぶ者の声のようである。荒野でというのは、あなたがたはその者を見ることができないからである。この声はわたしの声である。わたしの声は御霊だからである。わたしの御霊は真理である。真理は存続し、終わりが無い。そして、それがあなたがたの中にあれば、それはますます豊かになる。

67 また、あなたがたがわたしの栄光にひたすら目を向けるならば、あなたがたの全身は光に満たされ、あなたがたの中に暗さがないであろう。そして、光に満たされるその体はすべてのことを悟る。68 それゆえ、あなたがたの思いがひたすら神に向いたものとなるように、自らを聖めなさい。そうすれば、あなたがたが神を見る日が来る。神はあなたがたにその顔を現すからである。それは神自身の時に、神自身の方法で、神自身の思いに従って起る。

69 わたしがあなたがたに与えた大いなる最後の約束を思い出しなさい。あなたがたの無益な思いと過度の笑いを遠くに捨ててしまいなさい。

70 あなたがたはとどまりなさい。あなたがたはこの場所にとどまりなさい。そして、聖会、すなわちこの最後の王国における最初の働きの人たちの聖会を召集しなさい。

71 また、彼らの旅で警告を受けた者たちは、しばしの間、主に呼び求め、受けた警告を心の中で深く考えなさい。
 72 見よ、見よ、わたしはあなたがたの群れの世話をし、長老たちを立てて彼らのもとに遣わそう。

62 ③ イザ55・6、新ヤコ1・5、教義46・7
 63 ① セカ1・3、黙示3・4・8、新ヤコ20
 ② 歴上28・9、エテ12・41、教義101・38・41
 64 ③ 教義4・7、49・26
 ④ GS「祈り」
 65 ② 教義18・18、46・28・30
 ① 新ヤコ4・3
 66 ② 教義63・7・11
 ① イザ40・3、1ニフ17・13、アル5・37・38、教義128・20
 67 ③ GS「真理」
 ① ヨハ7・18、ルカ11・34・22、教義82・19
 ③ 箴言28・5、教義93・28
 68 GS「識別の賜物」
 ① GS「聖い心」
 ② GS「聖め」
 93 ③ 教義67・10・13、① マタ12・15・17
 69 ① マタ12・19、モサ4・29・30、アル12・14
 ② 教義59・15、88・121
 71 GS「警告」

73 見よ、わたしは、時が来ればわたしの業を速やかに一行う。

74 また、わたしはこの最後の王国における最初の働き人であるあなたがたに、一つの戒めを与える。あなたがたは集まって、自らを組織し、自らを備え、また自らを聖めなさい。まことに、あなたがたの心を清くし、またわたしの前に手と足を清めなさい。それは、わたしがあなたがたを清くするためであり、

75 また、あなたがたがこの邪悪な時代の血から清められていることを、わたしがあなたがたの父、あなたがたの神、わたしの神に証するためであり、さらにわたしがこの約束、すなわち、わたしがあなたがたに与えたこの大いなる最後の約束を、わたしが望むときに果たすためである。

76 さらに、わたしはあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたはこれから先、祈りと断食を続けなければならぬ。

77 また、あなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたは互いに王国の教義を教え合わなければならない。

78 熱心に教えなさい。そうすれば、わたしの恵みがあなたがたに伴うであろう。それは、理論において、原則において、教義において、福音の律法において、あなたがたが理解する必要がある神の王国に関するすべてのことにおいて、あなたがたがさらに完全に教えられるためである。

79 また、天のこと、地のこと、地の下のこと、かつてあったこと、現在あること、すぐにも必ず起こること、国内にあること、国外にあること、戦争と諸国民の混乱、地上にある裁き、国々と王国に関する知識についても同様である。

80 それは、わたしが再びあなたがたを遣わすときに、あなたがたが、わたしがあなたがたを召したその召しと、あなたがたを任命したその使命とを尊んで大いなるものとするように、あらゆる点で備えられるためである。

81 見よ、わたしは、人々に証し警告するためにあなたがたを遣わした。警告を受けた人は皆、その隣人に警告しなければならぬ。

82 それゆえ、彼らは弁解の余地がなく、彼らの罪は彼ら自身の頭にある。

74 ① マタ 20 : 1, 16

② レビ 20 : 7-8, 16

3 ニフ 19 : 28-29, 29,

③ GS 「清いものと清くないもの」

④ エテ 12 : 37

75 ① GS 「神・神会・父なる神」

「天の御父」

「入天の御父の霊の子供としての人間」

76 ① GS 「祈り」

② GS 「断食」

77 ① GS 「キリストの教義」

② GS 「教える、教師」

78 ① GS 「恵み」

② GS 「教義 88, 118, 155, 93, 53」

79 ① GS 「天」

② GS 「戦争」

81 ① GS 「警告」

② GS 「警告 63, 58, 58」

83 わたしを早く求める者は、わたしを見いだし、見捨てられないであろう。

84 それゆえ、あなたがた、すなわち主の口によって指名される者は皆、とどまつて熱心に働きなさい。それは、最後に異邦人の中に出て行き、律法を束ねて証を封じ、来るべき裁きの時に對して聖徒たちを備えさせる、あなたがたの務めにおいて完全になるためである。

85 それによつて、彼らが神の激しい怒り、すなわちこの世でも来るべき世でも悪人を待ち受けている忌まわしい荒廃を免れることができるためである。まことに、わたしはあなたがたに言う。最初の長老でない者たちには、彼らの時はまだ来ていないので、主の口が彼らを呼ぶまで、引き続きどう園にいるようにさせなさい。彼らの衣は、まだこの時代の人々の血から清められていない。

86 あなたがたは、自由にされたその自由の中にとどまつていなさい。罪に掛かり合うことなく、主が来るまであなたがたの手を清くしていなさい。

87 今から日ならずして、地が揺れ動いて、酔った者のようにあちらこちらとよろめくであろう。ま

た、太陽はその顔を隠して光を与えようとせず、月は血に浸される。また、もろもろの星は激しく怒り、木から落ちるいちじくのように落ちるであろう。

88 また、あなたがたの証の後に、激しい怒りと憤りが人々に及ぶ。

89 あなたがたの証の後に、地の中でうなりを起す地震の証が来る。そして、人々は立つていることができず、地上に倒れる。

90 また、雷の声と、稲妻の声と、暴風雨の声と、その境を越えて打ち上げる海の波の声の証も来る。

91 また、すべての物事が混乱する。そして、必ず人々は気落ちする。恐れがすべての人に及ぶからである。

92 また、天使たちが天のただ中を飛び、大声で叫び、神のラツパを吹き鳴らして言う。「おお、地に住む者よ、備えなさい、備えなさい。わたしたちの神の裁きが来たからである。見よ、見よ、花婿は来られる。あなたがたは花婿を迎えるに出なさい。」

93 そして直ちに、一つの大きな音が天に現れて、すべての人がともにそれを見る。

83 ①アル 37、35 ②申命 4、29、31 ③エレ 29、12、14 ④教義 54、10、11 84 ①ジール 16、17 ②マタ 24、15 ③教義 11、15 ④ヤコ 1、19、2、2、2 ⑤教義 112、33 ⑥「清さ」 GS「自由」 ⑦ヨハ 8、36 ⑧「選択の自由」 ⑨「モサ 5」 ⑩ガラ 5、1 ⑪ヨブ 17、9、15 ⑫詩篇 24、4、5 ⑬アル 5、19 87 ①イザ 13、4、13 ②教義 43、18 ③ヨエ 2、10、18 ④教義 45、42、133、49 ⑤黙示 6、12 ⑥ヨエ 3、15 ⑦ヨエ 3、33 ⑧黙示 8、5、5、5 ⑨教義 43、17、25 ⑩黙示 8、13 92 ①マタ 24、17 ②マタ 24、30、13 ③ルカ 21、25、27 ④「時のしるし」 GS 93 ①マタ 24、17 ②マタ 24、30、13 ③ルカ 21、25、27 ④「時のしるし」 GS 19

94 また、別の一人の天使が、ラツパを吹き鳴らし
て言う。「あの大いなる教会、すなわち、自分の不
貞に対する激しい怒りのぶどう酒をすべての国民
に飲ませ、神の聖徒たちを迫害し、彼らの血を流
した忌まわしい行いの母。すなわち、多くの水の
上に、また海の島々の上に座している者。見よ、
彼女に地の毒麦である。彼女は束にされる。その
縄は強く縛られて、だれもそれを解くことができ
ない。それであるから、彼女は焼かれるばかりで
ある。」そして、彼はそのラツパを長くかつ高く吹
き鳴らし、すべての国民がそれを聞く。
95 そして、半時間、天に静けさがある。その後直
ちに、巻き物が巻かれた後に開かれるように、天
の幕が開かれて、主の顔が現される。
96 そして、生きて地上にいる聖徒たちは、身を変
えられて、主に会うために引き上げられる。
97 また、墓の中で眠っていた者たちは、彼らの墓
が開かれるので出て来る。そして、彼らもまた、天
の柱のただ中で主に会うために引き上げられる。
98 彼らはキリストのもの、初穂、キリストとともに
最初に降る者、地上や墓の中にいてキリストに

会うために最初に引き上げられる者である。これは
すべて、神の天使が吹き鳴らすラツパの音による。
99 またこの後、別の天使が吹き鳴らすのは、第二の
ラツパである。それから、キリストの来臨の時にキ
リストのものとなる者たちの贖いが来る。これらの
者は、福音を受け入れて肉において人間として裁
きを受けるため、彼らのために備えられている獄
において彼らの分を受けた者である。
100 さらにまた、別のラツパが鳴り響くのは、第三
のラツパである。それから、裁きを受けて罪があ
ることを認められる人々の霊が来る。
101 これらの者は死者の残りである。千年が終わる
まで再び、すなわち世の終わりまで再び、彼らは
生きることはない。
102 また、別のラツパが鳴り響くのは、第四のラツ
パで、このように言う。「あの大いなる終わりの日
まで、すなわち最後まで残る者たちの中に、なお
汚れたままの者が見いだされる。」
103 また、別のラツパが鳴り響くのは、第五のラツ
パであり、天のただ中を飛びながらすべての国民、
部族、国語の民、民族に永遠の福音を託す第五の

94 ① 1ニフ13 4-9
GS ② 悪魔、悪魔の
教会
③ 黙示17 5
④ 黙示17 8
⑤ マテ13 38
⑥ 黙示64 23-24
⑦ 地球(地) 地球
の清め
95 ① 教義38 12
② 黙示6 14
③ GS「イエス、キリス
トの再臨」
④ 1テサ4 16-17
96 ① 教義29 13
② 45 46 133 56
97 ① 1ペテ4 6
98 ① 1コリ15 23
② 教義76 73、138 8
100 GS「死者の救い」
GS「罪の宣告」
① 黙示20 12-13
② アル11 41
101 ① 教義43 18、76 85
② 黙示20 5
③ GS「汚れ」
④ 黙示14 6-7
103 GS「福音の回復」

天使である。

104 これは、天と地と地の下にいるすべての人に告げるラツパの音である。そのラツパの音が聞こえて、「神を畏れ、とこしえにいつまでも御座に着いておられる神に栄光を帰しなさい。神の裁きの時が来たからである」と言うときに、すべての耳がそれを聞き、すべてのひざがかがみ、すべての舌が告白するからである。

105 さらにまた、別の天使がラツパを吹き鳴らすのは、第六のラツパで、このように言う。「自分の不貞に対する激しい怒りのぶどう酒をすべての国民に飲ませた者は倒れた。彼女は倒れた、倒れた。」

106 さらにまた、別の天使がラツパを吹き鳴らすのは、第七のラツパで、このように言う。「終わった、終わった。神の小羊は勝利を得て、御独りで酒ぶねを、すなわち全能の神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれた。」

107 その後、天使たちは小羊の力の栄光を冠として与えられる。また、聖徒たちは小羊の栄光をもって満たされ、彼らの受け継ぎを得、小羊と等しい者とされる。

108 それから、最初の天使が再び、すべての生ける者の耳にラツパを吹き鳴らし、最初の千年における人々の隠れた行いと神の力ある業を明らかにする。

109 それから、第二の天使がラツパを吹き鳴らし、第二の千年における人々の隠れた行いと、彼らの心の思いと志と、神の力ある業を明らかにする。

110 このようにして、第七の天使がラツパを吹き鳴らすに至る。そして彼は、地の上と海の上に立ち、御座に着いている者の名によって、もう時がないと誓う。また、あの年を経た蛇、悪魔と呼ばれているサタンは縛られ、千年の間解放されない。

111 その後、彼はしばしの間解放されて、自分の軍勢を集める。

112 また、第七の天使、すなわち天使長ミカエルは、彼の軍勢、すなわち天の衆群を集める。

113 また、悪魔は自分の軍勢、すなわち地獄の衆群を集め、ミカエルおよびその軍勢と戦うために上つて来る。

114 それから、大いなる神の戦いがある。そして、悪魔とその軍勢は、もはや決して聖徒たちを支配

104 ①GS「畏れ、恐れ―神への畏れ」

②「敬虔」
③黙示5・13
④イザ45・23、

⑤イザ45・9、11
⑥黙示14・8、

106 ①GS「神の小羊」
②1コリ15・25
③イザ63・3、4、

④黙示19・15、17、
⑤イザ63・3、4、

107 ①GS「聖徒」
②GS「日の栄え」

108 ①GS「昇栄」
②黙示76・95
③アル37・25、

④黙示84・100
⑤黙示20・1、3、

110 ①GS「ミカエル」
②黙示16・14

111 ①GS「福千年」
②黙示25・22

③GS「悪魔」
④黙示101・28、

⑤黙示22・26
⑥黙示22・26

112 ①GS「ミカエル」
②黙示16・14

113 ①GS「ミカエル」
②黙示16・14

114 ①GS「ミカエル」
②黙示16・14

する力を持つことのないように、彼らのおるべき場所
に投げ込まれる。

115 もしならば、ミカエルが彼らの戦いを戦い、そ
して御座に着いている者の御座、すなわち小羊の御
座を求めらる者に打ち勝つからである。

116 これは神の栄光であり、聖められた者の栄光で
ある。そして、彼らはもはや死を見ることがない
であろう。

117 それゆえ、まことに、わたしは友であるあなた
がたに言う。わたしがあなたがたに命じたように、
あなたがたの聖会を召集しなさい。

118 また、すべてが信仰を持っていてるわけではない
ので、あなたがたは知恵の言葉を熱心に求め、互
いに教えあいなさい。まことに、最良の書物から
知恵の言葉を探し求め、研究によって、また信仰
によって学問を求めなさい。

119 あなたがた自らを組織しなさい。すべての必要
なものを用意しなさい。そして、一つの家、すな
わち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、
栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。

120 それは、あなたがたの入って来ることが主の名

によって行われ、あなたがたの出て行くことが主の
名によって行われ、あなたがたのあいさつが、いつ
もいと高き方に向かつて両手を挙げて主の名によつ
て行われるためである。

121 それゆえ、あなたがたのすべての軽々しい話、
すべての高笑い、すべてのみだらな欲望、すべて
の高慢と軽薄、すべての邪悪な行いをやめなさ
い。

122 あなたがた自身の中から一人の教師を任命しな
さい。そして、全員が同時に語ることなく、一時
に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳
を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語
って、すべての者が互いに教化し合うように、ま
たすべての人が等しい特権を持てるようにするた
めである。

123 あなたがたは互いに愛し合うようにしなさい。
むさぼるのをやめなさい。福音が求めているよう
に、互いに分かち合うようになりなさい。

124 怠惰であるのをやめなさい。不純であるのをや
めなさい。互いに非難し合うのをやめなさい。必
要以上に長く眠るのをやめなさい。疲れること

115 ①イサ14:12-17、
モセ7:1-4
②「聖名」

116 ①「聖名」
②「聖名」

117 ①「聖名」
②「聖名」

118 ①「聖名」
②「聖名」

119 ①「聖名」
②「聖名」

120 ①「聖名」
②「聖名」

121 ①「聖名」
②「聖名」

122 ①「聖名」
②「聖名」

123 ①「聖名」
②「聖名」

124 ①「聖名」
②「聖名」

③「聖名」
④「聖名」

⑤「聖名」
⑥「聖名」

⑦「聖名」
⑧「聖名」

⑨「聖名」
⑩「聖名」

⑪「聖名」
⑫「聖名」

⑬「聖名」
⑭「聖名」

⑮「聖名」
⑯「聖名」

いように、早く床に就きなさい。あなたがたの体と精神が活気づけられるように、早起きをしなさい。

125 何よりも、完全と平和のきずなである慈愛のきずなを、外套のように身にまといなさい。

126 わたしが来るまで、気を落とさないうちに常に祈りなさい。見よ、見よ、わたしはすぐに来て、あなたがたをわたしのもとに迎え入れるであろう。

アーメン。

127 さらにまた、彼らに、すなわち教会のすべての役員に、言い換えれば、大祭司から始まって執事に至るまで教会で務めに召される者たちに、必要なすべてのことを教えるために設けられた、預言者の塾の塾長会のために備えられた家の規律。

128 塾長会の家の規律は、次のとおりである。塾長または教師になるように任命される者は、彼のために備えられるその家で、彼のいるべき場所に立つていなければならない。

129 それゆえ、彼は神の家に最初に来て、大声で話さなくてもその家の中の会衆が注意深くはつきりと彼の言葉を聞ける場所にいるようにしなければならぬ。

130 また、彼はその家に最初にいなければならないので―見よ、これは麗しく、彼は模範となる―彼は神の家に入るとき、

131 永遠の聖約のしるし、すなわち記念として、神の前にひざまずいて祈りをささげなさい。

132 そして、彼の後にだれかが入って来るとき、教師は立ち上がって両手を天に向けて、まことにま

つすぐに伸ばし、次のような言葉でその兄弟、または兄弟たちにあいさつしなさい。

133 「あなたは兄弟、または兄弟たちですか。わたしは永遠の聖約のしるし、すなわち記念として、主イエス・キリストの御名によってあなたにあいさつします。この聖約に従って、わたしは、神の恵みにより、愛のきずなをもつて、あなたの友になり兄弟になるという、また感謝をもつて、罪がなく、神のすべての戒めに従ってとこしえにいつまでも歩むという、確固とした揺るぎない不変の決意をもつてあなたを仲間に入れます。アーメン。」

134 また、このあいさつを受けるにふさわしくないこととされる者が、あなたがたの中に場所を得るようなことがあつてはならない。わたしの家がそのような

125 ① GS 平安、平和
② GS 慈愛
126 ① GS 教義 1・12
② GS 祈り
127 ① GS 職
② GS 礼拝
131 ① GS 預言者の塾
② GS 兄弟
姉妹
「シンプ」フェロー

者^{もの}によつて汚^{けが}されるのを、許^{ゆる}してはならないからである。

135 また、入^{はい}つて来る者^{もの}で、わたしの前^{まえ}に忠^{ちゅう}実^{じつ}であり、兄弟^{きょうだい}である者は、あるいは彼^{かれ}らが兄弟^{きょうだい}たちであれば彼^{かれ}らは、両^{りやう}手^てを天^{てん}に向けて伸^のばし、この同じ祈^{いの}りと聖^{せい}約^{やく}をもつて、またはその同じ^{おな}しとして「アーメン」と言^いうことにより、塾^{じゅく}長^{ちやう}または教師^{きょうし}にあいさつしなければならぬ。

136 見^みよ、まことに、わたしはあなたがたに言^いう。これが、神^{かみ}の家^{いえ}における預^よ言^{げん}者^{しゃ}の塾^{じゅく}で互^{たが}いに交^かわすあいさつのための、あなたがたにとつての一つの範^{はん}例^{れい}である。

137 あなたがたは、祈^{いの}りと感^{かん}謝^{しゃ}をもつて、また御^み霊^{たま}が告^つげるままに、以上^{いじやう}のことを行^{おこな}うように召^よさされている。御^み霊^{たま}は、主^{しゅ}の家^{いえ}における預^よ言^{げん}者^{しゃ}の塾^{じゅく}でああなたがたが行^{おこな}うすべてのことを告^つげるであろう。このように行^{おこな}うのは、主^{しゅ}の家^{いえ}が聖^{せい}所^{じよ}、あなたがたを教^{おそ}化する聖^{せい}なる御^み霊^{たま}の幕^{まく}屋^やとなるためである。

138 また、あなたがたは、この時代^{じだい}の人^{ひと}々の血^ちから清^{きよ}められている者^{もの}のほか、あなたがたの中のだれもこの塾^{じゅく}に受^うけ入^いれてはならない。

139 そして、洗^{せん}足^{そく}の儀^ぎ式^{しき}によつて受^うけ入^いれなければならない。この目的^{もくてき}で洗^{せん}足^{そく}の儀^ぎ式^{しき}は制^{せい}定^{てい}されたからである。

140 さらにまた、洗^{せん}足^{そく}の儀^ぎ式^{しき}は、教^{きやう}会^{かい}の大^{だい}管^{かん}長^{ちやう}、すなわち管^{かん}理^り長^{ちやう}老^{らう}が執^{しつ}行^{こう}しなければならぬ。

141 それは祈^{いの}りで始^{はじめ}なければならぬ。そして、パンとぶどう酒^{しゅ}を受^うけた後^{のち}、大^{だい}管^{かん}長^{ちやう}は、わたしに關^{かん}してヨハネの証^{あかし}の第^{だい}十三^{じゅうさん}章^{しょう}に与^{あた}えられている規^き範^{はん}に倣^{なら}つて仕^{した}度^{たく}しなければならぬ。アーメン。

第 89 章

千八百三十三年二月二十七日、オハイオ州^{しやう}カトラン^{らん}ドにおいて、預^よ言^{げん}者^{しゃ}ジョセフ・スミスを通^{とお}して与^{あた}えられた啓^{けい}示^じ。初期^{しき}の兄弟^{きょうだい}たちが集^{しゅう}会^{かい}中^{ちゆう}にたばこを常^{じやう}用^{よう}していたことから、預^よ言^{げん}者^{しゃ}はこの件^{けん}について深^{ふか}く考^{かん}えらるるよう^{よう}に導^{みちび}かれた。その結果^{けつ}果^{くわ}は、彼^{かれ}はこれについて主^{しゅ}に尋^{たず}ねた。「知^ち恵^えの言^{こと}葉^は」として知^しられるこの啓^{けい}示^じはその答^{こた}えであつた。

1-9 ぶどう酒^{しゅ}や強^{つよ}い飲^のみ物^{もの}、たばこ、および熱^{あつ}い飲^のみ物^{もの}の利^り用^{よう}が禁^{きん}止^しされる。10-17 草^{くさ}や果^{くわい}実^{じつ}、肉^{にく}、および

134 ① 教義 97 15 17
138 ① ① 110 7 18
139 ② ① ① 85 85 88 50 74 21 75 24
ヨハネの証
「洗い」
13 聖餐
4 17

穀物は、人間と動物が用いるように定められている。18
 21 「知恵の言葉」を含めて福音の律法に従うことは、物質的また霊的な祝福をもたらす。

1 カートランドに会した大祭司の集まりと、教会員と、シオンの聖徒たちのための「知恵の言葉」。

2 あいさつとして送られるもの。戒めや強制としてではなく、啓示と知恵の言葉としてのもので、終わりの時におけるすべての聖徒たちの現世の救いに関する神の方式と御心を示すもの。

3 約束を伴う原則として与えられるもので、現在聖徒である、あるいは聖徒と呼ばれ得るすべての聖徒の中の弱い者および最も弱い者の能力に適合するもの。

4 見よ、まことに、主はあなたがたにこのように言う。終わりの時に陰謀を企てる人々の心の中に今あり、また将来もある悪もくろみゆえに、わたしはあなたがたに警告を与えており、また、啓示によりこの知恵の言葉を与えることによって、あなたがたにあらじめ警告するものである。

5 すなわち、あなたがたの中のだれかがぶどう酒

や強い飲み物を飲むならば、見よ、それはあなたがたの父の目に良いとされず、父の目になわかない。これを飲んでよいのは、あなたがたが集まって、父の前にあなたがたの聖式をささげるときだけである。

6 また見よ、これはぶどう酒、すなわち、ぶどうで造った自家製の純粋なぶどう酒でなければならぬ。

7 さらにまた、強い飲み物は腹のためならず、あなたがたの体を洗うためのものである。

8 さらにまた、たばこは体のためにも、腹のためにもならず、人間のために良くないが、打ち身とあらゆる病気の家畜に利く薬草であり、判断力と熟練をもって用いるべきものである。

9 さらにまた、熱い飲み物は体や腹のためにならない。

10 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。神は健康に良いすべての草を、人間の体質、体力、利用のために定めた。

11 すなわち、それぞれの季節のあらゆる草と、それぞれの季節のあらゆる果実、これらはすべて、思

1 ① GS 「知恵の言葉」
 2 ① 教義 29 : 34、
 GS 「戒め(神の)」
 3 ① 教義 89 : 18 - 21
 4 ① GS 「秘密結社」
 ② GS 「欺き」
 ③ GS 「警告」
 5 ① レビ 10 : 9 - 11、
 イザ 5 : 11 - 12、
 1 コリ 6 : 10
 6 ① 教義 27 : 1 - 4
 7 ① 箴言 20 : 1、
 8 ① 23 : 29 - 35
 9 ① 1 コリ 3 : 16 - 17、
 10 ① GS 「植物」 創世 1 : 29、
 教義 59 : 17 - 20

慮分別と感謝をもつて用いるべきものである。12 まことに、獣の肉と空の鳥の肉もまた、主なるわたしは、人間が感謝をもつて用いるために定めた。しかしながら、これらは控えめに用いなければならぬ。

13 冬季や寒いときや飢饉のときのほか、これらを用いないことがわたしの心にかなう。

14 すべての穀物は人間と獣が用いるように、すなわち、人間のためだけでなく、野の獣と、空の鳥と、地上を走るあるいは這うすべての野生の動物のためにも、命の糧となるように定められている。

15 また、飢饉のときと飢えの甚だしいときにのみ人間が用いるように、神はこれらの生き物を造つた。

16 すべての穀物は人間の食物として良い。つるの実、地中であらうと地上であらうと、実を結ぶものの実もそうである。

17 しかしながら、人間には小麦、牛にはとうもろこし、馬にはえん麦、鳥と豚とすべての野の獣にはライ麦、すべての有益な動物には大麦、また温和な飲み物のためにはほかの穀物と同様に大麦がよい。

18 これらの言葉を守つて行うことを覚え、数々の戒めに従順に歩むすべての聖徒たちは、そのへそに健康を受け、その骨に髓を受けるであろう。

19 また、知恵と、知識の大いなる宝、すなわち隠された宝さえ見いだすであろう。

20 また、走つても疲れることがなく、歩いても弱ることはない。

21 また、主なるわたしは彼らに一つの約束を与える。すなわち、減はず天使はイスラエルの子らを通ぎ越したように彼らを過ぎ越して、彼らを殺すことはない。アーメン。

第 90 章

千八百三十三年三月八日、オハイオ州カートランドに

おいて与えられた、預言者ジョセフ・スミスへの啓示。この啓示は大管長会を確立するに当たつての継続的な一段階であり(第八十一章の前書きを参照)、この啓示の結果、ここに述べられている顧問たちが、千八百三十三年三月十八日に聖任された。

1-5 王国の鍵は、ジョセフ・スミスに、また彼を通じ

12 11 GS「感謝」
① 1 テモ4・3-4
② 創世9・3、
レビ11・18
14 ③ 教義59・20
18 ① ダニ1・6-20
19 ① 箴言3・8
20 GS「証」
21 GS「知恵」
22 ① イザ40・31
23 ② 出エ12・80
29

て教会にゆだねられている。6-7 シドニー・リグドンとフレデリック・G・ウィリアムズは、大管長会で働かなければならない。8-11 福音はイスラエルの諸国民と、異邦人と、またユダヤ人に宣べ伝えられなければならない。すべての人には自分の言葉で福音を聞くであろう。12-18 ジョセフ・スミスと彼の顧問たちは、教会を整えなければならぬ。19-37 何人もの人々が、まっすぐに歩んで主の王国で奉仕するように、主から勧告される。

1 主はこのように言う。まことに、まことに、わたしの子であるあなたに言う。あなたの祈りとあなたの兄弟たちの祈りがわたしの耳に達したので、あなたの嘆願どおりにあなたの罪は赦されている。2 それゆえ、与えられた王国の鍵を持つているあなたは、今から後、祝福される。この王国は最後に出て来ようとしている。

3 まことに、わたしはあなたに言う。あなたが世にいる間、また来るべき世においても、この王国の鍵があなたから取り去られることは決してない。

4 さらに、あなたを通じて、神託は別の者、すなわち教会員に与えられるであろう。

5 また、神託を受け入れるすべての者に、それらが軽々しいものと見なされることのないように、またそれによつて彼らが罪の宣告の下に置かれ、嵐が襲い、風が吹きつけ、雨が降つて彼らの家に打ちつけるときにつまずいて倒れることのないように、それらをどのように扱つか気をつけさせなさい。6 さらにまた、まことに、わたしはあなたの兄弟たち、シドニー・リグドンとフレデリック・G・ウィリアムズに言う。彼らの罪も赦されている。そして、彼らはこの最後の王国の鍵を持つことに關して、あなたと等しいと見なされる。

7 また、彼らは、あなたの働きによつて、わたしが組織するように命じた預言者の塾の鍵も持つ。

8 それによつて、彼らが、シオンの救いのために、また信じようとするすべてのイスラエルの諸国民と異邦人の救いのために、その務めにおいて完全になるためである。

9 また、あなたがたの働きによつて彼らが御言葉を受け、彼らの働きによつて御言葉が地の果てまで、すなわちまず異邦人のもとに出て行き、それから、見よ、見よ、彼らがユダヤ人に向かうため

1 ① GS「救し」
 2 ① 教義65:2、
 GS「神権の鍵」
 ② GS「神の王国」
 4 ① 使徒7:38、
 ロマ3:2、
 ヘブ5:12、
 教義124:39、126、
 GS「預言」
 5 ① マク7:26-27
 7 ① GS「預言者の塾」
 ② ① マク19:30、
 エテ13:10-12、
 ② ① 1ニフ13:42、
 教義107:33、133、8

ある。

10 その後、もろもろの国民、すなわち異教の諸国民、およびヨセフの家に、彼らの救いの福音を確信させるため、主の腕が力をもって現される日が来る。

11 その日には、イエス・キリストを啓示するために注がれる慰め主の働きによつて、この力を有する職に聖任される者たちを通じて、すべての人が自分の言葉と自分の言語で完全な福音を聞くであろう。

12 さて、まことに、わたしはあなたに言う。わたしはあなたに一つの戒めを与える。あなたは奉仕の務めと大管長の職を続けなさい。

13 そして、あなたは預言者の書の翻訳を終えたならば、その後、教会と塾の諸事を管理し、

14 また、折々慰め主により示されるままに啓示を受けて、王国の奥義を明らかにしなければならぬ。

15 また、諸教会を整え、研究して学び、すべての良い書物に通じ、またもろもろの言語と国語と民族に通じるようにしなければならぬ。

16 また、評議会を開いて管理し、この教会と王国のすべての事柄を整えることは、あなたがたの生涯にわたつての務めであり、使命である。

17 恥を受けることや、辱められることがあつてはならない。むしろ、すべてあなたがたの慢心と高慢について訓戒を受けるようにしなさい。それらはあなたがたにとつてわなとなるからである。

18 あなたがたの家を整えなさい。怠惰と汚れを遠ざけなさい。

19 さて、まことに、わたしはあなたに言う。できるだけ早くあなたの顧問兼筆記者、すなわちフレデリック・G・ウィリアムズの家族のために、場所を備えるようにしなさい。

20 また、わたしの年老いた僕ジョセフ・スミス・シニアを、彼が今住んでいる所に彼の家族とともに引き続き住まわせなさい。主の口が命じるまで、それを売らせてはならない。

21 また、わたしの顧問、すなわちシドニー・リグドンを、主の口が命じるまで、彼が今住んでいる所にとどまらせなさい。

22 また、ビシヨップは代理人を熱心に探して得る

10 ① 創世49 : 22、26
② 1ニフ15 : 13、17、27
③ 教義43 : 23、24
11 ① GS「慰め主、助け主」
② GS「神権」
③ GS「聖任」
④ GS「神の召し」
12 ① GS「伝道活動」
② GS「仕える」
13 ① GS「預言者の塾」
② GS「啓示」
14 GS「聖約」
15 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
16 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
17 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
18 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
19 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
20 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
21 ① GS「聖約」
② GS「聖約」
22 ① 教義84 : 11、13

ようにしなさい。代理人は富を蓄えた人、信仰の強い神の人でなければならぬ。

23 それによって彼がすべての負債を弁済できて、人々の目の前で主の倉が評判を落とすことのないためである。

24 熱心に探し、常に祈り、そして信じていなさい。あなたがたがまっすぐに歩み、互いに交わした聖約を思い起こすならば、万事があなたがたの益となるようにともに働くであろう。

25 あなたがたの家族に属さない者に関してであるが、あなたがたの家族を、特にわたしの年老いた僕ジョセフ・スミス・シニアの家族を少なくしなさい。

26 それは、わたしの業を成し遂げるためにあなたがたに与えられるものが、あなたがたから取り上げられて、ふさわしくない者に与えられることのないためである。

27 そのことによつてあなたがたは、わたしから命じられたことを成し遂げるのを妨げられるからである。

28 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに

言う。わたしの思ひは、わたしのはしたためビエナ・ジャックスが、彼女の費用を支払うために金銭を受け取つて、シオンの地の上つて行き、

29 金銭の残余をわたしに奉獻し、わたしがふさわしいとするときに報いを受けることである。

30 まことに、あなたがたに言う。彼女がシオンの地の上つて行き、ビショップの手から受け継ぎを得ることは、わたしの目にかなうことである。

31 それは、彼女が忠実であつて、その後生涯を通じて怠惰でなければ、平安に暮らすことができるようにするためである。

32 また見よ、まことに、あなたがたに言う。あなたがたはこの戒めを書き送り、愛のこもつたあいさつを添えて、わたしがふさわしいと思うときにシオンも管理するようにわたしがあなたがたを召したことを、シオンの兄弟たちに告げなければならぬ。

33 それゆえ、彼らに、この件についてわたしを煩わすことのないようにさせなさい。

34 見よ、わたしはあなたがたに言う。シオンのあなたがたの兄弟たちは悔い改めを始めており、天使たちは彼らのことを喜んでゐる。

24 22 ヤコブ 2 : 17 - 19

① GS 「熱心」

② GS 「祈り」

③ GS 「聖約（契約）」

④ エス 8 : 22

25 教義 100 : 15 127 - 18

① ジョセフ・スミス・シニアが世話をしていた貧しい人々のこと

32 ① 教義 107 : 91 - 92

35 しかしながら、わたしは多くのことを喜んでいない。わたしは、わたしの僕ウィリアム・E・マクレリンと、わたしの僕シドニー・ギルバートを喜んではいない。ビショップについても同じである。また、ほかの人々にも悔い改めるべき多くのことがある。

36 しかし、まことに、わたしはあなたに言う。主なるわたしはシオンと論じ合い、その強い者たちを説きつけ、シオンが勝利を得てわたしの前に清くなるまでシオンを懲らしめよう。

37 シオンがその場所から移されることはないからである。主なるわたしがこれを語った。アーメン。

第 91 章

千八百三十三年三月九日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者はこのとき、「旧約聖書」の翻訳に携わっていた。聖書外典と呼ばれる古代文書の部分に達したとき、彼は主に尋ね、この指示を受けた。

1-3 聖書外典は大部分正確に翻訳されているが、人の手によって書き入れられた真実でないものも多く含ま

れている。4-6 聖書外典は御霊に照らされる者に益を与える。

1 まことに、聖書外典に関して、主はあなたにこのように言う。その中には真実なことが多く載せられており、それは大部分正確に翻訳されている。

2 しかし、その中には真実でないことも多く載せられている。それは人の手によって書き入れられたものである。

3 まことに、わたしはあなたに言う。聖書外典を翻訳することは必要ではない。

4 それゆえ、それを読む者は、御霊が真理を明らかにするので理解しなさい。

5 御霊に照らされる者は、それから益を得るであらう。

6 また、御霊によって受けない者は、益を得られない。それゆえ、それを翻訳することは必要ではない。アーメン。

第 92 章

千八百三十三年三月十五日、オハイオ州カートランド

35 ① 教義 66 : 1、75 : 6-9

36 ② ① 「シオン」

③ 「清さ」

④ 「懲らしめ」

第 91 章

1 ① GS 「聖書外典」

4 ① GS 「理解」

5 ① GS 「聖霊」

〔聖霊〕

において、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。この啓示は、ジョセフ・スミスの顧問に任命されて間もないフレデリック・G・ウィリアムズに対して「共同商会」における彼の義務について教えたものである（第七十八章と第八十二章の前書きを参照）。

1-2 共同制度への加入に関する戒めが与えられる。

1 まことに、主はこのように言う。わたしは、以前に与えた戒めに従って組織された共同制度に、わたしの僕フレデリック・G・ウィリアムズに関する啓示と戒めを与える。あなたがたは、彼をこの制度に受け入れなければならない。わたしは一人に言うことをすべての者に言う。

2 さらにまた、わたしはあなた、すなわちわたしの僕フレデリック・G・ウィリアムズに言う。あなたはこの制度における活発な一員でなければならぬ。そして、これまでに与えられたすべての戒めを忠実に守るならば、あなたはとこしえに祝福されるであろう。アーメン。

第 93 章

千八百三十三年五月六日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-5 忠実な者は皆、主にまみえる。6-18 神の御子は御父の完全な栄光を受けるまで恵みに恵みを受けられたことを、ヨハネは証した。19-20 忠実な人々も恵みに恵みを受けることによって、御父の完全な栄光を受ける。21-22 キリストによって生まれる者は長子の教会である。23-28 キリストはすべての真理を受けられた。人も従順であることによつて、同じようにそれができる。29-32 人は初めに神とともにいた。33-35 元素は永遠であり、人は復活の時に満ちみちる喜びを受けることができる。36-37 神の栄光は英知である。38-40 キリストの贖いがあるので、子供たちは神の前に罪がない。41-53 指導的立場にある兄弟たちが、自分の家族を整えるように命じられる。

1 まことに、主はこのように言う。自分の罪を捨て、わたしのもとに来て、わたしの名を呼び、わた

第92章

1 ① 教義22・11、15-21
GS 「共同制度」

第93章

1 ① GS 「悔い改め」
「ふさわしさ」
② ヨエ2・32

しの声に從い、わたしの戒めを守る者は皆、わたしの顔を見て、わたしがいることを知るであろう。

2 また、わたしが世に来るすべての人を照らすまことの光であること、

3 また、わたしが父におり、父がわたしにおられ、父とわたしが一つであることを知るであろう。

4 父と一つであるというのは、父がわたしに御自分の完全を与えてくださったからである。また、

子であるのは、わたしが世にいて、肉体をわたしの幕屋とし、人の子らの中に住んだからである。

5 わたしは世にいて、父から受けた。そして、父の業は分かりやすく示された。

6 また、ヨハネはわたしの完全な栄光を見て、証した。ヨハネのすべての記録は、この後明らかにされる。

7 彼は証して言った。「わたしは彼の栄光を目にし、また世界が存在する前に初めに彼がおられたのを見た。

8 それゆえ、初めに言葉があった。彼は言葉、すなわち救いの使者であり、

9 世の光であり、世の贖い主であり、世に来られ

た真理の御霊であった。彼が世に来られたのは、世が彼によつて造られたからである。また、彼の中に人の命と人の光があった。

10 もろもろの世界は彼によつて造られた。人は彼によつて造られた。万物は彼によつて、彼を通じて、彼から造られた。

11 わたしヨハネは証する。わたしは御父の、恵みと真理に満ちておられる独り子の栄光としての、すなわち世に来て肉体に宿り、わたしたちの中に住まわれた真理の御霊の栄光としての彼の栄光を見た。

12 また、わたしヨハネは、彼が最初から完全は受けず、恵みに恵みを加えられたのを見た。

13 彼は最初から完全は受けず、恵みに恵みを受け続け、ついに完全を受けられた。

14 このようにして、彼は神の子と呼ばれた。彼は最初から完全は受けられなかったからである。

15 わたしヨハネは証する。見よ、天が開かれ、聖霊が鳩の形を取つて彼のの上に降つて、彼の上にとどまられた。また、天から声があつて言われた。

『これはわたしの愛する子である。』

16 わたしヨハネは証する。彼は御父の完全な栄光

1 ③ GS「従順、従う」
④ ① 15ヨハ4:12
(付録)
⑤ ① 出エ33:11、教義67:38、7:8、67:10、12、88:68、101:23、130:3、CS「慰め主、助け主」
2 ① ヨハ1:4-9、教義14:9、84:45、147、88:6、7、CS「光、キリストの光」
3 ① ヨハ10:25、38、17、20、23、教義50:43、45
4 ① モサ15:1-7
② GS「イエス、キリスト、権威」
③ ルカ1:26、35、14:14、3ニフ1:2、14、エネ3:14、16
5 ① ヨハ5:36、10:12、25、14、11、12、34
6 ② GS「イエス、キリスト、栄光」
7 ③ ヨハ20:30、31
① ヨハ1:1、3、14、17、5、教義76:39
8 ① GS「イエス、キリスト」
9 ① GS「光、キリストの光」
② GS「贖い主」
10 ① ヘブ1:1-3、教義76:24、モセ1:31、33
11 ② ヨハ1:2、6、11
① ヨハ1:2、6、11
12 ① ルカ2:51、35、13
① ヨハ1:29、34
15 ① ヨハ1:29、34

を受けられた。

17 彼は天においても地においても、一切の權威を受けられた。そして、御父の栄光は彼とともにあった。御父が彼のうちにおられたからである。」

18 さて、もしあなたがたが忠実であれば、あなたがたはヨハネの記録のすべてを受けけるであろう。

19 わたしはこれらの言葉をおなたがたに与える。

それは、あなたがたが礼拝する方法を理解して知り、また自分が礼拝するものを知ることによって、あなたがたがわたしの名により父のもとに来て、定められたときに父の完全を受けられるようにするためである。

20 あなたがたは、わたしの戒めを守るならば、父の完全を受け、わたしが父によって受けているように、あなたがたはわたしによって栄光を受けるからである。それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは恵みに恵みを加えられるであらう、と。

21 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしは最初に父とともにいた。わたしは長子である。

22 また、わたしによって生まれる者は皆、長子の栄光にあずかる者であり、長子の教会である。

23 あなたがたも最初に父とともにおり、御霊すなわち真理の御霊であった。

24 真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である。

25 これ以上のこと、あるいはこれ以下のことは何であらうと、初めから偽り者であったあの悪い者の霊である。

26 真理の御霊は神から出ている。わたしは真理の御霊であり、ヨハネはわたしについて証して、「主は完全な真理、すなわちすべての真理を受けられた」と言った。

27 人はだれも神の戒めを守らないかぎり、完全な真理を受けることはない。

28 神の戒めを守る者は真理と光を受け、ついに真理によって栄光を受けて、すべてのことを知るようになる。

29 人もまた最初に神とともにいた。英知すなわち真理の光は、創造されることも、作られることも

15 GS「聖靈」
② GS「扇のしるし」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
17 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
18 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
19 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
20 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
21 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
22 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
23 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
24 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
25 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
26 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
27 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
28 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」
29 ① GS「マタ」
② GS「マタ」
③ GS「マタ」
④ GS「マタ」

なく、実にそうすることのできないものである。
 30 すべての真理は、神がそれを置かれた領域において独立し、それ自体で作用する。すべての英知も同様である。そうでなければ、存在というものはない。

31 見よ、ここに人の選択の自由があり、またここに人の罪の宣告がある。なぜならば、初めからあったものが分かりやすく示されているのに、彼らがその光を受け入れないからである。

32 その霊が光を受け入れない者は皆、罪の宣告の下にある。

33 人は霊である。元素は永遠であり、分離しないように結合した霊と元素は、満ちみちる喜びを受ける。

34 これらが分離するとき、人は満ちみちる喜びを受けることはできない。

35 その元素は神の幕屋である。まことに、人は神の幕屋すなわち神殿である。そして、いかなる神殿でも汚されると、神はその神殿を滅ぼすであらう。

36 神の栄光は英知である。言い換えれば、光と真

理である。

37 光と真理はあの悪しき者を捨てて。

38 人の霊は皆、初めに罪がなかった。そして、神が人を墮落から贖ったので、人々は、幼児の状態で、再び神の前に罪のない者となった。

39 そして、あの邪悪な者が来て、人の子らから、不従順によって、また先祖の言い伝えによって、光と真理を取り去る。

40 しかし、わたしはあなたがたに、あなたがたの子供たちを光と真理の中で育てるようにと命じた。

41 しかし、まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕フレデリック・G・ウイリアムズに言う。あなたは引き続きこの罪の宣告の下にある。

42 あなたは、戒めに従ってあなたの子供たちに光と真理を教えてこなかった。そのために、あの邪悪な者は今なおあなたを支配する力を持っている。

43 さて、わたしは戒めをあなたに与える。すなわち、あなたは救い出されたいと望むならば、自分自身の家を整えなければならぬ。あなたの家には、

正しくないことがたくさんあるからである。

31 30 ① 2ニフ2・13-27

① GS「選択の自由」

② 申命30・11-14

③ 教義84・23-24

32 ① GS「真理」

② 光、キリストの光」

33 ① 教義77・2、

アプ5・7-8、

GS「一人の御父の霊の子供としての人間」

② 教義131・7-8、

138・17 GS「復活」

34 ① 2ニフ9・8-10

② GS「喜び」

35 ① 教義130・22

② 1コリ3・16-17

36 ② 教義130・18-19、

ト「栄光」

① GS「英知」

37 アプ3・19、GS「英知」

① 教義88・6-13

38 ① モゼ1・12-16、

GS「悪魔」

39 ① GS「罪がない」

② GS「墮落(アダムとエバの)」

37 ① GS「罪がない」

② GS「墮落(アダムとエバの)」

③ モサ27・24-26、

モゼ5・9、簡条1・3、GS「贖い、贖う」

42 ④ モロ6・8、12、

22、教義29・46-47、

GS「救い」幼い子供たちを救い」

39 ① エゼ20・18-19、

アル3・8、

GS「言い伝え」

40 ② マタ13・18-19、

2コリ4・3-4、

アル12・9-11

41 GS「家族、親の責任」

① サ上25・11-13、

教義68・25-31

44 まことに、わたしの僕シドニー・リグドンに言う。子供たちに関する幾つかの事柄について戒めを守っていないことがある。それゆえ、まずあなたの家を整えなさい。

45 まことに、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアに言う。言い換えれば、あなたがたを友と呼ぼう。あなたがたはわたしの友であり、わたしとともに受け継ぎを得るからである。

46 わたしは世のためにあなたがたを僕と呼んだ。そして、あなたがたはわたしのために彼らの僕となる。

47 さて、まことに、わたしはジョセフ・スミス・ジュニアに言う。あなたは戒めを守らなかったで、主の前に必ず責めを受けなければならない。

48 あなたの言うことにもっと真剣に注意を払わなければならぬ。そうしなければ、彼らの場所から退けられることになる。

49 わたしは一人に言うことをすべての者に言う。あの邪悪な者があなたがたの中で力を持ち、あなたがたの場所からあなたがたを退けることのないよ

うに、常に祈りなさい。

50 わたしの教会のビショップである、わたしの僕ニユール・K・ホイットニーも、懲らしめを受ける必要があり、また家族を整える必要がある。また、家族の者に、家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わり、常に祈るようにさせる必要がある。そうしなければ、彼らはその場所から退けられるであろう。

51 さて、わたしは友であるあなたがたに言う。わたしの僕シドニー・リグドンは旅に出なさい。急ぎなさい。そして、わたしが彼に語る力を与えるままに、主の恵みの年と救いの福音を告げ知らせなさい。心一つにしたあなたがたの信仰の祈りによって、わたしは彼を支えよう。

52 また、わたしの僕たち、ジョセフ・スミス・ジュニアとフレリック・G・ウィリアムズも急ぎなさい。そうすれば、まことに信仰の祈りに応じて与えられるであろう。あなたがたはわたしの言うことを守るならば、この世でも来るべき世でも、辱められることはない。

53 また、まことに、わたしはあなたがたに言う。

41 ① 1 テモロウ 4:5
42 ① 教義 84:63、88:62
43 ① レビ 25:55、
1 ニフ 21:3、8、
44 ① GS 「奉仕」
45 ① GS 「奉仕」
46 ① GS 「養らしめ」
47 ① GS 「家族」子供の責任
48 ① GS 「3 つ 18、15、21
49 ① 教義 64:40
50 ① ルカ 4:19

わたしの思いは、あなたがたがわたしの聖文を急いで翻訳して、歴史の知識と、国々の知識と、もろもろの王国の知識と、神と人の法の知識を早く得ることである。これはすべてシオンの救いのためである。アーメン。

第94章

千八百三十三年八月二日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。ハイラム・スミス、レイノルズ・カフーン、およびジェレド・カーターが、教会建築委員会として任命される。

1-9 大管長の務めのために家を建てることについての戒めが与えられる。10-12 印刷所を建てなければならぬ。13-17 幾つかの受け継ぎが割り当てられる。

1 さらにまた、まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。わたしは一つの戒めをあなたがたに与える。あなたがたはこのカートランドの地で、わたしの家から始めて、シオンのステークの町の始

まりと基を据えて準備する仕事を開始しなければならない。

2 見よ、それは、わたしがあなたがたに与えた型に従って行わなければならない。

3 南側の第一の敷地をわたしに奉獻して、大管長会のために、また啓示を受けるといふ大管長の務めのために、また教会と王国に関するすべてのことにおける大管長の奉仕の業のために、一つの家を建てるようにしなさい。

4 まことに、わたしはあなたがたに言う。それは、内部の部屋が幅五十五フィート、奥行六十五フィートとなるように建てなければならない。

5 また、この後あなたがたに与えられる型に従って、下の部屋と上の部屋を設けなければならない。

6 また、この後あなたがたに与えられる型に従い、神権の方式にのっとって、それをその土台から主に奉獻しなければならない。

7 大管長の務めのために、それをことごとく主に奉獻しなければならない。

8 また、あなたがたは、何であろうと清くないものがそこに入るのを許してはならない。そうすれ

53 ① GS「ジョセフ・スミス訳(15)」
③ ② GS「知識」
③ 教義 88-76-80、

第94章

1 ① 教義 93-45
2 ② GS「ステーク」
3 ① 教義 107-14-15
8 ① ルカ 19-45-22
教義 109-16-46

ば、わたしの栄光はそこにあり、わたしはそこに
いる。

9 しかし、もしも何であろうと清くないものがそ
こに入るならば、わたしの栄光はそこになく、わ
たしはそこに来ることはない。

10 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに
言う。南側の第二の敷地もわたしに奉獻して、わ
たしの聖文の翻訳の印刷、ならびにわたしがあな
たがたに命じるすべてのものの印刷の仕事のため
に、わたしに対して一つの家を建てなさい。

11 それは、内部の部屋が幅五十五フィート、奥行
六十五フィートで、下の部屋と上の部屋を設けな
ければならない。

12 この家は、わたしがあなたがたに命じるすべて
のものを印刷するために、また清くかつ汚されない
ために、すべてのことにおいてあなたがたに与えら
れるままの型に従って、その土台からことごとく
主に奉獻しなければならぬ。

13 また、第三の敷地は、わたしの僕ハイラム・ス
ミスが受け継ぎとして得るものである。

14 また、北側の第一と第二の敷地は、わたしの僕

たち、レイノルズ・カフィンとジェレド・カーター
が受け継ぎとして得るものである。

15 それは、主なる神であるわたしがあなたがたに
与えた命令どおりに、彼らがわたしの家を建てる
委員会としての、わたしから定められた仕事を行う
ためである。

16 これら二つの家は、それに関してわたしがあな
たがたに命じるまで建ててはならない。

17 さて、わたしは今あなたがたにこれ以上のこ
とを示さない。アーメン。

第 95 章

千八百三十三年六月一日、オハイオ州カートランドに
おいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓
示。この啓示は、礼拝と教えのために家、すなわち主の
宮を建てるようにとの神の指示の続きである（第八十八
章百九十九―百三十六節を参照）。

1―6 聖徒たちは、主の宮を建てるのを怠ったために
懲らしめを受ける。7―10 主は、御自分の民に高い所か
ら力を授けるために御自分の宮を使うことを望んでおら

8 列上 9 : 10-11

GS 「栄光」

① 教義 97 : 15-17

② GS 「ジョセフ・スミ

ス 訳 (15) -

② 教義 104 : 58-59

れる。11-17 礼拝の場所として、また使徒の塾のため
に、その宮を奉獻しなければならぬ。

1 まことに、主は、愛するあなたがたにこのよう
に言う。そして、わたしはまた、愛する者たちを
懲らしめる。それは、彼らの罪が赦されるため
である。わたしは懲らしめるとともに、すべてのこと
において彼らが誘惑から救い出される道を備える
からである。わたしはあなたがたを愛してきた。

2 それゆえ、あなたがたは必ず懲らしめを受け、
わたしの前に必ず責めを受けなければならぬ。

3 あなたがたはわたしに対して非常に重い罪を犯
したからである。すなわち、あなたがたは、わたし
の家を建てることに關してわたしがあなたがたに
与えた大いなる戒めを、あらゆる点で考慮しなかつた。

4 その家を建てるのは、使徒たちにわたしのぶど
う園で最後に刈り込みをする備えをさせようと考
えている準備のためである。それによって、わた
しが比類のない業を行い、またわたしの御霊をす
べての肉なるものに注ぐためである。

5 しかし見よ、まことに、わたしはあなたがたに
言う。あなたがたの中には聖任され、召された者は
多いが、選ばれた者は少ない。

6 選ばれなかった者たちは非常に重い罪を犯した。
すなわち、彼らは真昼に暗闇の中を歩いている。

7 このために、わたしはあなたがたに、聖会を召
集しなければならぬという戒めを与えたのであ
る。聖会を召集するのは、あなたがたの断食とあ
なたがたの嘆きがサバオスの主、訳せば、最初の
日の創造主、初めであり終わりである者の耳に達
するようにするためである。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたし
は、一つの家を建てるようにという戒めをあなたが
たに与えた。わたしはこの家の中で、わたしが選ん
だ者たちに高い所から力を授けようと考えている。

9 これがあなたがたへの父の約束である。それゆ
え、わたしはあなたがたに、エルサレムのわたしの
使徒たちのようにとどまることを命じる。

10 それにもかかわらず、わたしの僕たちは非常に
重い罪を犯した。預言者の塾で論争が起こつた
が、これはわたしにとって非常に悲しいことであ

第95章

1 ①申命11:1-8、
箴言13:18
ヘブ12:5-11
ヒラ15:3、
教義101:4-5、105:6
GS「懲らしめ」
GS「怒らしめ」
GS「誘惑」
② ①コリ10:13
③ ハガ1:7-11、
教義88:119、
GS「神殿、主の宮」
④ ①ヤコ5:61-75、
教義24:19、33-4、
GS「ぶどう園(果樹園)
主の」
⑤ ②イザ28:21、
教義101:95-21、
ヨエ2:28、
教義19:38、
GS「聖霊」
⑥ 「御霊の賜物」
⑦ ①マタ20:16、
教義105:35-37、
GS「選び」
⑧ ①GS「暗闇
(霊的)」
⑨ ①教義88:70、
74、82、117、120
GS「断食」
⑩ ④GS「エホバ」
⑪ GS「創造
創造する」
⑫ ①教義38:32、39、
43、16
⑬ 「エンゲラメント」
⑭ ①ルカ24:49
⑮ GS「預言者の塾
争い」

った、とあなたがたの主は言う。それゆえ、わたしは懲らしめを与えるために彼らを追い出した。

11 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの思いは、あなたがたが家を建てることである。あなたがたは、わたしの戒めを守るならば、それを建てる力を持つであろう。

12 もしあなたがたがわたしの戒めを守らなければ、父の愛が引き続きあなたがたに伴うことはなく、それゆえあなたがたは暗闇の中を歩くことになる。

13 さて、ここに知恵があり、主の思いがある。わたしはあなたがたが世の方法で生活するのを望まないで、世の方法によらずにその家を建てなさい。14 わたしがあなたがたの中の三人に示す方法に従って、それを建てなさい。そのために、あなたがたは彼らをしてこの力を持つように選び、聖任しなければならぬ。

15 その家の大きさは、内部の部屋が幅五十五フィート、奥行六十五フィートでなければならぬ。

16 そして、内部の一階は、あなたがたの聖式をささげるために、またあなたがたの説教と、断食と、祈りのために、またあなたがたの最も聖なる望みを

わたしにささげるために、わたしに奉獻しなさい、とあなたがたの主は言う。

17 また、内部の二階はわたしの使徒たちの塾のためにわたしに奉獻しなさい、と子なるアーマン、言い換えれば、アルパス、言い換えれば、オメガス、すなわちあなたがたの主イエス・キリストは言う。アーマン。

第 96 章

千八百三十三年六月四日、オハイオ州カートランドにおいて、シオンの町またはステーキの制度を示すために、カートランドの聖徒たちへの手本として預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。この啓示が与えられたのは、大祭司の大会のときである。この大会で考慮された主要な事項は、カートランドの近くで教会が所有していたフレンチ農場として知られる土地の扱い方であった。大会ではその土地の責任をだれが持つかについて意見の一致を見なかつたので、すべての者はその件について主に尋ねることに同意した。

1 シオンのカートランドステーキを強くしなければな

17 16 12
 ② ① ① ① ② ①
 GS 教義 1 ヨハ 15
 義 59 2 10
 78 9 10
 20 9 14
 15

らない。2-5 ビシヨップは聖徒たちのために受け継ぎを分配しなければならぬ。6-9 ジョン・ジョンソンは、共同制度の一員にならなければならぬ。

1 見よ、わたしはあなたがたに言う。ここに知恵があり、これによって、あなたがたは、この件に関してどのように行うべきかを知ることができる。シオンを強くするためにわたしが設けたこのステークを強くすることは、わたしにとって必要である。

2 それゆえ、わたしの僕ニューエル・K・ホイットニーは、今あなたがたが述べているその場所に対する責任を持つようにしなさい。わたしはそこにわたしの聖なる家を建てることを考えている。

3 さらにまた、あなたがたが評議会で決めるとおりに、受け継ぎを求める者たちのために、知恵を用いてそこを区割りするようにしなさい。

4 あなたがたはこのことに注意を払い、また人の子らにわたしの言葉をもたすためにわたしの制度に利益を与えるのに必要な部分にも、注意を払うようにしなさい。

5 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。

人の子らの心をあなたがたのために和らげる目的をもって、わたしの言葉が人の子らの中に出て行くこと、これがわたしの最も必要としていることである。まことにそのとおりである。アーメン。

6 さらにまた、まことに、あなたがたに言う。わたしの知恵にかなひ、またわたしが必要としていることがある。わたしは僕であるジョン・ジョンソンのささげ物を受け入れ、彼の祈りを聞いた。彼が今から後わたしの戒めを守るならば、わたしは彼に永遠の命の約束を与える。

7 彼はヨセフの子孫であり、その先祖に与えられた約束の祝福にあずかる者だからである。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしが必要としているのは、彼が制度の一員となつて、人の子らにわたしの言葉をもたす助けをすることである。

9 それゆえ、あなたがたは、この祝福に彼を聖にしなければならぬ。そして、彼は今あなたがたが述べているその家の抵当権を取り除くように熱心に努めて、そこに住めるようにしなければならぬ。

まことにそのとおりである。アーメン。

第97章

千八百三十三年八月二日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者シヨセフ・スミスを通じて与えられた啓示。この啓示は、特にミズーリ州ジャクソン郡シオンにおける聖徒たちのことを扱っており、預言者が主に導きを求めたことへの答えとして与えられたものである。当時、ミズーリ州の教会の会員たちは厳しい迫害を受けており、彼らはジャクソン郡を去るという合意書によって、千八百三十三年七月二十三日に無理やり署名させられていた。

1-2 (ミズーリ州ジャクソン郡) シオンの聖徒たちの多くは、彼らの忠実さのゆえに祝福される。3-5 パーリー・P・プラットは、シオンにおける学校での働きを褒められる。6-9 聖約を守る者は、主によって受け入れられる。10-17 心の清い者が神にまみえる場所である一つの宮を、シオンに建てなければならない。18-21 シオンとは、心の清い者である。22-28 シオンは、忠実であれば主の懲らしめを免れる。

1 まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。わたしの声、すなわちわたしの御霊の声をもつ

てあなたがたに語る。それは、^①シオンの地におけるあなたがたの兄弟たち、その多くが心からへりくだり、知恵を得て真理を見いだそうと熱心に努めているその兄弟たちについて、わたしの思いをあなたがたに示すためである。

2 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。そのような者はそれを得るので、幸いである。主なるわたしは、^②柔和な者すべてと、わたしの欲する者すべてに憐れみを示すからである。それは、わたしが彼らを裁くときに、わたしが正しいとされるためである。

3 見よ、わたしは、シオンにおける塾に關してあなたがたに言う。主なるわたしは、シオンに塾があることを心から喜んでおり、またわたしの僕パーリー・P・プラットのことも、彼がわたしにつながっているのだから喜んでゐる。

4 そして、彼が続けてわたしにつながってれば、わたしがほかの戒めを彼に与えるまで、彼はシオンの地における塾を引き続き管理するのであらう。

5 また、わたしは、彼がシオンにおける塾と教会を教化するために、すべての聖文と奥義を説き明か

せるように、多くの祝福をもって彼を祝福しよう。
 6 塾の残りの者に、主なるわたしは喜んで憐れみを示す。にもかかわらず、懲らしめを受けなければならぬ者たちがおり、彼らの行いは知らされるであろう。

7 斧は木の根元に置かれていた。良い実を結ばない木はことごとく切り倒されて、火の中に投げ込まれるであろう。主なるわたしがこれを語った。

8 まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らの中で、その心が正直で、打ち砕かれていて、かつその霊が悔いていることを知っており、また犠牲を払って、すなわち主なるわたしが命じるあらゆる犠牲を払って自分の聖約を進んで守ろうとするすべての者は、わたしに受け入れられる。

9 主なるわたしは、良い土地で清らかな流れのほとりに植えられた、多くの貴い実を結ぶ実り豊かな木のように、彼らに実を結ばせるからである。

10 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの思いは、わたしがあなたがたに与えた型に倣って、シオンの地にわたしのために一つの家を建てることである。

11 すなわち、わたしの民の納める什分の一によって速やかにそれを建てなさい。

12 見よ、これは、シオンの救いのためにわたしに一つの家を建てるように、主なるわたしが彼らの手に求める什分の一と犠牲である。

13 すなわち、この家は、すべての聖徒たちが感謝をささげる場所として、またそれぞれの召しと職のすべてにおいて奉仕の業に召されたすべての人を教える場所として建てられるものである。

14 それは、彼らの務めを理解することにおいて、理論において、原則において、教義において、その王国の鍵があなたがたに授けられている地上の神の王国に関するすべてのことにおいて、彼らが完全になるためである。

15 また、わたしの民が主の名によってわたしに一つの家を建て、それが汚されないように、何であろうと清くないものがそこに入るのを許さなければ、わたしの栄光はそのうえにとどまるであろう。

16 まことにまた、わたしはそこにいる。わたしはそこに来るからである。そして、そこに入って来る心の清い者は皆、神を見るであろう。

7 ① GS「懲らしめ」
 ② マタ 3 : 10
 ③ ルカ 6 : 43・45
 ④ アル 5 : 36・52
 ⑤ 3ニフ 14 : 15・20

8 ① GS「打ち砕かれた心」
 ② GS「正直」
 ③ 教義 64 : 34

10 ① 教義 52 : 15、132 : 50
 ② 教義 57 : 14・16
 ③ 教義 57 : 3
 ④ GS「什分の一」

12 ① GS「神殿」
 ② GS「理解」
 ③ GS「感謝」
 ④ GS「理解」

14 ① GS「神権の鍵」
 ② GS「神の王国」
 ③ GS「天の王国」
 ④ 天の王国 94 : 9、109 : 20・21

15 ① 教義 84 : 5
 ② ハガ 2 : 7
 ③ 教義 110 : 1・10
 ④ マタ 5 : 8、88 : 68
 ⑤ GS「清さ」

17しかし、もしもそれが汚されるならば、わたし
 がそこに来ることではなく、わたしの栄光はそこにな
 い。わたしは清くない神殿には来ないからである。
 18さて見よ、シオンがこれらのことを行うなら
 ば、シオンは栄え、自らを広げ、非常に栄光に満ち
 た、きわめて大いなる、そして甚だ恐ろしいものと
 なるであろう。

19そして、地のもろもろの国民はシオンを尊び、
 言うであろう。「確かにシオンは我々の神の都であ
 り、また、確かにシオンは倒れることも、その場所
 から移されることもあり得ない。神がそこにおら
 れ、主の御手がそこにあるからである。」

20主はシオンの救いとなりシオンの高いやぐらに
 になると、その強い力によって誓われた。」

21それゆえ、主はこのように言う。まことに、シ
 オンを喜ばせなさい。心の清い者、これこそシオ
 ンである。それゆえ、シオンを喜ばせなさい。一
 方、悪人は皆嘆き悲しむであろう。

22見よ、見よ、報復は神を敬わない者のうえに旋
 風のように速やかに及ぶ。そして、だれがそれを免
 れるであろうか。

23主の懲らしめは夜も昼も通り行き、その知らせ
 はすべての人を悩ます。すなわち、主が来るまで、
 それはとどめられないであろう。

24主の憤りは、彼らの忌まわしい行いとすべての邪
 悪な行いに向かつて燃えているからである。

25それでも、シオンがわたしの命じたすべてのこ
 とを努めて行うならば、シオンは免れるであろう。

26しかし、もしシオンがわたしの命じたことを何
 であろうと努めて行うようにしなければ、わたしは
 シオンのすべての行いに応じて、ひどい苦難、疫
 病、悪疫、剣、報復、焼き尽くす火をシオンに見
 舞おう。

27しかしながら、この度に限って、シオンの耳に次
 のことを読み聞かせなさい。すなわち、主なるわた
 しはシオンのささげ物を受け入れた。そして、シ
 オンがこれからもう罪を犯さなければ、これらのこ
 とはどれもシオンに及ばないであろう。

28また、わたしは数々の祝福をもつてシオンを祝
 福し、シオンと、シオンの代々の子孫にとこしえに
 いつまでも多くの祝福を増し加える、と主なるあ
 なたがたの神は言う。アーメン。

19 18 ① 教義 90・24、
 ① イザ 60・12、
 ② セカ 2・10、
 ③ 教義 45・66、70、49・10
 20 ① GS「新エルサレム」
 ② サ下 22・3
 21 ① モセ 7・18、
 ② GS「清き」シオン」
 22 ① GS「報復」
 23 ① イザ 28・14、19、
 ② 教義 45・31
 25 ① 2ニ 7・6、13、18、
 ② 教義 63・34
 26 ジーマター 20
 ① ルカ 4・11、13
 ② マラ 4・11、13
 3ニ 7・21、20、21
 ③ ヨエ 1・15、20
 ④ 教義 84・54、59、20
 27 ① エセ 18・27
 ② GS「祝福」

第 98 章

千八百三十三年八月六日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示は、ミズーリの聖徒たちに対して迫害があったために下されたものである。ミズーリ州に定住する教会員が増加したことが、ほかの一部の定住者にとって問題となった。彼らは聖徒の人数や政治的また経済的な影響力、さらに文化的また宗教的な違いに脅威を感じたのである。千八百三十三年七月、暴徒は教会の資産に危害を加え、二人の教会員にタールを塗って鳥の羽を付け、聖徒がジャクソン郡から退去するよう要求した。ミズーリでの問題について、多少の知らせが（およそ千四百五十キロ離れていた）カートランドの預言者に届いていたことは疑いもないが、彼は、啓示によらなければ、その事態の重大さをこの日に知ることはできなかったはずである。

1-3 聖徒たちの苦難は、彼らの益となる。4-8 聖徒たちは、国の合憲的な法律を擁護しなければならぬ。9-10 正直で、賢明で、善良な人々を支援し、彼らが公職に就くようにしなければならぬ。11-15 主の太

義において自分の命を捨てる者は、永遠の命を得るであろう。16-18 戦争を放棄して、平和を宣言しなさい。19-22 カートランドの聖徒たちは責めを受け、悔い改めるように命じられる。23-32 主の民が被る迫害と苦難について、主は律法を明らかにされる。33-38 戦争は、主が命じられるときのみ正しいとされる。39-48 聖徒たちは敵を赦さなければならぬ。敵が悔い改めるならば、彼らも主の報復を免れるであらう。

1 まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。恐れてはならない。心に慰めを得なさい。まことに、いつも喜び、すべてのことについて感謝しなさい。

2 忍耐強く主を待ち望みなさい。あなたがたの祈りはサバオスの主の耳に達しており、この封印と証をもって記録されているからである。すなわち、祈りがかなえられることを、主は誓って定めた。

3 それゆえ、主は、祈りはかなえられるという不変の聖約をもって、あなたがたに約束を与える。また、あなたがたを苦しめたすべてのことは、あなたがたの益のために、またわたしの名の栄光のため

第 98 章

1 ① 教義 68 6

2 ① ② GS 一感謝

イザ 30・18・19、14

3 ① 教義 122 7、

GS 「逆境」

にともに働く、と主は言う。

4 さて、まことに、わたしは国の法律についてあなたがたに言う。わたしの思いは、わたしの民が、わたしの命じることを何であろうとすべて努めて行うことである。

5 憲法にかなひ、権利と特権を維持することによつてその自由の原則を支持する国の法律は、全人類のものであり、わたしの前に正当と認められる。

6 それゆえ、あなたがたと、わたしの教会のあなたがたの兄弟たちが、国の合憲的な法律を擁護することを、主なるわたしは正しいとする。

7 人間の法律に関しては、これ以上のもの、あるいはこれ以下のものは何であろうと、悪から来るのである。

8 主なる神であるわたしはあなたがたを自由にする。それゆえ、あなたがたはほんとうに自由である。そして、法律もあなたがたを自由にする。

9 それにもかかわらず、邪悪な者が治めるとき、民は嘆き悲しむ。

10 それゆえ、正直な人々と賢明な人々を熱心に捜し求めなければならぬ。そして、善良な人々と

賢明な人々を支援するように努めなければならぬ。そうでなければ、これらに劣るものは何であろうと、悪から来る。

11 また、わたしはあなたがたに戒めを与える。あなたがたはすべての悪を捨て、すべての善を固く守らなければならぬ。また、神の口から出る一つ一つの言葉によつて生きなければならぬ。

12 神は忠実な者に対して、教えに教え、訓戒に訓戒を与えるからである。そして、わたしはこれによつてあなたがたを試み、あなたがたを試そう。

13 また、わたしの名のために、わたしの大義において自分の命を捨てる者は、再びそれを見いだすであろう。すなわち、永遠の命を見いだすであろう。

14 それゆえ、あなたがたの敵を恐れてはならない。あなたがたがふさわしいと認められるように、死に至るまでもわたしの聖約の中にとどまるかどうか、あらゆる点であなたがたを試すことを、わたしは心の内に定めたからである、と主は言う。

15 もしあなたがたがわたしの聖約の中にとどまらなければ、あなたがたはわたしにふさわしくない

5 ① 教義 10 : 77 - 80、109、54
 ② 「憲法」 「自由」
 ③ 1 ペテ 2 : 13、14
 教義 58 : 21、104、5
 8 ① ヨハ 8 : 32、2 コリ 3 : 17、32
 9 ① 箴言 29 : 2
 10 ① 申命 8 : 3、マタ 4 : 4、4
 11 ① 申命 8 : 3、マタ 4 : 4、4
 12 ① イザ 28 : 10、10、10
 13 ② アフ 3 : 25、26
 ① ルカ 9 : 24、教義 101 : 35、38、103、27、28、103
 14 ① ネヘ 4 : 14、教義 122 : 9、② 黙示 2 : 10、教義 136 : 31、39、③ 教義 124 : 55

からである。

16 それゆえ、戦争を放棄して、平和を宣言しなさい。そして、子孫の心をその先祖に、また先祖の心を子孫に向けてるように熱心に努めなさい。

17 さらにまた、ユダヤ人の心を預言者たちに、また預言者たちの心をユダヤ人に向けてるように熱心に努めなさい。これは、わたしが来て、のろいをもって全地を打ち、すべての肉なるものがわたしの前で焼き尽くされることのないためである。

18 あなたがたの心を騒がせないようにしなさい。わたしの父の家には住まいがたくさんあり、わたしはあなたがたのために一つの場所を用意したからである。そして、わたしの父とわたしがいる所に、あなたがたもいるであろう。

19 見よ、主なるわたしは、カートランドの教会にいる多くの者を喜んでいない。

20 彼らは自分の罪と、その悪い道と、その心の高ぶりと、その貪欲と、そのすべての憎むべきことを捨てず、わたしが彼らに与えた知恵の言葉と永遠の命の言葉に従っていないからである。

21 まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らが

悔い改めて、わたしの言ったすべてのことを守らなければ、主なるわたしは彼らを懲らしめ、わたしの欲することを行おう。

22 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あなたがたがわたしの命じることを何であろうと努めて行おうならば、主なるわたしは、あなたがたからすべての怒りと憤りを解こう。そして、地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはない。

23 さて、わたしはあなたがたの家族についてあなたがたに言う。もし人々が一度、あなたがたや、あなたがたの家族を打つても、あなたがたが忍耐強くそれに耐えて、彼らをののしったり、仕返しをしようとしたりしなければ、あなたがたは報われるであろう。

24 しかし、もしも忍耐強くそれに耐えなければ、それはあなたがたに対して正しい升として量られたものと見なされる。

25 さらにまた、もし敵が再度あなたがたを打つても、あなたがたがその敵をののしらず、忍耐強くそれに耐えるならば、あなたがたの報いは百倍になる。

16 ① GS「戦争」

② アル48・14、

GS「平和をつくり出す人」

④ ③ GS「平安、平和」

マテ4・5・6、

18 17 ① GS「ユダヤ人」

① ヨハ14・2、

教義59・2、76 III、

81・6、

21 ① モサ2・21、

ヒラ12・3、

22 ① GS「従順、従う」

② マテ16・17・18、

23 ① ルカ6・29、

アル43・46、47、

24 ① GS「迫害」

① マテ7・11・2

26 さらにまた、もし敵が三度目としてあなたがたを打つても、あなたがたが忍耐強くそれに耐えるならば、あなたがたの報いはさらに四倍に倍加される。

27 そして、もし敵が悔い改めなければ、これら三度の証拠は彼を責めるものとなり、消し去られることはない。

28 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。その敵がわたしの報復を免れて、わたしの前で裁きを受けることがなければ、彼がもうあなたがたや、あなたがたの家族を、まことにあなたがたの子供たちの子孫を三代、四代に至るまで襲わないよう、あなたがたはわたしの名によって彼に警告しなければならぬ。

29 それでも、もし敵があなたがたや、あなたがたの子供たち、あるいはあなたがたの子供たちの子孫を三代、四代に至るまで襲うならば、わたしはあなたの敵をあなたの手に渡す。

30 そして、それでもあなたが彼を容赦するならば、あなたはその義のゆえに報われ、またあなたの子供たちと、あなたの子供たちの子孫も三代、四代に至るまで報われるであろう。

るまで報われるであろう。

31 しかしながら、あなたの敵はあなたの手の内にある。そこで、あなたが彼の行いに応じて彼に報いるならば、あなたは義とされる。もし彼があなたの命をねらい、あなたの命が彼によって危険にさらされるならば、あなたの敵はあなたの手の内にあり、あなたは義とされる。

32 見よ、これは、わたしの僕ニーフアイと、あなたの先祖、ヨセフ、ヤコブ、イサク、およびアブラハム、ならびにわたしの昔の預言者たちと使徒たちすべてにわたしが与えた律法である。

33 さらにまた、わたしが昔のわたしの民に与えた律法は、次のとおりである。すなわち、主なるわたしが命じないかぎり、わたしの民は、いかなる国民、部族、国語の民、民族に対しても戦うために出て行つてはならない。

34 また、いかなる国民、国語の民、民族から宣戦されようとも、わたしの民は、まずその民族、国民、国語の民に平和の旗を掲げなければならない。

35 そして、もしその人々が平和の申し出を受け入れず、二度も、三度も受け入れなければ、わたしの

26 ① ① ① ① ① ①
 27 GS「誓約」
 28 申命 20:10
 29 申命 14:16、
 30 教義 105:38-41

民はこれらの証拠を主の前に持つて来なければならぬ。

36 すると、主なるわたしは彼らに命じて、彼らがその国民、国語の民、あるいは民族と戦うために出て行くことを正しいとする。

37 そして、彼らと、彼らの子供たちと、彼らの子供たちの子孫が、そのすべての敵に対して三代、四代にわたって報復するまで、主なるわたしは彼らの戦いを戦う。

38 見よ、これはわたしの前に義とされるためのすべての民に対する一つの範例である、と主なるあなたがたの神は言う。

39 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。もしあなたの敵が初めてあなたを襲った後、彼が悔い改めて、赦しを請うてあなたのもとに来るならば、あなたは彼を赦して、それをもうあなた

の敵に対する証拠としなさい。

40 二度目も、三度目も同様にしなさい。あなたの敵があなたに対して犯した過ちを悔い改める度に、七の七十倍まで、あなたは彼を赦さなければならぬ。

41 もし彼があなたに対して過ちを犯し、最初は悔い改めなくても、それでも、あなたは彼を赦さなければならぬ。

42 もし彼が再度あなたに対して過ちを犯し、悔い改めなくても、それでも、あなたは彼を赦さなければならぬ。

43 もし彼が三度あなたに対して過ちを犯し、悔い改めなくても、あなたはまた彼を赦さなければならぬ。

44 しかし、もし彼が四度あなたに対して過ちを犯すならば、あなたは彼を赦すことなく、これらの証拠を主の前に持つて来なければならぬ。彼が悔い改めをして、あなたに対して過ちを犯したすべてのことに関してあなたに四倍報いるまで、それらは消し去られないであろう。

45 もし彼がこれを行うならば、あなたは真心から彼を赦さなければならぬ。また、もし彼がこれを行わなければ、主なるわたしがあなたの敵に百倍の報復をしよう。

46 また、彼の子供たちと、彼の子供たちの子孫、すなわちわたしを憎むすべての者の子孫に、三

37 ① ヨシ 23 10
 40 ① イザ 49 : 25 22
 GS 教義 64 : 9 11, 22
 「教し」
 46 ① モル 8 : 20
 ① 申命 5 : 9 10

代、四代に至るまでそうしよう。

47 しかし、その子供たち、あるいはその子供たちの子孫が悔い改めて、彼らの心を尽くし、彼らの勢力^①とも思いと力を尽くして主なる神に立ち返り、そして彼らが犯した、あるいは彼らの父が犯した、あるいは彼らの父の先祖が犯したすべての過ちについて四倍返すならば、そのとき、あなたは憤りを解かなければならない。

48 そして、報復はもう彼らに及ぶことはなく、彼らの過ちが彼らに対する証拠として主の前に持ち出されることは決してない、と主なるあなたがたの神は言う。アーメン。

第 99 章

千八百三十二年八月二十九日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してジョン・マードックに与えられた啓示。一年以上の間、ジョン・マードックは福音を宣べ伝えてきた。千八百三十一年四月に彼の妻ジュリア・クラップが亡くなった後、母親のいなくなった彼女の子供たちは、その間ほかの家族とともにオハイオ州に住んでいた。

1-8 ジョン・マードックは福音を宣言するために召される。また、彼を受け入れる者は、主を受け入れるのであり、憐れみを受けるであらう。

1 見よ、主はこのようにわたしの僕ジョン・マードックに言う。すなわち、あなたは東の地方へ行って、家から家へ、また村から村へ、町から町へと巡り、迫害と悪事の中で、その住民にわたしの永遠の福音を宣言するように召されている。

2 そして、あなたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。あなたは、わたしの聖なる御霊の証明のうち^②にわたしの言葉を告げ知らせる力を持つてであらう。

3 また、幼子のようにあなたを受け入れる者は、わたしの王国^③を受ける。彼らは幸いである。彼らは憐れみを受けるからである。

4 また、あなたを拒む者は、父とその家から拒まれるであらう。あなたは、彼らに対する証として、道の傍らのひそかな場所でああなたの足を洗い清めなければならぬ。

5 見よ、見よ、巻き物の書物にわたしについて書か

47 ① エサ 7 : 33、

48 ① エゼ 18 : 19 - 23

第 99 章

1 ① GS 「迫害」

2 ① マタ 10 : 40

3 ② ① コリ 2 : 4 - 5

3 ② GS 「神の王国」

③ GS 「憐れみ」

4 ① ヨハ 12 : 44 - 50

② ① ヨハ 12 : 44 - 50

③ GS 「憐れみ」

れてあるとおり、わたしはすぐに来て、裁きを行い、すべての者に、彼らがわたしに対して犯した不敬な行いを立証する。

6 さて、まことに、わたしはあなたに言う。あなたの子供たちに必要なものを与えて、シオンのピシヨップのもとに優しく送り出すまで、あなたが出かけることは賢明ではない。

7 また、数年の後、あなたがわたしに願うならば、あなたも良い土地に上って行って受け継ぎを得ることができる。

8 そうでなければ、あなたは取り去られるまで、わたしの福音を宣言し続けなければならない。アーメン。

第 100 章

千八百三十三年十月十二日、ニューヨーク州ヘリースバーグにおいて、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示。数日間家族から離れていた二人の兄弟は、家族のことを多少心配に思った。

1-4 ジョセフとシドニーは、人々の救いのために福

音を宣べ伝えなければならぬ。5-8 彼らの言うべきことは、まさにそのときに授けられる。9-12 シドニーは代弁者となり、またジョセフは啓示者となり、力強く証する者とならなければならぬ。13-17 主は一つの清い民を起さされ、従順な者は救われる。

1 まことに、主は友であるあなたがた、シドニーとジョセフにこのようにいう。あなたがたの家族は健在である。彼らはわたしの手の内にあり、わたしは自分のよいと思うままに彼らに行う。わたしは一切の権威があるからである。

2 それゆえ、わたしに従い、わたしがあなたがたに与える勧告を聴きなさい。

3 見よ、見よ、この場所に、また周りの地域に、わたしの民が大勢いる。この東の地における周りの地域で、効果的な門が開かれるであろう。

4 それゆえ、主なるわたしは、あなたがたがこの場所に来るのを許した。わたしは人々の救いのためにこれを必要としたからである。

5 それゆえ、まことに、わたしはあなたがたに言う。この民に向かつて声を上げなさい。わたしがあ

5 ① 教義 1:11-14

② ユダ 1:14-15、

GS 「イエス・キリスト

① マタ 19:29

第 100 章

1 ① GS 「リグドン、シ

ドニー」

② GS 「スミス、

ジョセフ、ジュニア」

4 ① GS 「救い」

あなたがたの心の中に入れてる思いを語りなさい。そうすれば、あなたがたは人々の前で辱められることはないであろう。

6 あなたがたの言うべきことは、まさにそのときに、まことにその瞬間にあなたがたに授けられるからである。

7 しかし、わたしはあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたがわたしの名によって告げることは何であろうと、すべてのことについて厳肅な心と柔和な心で告げなければならぬ。

8 わたしはあなたがたにこの約束を与える。すなわち、あなたがたがこれを行うならば、聖霊が注がれて、あなたがたの述べるすべてのことを証するであろう。

9 また、わたしが必要としているのは、あなた、すなわちわたしの僕シドニーがこの民に語る代弁者となることである。まことに、わたしはあなたをこの召しに、すなわちわたしの僕ジョセフのための代弁者となるように聖任する。

10 また、わたしは力強く証する力を彼に与えよう。

11 また、あなたが彼のための代弁者となれるよう

に、わたしはあなたに、すべての聖文を力強く説き明かす力を与えよう。また、あなたが地上におけるわたしの王国のことに関するすべてのことが確かであるのを知ることができるように、彼はあなたにとって啓示者となるであろう。

12 それゆえ、旅を続け、心を喜ばせなさい。見よ、見よ、わたしは最後まであなたがたとともにいるからである。

13 さて、わたしはあなたがたにシオンに関して一つの言葉を与える。シオンはしばしの間懲らしめを受けるが、贖われるであろう。

14 あなたがたの兄弟たち、わたしの僕オーソン・ハイドとジョン・グールドはわたしの手の内にある。わたしの戒めを守るならば、彼らは救われるであろう。

15 それゆえ、心に慰めを得なさい。まっすぐに歩む者たちに益となるように、また教会の聖めのために、万事がともに働くからである。

16 わたしは、義をもつてわたしに仕える一つの清い民をわたしのために起こすであろう。

17 主の名を呼び、主の戒めを守る者は皆、救われ

5 ①ヒラ5、18、
 6 ①教義68・3、4、
 ①マテ10・19、20、
 7 ①教義84・85、
 ①GS「素租」84、61
 8 ①②二ツ33、
 ①出エ4・14、16、
 ②二ツ3・17、18、
 9 ①GS「証する」104
 10 ①アル17、2、3
 11 ②教義125
 12 ①GS「シオン」
 13 ②教義84、99、
 ①GS「清さ」105、9、10、31、37
 14 ①GS「ハイド、
 オイソン」105、24、
 15 ①ロマ8、28、
 ①GS「清さ」105、40
 16 ①ヨエ2、32、
 ①アル38、4、5

るであろう。まことにそのとおりである。アーメン。

第 101 章

千八百三十三年十二月十六、十七日に、オハイオ州カ
ートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスに与えら
れた啓示。このとき、ミズーリに集合した聖徒たちはひ
どい迫害に遭っていた。暴徒は彼らをジャクソン郡の家
から追い出した。聖徒の中のある者たちは、バン・ビュ
ーレン郡やラファイエット郡、レイ郡に身を落着けよ
うとしたが、そこでも迫害に遭った。聖徒たちの主体
は、そのとき、ミズーリ州クレイ郡にあった。教会の会
員たちに対して、多くの死の脅迫があった。ジャクソン
郡の聖徒は家具や衣服、家畜、そのほかの個人的財産を
うじてしまい、彼らの収穫物の多くが損なわれていた。

1—8 聖徒たちは、彼らの背きのゆえに懲らしめを受
け、苦しめられる。9—15 主の憤りがもろもろの国民に
下るが、主の民は集められ、慰められる。16—21 シオン
とそのステークは確立されなければならない。22—31 福
千年での生活の状態が説明される。32—42 そのときに、
聖徒たちは祝福され、報われる。43—62 身分の高い人と

オリープの木のとえは、シオンの受ける苦難とシオン
の最終的な贖いを表す。63—75 聖徒たちは集合を続け
なければならぬ。76—80 主は合衆国憲法を制定され
た。81—101 女と不正な裁判官のとえのように、聖徒た
ちは、不正に対する補償を執拗に求めなければならない。

1 苦しめられ、迫害され、受け継ぎの地から追い
出されたあなたがたの兄弟たちに関して、まことに、
わたしはあなたがたに言う。

2 主なるわたしは、彼らの背きのゆえに、彼らの受
けている苦難が彼らに及ぶのを許した。

3 それでも、わたしは彼らを自分のものとする。
わたしが来てわたしの寶石を集める日に、彼らは
わたしのものとなるであろう。

4 それゆえ、彼らは必ず懲らしめを受け、自分の
独り子をささげるように命じられたアブラハムの
ように、試みられなければならない。

5 懲らしめに耐えないで、わたしを否定する者は
皆、聖められることはあり得ないからである。

6 見よ、わたしはあなたがたに言う。彼らの中に
は、あつれきや争い、ねたみ、対立、およびみだら

第 101 章

- 1 ① GS「迫害」
- 2 ② 教義 103 : 1—2,
- 11、109 : 47—30,
- 2 ① モサ 7 : 29—30,
- ② 教義 103 : 4, 106 : 2—10
- 3 ① 教義 58 : 3, 4
- ② 教義 60 : 4
- ③ イザ 62 : 3,
- ④ 教義 95 : 1—2,
- 136 : 31
- ⑤ 「懲らしめ」
- ⑥ GS「アブラハム」
- ⑦ 創世 22 : 1—14,
- ヤコ 4 : 5,
- ⑧ マタ 10 : 32—33,
- ⑨ ロマ 1 : 16
- ⑩ 2 ニコ 31 : 14
- ⑪ GS「聖め」
- ⑫ GS「争い」
- ⑬ GS「ねたみ」
- ⑭ GS「欲望」

なむさばりの欲望があった。それゆえ、これらのことよつて、彼らはその受け継ぎを汚したのである。

7 彼らは主なる神の声に聞き従うのが遅かった。

それゆえ、主なる彼らの神は、彼らの祈りを聴くのを遅くする、すなわち彼らの苦難の日に彼らにこたえるのを遅くするのである。

8 平穏な日には、彼らはわたしの勧告を軽んじた。

しかし、苦難の日にはやむを得ずわたしを捜し求める。

9 まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らが罪を犯したにもかかわらず、わたしの心は、彼らに対する哀れみに満たされている。わたしは彼らとことごとく捨ててしまうことはせず、激しい怒りの日に憐れみを思い起こそう。

10 わたしは、わたしの民のために憤りの剣を下すという誓いを立て、あなたがたに与えた以前の戒めによつてその定めを出した。わたしが述べたとおり、それは起こるのであろう。

11 わたしの憤りは、間もなくすべての国民のうえに限りなく注がれる。これをわたしは、彼らの罪悪

の杯が満ちるときに行う。

12 その日、見張り台の上にいるすべての者、言い換えれば、わたしのイスラエルはすべて救われる。

13 散らされた者は集められる。

14 嘆き悲しんできた者は皆、慰められる。

15 わたしの名のために自分の命を与えた者は皆、冠を授けられる。

16 それゆえ、シオンについて心に慰めを得なさい。

すべての肉なるものはわたしの手の内にあるからである。安らかにして、わたしが神であることを知りなさい。

17 シオンの子らが散らされても、シオンがその場所から移されることはない。

18 生き残っている心の清い者は帰つて来る。彼らとその子孫は、シオンの荒れた所を築き上げるために、永遠の喜びの歌を歌いながら、彼らの受け継ぎの地にやつて来るであろう。

19 すべてこれらのことが起こるのは、預言者たちの述べたことが成就するためである。

20 見よ、わたしが指定した場所のほかに指定される所はどこもない。わたしの聖徒たちの集合の業

7 ①イザ59・2、モサ11・22、25、21・15、アル5・38、アル5・12、使徒17・3、アル32・5、17、27、9 ①GS「哀れみ」「憐れみ」②エレ30 ③教義198・21、11 10 ①③教義113・21、14 11 ①ヒラ13、14、エテ2・9、11 12 ①GS「見守る、見守る者」 13 ①申命30・3、6、1ニフ10・14、GS「イスラエル―イスラエルの集合」 14 ①マタ5・4、15 14 ①マタ10・39、GS「殉教者・殉教」 16 ①モセ6・13、14、詩篇46・10、18 17 ①GS「シオン」②アモ9・13、15、教義84・2、15、10、103・11 20 ①③教義103・11、14、GS「歌」②教義57・1、4

のために、わたしが指定した場所のほかに指定される所はどこもない。

21そして、ついに彼らのためにもう余地のない日が来る。そのとき、わたしが彼らに指定するほかの場所がある。シオンの幕のために、すなわちシオンを強めるために、それらはステーキと呼ばれる。

22見よ、わたしの思いは、わたしの名を呼び、わたしの永遠の福音に従ってわたしを礼拝する者が皆集まり、聖なる場所に立ち、

23来るべき啓示に備えることである。そのとき、地を隠すわたしの幕屋にある神殿を覆っている幕は取り去られて、すべての肉なるものごとにもわたしを見る。

24また、人も、野の獣も、空の鳥も、海の魚も、全地の面に住んでいるすべての朽ちるものが焼き尽くされる。

25元素から成るものは酷熱に溶かされる。そして、万物が新しくなって、わたしの知識と栄光が全地のうえにある。

26その日、人の敵意、もろもろの生き物の敵意、すなわちすべての肉なるものの敵意が、わたしの

前からなくなる。

27その日には、人が求めるものは何でも与えられる。

28また、その日には、サタンはだれをも誘惑する力を持たない。

29また、死がないので悲しみもない。

30その日には、幼児は年を取るまで死ぬことはない。そして、人の生涯は木の寿命のようである。

31また、人は死ぬときに眠ることなく、すなわち地の中に眠ることなく、一瞬のうちに変えられて引き上げられる。そして、彼の安息は栄光あるものとなる。

32まことに、わたしはあなたがたに言う。主が来るその日に、主はすべてのことを明らかにする。

33すなわち、過ぎ去ったこと、だれも知らなかった隠されていたこと、地球が造られた方法とその目的と行く末など地球に関すること、

34最も貴いこと、上にあること、下にあること、地中や地上や天にあることを。

35わたしの名のために迫害を受け、信仰をもって堪え忍ぶ者は皆、たとえ召されてわたしのために

21 ① 教義82・13・14、115・6、17、18
22 ① GS「イスラエル―イスラエルの集合」
② マタ24・15、6
23 ① GS「幕」115・6
② ① イザ40・5、
教義38・8、93・1、
GS「イエス・キリストの再臨」
24 ① 教義29・24
② セバ1・2・3、
マラ4・1、
教義88・94、
25 ① アモ9・5、
ジー歴史1・37
② ベテ3・10・14、
GS「地球―地球の清め」
26 ① 黙示21・5
② GS「福千年」
③ イザ11・6・9、
GS「敵意」
28 ① GS「平安、平和」
① 黙示20・2・3、
1ニフ22・26、
教義88・110
30 29 ① 黙示21・4
① イザ65・20・22、
教義63・51
31 ① 1コリ15・52、
教義43・32
32 ① 教義29・11
② ① テサ4・16・17
GS「福千年」
33 ① GS「神の興義―GS「迫害」20、
② 教義98・13
35 33 ① 教義63・20、
GS「迫害」13

命を捨てるとしても、なお彼らはこのすべての栄光にあずかるであろう。

36 それゆえ、死に至るまでも恐れてはならない。

この世ではあなたがたの喜びは満たされないが、わたしにあってあなたがたの喜びは満たされるからである。

37 それゆえ、体も体の命も心にかけてはならない。

①霊と霊の命とを心にかけなさい。

38 また、あなたがたは忍耐することによって自分の霊を保つために、常に主の顔を求めなさい。そうすれば、あなたがたは永遠の命を得るのである。

39 人々がわたしの永遠の福音に召され、永遠の聖約を交わすとき、彼らは地の塩、また人の味と見なされる。

40 彼らは人の味となるように召される。それゆえ、もし地の塩がその塩気を失ったら、見よ、もはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけである。

41 見よ、ここにシオンの子らに関する知恵がある。すなわち、そのすべてではないが、多くの者に関する知恵がある。彼らは戒めに背く者であると

された。それゆえ、必ず懲らしめを受けなければならない。

42 自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう。

43 さて、あなたがたがシオンの贖いについて、わたしの思いを知ることができるよう、一つのたとえを示そう。

44 ある身分の高い人が、特別な良い土地を一つ所持っていた。そして、彼は僕たちに言った。「おまえたちはわたしの果樹園、すなわちこの特別な良い土地へ行つて、十二本のオリーブの木を植えなさい。」

45 そして、それらの周りに見張り人たちを置き、また一つの見張り台を築いて、その台の上で見張り人となる者が周りの土地を見渡せるようにしなさい。このようにして、敵がやって来て、わたしの果樹園の実を奪って自分のものにしようとするとき、わたしのオリーブの木が折り倒されることのないようにしなさい。」

46 さて、その身分の高い人の僕たちは行つて、主人が命じたように行い、オリーブの木を植え、一

36 ① GS「死(肉体の)」

37 ① GS「喜び」

38 ① GS「忍耐」

39 ① GS「新しくかつ永遠の聖約」

40 ② マタ 5・13、

41 ① GS「懲らしめ」

42 ① オバ 1・3-4、

ルカ 14・11、

43 ② ルカ 18・14、

44 ① 教義 103・21-22

45 ② GS「ぶどう園(果樹園)」

① エセ 33・2、7、

3ニフ 16・18、

GS「見守る、見守る者」

つの垣を巡らし、見張り人たちを置き、また一つの見張り台を築き始めた。

47 そして、まだその土台を据えていたときに、彼らは仲間内で、「わたしの主人に、なぜこの見張り台が必要なのか」と言い始めた。

48 そして、久しく相談し、仲間内で言った。「今は平和な時であるのに、主人に、なぜこの見張り台が必要なのか。」

49 この金を銀行に預けてはどうだろう。このようなことは必要がないのだから。」

50 彼らは互いに意見の合わないうちに、非常に怠惰になった。そして、その主人の命令に聞き従わなかった。

51 すると、夜に敵がやって来て、垣を壊した。そこで、自分の高い人の僕たちは起き出し、驚いて逃げた。そこで、敵は彼らの造ったものを壊し、オリープの木を折り倒した。

52 さて見よ、自分の高い人、すなわちその果樹園の主人は僕たちのところへ来て来て、彼らに言った。「どうしたことだ。この大きな災いの原因は何だ。」

53 おまえたちはわたしを命じたとおりに行くべきではなかったか。おまえたちは果樹園で植え付けをし、垣を巡らし、その防壁の上に見張り人を置いた後、敵から襲われることのないように見張り台を築いて、その見張り台の上に見張り人を置き、わたしの果樹園を見張って寝入らないようにすべきではなかったのか。

54 そうすれば、見よ、敵がまだ遠くにいる間に、見張り台の上の見張り人は敵に気づいたことだろう。そして、おまえたちは備えをして、敵がその垣を壊すのを防ぎ、滅ぼす者の手からわたしの果樹園を救うことができたであろうに。」

55 果樹園の主人は僕の一人に言った。「僕たちの残りを集めて、とどまるようにわたしが命じた者たちを除くわたしの家の勇士全員、すなわち、わたしの戦士たち、わたしの家の勇士であるすべての僕たちの中の若者たちと中年の者たちを率いて行きなさい。」

56 そして、すぐにわたしの果樹園の地へ行き、果樹園を取り戻しなさい。それはわたしのものだからだ。わたしはそれを金で買ったのだ。

うにしなさい。むしろ、万事をあなたがたの前に備えるようにしなさい。

69そして、万事をあなたがたの前に備えるために、わたしがこれらのことに關して与えた戒めを守りなさい。

70すなわち、その戒めが告げるところ、あるいは教えるところは、わたしの聖徒たちが集合を開始するために、シオンの地となるようわたしが定めた土地の周りの地域において、金銭で購入することのできるすべての土地を金銭をもって購入すること、

71すなわち、ジャクソン郡とその周りの郡で購入することのできるすべての土地を購入すること、そして残りをわたしの手にゆだねることである。

72さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。すべての教会はその金銭をすべて集めなさい。これらのことを、時になつて行うようにしなさい。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

74また、東の地方の諸教会は築き上げられるとき、もしこの勧告に聞き従うならば、土地を買ってそこに集まるとよい。このようにして、彼らはシオンを設立することができる。

75わたしの名にちなんで自分自身を呼ぶ諸教会がわたしの声に進んで聞き従うならば、もう二度と倒されることのないようにシオンを贖って、シオンの荒れた所を打ち建てるために、今やすでに十分な、まことに豊かな蓄えがある。

76さらにまた、わたしはあなたがた、敵に散らされた者たちに言う。わたしの思いは、あなたがたが、統治者に任じられてあなたがたを治める權威を持つている者たちの手によつて補償と譲り戻しを受けるために、執拗に求め続けることである。

77すなわち、わたしが制定を許した、また公正かつ聖なる原則に従つてすべての肉なるものの権利と保護のために維持されるべき、人民の法律と憲法に従つて求めることである。

78それは、すべての人がわたしの与えた道徳的な選択の自由に応じて、未来に關する教義と原則に従つて行動できるようにして、各々が裁きの日

78 77 75 72 70
②①②①①①①①
GS GS GS GS
アル5263
「自由」
「政府」
「最後の裁き」
10 27
37 10 27
39 12 29

に自分自身の罪に対する責任を負うようにするためである。

79 それゆえ、どんな人であっても、一人の人がほかの人に束縛されるということは正しくない。

80 この目的のために、わたしはこの国の憲法を制定する賢人たちを立てて、彼らの手によってその憲法を制定し、流血によって国を贖ったのである。

81 さて、わたしはシオンの子らを何にたとえようか。彼らを女と不正な裁判官のたとえになぞらえよう。人々は常に祈るべきであり、気を落としてはならないからである。そのたとえは、次のとおりである。

82 ある町に、神を畏れず、人を人とも思わない裁判官がいた。

83 また、その町に一人のやもめがいて、彼のもとにやって来ては、「わたしの相手に報復してください」と言った。

84 彼はしばらくの間聞き入れないでいたが、その後、心の中で考えた。「わたしは神を畏れず、人を人とも思わないが、このやもめがわたしに面倒をかけるから、彼女のために報復してやろう。そう

したら、絶えずやって来てわたしを悩ますことなくなるだろう。」

85 このようにわたしはシオンの子らをたとえよう。

86 シオンの子らは裁判官の足もとで執拗に求めなさい。

87 もし彼が心に留めなければ、知事の足もとで執拗に求めなさい。

88 もし知事が心に留めなければ、大統領の足もとで執拗に求めなさい。

89 もし大統領が心に留めなければ、そのとき、主は立って隠れ場から出て来て、憤りをもってその国を悩ませ、

90 主がふさわしいとするとき、その激しい憤りをもって、また激しい怒りをもって、それらの邪悪で、不忠実で、不正な管理人を絶ち、彼らの持ち分を偽善者や不信仰な者の中に定めるであらう。

91 まことに、涙を流し、泣きわめき、歯ざしりをする外の暗闇の中に。

92 それゆえ、彼らの耳があなたがたの叫び声に対して開かれるように、あなたがたは祈りなさい。彼らがあなたがたの叫び声を聞けば、わたしは彼らを

80 78 GS 「責任を負う」

① 22717-19、

教義98・516、

GS 「憲法」

81 ① 11713-19

ルカ18・1-8

89 ② GS 「祈り」

① イザ45・15、

教義121・1、4、123・6

90 ① GS 「管理人、管理人の職」

② 黙示21・8、

GS 「不信仰」

① マタ25・30、

17、124・8

91 教義19・5、29・15

憐れんで、これらのことが彼らに及ぶことのないようにする。

93 わたしがあなたがたに述べてきたことは、必ず起こる。それは、すべての人に弁解の余地のないようにするためであり、

94 賢人たちや統治者たちが、彼らのかつて考えたことのないことを聞いて知るためであり、

95 また、わたしがわたしの行い、すなわち比類のない行いを成し遂げ、わたしの業、すなわち比類のない業を行い続けて、人々が義人と悪人の区別を知ることができるようになるためである、とあなたがたの神は言う。

96 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕シドニー・ギルバートが、わたしが自分の民のために設けた倉をわたしの敵の手に売ることが、わたしの戒めと思いに反する。

97 わたしの設けたものが、わたしの名にちなんで自分自身を呼ぶ者たちの同意によって、わたしの敵により汚されることのないようにしなさい。

98 これは、わたしがすでに定めていて間もなくもろもろの国民に降りかかる数々の出来事のゆえに、

わたしに対して、わたしの民に対しても非常に嘆かわしくかつ重い罪だからである。

99 それゆえ、たとえわたしの民がそこに住むことを許されなくても、わたしが彼らのために設けたものについて彼らが権利を主張し、所有権を保有することは、わたしの思いにかなうのである。

100 わたしは、彼らがそこに住むことはないと言われない。彼らはわたしの王国にふさわしい実を結び、ふさわしい行いをするならば、将来そこに住むからである。

101 彼らが建てて、別の者がそれを受け継ぐということは、彼らはぶどう園を設け、その実を食べるのである。まことにそのとおりである。アーメン。

第 102 章

千八百三十四年二月十七日、オハイオ州カートランドにおける教会の最初の高等評議会の組織に関する議事録。原議事録はオリバー・カウドリ長老とオーソン・ハイト長老によって記録された。翌日、預言者はその議事録を修正し、その翌日、その訂正された議事録は教会の

94 93 92 GS 「憐れみ」
 ① ① ① ロマ 1:18 - 21
 ③ ① イザ 52:15、
 ② ② イザ 28:21、
 ② マラ 3:18、
 95 GS 「識別の賜物」
 ① ① ① 教義 103:4、
 97 ① ① ① GS 「君」
 112 ① ① ① 教義 103:4、
 101 ① ① ① イザ 65:21 - 22、
 GS 「福千年」

「高等評議会の形式と規準」として高等評議会により全会一致で受け入れられた。十二使徒評議会に関する第三十一・三十二節は、「教義と聖約」の出版のためにこの章が準備されていた千八百三十五年に、ジョセフ・スミスの指示の下で追加されたものである。

1—8 教会内における重大な問題を解決するために、高等評議会が設けられる。9—18 事実関係の審理のための手順が与えられる。19—23 評議会の会長が決定を下す。24—34 上訴の手順が説明される。

1 今日、啓示によって、二十四人の大祭司から成る総会が、ジョセフ・スミス・ジュニアの家で会合を持ち、キリストの教会の高等評議会の組織に着手した。この高等評議会は、十二人の大祭司と、必要に応じて一人ないし三人の会長から成るものである。

2 この高等評議会は、教会内で起こり得る重大な問題のうち、教会またはビシヨップの評議会によって当事者に満足いく解決が得られない問題を解決するために、啓示によって設けられた。

3 ジョセフ・スミス・ジュニアと、シドニー・リグドンと、フレデリック・G・ウイリアムズが、総会の声によって会長として承認された。また、ジョセフ・スミス・シニアと、ジョン・スミス、ジョセフ・コー、ジョン・ジョンソン、マーティン・ハリス、ジョン・S・カーター、ジェレド・カーター、オリバー・カウドリ、サミュエル・H・スミス、オーソン・ハイド、シルベスター・スミス、およびルーク・S・ジョンソンたち大祭司が、総会の全会一致の声によって、教会のための常任評議会となるように選ばれた。

4 前記の評議員たちは、その後、その任命を受け入れるかどうか、また天の律法に従ってその職務を遂行するかどうか尋ねられ、全員がその任命を受け入れ、彼らに授けられる神の恵みに従ってその職務を果たすと答えた。

5 教会の名によって教会のために賛意を表明して前記の評議員たちを任じた総会の構成員は四十三人で、次のとおりである。すなわち、大祭司九人、長老十七人、祭司四人、会員十三人。

6 議決事項。前記の評議員または正式に任命され

た後任者のうちの七人が出席していなければ、高等評議會は職務を遂行する権限を持ってない。

7 これら七人は、欠席の評議員の代わりを務めるのにふさわしく、かつ能力があると考えられる他の大祭司を指名する権限を持つ。

8 議決事項。前記の評議員の中のどれかの死亡や、戒めに背くことによる職務からの解任、あるいはこの教会の管轄地域からの転居によって欠員が生じたときはいつでも、それは会長あるいは会長たちの指名によって補充され、教会の名において行動するためにそれを承認するという目的で召集された、大祭司の総会の声によって承認されなければならない。

9 評議會の会長でもある教会の大管長は、啓示によつて任じられ、彼が管理することを教会員の声によつて承認される。

10 彼が教会の評議會を管理するのは、彼の職の尊厳による。また、彼自身が任命されたのと同じ方法で任命される、他の二人の会長の補佐を受けることは、彼の特権である。

11 また、彼を補佐するために任命されている者の

一人あるいは両者が欠席の場合、彼は補佐なしに評議會を管理する権限を持つ。また、彼自身が欠席の場合、他の会長の両者あるいはいずれか一人が、彼の代わりに管理する権限を持つ。

12 キリストの教会の高等評議會が前記の形式に従つて正式に組織されているときは、十二人の評議員は数字を書いたくじを引き、それによつて一番から順番に十二番まで、十二人のうちのどれが最初に話すかを決めなければならない。

13 何かの事件で職務を果たすためにこの評議會が召集される場合、十二人の評議員はそれが難しいものかそうでないか考える。難しいものでなければ、前に記した方式で評議員の二人だけがそれについて話す。

14 しかし、難しいと思えば、四人を指名しなければならぬ。また、もつと難しければ、六人を指名しなければならぬ。しかし、いかなる場合も、六人より多くを話すように指名してはならない。

15 訴えられた者は、すべての事件において、侮辱や不公平を防止するために評議會の半数の弁護を受ける権利を持つ。

9 ① GS (啓示)
② GS (支持) 教義指
導者の一

16 評議會の前で話すように指名された評議員たちは、証拠を検討した後、評議會の前にその事件の真相を提示しなければならぬ。また、各人は公平かつ公正に話さなければならない。

17 偶数、すなわち二、四、六、八、十、十二の数を引いた評議員は、訴えられた者のために立つて、侮辱と不公平を防止しなければならない人である。

18 すべての事件において証言を聞き、その事件について話すように指名された評議員たちが彼らの所見を述べ終えた後、訴えた者と訴えられた者は評議會の前で自分自身のために語る特権を持つ。

19 証言を聞き、評議員と訴えた者と訴えられた者が語り終えた後、会長はその事件について自分の得ている理解に従って判決を下し、十二人の評議員に、彼らの賛意の表明によってそれを承認するように求める。

20 しかし、発言しなかった残りの評議員たち、すなわち彼らの中のだれかが、証言と弁論とを公平に聞いた後、会長の判決の中に誤りを見いだしたならば、彼らはそれを明らかにすることができる。そうすれば、その事件は再審理されることになる。

21 慎重な再審理の後、その事件についてさらにかの見解が示されたら、それに応じて判決を変更しなければならない。

22 しかし、新たな見解がない場合は、評議員の過半数がそれを決定する権限を持っているので、最初の判決がそのまま有効である。

23 教義や原則に関する問題の場合、評議會の人々の心にその件を明らかにするに十分な記述がなければ、会長は主に尋ね、啓示によって主の思いを知ることができる。

24 遠方の地では、当事者の双方あるいはどちらか一方が要請するときに、大祭司たちが前述の方法に倣って評議會を召集し組織して、問題を解決する権限を持つ。

25 前述の大祭司の評議會は、一時的にこのような評議會を管理するように彼ら自身のうちから一人を任じる権限を持つ。

26 前述の評議會には、その手続きの記録の写しを、その判決を添えたすべての証言記録とともに、教会の大管長会の所在地にある高等評議會に直接に送付する義務がある。

27 当事者の双方あるいはどちらか一方が前述の評議会の判決に不満であれば、彼らは教会の長官の所在地にある高等評議会上訴し、再審理を受けることができる。そこではこの事件は、あなたがこのような判決が下されなかったかのように、前記の形式に従って取り扱われる。

28 遠方の地におけるこの大祭司の評議会は、教会に関する最も困難な事件についてのみ召集すべきものである。普通一般の事件では、このような評議会を召集するに当たらない。

29 遠方の地における巡回大祭司や常駐大祭司は、このような評議会を召集することが必要か否かを告げる権限を持つ。

30 遠方の地における高等評議会や巡回大祭司と、十二人の使徒によつて構成される巡回高等評議会との間には、その判決に差異がある。

31 前者の判決からは上訴があり得るが、後者の判決からはあり得ない。

32 後者では、戒めに対する背きが関係している場合に、教会の中央幹部だけが異義を唱えることができる。

33 議決事項。教会の長官の所在地にいる会長や会長たちは、上訴と、それに伴う証拠と陳述とを検討した後、上訴される事件が正当に再審理を受けるに相当するかどうかを決定する権限を持つ。

34 その後、十二人の評議員は、だれが最初に話すかを決めるためにくじ引き、すなわち抽選に移った。以下がその結果である。すなわち、一・オリバー・カウドリ、二・ジョセフ・コー、三・サミュエル・H・スミス、四・ルーク・ジョンソン、五・ジョン・S・カーター、六・シルベスター・スミス、七・ジョン・ジョンソン、八・オーソン・ハイド、九・ジェレド・カーター、十・ジョセフ・スミス・シニア、十一・ジョン・スミス、十二・マーティン・ハリス。

祈りの後、休会した。

書記

オリバー・カウドリ
オーソン・ハイド

第 103 章

千八百三十四年二月二十四日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられ

た啓示。パーリー・P・フラットとライマン・ワイトが、ジャクソン郡の聖徒たちの救助ならびに聖徒たちが彼らの土地に戻ることについて預言者と協議するため、ミズーリからオハイオ州カートランドにやって来た。この啓示は、彼らが到着した後には与えられたものである。

1-4 ジャクソン郡の聖徒たちが迫害されるのを主が許された理由。5-10 聖徒たちは戒めを守るならば勝利を得る。11-20 シオンの贖いは力によって成し遂げられる。主は主の民の前を行かれる。21-28 聖徒たちはシオンに集合しなければならぬ。自分の命を捨てる者は、再びそれを見いだす。29-40 何人も兄弟たちがシオンの陣営を組織してシオンへ行くように召される。忠実であれば、彼らは勝利を約束される。

1 まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。見よ、シオンの地に散らされた兄弟たちの救いと贖いに関して、あなたがたが自分たちの務めを果たす方法を知ることができるよう、わたしはあなたがたに啓示と戒めを与える。

2 彼らはわたしの敵の手によって追い出され、打たれた。それゆえ、わたしは、わたし自身の定めたときに、激しい怒りをこれらの敵に限りなく注ごう。
3 わたしは今まで彼らがそうするのを許してきた。それは、彼らがその罪悪の升目を満たして、その杯が満ちるためであり、

4 また、わたしの名にちなんで自分自身を呼ぶ者たちが、わたしの与えた訓戒と戒めに完全に聞き従わなかったので、しばしの間、ひどくかつ厳しい懲らしめを受けるようにするためである。

5 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの民が、主なる彼らの神であるわたしの与える勧告に今この時点から聞き従うならば、わたしは、彼らが将来はつきりと理解する一つの定めをすでに下している。

6 見よ、わたしが定めたので、彼らはまさに今この時点から、わたしの敵に打ち勝ち始めるのである。

7 主なる彼らの神であるわたしの語るすべての言葉に聞き従うことによって、彼らは絶えず勝利を得るのである。そして、ついには世のもろもろの王国

がわたしの足の下に従い、地が聖徒たちに与えられて、聖徒たちはとこしえにいつまでもこれを所有するようになるであらう。

8 しかし、もしもわたしの民がわたしの戒めを守らず、わたしのすべての言葉に聞き従おうとしなければ、世の王国が彼らに打ち勝つであらう。

9 彼らは世の光となり、人々の救い手となるように定められた。

10 もしも彼らが人々の救い手でなければ、彼らは塩気を失った塩のようであり、もはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられて人々に踏みつけられるだけである。

11 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。

わたしは、散らされたあなたがたの兄弟たちがその受け継ぎの地に帰って、シオンの荒れた所を築き上げるように定めた。

12 わたしが以前の戒めの中であなたがたに言ったように、多くの艱難の後、祝福が来るのである。

13 見よ、あなたがたの贖いと、あなたがたの兄弟たちの贖い、すなわち彼らがシオンの地に戻されて、打ち立てられ、もう二度と倒されることのない

こと、これが、わたしがあなたがたの艱難とあなたがたの兄弟たちの艱難の後に来ると約束した祝福である。

14 しかしながら、もしも彼らとその受け継ぎを汚すならば、彼らは倒される。彼らとその受け継ぎを汚すならば、わたしは彼らを容赦しないからである。

15 見よ、わたしはあなたがたに言う。シオンの贖いは力によって成し遂げられなければならない。

16 それゆえ、わたしは一人の男をわたしの民のため立てよう。その男は、モーセがイスラエルの子らを導いたように彼らを導くであらう。

17 あなたがたはイスラエルの子らであり、アブラハムの子孫であって、力により、また伸べられた腕をもって、囚われの身から導き出されなければならないからである。

18 そして、あなたがたの先祖が最初に導かれたように、まことにシオンは贖われるであらう。

19 それゆえ、あなたがたは気落ちしてはならない。わたしはあなたがたの先祖に、「わたしの天使はあなたがたの前を上って行くけれども、わたしは

7 GS「聖徒」

④ ダニエル 7:27

⑤ 教義 38:20

① モサ 1:13、

8 ① 教義 82:10

9 ① 1ニ 21:6

10 ① マテ 5:13、16、

教義 101:39、140

12 11 ① 教義 101:18

① 黙示 7:13、14、

16 ① 出エ 3:2、10、

教義 107:91、92、

17 GS「モーセ」

① GS「アブラハム

アブラハムの子孫」

「アブラハムの聖約

「契約」

19 GS「天使」

「一緒ではない」と言ったが、あなたがたにはそのように言わないからである。

20 むしろ、わたしはあなたがたに言う。「わたしの天使たちはあなたがたの前を上って行き、わたしもともにおり、やがてあなたがたは良い土地を所有するであろう。」

21 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアこそ、わたしがあなたがたに述べたたとえの中で果樹園の主人の語りかけた僕にたとえた人である。

22 それゆえ、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアは、シオンの地、すなわちわたしに奉獻された金銭をもつてわたしが買った土地に集まるように、わたしの家の勇士、すなわち、わたしの若者たちと中年の者たちに言いなさい。

23 また、すべての教会は、賢い人々を金銭を持たせて遣わし、わたしが命じたように土地を購入しなさい。

24 また、あなたがたがわたしの敵に対する証拠をわたしの前に持つて来た後に、彼らが、わたしがシオンの地となるように聖別した良い土地から、す

なわちあなたがた自身の土地から、あなたがたを追い払うためにあなたがたに向かつて来るならば、あなたがたは彼らをのろわなければならない。

25 また、だれであろうと、あなたがたがのろう者をわたしはのろうであろう。また、あなたがたはわたしの敵に報復しなければならぬ。

26 わたしを憎む者たちの三代、四代に至るまで、わたしはあなたがたとともにいて、わたしの敵に報復するであろう。

27 だれもわたしのために自分の命を捨てるのを恐る者は、再びそれを見いだすからである。

28 また、わたしのために進んで自分の命を捨てる者は、わたしの弟子ではない。

29 わたしの思いは、わたしの僕シドニー・リグドンが、東の地方における会衆の中でその声を上げて、シオンの回復と贖いに関してわたしが諸教会に与えた戒めを守るように、彼らを備えることである。

30 わたしの思いは、わたしの僕パーリー・P・ブラットとわたしの僕ライマン・ワイトが、シオンの

20 19 ② 教義 84
21 ① ② 出エ 14 18
21 ① ② 教義 100 19 18
21 ① ② GS「ぶどう園」 13 20 24
21 ① ② 東樹園(主のこ) 13 19
22 ① ② 教義 101 13 55
22 ① ② 教義 101 13 58
23 105 16 教義 35 14
23 ① ② 教義 42 30 13 5
23 ① ② 教義 42 35 36
24 57 5 7 5 36
24 ① ② 教義 49 51 101 68 74
24 ① ② 教義 45 64 66 57 1 2
27 26 ① ② 教義 64 66 57 1 2
27 ① ② マタ 10 39
29 ① ② GS「ブラット、シドニー」 13 15 124 54
29 ① ② 教義 98 13 15 124 54

地に上^{のほ}つて行く隊^{たい}を、十^{にん}人、二十^{にん}人、五十^{にん}人、百^{にん}人
 ずつ得^えて、わたしの家^{いえ}の勇士^{ゆうし}五百^{にん}人を得^えるまで、
 兄弟^{きょうだい}たちの地^ちに帰^{かえ}らないことである。

31 見^みよ、これがわたしの思^{おも}いである。求^{もと}めなさい。
 そうすれば、与^{あた}えられるであらう。しかし、人は
 ①いつでもわたしの思^{おも}うところを行^{おこな}うわけではない。

32 それゆえ、あなたがたは、もし五百^{にん}人を得^えるこ
 とができれば、三百^{にん}人を得^えるように熱^{ねつ}心に努^{つと}め
 なさい。

33 また、もし三百^{にん}人を得^えることができれば、
 百^{にん}人を得^えるように熱^{ねつ}心に努^{つと}めなさい。

34 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言^いう。
 わたしはあなたがたに戒^いめを与^{あた}える。あなたがたと
 ともにシオン^{シオン}の地^ちに上^{のほ}つて行くわたしの家^{いえ}の勇士^{ゆうし}
 百^{にん}人を得^えるまで、シオン^{シオン}の地^ちに上^{のほ}つて行^いってはなら
 ない。

35 それゆえ、わたしはあなたがたに言^いつたよう
 に、求^{もと}めなさい、そうすれば与^{あた}えられるであらう。

わたしの僕^{しもへ}ジョセフ・スミス・ジュニアがあなたが
 たとともに行き、わたしの民^{たみ}の中で管^{かん}理^りし、奉^{ほう}獻^{けん}
 された土地^{とち}でわたしの王^{おう}国^{こく}を組^そ織^しし、あなたがたに

与^{あた}えられた、また将^{しょう}来^{らい}与^{あた}えられる律^{りつ}法^{ぽう}と戒^いめの上^{うえ}
 にシオン^{シオン}の子^こらを打^{うち}立^たてることができるよう
 真^{まこと}剣^{けん}に祈^{いの}りなさい。

36 すべての勝^{しょう}利^りと栄^{えい}光^{こう}は、あなたがたの熱^{ねつ}心^{しん}さと、
 忠^{ちゅう}実^{じつ}さと、信^{しん}仰^{こう}の祈^{いの}りを通^{とお}してあなたがたにもた
 らされるのである。

37 わたしの僕^{しもへ}パーリー・P・プラットは、わたしの
 僕^{しもへ}ジョセフ・スミス・ジュニアとともに旅^{たび}をしな
 さい。

38 わたしの僕^{しもへ}ライマン・ワイトは、わたしの僕^{しもへ}シ
 ドニー・リグドンとともに旅^{たび}をしなさい。

39 わたしの僕^{しもへ}ハイラム・スミスは、わたしの僕^{しもへ}フ
 レデリック・G・ウイリアムズとともに旅^{たび}をしな
 さい。

40 わたしの僕^{しもへ}オーソン・ハイドは、わたしの僕^{しもへ}オ
 ーソン・プラットとともに旅^{たび}をし、わたしはあなたが
 たに与^{あた}えたこれらの戒^いめを守るために、わたしの
 僕^{しもへ}ジョセフ・スミス・ジュニアが彼^{かれ}らに告^つげ所^{ところ}へ
 どこへでも行^いきなさい。そして、残^{のこ}りはわたしの手^て
 にゆだねなさい。まことにそのとおりである。アー
 メン。

第 104 章

千八百三十四年四月二十三日、オハイオ州カートランドまたはその付近において、「共同商会会」(第七十八章と第八十二章の前書きを参照) に関して、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。この啓示が与えられたのは、「共同商会」の構成員の評議会集会でのことであると思われる。この評議会集会では、教会の緊急の物質的必要性について話し合われた。四月十日に行われた以前の商会の集会で、この組織を解散することが決議されていた。この啓示では、そうではなくその商会を再組織するようにと指示されている。財産はその制度の構成員の間で管理人の職に応じて分配されることになった。ジョセフ・スミスの指示の下に、啓示の中の「共同商会」という言葉は後に「共同制度」という言葉に置き換えられた。

1-10 共同制度に反して戒めに背く聖徒たちはのろわれる。11-16 主は御自分の方法で聖徒たちを扶養される。17-18 福音の律法によって、貧しい人の世話の仕方が規定される。19-46 何人かの兄弟たちの管理人の職と祝福が示される。47-53 カートランドの共同制度とシオンの制度は、別個に運営されることになる。54-66 主

の神聖な金庫が、聖文の印刷のために設けられる。67-77 共同制度の一般金庫は、會員の同意に基づいて運営されることになる。78-86 共同制度に属する者は、自分の負債をすべて返済しなければならぬ。そうすれば、主は金銭上の束縛から彼らを救い出してくださる。

1 まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。わたしが共同制度また永遠の制度として組織し、設立することを命じた制度に属するすべての財産に関して、わたしはあなたがたに勧告と戒めを与える。この制度は、わたしが来るまでわたしの教会を益し、人々を救うためのものである。

2 わたしが命じたこのことには、わたしから命じられた者たちが忠実であれば多くの祝福をもって祝福されるという、不変不易の約束が伴っていた。3 しかし、もしも忠実でなければ、彼らはやがてのろわれることになっていた。

4 それゆえ、わたしの僕の中のある者たちが戒めを守らず、貪欲によって、また偽りの言葉をもって聖約を破ったので、わたしは非常にひどくかつ厳しいのろいをもって彼らをのろったのである。

5 その制度に属するだれかが戒めに背く者であると分かれば、言い換えれば、あなたがたを結び合わせる聖約を破るならば、彼は生涯のろわれて、わたしが望む者により踏みつけられると、主なるわたしは心の中に定めたからである。

6 主なるわたしは、これらのことで侮られることはないからである。

7 これはすべて、あなたがたの中の罪のない者が正しくない者とともに罪に定められることのないためであり、またあなたがたの中の罪のある者が罰を免れることのないためである。主なるわたしは、わたしの右手における栄光の冠をあなたがたに約束したからである。

8 それゆえ、もしあなたがたが戒めに背く者であると分かれば、あなたがたは生涯、わたしの激しい怒りを免れることはできない。

9 あなたがたは、戒めに背いて絶たれるならば、贖いの日までサタンから打たれるのを免れることはできない。

10 この制度に属する者で、戒めに背く者であることが分かり、しかもその悪を悔い改めない者がい

れば、あなたがたがその者をサタンに引き渡して打たせるように、わたしは、まさに今この時点からあなたがたに力を与える。しかも、彼はあなたがたに害悪を及ぼす力を持たないであらう。

11 わたしの知恵にかなうので、一つの戒めを、わたしはあなたがたに与える。あなたがたは自らを組織し、すべての人をその管理人の職に任じなければならぬ。

12 それは、すべての人が、自分に定められる管理人の職についてわたしに報告できるようにするためである。

13 主なるわたしが、被造物のために造って備えたこの世のもろもろの祝福に対する管理人としての責任を、すべての人に取らせることは、必要なことだからである。

14 主なるわたしは天を広げ、また地を築いた。これらはまことにわたしの手の業である。そして、その中にある万物はわたしのものである。

15 万物はわたしのものであるから、わたしが意図しているのは、聖徒たちに必要なものを与えることである。

6 ① ガラ 6 : 7

7 ① イザ 62 : 3、

教義 76 : 56、

9 GS 「栄光」

9 GS 「破門」

10 ③ 教義 82 : 21

11 ① 教義 109 : 25、27

11 GS 「管理人、管理人の職」

13 ① 教義 72 : 3、5、

16 GS 「責任を負う」

14 ① GS 「創造、創造する」

② 詩篇 19 : 1、24 : 1

16 しかしそれは、わたし自身の方法で行われなければならぬ。見よ、富んでいる者を低くすることによって貧しい者を高くすること、これこそ、主なるわたしが聖徒たちに必要なものを与えるために定めた方法である。

17 地は満ちており、十分にあり余っているからである。まことに、わたしはすべてのものを備え、人の子らが自ら選択し行動する者となるようにした。18 それゆえ、わたしの造った豊かなものの中から取りながら、わたしの福音の律法に従って貧しい者や乏しい者に物を分け与えることをしない者は、悪人とともに、地獄で苦しみながら見上げるであろう。

19 さて、まことに、わたしはこの制度の財産に関してあなたがたに言う。

20 わたしの僕シドニー・リグドンには、わたしが命じるときに、わたしの望むままに彼がわたしのぶどう園で働く間、彼を扶養するために、彼が今住んでいる場所と皮なめし所の敷地を彼の管理の財産として定めるようにしなさい。

21 すべてのことを、カートランドの地に住むこの

制度の会員の助言と、この制度の会員の一致した同意や声に従って行いなさい。

22 この管理の財産と祝福を、主なるわたしは、わたしの僕シドニー・リグドンと彼の後の子孫への祝福として彼に授ける。

23 また、彼がわたしの前に謙遜であれば、わたしは彼に数々の祝福を増し加えよう。

24 さらにまた、わたしの僕マーティン・ハリスには、彼と彼の後の子孫のために、わたしの僕ジョン・ジョンソンが以前の受け継ぎの地と引き換えに得た土地の敷地を、彼の管理の財産として定めるようにしなさい。

25 また、彼が忠実であれば、わたしは彼と彼の後の子孫に数々の祝福を増し加えよう。

26 また、わたしの僕マーティン・ハリスに、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアが指示するとおりに、わたしの言葉を宣言するために金銭をささげさせなさい。

27 さらにまた、わたしの僕フレデリック・G・ウイリアムズには、彼が今住んでいる場所を所有させなさい。

16 ① 教義105、GS「福祉」
 ② サ上2・7-8、ルカ1・51-53
 17 ① 教義59 16-20、GS「地球(地)」
 ② 「選抜の自由」
 18 ① ルカ3・11、新ヤコ2・15-16
 ② 教義42、30、モサ4・26、③ 箴言14、21、教義52、40-26
 ④ ルカ16、20-31
 19 ① GS「共同制度」

28 わたしの僕オリバー・カウドリには、印刷所として使われる家に隣接する区画された敷地、すなわち第一の敷地と、彼の父親が住んでいる敷地を所有させなさい。

29 わたしの僕たち、フレデリック・G・ウィリアムズとオリバー・カウドリに、印刷所とそれに付属するすべてのものを与えなさい。

30 これは彼らに定められる管理の財産となる。

31 彼らが忠実であれば、見よ、わたしは彼らを祝福し、数々の祝福を増し加えよう。

32 これは、彼らと彼らの後の子孫のために、わたしが彼らを任じた管理人の職の初めである。

33 彼らが忠実であれば、わたしは彼らと彼らの後の子孫に数々の祝福を、まことに多くの祝福を増し加えよう。

34 さらにまた、わたしの僕ジョン・ジョンソンに、彼が住んでいる家と受け継ぎの地のすべてを与えなさい。ただし、わたしの家を建てるために確保されて

いるその受け継ぎの地に付属する土地、ならびにわたしの僕オリバー・カウドリのために指定された敷地は除外される。

35 彼が忠実であれば、わたしは彼に数々の祝福を増し加えよう。

36 わたしの思いは、御霊の声によつて、この制度の会員の助言によつて、またこの制度の会員の声によつて彼に知らされるとおりに、彼がわたしの聖徒たちの町を築くために区画された敷地を売ることである。

37 これは、彼と彼の後の子孫への祝福として、わたしが彼に定めた管理人の職の初めである。

38 彼が忠実であれば、わたしは彼に多くの祝福を増し加えよう。

39 さらにまた、わたしの僕ニユーエル・K・ホイットニーには、彼が今住んでいる家と敷地、および商店のある敷地と建物、ならびに商店の南の角にある敷地、それに灰焼場のある敷地を定めるようにしなさい。

40 これをすべて、わたしは、わたしの僕ニユーエル・K・ホイットニーの管理の財産として、彼と彼の後の子孫への祝福として、またわたしがかうトランドの地におけるわたしのステークのために設けたわたしの制度の商店の益のために、彼に定めた

39 36 34
 ① ① ① 教義 94 : 3, 10
 GS 「啓示」
 ニユーエル・K

のである。

41 まことに、この商店のすべては、わたしの僕 N・K・ホイットニーに、まことに彼と彼の代理人、および彼の後の子孫にわたしが定めた管理の財産である。

42 彼がわたしから与えられた戒めを忠実に守れば、わたしは彼と彼の後の子孫に数々の祝福を、まことに多くの祝福を増し加えよう。

43 さらにまた、わたしの僕 ジョセフ・スミス・ジュニアには、わたしの家を建てるために区画されている奥行四十ロッド、幅十二ロッドの敷地と、また彼の父親が今住んでいる受け継ぎの地を定めるようにしなさい。

44 これは、彼と彼の父親への祝福として、わたしが彼に定めた管理人の職の初めである。

45 見よ、わたしは彼の父親を扶養するために、彼のための受け継ぎの地を取っておいたからである。それゆえ、彼はわたしの僕 ジョセフ・スミス・ジュニアの家の中に数えられるであろう。

46 わたしの僕 ジョセフ・スミス・ジュニアが忠実であれば、わたしは彼の家に数々の祝福を、ま

とに多くの祝福を増し加えよう。

47 さて、わたしはシオンに関してあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたはもはや、一つの共同制度としてシオンの同胞に拘束されることがあつてはならない。ただ次のようになる。

48 すなわち、あなたがたは自らを組織した後に、「カートランドの町、シオンのステークの共同制度」と呼ばなければならぬ。また、あなたがたの兄弟たちは組織した後、「シオンの町の共同制度」と呼ばなければならぬ。

49 彼らは彼ら自身の名によつて、またそれ自体の名によつて組織しなければならぬ。また、彼らはそれ自体の名によつて、また彼ら自身の名によつて務めを行わなければならない。

50 そして、あなたがたはそれ自体の名によつて、またあなたがた自身の名によつてあなたがたの務めを行わなければならない。

51 わたしはこれを、あなたがたの救いと、彼らの救いのために行うように命じた。彼らが追い出されたためであり、また来るべきことのためである。

52 聖約が、戒めに背くことによつて、また貪欲と

45 ① 教義 84 | 113

GS 「スミス、ジョセフ、

シニア」

48 「教義 82 | 13、

94 | 1, 109 | 59、

GS 「ステーク」

52 ① 教義 109 | 47

GS 「聖約、契約」

52 ② GS 「貪欲、むさ

ぼり」

偽りの言葉によって破られたので、

53 あなたがたは、兄弟たちと結びていた共同制度としては解散される。そして、この時点までとはかく、これからはわたしの述べたように、この制度が評議会において同意し、あなたがたの事情が許して評議会の声が支持するままに行う貸し借りのほか、あなたがたは兄弟たちと結びつきを持たない。54 さらにまた、わたしがあなたがたに定めた管理の財産に関して、あなたがたに戒めを与える。

55 見よ、すべてこれらの財産はわたしのものである。そうでなければ、あなたがたの信仰はむしろ、あなたがたは偽善者とされ、あなたがたがわたしと交わした聖約は破られる。

56 そして、これらの財産がわたしのものであるならば、あなたがたは管理人である。そうでなければ、あなたがたは管理人ではない。

57 しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたをわたしの家をつかさどる管理人とした。実にあなたがたは管理人なのである。

58 そして、わたしがあなたがたに自らを備えるよ

うにと命じたのは、この目的のためである。すなわち、わたしの言葉、言い換えれば、わたしの聖文のすべてと、わたしがかつてあなたがたに与えた啓示、またこの後折々あなたがたに与える啓示を印刷するためである。

59 それらの啓示が与えられるのは、地上にわたしの教会と王国を築き上げ、わたしが自分の民とともに住むときに對して彼らを備えるためである。その時はもう近づいている。

60 あなたがたは金庫のための場所を備えて、そこをわたしの名のために奉獻しなければならぬ。

61 また、その金庫を守るためにあなたがたの中の一人を任命し、この祝福に聖任しなければならぬ。

62 また、その金庫に封を施し、すべて神聖なものをその金庫に納めなければならない。そして、あなたがたの中のだれも、それを、あるいはその一部といえども自分のものと言ってはならない。それはあなたがた全員のものだからである。

63 わたしは今この時点から、あなたがたにそれを与える。あなたがたは行って、わたしが述べたよう

56 ① GS 「管理人、管理人の職」

58 ① GS 「ヨセフ、スミス訳」

59 ① 教義 1 : 35

29 : 9 11

② GS 「福千年」

36

にこれらの神聖なものを印刷するために、神聖なもののは除いて、わたしがあなたがたに定めた管理の財産を使うようにしなさい。

64 また、その神聖なものから得る利益は金庫に納め、その上に封を施さなければならぬ。そして、制度の会員の声によるか、あるいは戒めによる以外には、だれもそれを使ったり、金庫から取り出したりしてはならず、またその上に施された封を解くことも許されない。

65 このように、あなたがたはその神聖なものから得る利益を、神聖かつ聖なる目的のために金庫に保管しなければならぬ。

66 そして、これを主の神聖な金庫と呼ぶなければならぬ。また、それが聖なるもので、主に奉獻されたものとなるように、その上に封を施さなければならぬ。

67 さらにまた、別の金庫を備え、その金庫を守るために金庫係を任命し、またそれに封を施さなければならぬ。

68 また、わたしがあなたがたに定めた財産、すなわち家や土地や家畜や、わたしが神聖かつ聖なる

目的でわたしのために取っておいた神聖かつ聖なる書き物を除くすべてのものを、よく活用することによって、あなたがたが管理の財産から得るすべての金銭は、それを受け取り次第、百ドルでも、五十ドルでも、二十ドルでも、十ドルでも、五ドルでも、金庫に納めるようにしなければならぬ。

69 言い換えれば、五ドルを得た者は、五ドルを金庫に納めなさい。十ドル、二十ドル、五十ドル、あるいは百ドルを得たとしても、同様にしなさい。

70 そして、あなたがたの中のだれも、それは自分のものであると言ってはならない。それは、あるいはその一部といえども、自分のものと言ってはならないからである。

71 また、制度の会員の声と同意によらなければ、その一部といえども使ったり、金庫から取り出したりしてはならない。

72 制度の会員の声と同意とはこうである。すなわち、あなたがたの中のだれかが金庫係に、「わたしの管理人の職の助けとしてこれが必要ですよ」と言う。

73 五ドルでも、十ドルでも、二十ドルでも、五十

たがたの特典である。

85 会員の同意により、あるいはあなたがたが良いと思うそのほかの方法により、この度に限りあなたがたの名をもって、わたしがあなたがたの手に渡した財産を抵当に入れなさい。

86 わたしはこの度に限り、あなたがたにこの特典を与える。見よ、あなたがたがわたしの命じたとおりに、わたしがあなたがたの前に提示したことに取りかかるならば、すべてこれらのものはわたしのものであり、あなたがたはわたしの管理人であるので、主人は自分の家に押し入れられるのを許さない。まことにそのとおりである。アーメン。

第 105 章

千八百三十四年六月二十二日、ミズーリ州フィッツィング川において、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。預言者に率いられて、オハイオやその他の地域から集まった聖徒たちは、後に「シオンの陣営」として知られる遠征隊を組んでミズーリ州に向かつて行軍した。彼らの目的は、追い出されたミズーリの聖徒たちを護衛してジャクソン郡にあった彼らの土地に連れ戻すことであ

あった。以前から聖徒を迫害していたミズーリ州の住民は、「シオンの陣営」による報復を恐れたため、機先を制してミズーリ州クレイ郡に住む何人かの聖徒を襲った。ミズーリ州知事が聖徒を支援するという約束を翻した後、ジョセフ・スミスはこの啓示を受けた。

1-5 シオンは日の栄えの律法に従って築き上げなければならない。6-13 シオンの贖いは、しばしの間延期される。14-19 主はシオンの戦いを戦われる。20-26 聖徒たちは集合するとき、賢明であって、力ある業を自慢してはならない。27-30 ジャクソン郡とそれに隣接する郡の土地を購入しなければならない。31-34 長老たちは、カートランドにおける主の宮でエンダウメントを受けなければならない。35-37 召されかつ選ばれる聖徒たちは、聖められる。38-41 聖徒たちは世に平和の旗を掲げなければならない。

1 まことに、わたしは、苦しんでいるわたしの民の贖いに関するわたしの思いを知るために集まったあなたがたに言う。

2 見よ、わたしはあなたがたに言う。各個人では

なく、教会全体について語れば、わたしの民は戒めに背かなかつたならば、今はもう贖われていたであらう。

3 しかし見よ、彼らはわたしが彼らの手に求めたことに従おうとせず、あらゆる悪に満ち、また聖徒としてふさわしく彼らの中の貧しい者や苦しんでいる者に持ち物を分け与えない。

4 また、日の栄えの王国の律法により求められている和合一致に従って結束していない。

5 日の栄えの王国の律法の諸原則によらなければ、シオンを築き上げることはできない。そうであれば、わたしはシオンをわたしのもとに迎えることはできない。

6 そして、わたしの民は、たとえ苦しみを受けることによらなければならぬとしても、従順を学ぶまで、必ず懲らしめを受けなければならぬ。

7 わたしが述べているのは、わたしの民を導くために任命された者たち、すなわちわたしの教会の最初の長老たちについてではない。彼らのすべてがこの罪の宣告の下にいるわけではないからである。

8 わたしが述べているのは、外にあるわたしの諸教会についてである。多くの者は言う。「彼らの神はどこにおられるのか。見よ、苦難のときに、神は彼らを救い出されるであらう。そうでなければ、我々はシオンに上つて行かず、我々の金銭を取っておこう。」

9 それゆえ、わたしの民が戒めに背いたので、わたしが必要としているのは、わたしの長老たちがしばしの間シオンの贖いを待つことである。

10 それは、彼ら自身が備えられるためであり、またわたしの民がもつと十分に教えを受け、経験を得、彼らの義務とわたしがその手に求めることにしてもつと十分に知るためである。

11 わたしの長老たちが高い所から力を授けられるまで、これは成し遂げられない。

12 見よ、彼らが忠実であり、わたしの前に引き続き謙遜であるならば、わたしは、一つの大きいなるエンダウメントと祝福が彼らに注がれるように用意をしている。

13 それゆえ、わたしが必要としているのは、長老たちがしばしの間シオンの贖いを待つことである。

3 ① 教義104・4・5、52
 2 ① 使徒5・11、11、
 教義42・30、
 3 ① 奉獻、奉獻の律法
 4 GS「奉獻、奉獻の律法」
 5 ① 教義78・3・7
 ② 教義88・22
 ③ 教義104・15・16
 6 GS「シオン」
 ② 教義95・1・2、
 ③ 「懲らしめ」
 7 GS「義務」
 ① 教義20・2・3
 9 ① 教義103・4
 10 GS「長老」
 11 ① 教義38・32、95・8、
 ② 「エンダウメント」
 12 教義110章

14 見よ、わたしはシオンの戦いを戦うことを彼らの手に求めない。「わたしはあなたがたの戦いを戦う」と、以前の戒めの中で言ったとおり、わたしが行うからである。

15 見よ、わたしは、敵を滅ぼし荒らすために滅ぼす者を遣わした。これから多くの年がたたないうちに、敵がわたしの譲りの地を汚したり、聖徒たちの集うののためにわたしが聖別した地で彼らがわたしの名を汚したりすることは許されなくなるであろう。

16 見よ、わたしの家の勇士、すなわち、わたしの戦士、わたしの若者たちと中年の者たちに、わたしの民の贖いのために集まってわたしの敵の見張り台を崩し、その見張り人を追い散らすように告げよ、とわたしは僕であるジョセフ・スミス・ジュニアに命じた。

17 しかし、わたしの家の勇士はわたしの言葉に聞き従わなかった。

18 しかし、ある者たちはわたしの言葉に聞き従ったので、彼らが続けて忠実であれば、わたしは彼らのために祝福とエンダウメントを用意している。

19 わたしは彼らの祈りを聞いた。そして、彼らのささげ物を受け入れる。信仰の試練として、彼らがここまで連れて来られることは、わたしにとって必要であった。

20 さて、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに戒めを与える。ここまで上つて来た者で、この周りの地域にとどまることのできる者がいれば、彼らを皆とどまらせなさい。

21 また、東部に家族がいて、とどまることのできない者は、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアが指示するままに、しばしの間滞在しなさい。

22 わたしはこの件に関して彼に助言するので、彼が指示することはすべて果たされるであろう。

23 また、この周りの地域に住むわたしの民は皆、大いに忠実であり、よく祈り、わたしの前にへりくだりなさい。そして、わたしが明らかにした事柄を、それらを知らせるのがわたしの知恵にかなうときまで知らせないようにしなさい。

24 裁きについて語らず、また信仰も力ある業も自慢することなく、注意深く集まって、人々の気持ちに添うようにできるだけ一地域にいるようにしな

14 イザヤ 49 : 25
15 ① 教義 1 : 37
② 教義 84 : 3
③ 教義 84 : 4
16 「冒瀆、汚す罪」
① 教義 103 : 24
② 教義 103 : 26
③ 教義 103 : 26
18 ① 教義 112 : 35
② 教義 112 : 35
③ 教義 112 : 35
19 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30
20 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30
21 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30
22 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30
23 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30
24 ① 教義 103 : 22
② 教義 103 : 30
③ 教義 103 : 30

さい。

25 また見よ、あなたがたが、「法律に従ってわたしたちのために裁きと公平とを行い、わたしたちの受けた不当な扱いに対して補償をしてください」と人々に言っている間、あなたがたが平穩かつ安全でいられるように、わたしは彼らの好意と善意をあなただがたに与えよう。

26 さて見よ、わたしは友であるあなたがたに言う。このような方法で、あなたがたは人々の好意を得ることができ、ついにイスラエルの軍勢はきわめて大いなるものとなる。

27 わたしは、バロの心を和らげたように、折々に人々の心を和らげよう。そして、わたしが任命したわたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアとわたしの長老たちが、わたしの家の勇士を集める時間と、

28 また、ジャクソン郡やその周りの隣接する郡においてすべての購入可能な土地を購入することに關して、わたしが命じたことを果たすために、賢い人々を遣わす時間を得られるようにしよう。

29 わたしの思いは、聖徒たちがこれらの土地を購入し、これらを購入した後、わたしの与えた奉獻

の律法に従ってこれらを所有することである。

30 そして、これらの土地を購入した後、イスラエルの軍勢が以前に金銭をもって購入した彼ら自身の土地を所有し、そこにあるわたしの敵の見張り台を崩し、その見張り人を追い散らし、わたしを憎む者たちの三代、四代に至るまでわたしの敵に報復することを、わたしは罪がないとするであろう。

31 しかし、まず、わたしの軍勢をきわめて大いなるものとなし、わたしの前に聖なるものとしなさい。それが太陽のように美しく、月のように明るくなり、またその旗がすべての国民にとつて恐ろしいものとなるためである。

32 そして、この世のもろもろの王国が、「シオンの王国は、まことに我らの神とそのキリストの王国である。だから、その律法に従おう」と認めざるを得なくするためである。

33 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしが必要としているのは、カートランドの地にわたしの名のために建てるように命じたわたしの家において、わたしの教会の最初の長老たちが、高い所から授けられるエンダウメントを受けることである。

25 GS「平安、平和」
 26 ①ヨエ2・11
 27 ①創世47・1-12
 28 ①教義42・35-36
 29 GS「共同制度」
 30 「奉獻、奉獻の律法」
 31 ①教義35・13-14、
 ②教義97・22
 ③GS「聖め」
 32 ①雅歌6・10、
 ②黙示11・15、109・73
 33 GS「神の王国、天の王国」
 GS「政府」
 ①教義95・8-9、
 「エンダウメント」

34 わたしがシオンとその律法①に関するしるしを
 らの戒めは、シオンの贖いの後に実行し、果たすよ
 うにしなさい。

35 召し②の日は過ぎ去り、選びの日が来た。そこで、
 ふさわしい者たちを選びよにしなさい。

36 選ばれる者たちについては、御霊の声によって、
 わたしの僕に明らかにされるであろう。そして、彼
 らは聖められるであろう。

37 また、彼らが自分の受ける勧告に従うならば、
 多くの日の後、彼らはシオンに関するすべてのこと
 を成し遂げる力を持つてであろう。

38 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あな
 たがたを打った人々だけでなく、すべての人に平
 和を訴えなさい。

39 平和の旗を掲げ、地の果てまで平和を宣言しな
 さい。

40 また、あなたがたの内に御霊の声に従って、
 あなたがたを打った者に和解を申し出なさい。そ
 うすれば、万事があなたがたの益となるようにと
 もに働くであろう。

41 それゆえ、忠実でありなさい。そうすれば、見

よ、見よ、わたしはまことに最後まであなたがた
 とともにいる。まことにそのとおりである。アー
 メン。

第 106 章

千八百三十四年十一月二十五日、オハイオ州カートラ
 ンドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えら
 れた啓示。この啓示は、オリバー・カウドリの兄ウォレ
 ン・A・カウドリにあてられたものである。

1-3 ウォレン・A・カウドリが地元①の管理役員とし
 て召される。4-5 再臨が盗人のように不意に光の子を
 襲うことはない。6-8 教会で忠実に奉仕すると、大い
 なる祝福がもたらされる。

1 わたしの思いは、わたしの僕ウォレン・A・カウ
 ドリが、フリーダム①の地とその周りの地域におけ
 るわたしの教会の管理大祭司に選ばれ、聖任され、
 2 わたしの永遠の福音を宣べ伝え、彼の任地だけ
 でなく隣接する郡においても、その声を上げて人々
 に警告し、

34 ① 42章は「律法一
 として知られている
 35 ① GS「召し」神の
 召し」

36 ① ② GS「ふさわしき」
 ② GS「選ぶ」
 ② GS「聖め」

39 37 ① GS「勧告、勧め」
 ① GS「平安、平和」

40 ① ② GS「旗」
 ① GS「マタ」
 ① GS「教義 90・24、100・
 28、19・20」

第 106 章

1 ① ニューヨーク州
 フリーダムの町と
 その周辺

3 わたしは今彼に与えるこの気高くかつ聖なる召しに全時間をささげ、天の王国とその義を熱心に求めることである。そうすれば、必要なものはすべて添えて与えられるであらう。働き人が報酬を受けるのは当然だからである。

4 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。主の来臨が近づいており、それは夜の盗人のように不意に世を襲う。

5 それゆえ、あなたがたは光の子となるために、腰に帯を締めなさい。そうすれば、その日が盗人のように不意にあなたがたを襲うことはないであらう。

6 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ウォレンがわたしの笏に身をかがめ、人の悪賢い行いから身を引いたとき、天に喜びがあった。

7 それゆえ、わたしの僕ウォレンは、幸いである。わたしは彼を憐れむからである。彼に虚栄心があるにもかかわらず、もし彼がわたしの前にへりくだるならば、わたしは彼を高く上げよう。

8 また、わたしは彼に恵みと確信を与えて、彼が

立てるようにしよう。もし彼が続けて忠実な証人であり、教会にとって光となるならば、わたしは父の住まいに彼のために冠を用意している。まことにそのとおりである。アーメン。

第 107 章

千八百三十五年四月ごろ、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた神権に関する啓示。本章は千八百三十五年に記録されたものであるが、第六十節から第百節までの大部分は千八百三十一年十一月十一日にジョセフ・スミスを通して与えられた啓示を組み入れたものであることが、歴史記録により確認されている。本章は千八百三十五年二月と三月に行われた十二使徒定員会の組織に関連したものである。預言者は、定員会の最初の伝道に出るために、千八百三十五年五月三日に出発する準備をしていた人々の前でそれを伝えたものと思われる。

1-6 二つの神権、すなわちメルキゼデク神権とアロン神権がある。7-12 メルキゼデク神権を持つ者は、教会におけるすべての職務を行う力を持つ。13-17 ビシヨ

3 ① マタ 6 : 33
 ② GS 神の王国、
 天の王国
 ③ マタ 10 : 10、
 教義 31 : 5
 4 ① 新ヤコブ 5 : 8
 ② GS 終りの時、
 末日
 5 ① ③ 1 テサ 5 : 2
 ② GS 一光、キリスト
 の光
 7 ① ② 黙示 16 : 15
 ② GS 「うぬぼれ」
 8 ② ① GS 「恵み」
 エテ 12 : 32、14 : 2、
 教義 59 : 2、76 : 34、
 81 : 6、98 : 18、
 103 : 11

ツブリックは、外形上の儀式を執行するアロン神権を管理する。18-20メルキゼデク神権はすべての靈的な祝福の鍵を持つ。アロン神権は天使の働きを持つ。21-38大管長会、十二使徒会、および七十人会はそれぞれ管理定員会を構成し、彼らの決議は一致と義によって下されなければならない。39-52アダムからノアまで族長制度が確立された。53-57古代の聖徒たちがアダム・オ نداイ・アーマンに集まり、主が彼らに御姿を現された。58-67十二使徒会は教会の役員たちを整えなければならない。68-76ビショップはイスラエルの一般判士を務める。77-84大管長会と十二使徒会は、教会の最高法廷を構成する。85-100神権組織の会長は、それぞれの定員会を管理する。

1 教会には二つの神権、すなわち、メルキゼデク神権と、レビ神権を含むアロン神権がある。
 2 なぜ前者がメルキゼデク神権と呼ばれるかといえ、メルキゼデクはそれほど偉大な大祭司であったからである。
 3 彼の時代の前には、これは神の御子の位に従う聖なる神権と呼ばれていた。

4 しかし、至高者の名を敬い尊ぶことから、この名をあまり頻繁に繰り返すのを避けるために、昔の教員はこの神権を、メルキゼデクにちなんで、メルキゼデク神権と呼んだのである。
 5 教会における他のすべての権能または職は、この神権に付属するものである。
 6 しかし、二つの区分、すなわち大きな部類がある。一つはメルキゼデク神権であり、他はアロン神権またはレビ神権である。

7 長老の職は、メルキゼデクの神権の下にある。
 8 メルキゼデク神権は管理する権利を有し、この世のあらゆる時代に、教会におけるすべての職を管理し、靈的な事柄をつかさどる力と権能を持つ。
 9 メルキゼデクの位に従う大神権の大管長会は、教会におけるすべての職務を行う権利を持つ。
 10 メルキゼデク神権の位に従う大祭司は、大管長の指示の下に、自らの職において職務を行い、靈的な事柄をつかさどる権利を持つ。また、長老や(レビの位の)祭司、教師、執事、および会員の職務を行う権利をも持つ。
 11 長老は、大祭司が不在のときに、彼の代わりに

第10章

- 1 ① GS 「メルキゼデク神権」
- 2 ② GS 「アロン神権」
- 2 ① JS 創世 14:25-40 (付録、教義 84:14)
- 3 ① アル 13:3-19
- 3 ② 教義 76:57
- 4 ① GS 「敬虔」
- 5 ① 教義 84:29、107:14
- 6 ① 申命 10:8-9
- 7 ① GS 「長老」
- 8 ① GS 「権威、権限、権能」
- 9 ① 教義 81:2、107:22、65:67、91:92
- 10 ① GS 「大祭司」
- ② 教義 121:34-37

職務を行う権利を持つ。

12 大祭司と長老は、教会の聖約と戒めにかんたって、霊的な事柄をつかさどらなければならぬ。また、彼らは、上位の権能を持つ者が不在のときに、教会のすべての職務を行う権利を持つ。

13 第二の神権は、アロンの神権と呼ばれる。それがアロンとその子孫に代々授けられたからである。

14 なぜそれが小神権と呼ばれるかといえば、それが大神権、すなわちメルキゼデク神権に付属するものであり、外形上の儀式を執行する力を持つからである。

15 ビショッププリックはこの神権の会長会であり、その鍵、すなわち権能を持つ。

16 だれもアロンの直系の子孫でなければ、この職に就き、この神権の鍵を所有する律法上の権利を持つことはない。

17 しかし、メルキゼデク神権の大祭司は、それ以下のすべての職の職務を行う権能を持つので、アロンの直系の子孫がだれも見つからないときは、メルキゼデク神権の大管長会の手によってこの力を有する職に召され、任命され、聖任されるなら

ば、ビショップの職務を行うことができる。

18 大神権すなわちメルキゼデク神権の力と権能とは、教会のすべての霊的な祝福の鍵を持つことである。

19 すなわち、天の王国の奥義を受ける特権を持ち、天が彼らに開かれ、長子の教会の総集いと親しく交わり、また父なる神と新しい聖約の仲保者イエスの親しい交わりと臨在とを享受することである。

20 小神権すなわちアロン神権の力と権能とは、天使の働き、鍵を持ち、また聖約と戒めにかんたって外形上の儀式、すなわち福音の文字、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを執行することである。

21 これら二つの神権におけるそれぞれの職に聖任された者たちの中から、会長、すなわち管理役員が出るように、すなわち任命されるようにする必要がある。

22 メルキゼデク神権を持つ者の中から、この団体によって選ばれ、その職に指名され、聖任され、また教会員の信頼と信仰と祈りによって支持された

13 ① GS 「アロン神権」
② GS 「アロン」
③ GS 「モーセの兄」
④ GS 「ビショップ」
14 ① GS 「ビショップ」
② GS 「ビショップ」
③ GS 「ビショップ」
④ GS 「ビショップ」
15 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
16 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
17 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
18 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
19 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
20 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
21 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」
22 ① GS 「神の奥義」
② GS 「神の奥義」
③ GS 「神の奥義」
④ GS 「神の奥義」

三人の管理大祭司が、教会の長官の定員会を構成する。

23 十二人の巡回評議員は召されて、十二使徒、すなわち全世界におけるキリストの名の特別な証人となる。このように彼らは、その召しの義務が教会における他の役員とは違っている。

24 そして、彼らは、前に述べた三人から成る大管長会と同等の権能と力を持つ定員会を構成する。

25 七十人も召されて、福音を宣べ伝え、異邦人と全世界に対する特別な証人となる。このように彼らは、その召しの義務が教会における他の役員とは違っている。

26 そして、彼らは、今述べた十二人の特別な証人、すなわち十二使徒の権能と同等の権能を持つ定員会を構成する。

27 これらいずれの定員会が下す決議も皆、その定員会の全会一致の声によつてなされなければならぬ。すなわち、彼らの決議を互いに同等の力すなわち効力のあるものとするために、各定員会のすべての会員がその決議に同意しなければならぬ。

28 事情によりやむを得ないときは、過半数で定員

会を成立させることができる。

29 定員会の決議が全会一致でないかぎり、彼らの決議は、メルキゼデクの位に従つて聖任された、義にかつた聖なる人であつた昔の三人の長から成る定員会の決議が受けるに値したものと同等の祝福を受けるに値しない。

30 これらの定員会、またはそれらのいずれかの決議は、完全な義により、聖さとへりくだつた心、柔和と寛容により、また信仰、徳、知識、節制、忍耐、信心、兄弟愛、および慈愛により下されなければならない。

31 なぜならば、これらのものが彼らの内にますます豊かになるならば、彼らは主を知る知識について実を結ばない者となることはない、という約束があるからである。

32 また、これらの定員会のいかなる決議でも不義に下されるならば、教会の霊にかかわる権能を持つ者たちが構成する複数の定員会の総会の前にそれを持ち出すことができる。そうでなければ、彼らの決議からの上訴はあり得ない。

33 十二使徒会は巡回管理高等評議会であり、天の

23 ① GS 107 ② ① 78 ③ 84 9 教義 90 3、6、
25 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35
29 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35
30 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35
31 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35
32 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35
33 ① GS 121 ② ① 33 ③ 35

規定ききていになつて教会の大管長だいかんちやうの指示しじの下もとに主しゅの名なにおいて職務しやくむを行い、またまず異邦人いほうじんのために、次ついでユダヤ人じんだのために、教会きやうかいを築あき上げ、すべての国々くにくににおいて教会の諸事しよじをすべて整ととのえる。

34 七十人しじゅうにんは、^①十二使徒じふにしと会かい、すなわち巡回高等評議じゆんかいこうとうひやうぎ会の指示しじの下もとに主しゅの名なにおいて行動こうどうし、まず異邦人いほうじんのために、次ついでユダヤ人じんだのために、教会きやうかいを築あき上げ、すべての国々くにくににおいて教会の諸事しよじをすべて整ととのえる。

35 十二使徒じふにしとは、遣つかわされ、鍵かぎを持ち、イエス・キリストの福音ふくいんを宣言せんげんすることによつて門かどを開く。これはまず異邦人いほうじんに、次ついでユダヤ人じんだに行おこなわれる。

36 シオンのステークにおける常任高等評議じやうにんこうとうひやうぎ会かい、教会の諸事しよじに関する彼らのすべての決議けつぎにおいて、大管長だいかんちやうの定員ていゐん会かい、あるいは巡回高等評議じゆんかいこうとうひやうぎ会かいと同等の権能けんのうを持つ定員ていゐん会かいを構成する。

37 シオンにおける高等評議こうとうひやうぎ会かいは、教会の諸事しよじに関する彼らのすべての決議けつぎにおいて、シオンのステークにおける十二人の評議ひやうぎ会かいと同等の権能けんのうを持つ定員ていゐん会かいを構成する。

38 巡回高等評議じゆんかいこうとうひやうぎ会かいは、福音ふくいんを宣のべ伝え、福音ふくいんを施ほす

ために、様々さまざまな召しを果たすに当たつて助けを必要ひつ要ようとするときには、ほかの人々ひとびとではなく、七十人しじゅうにんに要請ようせいしなければならぬ。

39 十二使徒じふにしとは、教会のすべての大きな支部しぶにおいて、啓示けいしにより知らされるままに、福音ふくいんの奉仕ほうし者しやを聖任せいにんしなければならぬ。

40 この神権しんけんの位くらゐは、父親ちちおやから息子むすこへ継承けいしやうされるように確認かくにんされたものであり、約束やくそくを与えられた、選ばれた血統けつとうの直系ちよきけいの子孫しそんに正当せいとうに属ぞくするものである。

41 この位くらゐはアダム①の時代じだいに設もうけられ、次のように血統けいとうによつて継承けいしやうされた。

42 すなわち、アダムからセツ②に継承けいしやうされた。セツは六十九歳むそくじゅうさゐのときにアダムによつて聖任せいにんされ、また彼かれ(アダム)の死ぬ三年前ねんまへに彼かれによつて祝福しゆくふくを授けられ、その子孫しそんは主の選民せんみんとなり、世の終わりまで守られるという神の約束やくそくを父を通つうじて受けた。

43 彼かれ(セツ)は完全な人ひとであり、その姿は彼の父に生き写しうつつであったので、彼はあらゆる点てんで父のようであり、年齢ねんれいによつてのみ父と見分けることができた。

33 ① 1ニフ13、42、3ニフ16・4、13、教義90・8、19
34 ① GS「高等評議会」
35 ① GS「七十人」
36 ① GS「祝福師」
37 ① GS「アダム」
38 ② 創世5章、教義84・6、16、モセ6・10、25
43 ① GS「セツ」
② 創世5章、3

44 エノスは百三十四歳四か月のときに、アダムの手によつて聖任された。

45 カイナンが四十歳の年に、神は荒れ野で彼を訪れた。また、彼はシエドラマクの地に向かつて旅をしていた途中でアダムに会った。彼は聖任を受けたとき、八十七歳であつた。

46 マハラレルはアダムの手によつて聖任されたとき、四百九十六歳と七日であつた。アダムはまた彼を祝福した。

47 ヤレドはアダムの手の下で聖任されたとき、二百歳であつた。アダムはまた彼を祝福した。

48 エノクはアダムの手の下で聖任されたとき、二十五歳であつた。また、彼が六十五歳のときに、アダムは彼を祝福した。

49 そして、彼は主にまみえ、主とともに歩み、絶えず主の前にあつた。三百六十五年、彼は神とともに歩み、身を変えられて天に移されたとき、四百三十歳であつた。

50 メトセラはアダムの手の下で聖任されたとき、百歳であつた。

51 レメクはセツの手の下で聖任されたとき、三十

二歳であつた。

52 ノアはメトセラの手の下で聖任されたとき、十歳であつた。

53 アダムは死ぬ三年前に、すべて大祭司であつたセツ、エノス、カイナン、マハラレル、ヤレド、エノク、およびメトセラを、義になつた子孫の残りとともにアダム・オンダイ・アーマンの谷に呼び集め、そこで彼らに最後の祝福を授けた。

54 すると、主が彼らに現れた。彼らは立ち上がつてアダムをほめたたえ、彼をミカエル、君、天使長と呼んだ。

55 また、主はアダムに慰めを与え、そして言った。「わたしはあなたを立てて首長とした。多くの民族があなたから出るであらう。そして、あなたはとこしえに彼らを治める君である。」

56 そこで、アダムは会衆の中に立ち上がった。彼は老齢で腰が曲がついていたにもかかわらず、聖靈に満たされ、最後の世代に至るまでその子孫に起こることを預言した。

57 これらのことはすべてエノクの書に記されており、定められたときに証されるであらう。

49 48
① GS「エノク」
創世 5:22、
ヘブ 11:5、
モセ 7:69、5、

② GS「身を変えられた人」

53 52 50
① GS「メトセラ」
① GS「アア族長」

② GS「大祭司」
教義 78:15、116章、

GS「アダム・オンダイ・アーマン」

54
① 教義 128:21、

GS「ミカエル」

56 55
① 教義 78:16

① モセ 5:10

58 十二使徒はまた、啓示に従って教会の他のすべての役員を聖任し、整えなければならない。その啓示は次のとおりである。

59 すなわち、教会の務めに関する教会の律法に加えて、シオンの地におけるキリストの教会へ。

60 万軍の主は言う。まことに、わたしはあなたがたに言う。長老の職にある者たちを管理する管理長老がいなければならぬ。

61 また、祭司の職にある者たちを管理する祭司も、同じように教師の職にある者たちを管理する教師も、さらに執事もまたいなければならぬ。

62 執事から教師に、教師から祭司に、祭司から長老に至るまで、教会の聖約と戒めに従ってそれぞれ任命されるままに、いなければならぬ。

63 次に、大神権が来る。これはすべての中で最も大いなるものである。

64 それゆえ、大神権を持つ者の中から一人がその大神権を管理するために任命されることが必要であり、彼は教会の大神権の大管長と呼ばれる。

65 言い換えれば、教会の大神権を管理する管理大祭司である。

67 この人から、按手によって儀式の執行と教会員への祝福が来る。

68 それゆえ、ビショップの職はそれと同等ではない。ビショップの職は、すべて現世の事柄をつかさどるものだからである。

69 それでも、ビショップはアロンの直系の子孫でないかぎり、大神権を持つ者の中から選ばれなければならぬ。

70 彼はアロンの直系の子孫でないかぎり、その神権の鍵を持ってないからである。

71 しかしながら、メルキゼデクの位に従う大祭司は、現世の事柄をつかさどるように任命され、真理の御霊によってその知識を得、

72 イスラエルの判士となり、教会の務めを行い、教会の長老たちの中から選んだ顧問たち、あるいは将来選ぶ顧問たちの助けを得て、律法に従って彼の前に提出される証拠に基づいて戒めに背く者を裁く席に着く。

73 これは、アロンの直系の子孫ではなく、メルキゼデクの位に従う大神権に聖任されたビショップの義務である。

58 ① GS 「使徒」
 59 ① GS 「聖任」
 60 ① GS 「長」
 61 ① GS 「長」
 62 ① GS 「長」
 63 ① GS 「長」
 64 ① GS 「長」
 65 ① GS 「長」
 66 ① GS 「長」
 67 ① GS 「長」
 68 ① GS 「長」
 69 ① GS 「長」
 70 ① GS 「長」
 71 ① GS 「長」
 72 ① GS 「長」
 73 ① GS 「長」

74 シオンの境が広げられ、シオンまたはそのほかの場所において、ほかのビショップすなわち判士が必要になるまで、彼はこのように判士とならなければならぬ。すなわち、シオンであれ、シオンのステークであれ、あるいは彼がこの務めに任命される教会のいかなる支部であれ、そこに住む者の中で一般判士とならなければならぬ。

75 ほかのビショップたちが任命されれば、彼らもその職務を遂行する。

76 しかし、アロンの直系の子孫には、この神権の会長の職に就き、この務めの鍵を持ち、メルキゼデクの位に従う大神権の長を裁く場合のほかは顧問なしに独立してビショップの職務を遂行し、イスラエルの判士として席に着く、律法上の権利がある。

77 これらいずれの評議会の判決も、戒めにならぬこと。その戒めは次のとおりである。

78 さらにまことに、わたしはあなたがたに言う。教会の最も重要な事務、および教会の最も困難な事件は、ビショップや判士たちの判決が満足のいくものでなければ、これを教会の評議会に、すな

わち大神権の長官の前に引き継いで渡さなければならぬ。

79 大神権の評議会の長官は、顧問として補佐する他の大祭司、すなわち十二人を召す力を持つ。

このようにして、大神権の長官とその顧問たちは、教会の律法に従って証拠に基づいて判決を下す力を持つ。

80 この判決の後は、もうそれを主の前に持ち出してはならない。これは神の教会の最高評議会であり、また霊にかかわる事柄に関する論争についての最終判決だからである。

81 教会に属する者で、教会のこの評議会から免れる者はだれもない。

82 もしも大神権の長官が戒めに背いたならば、彼は大神権を持つ十二人の顧問によって補佐される教会の一般評議会の前に覚えられる。

83 彼の頭に下される彼らの判決は、彼に関する論争の終わりである。

84 このように、神の正義と律法から免れる者はない。神の前に秩序正しく厳粛に行われるのである。

85 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。執事の職を管理する会長（アロン神権の）の義務は、聖約に従って与えられているとおりに、十二人の執事を管理し、彼らとともに会議の席に着き、彼らに義務を教え、互いに教化し合うことである。

86 また、教師の職を管理する会長の義務も、聖約の中で与えられているとおりに、二十四人の教師を管理し、彼らとともに評議会の席に着き、彼らにその職の義務を教えることである。

87 また、アロンの神権を管理する会長の義務も、聖約の中で与えられているとおりに、四十八人の祭司を管理し、彼らとともに評議会の席に着き、彼らにその職の義務を教えることである。

88 この会長はビショップでなければならぬ。これはこの神権の義務の一つだからである。

89 さらに、長老の職を管理する会長の義務は、聖約に従って、九十六人の長老を管理し、彼らとともに評議会の席に着き、彼らに教えることである。

90 この会長は七十人の会長とは異なり、全世界を旅しない者たちのために設けられる。

91 さらにまた、大神権の職の**大管長の義務は、全**

教会を管理し、モーセのようであることである。92 見よ、ここに知恵がある。まことに、神が教会の長に授ける神のすべての賜物を持つ聖見者（アロン神権の） 啓示者、翻訳者、および預言者となることである。

93 また、七十人が七十人の人々の中から選ばれた七人の会長によって管理されることは、七十人の秩序を示す示現による。

94 これらの会長のうちの第七の会長が、六人を管理しなければならぬ。

95 これら七人の会長は、彼らが属する最初の七十人のほかに別の七十人を選び、彼らを管理しなければならぬ。

96 また、ぶどう園における働きで当然必要とされれば、七十の七倍まで、別の七十人を選び、管理する。

97 これらの七十人は、まず異邦人のもとへ、そしてユダヤ人のもとへも行く巡回奉仕者となる。

98 十二使徒会にも七十人にも属さない教会の他の役員は、すべての国々を旅する責任はないが、事情の許すときには旅をしなければならぬ。彼らは旅をする責任はないが、十二使徒や七十人と

85 ① GS 「執事」
 ② ① 教義 38 : 23、88 : 77
 ③ ① 教義 20 : 53、60、79、118
 86 GS 「教師（アロン神権の）」
 ① GS 「祭司（アロン神権の）」
 87 ① GS 「祭司（アロン神権の）」
 88 ① GS 「ビショップ」
 ① GS 「長老」
 90 ① GS 「ビショップ」
 91 ① 教義 124 : 137
 92 ① 教義 107 : 9、65 : 67
 ② ① 教義 28 : 2、16 : 21
 ③ ① GS 「御霊の賜物」
 ④ ② モサ 8 : 13、18
 93 GS 「聖見者」
 ① GS 「啓示」
 ② ① GS 「預言者」
 ③ ① GS 「長老」
 ④ ① 教義 107 : 38、124 : 138、139
 97 ① GS 「長老」
 ② ① 教義 107 : 38、124 : 138、139

同じように、教会内で高い責任ある職に就いている。

99 それゆえ、今や人は皆、自分の義務を学び、任命されている職務をまったく勤勉に遂行するようにしなさい。

100 怠惰な者は、その職にいるにふさわしい者と見なされない。また、自分の義務を学ばず、認められるに足る者であることを示さない者は、その職にいるにふさわしい者と見なされない。まことにそのとおりである。アーメン。

第 108 章

千八百三十五年十二月二十六日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この章はライマン・シャーマンの求めに応じて与えられたものである。彼はすでに七十人に聖任されており、自分の務めを知らせる啓示を求めて預言者のもとにやって来たのであった。

1-3 ライマン・シャーマンは罪を赦されている。4
5 彼は教会の指導的立場にある長老たちとともに数

えられる。6-8 彼は福音を宣べ伝え、兄弟たちを強めるように召される。

1 まことに、主はあなた、すなわちわたしの僕ライマンにこのように言う。あなたはわたしが任命した者から助言を受けるために、わたしの声に従って今朝ここにやって来たので、あなたの罪は赦されている。

2 それゆえ、あなたの霊の立場について心を安らかにし、もうわたしの声に逆らってはならない。

3 また、立つて、あなたがすでに交わした誓いと、これから交わす誓いを、今から後さらに注意深く守りなさい。そうすれば、あなたはきわめて大いなる祝福をもって祝福されるであろう。

4 わたしの僕たちによって聖会が召集されるまで、忍耐強く待ちなさい。そのとき、あなたはわたしの長老たちの最初の者とともに覚えられ、わたしが選んだ長老たちの残りとともに聖任されて権利を受けるであろう。

5 見よ、これは、あなたが続けて忠実であること条件に与えられた父の約束である。

99 GS「義務」
100 ① GS「熱心」
GS「怠惰」
② GS「ふさわしい」

第108章

1 GS「安息」
2 GS「教義」
3 GS「教義」
4 GS「教義」
5 GS「教義」

6 その日にそれは成就し、あなたはそのときから後、どこでもわたしが遣わす所でわたしの福音を宣べ伝える権利を持つてであらう。

7 それゆえ、あなたのすべての生き方により、またすべての祈りにより、すべての訓戒により、すべての行いにより、あなたの兄弟たちを強めなさい。
8 見よ、見よ、わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福し、とこしえにあなたを救う。アーン。

第 109 章

千八百三十六年三月二十七日、オハイオ州カートランドにおいて、神殿の奉獻に当たってさざげられた祈り。預言者の述べたところによれば、この祈りは啓示によって彼に与えられたものである。

1-5 カートランド神殿は、人の子が訪れる場所として建てられた。6-21 それは祈りと断食、信仰、学び、栄光、および秩序の家であり、また神の家である。22-33 主の民に敵対する者で悔い改めない者が辱められるように。34-42 聖徒たちが力をもって出て行き、義人をシ

オンに集めることができるように。43-53 終わりの時に悪人のうえに注がれる恐るべきことから、聖徒たちが救い出されるように。54-58 諸国民と諸民族と諸教会が、福音のために備えられるように。59-67 ユダヤ人、レマン人、および全イスラエルが贖われるように。68-80 聖徒たちが栄光と誉れを冠として与えられ、永遠の救いを得られるように。

1 おお、主なるイスラエルの神よ、あなたの御名に感謝いたします。真心から御前をまつすぐに歩むあなたの僕たちに対して、聖約を守り、憐れみを示してください。主なるイスラエルの神よ。

2 あなたはこの地（カートランド）にあなたの御名のために宮を建てるように、僕たちに命じられました。

3 おお、主よ、御覧のように、僕たちはあなたに命じられたとおりに行いました。

4 聖なる御父よ、わたしたちは、あなたの懐におられる御子イエス・キリストの御名によって、すなわち、その御名によってのみ人の子らに救いもたらされる御方の御名によって、願ひ求めます。お

第 109 章

- 6 ① GS 「伝道活動」
7 ① ルカ 22:31-32
8 ① 2 ニコラ 7:19
1 ① アル 37
GS 教義 46:32
② 「感謝」
GS グ 2:9-4、
2 ① 「聖約」(契約) 119
GS 教義 88:119

お、主よ、何とぞ、あなたがわたしたちに建てようにお命じになった、あなたの僕であるわたしたちの手で造られたこの宮を受け入れてくださいますように。

5 あなたは、わたしたちがひどい艱難を経てこの仕事を成し遂げたことを御存じです。人の子がその民に御自身を現す場所を得られるように、わたしたちは、あなたの御名のために宮を建てるため、貧しい中からわたしたちの持ち物を差し出しました。

6 あなたはわたしたちに与えてくださった啓示の中で、わたしたちを友と呼び、このように言われました。「わたしがあなたがたに命じたように、あなたがたの聖会を召集しなさい。

7 また、すべてが信仰を持っていないわけではないので、あなたがたは知恵の言葉を熱心に求め、互いに教え合いなさい。まことに、最良の書物から知恵の言葉を探し求め、研究によって、また信仰によって学問を求めなさい。

8 あなたがた自らを組織しなさい。すべての必要なものを用意しなさい。そして、一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光

の家、秩序の家、神の家を建てなさい。

9 それは、あなたがたの入って来ることが主の名によって行われ、あなたがたの出て行くことが主の名によって行われ、あなたがたのあいさつが、いつもいと高き方に向かつて両手を挙げて主の名によって行われるためである。」

10 さて、聖なる御父よ、何とぞ、わたしたちの聖会を召集するに当たり、あなたの民であるわたしたちをあなたの恵みをもって助け、その聖会があなたの誉れと神聖な承認のために行われるようにしてくださいますように。

11 また、わたしたちに下された啓示の中であなたの民であるわたしたちに与えてくださった約束を果たすのがふさわしいと、あなたの目になんて認めていただけるような方法で、その聖会が行われるようにしてください。

12 これによって、あなたの栄光があなたの民のうえにとどまり、またわたしたちが今あなたに奉獻するこのあなたの宮のうえにもとどまって、これが聖なるものとして聖められ、聖別され、あなたの聖なる訪れが絶えずこの宮の中にありますように。

4 ①
2 ニーフ、16
① GS ②
① 列上 9、3、
① 「神殿、主の宮
5 ① 教義 124、17、27、28
11 6 ① 教義 88、117、120
11 12 ① 教義 38、32、18、33
106 ① GS ① 栄光」

13 主の宮の敷居を越えて入って来るすべての者が、あなたの力を感じ、またあなたがこれを聖められたことと、これがあなたの宮、あなたの聖さのある所であることを認める促しを感じますように。

14 聖なる御父よ、この宮で礼拝するすべての者が最良の書物から知恵の言葉を教わり、またあなたが言われたとおり、彼らが研究によって、また信仰によって学問を求めますように。

15 また、彼らがあなたにあって成長し、聖霊の全きを受け、あなたの律法に従って組織され、すべての必要なものを得るために備えられますように。

16 この宮が祈りの家、断食の家、信仰の家、栄光の家、また神の家、すなわちあなたの家となりますように。

17 あなたの民がこの宮に入って来るのが、いつも主の御名によって行われますように。

18 彼らがこの宮から出て行くことが、いつも主の御名によって行われますように。

19 また、彼らのあいさつが、いつもいと高き御方に向かつて聖なる両手を挙げて主の御名によって行われますように。

20 清くないものがあなたの宮に入るのを許されてこれを汚すということが決してありませんように。

21 だれであろうとあなたの民が戒めに背くとき、彼らが速やかに悔い改め、あなたに立ち返り、あなたの御前に恵みを得、そしてあなたの宮であなたを敬う人々に注がれると定められた数々の祝福を回復されますように。

22 聖なる御父よ、何とぞ、あなたの僕たちがこの宮からあなたの力を帯びて出て行けますように。あなたの御名が彼らのうえにあり、あなたの栄光が彼らの周りにあり、あなたの天使たちが彼らに対する務めを果たしますように。

23 彼らがこの場所から地の果てまで、真理にかなつて、きわめて大いなる栄えあるおとずれを携えて行き、それによって人々が、これがあなたの御業であることを知り、またあなたが終わりの時に閱して、預言者たちの口を通して語られたことを成就するために御手を伸べられたことを知ることができすように。

24 聖なる御父よ、何とぞ、このあなたの宮で礼拝して名と地位を立派に維持する民を、すべての世

20 ① 教義 94 : 8-9
 21 ① GS 「敬虔」
 22 ① GS 「天使」
 23 ① 教義 1 : 2

代にわたつて、また永遠に確立してくださいように。

25 彼らを攻めるために造られるいかなる武器も役に立ちませんように。彼らのために穴を掘る者が自らその穴の中に落ちますように。

26 この宮でああなたの御名を受けた民に對して、いかなる悪の結社も、立ち上がつて打ち勝つ力を持つことがありませんように。

27 いかなる民でもこの民に敵對して立ち上がるならば、あなたの怒りが彼らに向かつて燃えましますように。

28 もしも彼らがこの民を打つならば、彼らを打つてくださいますように。かつて戦いの日に戦われたようにあなたのために戦つて、すべての敵の手からあなたの民を救い出してくださいますように。

29 聖なる御父よ、何とぞ、あなたの僕や僕たちに反して偽りの報告を世に言い広めたすべての者が、もしも永遠の福音をその耳に宣言されたときに悔い改めようとしなければ、彼らを辱め、驚かせ、恥と混乱を彼らに与えてくださいますように。

30 そして、彼らのすべての業が無に歸し、雹によ

り、またあなたが怒りをもつて送られるもろもろの裁きにより一掃されて、あなたの民に對する偽りと中傷がなくなりましますように。

31 おお、主よ、御存じのように、あなたの僕たちはあなたの御名について証したために、これらのことを受けましたが、僕たちは御名について証したとき、あなたの御前に罪のない者でした。

32 それゆえ、何とぞ、このくびきからすっかり完全に解き放してくださいますように。

33 おお、主よ、それを取り除いてください。あなたの力によつて、あなたの僕たちの首からそれを取り除き、わたしたちがこの時代の人々の中に立ち上がつて、あなたの御業を行えるようにしてください。

34 おお、エホバよ、この民を憐れんでください。人は皆罪を犯しますので、あなたの民の背きを赦し、とこしえにそれをぬぐい去ってください。

35 あなたに仕える者の油注ぎが、高い所からの力とともに彼らに結び固められますように。

36 五旬節の日におけるごとく、それが彼らに成就しますように。炎のように分かれた舌なる異言の賜物とその解釈が、あなたの民に注がれますよ

25 ①イザ54・17
②②②②②
①ニフ14・26・27、
28、29、
26 ①列上8・22、
②イサ28・17、
30 モサ12・6、
①イサ28・17、
31 ①②②②②
②②②②②
①①①①①
32 ①①①①①
②②②②②
①①①①①
33 ①①①①①
②②②②②
①①①①①
34 ①①①①①
②②②②②
①①①①①
35 ①①①①①
②②②②②
①①①①①
36 ①①①①①
②②②②②
①①①①①
GS「異言の賜物」

うに。

37 激しい大風のごとく、あなたの宮があなたの栄光で満たされますように。

38 あなたの僕たちに聖約の証をお与えください。それによつて、彼らが出て行って、あなたの御言葉を宣言するときに、彼らが律法を封じ、地に住む者の背きのゆえにあなたが激しい怒りをもつて彼らのうえに送ろうとしておられるすべての裁きに対して、あなたの聖徒たちの心を備えることができ、あなたの民が苦難の日に気落ちすることのないようにしてください。

39 あなたの僕たちがどの町に入ろうと、その町の人々が彼らの証を受け入れるならば、あなたの平安とあなたの救いとその町にありますように。それによつて、僕たちがその町から義人を集めることができ、義人たちが永遠の喜びの歌を歌いながらシオンに、あるいはあなたの指定の場所であるそのステークに来ることができますように。

40 そして、これが成し遂げられるまで、あなたの裁きがその町にくだりませんように。

41 あなたの僕たちがどの町に入ろうと、その町の

人々があなたの僕たちの証を受け入れず、そのうえ、僕たちが彼らにこの曲がった時代から救われるようにと警告をしたならば、あなたの預言者たちの口を通してあなたの語られたことが、そのとおりとその町に起こりますように。

42 しかし、おお、エホバよ、何とぞ、あなたの僕たちを彼らの手から救い出し、僕たちを彼らの血から清めてくださいますように。

43 おお、主よ、わたしたちは同胞が減びるのを喜びません。彼らはあなたの御前に貴い人々です。

44 しかし、あなたの御言葉は成就しなければなりません。あなたの恵みをもってあなたの僕たちを助け、彼らが、「おお、主よ、わたしたちの思いではなく、御心が行われますように」と言えるようにしてください。

45 あなたが終わりの時における悪人について恐るべきことを預言者たちの口を通して語られたこと、すなわちあなたが限りなくあなたの裁きを注がれることを、わたしたちは知っています。

46 それゆえ、おお、主よ、あなたの民を悪人の災いから救い出してください。あなたの僕たちが焼き

37 ① 教義 84 : 5、109 : 12
 GS 「栄光」
 38 ① GS 「証」
 ② イザ 8 : 16、
 教義 1 : 8
 ③ GS 「地球」地
 地球の清め
 39 ① イザ 35 : 10
 40 GS 「人」(霊を持つ
 存在としての)
 41 GS 「恵み」の時、
 42 GS 「終わりの時、
 末日」

私の日に対して備えられるよう、律法を封じ、証を束ねることができましように。

47 聖なる御父よ、何とぞ、ミズーリ州ジャクソン郡の住民によって受け継ぎの地から追い出された者たちを思い起こし、おお、主よ、彼らのうえにかけられた苦難のくびきを取り除いてくださいましように。

48 おお、主よ、あなたは、彼らが悪人たちによってひどく虐げられ、苦しめられてきたことを御存じです。彼らの堪え難い重荷のゆえに、わたしたちの心は悲しみであふれるほどです。

49 おお、主よ、あなたはいつまで、この民をこの苦難に耐えさせ、その罪のない者の叫びをあなたの耳に届かせ、彼らの血を証としてあなたの御前に上らせて、彼らのためにあなたの証を示そうとされないのですか。

50 おお、主よ、あなたの民を追い出した邪悪な暴徒を憐れんでください。彼らが略奪することをやめ、もし悔い改めることがあれば、その罪を悔い改めることができましように。

51 しかし、もし彼らがそうしなければ、おお、主

よ、あなたの御腕を現してください。そして、あなたが定められたもの、すなわちシオンをあなたの民のために贖つてください。

52 もしほかの方法ではなし得ないとすれば、あなたの民の大義があなたの御前で果たされないというこののではないよう、あなたの怒りが燃え、あなたの憤りが彼らに下つて、彼らが天の下から根も枝も払い去られますましように。

53 しかし、彼らが悔い改めるならば、あなたは恵み深く、憐れみ深いので、油注がれた者の顔を見られるときにあなたの怒りを解いてください。

54 おお、主よ、地のすべての国民を憐れんでください。わたしたちの国を治める者たちを憐れんでください。わたしたちの先祖によって立派に気高く守られた原則、すなわちわたしたちの国の憲法がとこしえに確立されますましように。

55 諸王、諸公、高貴な人々、地の偉大な人々、およびすべての民、諸教会、地のすべての貧しい人、乏しい人、苦しんでいる人を思い起こしてください。

56 おお、エホバよ、あなたの僕たちがあなたの御

49 ① GS「哀れみ」
 51 ① 詩篇 131:2
 52 ① GS「殉教者」
 53 ① GS「憐れみ」
 54 ① GS「殉教」
 55 ① GS「殉教」
 56 ① GS「殉教」
 101 教義 98・57
 77 1 ペテロ 2:13、15、
 80 GS「憲法」

名について証を述べるためにあなたの宮から出て行くとき、これらの人の心が和らぎますように。彼らの偏見が真理の前で消散し、あなたの民がすべての者の好意を得ますように。

57 あなたの僕であるわたしたちがあなたの御声を聞き、あなたがわたしたちを遣わされたことを、地の果てに至るすべての者が知りますように。

58 これらすべての中から、ヤコブの子らであるあなたの僕たちが義人を集めて、あなたから命じられたように、あなたの御名のために聖なる都を築くことができまますように。

59 何とぞ、あなたが定められたこのステークのほかに、シオンのために他のステークも定めてくださり、それによって、あなたの民の集合が大いなる力と尊厳をもつて進んで、あなたの業が義にかんづいて短くされますように。

60 おお、主よ、異邦人と見なされているわたしたちにあなたが与えてくださった啓示や戒めについて、今これらの言葉を、わたしたちはあなたの御前に語ってきました。

61 あなたは、曇った暗い日に長い間山々の上に散

らされていたヤコブの子らに対して、御自分が大なる愛をお持ちであることを御存じです。

62 それゆえ、何とぞ、ヤコブの子らを憐れんで、この時点からエルサレムが贖われ始めるようにしてください。

63 束縛のくびきがダビデの家から取り除かれ始めますように。

64 ユダの子らが、その先祖であるアブラハムにあなたが与えられた土地に帰りますように。

65 また、自分の背きのゆえにのろわれ打たれたヤコブの残りの者が、その粗暴で野蛮な状態から完全な永遠の福音に改宗するようにしてください。

66 彼らが殺害の武器を捨てて、反抗をやめますように。

67 また、イスラエルの散らされた残りの者で、地の果てに追い出された者が皆、真理を知るようになり、メシヤを信じ、虐げから贖われ、あなたの御前で喜びますように。

68 おお、主よ、あなたの僕ジョセフ・スミス・ジュニアと、彼の受けたあらゆる苦難と迫害と、彼がどのようにエホバに聖約し、おお、ヤコブの力

57 56 ① GS「真理」
① 教義 20、16、
76、24、24、
59 ① イザ 54、2
GS「イスラエル」

62 ① GS「イスラエルの集合」
③ マタ 24、22
60 ① 1ニフ 13、1-32
① 1ニフ 13、1-18

63 ① GS「エルサレム」
③ 3ニフ 20、29、
15、13、18
62 ① GS「エルサレム」

64 ① GS「ダビデ」
① セカ 12、6-9、
マラ 3、4、
64 63 ① GS「ダビデ」
① セカ 12、6-9、
マラ 3、4、
教義 133、13、35、
GS「ユダ」

65 ② 創世 17、1-8、
GS「約束の地」
アル 46、23、24、
3ニフ 20、15、21、
教義 19、27、
65 ① 2ニフ 30、3、
3ニフ 20、15、21、
教義 19、27、
2ニフ 30、6、
3ニフ 21、20、22、
GS「改宗」

66 ① GS「イスラエル」
① GS「イスラエル」
② GS「エホバ」
GS「聖約（契約）」

67 ① GS「イスラエル」
① GS「イスラエルの集合」
② GS「エホバ」
GS「聖約（契約）」

68 ① GS「イスラエル」
① GS「イスラエルの集合」
② GS「エホバ」
GS「聖約（契約）」

ある神よ、あなたにどのようなに誓ったかを、またあなたが彼に与えられた数々の戒めと、そして彼があなたの御心を行おうと心から努めてきたことを思い起こしてください。

69 おお、主よ、彼の妻と子供たちを憐れんで、彼らがああなたの御前に高く上げられ、あなたの養いの御手によって守られるようにしてください。

70 彼らの近親者すべてを憐れんで、彼らの偏見が解けて洪水によるように一掃されて、彼らが改宗し、イスラエルとともに贖われ、あなたが神であることを知るようにしてください。

71 おお、主よ、大管長と管長、まことにあなたの教会の大管長と管長を皆思い起こして、あなたの右手をもって、彼らをそのすべての家族、ならびにその近親者とともに高く上げ、また彼らの名を不朽にし、代々永遠に覚えられるようにしてください。

72 おお、主よ、あなたのすべての教会員を、そのすべての家族、ならびにそのすべての近親者とともに、そのすべての病気の人、ならびに苦しんでいるひとともに、また地のすべての貧しい人、ならびに柔和な人とともに思い起こしてください。それに

よって、あなたが人手によらずに設けられた王国が、大きな山となつて全地に満ちますように。

73 また、あなたの教会が暗黒の荒野から出て来て、月のように美しく、太陽のように輝き、旗を立てた軍勢のように恐ろしいものとなり、

74 あなたがもろもろの天の覆いを取り去り、山々をあなたの御前に崩し、もろもろの谷を高くし、起伏の激しい所を平らにされるその日のために、教会が花嫁のように美しく飾られて、あなたの栄光が地に満ちますように。

75 死者のためにラツパが鳴り響くとき、わたしたちが雲の中に引き上げられ、あなたにまみえて、いつも主とともにいられるようになりますように。

76 わたしたちの衣が清くなりますように。わたしたちが手になつめやしを持ち、頭に栄光の冠をかぶつて、義の衣を身にまとい、わたしたちのあらゆる苦難に代わつて永遠の喜びを刈り入れることができますように。

77 おお、全能の主なる神よ、わたしたちのこれらの願いを聞き、あなたが栄光、誉れ、力、尊厳、威勢、支配、真理、公正、公平、憐れみ、および無

72 ①ゲ2・44・45

73 ①雅歌6・10、

②イザ40・21・22、

74 ルカ3・5、

①イザ40・21・22、

75 ①イテサ4・17

②黙示7・13・15、

③ヘブ12・1・11、

④教義58・4

77 ①GS「喜び」

②GS「栄光」

限の完全さをもって永遠から永遠にわたって御座に
着いておられる、あなたの聖なる住まいである天か
らわたしたちにおこたえください。

78 おお、お聞きください、おお、お聞きください、
おお、わたしたちの願いをお聞きください、おお、
主よ。そして、これらの願いにこたえ、わたしたち
があなたの御名のために建て、わたしたちの手で造
ったこの宮をあなたに奉獻することを受け入れてく
ださい。

79 また、この教会も受け入れて、あなたの御名をお
与えください。あなたの御霊の力によってわたした
ちを助けて、わたしたちがあなたの御座の周りの光
り輝くセラフたちと声を合わせ、「神と小羊に、ホ
サナ」と歌いながら賛美の叫び声を上げられるよう
にしてください。

80 あなたの油注がれた者であるこれらの者たちに
救いを着せ、あなたの聖徒たちを声高らかに喜び呼
ばわらせてください。アーメン、アーメン。

第 110 章

千八百三十六年四月三日、オハイオ州カートランドの

神殿で、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリ
に与えられた示現。この示現が与えられたのは、安息日
の集会を行ったときのことである。ジョセフ・スミ
スの歴史には次のように述べられている。「午後、わたし
は、この日に聖卓での務めを果たす特権を与えられた十
二使徒から主の晩餐を受けた後、管長たちを手伝って、
それを教会員に配った。わたしは兄弟たちのためにこの
務めをなし終えた後、オリバー・カウドリとともに教壇
に退いて、幕を下ろし、身をかがめて厳肅に無言の祈り
をささげた。そして、祈りを終えて立ち上がると、わた
したち二人に次の示現が開かれた。」

1-10 主なるエホバが栄光の中に現れて、カートラン
ド神殿を主の宮として受け入れられる。11-12 モーセと
エライアスがそれぞれ現れて、彼らの鍵と神権時代とを
ゆだねる。13-16 エリヤが戻って来て、マラキにより約
束されたように彼の神権時代の鍵をゆだねる。

1 わたしたちの心から幕が取り去られ、理解の目
が開かれた。

2 わたしたちは、主がわたしたちに面して教壇の

第 110 章

79
② イザ 6:1-2
80
① 詩篇 132:16
「神の小羊」

1
① GS「幕」
136 32 教義 76
138 12
11 19

手すりの上に立つておられるのを見た。その足の下には、こはくのような色の純金の床があった。

3 その目は燃える炎のようであり、その頭髮は清らかな雪のように白く、その顔は太陽の輝きに勝って光り輝いていた。また、その声、すなわちエホバの声は大水の奔流のとどろきのようで、このように言われた。

4 「わたしは最初であり、最後である。わたしは生きてゐる者であり、殺された者である。わたしは父に対するあなたがたの弁護者である。

5 見よ、あなたがたの罪は赦されており、あなたがたはわたしの前に清い。それゆえ、頭を上げて喜びなさい。

6 あなたがたの兄弟たちの心を喜ばせ、わたしのすべての民の心を喜ばせなさい。彼らは力を尽くしてわたしの名のためにこの家を建てた人々である。

7 見よ、わたしはこの家を受け入れた。そして、わたしの名はここにあるであらう。わたしは憐れみをもってこの家でわたしの民にわたし自身を現すであらう。

8 まことに、わたしの民がわたしの戒めを守り、

この聖なる家を汚さなければ、わたしは僕たちに現れて、わたし自身の声をもって彼らに語るであらう。

9 まことに、幾千幾万の人の心が、注がれる数々の祝福と、この家で僕たちに授けられるエンダウメントのゆえに、大いに喜ぶであらう。

10 そして、この家の名声は諸外国に広まるであらう。これはわたしの民の頭に注がれる祝福の初めである。まことにそのとおりである。アーメン。」

11 この示現が閉じた後、天が再びわたしたちに開かれた。そして、モーセがわたしたちの前に現れ、地の四方からのイスラエルの集合と北の地からの十部族の導きの鍵をわたしたちにゆだねた。

12 この後、エライアスが現れ、わたしたちと子孫によつてわたしたちの後の時代のすべての者が祝福を受けるであらうと述べて、アブラハムの福音の神権時代をゆだねた。

13 この示現が閉じた後、もう一つの大きいなる栄えある示現が突如わたしたちに開かれた。死を味わうことなく天に取り去られた預言者エリヤが、わたしたちの前に立つて言った。

3 ① 黙示 1 : 14

② 黙示 1 : 16、

③ ジー歴史 1 : 17、

④ エゼ 43 : 2、

黙示 13 : 21、15、

⑤ 教義 133 : 21、22

4 ① GS「エホバ」

② GS「長子、初子」

③ 申命 5 : 24

④ GS「弁護者」

5 GS「弁護者」

6 ① GS「聖い」

② GS「神殿、主の宮」

7 ① GS「神殿、主の宮」

② 歴下 7 : 16

8 ① GS「聖い」

② GS「聖い」

③ 教義 97 : 15-17

④ 教義 50 : 45

9 ① 創世 1 : 1-3、

② 教義 39 : 15、

③ アブ 2 : 8-11

10 ① 教義 95 : 8、

② GS「エンダウメント」

③ GS「示現」

④ 教義 105 : 12

11 ① 教義 105 : 12

② GS「示現」

③ マタ 17 : 3

④ ヤコ 6 : 2、

⑤ 教義 29 : 7、

⑥ GS「イスラエル」

⑦ GS「イスラエル」

⑧ GS「イスラエルの集合」

⑨ 教義 26 : 32、

⑩ GS「イスラエル」

12 ① GS「イスラエル」

② GS「イスラエル」

③ GS「イスラエルの聖約」

④ GS「イスラエルの聖約」

⑤ GS「イスラエルの聖約」

13 ① GS「神を愛えられ

た人」

② GS「エリヤ」

③ GS「神権時代」

④ GS「神権時代」

14「見よ、マラキの口を通して語られた時がまさに来た。」マラキとは、主の大きいなる恐るべき日が来る前に彼〔エリヤ〕が遣わされ、

15先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ、全地がのりをもつて打たれることのないようにする、と証した人である。

16「それゆえ、この神権時代の鍵はあなたがたの手にゆだねられている。これによってあなたがたは、主の大きいなる恐るべき日が近く、まさに戸口にありのを知ることができる。」

第 111 章

千八百三十六年八月六日、マサチューセッツ州セーラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。当時、教会の指導者たちは教会での働きのために多くの負債を抱えていた。預言者とシドニー・リグドン、ハイラム・スミス、およびオリバー・カウドリは、セーラムで多額の金銭が得られると聞いたので、その情報を調べるために、オハイオ州カートランドから福音を宣べ伝えながらそこまで旅をした。兄弟たちは教会の務めを幾つか果たし、多少教えを説いた。金銭が得られそ

うにないことが明らかにになったとき、彼らはカートランドに帰った。この啓示の言葉の中に、これら幾つかの主要な背後事情が示されている。

1-5 主は御自分の僕たちの物質的な必要に目を向けずにおられる。6-11 主はシオンを憐れみをもつて扱い、御自分の僕たちの益となるように万事を整えられる。

1 主なるあなたがたの神であるわたしは、あなたがたの愚かな行為にもかわらず、あなたがたがこの旅をしてきたことを不快には思わない。

2 わたしは、シオンのためにあなたがたに与える多くの宝をこの町に持っている。また、時至ってわたしが、シオンのために、あなたがたの仲立ちによって集める多くの人がこの町にいる。

3 それゆえ、あなたがたは導かれるままに、また与えられるままに、この町の人々と知り合いになることが必要である。

4 そして、時が来れば、わたしはあなたがたの手にこの町を与えて、あなたがたがこれを治める力を持つようにし、彼らがあなたがたの心に秘めた事柄を

15 ① ジー歴史 1 : 38-39
GS「系図」

16 ① GS「死者の救い」
② GS「終わりの時、末日」

知ることのないようにする。そして、この町の金銀に関する富は、あなたがたのものとなるであらう。

5 あなたがたの負債について心配することはない。わたしはそれを返済する力をあなたがたに与えるからである。

6 シオンについて心配することはない。わたしはシオンを憐れみをもって扱うからである。

7 この地と周りの地域にとどまりなさい。

8 あなたがたがおもにとどまるようにと、わたしが望む場所は、あなたがたに注がれるわたしの御霊の平安と力によって、あなたがたに知らされるであらう。

9 この場所をあなたがたは賃借できるであらう。そこで、この町のもっと昔の住民と創建者たちについて熱心に調べなさい。

10 この町には、あなたがたのために宝が幾つもあるであらう。

11 蛇のように賢くありなさい。しかし、罪を犯してはならない。わたしはあなたがたの益となるように、あなたがたが受け入れることのできる早さで万事を整えよう。アーメン。

第 112 章

千八百三十七年七月二十三日、オハイオ州カートランドにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通してトーマス・B・マーシユに与えられた、小羊の十二使徒に関する啓示。この啓示は、ヒーパー・C・キンボール長老とオーソン・ハイド長老が英国で初めて福音を宣べ伝えた日に与えられた。トーマス・B・マーシユは当時、十二使徒定員会会長であった。

1—10 十二使徒はすべての国民と民族に福音をもたらし、警告の声を上げなければならない。11—15 彼らは自分の十字架を負い、イエスに従い、イエスの羊を養わなければならない。16—20 大管長会を受け入れる者は、主を受け入れる。21—29 暗闇が地を覆い、信じてバプテスマを受け取る者だけが救われる。30—34 大管長会と十二使徒会が時満ちる神権時代の鍵を持つ。

1 まことに、主はあなた、すなわちわたしの僕トーマスにこのように言う。わたしはあなたの祈りを聞き、あなたの施しはわたしの前に届いて、あなたの兄弟たちのために覚えられている。その兄弟た

ちとは、わたしの名について証を述べるために、またそれをすべての国民、部族、国語の民、民族の中にもたらずために選ばれて、わたしの僕たちによつて聖任された人々のことである。

2 まことに、わたしはあなたに言う。あなたの心の中に、またあなた自身に關して、主なるわたしの心になかなわなないことが少しかりあつた。

3 しかしながら、あなたは自分を低くしたので、高くされるであろう。それゆえ、あなたのすべての罪は赦されている。

4 わたしの前で元氣を出しなさい。あなたは異邦人だけでなく、ユダヤ人にも、わたしの名について証ししなければならぬ。また、地の果てまでわたしの言葉を送り出さなければならぬ。

5 それゆえ、あなたは朝ごとに戦ひ、日々あなたの警告の声を発しなさい。そして、夜になると、地に住む者があなたの言葉のためにまどろむことのないようにしなさい。

6 シオンにおいてあなたの住まいが知られるようにしなさい。あなたの家を移してはならない。主なるわたしは、人の子らの中にわたしの名を告げ

て広めることに關して、あなたのなすべき一つの大きな業を用意している。

7 それゆえ、その業のために腰に帯を締めなさい。また、足に履物を履きなさい。あなたは選ばれた者であり、あなたの道はもろもろの山の中に、また多くの国の中にあるからである。

8 あなたの言葉によつて多くの高い者が低くされ、またあなたの言葉によつて多くの低い者が高くされるであろう。

9 あなたの声は戒めに背く者にとつて叱責となる。あなたの叱責で、中傷する者の舌にそのよこしまな行為をやめさせなさい。

10 あなたは謙遜でありなさい。そうすれば、主なるあなたの神は手を引いてあなたを導き、あなたの祈りに答へを与えるであろう。

11 わたしはあなたの心を知つており、兄弟たちについてのあなたの祈りを聞いた。彼らをほかの多くの人以上に偏つて愛してはならない。しかし、自分自身を愛するように彼らを愛しなさい。すべての人を、またわたしの名を大切にすすべての者を豊かに愛しなさい。

1 ② 教義 18
 3 ① マタ 23
 ルカ 14 : 12
 4 ① マタ 9 : 2
 ヨハ 16 : 33
 ② 教義 18 : 6
 ③ 教義 19 : 27
 ④ ユダ 1 : 3
 ⑤ 教義 1 : 4
 ⑥ 詩篇 125 : 1
 ⑦ エペ 6 : 13
 ⑧ 箴言 18 : 17
 ⑨ 箴言 18 : 17
 ⑩ マタ 5 : 43
 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 GS「愛」
 「慈愛」

12 また、十二使徒会の兄弟たちのために祈りなさい。わたしの名のために彼らを厳しく訓戒しなさい。そして彼らに、すべての罪のために訓戒を受けさせなさい。また、あなたはわたしの前でわたしの名に忠実でありなさい。

13 彼らが試練と多くの艱難を受けた後、見よ、主なるわたしは彼らを探ろう。そして、彼らがわたしに対してその心をかたくなせず、強情でなければ、彼らは心を入れ替えるので、わたしは彼らを癒そう。

14 さて、わたしはあなたに言い、またあなたに言うことを十二使徒のすべてに言う。立って腰に帯を締め、自分の十字架を負い、わたしに従い、わたしの羊を養いなさい。

15 自分を高くしてはならない。わたしの僕ジョセフに背いてはならない。まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしは彼とともにおり、わたしの手は彼のうえにある。そして、わたしが彼に授け、またあなたがたにも授けた鍵は、わたしが来るまで彼から取り去られることはない。

16 まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの

僕トーマスに言う。あなたは、広くすべての国の中で、十二使徒会に関するわたしの王国の鍵を持つようにわたしが選んだ人である。

17 それは、わたしの僕ジョセフと、わたしの僕シドニーと、わたしの僕ハイラムが行くことのできないすべての場所、あなたが王国の門の錠を開けるわたしの僕となるためである。

18 わたしは彼らに、しばしの間、すべての諸教会の重荷を負わせたからである。

19 それゆえ、あなたがたは、どこでも彼らがあなただがたを遣わす所に行きなさい。そうすれば、わたしはあなたがたとともにいるであろう。そして、どこでもあなたがたがわたしの名を宣言する所で、人々がわたしの言葉を受け入れるように、効果的な門があなただがたのために開かれるであろう。20 だれでもわたしの言葉を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。そして、だれでもわたしを受け入れる者は、わたしが遣わした者、わたしの名のためにあなたがたへの助言者とした者、すなわち大管長会を受け入れる。

21 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。あな

12 ① GS「イエス・キリス

ト―御名を受ける」

13 ①ヨハ16・33、

黙示7・13―14

教義58・3―4

②3コリ18・32、

14 GS「改宗」

①マタ16・24、

②マタ16・25―26

(付録、

ルカ9・23

15 ②ヨハ21・15―17

①GS「再び」、

②教義28・7、

17 GS「神権の礎」

①GS「リクド、

シドニー」

②GS「スミス、

ハイラム」

19 ①1コリ16・9、

20 ①教義84・35―38

たがたによつて正式に推薦されて権能を与えられた者で、兄弟たちすなわち十二使徒会の声により、わたしの名によつて遣わされる者は、あなたがたから遣わされるどの国に対しても、わたしの王国の門を開く力を持つ。

22 彼らがわたしの前にへりくだり、わたしの言葉のうちにとどまり、わたしの御霊の声を聴くかぎり、そうである。

23 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。暗闇が地を覆い、深い闇が人々の心を覆い、すべての肉なるものがわたしの前に悪くなつてしまつた。

24 見よ、報復が地に住む者のうえに速やかに及ぶ。これは激しい怒りの日、焼き払いの日、荒廃の日、泣き、嘆き、悲しむ日である。それは旋風のように地の全面に及ぶであろう、と主は言う。

25 わたしの家にそれは始まり、わたしの家からそれは出て行く、と主は言う。

26 最初はあなたがたの中の、わたしの名を知つていると公言しながらわたしを知らず、わたしの家の中でわたしを冒瀆した者の中に始まる、と主は言う。

27 それゆえ、あなたがたはこの地におけるわたしの教会の諸事について心を悩ますことのないようにしなさい、と主は言う。

28 しかし、わたしの前に心を清くしなさい。それから全世界に出て行つて、わたしの福音を伝えられていないすべての造られたものにそれを宣べ伝えなさい。

29 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、信じることなく、バプテスマを受けない者は、罰の定めを受けるであらう。

30 あなたがた十二使徒会と、あなたがたの助言者および指導者となるようにあなたがたとともに任命されている者、すなわち大管長会に、この神権の力が、時満ちる神権時代である終わりの時のために最後に与えられているからである。

31 あなたがたは、創造の初めからいずれの時であつても神権時代を受けたすべての者とともに、この力を保持している。

32 まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたが受けた神権時代の鍵は、先祖から継承され、最後に天からあなたがたに下されたものである。

21 GS「権威、権限、権能」

22 GS「聞き従う、聴く」

23 「従順、従う」
① イザ 60、2、ミカ 3、6

GS「宣教、福音、過去のキリスト教会における宣教」

24 GS「報復」
② 教義 10、20、23

25 ① ② 教義 124、8
① 1 ペテ 4、17、18
① マテ 7、21、23、
① マテ 41、1、56、1

26 ① ルカ 6、46、
② モサ 26、24、27、
③ 2ニフ 14、21、23

28 GS「冒瀆、汚す罪」
① GS「清き」

29 ① モル 9、15、16
② 教義 20、25、26
③ GS「バプテスマ」
④ GS「罰の定め」

30 GS「使徒」
① GS「大管長会」
③ エヘ 1、10

31 教義 27、13、124、40、42
GS「神権時代」

32 ① 教義 110、11、16、
② GS「神権の鍵」
② アブ 1、2、3

33 まことに、わたしはあなたがたに言う。見よ、あなたがたの召しは何と偉大なことか。この時代の人々の血があなたがたの手に求められることのないように、心と衣を清くしなさい。

34 わたしが来るまで忠実でありなさい。わたしはすぐに来るからである。わたしは報いを携えて来て、すべての人にその行いに応じて報いる。わたしはアルパでありオメガである。アーメン。

第113章

千八百三十八年三月、ミズーリ州ファーウエストまたはその付近において、イザヤの記した事柄に関する質問に対して預言者シヨセフ・スミスより与えられた答え。

1-6 エッサイの株、そこから出る芽、およびエッサイの根の意味が明らかにされる。7-10 シオンの散らされた残りの者は、神権を受ける権利を持つており、主に立ち返るように勧められている。

1 イザヤ書第十一章一、二、三、四、五節の中で述べられている、エッサイの株とはだれのことか。

2 まことに、主はこのように言われる。「それはキリストである。」

3 イザヤ書第十一章一節の中で述べられている、エッサイの株から出るはずの芽とは何か。

4 見よ、主はこのように言われる。「それはキリストの手の中の一人の僕であつて、幾分はエフライムの子孫、すなわちヨセフの家の子孫であるだけでなく、幾分はエッサイの子孫でもあり、大きな力を授けられる者である。」

5 第十一章十節の中で述べられている、エッサイの根とは何か。

6 見よ、主はこのように言われる。「それはエッサイの子孫であり、ヨセフの子孫でもあつて、終わりの時に、旗となるために、またわたしの民を集めるために、神権と王国の鍵とを正當に所有する者である。」

7 エライアス・ヒグビーからの質問。イザヤ書第五十二章一節の中の、「シオンよ、力を着よ」という命令はどういう意味か。また、イザヤはどの民を指して述べたのか。

8 彼は、神が終わりの時に召される者たち、すな

第113章

33 ① 教義 72:3
② ヤコブ 1:19
③ 黙示 22:7, 12

② 教義 49:28, 54, 10, 12

1 ① GS「エッサイ」

4 ① 創世 41:50-52、

教義 133:30, 34、

GS「エフライム」

② GS「力」

① 教義 45:9、

6 GS「イスラエル」

② GS「イスラエル」

③ GS「神権の鍵」

わちシオンを元に^{もと}戻し、イスラエルを贖^{あがな}う神権^{しんけん}の力^{ちから}を持つ者^{もの}たちを指^さして述べた。力^{ちから}を着^きるとは、神権^{しんけん}の権能^{けんのう}をまとうことであり、シオンはそれを血統^{けつとう}によって受^うける権利^{けんり}を持つている。また、シオンが失^うったその力^{ちから}に復^{ふく}することでもある。

9 第二節^{だいにせつ}の、シオンがその首^{くび}の繩^{なは}を解^なき捨^すてるという^いうことによつて、わたしは^{わたし}は次^{つぎ}のよう^{よう}に理^り解^{かい}すべ^{べき}か。10 わたしは次^{つぎ}のよう^{よう}に理^り解^{かい}すべ^{べき}である。すなわち、散^ちらされた^た残^{のこ}りの者^{もの}は、かつて主^{しゅ}の^もとから落^おちたが、その主^{しゅ}に立^たち返^{かえ}るよう^{よう}に勧^{すす}められ^れている。彼^{かれ}らがそ^そうする^{する}ならば、主^{しゅ}は彼^{かれ}らに語^{かた}る、すなわち彼^{かれ}らに啓^{けい}示^じを与^{あた}え^えると約^{やく}束^{そく}してお^おられる。第六^{だいろく}、七^{しち}、八^{はち}節^{せつ}を参^{さん}照^{しょう}。シオン^{シオン}の首^{くび}の繩^{なは}とは、シオン^{シオン}に下^{くだ}された^た神^{かみ}の^のろい、すなわち、イスラエルの^の残^{のこ}りの者^{もの}が異^い邦^{ほん}人^{にん}の^の間^{あいだ}に散^ちらされた^た状^{じょう}態^{たい}にある^いる^るという^いうことである。

第 114 章

千八百三十八年四月十一日^{せんぱちひゃくさんじゅうはちねんしゅうごつじゅういちにち}、ミズーリ州^{みずうりしゅう}ファーウエスト^{ファーウエスト}において、預^よ言^{げん}者^{しゃ}ジョセフ・スミス^{ジョセフ・スミス}を^を通^{とお}して与^{あた}えられた^ら啓^{けい}示^じ。

1-2 忠^{ちゅう}実^{じつ}でない者^{もの}が受^うけてい^いる教^{きょう}会^{かい}の職^{しやく}は、ほかの^{もの}に与^{あた}える^{べき}である。

1 まことに、主^{しゅ}はこのよう^{よう}に言^いう。わたし^{わたし}の僕^{しもべ}デビッド・W・パッテン^{デビッド・W・パッテン}が、で^できる^{だけ}早^{はや}く彼^{かれ}の事^{じぎょう}業^{ぎょう}をす^すべて清^{せい}算^{さん}し、その商^{しょう}品^{ひん}を処^{しょ}分^{ぶん}し、そ^そうする^{こと}によ^よつて来^{らい}年^{ねん}の春^{はる}に、ほかの^{もの}者^{もの}、すなわち彼^{かれ}自^じ身^{しん}を^を含^{ふく}む十二^{じふに}人^{にん}の者^{もの}と^ともに、全^{ぜん}世^せ界^{かい}にわた^{わた}し^の名^なを証^{あかし}し、喜^{よろこ}びの^{もの}おとず^れれを携^{たず}えて行^いく使^し命^{めい}をわた^{わた}し^のた^ため^にに果^はたす^{よう}にする^{こと}は、彼^{かれ}れと^とつて賢^{けん}明^{めい}である。

2 まことに、主^{しゅ}はこのよう^{よう}に言^いう。あなた^{あなた}がた^たの中^{なか}にわた^{わた}し^の名^なを否^{ひてい}定^{てい}する者^{もの}が^がい^いれば、ほかの^{もの}者^{もの}を代^かわり^に立^たてて、否^{ひてい}定^{てい}する者^{もの}の職^{しやく}を^を与^{あた}えな^なければ^ばなら^らない。アーメン。

第 115 章

千八百三十八年四月二十六日^{せんぱちひゃくさんじゅうはちねんしゅうごつにじゅうろくにち}、ミズーリ州^{みずうりしゅう}ファーウエスト^{ファーウエスト}において、預^よ言^{げん}者^{しゃ}ジョセフ・スミス^{ジョセフ・スミス}を^を通^{とお}して与^{あた}えられた^ら、その地^ちを築^{きず}き上^あげ^て主^{しゅ}の宮^{みや}を^を建^たてる^{こと}につ^ついての^の神^{かみ}の御^み心^{こころ}を^を知^しら^せる^啓示^じ。この啓^{けい}示^じは^は教^{きょう}会^{かい}の管^{かん}理^り役^{やく}員^{いん}たちと会^{かい}員^{いん}たちにあ^あてた^たもので^である。

8 ① GS「シオン」

② 教義 82・14

③ GS「長子の特権
生得権」

10 ① GS「イスラエル」

② ホセ 3・4・5、

2ニフ 6・11

第 114 章

2 ① 教義 64・40

② 教義 118・1、6

1-4 主は御自分の教会を、末日聖徒イエス・キリスト教会と命名される。5-16 シオンとそのステークは、聖徒たちのための防御と避難の場所である。7-16 聖徒たちはフアーウエストに主の宮を建てるように命じられる。17-19 ジョセフ・スミスは地上で神の王国の鍵を持つ。

1 まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアと、またわたしの僕シドニー・リグドンと、またわたしの僕ハイラム・スミス、およびすでに任命されている、またこの後任命されるあなたの顧問たち、

2 また、あなた、すなわちわたしの僕エドワード・パートリッジと、彼の顧問たち、

3 また、シオンにおけるわたしの教会の高等評議会（これからこのように呼ばれる）に属するわたしの忠実な僕たち、および全世界に散在しているわたしの末日聖徒イエス・キリスト教会のすべての長老たちと人々に言う。

4 わたしの教会は、終わりの時にこのように、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない。

5 まことに、わたしはあなたがたすべてに言う。立つて光を放ちなさい。それは、あなたがたの光がもろもろの国民のための旗となるためであり、
6 シオンの地とそのステークに集合することが、防御のためとなり、また嵐と激しい怒りが全地にあるのままに注がれるときに、その避け所となるためである。

7 フアーウエストの町を、わたしのために聖なる聖別された地としなさい。それを最も聖なる地と呼ぶなければならぬ。あなたがた立っている地は聖なる地だからである。

8 それゆえ、わたしはあなたがたに命じる。聖徒たちがわたしを礼拝できるように、彼らの集まる場所として、わたしのために一つの家を建てなさい。

9 今年の夏にこの仕事を開始し、基礎造りをし、準備工事を始めなさい。

10 来る七月四日に開始して、そのときからわたしの民は熱心に働き、わたしの名のために家を建てなさい。

11 この日から一年後に、わたしの家の土台を据え

1 ① GS「フスミス、
ジョセフ、ジュニア」
② GS「リグドン、
シドニー」
③ GS「スミス、
ハイラム」
2 ① GS「パートリッ
ジ、エドワード」
4 ① 3「フ27・4」8
② GS「末日聖徒イエ
ス・キリスト教会」
5 ① イザ60・13
② イザ11・12
6 ① GS「シオン」
② 教義10・21、
GS「ステーク」
③ GS「イスラエル」
イスラエルの集合」
④ 黙示14・10、
教義1・13・14
⑤ イザ25・1、4、
教義45・66・71
7 ① GS「聖い」
8 ① GS「礼拝」
11 ① ② 教義88・119、95・8
② 教義118・5
③ 教義124・45
④ 54

る作業を再開しなさい。

12 このようにしてそのときから、わたしの家がその隅石からその最上部に至るまで仕上げられ、仕上げられていない所がなくなるまで、熱心に働きなさい。

13 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジョセフにも、わたしの僕シドニーにも、わたしの僕ハイラムにも、わたしの名のために家を建てるに当たってこれ以上負債を抱えさせないようにしなさい。

14 しかし、わたしが彼らに示す型に従って、わたしの名のために家を建てなさい。

15 もしわたしの民が、わたしが大管長会に示す型に従ってそれを建てなければ、わたしは彼らの手からそれを受け入れない。

16 しかしわたしの民が、わたしが彼らの大管長会、すなわち、わたしの僕ジョセフと彼の顧問たちに示す型に従ってそれを建てるならば、わたしは民の手からそれを受け入れよう。

17 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの思いは、ファーウエストの町が、聖

徒たちが集まることよって速やかに築かれることであり、

18 また、その周りの他の場所が、折々わたしの僕ジョセフに明らかにされるままに、ステークとして定められることである。

19 見よ、わたしは彼とともにおり、また民の前で彼を聖める。わたしは彼にこの王国と務めの鍵を授けたからである。まことにそのとおりである。アーメン。

第 116 章

千八百三十八年五月十九日、ミズーリ州デヒース郡ワイツフェリーの近くのスプリングヒルと呼ばれる地において、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。

1 スプリングヒルは、主よってアダム・オンダイ・アーマンと名付けられる。それというのも、主が言われるには、そこはアダムがその民を訪れるために来る場所、すなわち預言者ダニエルによつて述べられたように日の老いたる者が座する場所だからである。

14 ①ヘブ 8、5、
教義 97・10

18 ①教義 10・21、
② GS 「ステーク」
19 GS 「神権の鍵」

第 116 章

1 ①教義 78・15、
GS 「アダム・オンダ
イ・アーマン」

② GS 「アダム」
③ ダニ 7・13-14
22

第 117 章

千八百三十八年七月八日、ミズーリ州ファーウエストにおいて、ウィリアム・マークス、ニューエル・K・ホイットニー、およびオリバー・グレインジャーの当面の務めに関して、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-9 主の僕たちは現世のものをむさぼってはならない。「主にとって財産とは何であるうか」とあるからである。10-16 彼らは浅ましい心を捨てなければならぬ。そうすれば、彼らの犠牲は主にとって神聖なものとなる。

1 まことに主は、わたしの僕ウィリアム・マークスと、またわたしの僕ニューエル・K・ホイットニーにこのように言う。主なるわたしが地上に再び雪を送る前に、彼らは事業を速やかに清算して、カートランドの地を旅立ちなさい。

2 彼らは目を覚まし、立ち上がり、出て来て、とどまることのないようにしなさい。主なるわたしが命じるからである。

3 それゆえ、もしとどまるならば、それは彼らに

とつてよくない。

4 彼らはわたしの前で、すべての罪とすべてのむさぼりの欲望を悔い改めなさい、と主は言う。わたしにとって財産とは何であろうか、と主は言う。

5 カートランドの財産を負債の支払いのために処分しなさい、と主は言う。それらを手放しなさい、と主は言う。そして、なお残るものがあれば、何でもそれをあなたがたの手に残しておきなさい、と主は言う。

6 わたしには空の鳥や、海の魚や、山の獣がいなか。わたしは地を造らなかつたか。わたしは地の国々のすべての軍隊の運命を握っていないか。

7 それゆえ、わたしは寂しい所に芽を出させ、花を咲かせ、また豊かに実を結ばせないであろうか、と主は言う。

8 あなたがたが一滴のしずくにすぎないものをむさぼって、もつと重要なことをなおざりにするほど、アダム・オンダイ・アーマンの山々とオラハ・シネハの平原、すなわちアダムの住んでいた地に十分な余地がないのであろうか。

9 それであるから、この地、わたしの民の地、すな

第 117 章

- 4 ① 教義 104
5 ① 教義 104
6 ① 使徒 17:26
7 ① ニフ 17:36
7 ① イサ 35:1
8 教義 49:24-25
8 ① 教義 110 章
GS 「アダム・オンダイ・アーマン」
② アブ 3:13
③ GS 「エデン」

わちシオンに上つて来なさい。

10 わたしの僕ウリアム・マークスは、わずかなものにも忠実でありなさい。そうすれば、多くを治める者となるであろう。彼は、ファーウエストの町におけるわたしの民の中で管理し、わたしの民の祝福をもって祝福されるようにしなさい。

11 わたしの僕ニューエル・K・ホイットニーは、ニコライ派と彼らのすべての秘密の忌まわしい行いと、わたしにおける自分の浅ましさをすべて恥じなさい、と主は言う。そして、アダム・オンダイ・アーマンの地の上つて来て、わたしの民のビシヨップになりなさい、と主は言う。名前ではなく、行いでそうしなさい、と主は言う。

12 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕オリバー・グレインジャーを、わたしは覚えてゐる。見よ、まことに、わたしは彼に言う。彼の名前は代々とこしえにいつまでも、神聖に覚えられるであろう、と主は言う。

13 それゆえ、彼はわたしの教会の大管長会の負債償却のために熱心に働きなさい、と主は言う。彼は倒れるとき、再び起き上がるであろう。彼の儀

牲は彼が増し加えるものよりもわたしにとつて神聖だからである、と主は言う。

14 それゆえ、彼はこの地、すなわちシオンの地に速やかに上つて来なさい。そうすれば、ふさわしいときに、彼はわたしの名のために、またわたしの民の益のために、商いをする者とされるであろう、と主は言う。

15 それゆえ、だれもわたしの僕オリバー・グレインジャーを軽んじることなく、わたしの民の祝福がとこしえにいつまでも彼のうえにあるようにしなさい。

16 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。カートランドの地におけるわたしの僕は皆、主なる神とわたしの家とを思い起こし、それを聖なるものとして保つて守り、わたしがふさわしいとするとときに両替人を打ち倒しなさい、と主は言う。まことにそのとおりである。アーメン。

第 118 章

千八百三十八年七月八日、ミズーリ州ファーウエストにおいて、「おお、主よ、十二使徒会についてのあなたの

11 10 マタ 25 : 23

① 黙示 2 : 6、15

② GS 「秘密結社」

③ GS 「ビシヨップ」

12 ける諸事に携わること
を預言者から任された
代理人

13 「犠牲」

① GS

御心をわたしたちにお示しください」という願いに応じて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-3 主は十二使徒の家族に必要なものを与えてくださる。4-6 十二使徒会の空席が満たされる。

1 まことに、主はこのように言う。大会をすぐに開きなさい。十二使徒会を組織しなさい。人々を任命して、墮落した者たちの職を満たしなさい。

2 わたしの僕トーマスは、わたしの言葉を出版するために、しばらくの間シオンの地にとどまりなさい。

3 残りの者は、そのときから教えを説くことを続けなさい。彼らができるかぎりへりくだった心で、柔和と謙遜と寛容をもってこれを行うならば、主なるわたしは彼らに、わたしがその家族に必要なものを与えるのと約束をしよう。またその後、効果的な門が彼らのために開かれるであろう。

4 来年の春、彼らは大海を越えて行き、そこでわたしの福音、すなわち完全な福音を広め、わたしの名について証しなさい。

5 主は言う。来年の四月二十六日に、フアーウエストの町におけるわたしの家の建築地点で、わたしの聖徒たちに別れを告げなさい。

6 わたしの僕ジョン・テラーと、またわたしの僕ジョン・E・ページと、またわたしの僕ウィルフォード・ウツドラフトと、またわたしの僕ウィラード・リチャーズが、墮落した者たちの空席を満たすために任命され、その任命が正式に通知されるようにしなさい。

第119章

千八百三十八年七月八日、ミズーリ州ファーウエストにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。これは、「おお、主よ、あなたは自分の一として、あなたの民の財産のうちのどれほどをお求めになるか、あなたの僕にお示しください」という預言者の願いに応じて与えられたものである。この啓示が下される以前には、今日理解されているような自分の一の律法は教会に与えられていなかった。前述の祈りと以前の啓示（第十四章二十三節、第八十五章三節、第九十七章十一節）の中の「自分の一」という言葉は、十分の一を意味する

1 ①使徒1:13、16
2 ①GS「マシュー、トーマス・B」
3 ①GS「謙遜」
②GS「堪え忍ぶ」

だけでなく、教会の基金への自由意志によるすべてのさざげ物や寄付をも意味していた。主は以前に財産の奉獻と管理人の職の律法を教会に与えられ、会員たち（おもに指導的立場にある長老たち）は、聖約によってその律法に入っていた。その聖約は永遠のものはずであった。しかし、多くの者がその聖約を守らなかつたために、主は一時それを取り下げて、代わりに全教会に自分の一の律法を与えられた。そこで預言者は、神聖な目的のために彼らの財産のうちのどれほどを求められるか主に尋ねた。その答えがこの啓示である。

1-5 聖徒たちは彼らの剰余の財産を納め、その後、自分の一として、毎年彼らの得る利益の十分の一を差し出さなければならぬ。6-7 このような行いはシオンの地を聖める。

1 まことに、主はこのように言う。わたしは、彼らの剰余の財産をすべてシオンにおけるわたしの教会のピシヨップの手にゆだねることを求める。

2 それは、わたしの家を建てるため、シオンの基を据えるため、神権のため、またわたしの教会の

大管長会の負債のためである。

3 これがわたしの民の納める自分の一の始まりとなる。

4 その後、このように自分の一を納めた者は、毎年彼らの得る全利益の十分の一を納めるのである。そして、これはわたしの聖なる神権のために、とこしえに彼らにとつての永続的な律法となる、と主は言う。

5 まことに、わたしはあなたがたに言う。すなわち、シオンの地に集まる者は皆、彼らの剰余の財産を自分の一として納め、この律法を守らなければならぬ。そうでなければ、あなたがたの中に住むにふさわしいと認められない。

6 また、わたしはあなたがたに言う。もしわたしの民がこの律法を守らずに、これを聖なるものとして保たず、またこの律法によってわたしのためにシオンの地を聖め、それによりわたしの掟と裁決がそこで守られて、それが最も聖なる地となるようにしなければ、見よ、まことに、わたしはあなたがたに言うが、それはあなたがたにとつてシオンの地ではなくなる。

7 これはシオンのすべてのステークにとつての一つの範例である。まことにそのとおりである。アーメン。

第 120 章

千八百三十八年七月八日、ミズーリ州ファーウエストにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。これは、前の第一百九章の啓示の中で述べられた自分の一として納められた財産の配分について知らせるものである。

1 まことに、主はこのように言う。わたしの教会の大管長会と、ピシヨップとその評議会、ならびにわたしの高等評議会により構成される評議会によって、また彼らへのわたし自身の声によって、それが配分されるべき時が今や来た、と主は言う。まことにそのとおりである。アーメン。

第 121 章

千八百三十九年三月二十日付けの、教会にあてた手紙に預言者ジョセフ・スミスが書いた祈りと預言。このと

き、預言者はミズーリ州リバティーの監獄において囚われの身であった。預言者と数人の同僚たちは、これまで数か月間拘留され、行政官や司法官にあてた彼らの請願や上訴も彼らを救助するには至らなかった。

1-6 預言者は苦しんでいる聖徒たちのために主に懇願する。7-10 主は彼に平安を告げられる。11-17 主の民は戒めに背いていると偽りの叫び声を上げる者は皆、のろわれる。18-25 彼らは神権を受ける権利を持たず、罰の定めを受ける。26-32 勇敢に堪え忍ぶ者に、栄光ある啓示が約束される。33-40 召される者は多いが選ばれる者は少ない理由。41-46 神権は義にかなつてのみ用いなければならぬ。

1 おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。あなたの隠れ場を覆う大幕はどこにあるのですか。

2 あなたの御手はいつまでとどめられ、あなたの目、まことにあなたの清い目はいつまで永遠の天からあなたの民とあなたの僕たちへの不当な扱いを眺め、またあなたの耳はいつまで彼らの叫び声で

7 ① GS「ステーク」

第120章

1 ① 什分の一のこと

第121章

1 ① 詩篇13 1-2、

102 1-2、
2 ① ハバ 1 2

り、また神が彼らを試し、彼ら自身の悪巧みによつて彼らを抑へるためである。

13 また、彼らの心が腐敗しているので、彼らが進んで、ほかの人々のうえにもたらし、ほかの人々に受けさせたいと思つてゐることが、彼ら自身のうえに最大限に及ぶようにするためである。

14 また、彼らを失望させるためであり、彼らの望みを絶つためであり、

15 これから多くの年がたないうちに、彼らとその子孫が天の下から一掃されて、だれも壁のそばに立つ者のいないようにするためである、と神は言う。

16 わたしの油注がれた者に向かつてかかとを上げる者は皆のろわれる、と主は言う。わたしの油注がれた者がわたしの前に罪を犯すことなく、わたしの目にかなうことと、わたしから命じられたことを行つたのに、彼らは罪を犯したと叫ぶ者は皆のろわれる、と主は言う。

17 しかし、戒めに背いたと叫ぶ者は、彼ら自身が罪の僕であり、不従順の子らであるからそう叫ぶのである。

18 また、わたしの僕たちを束縛と死に至らせようと、偽り誓つて彼らを訴える者、

19 彼らは災いである。彼らはわたしの幼い者たちをつまずかせたので、わたしの家の儀式から絶たれるであろう。

20 彼らのかごは満ちることなく、彼らの家と倉は朽ち果て、彼ら自身は彼らにへつらつた者たちに見下されるであろう。

21 彼らも、彼らの後の子孫も代々、神権を受ける権利を持たないであろう。

22 彼らにとつては、石臼を首にかけられて、海の深みに沈められる方がよかつた。

23 わたしの民を苦しめ、追い出し、殺し、また彼らについて不利な証言をする者は皆災いである、と万軍の主は言う。まむしの子らは地獄の罰を免れないであろう。

24 見よ、わたしの目は彼らのすべての行いを見て知つてゐる。そして、わたしは彼らすべてのために、ふさわしい時期における速やかな裁きを保留してゐる。

25 それは、すべての人のためにその行いに応じて

13 ① 箴言28・10、
1 ① サ上26・3、
16 ② 2ニフ15・9、
詩篇105・15、26・9、
19 17 モロ7・14、18、20、
17 ① エベ5・6、
17 ① マタ18・6、
17 ① つまずかせる、
20 ② GS「儀式」、
20 ① 申命28・15、20、
20 ① GS「神権」、
21 ① マタ18・6、
23 ① 教義54・5、
24 ① マタ12・34、
24 ① GS「全知」、
24 ② ヒラ8・25、
25 GS「行い」、

定められた時があるからである。」

26 神はその聖なる御霊によって、すなわち聖霊の言い尽くせない賜物によって、世界が存在するようになつて以来現在まで示されたことのない知識を、あなたがたに与えてくださるであろう。

27 それは、終わりの時代に示されることを、わたしたちの先祖が切なる期待をもつて待ち望んできたもの、彼らの完全な栄光のために取っておかれるものとして、その思いを向けるように天使たちによつて促されたものである。

28 将来、何事も隠されることのないときに、唯一の神か、それとも多くの神々がおられるか、そのことが明らかにされるであろう。

29 すべての王位と主権、公国と力が示されて、イエス・キリストの福音のために勇敢に堪え忍んだすべての者に授けられるであろう。

30 また、天や海に、乾いた地に、太陽や月や星に限界があれば、

31 それらの回転のすべての時、定められたすべての日と月と年、またそれらの日と月と年のすべての日、またそれらのすべての栄光と律法と定められ

た時が、時満ちる神権時代に示されるであろう。

32 この世界が存在する前に、ほかのすべての神々を支配する永遠の神の会議で定められたこと、すなわち、すべての人が永遠の神のもとに行つて神の不滅の安息に入るこの世の仕上げと終わりのために保留されるはずであったことに従つて示されるであろう。

33 流水はいつまで濁つたままではいられようか。いかなる力が天をとどめるであろうか。全能者が末日聖徒の頭に天から知識を注ぐのを人が妨げようとするのは、人がそのか弱い腕を伸べて、定められた水路を流れるミズーリ川をとどめようとするようなもの、あるいは逆流させようとするようなものである。

34 まことに、召される者は多いが、選ばれる者は少ない。では、なぜ彼らは選ばれないのであろうか。

35 それは、彼らがあまりにもこの世のものに執着し、人の誉れを得ることを望んでいるために、次のような一つの教訓を学ばないからである。

36 すなわち、神権の権利は天の力と不可分のもの

25 ② ヨブ 7 : 1、
26 ① 教義 12 : 9
② ③ GS「聖霊の賜物」
④ 2 ペテロ 2 : 20、22、
27 ① 教義 42 : 61、
② 詩篇 82 : 1、6、
③ ヨハ 10 : 34、36、
④ コリ 8 : 5、16、
28 ① 教義 101 : 32、
② アブ 4 : 1、5、11、2
29 ① 教義 101 : 32、
① ヨブ 26 : 7、14、
② 詩篇 104 : 5、9、
③ 使徒 17 : 26
30 ① GS「神権時代」
31 ① 申命 10 : 17
32 ① GS「天上の会議」
② GS「一人一天の御父」
③ GS「一人一天の御父」
④ のようになる可能性を持つた人間」
33 ① 教義 128 : 19、
② GS「知識」
34 ① マタ 20 : 16、
22 : 1、14
35 ① 教義 95 : 5、6、
② GS「召し、神の召し」
③ GS「選ぶ」
④ GS「物欲」
36 ① マタ 26 : 2、
② ニコ 26 : 29
③ GS「権威、権限、神権」

として結びついており、天の力は義の原則に従ってしか制御することも、運用することもできないということである。

37 なるほどそれらがわたしたちに授けられることもある。しかし、わたしたちが自分の罪を覆い隠そうとしたり、自分の高慢、自分のうぬぼれた野望を満たそうとしたり、あるいはいかなる程度の不義によつても、人の子らを制御し、支配し、強制しようとしたりするとき、まことに、天は退き去り、主の御霊は深く悲しむ。そして、主の御霊が退き去ると、その人の神権、すなわち権能は終わりである。

38 まことに、その人は気がつかないうちに、一人放置されて、とげのある鞭をけり、聖徒たちを迫害し、神と戦う。

39 わたしたちは悲しむべき経験によつて学んだ。すなわち、ほとんどすべての人は、少しばかりの権能を得たと思うや、すぐに不義な支配を始めようとす性質と傾向がある。

40 それゆえに、召される者は多いが、選ばれる者は少ないのである。

41 いかなる力も影響力も、神権によつて維持することはできない、あるいは維持すべきではない。ただ、説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により、

42 優しさと純粋な知識による。これらは、偽善もなく、偽りもなしに、心を大いに広げる――

43 聖霊に動かされたときは、そのときにはつきりと言い聞かせ、そしてその後、あなたの言い聞かせた人があなたを敵視しないようにその人にいつその愛を示す。

44 それは、あなたの誠実が死の縄目よりも強いことを、その人が知るためである。

45 またあなたの心が、すべての人に対して、また信仰の家族に対して、慈愛で満たされるようにしなさい。絶えず徳であなたの思いを飾るようになさい。そうするとき、神の前においてあなたの自信は増し、神権の教義は天からの露のようにあなたの心に滴るであろう。

46 聖霊は常にあなたの伴侶となり、あなたの笏は義と真理の不変の笏となるであろう。そして、あなたの主権は永遠の主権となり、それは強いられ

36 GS「力」
 37 GS「義」
 38 GS「罪」
 39 GS「高慢」
 40 GS「野望」
 41 GS「不義」
 42 GS「支配」
 43 GS「強制」
 44 GS「退き去り」
 45 GS「悲しむ」
 46 GS「神権」
 47 GS「権能」
 48 GS「戦う」
 49 GS「性質」
 50 GS「傾向」
 51 GS「召される」
 52 GS「多い」
 53 GS「選ばれる」
 54 GS「少ない」
 55 GS「影響力」
 56 GS「維持する」
 57 GS「寛容」
 58 GS「温厚」
 59 GS「柔和」
 60 GS「愛」
 61 GS「純粋な知識」
 62 GS「動かされた」
 63 GS「後」
 64 GS「あなた」
 65 GS「聞き」
 66 GS「敵視」
 67 GS「示す」
 68 GS「誠実」
 69 GS「死」
 70 GS「縄目」
 71 GS「強い」
 72 GS「知る」
 73 GS「あなた」
 74 GS「すべて」
 75 GS「人」
 76 GS「信仰」
 77 GS「家族」
 78 GS「慈愛」
 79 GS「満たされる」
 80 GS「飾る」
 81 GS「前」
 82 GS「あなた」
 83 GS「増し」
 84 GS「神権」
 85 GS「教義」
 86 GS「天」
 87 GS「露」
 88 GS「あなた」
 89 GS「滴る」
 90 GS「常に」
 91 GS「あなた」
 92 GS「伴侶」
 93 GS「あなた」
 94 GS「笏」
 95 GS「義」
 96 GS「真理」
 97 GS「不変」
 98 GS「笏」
 99 GS「あなた」
 100 GS「多い」
 101 GS「そして」
 102 GS「あなた」
 103 GS「主権」
 104 GS「永遠」
 105 GS「主権」
 106 GS「強い」
 107 GS「あなた」
 108 GS「され」
 109 GS「あなた」
 110 GS「あなた」
 111 GS「あなた」
 112 GS「あなた」
 113 GS「あなた」
 114 GS「あなた」
 115 GS「あなた」
 116 GS「あなた」
 117 GS「あなた」
 118 GS「あなた」
 119 GS「あなた」
 120 GS「あなた」
 121 GS「あなた」
 122 GS「あなた」
 123 GS「あなた」
 124 GS「あなた」
 125 GS「あなた」
 126 GS「あなた」
 127 GS「あなた」
 128 GS「あなた」
 129 GS「あなた」
 130 GS「あなた」
 131 GS「あなた」
 132 GS「あなた」
 133 GS「あなた」
 134 GS「あなた」
 135 GS「あなた」
 136 GS「あなた」
 137 GS「あなた」
 138 GS「あなた」
 139 GS「あなた」
 140 GS「あなた」
 141 GS「あなた」
 142 GS「あなた」
 143 GS「あなた」
 144 GS「あなた」
 145 GS「あなた」
 146 GS「あなた」
 147 GS「あなた」
 148 GS「あなた」
 149 GS「あなた」
 150 GS「あなた」
 151 GS「あなた」
 152 GS「あなた」
 153 GS「あなた」
 154 GS「あなた」
 155 GS「あなた」
 156 GS「あなた」
 157 GS「あなた」
 158 GS「あなた」
 159 GS「あなた」
 160 GS「あなた」
 161 GS「あなた」
 162 GS「あなた」
 163 GS「あなた」
 164 GS「あなた」
 165 GS「あなた」
 166 GS「あなた」
 167 GS「あなた」
 168 GS「あなた」
 169 GS「あなた」
 170 GS「あなた」
 171 GS「あなた」
 172 GS「あなた」
 173 GS「あなた」
 174 GS「あなた」
 175 GS「あなた」
 176 GS「あなた」
 177 GS「あなた」
 178 GS「あなた」
 179 GS「あなた」
 180 GS「あなた」
 181 GS「あなた」
 182 GS「あなた」
 183 GS「あなた」
 184 GS「あなた」
 185 GS「あなた」
 186 GS「あなた」
 187 GS「あなた」
 188 GS「あなた」
 189 GS「あなた」
 190 GS「あなた」
 191 GS「あなた」
 192 GS「あなた」
 193 GS「あなた」
 194 GS「あなた」
 195 GS「あなた」
 196 GS「あなた」
 197 GS「あなた」
 198 GS「あなた」
 199 GS「あなた」
 200 GS「あなた」
 201 GS「あなた」
 202 GS「あなた」
 203 GS「あなた」
 204 GS「あなた」
 205 GS「あなた」
 206 GS「あなた」
 207 GS「あなた」
 208 GS「あなた」
 209 GS「あなた」
 210 GS「あなた」
 211 GS「あなた」
 212 GS「あなた」
 213 GS「あなた」
 214 GS「あなた」
 215 GS「あなた」
 216 GS「あなた」
 217 GS「あなた」
 218 GS「あなた」
 219 GS「あなた」
 220 GS「あなた」
 221 GS「あなた」
 222 GS「あなた」
 223 GS「あなた」
 224 GS「あなた」
 225 GS「あなた」
 226 GS「あなた」
 227 GS「あなた」
 228 GS「あなた」
 229 GS「あなた」
 230 GS「あなた」
 231 GS「あなた」
 232 GS「あなた」
 233 GS「あなた」
 234 GS「あなた」
 235 GS「あなた」
 236 GS「あなた」
 237 GS「あなた」
 238 GS「あなた」
 239 GS「あなた」
 240 GS「あなた」
 241 GS「あなた」
 242 GS「あなた」
 243 GS「あなた」
 244 GS「あなた」
 245 GS「あなた」
 246 GS「あなた」
 247 GS「あなた」
 248 GS「あなた」
 249 GS「あなた」
 250 GS「あなた」
 251 GS「あなた」
 252 GS「あなた」
 253 GS「あなた」
 254 GS「あなた」
 255 GS「あなた」
 256 GS「あなた」
 257 GS「あなた」
 258 GS「あなた」
 259 GS「あなた」
 260 GS「あなた」
 261 GS「あなた」
 262 GS「あなた」
 263 GS「あなた」
 264 GS「あなた」
 265 GS「あなた」
 266 GS「あなた」
 267 GS「あなた」
 268 GS「あなた」
 269 GS「あなた」
 270 GS「あなた」
 271 GS「あなた」
 272 GS「あなた」
 273 GS「あなた」
 274 GS「あなた」
 275 GS「あなた」
 276 GS「あなた」
 277 GS「あなた」
 278 GS「あなた」
 279 GS「あなた」
 280 GS「あなた」
 281 GS「あなた」
 282 GS「あなた」
 283 GS「あなた」
 284 GS「あなた」
 285 GS「あなた」
 286 GS「あなた」
 287 GS「あなた」
 288 GS「あなた」
 289 GS「あなた」
 290 GS「あなた」
 291 GS「あなた」
 292 GS「あなた」
 293 GS「あなた」
 294 GS「あなた」
 295 GS「あなた」
 296 GS「あなた」
 297 GS「あなた」
 298 GS「あなた」
 299 GS「あなた」
 300 GS「あなた」
 301 GS「あなた」
 302 GS「あなた」
 303 GS「あなた」
 304 GS「あなた」
 305 GS「あなた」
 306 GS「あなた」
 307 GS「あなた」
 308 GS「あなた」
 309 GS「あなた」
 310 GS「あなた」
 311 GS「あなた」
 312 GS「あなた」
 313 GS「あなた」
 314 GS「あなた」
 315 GS「あなた」
 316 GS「あなた」
 317 GS「あなた」
 318 GS「あなた」
 319 GS「あなた」
 320 GS「あなた」
 321 GS「あなた」
 322 GS「あなた」
 323 GS「あなた」
 324 GS「あなた」
 325 GS「あなた」
 326 GS「あなた」
 327 GS「あなた」
 328 GS「あなた」
 329 GS「あなた」
 330 GS「あなた」
 331 GS「あなた」
 332 GS「あなた」
 333 GS「あなた」
 334 GS「あなた」
 335 GS「あなた」
 336 GS「あなた」
 337 GS「あなた」
 338 GS「あなた」
 339 GS「あなた」
 340 GS「あなた」
 341 GS「あなた」
 342 GS「あなた」
 343 GS「あなた」
 344 GS「あなた」
 345 GS「あなた」
 346 GS「あなた」
 347 GS「あなた」
 348 GS「あなた」
 349 GS「あなた」
 350 GS「あなた」
 351 GS「あなた」
 352 GS「あなた」
 353 GS「あなた」
 354 GS「あなた」
 355 GS「あなた」
 356 GS「あなた」
 357 GS「あなた」
 358 GS「あなた」
 359 GS「あなた」
 360 GS「あなた」
 361 GS「あなた」
 362 GS「あなた」
 363 GS「あなた」
 364 GS「あなた」
 365 GS「あなた」
 366 GS「あなた」
 367 GS「あなた」
 368 GS「あなた」
 369 GS「あなた」
 370 GS「あなた」
 371 GS「あなた」
 372 GS「あなた」
 373 GS「あなた」
 374 GS「あなた」
 375 GS「あなた」
 376 GS「あなた」
 377 GS「あなた」
 378 GS「あなた」
 379 GS「あなた」
 380 GS「あなた」
 381 GS「あなた」
 382 GS「あなた」
 383 GS「あなた」
 384 GS「あなた」
 385 GS「あなた」
 386 GS「あなた」
 387 GS「あなた」
 388 GS「あなた」
 389 GS「あなた」
 390 GS「あなた」
 391 GS「あなた」
 392 GS「あなた」
 393 GS「あなた」
 394 GS「あなた」
 395 GS「あなた」
 396 GS「あなた」
 397 GS「あなた」
 398 GS「あなた」
 399 GS「あなた」
 400 GS「あなた」
 401 GS「あなた」
 402 GS「あなた」
 403 GS「あなた」
 404 GS「あなた」
 405 GS「あなた」
 406 GS「あなた」
 407 GS「あなた」
 408 GS「あなた」
 409 GS「あなた」
 410 GS「あなた」
 411 GS「あなた」
 412 GS「あなた」
 413 GS「あなた」
 414 GS「あなた」
 415 GS「あなた」
 416 GS「あなた」
 417 GS「あなた」
 418 GS「あなた」
 419 GS「あなた」
 420 GS「あなた」
 421 GS「あなた」
 422 GS「あなた」
 423 GS「あなた」
 424 GS「あなた」
 425 GS「あなた」
 426 GS「あなた」
 427 GS「あなた」
 428 GS「あなた」
 429 GS「あなた」
 430 GS「あなた」
 431 GS「あなた」
 432 GS「あなた」
 433 GS「あなた」
 434 GS「あなた」
 435 GS「あなた」
 436 GS「あなた」
 437 GS「あなた」
 438 GS「あなた」
 439 GS「あなた」
 440 GS「あなた」
 441 GS「あなた」
 442 GS「あなた」
 443 GS「あなた」
 444 GS「あなた」
 445 GS「あなた」
 446 GS「あなた」
 447 GS「あなた」
 448 GS「あなた」
 449 GS「あなた」
 450 GS「あなた」
 451 GS「あなた」
 452 GS「あなた」
 453 GS「あなた」
 454 GS「あなた」
 455 GS「あなた」
 456 GS「あなた」
 457 GS「あなた」
 458 GS「あなた」
 459 GS「あなた」
 460 GS「あなた」
 461 GS「あなた」
 462 GS「あなた」
 463 GS「あなた」
 464 GS「あなた」
 465 GS「あなた」
 466 GS「あなた」
 467 GS「あなた」
 468 GS「あなた」
 469 GS「あなた」
 470 GS「あなた」
 471 GS「あなた」
 472 GS「あなた」
 473 GS「あなた」
 474 GS「あなた」
 475 GS「あなた」
 476 GS「あなた」
 477 GS「あなた」
 478 GS「あなた」
 479 GS「あなた」
 480 GS「あなた」
 481 GS「あなた」
 482 GS「あなた」
 483 GS「あなた」
 484 GS「あなた」
 485 GS「あなた」
 486 GS「あなた」
 487 GS「あなた」
 488 GS「あなた」
 489 GS「あなた」
 490 GS「あなた」
 491 GS「あなた」
 492 GS「あなた」
 493 GS「あなた」
 494 GS「あなた」
 495 GS「あなた」
 496 GS「あなた」
 497 GS「あなた」
 498 GS「あなた」
 499 GS「あなた」
 500 GS「あなた」

ることなく、とこしえにいつまでも、あなたに流れ込むことであろう。

第 122 章

ミズーリ州リパティイの監獄において、囚われの身であつた預言者ジョセフ・スミスに与えられた主の言葉。この章は、千八百三十九年三月二十日付けの教会にあてた手紙からの抜粋である（第二百二十一章の前書きを参照）。

1-4 地の果ての人々がジョセフ・スミスの名を尋ねる。5-7 彼の被るすべての危難と労苦は彼に経験を与え、彼の益となる。8-9 人の子はすべての下に身を落とされた。

1 地の果ての人々があなたの名を尋ね、愚かな者はあなたをあざ笑ひ、地獄はあなたに激怒するであらう。

2 一方、心の清い者と、知恵のある者と、高潔な者と、徳高い者は、絶えずあなたの手から助言と権能と祝福を求めらるであらう。

3 あなたの民が、裏切り者の証によつてあなたに背くことは決してない。

4 あなたは裏切り者の影響により苦難の中に、また格子と壁の中に投げ込まれるが、それでもあなたは尊敬されるであらう。そして、つかの間にして、あなたの声は、あなたの義のゆえに、あなたの敵の中でどう猛なライオンよりも恐ろしいものとなる。そして、あなたの神は、とこしえにいつまでも、あなたの傍らに立つてであらう。

5 たとえあなたは艱難を経験するように定められても、たとえ偽兄弟の難に遭つても、たとえ強盗の難に遭つても、たとえ陸上や海上の難に遭つても、

6 たとえあらゆる偽りの罪状で告訴されても、たとえあなたの敵があなたを襲つても、たとえ彼らがああなたの父と母と兄弟と姉妹の交わりからあなたを引き離しても、また、たとえあなたの敵が抜き身の剣をもってあなたを妻と子供たちから引き離し、六歳にすぎないあなたの年長の息子があなたの服にすがりついて、「お父さん、お父さん、なぜ一緒にいられないの。ああ、お父さん、この人たち

第122章
 1 ① ジー歴史1:33
 2 ① GS「勸告 勸め」
 4 ① 教義121:7-8
 7 ① 3ニフ20:16-21
 12

は何をしようとしているの」と叫んでも、そしてその後たとえ彼が剣をもつてあなたから引き離され、あなたが獄に引きずり込まれ、あなたの敵が子羊の血を求めらるおおかみのようにあなたの周りをうろついても、

7 また、たとえあなたが穴の中に投げ込まれたら、殺人者の手に渡されたりして、死刑の宣告が下されても、たとえあなたが深みに投げ込まれても、たとえ寄せて来る大波があなたを巻き込もうとしても、たとえ暴風があなたの敵となっても、たとえ天が暗黒を集め、すべての元素が結束して道をふさいでも、また何にも増して、たとえ地獄の入り口が大口を開けてあなたをのみ込もうとしても、息子よ、あなたはこのことを知りなさい。すなわち、これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう。

8 人の子はこれらすべての下に身を落とした。あなたも人の子よりも大いなる者であろうか。

9 それゆえ、あなたの道に踏みとどまりなさい。そうすれば、神権はあなたとともにある。彼らの限界は定められており、彼らはそれを越えることは

できない。あなたの命数は知られており、あなたの寿命が短くされることはない。それゆえ、人になし得ることを恐れてはならない。とこしえにいつまでも、神はあなたとともにいるからである。

第 123 章

ミズーリ州リバティの監獄において、囚われの身であつた預言者ジョセフ・スミスが書いた迫害する者に関する聖徒たちの義務。この章は、千八百三十九年三月二十日付けの教会にあてた手紙からの抜粋である（第二百一十一章の前書きを参照）。

1-6 聖徒たちは、受けた苦難と迫害の記録を集めて出版しなければならぬ。7-10 偽りの信条を確立した霊が、聖徒たちの迫害を誘う。11-17 すべての教派の中の多くの者が、やがて真理を受け入れるであろう。

1 さらにまた、わたしたちは、次のことを考えるようにあなたがたに勧めたい。すなわち、すべての聖徒が、この州の人々から加えられた苦難と虐待に関する一切の事実について、情報を集めること

7 ① ルカ 10 : 3

② ① ヨナ 2 : 3-10

② サ下 22 : 5-7、

③ ジー歴史 1 : 15-16

④ ヘブ 12 : 10-11、17、

⑤ 2ニフ 2 : 11

⑥ ① GS「人の子」

② ヘブ 2 : 9、17-18

③ ① 教義 76 : 107-88、6

④ ② 使徒 17 : 26

⑤ ③ 教義 121 : 25

⑥ ④ ネヘ 4 : 14

⑦ 箴言 3 : 5、6、118、6、

⑧ イザ 51 : 7、

⑨ ルカ 12 : 4、5、

⑩ 2ニフ 8 : 7、

⑪ 教義 3 : 7、98、14

は正当である。

2 また、聖徒たちが損害を被つたすべての財産と損害額を、不動産だけでなく、人格ならびに身体への侵害についても情報を集めること、

3 また、彼らが入手し、見つけ出せるかぎり、その暴虐に加担したすべての人の名前の情報を集めることについても同様である。

4 委員会を設けて、これらのことを調べ出し、申立書と宣誓供述書を取り、流布されている中傷的な刊行物を集め、

5 雑誌や百科事典の中にあるすべてのもの、またすでに出版された、あるいは現在執筆中のすべての中傷的な歴史、およびそれがだれによるものかについての情報も集め、この民に対して行われた極悪な所業と非道かつ残忍な詐欺行為の全体のつながりを明らかにすることもできるであらう。

6 それは、わたしたちがそれらを全世界に向けて出版するだけでなく、政府の指導者たちにそれらを暗い地獄のような状態のままに明らかにするためでもある。それは、わたしたちの天の御父にその隠れ場から出て来ていただくという約束を果たす

ように求める権利を、わたしたちが十分かつ申し分なく主張するに先立って、天の御父からわたしたちに命じられている最後の努力である。さらにまた、それは、天の御父がその強い御腕の力を下される前に、全国民が弁解の余地のないようにするためである。

7 これは、わたしたちが神に対して、またわたしたちがともに立たされる天使たちに対して、また被害や圧制や暴虐の最も忌まわしい手の下で嘆き、悲しみ、不安でくじかれたわたしたち自身と妻子に対して負っている、ぜひとも果たすべき義務である。その殺害や圧制や暴虐の最も忌まわしい手は、偽りを受け継いだ先祖の信条を子孫の心につかりと打ち込み、世を混乱で満たし、ますます勢力を増し、今やすべての背徳の源そのものとなっている、あの霊の影響力によって支援され、促され、支えられている。そして、全地はその罪悪の重さの下でうめいている。

8 これは鉄のくびきであり、強い縄である。それらはまさに地獄の手錠、鎖、手かせ、足かせである。

9 したがって、これは、わたしたちが自分たちの妻子に対してだけでなく、その鉄の手によって夫や父親を殺された、やもめや父のいない子供に対しても負っている、ぜひとも果たすべき義務である。

10 そのような暗い、暗黒を招く行為は、地獄をさえ震えおのかせ、恐れて顔色を失わせ、あの悪魔の手をも震わせ、まひさせるのに十分である。

11 これはまた、わたしたちが次の世代に対して、またすべての心の清い者に対して負っている、ぜひとも果たすべき義務である。

12 地上のすべての教派や宗派、門派の中には、欺こうと待ち伏せる人々の狡猾な悪巧みによって目をくらまされ、見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる多くの人がいる。

13 したがって、わたしたちは、わたしたちの知りかぎりにおいて、闇の中の隠されたことをすべて明らかに出すために、生涯をなげうって尽くさなければならず、これらはまことに天から示されるのである。

14 したがって、これらのことに大いに真剣に取り組まなければならぬ。

15 だれにも、これらのことをささいなことと思わせてはならない。聖徒たちに関して将来起こる多くのことは、これらのことにかかっているからである。

16 兄弟たちよ、あなたがたの知っているように、非常に大きな船も、嵐のときにはごく小さな舵に大いに助けられ、風と波に対して進路を保つことができる。

17 したがって、親愛なる兄弟たちよ、わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。そして願わくは、その後、わたしたちがこの上ない確信をもって待ち受けて、神の救いを目にし、また神の腕が現されるのを見ることができるようになる。

第 124 章

千八百四十一年一月十九日、イリノイ州ノーブーにおいて、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示。役人による迫害と不法な行為が増してきたため、聖徒たちはミズーリ州を立ち去らざるを得なかった。千八百三十八年十月二十七日付けで、ミズーリ州知事リルバーン・W・ボッグズによって発布された撲滅令は、彼らに選択

17 ① 教義 64 : 33
 ② 出工 14 : 59
 13 15

16 13 ① 新ヤコブ 4 : 5
 ② アル 37 : 6
 7、

12 9 ① 教義 98 : 13、124
 ② コロ 2 : 8、

の余地をまったく与えなかった。この啓示が与えられた千八百四十一年には、かつてイリノイ州コマースという村があった場所に、聖徒たちによってノーブー市が築かれ、ここに教会の本部が設けられていた。

1-14 ジョセフ・スミスは、合衆国大統領、知事たち、およびすべての国の統治者たちに、福音を厳肅に宣言するよう命じられる。15-21 ハイラム・スミス、デビッド・W・パツテン、ジョセフ・スミス・シニア、および生者と死者の中にいるその他の人々が、彼らの高潔さと徳のゆえに祝福される。22-28 聖徒たちは、外来者をもてなすための家と神殿をノーブーに建てるように命じられる。29-36 死者のためのパテスマは、神殿内で執行しなければならぬ。37-44 主の民は、聖なる儀式の執行のためにいつも神殿を建てる。45-55 聖徒たちは、敵の暴虐があるので、ジャクソン郡に神殿を建てることを免除される。56-83 ノブーハウスの建築のために、数々の指示が与えられる。84-96 ハイラム・スミスは召されて、祝福師となり、もろもろの鍵を受け、オリバー・カウドリの得ていた職に就く。97-122 ウィリアム・ローと他の人々は、彼らの働きに関して忠告される。123

145 中央と地元の役員たちが指名され、彼らの義務と所属する定員会が告げられる。

1 まことに、主はあなた、すなわちわたしの僕ジョセフ・スミスにこのように言う。わたしは、あなたのなしたささげ物と証とを心から喜んでい。わたしがあなたを立てたのは、この目的のためである。すなわち、地の弱い者たちによってわたしの知恵を示すためである。

2 あなたの祈りをわたしは受け入れる。そして、祈りへの答えとして、わたしはあなたに言う。わたしの福音と、このステークについて、直ちに厳肅に宣言するために、あなたは今召されている。このステークは、シオンの隅石となるようにわたしが設けたものであり、宮殿のような優美さをもって磨き上げられるであろう。

3 この宣言は、世界の四隅に至るまで、世のすべての王に、またあなたが住んでいる国の高潔な次期大統領と気高い知事たちに、また散在している地のすべての国々に発せられなければならない。

4 これを、柔和な心をもって、聖霊の力によつ

1 ① 1 コリ 1:26-28
 2 ① GS - ステーク
 3 ① 詩篇 119:46、
 マタ 10:18
 4 ① GS - 柔和

て、書き記しなさい。これを書き記すときに、聖霊
 があなたの内に宿るであろう。

5 それらの王や役人に関するわたしの思い、すな
 わち将来何が彼らに起こるかは、聖霊によつてあ
 なたに知らされるからである。

6 見よ、わたしは、シオンの光と栄光を心に留め
 るように、彼らに呼びかけようとしている。シオ
 ンに恵みを受ける定められた時が来たからである。

7 それゆえ、あなたがたは彼らを恐れることなく、
 声高らかに宣言し、あなたがたの証を述べて彼らに
 呼びかけなさい。彼らは草のようであり、彼らの
 栄華は皆、すぐに散る花のようだからである。彼
 らにそうするのは、彼らに弁解の余地がないよう
 にするためである。

8 またそれは、わたしがわたしの顔の覆いを取り
 去る刑罰の日に彼らを訪れ、虐げる者の場所を偽
 善者の中に定めるためである。もしも彼らがわた
 しの僕たちと、わたしが彼らに明らかにしたわたし
 の証とを拒むならば、彼らはそこで齒ざしりをす
 るであろう。

9 さらにまた、わたしはあなたがたの益のために

彼らの多くを訪れ、彼らの心を和らげ、それによつ
 て、あなたがたが彼らの前に恵みを得るように、ま
 た彼らが真理の光に来るように、そして異邦人が
 シオンをあがめるように、すなわち高めるように
 しよう。

10 あなたがたの思いがけないときに、わたしの刑
 罰の日は速やかに来る。わたしの民の安全はどこに
 あり、またわたしの民の残された者たちの避け所は
 どこにあるであろうか。

11 目を覚ましなさい、おお、地の王たちよ。来な
 さい。おお、わたしの民を助けるために、あなたが
 たの金と銀を持って、シオンの娘たちの家に来なさ
 い。

12 さらにまた、まことに、わたしはあなたに言う。
 わたしの僕ロバート・B・トンブソンに、あなたが
 この宣言を書く手伝いをさせなさい。わたしは彼
 のことを、また彼があなたとともにいることを心か
 ら喜んでいいる。

13 それゆえ、彼があなたの助言に聞き従うように
 させなさい。そうすれば、わたしは多くの祝福を
 もつて彼を祝福しよう。今から後、彼があらゆる

7 ① 詩篇 103 : 15-16
 イザ 40 : 6-8、12
 1 ペテ 1 : 24、25
 8 ① マタ 8 : 12、
 アル 40 : 13
 9 ① イサ 60 : 1、4、
 10 ① マタ 24 : 44、
 ジーマタ 1 : 48
 11 ① 教義 101 : 91、112、24
 12 ① 「光」キリストの「光」

点で忠実かつ誠実であるようにさせなさい。そうすれば、彼はわたしの目に大いなる者となるであらう。

14 しかし、わたしが管理人の職の報告を彼の手にも求めるといふことを、彼に覚えておかせなさい。

15 さらにまた、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの僕ハイラム・スミスは幸いである。

彼の心が高潔であるので、また彼がわたしの前に正しいことを愛するので、主なるわたしは彼を愛する、と主は言う。

16 さらに、わたしの僕ジョン・C・ベネットに、王たちと地の民にわたしの言葉を送り出すあなたの務めを助けさせ、また苦難のときにあなた、すなわちわたしの僕ジョセフ・スミスの傍らに立たせなさい。

彼は勧告を受け入れるならば、報いを失うことはないであらう。

17 愛があるので、彼は大きい者となるであらう。彼はこのことを行うならば、わたしのものとなる、と主は言う。わたしは彼が行ってきたことを見た。彼がそれを続けるならば、わたしは彼の行いを受け入れて、彼にもろもろの祝福と大いなる栄

光の冠を与えよう。

18 さらにまた、わたしはあなたに言う。わたしの思いは、わたしの僕ライマン・ワイトが柔和な心をもってシオンのために教えを説き続け、世の人々の前にわたしを信じていることを告白することである。そうすれば、わたしは、わしの翼に乗せるように彼を支えよう。そして、彼は彼自身のためとわたしの名のために、栄光と誉れを得るであらう。

19 それは、彼がその業を終えるとき、現在わたしとともにいるわたしの僕デビッド・パッテンと、またわたしの僕エドワード・パートリッジと、またわたしの年老いた僕ジョセフ・スミス・シニアを迎えたように、わたしが彼をわたし自身のもとに迎えるからである。ジョセフ・スミス・シニアはアラハムの右に座しており、幸いな者であり、聖なる者である。彼はわたしのものだからである。

20 さらにまた、まことに、わたしはあなたに言う。わたしの僕ジョージ・ミラーには偽りが無い。その心が高潔であるので、彼は信頼できる。そして、彼がわたしの証に抱いている愛のゆえに、主なるわたしは彼を愛するのである。

14 ①GS「管理人、管理人の職」

15 ①GS「スミス、ハイラム」

16 ①GS「高潔」

17 ①GS「勧告、勧め」

18 ①GS「出エ19:4、イザ40:31」

19 ①GS「高潔」

②GS「パートリッジ、エドワード」

③GS「スミス、ジョセフ、シニア」

④教義17:5

⑤GS「管理人、管理人の職」

⑥GS「スミス、ハイラム」

⑦GS「高潔」

⑧GS「勧告、勧め」

⑨GS「出エ19:4、イザ40:31」

⑩GS「高潔」

⑪GS「パートリッジ、エドワード」

⑫GS「スミス、ジョセフ、シニア」

⑬教義17:5

⑭GS「管理人、管理人の職」

⑮GS「スミス、ハイラム」

⑯GS「高潔」

⑰GS「勧告、勧め」

⑱GS「出エ19:4、イザ40:31」

21 それゆえ、わたしはあなたに言う。わたしの僕エドワード・パートリッジに行つたように、わたしは、彼の頭上にピシヨップの職を結び固めて、彼がわたしの家の奉獻物を受け取り、わたしの民の中の貧しい者の頭上に祝福を与えられるようにする、と主は言う。わたしの僕ジョージはわたしをあがめるので、だれも彼を軽んじてはならない。

22 わたしの僕ジョージと、わたしの僕ライマンと、わたしの僕ジョン・スナイダーと、他の者たちは、わたしの僕ジョセフが示すような家を一軒、彼が示す場所に、わたしの名のために建てなさい。

23 それは宿泊するための家、すなわち遠くから来る外来者が滞在する家となる。それゆえそれは、疲れた旅人が主の言葉と、わたしがシオンのために定めた隅石について、つくづくと考える間、健康と安全を得られるように、そのまま受け入れるに値する立派な家でなければならぬ。

24 この家をわたしの名のために建てるならば、そして任命される館長がいかなる汚れもそこに入つて来ることがないようにするならば、それは健全な住まいとなるであろう。それは聖なるものである。

ければならない。そうでなければ、主なるあなたがたの神はそこに住まない。

25 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの聖徒たちを皆遠くから来させなさい。

26 あなたがたは足の速い使者たち、すなわち選ばれた使者たちを遣わして、彼らに言いなさい。「あなたがたのすべての金と、銀と、寶石と、すべての古物を携えて来なさい。また、古物についての知識を持つている者で、来ることを望み、かつ来ることのできる者を、皆伴つて来なさい。また、つげの木と、もみの木と、松の木を、地のすべての貴い木とともに持つて来なさい。

27 また、鉄と、銅と、真鍮と、亜鉛と、地のすべての貴いものも持つて来なさい。そして、いと高き方が住めるように、わたしの名のために一つの家を建てなさい」と。

28 それは、いと高き者が来て、失われたもの、すなわちいと高き者が取り去つたもの、すなわち完全な神権を再びあなたがたに回復できる場所が地上にないからである。

21 ① 教義 41、9、
GS 「ピシヨップ」
22 ① 教義 124、56、
申命 31、12、60
23 マタ 25、35、38
27 ① 出エ 25、8、
教義 97、15、17
28 ② 教義 109、5、
「神殿、主の宮」
GS 「福音の回復」

29 それは、彼ら、すなわちわたしの聖徒たちが死者の代わりにバプテスマを受けるバプテスマフオントが地上にないからである。

30 すなわち、この儀式はわたしの家に属するものであり、あなたがたがわたしのために家を建てることのできないほど貧しいときを除いて、わたしはこれを受け入れることはあり得ない。

31 しかし、わたしはあなたがた、すなわち、わたしの聖徒であるあなたがたすべてに命じる。わたしのために家を建てなさい。わたしのために家を建てるのに十分な時間を、わたしはあなたがたに与える。そして、この期間中は、あなたがたのバプテスマを受け入れる。

32 しかし見よ、この定められた期間が終わると、わたしはあなたがたの死者のためのバプテスマを受け入れない。そして、もしあなたがたが定められた期間の終わりにこれらのことを行わなければ、あなたがたの死者とともに、あなたがたは教会として拒まれるであろう、と主なるあなたがたの神は言う。

33 まことに、わたしはあなたがたに言う。死者の

ためのバプテスマの儀式を行う家をわたしのために建てる十分な時間を得た後は、あなたがたの死者のためのバプテスマを受け入れることはあり得ない。これは、死者のためのバプテスマを行う場所として、創世の前から定められたものである。

34 あなたがたは誉れと栄光を受けるために、そこで聖なる神権の鍵を授けられるのである。

35 この期間が過ぎた後は、散在している者たちによる死者のためのバプテスマをわたしは受け入れない、と主は言う。

36 シオンとそのステークとエルサレム、すなわち、わたしが避け所として定めたそれらの場所は、あなたがたの死者のためのバプテスマを行う所となる、と定められているからである。

37 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたがわたしの名のために建てた家でああなたがたの洗いを行わなくて、どうしてそれがわたしに受け入れられようか。

38 わたしがモーセに、一つの幕屋を建てるように、そして荒れ野の中をそれを運んで行くように、また約束の地で一つの家を建てるように命じたの

29 ① 1コリ15:29、
 教義17:6、13、33、
 GS「死者の救い」
 「バプテスマー死者の
 ためのバプテスマ」
 30 ① 教義128:13
 31 ① 教義97:10、16、
 GS「神権の鍵」
 32 ① イザ45:1-6
 33 ① GS「洗い」
 34 ① 出エ25:1-9、
 GS「幕屋」
 ② GS「神殿、主の宮」

はこのためである。そうすることによって、世界が存在する前から隠されてきた儀式を明らかにするためであった。

39 それゆえ、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたの油注ぎと、あなたがたの洗いと、あなたがたの死者のためのバプテスマと、あなたがたの聖会と、レビの子らによるあなたがたの犠牲の記念と、あなたがたが神との交わりを受ける最も聖なる場所におけるあなたがたの神託と、シオンの啓示と基の始まりのための、またシオンのすべての町の栄光と誉れとエンダウメントのためのあなたがたの掟と裁決は、わたしの聖なる名のために建てるようにとわたしの民に常に命じられる、わたしの聖なる家の儀式によって定められる。

40 まことに、あなたがたに言う。わたしの名のためにこの家を建てて、わたしがそこで民に儀式を示すことができるようにしなさい。

41 わたしは創世の前から隠されてきたこと、すなわち時満ちる神権時代に関することを、わたしの教会に示そうと思うからである。

42 わたしはこの家に関するすべてのことと、その

神権と、これを建てる場所をわたしの僕ジョセフに示そう。

43 あなたがたは、これを建てることを考えた場所に、これを建てなければならぬ。そこは、これを建てるようにわたしがあなたのために選んだ場所だからである。

44 あなたがたが勢力を尽くして働かなければ、わたしはその場所を聖別して、聖なる所としよう。

45 そして、わたしの民が、わたしの声と、わたしの民を導くためにわたしが任命した僕たちの声に聞き従うならば、見よ、まことに、わたしは言うが、彼らはその場所から移されることはない。

46 しかし、もし彼らがわたしの声にも、わたしが任命したこれらの者の声にも聞き従おうとしなければ、彼らはわたしの聖なる地と、聖なる儀式と憲章と、わたしが彼らに与える聖なる言葉を汚すので、祝福されないであろう。

47 そして、もしあなたがたがわたしの名のために家を建てながら、わたしの言うことを行わなければ、わたしはあなたがたに立てる誓いを果たさず、あなたがたがわたしの手に期待する約束も履行

39 ① 出エ29 7、
 GS「油注ぎ」
 ② GS「儀式」身代わ
 りの儀式」
 ③ 教義88 117
 ④ 教義13章 84、
 128、24
 ジー歴史1 69
 ⑤ エセ41 4、
 ⑥ 教義45 32、87、8、
 101、22
 ① 教義121 26、32
 ② エペ1 9、10、
 ③ 教義27 13、112、30
 ④ 簡条1 9
 ⑤ 教義95 14、17
 ⑥ 教義1 38、
 ⑦ GS「預言者」
 ⑧ GS「誓い」

しない、と主は言う。

48 あなたがたは、祝福の代わりに、あなたがた自身
の行いによって、すなわちあなたがたの愚かな
行為によって、またあなたがたがわたしの前でな
すすべての忌まわしい行いによって、あなたがた
自身の頭にのろいと激しい怒り、憤り、および裁
きを招くからである。

49 まことに、まことに、あなたがたに言う。わた
しが人の子らのだれかにわたしの名のためにある業
を行うよう命じ、そしてそれら人の子らが勢力を
尽くし、彼らの持つてゐるすべてを尽くしてその業
を成し遂げるように努め、かつ熱心であることを
やめなければ、彼らの敵が彼らを襲つて、彼らがそ
の業を成し遂げるのを妨げるとき、見よ、わたしは
当然のこととして、もう人の子らの手にその業を
求めることはなく、彼らのささげ物を受け入れる。

50 そして、わたしの業を妨げた者が悔い改めず、わ
たしを憎むかぎり、わたしは彼らの頭に、三代、
四代に至るまで、罪惡の報いと、わたしの聖なる
律法と戒めに背いたことの報いをもたらす、と主
なる神は言う。

51 それゆえ、この理由で、ミズーリ州ジャクソン
郡にわたしの名のために一つの町と一つの家を建
てるようにわたしから命じられたが、敵によって妨
げられた者たちの、そのささげ物をわたしは受け入
れたのである、と主なるあなたがたの神は言う。

52 敵が悔い改めず、わたしを憎むかぎり、わたし
は彼らの頭に、三代、四代に至るまで、裁きと激
しい怒り、憤り、悲嘆、苦惱、齒ざしりを及ぼそ
う、と主なるあなたがたの神は言う。

53 わたしは、業を行うように命じられながら敵の
手によつて、また暴虐によつてそれを妨げられた
すべての者に関して、あなたがたを慰めるために、
これをあなたがたへの一つの例とする、と主なるあ
なたがたの神は言う。

54 わたしは主なるあなたがたの神であり、ミズー
リの地で殺された、あなたがたの心の清い同胞を
すべて救う、と主は言う。

55 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに
言う。わたしは再びあなたがたに命じる。わたし
の名のためにまことにこの場所に一つの家を建て
て、わたしから命じられるすべてのことに忠実で

49 48 ①申命28:15
②①GS「熱心」
③GS「悔い改め」
50 ①申命5:9、
②申命5:9、
③モサ12:47
51 ①GS「ジャクソン
郡、ミズーリ州(アメ
リカ合衆国)」
52 ①GS「ジャクソン
郡、ミズーリ州(アメ
リカ合衆国)」
53 ①教義115:11
②教義121:23
③教義98:13、
④教義27:28
54 ①GS「清さ」
55 ①教義127:4

あることを身をもつて示し、また、わたしがあなたがたを祝福し、あなたがたに譽れと不死不滅と永遠の命を冠として与えることができるようになさい。

56 さて、わたしは、外来者の宿泊のために建てるように命じたわたしの宿泊所に関して、あなたがたに言う。それをわたしの名のために建て、わたしの名を付け、わたしの僕ジョセフとその家族を代々そこに住まわせるようになさい。

57 この油注ぎを、わたしは彼の頭に行つて、彼の祝福が彼の後の子孫の頭にも与えられるようにしたからである。

58 また、わたしは地のもろもろの部族についてアブラハムに言つたように、わたしの僕ジョセフにも言う。「あなたにより、またあなたの子孫により、地の部族は祝福を受けるであろう。」

59 それゆえ、わたしの僕ジョセフと彼の後の子孫を、代々としえにいつまでも、その家に住まわせるようにしなさい、と主は言う。

60 また、その家をノーブーハウスと名付けなさい。そして、それが人にとつて喜ばしい住まい、ま

た疲れた旅人にとつて休息所となるようにして、彼がシオンの栄光と、その隅石であるこの町の栄光をつくづくと考えられるようになさい。

61 また、名高い栽培所となりシオンの防壁の上の見張り人となるようにわたしが定めた者たちから、助言も受けられるようになさい。

62 見よ、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジョージ・ミラーと、わたしの僕ライマン・ワイトと、わたしの僕ジョン・スナイダーと、わたしの僕ビーター・ホーズは、その家を建てるために、自らを組織し、その中の一人を選んで委員会を管理する会長になさい。

63 また、規約を作成し、それによりその家を建てるための株式資本を受け取れるようにしなければならぬ。

64 彼らはその家の株式として一株五十ドル未満を受け取つてはならない。また、その家の株式として、だれであろうと一人から一万五千ドルを受け取ることは許される。

65 しかし、だれであろうと一人から一万五千ドルを超える株式資本を受け取ることは許されない。

55 アブ3: 25
56 ① 教義124: 22-24
57 ① 創世12: 3、22: 18
アブ2: 11
58 ② 教義110: 12、
GS「アブラハムの聖約
（契約）」
61 ① イザ61: 3、
エゼ34: 29
62 ② GS「見守る、
見守る者」

66 また、その家の株式として、だれであるうと一人から一株五十ドル未満を受け取ることも許されない。

67 また、だれであろうと株を受け取る時に彼らの手にその株式資本を払い込まない者を、この家の株主として受け入れることは許されない。

68 また、彼は彼らの手に払い込む株式資本に比例して、その家の株を受け取る。しかし、もしも彼らの手に払い込みをしなければ、彼はその家の株を一切受け取ってはならない。

69 また、だれであろうと彼らの手に株式資本を払い込むならば、それは、彼自身と代々の後の子孫のために、その家の株に交換される。彼とその相続人がその株を保有して、彼ら自身の自由意志と行為によりその株を売却あるいは譲渡しないかぎり、そのままである。あなたがたがわたしの思うところを行おうと思うならば、この指示に従うであらう、と主なるあなたがたの神は言う。

70 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。もしわたしの僕ジョージ・ミラーと、わたしの僕ライマン・ワイトと、わたしの僕ジョン・ス

ナイダーと、わたしの僕ピーター・ホーズは、現金で、あるいは現金に換えられる財産で、株式資本をその手に受け取るならば、その株式資本のいかなる部分であろうと、それをその家に関する以外のどのような目的にも流用してはならない。

71 また、もし彼らがその株式資本のいかなる部分であろうと、株主の承諾なしにその家以外のどこかに流用するならば、そしてその家以外のどこかに流用するその株式資本の四倍を返済しなければ、彼らはのろわれ、その職から退けられる、と主なる神は言う。主なるわたしは神であり、これらのことのいづれに関しても侮られることはあり得ないからである。

72 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ジョセフに、その家を建てるために、彼がよいと思うままに、彼らの手に株式資本を払い込ませなさい。しかし、わたしの僕ジョセフは、その家のために一万五千ドルを超える株式資本を払い込むことはできないし、五十ドルに満たない分も払い込むことはできない。ほかのいかなる者もそれはできない、と主は言う。

73 また、自分じぶんに関するわたしわたしの思いおもを知りたいと望のぞんでいる者ものたちがほかにもおり、彼らかれはわたしわたしにそれを願ねがい求めてきた。

74 それゆえ、わたしわたしの僕しもべビンソン・ナイトについてあなたがたに言う。彼かれがわたしわたしの思うところを行おこなおうとするならば、彼かれに、彼自身かれじしんと代々よよの後の子孫のちのこのために、その家の株式資本かぶしきしほんを出資しゅつしさせなさい。

75 また、彼かれに、民たみの中で長くかつ大きく声を上げて、貧しい者ものと乏しい者もののことを訴うたえさせなさい。彼は怠まつてはならず、気落ちきおしてはならない。これを守まもれば、彼のささげ物ものはわたしにとつてカインのささげ物もののようではなくなるので、わたしはそれを受け入れよう。そして、彼かれはわたしわたしのものとなる、と主しゅは言う。

76 彼の家族かぞくを喜よろこばせ、彼らかれの心を苦難くるなんから転てんじさせなさい。わたしは彼かれを選び、彼かれに油あぶらを注そそぎ、そして彼かれは家族かぞくの中で誉ほまれを与あたえられるからである。わたしは彼のすべての罪つみを赦ゆるそう、と主しゅは言う。アーメン。

77 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしわたしの僕しもべハイラムに、彼かれがよいと思うままに、彼自身かれじしん

と代々よよの後の子孫のちのこのために、その家の株式資本かぶしきしほんを出資しゅつしさせなさい。

78 わたしわたしの僕しもべアイザック・ギヤランドに、その家の株式資本かぶしきしほんを出資しゅつしさせなさい。主しゅなるわたしは彼かれが行おこなってきたことのゆえに彼かれを愛あいし、彼のすべてすべての罪つみを赦ゆるす。それゆえ、彼かれがその家の株かぶを持つていることを代々よよ覚えておきなさい。

79 わたしわたしの僕しもべアイザック・ギヤランドがあなたがたの中から選えらばれ、わたしわたしの僕しもべウィリアム・マークスによつて聖任せいじんされ、彼かれから祝福しゆくふくを受けて、わたしの僕しもべハイラムとともに出かけ、わたしわたしの僕しもべジョセフが彼らかれらに指示しじする業わざを成なし遂とげられるようにしなさい。そうすれば、彼らかれらは大おほいに祝福しゆくふくされるであらう。

80 わたしわたしの僕しもべウィリアム・マークスに、彼かれがよいと思うままに、彼自身かれじしんと代々よよの子孫のちのこのために、その家の株式資本かぶしきしほんを払い込こませなさい。

81 わたしわたしの僕しもべヘンリー・G・シャールウッドに、彼かれがよいと思うままに、彼自身かれじしんと代々よよの子孫のちのこのために、その家の株式資本かぶしきしほんを払い込こませなさい。

82 わたしわたしの僕しもべウィリアム・ローに、彼自身かれじしんと代々よよ

後の子孫のために、その家の株式資本を払い込ませなさい。

83 彼がわたしの思うところを行おうとするならば、彼に、東の地、すなわちカートランドに家族を連れて行かせてはならない。それでも、主なるわたしはカートランドを築き上げる。しかし、主なるわたしはその住民に対して懲らしめを用意している。

84 わたしの僕アルモン・パビットについては、わたしが好きではない多くのことがある。見よ、彼はわたしに定めた助言、すなわちわたしの教会の長会の助言の代わりに、自分の助言を確立しようと切望している。彼はわたしの民が礼拝するために一つの金の子牛を掲げている。

85 わたしの戒めを守ろうとしてここに来た者をだれも、この場所から去らせないようにしなさい。

86 彼らがここに住むならば、わたしのために生きるようにさせ、もしも死ぬならば、わたしのために死ぬようにさせなさい。彼らはここでその労苦をすべて解かれて休み、彼らの業を続けるであろう。

87 それゆえ、わたしの僕ウィリアムに、わたしを信頼させ、この地の病気のことで家族について心

配するのをやめさせなさい。あなたがたはわたしを愛するならば、わたしの戒めを守りなさい。そうすれば、この地の病気はあなたがたに栄光をもたらすであろう。

88 わたしの僕ウィリアムに、わたしの御霊に動かされるままに、ウォーソーの住民と、カーセージの住民と、パリンソンの住民と、マディソンの住民に対して、大声で、大いなる喜びをもってわたしの永遠の福音を宣言させなさい。また、わたしの総大会でさらに指示が与えられるのを、忍耐強くかつ熱心に待ち望ませなさい、と主は言う。

89 彼がわたしの思うところを行おうとするならば、彼に、今から後、わたしの僕ジョセフの助言に聞き従わせ、自分が持っているもので貧しい者を支えさせ、また地に住む者のためにわたしの聖なる言葉の新しい翻訳を出版させなさい。

90 彼がこれを行おうとするならば、わたしは多くの祝福をもって彼を祝福して、彼が見捨てられることも、その子孫がパンを請うこともないようしよう。

91 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに

86 85 84 ① 出エ 32 ① ① ルカ 9 : 62 ① 黙示 14 : 13、 ② 「安息」 ③ 「パライス」 87 ① ヨハ 14 : 15 ② ② 教義 121 : 8、122 : 7 88 ① GS 「神・神会・聖霊なる神」 ② 「聖書」のジョセフ・スミス訳のこと 89 ① 教義 78 : 3 ② 「詩篇」37 : 25 90 ① GS 「祝福」 ②

言う。わたしの僕ウイリアムを、わたしの僕ハイラムの代わりになつたの僕ジョセフの顧問として選ばひ、聖任し、油を注ぎなさい。それは、わたしの僕ハイラムが、祝福によつて、また権利によつて、彼の父親により任命された祝福師という神権の職に就くためである。

92 それは、今から後、彼がわたしの民のすべての頭に授ける祝福師の祝福の鍵を持ち、

93 彼の祝福する者が祝福され、彼ののろう者がのろわれ、また彼が地上でつなぐことが何でも天でつなぐられ、彼が地上で解くことが何でも天で解かれるためである。

94 これから先、わたしは彼を任命して、わたしの僕ジョセフと同様に、わたしの教会のために預言者、聖見者、啓示者とする。

95 それは、彼がわたしの僕ジョセフと力を合わせて働くためであり、またわたしの僕ジョセフから助言を受けるためである。わたしの僕ジョセフは彼にもろもろの鍵を示すであらう。これらの鍵によつて、彼は求めれば与えられ、またかつてわたしの僕オリバー・カウドリに与えられた同じ祝福

と、栄光と、誉れと、神権と、神権の賜物を冠として受けるのである。

96 それは、わたしの僕ハイラムが、わたしが彼に示すことを証して、彼の名が代々とししえにいつまでも尊敬をだめて賞えられるためである。

97 わたしの僕ウイリアム・ローにも、もろもろの鍵を与えて、それらの鍵によつて彼が祝福を求めれば与えられるようにしなさい。彼がわたしの前に謙遜であつて、偽りがないようにさせなさい。そうすれば、彼はわたしの御霊、すなわち慰め主を受けるであらう。その慰め主は、すべてのことについて彼に真理を明らかにし、また彼の言うべきことを必要なきに彼に知らせるであらう。

98 また、彼にはこのようなるしが伴う。すなわち、彼は病人を癒し、悪霊を追い出し、また猛毒を盛る者から救い出されるであらう。

99 また、彼は毒蛇にかかるとを捕らえられることのない道に導かれるであらう。また、わしの翼に乗っているように、彼の思い描く事柄の中を舞い上がるであらう。

100 彼が死者をよみがえらせることをわたしが望む

91 ① 教義107・39-40

GS ①「祝福師」

92 ① ① GS「祝福師の祝福」

93 ② ② マタ16・45-47

94 ① ① GS「結び固め」

95 ① ① 教義107・91-92

96 ① ① GS「聖見者」

97 ① ① GS「カウドリ、オリバー」

98 ① ① GS「謙遜」

99 ① ① GS「慰め主、助け主」

100 ① ① マコ16・17-18

GS「御霊の賜物」

101 ① ① GS「癒し」

102 ① ① 教義84・71-73

103 ① ① 出エ19・4、7

104 ① ① イザ40・31

ならば、彼に、その声を抑えさせてはならない。

101 それゆえ、わたしの僕ウイリアムに、喜びと歓喜をもって、またとこしえにいつまでも御座に着いておられる御方に、「ホサナ」と叫びつつ、惜しむことなく声高らかに叫び求めさせなさい、と主なるあなたがたの神は言う。

102 見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ウイリアムと、わたしの僕ハイラムには、彼らのためだけの、ある使命を備えている。わたしの僕ジョセフは必要とされているので、家にとどませなさい。残りについては後にあなたがたに示す。まことにそのとおりである。アーメン。

103 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕シドニーがわたしに仕え、わたしの僕ジョセフの顧問であるとするならば、彼を、立って上つて来て召された職に就くようにさせ、わたしの前にへりくだらせなさい。

104 もし彼が受け入れられるささげ物をささげ、証を述べ、わたしの民とともにどまるならば、見よ、主なるあなたがたの神であるわたしは、彼が癒されるように彼を癒そう。そして、彼は山々の上

で再び声を上げ、わたしの前で代弁者となるであろう。

105 彼を来させて、わたしの僕ジョセフが住む場所の近くに家族を住まわせるようにさせなさい。

106 また、彼が旅をしている間いつも、ラツパの音のように声を上げて、来るべき激しい怒りを逃れるように地に住む者に警告させなさい。

107 彼にわたしの僕ジョセフを助けさせ、またわたしの僕ウイリアム・ローにもわたしの僕ジョセフを助けさせなさい。そして、わたしが以前にあなたがたに言ったように、地の王たちに厳肅に宣言しなさい。

108 わたしの僕シドニーがわたしの思うところを行おうとするならば、彼の家族を東の地に移させてはならない。しかし、わたしが言ったように、その住まいを変えさせなさい。

109 見よ、彼がわたしの指定した町、すなわちノーブリー市から離れて、安全と避け所を見いだそうとすることは、わたしの思いにかなわない。

110 まことに、わたしはあなたがたに言う。まさに今、彼はわたしの声に聞き従うならば、幸いであ

103 ① GS 「リクドン、シドニー」
 104 ① 出エ4・14-16、2ニフ3・17-18、
 教義100・9-11
 107 ① 教義124・2-4
 109 ① 教義124・82-83
 ① GS 「フリーブル、イリノイ州（アメリカ合衆国）」

る。まことにそのとおりである。アーメン。

111 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕エイモス・デイビーズに、宿泊のための家、すなわちノーブーハウスを建てるためにわたしが任命した者たちの手に株式資本を払い込ませなさい。

112 彼が株を持つことを望むならば、彼に、このように行かせなさい。また、わたしの僕ジョセフの助言に聞き従わせ、人々の信頼を得るために自分の手を使って働かせなさい。

113 彼は、自分に任せられたすべてのこと、すなわちわずかなものにも忠実であることを身をもって示すとき、多くを治める者とされるであろう。

114 それゆえ、彼が高くされるために、自分自身を低くさせなさい。まことにそのとおりである。アーメン。

115 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕ロバート・D・フォスターがわたしの声に従おうとするならば、彼に、わたしの僕ジョセフと結んだ契約に従って、折々門が開かれるのに応じて、ジョセフのために一軒の家を建てさせなさい。

116 彼に、愚かな行為をすべて悔い改めさせ、慈愛をまこととせ、悪を行うことをやめさせ、彼の無情な言葉をすべて捨てさせなさい。

117 また、彼自身と代々の後の子孫のために、ノーブーハウスの委員会の手に株式資本を払い込ませなさい。

118 わたしの僕たち、ジョセフとハイラムとウイリアム・ローの助言に聞き従わせ、またわたしがシオンの基を据えるために召した権能を持つ者たちにも聞き従わせなさい。そうすれば、とこしえにいつまでも、彼は幸いである。まことにそのとおりである。アーメン。

119 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。『モルモン書』と、わたしがあなたがたに与えた数々の啓示を信じる者でなければ、だれにもノーブーハウスの委員会に株式資本を払い込ませてはならない、と主なるあなたがたの神は言う。

120 これ以上のもの、あるいはこれ以下のものは悪から来て、祝福ではなく、のろいが伴うからである、と主なるあなたがたの神は言う。まことにそのとおりである。アーメン。

121 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。ノーブーハウスの委員の者には、彼らがノーブーハウスを建てるに当たって行うすべての働きに対して、正当な俸給を得させなさい。彼らの俸給は、その金額について彼ら自身の間で同意するとおりにしなさい。

122 彼らの生活のために必要であれば、彼らの俸給に対する割り前を、株式資本を払い込む各人が負担するようにしなさい、と主は言う。そうでなければ、彼らの働きは、彼らのためにその家の株式資本に算入される。まことにそれとおりである。アーメン。

123 まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしは今、わたしの神権に属する役員をあなたがたに与えて、あなたがたがその鍵、すなわちメルキゼデクの位に従う、またわたしの独り子の位に従う神権の鍵を持てるようにする。

124 最初に、わたしはあなたがたにハイラム・スミスを与えて、あなたがたへの祝福師として、わたしの教会の結び固めの祝福、すなわち約束の聖なる御霊を持つ者とする。あなたがたは、誘惑の時

があなたがたに及んでも倒れることのないように、その約束の聖なる御霊により贖いの日まで結び固められるのである。

125 わたしはあなたがたに、わたしの僕ジョセフを与えて、わたしの教会のすべてを管理する管理長老とし、翻訳者、啓示者、聖見者、預言者とする。

126 わたしは彼に、顧問としてわたしの僕シドニー・リグドンとわたしの僕ウィリアム・ローを与えて、これらの者が全教会のために神託を受ける大管長会の定員会を構成するようにする。

127 わたしはあなたがたに、わたしの僕ブリガム・ヤングを与えて、十二使徒巡回評議会を管理する会長とする。

128 この十二使徒は、地の四隅にわたしの王国の権能を開き、その後、すべての造られたものにわたしの言葉を送り出す鍵を持つ。

129 これらの者は、ヒーバー・C・キンボール、パーリー・P・プラット、オーソン・プラット、オーソン・ハイド、ウィリアム・スミス、ジョン・テラー、ジョン・E・ページ、ウィルフォード・ウッドラフ、ウィラード・リチャーズ、ジョージ・A・ス

123 ① GS 「職」
② GS 「神権の鍵」
③ GS 「メルキゼデク」

124 ① GS 「祝福師」
② GS 「結び固め」
③ 教義 76 : 53
④ 3 : 14

125 「約束の聖なる御霊」
① エベ 4 : 30
② 教義 21 : 1
③ 「聖見者」

126 ① GS 「ヤング」
② 教義 90 : 4-5
③ 教義 16 : 15

127 ① GS 「使徒」

128 ① GS 「使徒」

ミスである。

130 デビッド・パッテンは、わたしがわたし自身のもとに受け入れた。見よ、彼の神権を彼から取り去る者はだれもない。しかし、まことに、わたしはあなたがたに言う。別の者をその召しに任命してもよい。

131 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、シオンの隅石のために高等評議会を与える。

132 すなわち、サミュエル・ベント、ヘンリー・G・シャーウッド、ジョージ・W・ハリス、チャールズ・C・リッチ、トーマス・グローバー、ニューエル・ナイト、デビッド・ドート、ダンバー・ウィルソン、セイモア・ブランソンは、わたしがわたし自身のもとに受け入れた。彼の神権を取り去るものはだれもない。しかし、彼の代わりに別の者をその神権に任じてもよい。まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの僕アロン・ジョンソンを彼の代わりにこの召しに聖任しなさい。デビッド・フルマー、アルフィアス・カトラー、ウィリアム・ハンティントンである。

133 さらにまた、わたしはあなたがたにドン・C・スミスを与えて、大祭司の定員会を管理する会長とする。

134 この儀式は、散在しているそれぞれのステークを管理する常任の会長すなわち僕に任命される者たちに資格を与える目的で制定されている。

135 彼らは望むならば旅をしてもよいが、むしろ常任の会長として聖任されている。これは彼らが召された職である、と主なるあなたがたの神は言う。

136 わたしは彼に、顧問としてアマサ・ライマンとノア・パツカードを与えて、彼らがわたしの教会の大祭司の定員会を管理するようにする、と主は言う。

137 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ジョン・A・ヒックスと、サミュエル・ウィリアムズと、ジェシー・ペーカーを与える。彼らの神権は長老の定員会を管理するものであり、その定員会は常任奉仕者となるために設けられている。しかしながら、彼らは旅をしてもよいが、それでもわたしの教会の常任奉仕者となるために聖任されている、と主は言う。

138 さらにまた、わたしはあなたがたに、ジョセ

130 ① GS「パッテン、デビッド・W」
② 教義 124:19
③ GS「高等評議会」
137 134 131
89-90 GS「長老」
「定員会」
GS 107:11-12、

フ・ヤング、ジョサイア・バターフィールド、ダニエル・マイルズ、ヘンリー・ヘリマン、ゼラ・パルシファー、リーバイ・ハンコック、ジェームズ・フオスターを与えて、彼らが七十人の定員会を管理するようにする。

139 この定員会は、巡回高等評議會すなわちわたしの使徒たちが、わたしの前に道を備えるために彼らを遣わす所であればどこでも、全世界でわたしの名について証する巡回長老のために設けられている。

140 この定員会と長老の定員会の違いは、一方が絶えず旅をするのに対して、他方は折々諸教会を管理するところにある。長老の定員会は折々管理の責任を持つが、七十人の定員会は管理の責任を持たない、と主なるあなたがたの神は言う。

141 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ビンソン・ナイトと、サムエル・H・スミスと、シャドラク・ラウンデー（もし彼が受け入れられるならば）を与えて、彼らがピシヨプリックを管理するようにする。このピシヨプリックについては、『教義と聖約』の書の中に述

べられている。

142 さらにまた、わたしはあなたがたに言う。祭司のためにサミュエル・ロルフと彼の顧問たちを、また教師の会長とその顧問たち、執事の会長とその顧問たち、またステークの会長とその顧問たちをあなたがたに与える。

143 以上の職とその鍵をわたしがあなたがたに授けたのは、助けのため、管理のため、奉仕の業とわたしの聖徒たちの完成のためである。

144 また、わたしはあなたがたに戒めを与える。あなたがたはこれらの職をすべて満たし、わたしが述べたそれらの名前を総大会で承認するか、そうでなければ、それらを否認しなければならぬ。

145 また、あなたがたはわたしの名のためにわたしの家を建てるとき、そこにこれらすべての職のための部屋を用意しなければならぬ、と主なるあなたがたの神は言う。まことにそのとおりである。アーメン。

第 125 章

千八百四十一年三月、イリノイ州ノーブーにおいて、

141 138 GS 「七十人」
 ① ② ① GS 教義 68・14、107・15
 ① エペ 4・11-14
 GS 「同意の律法」
 教義 26・2、

アイオワ準州にいる聖徒たちに関して預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。

1-4 聖徒たちは数々の町を築き、シオンのステークに集合しなければならぬ。

1 アイオワ準州にいる聖徒たちに関する主の御心は何であろうか。

2 まことに、主はこのように言われる。「わたしはあなたがたに言う。もしわたしの名によって自分自身を呼んで、わたしの聖徒であろうと努めている者たちが、わたしの思うところを行い、彼らに関するわたしの戒めを守ろうとするならば、彼らにわたしがわたしの僕ジョセフによって彼らに指定した場所を集め、わたしの名のために数々の町を築かせて、將來起こることに備えさせるようにしなさい。

3 彼らに、ノーブー市の対岸にわたしの名のために一つの町を築かせなさい。そして、セラヘムラと名付けなさい。

4 そして、東から、西から、北から、南から来て、そこに住みたいと望むすべての者に、そこで、

またナツシュビル市で、あるいはノーブー市で、またわたしが指定したすべてのステークで彼らの受け継ぎを得させなさい」と主は言われる。

第126章

千八百四十一年七月九日、イリノイ州ノーブーのブリガム・ヤングの家で、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。このとき、ブリガム・ヤングは十二使徒定員会会長であった。

1-3 ブリガム・ヤングはその働きを褒められ、將來外国に旅をするのを免除される。

1 親愛なるブリガム・ヤング兄弟、まことに、主はあなたにこのように言われる。「わたしの僕ブリガムよ、これまでのように家族を残して出かけることは、もうあなたに求められない。あなたのささげ物を、わたしは受け入れたからである。

2 わたしは、わたしの名のために行った旅におけるあなたの働きと労苦を見た。

3 それゆえ、わたしはあなたに、わたしの言葉を

第125章

2 ① GS 「イエス・キリス

ト」御名を受ける」

3 ① GS 「セラヘムラ」

4 ① アイオワ州リー郡

ナツシュビル

② GS 「ステーク」

第126章

1 ① GS 「ヤング、

ブリガム」

2 ① GS 「行い」

外国に送り出し、今から後いつまでもあなたの家族の世話を特によくするように命じる。アーメン。」

第 127 章

千八百四十二年九月一日付けで、ノーブーにおいて書かれた、預言者ジョセフ・スミスからイリノイ州ノーブーの末日聖徒にあって、死者のためのパブテスマについての指示を含む手紙。

1-4 ジョセフ・スミスは迫害と艱難を誇りとする。
5-12 死者のためのパブテスマに関して、記録を保存しなければならぬ。

1 主がわたしに、ミズーリ州とこの州のわたしの敵が再びわたしを追って来たことを示してください。それで、また彼らは理由もなくわたしを追いかけ、わたしを告発するに当たって、彼らの側にはいささかの正当性も正義もないので、また彼らの主張はすべて真つ黒な偽りの中に基を置いているので、わたしは、自分の身の安全とこの民の安全のために、少しの間、この地を離れることがわたしに

とって適切であり賢明であると考えました。わたしは仕事上の関係を持つすべての方々に申し上げたいと思います。わたしは代理人と書記たちに諸事を託しました。彼らはすべての仕事を敏速かつ適切な方法で処理することでしょう。また、彼らには必要に応じて、すなわち事情の許すままに、財産の処分そのほかの方法で、然るべきときにわたしの負債をすべて償却するでしょう。わたしはこの嵐が完全に静まったことが分かれば、再びあなたがたのもとに帰ります。

2 わたしが経験するように定められている数々の危難については、人のねたみと憤りが生涯を通じてわたしの日常のことであったので、それらはわたしにとってほんのささいなことに思われます。ある善い目的のために、あるいは人が悪いと呼びたければ悪い目的のために、わたしが創世の前から任じられていたのでなければ、それはどのような理由のためか不可解に思われます。その目的が善いか悪いか、あなたがたは自ら判断してください。それが善いか悪いか、神はこれらすべてのことを御存じです。しかしそれでも、わたしがいつも泳いでいる水

3 ① GS「家族」

第 127 章

1 ① ヨブ 2・3、

マタ 5・10・12、

1 ペテ 2・20・12、

GS ① 詩篇 23 篇

GS「迫害」

GS「ねたみ」

GS「予任」

は深いのです。それはすべてわたしにとって第二の天性となっております。そして、わたしはパウロのように艱難を誇りと感じています。わたしの先祖の神は、今日までそれらのすべてからわたしを救い出してくださり、またこれから後もわたしを救い出してくださるからです。まことに、まことに、わたしはわたしのすべての敵に打ち勝つでしょう。主なる神がそう告げられたからです。

3 したがって、聖徒は皆、喜び、楽しみ、大いに喜んでください。イスラエルの神は聖徒たちの神であり、虐げられた者たちすべての頭に正当な報いを与えられるからです。

4 さらにまた、まことに、主はこのように言われます。「わたしの神殿の仕事と、わたしがあなたのために定めたすべての仕事を継続して行い、中止しないようにしなさい。あなたがたの熱心さ、あなたがたの根気強さと忍耐、またあなたがたの働きを倍加しなさい。そうすれば、あなたがたは決してその報いを失うことはない、と万軍の主は言う。また、彼らがあなたがたを迫害するとしても、あなたがたより前の預言者たちと義人たちも同じように迫

害されたのである。このすべてに対して、天における報いがある。

5 さらにまた、わたしはあなたがたの死者のためのバプテスマについて、あなたがたに一言告げる。

6 まことに、あなたがたの死者について、主はこのように言う。あなたがたのうちのだれでも、あなたがたの死者のためにバプテスマを受けるときは、記録者がいるようにしなさい。そして、あなたがたのバプテスマの見証者となり、その耳で聞くようにしなさい。それは、彼が実際に証できるようにするためである、と主は言う。

7 また、あなたがたの記録するすべてのことについて、それが天でも記録されるためであり、あなたがたが地上でつなぐことが何でも天でつなぐれ、あなたがたが地上で解くことが何でも天で解かれるためである。

8 わたしは神権に関して地上に多くの事柄を回復しようとしている、と万軍の主は言う。

9 さらにまた、すべての記録を整理して、わたしの聖なる神殿の記録保管所に収め、それらが代々覚えられるようにしなさい、と万軍の主は言う。」

2 ④ 2 コリ 6:4-5、GS「逆境」
 3 ① 3 ニコ 11:12-14
 4 ① ③ GS「熱心」
 5 ① ③ GS「死者の救い」
 6 ② GS「バプテスマ」
 7 ① ① GS「バプテスマ」
 8 ① ② GS「福音の回復」
 9 ① ② GS「福音の回復」

10 わたしはすべての聖徒たちに申し上げます。わたしは次の安息日に、死者のためのバプテスマという主題で教壇からお話しすることを切に切に望んでいました。しかし、そうすることはできませんので、時々この件について主の言葉を書き、それを郵便であなたがたに送ります。ほかの多くの事柄についても同様になります。

11 もう時間がありませんので、今はこれでこの手紙を終わります。敵が機をうかがっているからです。救い主が言われたように、この世の君が来ますが、わたしに対しては何の力もありません。

12 まことに、わたしが神にささげる祈りは、あなたがたすべてが救われるようにということです。わたしは主におけるあなたがたの僕、末日聖徒イエス・キリスト教会の預言者および聖見者としてここに署名します。

ジョセフ・スミス

第 128 章

千八百四十二年九月六日付けで、イリノイ州ノーブーにおいて書かれた、預言者ジョセフ・スミスから末日聖

徒イエス・キリスト教会に於てた、死者のためのバプテスマについての追加の指示を含む手紙。

1-5 地元と中央の記録者は、死者のためのバプテスマの事実を証明しなければならぬ。6-9 彼らの記録は拘束力があり、地上でも天でも記録される。10-14 バプテスマフォントは墓に似せて造られたものである。15-17 エリヤは死者のためのバプテスマに関する力を回復した。18-21 過去の神権時代のすべての鍵と力、権能が回復された。22-25 喜びの栄えあるおとずれが、生者と死者のために宣言される。

1 わたしが自分の居所を立ち去る前に、時々手紙を書いて多くの事項についてあなたがたに情報を提供すると述べたように、わたしは今、死者のためのバプテスマの件を再び採り上げます。敵に追われてからこのかた、この事項がわたしの心を占め、わたしの気持ちに最も重くのしかかっているように思われるからです。

2 わたしは記録者について、幾つか啓示の言葉をあなたがたに書きました。また、この件に関して

11 ① ヨハ14 : 30
 12 GS 「悪魔」
 12 ① 教義12 : 125
 GS 「聖見者」

第128章
 1 ① GS 「バプテスマ」
 バプテスマ」

さらに幾つかの見解を持つようになりましただので、それを今明らかにしませう。すなわち、前の手紙で述べたとおり、主の御前に正確に記録を残すために、見証者となり、その耳で聞く記録者がいなければなりません。

3 さて、この件に関しては、一人の記録者がいつも立ち会って、すべての事務を行うことは非常に難しいでしょう。この難しさを取り除くために、正確な記録を取るのに十分な資格のある記録者を、市の各区に一人ずつ任命することができま

す。その記録者は、きわめて詳細かつ正確にすべての手続きの記録を取り、その目で見、その耳で聞いたことをその記録の中で証明し、日付や名前などにします。さらに、二人または三人の証人の口によってすべての言葉が確定されるように、だれか立ち会う人がいれば、その事柄を証明するよう求められるときにいつでもそれができる三人ほどの名前も記します。

4 次に、彼らの作成した記録が真実であることを証明する彼ら自身が署名した証明書とともに、こ

れらの記録を手渡すことのできる、中央記録者がいなければなりません。次に、中央教会記録者は、この記録を、もろもろの証明書ならびに立ち会っていたすべての証人名とともに、また、それらの記録者の大体の性格を知っていることと彼らが教会によって任命されているという事実からその声明と記録が真実であると確信しているという自らの声明書とともに、一般教会記録簿に入れることができます。これが一般教会記録簿に加えられると、あなたも彼がその目で見、その耳で聞き、一般教会記録簿にそれを記録したと同じように、この記録は神聖なものとなり、その儀式を有効とするのです。

5 あなたがたはこの手順をとっても細かいと思うかもしれませんが。しかし、あなたがたに申し上げます。これは、福音を知らずに死ぬ者の救いのために、主が創世の前に定めかつ備えられた儀式と備えに従うことによつて、ひたすら神の御心に應じるためなのです。

6 さらにまた、黙示者ヨハネが黙示録第二十章十二節にあるとおりに述べたとき、彼は死者に関して

まさにこの件を考えていたということを、あなたがたは覚えておいてほしいのです。「またわたしは、死者が小さなものも大なるものも、神の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれ、またもう一つの書物も開かれた。それは命の書である。そして、死者はこれらの書物に書かれていることに基づき、彼らの行いに応じて裁かれた。」

7 この引用文に見るとおり、数々の書物が開かれ、またもう一つの書物も開かれました。それは命の書でした。しかし、死者は数々の書物に書かれていることに基づき、彼らの行いに応じて裁かれました。したがって、ここで言われている数々の書物とは、彼らの行いの記録が載せられている書物とは、地上で記される記録を指すに違いないのです。また、命の書であるとされた書は、天で記される記録です。この原則は、わたしが自分の居所を立ち去る前にあなたがたに書いた手紙に載せられている啓示の中であなたがたに命じられた教義にかなっています。あなたがたの記録するすべてのことについて、それが天でも記録されるためなのです。

8 さて、この儀式の本質は、イエス・キリストの啓示による神権の力にあります。これによって、あなたがたが地上でつなぐことは何でも天でつなぐられ、あなたがたが地上で解くことは何でも天で解かれるということが認められるのです。言い換えれば、この翻訳について別の見方をすると、あなたがたが地上で記録することは何でも天で記録され、またあなたがたが地上で記録しないことは天でも記録されないということです。それは、あなたがたの死者が、数々の書物に基づき、彼ら自身の行いに応じて裁かれるからです。すなわち、彼らが自らその儀式を受けようと、あるいは代理人の仲立ちによって、神が創世の前から彼らの救いのために備えられた儀式に従って、その死者に関して記された記録のとおりはその儀式を受けようと、それに応じて裁かれるのです。

9 わたしたちが語っていること、すなわち地上で記録し、すなわちつなぎ、かつ天でもつなぐ力があるということとは、ある人々には、非常に大胆な教義であると思われるかもしれません。しかしながら、世のあらゆる時代において、主がある人に、あるい

7 ① 黙示 20:12、
 教義 17:6-7、
 GS 「命の書」
 ② 教義 21:1
 ③ GS 「結び固め」
 ④ GS 「死者の救い」
 ⑤ GS 「神権」

はある人々の集団に、実際の啓示によって神権の施しを授けられたときはいつでも、この力が常に授けられてきたのです。したがって、何事であろうと、それらの人が権能によって、主の御名によってなし、正しくかつ忠実に行い、それについての適切かつ正確な記録を記したことは、大いなるエホバの定めによって地上でも天でも一つの律法となり、取り消せないものとなったのです。これは確かな言葉です。だれがそれを聞くことができずでしようか。

10 さらにまた、その先例として、マタイによる福音書第十六章十八、十九節があります。「そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。地獄の門もそれに打ち勝つことはない。わたしは、あなたに天の王国の鍵を授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは何でも天でつなぐが、あなたが地上で解くことは何でも天で解かれるであろう。」
11 さて、この事柄全体の偉大かつ重要な真義と、わたしたちの前にある事項全体の最高善は、聖なる神権の力を得ることにあります。これらの鍵を

授けられる者にとつて、人の子らの救い、すなわち死者と生者の両方の救いに關して、数々の事実を知ることはいさしも難しいことではありません。

12 ここに、すなわち水によるバプテスマの儀式、すなわち死者の有様に応じるために水に沈められることに、栄光と誉れ、および不死不滅と永遠の命があります。死者の有様にそつて水中に沈められるのは、一つの原則が他の原則に一致するためです。水中に沈められ、そして水から出て来ることは、墓から出て来る死者の復活に似ています。したがって、この儀式は、死者の有様に似ているので、死者のためのバプテスマの儀式と関連するようには制定されたのです。

13 その結果、バプテスマフォントは墓に似たものとして設けられ、生者がいつも集まる場所の下にあるようにと命じられました。それによって、生者と死者を表すため、またすべてのことに類似するものがあるようにするため、またそれらが互いに一致するため、すなわちコリント人への第一の手紙第十五章四十六、四十七、四十八節でパウロが述べられているように、地に属するものが天に属するもの

9 GS 「神権時代」
 ② GS 権威 権限
 ③ GS 「エホバ」
 11 GS 「神権の鍵」
 12 GS 「救い」
 12 GS 「バプテスマ」
 12 GS 「全身を水に沈める」
 13 GS 「不死不滅」
 ② GS 教義 124:29
 ② GS 「象徴」

に一致するためなのです。

14 「最初にあつたのは、霊のものではなく、肉のものであつて、その後、霊のものが来るのである。第一の人は地から出て土に属し、第二の人は天から来る主である。土に属する人々は、土に属する人のようであり、天に属する人々は、天に属する人のようである。」そして、天の記録は、正しく作られるあなたがたの死者に関する地上の記録に似ています。したがって、これは結び固め、かつ、つなぐ力であり、ある意味では、知識の鍵から成る王国の鍵なのです。

15 さて、わたしの親愛なる兄弟姉妹たち、わたしはあなたがたに断言します。これらは死者と生者に関する原則であり、わたしたちの救いに関して軽々しく見過ごすことのできないものです。彼らの救いはわたしたちの救いにとって必要であり、不可欠だからです。それは、パウロが先祖について、わたしたちなしには彼らが完全な者とされることはないと言っているように、わたしたちの死者なしには、わたしたちも完全な者とされることはないのです。

16 さて、死者のためのバプテスマに関して、わたしはパウロのもう一つの言葉、すなわちコリント人へ

の第一の手紙第十五章二十九節を引用しましょう。

「もし死者が決してよみがえらなるとすれば、死者のためにバプテスマを受ける人々は、何をするのだろうか。なぜ死者のためにバプテスマを受けるのか。」

17 さらにまた、この引用文に関連して、一人の預言者の言葉を引用しましょう。彼は神権の回復と、終わりの時に示される栄光と、また特に永遠の福音に属するすべての事項の中で最も栄光あるこの事柄から、すなわち死者のためのバプテスマにその目を注いでいました。マラキは、その書の最後の章の第五節と六節で言っています。「見よ、主の大きな恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は先祖の心を子孫に、子孫の心をその先祖に向けさせる。これは、わたしが来て、のろいをもつて地を打つことのないようにするためである。」

18 わたしはこれをもっと分かりやすく翻訳することもできましたが、このままでも十分に分かりやすく、わたしの目的にかないます。この場合、先祖と子孫の間にある事項について固いつながりがなければ、地はのろいをもつて打たれるというこ

14 ① GS 「結び固め」
② JS ルカ 11:53

(付録)
③ GS 「神権の鍵」
④ GS 「死者の救い」

15 ① GS 「完全」
② GS 「福音の回復」

17 ① GS 「福音の回復」
② GS 「完全」

18 ① GS 「福音の回復」
② GS 「儀式」

③ GS 「儀式」
④ GS 「儀式」

⑤ GS 「儀式」
⑥ GS 「儀式」

⑦ GS 「儀式」
⑧ GS 「儀式」

⑨ GS 「儀式」
⑩ GS 「儀式」

⑪ GS 「儀式」
⑫ GS 「儀式」

⑬ GS 「儀式」
⑭ GS 「儀式」

⑮ GS 「儀式」
⑯ GS 「儀式」

⑰ GS 「儀式」
⑱ GS 「儀式」

⑲ GS 「儀式」
⑳ GS 「儀式」

㉑ GS 「儀式」
㉒ GS 「儀式」

㉓ GS 「儀式」
㉔ GS 「儀式」

㉕ GS 「儀式」
㉖ GS 「儀式」

㉗ GS 「儀式」
㉘ GS 「儀式」

㉙ GS 「儀式」
㉚ GS 「儀式」

㉛ GS 「儀式」
㉜ GS 「儀式」

㉝ GS 「儀式」
㉞ GS 「儀式」

㉟ GS 「儀式」
㊱ GS 「儀式」

㊲ GS 「儀式」
㊳ GS 「儀式」

㊴ GS 「儀式」
㊵ GS 「儀式」

㊶ GS 「儀式」
㊷ GS 「儀式」

とを知るだけで十分です。さて、その事項とは何でしょうか。それは死者のためのバプテスマです。彼らなしにはわたしたちが完全な者とされることはなく、またわたしたちなしには彼らが完全な者とされることはないのです。また、福音にあつて死んだ者なしには、彼らもわたしたちも完全な者とされることはありません。今や訪れようとしている時満ちる神権時代の到来に当たつて、アダムの時代から現在に至るまでの、神権時代と鍵と力と栄光のすべての、ことごとくの、完全な和合と結合が起り、示されることが必要だからです。またこれだけではなく、世の初めからまだ一度も示されておらず、知恵のある者や賢い者から隠されてきた数々の事柄も、この時満ちる神権時代には、みどりごや乳飲み子に示されることでしょう。

19 さて、わたしたちの受けた福音について、何を聞くでしょうか。喜びの声です。天からの憐れみの声、地からの真理の声、死者のための喜びのおとずれ、生者と死者のための喜びの声、胸躍る大いなる喜びのおとずれ。善の喜びのおとずれを伝え、シオンに向かつて、「見よ、あなたの神が治めてお

られる」と言う者の足は、山のう上にあつて何と麗しいことでしょうか。カルメルの露のように、神の知識が彼らに下ることでしょう。

20 さらにまた、わたしたちは福音を聞くでしょうか。クモラからの喜びのおとずれです。預言者たちの預言の成就と、明らかにされる書について宣言する、天からの天使モロナイ。その書について証するよう三人の証人に告げられた、セネカ郡フエイエットの荒れ野における主の声。悪魔が光の天使として現れたときにそれを暴いた、サスケハナ川の岸辺におけるミカエルの声。王国の鍵と時満ちる神権時代の鍵を持っていると自ら宣言した、サスケハナ川沿いのサスケハナ郡ハーモニーとブルーム郡コールズビルの間の荒れ野におけるペテロとヤコブとヨハネの声。

21 さらにまた、セネカ郡フエイエットのホイットマー翁の部屋における、またこの末日聖徒イエスキリスト教会のすべての旅と艱難を通じて、様々な時の、様々な場所における神の声。また、それぞれの神権時代と権利、鍵、誉れ、尊厳と栄光、神権の力について宣言し、またここにも少し、そこに

- 18 ③ 教義 124・28・30
 17 ① 6・7
 ④ GS「神権時代」
 ⑤ 教義 35 18
 ⑥ マタ 11・25、
 ルカ 10・21
 19 アル 32・23
 ① 詩篇 85 10・11
 ② ルカ 2 10
 ③ イザ 52 7・10
 ④ 申命 32 2、
 ⑤ 3 15・13 18、
 ⑥ 3 20 40
 20 ① 教義 121・45
 ② ① ジー歴史 1 51・52
 ③ 「クモラの丘」
 ④ イザ 29 4、11 14
 ⑤ 2 27 6 29
 ⑥ GS「モロン書」
 ⑦ GS「モロナイ
 ⑧ モロンの息子」
 ⑨ 教義 17 1 3
 ⑩ GS「フエイエツト、
 ニューヨーク州(アメ
 リカ合衆国)
 ⑪ 2 コリ 11 14
 ⑫ ⑦ 教義 27 11
 ⑬ GS「アダム」
 ⑭ GS「神権の鍵」
 ⑮ ⑧ 教義 27 12
 ⑯ ビーラー 12
 21 ホイットマー・シニア
 ② GS「神権時代」

も少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を与え、また来るべき事柄を宣言することによってわたしたちに慰めを与え、わたしたちの希望を確かなものとした、天使長ミカエルの声、ガブリエルと、ラファエルと、ミカエルすなわちアダムから現在に至るまでの様々な天使たちの声。

22 兄弟たちよ、わたしたちはこのような偉大な大義において前進しようではありませんか。退かずに前に進んでください。兄弟たちよ、勇気を出してください。勝利に向かって進み、進んでください。心を喜び樂しませ、大いに喜んでください。地は声を放って歌いなさい。死者は、王なるインマヌエルに向かって永遠の賛美の歌を語り出しなさい。王なるインマヌエルは、わたしたちが死者を獄から贖えるようにする方法を、世界が存在する前に定められました。獄にいる者たちは解放されるのです。

23 山々は喜び呼ばわりなさい。すべての谷よ、声高らかに叫びなさい。すべての海と乾いた地よ、あなたわたしの永遠の王の驚異を告げなさい。川よ、小川よ、せせらぎよ、喜びをもって流れ下りなさい。

森と、野のすべての木々は、主をほめたたえなさい。硬い岩よ、喜びの涙を流しなさい。太陽と月と夜明けの星は、ともに歌いなさい。神の子らは皆、喜び呼ばわりなさい。永遠の創造物は、とこしえにいつまでも神の御名をたたえなさい。さらにまた、わたしは申します。栄光と、救いと、誉れと、不死不滅と、永遠の命と、また王国と公国と力をわたしたちの耳に宣言する天から聞こえる声は、何と栄えあることでしょう。

24 まことに、主の大きいなる日は近づいています。主の来られる日には、だれが堪えられるでしょう。主が御姿を現されるときに、だれが立つていられるでしょう。主は精錬する者の火のようであり、布さらしの灰汁のようです。主は銀を精錬し清める者として座に着き、レビの子らを清め、金銀のように彼らを清めて、彼らが義をもってささげ物を主にささげられるようにされます。したがって、わたしたちは教会として、また民として、また末日聖徒として、義をもってささげ物を主にささげましょう。また、主の聖なる神殿が完成するるとき、わたしたちの死者の記録を載せた、そのまま

21 イザ 28 : 10
 GS 「希望」
 GS 「ガブリエル」
 GS 「ラファエル」
 22 教義 107 : 53 - 56
 GS 「天使」
 イザ 7 : 14
 イザ 7 : 13
 アル 5 : 50
 GS 「インマヌエル」
 23 イザ 24 : 22
 教義 76 : 72 - 74
 GS 「贖い、贖う」
 イザ 44 : 23
 ヨブ 38 : 40
 ヨブ 19 : 23
 GS 「不死不滅」
 GS 「不死の命」
 24 GS 「イエスキリス
 トの再臨」
 マラ 3 : 1 - 3
 GS 「地球」(24) - 地球
 の清め
 ④ゼカ 13 : 9
 ⑤申命 10 : 8、
 教義 13 章、124 : 39
 ⑥教義 84 : 31、
 GS 「ささげ物」
 ⑦教義 17 : 9、
 GS 「系図」

受け入れるに値する書をそこにささげましょう。
 25 兄弟たちよ、わたしはこの件についてたくさんのことをあなたがたに申し上げたいと思いますが、今のところはこれで終わり、別の折にこの件を続けることにします。いつものように、わたしはあなたがたの卑しい僕であり、決して離れることのない友人です。

ジョセフ・スミス

第 129 章

千八百四十三年二月九日、イリノイ州ノーブーにおいて、預言者ジョセフ・スミスによって与えられた、仕える天使と霊の正体を見分けるための三つの大いなる鍵を明らかにした教え。

1-3 天には復活体と霊体がある。4-9 幕のかなたからの使者を見分ける鍵が与えられる。

① 1 天に二種の存在者がいる。すなわち、第一は天使である。天使とは、骨肉の体を持つ復活した人々である。

2 例えば、イエスは、「触って見なさい。霊には肉や骨はないが、あなたがたが見るとおり、わたしにはある」と言われた。

3 第二に、完全な者とされた正しい人々の霊である。彼らは復活していないが、同じ栄光を受け継ぐ。

4 ある使者が来て神の御告げがあると言うとき、あなたの手を差し出して握手を求めなさい。

5 もし彼が天使であれば、彼はそれに応じて、あなたはその手の感触を覚えるであろう。

6 もし彼が完全な者とされた正しい人の霊であれば、彼は栄光をもって来るであろう。それが、彼が現れることのできる唯一の方法だからである。

7 彼に握手を求めなさい。しかし、彼は応じないであろう。正しい人が欺くのは、天の秩序に反するからである。しかし、彼はそれでも御告げを伝えるであろう。

8 もしそれが光の天使としての悪魔であれば、あなたが握手を求めると、彼はあなたに手を差し出すであろう。しかし、あなたは何も感じないので、彼を見破ることができる。

第 129 章

1 ① GS 「天」

2 ① ③ GS 「復活」

3 ① ルカ 24:39

② GS 「霊」

③ GS 「霊」

④ GS 「霊」

⑤ GS 「霊」

⑥ GS 「霊」

⑦ GS 「霊」

⑧ GS 「霊」

⑨ GS 「霊」

⑩ GS 「霊」

⑪ GS 「霊」

⑫ GS 「霊」

⑬ GS 「霊」

⑭ GS 「霊」

⑮ GS 「霊」

⑯ GS 「霊」

⑰ GS 「霊」

⑱ GS 「霊」

⑲ GS 「霊」

⑳ GS 「霊」

㉑ GS 「霊」

㉒ GS 「霊」

㉓ GS 「霊」

㉔ GS 「霊」

㉕ GS 「霊」

㉖ GS 「霊」

㉗ GS 「霊」

㉘ GS 「霊」

㉙ GS 「霊」

㉚ GS 「霊」

㉛ GS 「霊」

㉜ GS 「霊」

㉝ GS 「霊」

㉞ GS 「霊」

㉟ GS 「霊」

㊱ GS 「霊」

㊲ GS 「霊」

㊳ GS 「霊」

㊴ GS 「霊」

㊵ GS 「霊」

㊶ GS 「霊」

9 これらが、いかなる働きかけでもそれが神からのものかどうかを知るための三つの大いなる鍵である。

第 130 章

千八百四十三年四月二日、イリノイ州レイマスにおいて、預言者ジョセフ・スミスによって与えられた教え。

1-3 御父と御子が人に親しく御姿を現されることがある。4-7 天使たちは天球に住む。8-9 日の栄えの地球は、一つの雄大な「ウリムとトンミム」である。10-11 日の栄えの世界に入るすべての人に、一つの白い石が与えられる。12-17 再臨の時については預言者に知らされない。18-19 この世で得る英知は、復活の時にわたしたちとともによみがえる。20-21 すべての祝福は律法に従うことよって与えられる。22-23 御父と御子は、骨肉の体を持つておられる。

1 救い主が御姿を現されるとき、わたしたちは、救い主をありのままに見るであろう。わたしたちは、救い主がわたしたちのような人間であることを見るであろう。

2 ここでわたしたちの間にある交わりが、そこでもわたしたちの間にある。ただし、その交わりには、わたしたちが今享受していない永遠の栄光が伴う。

3 ヨハネによる福音書第十四章二十三節。この節における御父と御子の現れは、直接の現れである。御父と御子が人の心の中に住まわれるという考えは、昔からの諸教派の観念であって、誤りである。

4 「神の時、天使の時、預言者の時、人間の時は、彼らが住んでいる惑星によって計算されるのか」との質問に対する答えとして、

5 わたしは、そのとおりであると答える。しかし、この地球において仕える天使たちで、この地球に属していない者、あるいはかつて属していなかった者はだれもない。

6 天使たちはこの地球のような惑星には住んでおらず、
7 彼らは神の前で、ガラスと火の海のような球体の上に住んでいる。そこでは、彼らの栄光のために、過去も現在も未来もすべてのことが明らか

第130章

- 1 ① 1ヨハ3:2、モロ7:48
- GS「イエス・キリストの再臨」
- 2 ① ルカ24:36-40
- 3 ① GS「日の栄え」
- GS「神、神会」
- ② GS「神、神会」
- ③ GS「神、神会」
- ④ 教義93:1
- ⑤ 教義130:22、
- ⑥ 教義130:22、
- 4 ① 2ペテ3:8、
- ② アブ3:410。
- 5 ① GS「天使」
- 7 ① 黙示4:6、15:2
- ② イザ33:14

第二、図1も参照

アブラハム書模写

にされ、またそれらは絶えず主の前にある。
 8 神が住んでおられる所は、一つの雄大な「ウルムとトンミム」である。

9 この地球は、聖められて不滅の状態になると、水晶のようになり、そこに住む者たちにとって一つの「ウルムとトンミム」になる。そして、これによって下位の王国、すなわち低位のすべての王国に関するすべてのことが、そこに住む者たちに明らかにされる。また、この地球はキリストのものとなる。

10 そのとき、黙示録第二章十七節に述べられている白い石は、それを受ける各個人にとって一つの「ウルムとトンミム」になる。そして、これによって高位の王国にすることが知らされる。

11 日の栄えの王国に来る各人に一つの白い石が与えられる。その石の上には新しい名前が記されており、それを受ける者のほかにはだれもそれを知らない。その新しい名前は鍵の言葉である。

12 わたしは主なる神の名によって預言する。人の子の来臨前に多くの流血を引き起こす難局の始まりは、サウスカロライナにある。

13 それは恐らく奴隷問題によって起こるであろう。

う。千八百三十二年十二月二十五日、わたしがこの件について熱心に祈っていたとき、このことをある声がわたしに告げた。

14 わたしはかつて、人の子が来られる時を知ろうとして非常に熱心に祈っていたとき、ある声が次のように繰り返し告げるのを聞いた。

15 「わたしの子ジョセフよ、もしあなたが八十五歳になるまで生きるならば、あなたは人の子の顔を見るであろう。それゆえ、これで満足し、この件についてもうわたしを煩わさないようにしなさい。」

16 このように、このときに来られることが福千年の始まりを指すのか、それ以前の現れを指すのか、それともわたしが死んで御顔を拝することなのか、わたしは判断できないままにしておかれた。

17 わたしは、人の子が来られるのはそのときよりも早くはないと信じている。

18 わたしたちがこの世において得る英知の一切は、復活の時にわたしたちとともによみがえる。

19 そこで、もしある人が精励と従順によって、この世でほかの人よりも多くの知識と英知を得るならば、来るべき世でそれだけ有利になる。

8 ① GS 「ウルムとトンミム」
 9 ① 教義 77・1、GS 「地球(地) 最終的な状態」
 11 ① 黙示 2・17
 12 ② イザ 62・2
 12 ② 教義 38・29、45・63
 14 ① GS 「イエス・キリストの再臨」
 18 ① GS 「英知」
 19 ① ② GS 「復活」
 ② ③ GS 「熱心」
 ④ ③ GS 「知識、従う」
 アル 12・9・11

20 創世の前に天において定められた不変の律法があり、すべての祝福はこれに基づいている。

21 すなわち、神から祝福を受けるときは、それが基づく律法に従うことによるのである。

22 御父は人間の体とどのように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。しかし、聖霊は骨肉の体を持たず、霊の御方であられる。もしそうでなければ、聖霊はわたしたちの内にとどまり得ない。

23 人は聖霊を受けることができる。そして、聖霊は人に降り、長くにとどまれないことがある。

第 131 章

千八百四十三年五月十六、十七日、イリノイ州レイマスにおいて与えられた、預言者ジョセフ・スミスによる教え。

1-4 日の栄えの結婚は、最高の天における昇栄に不可欠である。5-6 永遠の命に結び固められる方法が説明される。7-8 すべての霊は物質である。

1 日の栄えの栄光には、三つの天、すなわち三つの階級がある。

2 その最高の階級を得るためには、人はこの神権の位（すなわち、結婚の新しくかつ永遠の聖約）に入らなければならない。

3 そうしなければ、その人はそれを得ることができない。

4 その人は他の階級に入ることはできるが、それは彼の王国の終わりであって、その人は増し加えることができないのである。

5 (千八百四十三年五月十七日) いっそう確実な預言の言葉とは、人が聖なる神権の力によって永遠の命に結び固められたことを、啓示と預言の霊によって知ることである。

6 人が無知で救われることは不可能である。

7 実体のない物質というものは存在しない。霊はすべて物質であるが、もつと微細すなわち純粹であり、より清い目によってのみ見分けることができるものである。

8 わたしたちはそれを見ることができない。しかし、体が清められるとき、それがすべて物質である

20 ① GS「前世」
② 教義 82
③ 申命 11 : 26
④ 教義 12 : 5、10、28

22 GS「祝福」
② 使徒 17 : 29
③ GS「聖霊」
23 GS「聖霊の賜物」

第 131 章

1 ① 教義 76 : 70
GS「日の栄え」
2 ① 教義 12 : 5、21
GS「昇栄」
② GS「結婚・結婚の
新しくかつ永遠の聖約」
4 ① 教義 12 : 16、17
5 ① 2 ペテ : 19
6 GS「召しと選び」
② GS「永遠の命」
③ 教義 68 : 12、88 : 4
7 ① 教義 109 : 99、100
GS「救い」
② ① GS「聖霊」
モセー : 11

ことが分かるであろう。

第 132 章

千八百四十三年七月十二日に記録された、イリノイ州ノブーにおいて預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。結婚聖約の永遠性と多妻結婚の原則を含む、新しくかつ永遠の聖約に関するもの。この啓示が記録されたのは千八百四十三年であるが、預言者がこの啓示に含まれている原則の一部について千八百三十一年の時点ですでに知っていたことは、証拠から明らかである。公式の宣言一を参照。

1-6 昇栄は、新しくかつ永遠の聖約によって得られる。7-14 その聖約の条件が明らかにされる。15-20 日の栄えの結婚と家族の存続によって、人は神になることができる。21-25 狭くて細い道は永遠の命に至る。26-27 聖霊に対する冒瀆に関して律法が与えられる。28-39 あらゆる時代の預言者たちと聖徒たちに、永遠の増加と昇栄の約束が与えられる。40-47 地上でも天でもつなぎ、結ぶ力が、ジョセフ・スミスに与えられる。48-50 主は彼に昇栄を結び固められる。51-57 エマ・スミス

は忠実で誠実であるように勧告される。58-66 多妻結婚に関する律法が明らかにされる。

1 まことに、主はあなた、すなわちわたしの僕ジョセフにこのように言う。多くの妻とそばめを持つことの原則と教義について、主なるわたしがわたしの僕たちアブラハムと、イサクと、ヤコブ、またわたしの僕たちモーセと、ダビデと、ソロモンをどのような点で義としたのかを知り、かつ理解するために、あなたはわたしに尋ねたので、

2 見よ、見よ、わたしは主なるあなたの神であり、この件についてあなたに答えよう。

3 それゆえ、これからあなたに与える指示を受け入れて、これに従うために、心の備えをしなさい。

この律法を示された者は皆、これに従わなければならないからである。

4 見よ、わたしはあなたがたに一つの新しくかつ永遠の聖約を示す。もしその聖約に従わなければ、あなたがたは罰の定めを受ける。だれもこの聖約を拒みながら、わたしの栄光に入るのを許されることはあり得ないからである。

第 132 章

- 1 ① 教義 132 : 34、37-39
- GS 「結婚」多妻結婚」
- 3 ① 教義 29 : 8、
- 58 : 6、78 : 7
- 4 ① GS 「聖約」契約」
- GS 「罰の定め」
- ③ 教義 131 : 1-4

5 わたしから祝福を受けたいと思う者は皆、その祝福のために定められた律法とその条件に従わなければならない。その律法とその条件は、創世の前から定められたものである。

6 この新しくかつ永遠の聖約についてであるが、これはわたしの完全な栄光のために定められたものであって、この完全な栄光を受ける者はその律法に従わなければならない。そうしなければ罰の定めを受ける、と主なる神は言う。

7 まことに、わたしはあなたがたに言う。この律法の条件は次のとおりである。すなわち、すべての聖約や契約、きずな、義務、誓詞、誓言、履行、関係、交際、期待がなされ、また交わされるとき、これらが油注がれた者の仲立ちによる啓示と戒めによつて、最も聖なる方法で、この世においても永遠にわたつても、この力を持つようにわたしが地上で任じた油注がれた者によつて、約束の聖なる御霊により結び固められなければならない。死者の中からの復活の時も、その後も、まったく効験や効能、効力がない。(わたしは、終わりの時にこの力を持つように、わたしの僕ジョセフに命じた。

そして、この力とこの神権の鍵を授けられる者は、地上において同時期にただ一人しかいない。) この目的で結ばない契約はすべて、人が死ぬと終わるからである。

8 見よ、わたしの家は秩序の家であり、混乱の家ではない、と主なる神は言う。

9 主は言う。わたしの名によつてなされないささげ物を、わたしが受け入れるであろうか。

10 わたしが命じなかつたものを、あなたがたの手から受け取るであろうか。

11 また、世界が存在する前にわたしと父があなたがたのために定めたように、律法によることなしに、わたしがあなたがたに命じるであろうか、と主は言う。

12 わたしは主なるあなたの神である。そして、わたしはあなたにこの戒めを与える。すなわち、だれもわたしによらずに、あるいはわたしの律法であるわたしの言葉によらずに父のもとに来てはならない、と主は言う。

13 また主は言う。わたしによらずに、あるいはわたしの言葉によらずに定められる、世にあるすべ

5 ① 教義130・20-21
 ② ② GS「律法」
 6 GS「新しくかつ永遠の聖約」
 7 ① 教義76・70、92-96
 GS「日の栄え」
 ② ② GS「誓い」
 ③ ③ GS「啓示」
 ④ ④ GS「約束の聖なる御霊」
 ⑤ ⑤ GS「結び固め」
 ⑥ ⑥ GS「神権の鍵」
 9 モロ7・5-6、
 10 GS「犠牲」
 ① ① レビ22・20-25、
 モセ5・19-23
 12 ① ① 教義132・5
 ② ② ヨハ14・6

てのものは、それが人によろうと、また王位や主権や力や何でも名のあるものによろうと、それは倒されて、人の死後、復活の時にはその後にも残ることとはない、と主なるあなたの神は言う。

14 残るものは何であらうとわたしによるのであり、またわたしによらないものは何であらうと、揺るがされ、滅ぼされる。

15 それゆえ、もしある男がこの世において妻をめとるのに、彼がわたしによらずに、あるいはわたしの言葉によらずにめとるならば、彼がこの世にいるかぎり彼女と誓い、彼女も彼と誓うとしても、彼らの誓いと結婚は、彼らが死ぬと、そしてこの世の外に去ると、効力がない。それゆえ、彼らはこの世の外では、いかなる律法によっても結ばれないのである。

16 それゆえ、彼らはこの世の外に去ると、めとることも、嫁ぐこともなく、天において天使に任じられる。その天使たちは、はるかに優れた、並外れた、永遠の重みのある栄光にふさわしい者たちに仕える奉仕の僕である。

17 これらの天使たちは、わたしの律法に従わな

ったからである。それゆえ、彼らは増し加えられることがなく、永遠にわたって、昇昇することなく、救われた状態にあつて、それぞれ独りのままでいることになる。それから後、彼らは神々ではなく、とこしえにいつまでも神の天使である。

18 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。たとえある男が妻をめとり、この世においても永遠にわたっても彼女と誓うとしても、もしもその誓いがわたしによらず、あるいはわたしの律法であるわたしの言葉によらず、またわたしが油を注いでこの力を持つように任じた者を通じて、約束の聖なる御霊により結び固められなければ、彼らはわたしによっても、わたしの言葉によっても結ばれないので、この世の外に去ると、それは有効ではなく、効力がない、と主は言う。彼らがこの世の外に去ると、そこではそれは受け入れられない。天使たちと神々がそこで任じられていて、彼らはそのそばを通り過ぎることができないからである。それゆえ、彼らはわたしの栄光を受け継ぐことができない。わたしの家は秩序の家だからである、と主なる神は言う。

16 15 13

① ① ① ③ ② ⑦ ⑩ ⑪
 ① GS 「結婚」
 マコ 12 : 22 - 23 ① 33、
 ルカ 20 : 27 ① 25
 GS 「天世」
 27 ① 36

19 さらにまた、まことに、わたしはあなたがたに言う。もしある男がわたしの律法であるわたしの言葉によって、また新しくかつ永遠の聖約によって

妻をめとり、そしてそれが、わたしからこの力とこの神権の鍵とを与えられた油注がれた者によって、約束の聖なる御霊により彼らに結び固められ、また彼らに、「あなたがたは第一の復活に出て来るであろう。もしも第一の復活の後ならば、次の復活に出て来るであろう。そして、王位、王国、公国、および力、主権、すべての高い所と深い所を受け継ぐであろう」と言われるならば、また殺人者を犯して罪のない者の血を流してはならないと小羊の命の書に記されているので、あなたがたがわたしの聖約の中にとどまり、殺人を犯して罪のない者の血を流すことがなければ、わたしの僕が彼らに授けたすべての事柄は何であろうと、この世においても永遠にわたつても、彼らに行われ、彼らがこの世の外に去るときにも完全に効力があるであろう。そして、彼らはそこに置かれる天使たちと神々のそばを通り過ぎ、彼らの頭に結び固められたように、すべての事柄について昇栄と栄光を受けるであろう。

う。その栄光とは、とこしえにいつまでも子孫が満ちて続くことである。

20 それで、彼らは神々となる。彼らには終わりが無いからである。それゆえ、彼らは続くので永遠から永遠に至り、すべてのものが彼らに従うので、彼らはすべてのものの上にあるであろう。それで、彼らは神々となる。彼らは一切の権威を持ち、天使たちが彼らに従うからである。

21 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたはわたしの律法に従わなければ、この栄光に達することができない。

22 昇栄と命の存続に至る門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。あなたがたがこの世でわたしを受け入れず、わたしを知らないからである。

23 しかし、もしあなたがたがこの世でわたしを受け入れるならば、あなたがたはわたしを知り、昇栄を受けるであろう。わたしがいる所に、あなたがたもいるためである。

24 永遠の命とは、唯一の、知恵あるまことの神と、神の遣わされたイエス・キリストとを知ること

19 ①GS「結婚、結婚の新しくかつ永遠の聖約」
②GS「神権の鍵」
③GS「神権の鍵」
④GS「結び固め」
⑤出エ19・5・6、
⑥黙示5・10・20・6、
⑦教義76・56・78・15、
⑧GS「命の書」
⑨GS「昇栄」
⑩マテ25・21、
⑪教義29・12・13、132・37
⑫「一人一天の御父のようになる可能性を持つ人間」

20 ①マテ25・21、
②教義29・12・13、132・37
③GS「昇栄」
④マテ25・21、
⑤教義29・12・13、132・37
⑥GS「昇栄」
⑦GS「昇栄」
⑧GS「昇栄」
⑨GS「昇栄」
⑩GS「昇栄」
⑪GS「昇栄」
⑫GS「昇栄」

21 ①GS「律法」
②ルカ13・24、
③マテ7・13・14、
④マテ7・13・14、
⑤マテ7・13・14、
⑥マテ7・13・14、
⑦マテ7・13・14、
⑧マテ7・13・14、
⑨マテ7・13・14、
⑩マテ7・13・14、
⑪マテ7・13・14、
⑫マテ7・13・14、

22 ①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

23 ①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

24 ①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

①ヨハ14・2・3
②ヨハ17・3、
③「永遠の命」
④ヨハ3・16・17、
⑤ヨハ3・16・17、
⑥ヨハ3・16・17、
⑦ヨハ3・16・17、
⑧ヨハ3・16・17、
⑨ヨハ3・16・17、
⑩ヨハ3・16・17、
⑪ヨハ3・16・17、
⑫ヨハ3・16・17、

ある。わたしがその者である。それゆえ、あなたがたはわたしの律法を受け入れなさい。25 死に至る門は大きく、その道は広い。そして、そこから入って行く者が多い。彼らがわたしを受け入れず、わたしの律法の中にとどまらないからである。

26 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。もしある男がわたしの言葉に従って妻をめとり、彼らがわたしの定めたことに従って約束の聖なる御霊により結び固められるならば、彼または彼女がいかなる罪や新しうかつ永遠の聖約に対する背き、またあらゆる冒瀆を犯しても、もしも彼らが殺人を犯して罪のない者の血を流すことがなければ、彼らは第一の復活に出て来て、昇栄に入るのである。しかし、彼らは肉体にあって滅ぼされ、贖いの日までサタンに引き渡されて打たれる、と主なる神は言う。

27 この世でもこの世の外でも赦されることのない、聖霊に対する冒瀆とは、あなたがたがわたしの新しくかつ永遠の聖約を受け入れた後に、殺人を犯すことである、それによって罪のない者の血を流し、

またわたしの死に同意するのである、と主なる神は言う。この律法に従わない者は、決してわたしの栄光に入ることができず、罰の定めを受ける、と主は言う。

28 わたしは主なるあなたの神である。わたしは、世界が存在する前にわたしと父が定めたように、わたしの聖なる神権の律法をあなたに与えよう。

29 主は言う。アブラハムは、啓示と戒めによって、すなわちわたしの言葉によって、彼が受けたすべてのものを受け、そして昇栄に入ってその王座に着いている。

30 アブラハムは、その子孫とその腰から出た者について約束を受けた。—あなた、すなわちわたしの僕ジョセフは、その腰から出た者である—すなわち、彼らはこの世にいるかぎり続くということである。アブラハムとその子孫についてであるが、彼らはこの世の外でも続くであろう。この世でもこの世の外でも、彼らは星のように数限りなく続く。すなわち、たとえ海辺の砂を数えたとしても、彼らを数え尽くすことはできないであろう。

31 この約束はあなたがたに与えられたものでもあ

25 ① GS 「死(霊體)」

② マタ 7:13-14

③ ニフ 14:13-15

④ ヨハ 5:43

26 ① GS 「約束の聖なる御霊」

② アル 39:5-6

③ GS 「悪魔」

④ 教義 82:21

27 ① マタ 12:31-32

② ヘブ 6:4-6

③ 教義 76:31-35

④ GS 「滅びの子」

29 「殺さない罪、汚す罪」

② GS 「冒瀆、汚す罪」

③ GS 「罰の定め」

30 ① GS 「アブラハム」

② 創世 12:1-3

③ GS 「アブラハムの子孫」

④ ハムの聖約(契約)

⑤ ハムの子孫(契約)

⑥ 2ニフ 3:6-16

⑦ 創世 15:5、22:17

る。あなたがたはアブラハムから出ており、この約束はアブラハムに与えられたものだからである。この律法によってわたしの父の業は続いており、この業によって父は栄光を受けられるのである。

32 それゆえ、あなたがたは行って、アブラハムの業を行いなさい。あなたがたはわたしの律法に入りなさい。そうすれば、救われるであろう。

33 しかし、もしわたしの律法に入らなければ、あなたがたは、わたしの父がアブラハムに与えられた約束を受けることはできない。

34 神がアブラハムに命じられたので、サラはアブラハムにハガルを与えて妻とした。彼女はなぜそうしたのであるか。これが律法であったからである。そして、ハガルから多くの人が出た。それゆえ、ほかの数々の事柄とともに、これは約束を成就するものであった。

35 それで、アブラハムは罪の宣告を受けたであろうか。まことに、わたしはあなたがたに言う。「受けなかつた。」主なるわたしがそれを命じたからである。

36 アブラハムは息子イサクをささげるように命じ

られた。それにもかかわらず、「あなたは殺してはならない」と記されていた。しかし、アブラハムは拒まなかつた。そして、それによって彼は義と認められた。

37 アブラハムはそばめたちを受け、そして彼女たちは彼のために子供をもうけた。そして、それによって彼は義と認められた。彼女たちは彼に与えられ、そして彼はわたしの律法の中にとどまったからである。イサクもヤコブも、命じられたことのほかに何も行わなかつた。そして、彼らは命じられたことのほかに何も行わなかつたので、約束のとおり昇栄に入り、王座に着いている。彼らは天使ではなく、神々なのである。

38 ダビデも多くの妻とそばめを受けた。わたしの僕たちソロモンとモーセも、また創造の初めから現在に至るまでの、ほかの多くのわたしの僕たちも同様である。彼らはわたしから受けなかつたものを除いては、どのようなことについても罪を犯さなかつた。

39 ダビデの妻たちとそばめたちは、わたしの僕ナタンと、この力の鍵を持つていたほかの預言者た

31 ① 教義 86 : 8 - 11
 32 ① 110 : 12
 アル 5 : 22 - 24
 34 ① 創世 16 : 1 - 3
 GS「サラ」
 35 ① 創世 25 : 12 - 18、
 「ハガル」
 36 ① ヤコブ 2 : 24 - 30
 37 ① 創世 22 : 2 - 12
 ② 創世 25 : 13
 ③ 出エ 20 : 13
 ④ ヤコブ 4 : 5、
 GS「義」
 38 ① 創世 25 : 5 - 6
 ② 創世 30 : 1 - 4、
 教義 133 : 55、
 GS「ヤコブ（イサクの息子）」
 ③ GS「昇栄」
 「一人の御父のようになる可能性を持った人間」
 39 ① GS「ダビデ」
 ② サ上 25 : 42 - 43、
 サ下 5 : 13
 ③ 列上 11 : 1 - 3
 GS「神権の鍵」

ちによって、わたしから彼に与えられたのである。そして、これらのことのどれにおいても、ウリヤとその妻の場合を除けば、彼はわたしに対して罪を犯さなかつた。しかし彼らのことで、彼は昇栄から落ちて、彼の受け取る分を受けた。この世の外では、彼は彼女たちを受け継ぐことはない。わたしは彼女たちを別の者に与えたからである、と主は言う。

40 わたしは主なるあなたの神である。そして、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに一つの務めを与え、万事を元どおりにする。あなたの欲することを求めなさい。そうすれば、わたしの言葉のとおり、それは与えられるであろう。

41 あなたが姦淫について尋ねたので、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。もしある男が新しくかつ永遠の聖約によって妻を迎え、そしてもし彼女が別の男とともにいて、しかもわたしが聖なる油注ぎによって彼を彼女に与えたのでなければ、彼女は姦淫をしたのであり、滅ぼされるであろう。42 たとえ彼女が新しくかつ永遠の聖約に入っていないなくても、別の男とともにいるならば、彼女は姦

淫をしたのである。

43 また、もし夫が別の女とともにいて、彼が誓いを立てていたのであれば、彼はその誓いを破つたのであり、姦淫をしたのである。

44 また、もしその妻が姦淫をしておらず、罪がなく、自分の誓いを破つておらず、しかも彼女がそのことを知っており、わたしがあなた、すなわちわたしの僕ジョセフにそれを示すならば、あなたはわたしの聖なる神権の力によって、彼女を取つて、姦淫したことの無い忠実な者に彼女を与える力を持つ。彼は多くを治める者とされるからである。

45 わたしはあなたに神権の鍵と力を授けており、それによって、万事を元どおりにし、然るべきときにすべてのことをあなたに知らせる。

46 まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたが地上で結ぶことは何でも天で結ばれ、またわたしの名によって、またわたしの言葉によって、あなたが地上でつなぐことは何でも天で永遠に赦す罪は、だれの罪でも永遠に天で赦され、またあなたが地上で赦さずにおく罪は、だれの罪でも

39

② 卍下 12・7・8

③ 卍下 11・4・27

④ 列上 15・5

⑤ 「姦淫」

⑥ 「殺人」

⑦ ④ エレ 8・10

⑧ ① ジー 歴史 1・33

⑨ GS 「福音の回復」

⑩ ① 教義 42・22・26

⑪ ① GS 「結婚」

⑫ ① GS 「神権の鍵」

⑬ ② ② 使徒 3・21、

⑭ ② 教義 86・10、

⑮ GS 「福音の回復」

⑯ ① GS 「結び固め」

⑰ GS 「結び固め」

てんでそのまま残るのである。

47 さらにまた、まことに、わたしは言う。だれでもあなたが祝福する者をわたしは祝福し、だれでもあなたがのろう者をわたしはのろう、と主は言う。主なるわたしはあなたの神だからである。

48 さらにまた、まことに、わたしはあなた、すなわちわたしの僕ジョセフに言う。わたしの言葉によって、またわたしの律法によって、あなたが地上で何を与えようと、またあなたがだれにだれを与えようと、それはのろいではなく祝福をもたらし、わたしの力を伴い、そして地上でも天でも罪に定められることはない、と主は言う。

49 わたしは主なるあなたの神であり、世の終わりで、また永遠にわたってあなたとともにいる。まことに、わたしはあなたに昇栄を結び固め、わたしの父の王国に、あなたのために先祖アブラハムとともに座する王座を用意している。

50 見よ、わたしはあなたの犠牲を見てきた。そして、あなたのすべての罪を赦す。わたしが告げたことに従うあなたの犠牲を、わたしは見てきた。それゆえ、行きなさい。わたしは、息子イサクをささ

げようとしたアブラハムの行為を受け入れたように、あなたの逃れる道を備えよう。

51 まことに、わたしはあなたに言う。わたしは、あなたに妻として与えたわたしのはしためエマ・ミスに、一つの戒めを与える。エマ・ミスは自身を抑えて、わたしがエマに与えるようにとあなたに命じたことにあずかってはならない。わたしはアブラハムに行ったようにあなたがた二人を試すために、また聖約と犠牲によりあなたがたからささげ物を求めるために、それを行ったのである、と主は言う。

52 わたしのはしためエマ・ミスは、わたしの僕ジョセフに与えられた、わたしの前に貞淑で清らかな者をすべて受け入れなさい。清らかでないの自分分は清らかであったと言う者は滅ぼされる、と主なる神は言う。

53 わたしは主なるあなたの神であり、あなたがたはわたしの声に従わなければならないからである。わたしは、わたしの僕ジョセフが多くものを治める者となることを許す。彼はわずかなものに忠実であったからである。これから後、わたしは彼を強

47 ①創世12:1-3、
 教義14:93
 ②①マタ28:20
 49 教義5:22
 「召しと選び」
 ③教義68:12
 ④創世17:1-8、
 2ニフ8:2
 50 ①GS「犠牲」
 ②創世22:10-14、
 教義97:8
 52 ①GS「ミス」
 エマ・ハイル
 53 ①マタ25:21、
 教義52:13

くしよう。

54 また、わたしは、わたしのはしたためエマ・スミスに、とどまって、わたしの僕ジョセフと結び合いい、その他のものと結び合うことのないようにと命じる。しかし、もしもこの戒めに従おうとしなければ、彼女は滅ぼされる、と主は言う。わたしは主なるあなたの神であり、彼女がわたしの律法の中にとどまらなければ、彼女を滅ぼすであろう。

55 もしも彼女がこの戒めに従おうとしなければ、わたしの僕ジョセフは、彼が言ったとおりにすべてのことを彼女にしなければならぬ。そうすれば、わたしは彼を祝福し、増やし、この世で父と母、兄弟と姉妹、家と土地、妻と子供について彼に百倍を授け、永遠の世では永遠の命の冠を授けよう。

56 さらにまた、まことに、わたしは言う。わたしのはしためは、わたしの僕ジョセフの過ちを赦しなさい。そうすれば、彼女はわたしに対して犯した過ちを赦されるであろう。そして、主なるあなたの神であるわたしは、彼女を祝福し、増やし、彼女の心を喜ばせるであろう。

57 さらにまた、わたしは言う。わたしの僕ジョセ

フは、敵が来て滅ぼすことのないために、自分の財産を手放さないようにしなさい。サタンが滅ぼそうとするからである。わたしは主なるあなたの神であり、ジョセフはわたしの僕である。見よ、見よ、わたしはあなたの先祖アブラハムとともにいたように、昇栄と栄光に至るまでジョセフとともにいる。58 さて、神権の律法については、それに関して多くのことがある。

59 まことに、もしある男がアロンのように、わたし自身の声によつて、またわたしを遣わされた父の声によつて父から召され、そしてわたしがこの神権の力の鍵を彼に授けたならば、彼がわたしの名によつて、またわたしの律法によつて、またわたしの言葉によつて何を行おうと、彼は罪を犯すことはない。そして、わたしは彼を義とする。

60 それゆえ、だれもわたしの僕ジョセフを非難してはならない。わたしは彼を義とするからである。わたしが彼の背きに対してその手に求める犠牲を彼はささげるからである、と主なるあなたがたの神は言う。

61 さらにまた、神権の律法についてであるが、も

55 ① マコ10・28・31
 ② GS「永遠の命」
 ③ 家族—永遠の家族」
 56 GS「救し」
 57 GS「昇栄」
 58 ① 教義84・19・26、
 GS「神権」
 59 GS「アブラハム」4、
 GS「アロン（モーセの兄弟）」
 ② GS「神権の鍵」

しある男が一人のおとめをめぐり、さらに別の一人をめぐりたいと望んで、最初の者が承諾を与えるならば、そしてもし彼が二番目の者をめぐり、二人ともおとめであつてほかの男と誓いを立てたことがなければ、彼は義とされる。彼女たちは彼に与えられたので、彼が姦淫をすることはあり得ない。彼が、ほかのだれにも属さずに自分だけに属する者と姦淫をすることはあり得ないからである。

62 もしこの律法によって十人のおとめを与えられたとしても、彼が姦淫をすることはあり得ない。彼女たちは彼に属する者であり、彼に与えられているからである。それゆえ、彼は義とされる。

63 しかし、もし十人のおとめの中の一人、あるいはだれかが、嫁いだ後に別の男とともにいるとすれば、彼女は姦淫を行ったのであり、滅ぼされるであろう。彼女たちはわたしの戒めのとおりに増えて地を満たすために、また創世の前に父によって与えられた約束を成就するために、また永遠の世で昇栄を得て人々の霊をもうけるために、彼に与えられているのである。これによって、わたしの父の業は続けられて、父は栄光をお受けになるので

ある。

64 さらにまた、まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。もしだれがこの力の鍵を持つ男が一人の妻を持ち、これらのことに関するわたしの神権の律法を彼女に教えるならば、彼女は信じて彼に尽くさなければならぬ。そうでなければ、彼女は滅ぼさるゝと主なるあなたがたの神は言う。わたしは彼女を滅ぼすからである。わたしは、わたしの律法を受け入れてその中にとどまるすべての者のうえに、わたしの名を高めるからである。

65 それゆえ、もし彼女がこの律法を受け入れなければ、主なる神であるわたしが授けるすべてのものを彼が受けるのは、わたしの律法にかなうことである。彼女がわたしの言葉のとおり信じて彼に尽くさなかつたためである。そのときに、彼女は戒めに背く者となる。そして、彼はサラの律法を免除される。サラは、わたしがアブラハムにハガルを妻とするように命じたとき、律法に従つてアブラハムに尽くした者である。

66 さて、この律法について、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。わたしは後にあなたに

61 ① GS「おとめ」

② ② 公式1

GS「結婚—多妻結婚」

① 創世1：26—28、
② ヤコブ2：30
③ モセ1：39

もつと示すので、今のところはこれで満足しなさい。見よ、わたしはアルパでありオメガである。アーメン。

第 133 章

千八百三十一年十一月三日、オハイオ州ハイラムにおいて、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示。この啓示の前書きとして、ジョセフ・スミスの歴史には次のように述べられている。「このとき、地に住む者に福音を宣べ伝えることと集合に関して、長老たちが知りたいと望んでいたことがたくさんあった。まことの光によって歩み、高い所から教えを受けるために、千八百三十一年十一月三日に、わたしは主に尋ね、次のような重要な啓示を受けた。」この章は、最初「教義と聖約」の書に「付録」として加えられたが、後に章の番号が割り当てられた。

1-6 聖徒たちは再臨に備えるように命じられる。7-16 すべての人は、バビロンから逃れ、シオンに来て、主の大きいなる日に備えるように命じられる。17-35 主はシオンの山に立たれ、諸大陸が一つの地となり、イスラ

エルの行方の知れない部族が戻って来る。36-40 福音は全世界で宣べ伝えられるために、ジョセフ・スミスを通じて回復された。41-51 主は降って来て、悪人に報復される。52-56 それは主の贖われた者の年となる。57-74 福音は聖徒たちを救うために、また悪人を滅ぼすために送り出される。

1 「聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。主なるあなたがたの神は言う。あなたがたについての主の言葉を聞きなさい。

2 その主とは、突如神殿に来る主である。裁きのためにのろいをもつて世に、まことに神を忘れるすべての国民と、あなたがたの中の神を敬わないすべての者のうえに降って来る主である。

3 主はその聖なる腕をすべての国民の目の前に現す。そして、地の果てに至るすべての者が、彼らの神の救いを見るであろう。

4 それゆえ、おお、わたしの民よ、備えなさい、備えなさい。自らを聖めなさい。おお、わたしの教会の人々よ、とどまるように命じられていないあなたがたは皆、シオンの地に集まりなさい。

第 133 章

2 ① マラ 3 : 1、

② 教義 36 : 8、

GS 「イエス・キリスト

― 裁き」

3 ① イザ 52 : 10

② イザ 12 : 2、52 : 10

GS 「贖いの計画」

「救い」

5 バビロンから出なさい。主の器を担う者たちよ、清くありなさい。

6 あなたがたの聖会を召集し、しばしば互いに語り合いなさい。また、すべての人に主の名を呼ばせなさい。

7 まことに、わたしは重ねてあなたがたに言う。主の声があなたがたに及ぶ時が来た。あなたがたはバビロンから出なさい。もろもろの国民の中から、天の果てから果てまで四方から集まりなさい。

8 わたしの教会の長老たちを、遠くにいるもろもろの国民に、海の島々に遣わしなさい。諸外国に遣わしなさい。まず異邦人へ、次いでユダヤ人へと、すべての国民に呼びかけなさい。

9 見よ、見よ、これが彼らの叫びであり、すべての人のへの主の声である。すなわち、『あなたがたはシオンの地へ行って、わたしの民の境が広げられ、シオンのステークが強くされ、シオンが周りの地域に及ぶようにしなさい。』

10 まことに、あなたがたの叫びをすべての人の中にだてて行かせなさい。『目を覚まし、立ち上がり、花婿を迎えに出なさい。見よ、見よ、花婿は来る。』

あなたがたは花婿を迎えに出なさい。主の大きな日のために自らを備えなさい。

11 だから、目を覚ましていなさい。あなたがたはその日も、その時も知らないからである。

12 だから、異邦人の中にいる人々はシオンに逃げなさい。

13 ユダに属する人々はエルサレムに逃げなさい。これらは主の家の山である。

14 あなたがたはもろもろの国民の中から、すなわちバビロンから、霊のバビロンである悪の中から出なさい。

15 しかし、まことに、主はこのように言われる。『あなたがたは慌てて逃げることなく、むしろ、万事をあなたがたの前に備えるようにしなさい。そして、突如として滅びが襲うことのないために、去る者は振り返ってはならない。』

16 耳を傾けて聞きなさい、おお、地に住む者よ。ともに耳を傾け、主の声を聞きなさい、わたしの教会の長老たちよ。主はすべての人に呼びかけ、どこにいる人でもすべての人に悔い改めるように命じるからである。

5 ①アル5・57、
教義1・16
GS「バビロン、バベル」
②「物欲」
③2テモ2・21、
3ニテ20・41
④2マラ3・16-18
⑤ゼカ2・6-7、
マコ13・27
⑥教義29・8、
GS「イスラエルのラエルの集合」
⑦イザ11、
1ニテ22・4、
2ニテ10・8、20
⑧GS「伝道活動」
⑨イザ4・2、
GS「異邦人」
⑩イザ41、
GS「ユダヤ人」
⑪マテ25・6、
教義33・17、18、
45・54、59、GS「花婿」
⑫教義1・12-14
⑬マコ13・32、37、
⑭2マテ1・32、48
⑮教義49・7
⑯教義38・31、42
⑰GS「シオン」
⑱GS「エジプト」
⑲GS「エルサレム」
⑳詩篇122篇
㉑イザ21・3、
エゼ38・8
㉒イザ52・10-12、
教義58・19、
㉓創世19・17、26、
ルカ9・62
㉔イザ1・1-6
㉕GS「悔い改め」

17 見よ、主なる神は、天のただ中で叫ぶ天使を遣わして、このように言わせる。『主の道を備え、その道筋をまつすぐにせよ。主の来臨の時は近いからである。』

18 そのとき、小羊はシオンの山に立ち、額に小羊の父の名を記された十四万四千人の人々が小羊とともにいるであらう。』

19 それゆえ、あなたがたは花婿の来臨に備えなさい。行きなさい。花婿を迎えに出なさい。

20 見よ、彼はオリブの山に、また広大な大洋、すなわち大いなる深みの上に、また海の島々の上に、またシオンの地に立つであらう。

21 そして、彼はシオンから声を発し、またエルサレムから語って、その声はすべての人の中で聞かれるであらう。

22 それは大水のとどろきのような、また激しい雷鳴のような声であり、山々を崩すであらう。そして、もろもろの谷は見えなくなる。

23 彼が大いなる深みに命じると、それは北の地方へ退き、島々が一つの地となる。

24 エルサレムの地とシオンの地は、それぞれの所

に戻り、陸地はそれが分けられる前の時代のようになる。

25 そして、主すなわち救い主が、その民のただ中に立ち、すべての肉なるものを治める。

26 また、北の地にいる者たちは、主の前に覚えられるようになる。彼らの預言者たちは主の声を聞き、もはや自分自身を抑えない。そして、彼らは岩を打ち、氷が彼らの前に崩れ落ちるのであらう。

27 一つの大路が大いなる深みのただ中に設けられるであらう。

28 彼らの敵は彼らのえじきとなるであらう。
29 不毛の砂漠に生ける水の池が現れ、焼けた土地はもはや乾いた地ではなくなる。

30 彼らは、わたしの僕であるエフライムの子らに貴い宝を持つて来るであらう。

31 永久の丘の境は彼らの前で揺れ動くであらう。
32 彼らはそこで、すなわちシオンにおいてひれ伏し、主の僕たち、すなわちエフライムの子らの手により栄光を冠として与えられるであらう。

33 そして、彼らは永遠の喜びの歌をもつて満たされるであらう。

17 ① 教義13章、27・78、88・92
 18 ① 黙示14・1、マラ3・1
 ② 教義84・2
 ③ GS「神の小羊」
 19 ① 黙示7・1-4
 ② GS「花婿」
 ③ 教義33・25、1-13、マタ25・1-13、GS「イエス・キリストの再臨」
 20 ① セカ14・4、教義45・22、51-4
 21 ① イザ4・2、3、16
 ② ヨエ3・16
 ③ アモ1・2
 22 ① エゼ43・2、黙示1・15、教義110・3
 ② 詩篇77・18、黙示14・2
 ③ 士師5・5、イザ40・4、64・1、黙示16・20、49・23、100・74
 23 ① 黙示6・14
 24 ① GS「エルサレム」
 ② 創世10・25、GS「地球(地)に分かれた地」
 25 ① GS「イエス・キリストにキリストによる福千年の統治」
 26 ① エレ16・14、15、教義110・11、15、GS「イスラエル行方」の知らない十部族」
 27 ① イザ11・15、16、2ニフ21・16
 29 ① イザ35・6-7

34 見よ、これはイスラエルの諸部族への永遠の神の祝福であり、エフライムとその同胞の頭に授けられるさらに貴い祝福である。

35 また、ユダの部族の者たちも、苦しみを受けた後、主の前で聖なる状態に聖められ、日夜とこしえにいつまでも主の前に住むであらう。

36 さて、まことに、主は言う。おお、地に住む者よ、これらのことがあなたがたの間で知られるように、わたしは、永遠の福音を携えて天のただ中に飛ぶ天使を遣わした。この天使はすでにある人々に現れて、それを人間にゆだねた。また、彼は地上に住む多くの者に現れるであらう。

37 そして、この福音はあらゆる国民、部族、国語の民、民族に宣べ伝えられるであらう。

38 また、神の僕たちは出て行って、大声で言うであらう。『神を畏れ、神に栄光を帰しなさい。神の裁きの時が来たからである。』

39 天と地と海と水の源とを造られた御方を礼拝しなさい。』

40 彼らは、日夜主の名を呼んで言うであらう。『どうか天を裂いて降って来られますように。あなた

の御前に山々が崩れ落ちますように。』

41 そして、それが聞き届けられるであらう。主の臨在は物を溶かす燃える火のようであり、水を沸き立たせる火のようである。』

42 おお、主よ、あなたの敵に御名を知らせるために降って来られますように。そうすれば、すべての国民が御前でおののくことでしよう。

43 あなたが、恐るべきこと、すなわち彼らの予期していないことを行われるとき、

44 まことに、あなたが降って来られ、山々があなたの御前に崩れ落ちるとき、喜んで義を行い、あなたの道にあつてあなたを覚えている者を、あなたは迎えてくださいます。

45 おお、神よ、あなたを待ち望む者のために、あなたがどれほど大いなるものを備えてくださったか、世の初めから、あなた以外にだれも聞いた者も、耳にした者も、目で見た者もありません。

46 「また、次のように言われるであらう。『染めた衣をまとつて天の神のみもとから、まことに、栄光ある装いで、大いなる力をもつて、知らない所から降って来られるこの御方はどなたか。』

降って来られるこの御方はどなたか。』

30 ①ゼカ10:7-12、GS「エフライム・エフライムの部族」
33 ①創世49:26
33 ①イサ35:10、51:11
34 ①GS「イスラエル・イスラエルの十二部族」
歴上5:1-2、20、エテ13:7-10
35 ①GS「ユダ・ユダの部族」
36 ①GS「聖き、聖く」
②黙示14:6-7、教義20:5-12
37 ①GS「福音」
②教義42:58
③GS「伝道活動」
④「宣べ伝える」
39 ①GS「礼拝」
40 ①イサ64:1-2
41 ①ヨブ41:31
44 ①イサ41:15-18
45 ①哀歌3:25
2ニフ6:7、13
②イサ64:4、1コリ2:9
46 ①イサ63:1-2
②GS「イエス・キリストの再臨」

47すると、彼は言う。「わたしは義をもつて語つた者であり、救う力を持つ者である。」

48 主の装いは赤く、その衣は酒ぶねを踏む者のようである。

49 主の前の栄光はまことに大いなるものであるため、太陽は恥じてその顔を隠し、月はその光を与えず、もろもろの星はその場所から投げ落とされるであろう。

50 そして、主の声が聞かれる。「わたしは独りで酒ぶねを踏み、すべての人に裁きをもたらした。そして、だれもわたしとともにいなかった。」

51 わたしは憤りをもつて彼らを踏みつけ、怒りをもつて彼らを踏みにじつたので、彼らの血がわたしの衣に降りかかり、わたしの装いをことごとく汚した。これは、わたしの心の内にある報復の日であったからである。

52 今や贖われた者の年が来た。彼らは主の愛にあふれた優しさと、主がその慈しみとその愛にあふれた優しさによって彼らに授けたすべてのものについて、とこしえにいつまでも語るであろう。」

53 主は彼らのあらゆる苦難を自分の苦難とした。

そして、主の前の天使は彼らを救つた。その愛によつて、またその哀れみによつて、主は彼らを贖い、また昔から常に彼らを負い、彼らを担つた。

54 まことに、エノクも、彼とともにいた者たちも、彼より前にいた預言者たちも、またノアも、彼より前にいた者たちも、またモーセも、彼より前にいた者たちも、

55 またモーセからエリヤに至り、エリヤからヨハネに至る預言者たちも、すなわちキリストの復活の時にキリストとともにいたこれらの預言者たちも、聖なる使徒たちも、アブラハムやイサク、ヤコブとともに小羊の前にいるであろう。

56 そして、聖徒たちの墓が開かれるであろう。小羊がシオン^④の山と、聖なる都である新エルサレムに立つとき、彼らは出て来て、小羊の右に立つであろう。そして、彼らは、日夜とこしえにいつまでも小羊の歌を歌うであろう。

57 また、主は人々を、明らかにされることになつていた栄光にあずかる者とするために、主の完全な福音、すなわち主の永遠の聖約を送り出し、分りやすく簡潔に説いた。

48 ① 創世49:11-12、ルカ22:44、黙示19:11、15、15、黙示19:15 (付録、モサ3:7、教義19:18、教義19:17、49 ① イザ13:10、24、23、教義45:42、88、87、50 ① イザ63:2、3、3、教義76:107、88、106、53 51 ① レレ18:30、イザ63:4-9、53 51 ② GS「慈愛」、GS「憤り、贖う」、54 ① GS「エノク」、GS「怒い、贖う」、GS「アブラハム、イサク」、55 ① GS「モーセ」、GS「ヨハネ」、56 55 ① GS「復活」、GS「聖徒」、56 55 ② 教義29:13、88、96、97、88、96、97、黙示14:1、23、4、イザ24:23、98、102、教義76:66、84、2、57 ① GS「新エルサレム」、GS「シオン」、76 ② マタ25:33-34、76 ③ GS「神の小羊」、76 ④ 黙示15:3、84、84、98、102、教義84:13、13、GS「福音」、57 ① GS「栄光の階級」、GS「福音」、57

58 それはすなわち、地上に起こらうとして、
 60 この理由で、これらの戒めが与えられたのであ
 61 これは、すべての肉なるものを治める主の思い
 と望みによる。

59 地の弱い者によって、主は御霊の力によりもろ
 もろの国民を打つてえり分けらるであらう。

60 この理由で、これらの戒めが与えられたのであ
 61 これは、すべての肉なるものを治める主の思い
 と望みによる。

62 そして、悔い改めて主の前に自らを聖める者に
 は、永遠の命が与えられる。

63 また、主の声に聞き従わない者には、彼らは民
 の中から絶たれると、預言者モーセが記したこと
 が成就する。

64 また、預言者マラキによって記されたことも成
 就する。『見よ、炬のように燃える日が来る。す
 べて高ぶる者と悪を行う者は、わらのようになる。』

64 また、預言者マラキによって記されたことも成
 就する。『見よ、炬のように燃える日が来る。す
 べて高ぶる者と悪を行う者は、わらのようになる。』

やがて来る日が彼らを焼き尽くして、根も枝も残さ
 ない、と万軍の主は言う。』
 65 それゆえ、主は彼らに次のように言うであらう。
 66 『わたしが自分の民のところに来た日に、あなた
 がたのだれもわたしを受け入れなかつた。そこで、
 あなたがたは追い出されたのである。』

67 わたしが再び呼びかけたとき、応じる者はあな
 たがたの中にだれ一人いなかた。しかし、わたし
 が贖うことのできないほど、わたしの腕は決して
 短くはなく、わたしが救い出す力もそうである。

68 見よ、わたしは海をしかつて干上がらせ、川を荒
 れ野とし、海と川の魚は悪臭を放ち、渴きのため
 に死ぬ。

69 わたしは天を暗黒で覆い、粗布をその覆いとする。
 70 あなたがたがわたしの手から受けるのは、悲し
 みのうちに横たわることである。

71 見よ、見よ、あなたがたを救い出す者はだれも
 いない。わたしが天からあなたがたを呼んだとき、
 あなたがたはわたしの声に従わなかつたからであ
 る。あなたがたはわたしの僕たちを信じなかつた。
 彼らがあなたがたのもとに遣わされたとき、あな

71 見よ、見よ、あなたがたを救い出す者はだれも
 いない。わたしが天からあなたがたを呼んだとき、
 あなたがたはわたしの声に従わなかつたからであ
 る。あなたがたはわたしの僕たちを信じなかつた。
 彼らがあなたがたのもとに遣わされたとき、あな

58 ① マタ 11・25、
 1 コリ 1・27
 60 ① アル 32・23、
 ② イザ 60
 61 ① 申命 32・29、
 ② ミカ 4・11、
 ③ 教義 1・2、
 ④ 教義 104・58、
 ⑤ 教義 88・74、
 ⑥ GS 『悔い改め』
 62 ① GS 『永続の命』
 63 ① GS 『聞き従う』
 64 ① GS 『マラキ』
 65 ① 使徒 3・22、
 ② 1ニテ 22・20、
 ③ 2ニテ 20・21、
 ④ 教義 1・14、
 ⑤ ジー 歴史 1・40
 66 ① GS 『マラキ』
 67 ① ② イザ 66・15、
 ③ 1ニテ 22・15、
 ④ 3ニテ 25・1、
 ⑤ 教義 29・9、
 ⑥ 64・24、
 GS 『地球(地)―地球の清め』
 68 ① ② ③ ジー 歴史 1・36、
 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 70 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 71 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

たがたは彼らを受け入れなかつた。

72 それゆえ、彼らは証を封じ、律法を束ねた。それで、あなたがたは暗闇に引き渡されたのである。

73 これらの者は外の暗闇に出て行き、そこで涙を流し、泣きわめき、歯ぎしりをするであらう。

74 見よ、主なるあなたがたの神がこれを語つたのである。「アーメン。」

第 134 章

千八百三十五年八月十七日、オハイオ州カートランドで開かれた教会の総会において全会一致で採択された、政府と法律全般に関する所信の宣言。「教義と聖約」の初版の内容として提案された事項を検討するために、多くの聖徒が集まつた。そのときに、この宣言には次のように前書きが付けられた。「この世の政府と法律全般に関するわたしたちの所信が誤って解釈され、理解されることのないように、わたしたちは、これらに関するわたしたちの見解を本書の終わりに述べておくことが適切であると考へた。」

1-4 政府は良心と礼拝の自由を守らなければなら

い。5-8 すべての人は自分の政府を支持し、法律を重んじ、尊重しなければならぬ。9-10 宗教団体は民事的権力を行使してはならない。11-12 人々は自分自身と自分の財産を守ることを正当とされる。

1 わたしたちは信じる。すなわち、政府は人間のために神によって設けられた。そして、神は人々に、政府に関する彼らの行為に対して責任を負わせ、人々は社会の福利と安全のために法律を制定し、施行する責任を負う。

2 わたしたちは信じる。すなわち、良心の自由な行使、財産の所有権と管理、および生命の保護を各個人に保証する法律を制定し、かつ固く守らなにかぎり、いかなる政府も平和に存立することはできない。

3 わたしたちは信じる。すなわち、すべての政府はその法律を施行するために必ず官吏と長官を要する。また、もし共和国ならば人民の声によって、そうでなければ主権者の意志によって、公平かつ公正に法律を施行する者を捜し求めて、支持しなければならぬ。

第134章

73 72
① イザ 8 : 16 - 12
② マタ 8 : 12
ルカ 13 : 28
教義 19 : 5, 28
「地獄」
GS「暗闇（霊的な）」

1 ① 教義 98 : 4-7、
簡条 1 : 12

2 ① GS「責任を負う」
② GS「良心」

3 ① GS「選択の自由」
② 教義 42 : 18 - 19
③ 教義 98 : 8 - 10

4 わたしたちは信じる。すなわち、宗教は神によって設けられているものである。そして、その宗教上の考えが他人の権利と自由を侵害するように促すものでないかぎり、人は宗教の実践については神に、しかも神にのみ責任を負う。しかし、人間の法律には、礼拝の規則の制定に干渉して人の良心を束縛する権利はないし、公であれ個人であれ、礼拝の方式を指図する権利もない。文官は犯罪を阻止すべきであるが、決して人の良心を支配すべきではない。罪のある者を罰すべきであるが、決して心の自由を抑圧すべきではない。

5 わたしたちは信じる。すなわち、すべての人は、その固有で不可譲の権利を政府の法律によって保護されているかぎり、自分が住む地のそれぞれの政府を支持し、支える義務を負う。治安妨害や暴動は、このように保護されているすべての国民にとつて似つかわしくなく、それ相応に罰せられなければならない。すべての政府は、公益を保証するため、しかしながら同時に良心の自由を神聖に保ちながら、政府自身の判断で最適と思われる法律を制定する権利を持つ。

6 わたしたちは信じる。すなわち、すべての人は各々その職において尊ばれるべきである。すなわち、統治者や長官は、罪のない者を保護し、罪のある者を罰するために任じられているので、その職にある者として尊ばれるべきである。また、すべての人は法律を重んじ、尊重すべきである。法律がなければ、平和と協調は無秩序と恐怖に取って代わられるからである。人間の法律は、人と人との間で個人および国民としてわたしたちの諸事を律するという特別な目的のために制定されており、天から与えられた神の律法は、信仰と礼拝のために靈にかかわる諸事に関する規則を定めたものであり、人はその両方について造り主に對して責任を持つのである。

7 わたしたちは信じる。すなわち、統治者と国家、政府は、すべての国民がその宗教上の信条を自由に行使できるように保護するために、法律を制定する権利を持つとともに、その義務をも負う。しかし、法律に敬意と崇敬が払われ、かつその宗教上の考えが治安妨害や陰謀を正当とするものでないかぎり、彼らは国民からこの特権を奪つたり、

4 ①アル21・21・22、
簡条1・11、
5 CS「礼拝」
①簡条1・12、
6 ①「背く」
教義58・21、88・34

あるいはその信条を持つことを禁じたりする正当な権利を持たない。

8 わたしたちは信じる。すなわち、犯罪の遂行はその罪科の性質に従って罰せられるべきである。殺人や反逆、強盗、窃盗、およびすべての点における一般的な平和の侵害は、その犯罪性と人に及ぼす悪の傾向に従って、その犯罪が行われた地の政府の法律によって罰せられるべきである。また、すべての人は、公共の平和と安寧のために、善良な法律に違反する者を処罰することに進んでその力を使うべきである。

9 わたしたちは、宗教的影響力と民事上の政治を混合することを正当と信じない。そのようにすれば、ある宗教団体は育成され、別の団体はその宗教上の特権を禁圧されて、その会員の国民としての個人的な権利が否定されることになる。

10 わたしたちは信じる。すなわち、すべての宗教団体は、その団体の規則と規定に従って、秩序を乱す行為に対してその会員を処分する権利をもち、ただし、その処分は会員としての資格と身分に関しただけである。しかし、いかなる宗教団体も、財

産や生命の権利について人々を裁く権限や、彼らからこの世のものを取る権限や、生命や身体を危険にさらす権限や、彼らに何らかの体罰を加える権限は持っていない。宗教団体ができることは、その団体から彼らを破門することと、彼らの会員資格を取り消すことだけである。

11 わたしたちは信じる。すなわち、人々は身体的虐待を加えられたり、財産権や人格を侵害されたりする場合、それを保護する法律があれば、すべての不当な扱いと行為の補償を民法に訴えるべきである。しかし、すぐに法律に訴えて救助を受けることができない危急のときには、すべての人が自分自身と友人と財産と政府を、あらゆる人の不法な襲撃と侵害から守ることは正当である。

12 わたしたちは信じる。すなわち、地の諸国に福音を宣べ伝え、世の腐敗から救われるように義人に警告することは正当である。しかし、奴隷の所有者の意志と願いに反して、奴隷に口出しをしたり、福音を宣べ伝えたり、バプテスマを施したりすることは正しくない。また、少しでも彼らに干渉したり、感化したりして、現世における彼らの境遇に

8 ①アル30・7-11
 ①①GS「伝道活動」
 「真べ伝える」
 12 10 教義42・84-87

不満を抱かせ、それによって人命を危険にさらすことは正しくない。このような干渉は不法かつ不当であり、人を奴隷状態の中に置くことを容認するすべての政府の安寧にとって危険である。

第 135 章

千八百四十四年六月二十七日のイリノイ州カーセージにおける預言者ジョセフ・スミスとその兄である祝福師ハイラム・スミスの殉教に関する発表、この文書は千八百四十四年版の『教義と聖約』の最後に収録された。この版は、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスが殺害された時点で出版の準備がほぼ整っていたものである。

1-2 ジョセフとハイラムは、カーセージの監獄で殉教した。3 預言者が傑出した地位にあることが宣言される。4-7 彼らの罪のない血は、御業が真実であり、神からのものであることを証する。

1 この書と『モルモン書』の証を確実なものとするために、わたしたちは、預言者ジョセフ・スミスと祝福師ハイラム・スミスの殉教を発表する。

彼らは、千八百四十四年六月二十七日午後五時ごろ、カーセージの監獄において、百五十名から二百名の、顔を黒く塗り武装した暴徒により銃撃された。ハイラムが最初に撃たれ、「わたしは死ぬ」と叫んで静かに倒れた。ジョセフは窓から飛び降りたが、その途中で撃たれ、「おお、わたしの神、主よ」と叫んで死んだ。彼ら二人は死んだ後も残酷に銃撃され、両者とも四個の弾丸を受けた。

2 そのときにその部屋にいたのは、十二使徒の二人、ジョン・テラーとウィラード・リチャーズだけであつた。前者は四個の弾丸を受けてむごたらしく負傷したが、後に快復した。後者は、神の摂理により、その服に一つの弾丸も受けることなく逃れた。

3 主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。二十年という短期間のうちに、彼は、彼自身が神の賜物と力によって翻訳して、両大陸で出版する仲立ちとなつた『モルモン書』を出し、その書に載っている完全な永遠の

第 135 章

1 ① GS「スミス、
ジョセフ、ジュニア」
② 教義 5・22、6・30
GS「殉教者、殉教」
③ GS「カーセージの
監獄（アメリカ合衆
国）」
④ GS「スミス、
ハイラム」
⑤ GS「テラー、
ジョン」
⑥ GS「預言者」
⑦ GS「聖見者」
⑧ 教義 35・17、42・12
GS「福音の回復」

福音を地の四方に送り出し、人の子らのために『教義と聖約』という本書を構成する数々の啓示と戒め、およびそのほか多くの知恵ある文書と指示を出し、何千人もの末日聖徒を集め、一つの偉大な都市を建設し、覆されることのあり得ない誉れと名声を残した。彼は神とその民の目に偉大な者として生き、偉大な者として死んだ。そして、昔の、主の油注がれた者のほとんどがそうであつたように、彼は、自らの血をもつて自分の使命と業を証明したのである。彼の兄ハイラムも同様であつた。彼らは生前に分かたれることはなく、また死後も離れることはなかつた。

4 暗殺の二、三日前、ジョセフは、法律の見せかけの要求に応じて自分の身を引き渡すためにカーセージへ向かつたとき、次のように言つた。「わたしはほふり場に引かれて行く小羊のように行く。しかし、わたしは夏の朝のように心穏やかである。わたしの良心は、神に対してもすべての人に對しても、責められることがない。わたしは罪のないまま死に、やがて『彼は冷酷に殺害された』と言われるだろう。」同じ朝、ハイラムは出かける用意

を終えた後「ほふり場へと言うべきであろうか、そうである、そのとおりであつた―彼は『モルモン書』のエテル書第十二章の終わりに近い次の句を読み、そのページを折り返した。

5 「そしてわたしは、異邦人が慈愛を持てるように、主が彼らに恵みを授けてくださることを主に祈つた。そこで主はわたしに言われた。『たとえ彼らに慈愛がなくても、あなたにとつては問題ではない。あなたは忠実であつたので、あなたの衣は清くされるであろう。また、あなたは自分の弱さを認めたので、強くされて、わたしが父の住まいに用意した場所に座せるようになるであろう。』さて、わたし……は、キリストの裁きの座の前で会うときまで、異邦人とわたしの愛する同胞に別れを告げる。その裁きの座の前で、すべての人は、わたしの衣があなたがたの血で汚れていないことを知るであろう。」その遺言者たちは今や死に、彼らの遺言は効力を持つ。

6 ハイラム・スミスは、千八百四十四年二月で四十四歳であり、ジョセフ・スミスは、千八百四十三年十二月で三十八歳であつた。今後、彼らの名は殉教者の中に加えられる。そして、あらゆる国の読

③ GS フォーブル、イリノイ州（アメリカ合衆国）
⑤ ヘブ 9 16 | 17、
④ 教義 136 | 39
① エテ 12 88 | 74 | 75
② エテ 9 16 | 36 | 7 | 17
③ ヘブ 9 16 | 36 | 7 | 17

者が、荒れた世を救うために『モルモン書』と当
 教会の『教義と聖約』という本書が十九世紀の最
 も貴い血を犠牲にしてもたらされたことを思い起こ
 し、また、もし神の栄光のために火が生木を損な
 うことがあり得るとすれば、腐ったぶどう園を清め
 るために枯れ木を焼き払うのはどれほど容易である
 か思い起こすであろう。彼らは栄光のために生き、
 栄光のために死んだ。そして、栄光が彼らの永遠の
 報いである。彼らの名は、代々にわたって子孫に伝
 えられ、聖められた者にとつて寶石のように見なさ
 れるであろう。

7 彼らは、以前にしばしば立証されたように、い
 かなる罪科も犯しておらず、裏切り者たちと悪人た
 ちの陰謀によつて監獄に閉じ込められたにすぎな
 い。カーセージの監獄の床の上に流された彼らの罪
 のない血は、地上のいかなる法廷も拒むことのでき
 ない「モルモン教」に押された大いなる証印であ
 る。また、イリノイ州の紋章の上に注がれた彼ら
 の罪のない血は、知事が保証したにもかかわらず破
 られたその州の信義とともに、永遠の福音が真実で
 あることを告げる証であつて、全世界の人々はこれ

に異議を申し立てることはできない。また、自由の
 旗と合衆国の大憲章の上に注がれた彼らの罪のな
 い血は、イエス・キリストの宗教のための使節とな
 かつて、すべての国民の中の正直な人々の心に感
 動を与えるであろう。そして、彼らの罪のない血
 は、ヨハネが見た祭壇の下にいるすべての殉教者
 の罪のない血とともに、万軍の主が地上でその血の
 報復をされるまで、万軍の主に向かつて叫ぶであ
 る。アーメン。

第 136 章

アイオワ州カウンスルブラッフスの近くのミズーリ川
 の西岸、オマハ族の土地におけるイスラエルの陣営の冬
 営地(ウインタークオーターズ)で、プリガム・ヤング
 会長を通して与えられた主の言葉と御心。

1-16 西部への旅のためにイスラエルの陣営を編制す
 る方法が説明される。17-27 聖徒たちは数々の福音の標
 準に従つて生活するように命じられる。28-33 聖徒たち
 は歌い、踊り、祈り、知恵を得るべきである。34-42 預
 言者たちが殺されるのは、彼らに誓れが与えられ、悪人

が罪に定められるためである。

1 西部に向かつて旅をしているイスラエルの陣営に關する主の言葉と御心。

2 末日聖徒イエス・キリスト教会のすべての民と、彼らとともに旅をする人々は、主なるわたしたちの神のすべての戒めと掟を守るといふ聖約と約束をもつて、部隊を編制しなさい。

3 部隊は、十二使徒会の指示の下に、一人の部長と二人の副部長を頭として、百人隊長と五十人隊長、および十人隊長をもつて編制しなさい。

4 そして、主のすべてのために従つて歩むことが、わたしたちの聖約となる。

5 各部隊は、準備できる牽引用家畜や荷車、食糧、衣服、そのほか旅に必要なものをすべてそれぞれで準備しなさい。

6 部隊を編制したら、その部隊は、とどまる者のために力を尽くして備えを始めなさい。

7 各部隊は、その隊長および副隊長とともに、この春に何人が行けるかを決定し、その後、強壯で専門知識を持つ者を十分な人数選び出し、牽引用

家畜と種と農具を携えて、春作物の植え付けの準備をする開拓者として行かせなさい。

8 各部隊は、分配を受けた財産に応じて、貧しい者、やもめ、父のいない子供、および軍隊に入つた者の家族を伴う割合を等しく負担しなさい。やもめと父のいない子供の叫びが、主の耳に達してこの民を訴えることのないようにするためである。

9 各部隊は、この季節に後に残らなければならぬ人々のため、家と穀物を栽培する畑の準備をしなさい。これは主の民に關する主の思いである。

10 人々は皆、自分の影響力と財産をすべて使つて、主がシオンのステークを設ける場所にこの民を移すようにしなさい。

11 もしあなたがたが忠信を尽くして清い心でこれを行ふならば、あなたがたは祝福されるであらう。あなたがたは大小の家畜の群れと、畑と、家と、家族について祝福されるであらう。

12 わたしの僕たちエズラ・T・ベンソンとエラストス・スノーは、一部隊を編制しなさい。

13 また、わたしの僕たちオーソン・プラットとウィルフォード・ウツドラフは、一部隊を編制しなさい。

第136章

2 ① GS 「末日聖徒
イエス・キリスト教会」
3 ① GS 「使徒」
4 ② GS 「出エ18:21-26」
4 ① GS 「定め」
4 ② GS 「歩む」(神とともに)
8 ③ GS 「聖約契約」
8 ① GS 「貧しい」
8 ② GS 「やもめ」
3 ③ GS 「新ヤコ1:27、
3ニテ24:5」
11 10 GS 「ステーク」
11 ① GS 「申命28:1-14、
GS 「祝福」

14 また、わたしの僕たちアマサ・ライマンとジョージ・A・スミスも、一部隊を編制しなさい。

15 また、部隊長と百人隊長と五十人隊長と十人隊長を任命しなさい。

16 任命されたわたしの僕たちは行つて、聖徒たちにわたしのこの思いを伝えて、彼らが平和の地へ行く用意ができるようにしなさい。

17 あなたの道を行き、わたしがあなたがたに告げたように行いなさい。敵を恐れてはならない。彼らはわたしの業をとどめる力を持たないからである。

18 シオンは、わたしがふさわしいと思うときに贖われるであろう。

19 もしだれかが自分を高くしようとして、わたしの勧告を求めなければ、彼は何の力も持たず、その愚かさが明らかにされるであろう。

20 あなたがたは求めなさい。あなたがたの誓いすべて互いに守りなさい。兄弟のものをむさぼってはならない。

21 主の名をみだりに唱える悪から遠ざかりなさい。わたしは主なるあなたがたの神、まことに、あなたがたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である。

22 わたしはエジプトの地からイスラエルの子らを引き出した者である。わたしの民イスラエルを救うために、わたしの腕は終わりの時に伸べられている。

23 互いに言い争うのをやめなさい。互いに悪口を言い合うのをやめなさい。

24 酒に酔うことをやめなさい。また、あなたがたの言葉が互いに教化し合うのに役立つようにしなさい。

25 あなたは隣人から借りたならば、借りたものを返さなければならぬ。また、返済できなければ、隣人があなたを罪に定めることのないように、すぐに行つて彼に告げなさい。

26 あなたは隣人の失つたものを見つけた場合、熱心に捜して、それを再び彼に渡すようにしななければならぬ。

27 あなたは自分の持つているものを保存するように努めて、賢い管理人となるようにしななければならぬ。それは主なるあなたの神からの無償の賜物であり、あなたはその管理人だからである。

28 あなたは楽しければ、歌と、音楽と、踊りと、

18 ① 教義100・13
 19 ① GS「勸告」
 20 ① GS「正直」
 21 ② GS「食欲」
 21 ① GS「不敬」
 21 ② GS「不敬」
 22 ① 出エ3・6、
 22 ② 出エ3・10、
 22 ③ エレ2・5、7、
 22 ④ エレ2・13、18、
 22 ⑤ 一ニフ5・15、
 22 ⑥ アル36・28、
 23 ① GS「エホバ」
 23 ② エレ30・10、
 23 ③ 教義38・33、
 23 ④ エレ30・34、
 23 ⑤ 一ニフ11・29、
 23 ⑥ 教義30・30、
 24 ① GS「悪口」
 24 ② GS「知恵の言葉」
 25 ① 詩篇37・7、
 25 ② 詩篇37・21、
 25 ③ モサ4・28、
 26 ① GS「負債」
 26 ② 申命22・3、
 27 ① GS「熱心」
 27 ② GS「管理人」
 28 ① GS「歌う」
 28 ② 歴下5・13、
 28 ③ 教義59・15、
 28 ④ GS「感謝」
 28 ⑤ GS「祈り」

賛美と感謝の祈りをもって主をほめたたえなさい。

29 あなたは悲しければ、心が喜びに満ちるよう
に、主なるあなたの神に呼び求めて嘆願しなさい。

30 あなたの敵を恐れてはならない。彼らはわたしの
手の中にあり、わたしは彼らをわたしの思いのま
まにするからである。

31 わたしの民は、すべてのことにおいて試みを受
けなければならぬ。それは彼らが、わたしが彼ら
のために持っている栄光、すなわちシオンの栄光
を受けるように備えられるためである。そして、
懲らしめに耐えない者は、わたしの王国にふさわ
しくないのである。

32 知識のない者は、その目が開かれて見えるよう
に、またその耳が開かれて聞けるようになるため
に、へりくだって主なる神に呼び求めることによ
って知恵を得なさい。

33 わたしの御霊は、へりくだって悔いる者を照ら
すために、また神を敬わない者を罪に定めるため
に、世に送られている。

34 あなたの同胞、すなわち、あなたがたを追い出し
た国民は、あなたがたとあなたがたの証を拒んだ。

35 そして今、彼らの災いの日、すなわち悲しみの
日が、産みの苦しみを受ける女のように来る。彼ら
が速やかに、まことに速やかに悔い改めなければ、
彼らの悲しみは深くなるであろう。

36 彼らは預言者たちと、彼らのもとに遣わされた
人々を殺したからである。彼らは罪のない者の血を
流し、その血が地の中から叫んで彼らを訴えてい
る。

37 これらのことを驚いてはならない。あなたがた
はまだ清くない。あなたがたはまだわたしの栄光に
堪えることができない。しかし、わたしがアダム
の時代からアブラハムまで、アブラハムからモーセま
で、モーセからイエスとその使徒たちまで、そして
イエスとその使徒たちからジョセフ・スミスまで、
あなたがたに与えてきたわたしのすべての言葉を、
あなたがたが忠実に守るならば、あなたがたはわ
たしの栄光を見るであろう。わたしは、わたしの
業をもたらすために、ジョセフ・スミスをわたしの
天使たち、すなわちわたしの奉仕の僕たちによつ
て、また天からのわたし自身の声によつて呼んだ。
38 彼はわたしの業の基を据え、忠実であった。そ

29 サ下 22 : 7
① GS「喜び」
② GS「教義」
③ GS「逆境」

31 ロマ 8 : 18、
② GS「怒らしめ」
③ GS「栄光」

32 GS「謙遜」
① GS「知恵」
② GS「聖霊」
③ GS「迫害」
④ GS「清さ」

33 GS「清さ」
① GS「清さ」
② GS「清さ」
③ GS「清さ」

34 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

35 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

36 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

37 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

38 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

39 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

40 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

41 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

42 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

43 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

44 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

45 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

46 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

47 黙示 14 : 6、
③ GS「清さ」
④ GS「清さ」

れで、わたしは彼をわたし自身のもとに引き取った。

39 多くの者は彼の死のゆえに驚いた。しかし、彼に誉れが与えられ、悪人が罪に定められるために、彼が自らの血をもつて自分の証を確実なものとするには必要であった。

40 わたしはあなたがたを敵から救い出さなかつたであろうか。実にわたしは、そのことによってわたしの名の証を残してきた。

41 さて、聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。長老たちよ、ともに耳を傾けなさい。あなたがたはわたしの王国を受けた。

42 裁きあなたがたにくだり、あなたがたの信仰がなくなり、あなたがたの敵があなたがたを打ち負かすことのないように、わたしの戒めをすべて熱心に守りなさい。それでは、今はこれ以上述べない。アーメン、アーメン。

第 137 章

千八百三十六年一月二十一日、オハイオ州カートランドの神殿において、預言者ジョセフ・スミスに与えられ

た示現 この示現が与えられたのは、神殿の奉獻に備えて儀式を執行していたときのことである。

1-6 預言者は日の栄えの王国に兄のアルピンを見る。7-9 死者のための救いの教義が示される。10 子供たちは皆、日の栄えの王国に救われる。

1 天がわたしたちに開かれ、わたしは神の日の栄えの王国とその栄光を見た。それが体のままであったか、体を離れてであったか、わたしには分からない。

2 わたしは、その王国を受け継ぐ者たちが入る門のたぐいなしを見た。それは回転している炎のようであった。

3 わたしはまた、輝く神の御座も見たが、そこには御父と御子が座しておられた。

4 わたしはその王国の美しい街路を見た。それは金を敷き詰めたかのようであった。

5 わたしは父祖アダムとアブラハム、またわたしの父と母、眠ってから久しい兄のアルピンを見た。

6 わたしは、兄がどのようにしてその王国で受け

第137章

39 ① GS「殉教者、殉教」

② GS「証」

③ モサ17・20、教義15・3

40 ① 出エ23・22、教義8・4、106・15

41 ① GS「イエス・キリストの教会」

② ゲニ7・27

1 ① 使徒7・55・56、1ニフ1・8、ヒラ5・45・49、

② GS「日の栄え」

③ 2コリ12・2・4、1ニフ11・1、モセ1・11

2 ① 2ニフ9・41、31・17、② 出エ24・17、

イザ33・14・15、ヒラ5・23、教義130・7

3 ① イザ6・1、エゼ1・26・28、

② GS「神、神会—父なる神」

③ GS「神、神会—子なる神」

4 ① 黙示21・21、教義110・2

5 ① GS「アダム」

② 教義112・29、GS「アブラハム」

③ 教義121・19、GS「スミス、ジョセフ、ルシー・マツ、

④ GS「スミス、ルシー・マツ」

⑤ ジー歴史1・4

⑥ GS「死者の救い」

継ぎを得たのか不思議に思った。兄は主が再びイスラエルを集める業を始められる前にこの世を去り、罪の赦しのためのバプテスマを受けていなかったからである。

すると、主の声が次のようにわたしに聞こえた。「この福音を知らずに死んだ者で、もしとどまることを許されていたらそれを受け入れたであろう者は皆、神の日の栄えの王国を受け継ぐ者となる。

8 これから後、この福音を知らずに死ぬ者で、真心からそれを受け入れたであろう者も皆、その王国を受け継ぐ者となる。

9 主なるわたしは、すべての人をその行いに応じて、またその心の望みに応じて裁くからである。10 わたしはまた、責任を負う年齢に達する前に死ぬ子供たちが皆、天の日の栄えの王国に救われるのを見た。

第 138 章

千九百十八年十月三日、ユタ州ソルトレーク・シティにおいて、ジョセフ・F・スミス大管長に与えられた示現。千九百十八年十月四日、スミス大管長は、教会の

第八十九回半期総大会における開会の説教の中で、過去数か月間に何回か神聖な交わりを受けたと言明した。そのうちの二つが、御自分の体が墓に納められていた間に救われた、救いの死者の霊たちへの訪れに関するものであり、スミス大管長は大会の前日にそれを受けたのであった。それは大会の終了後すぐに書き記されて、千九百十八年十月三十一日に、大管長会における顧問と、十二使徒評議会、および祝福師に提示され、全会一致で受け入れられた。

1-10 ジョセフ・F・スミス大管長は、ペテロの記録と、わたしたちの主の霊界への訪れについて深く考える。11-24 スミス大管長は、パラダイスに集まっていた義人の死者と、彼らの中のキリストの働きを見る。25-37 福音の宣教が霊たちの間でどのように組織されたかを見る。38-52 霊界にアダムとエバ、および多くの聖なる預言者たちを見る。彼らは復活前の霊の状態を束縛と考えていた。53-60 この時代の義人の死者は、霊の世界でその働きを続ける。

1 千九百十八年十月三日、わたしは自分の部屋に

6 イザヤ 11、12
1 ニコラ 22、10、12
ヤコブ 2
GS「イスラエル―イスラエルの集合」
③ ヨハ 3:1-5、
2 ニコラ 23、
エテ 4:18、19、
教義 76:50-52、
GS「バプテスマ」
① ヒブ 30、
7 GS「啓示」
② 15:1、ペテ 4:6
(付録)、
2 ニコラ 25、26、
モサ 15:29、
8 ① 教義 76:50-70
アル 18:32、
9 ① 教義 64、
GS「行い」
GS「心」
③ 黙示 20:12-13、
GS「最後の裁き」
10 GS「責任を負う子供たちの救い」

いて聖文に思いをはせ、
 2 世の贖いのために神の御子が払われた大いなる贖いの犠牲と、
 3 贖い主のこの世への来臨に当たって御父と御子が示された大きな驚くべき愛について深く考えていた。
 4 この贖い主の贖罪によって、また福音の諸原則に従うことによって、人類は救われるのである。
 5 このように考えていたところ、わたしは、主が十字架上で亡くなられた後に福音が宣べ伝えられたポイントやガラテヤ、カパドキヤ、そのほかアジアの各地に離散している初期の聖徒たちにあてた、使徒ペテロの文書をまた思い出した。
 6 わたしは「聖書」を開いて、ペテロの第一の手紙の第三章と第四章を読んだ。そして、読んでいたときに、次の聖句にかつてないほど深く胸を打たれた。
 7 「キリストも、わたしたちを神のみもとに導くため、自らは正しい方であるのに、正しくない者たちのために、一度罪のゆえに苦しまれた。そして、肉において殺されたが、霊においては生かされたの

である。
 8 その霊において彼は、獄に在る霊たちのところへ行って教えを説かれた。
 9 この霊たちは、昔ノアの時代に箱舟が造られていた間、神が寛容をもつて待っておられたのに従わなかった者である。その箱舟に乗り込み、水によって救われたのは、わずかに八名だけであった。」（ペテロの第一の手紙第三章十八―二十節）
 10 「死人にさへ福音が宣べ伝えられたのは、彼らには神のように生きるためである。」（ペテロの第一の手紙第四章六節）
 11 書き記されているこれらのことを深く考えていると、わたしの理解の目が開かれ、主の御霊がわたしのうえにとどまった。そして、死者が小さな者も大いなる者もともに群れを成しているのが見えた。
 12 非常に多くの正しい者の霊が、一つの場所に集まっていた。彼らは死すべき世に住んでいた間、イエスの証に忠実であった者たちであり、
 13 神の御子の偉いなる犠牲のひながたとして犠牲

第138章

1 ① GS 「深く考える」
 2 ① GS 「贖いの計画」
 2 マタ 20 : 28
 3 ① GS 「贖い主」
 3 ② GS 「愛」
 3 ③ GS 「ヨハ 3 : 16」
 4 ① 箇条 1 : 3
 4 ② マタ 7 : 21
 5 GS 「従順、従う」
 5 ① 1 ペテロ 1 : 1
 5 ② 昔の聖徒たち
 8 ① イザ 61 : 1
 8 ルカ 4 : 18
 11 ① GS 「聖文」聖文の価値
 11 ② 教義 76 : 73、74、88、99
 12 ① GS 「愛」
 12 ② エベ 1 : 18
 12 ③ 教義 76 : 10、12
 12 ④ イザ 11 : 2
 13 ① 教義 76 : 69、70
 13 ② 教義 6 : 13、51
 13 ③ 教義 6 : 51、53
 13 GS 「犠牲」

をささげ、また贖い主の名によって艱難を受けた者たちである。

14 これらの者は皆、父なる神とその独り子イエス・キリストの恵みにより、栄光ある復活の望みを確固として持って死すべき世を去ったのである。

15 わたしは彼らが喜びと楽しみに満たされ、解放の日が近づいたので、ともに喜んでゐるのを見た。

16 彼らは集まって、神の御子が霊界に来て死の縄目からの贖いを宣言されるのを待っていた。

17 彼らの眠れるちは、骨が本来の骨と連なり、その上を筋と肉が覆って、その完全な造りに回復されるのであった。彼らが満ちみちる喜びを受け

るために、霊と体が決して再び分離することのないように結び合わされるのである。

18 この大群衆が死の鎖からの解放の時を喜び、語り合いながら待っている、神の御子が現れて、忠実であった囚われ人に自由を宣言された。

19 また、そこにおいて神の御子は、永遠の福音と復活の教義、墮落からの人類の贖い、および悔い改めを条件とする個人の罪からの贖いについて彼

らに宣傳伝えられた。

20 しかし、悪人のところへは、御子は行かれなかつた。また、神を敬わない者や、肉体にあるときに自らを汚して悔い改めなかつた者の中では、御子の声は発せられず、

21 昔の預言者たちの証と警告を拒んだ不従順な者は、御子の臨在を目にすることも、御子の顔を仰ぎ見ることもなかつた。

22 これらの者のいる所では暗闇が支配していた。しかし、義人の間には平安があつた。

23 そして、聖徒たちは彼らの贖いを喜び、ひざまずき、神の御子を贖い主、および死と地獄の鎖からの解放者として受け入れた。

24 彼らの顔は光を放ち、主の前から発する輝きが彼らのうえにとどまつた。そして、彼らは主の聖なる名を賛美した。

25 わたしは不思議に思った。というのは、救い主がユダヤ人とイスラエルの家の者たちの間での働き

におよそ三年を費やして、彼らに永遠の福音を教え、彼らを招いて悔い改めさせようとされたが、

26 それでも、救い主が大いなる力と権能をもって

14 13 (2) マテウ 10 : 12
① GS 「神、神会、父なる神」
② GS 「独り子」
③ GS 「恵み」
④ GS 「復活」
⑤ エテ 12 : 4、モロ 7 : 3、40 : 44
15 「希望」
① イザ 51 : 11、アル 40 : 12
16 「ルカ 23 : 43、アル 40 : 11、12、GS 「パラダイス」
① モル 9 : 13
17 「エゼ 37 : 10、13、2、2ニ 7 : 10、13」
① GS 「喜び」
② GS 「喜び」
③ GS 「喜び」
④ 教義 93 : 33-34
⑤ イザ 61 : 1、19
18 「死者の救い」
① GS 「福音」
② GS 「福音」
③ GS 「墮落」
④ GS 「アダムとエバの」
⑤ GS 「悔い改め」
20 ① 教義 76 : 72-74、アル 40 : 13、14
② 「地獄」
③ 「罪惡」
④ 1ニ 7 : 21
22 ① GS 「暗闇」
② (靈的を)
23 ① GS 「平安、平和」
② GS 「贖いの計画」
③ 「モサ 27 : 31、11、④ 2ニ 7 : 13、アル 12 : 11」
24 ① 「詩篇 104 : 1-2、イザ 60 : 19、黙示 22 : 5、ジー 歴史 1 : 17、2」
26 ① 「光、キリストの光」
② 「歌」
③ 「1ニ 7 : 28」

その力ある業と数々の奇跡を行い、真理を宣言されたにもかかわらず、その御声に聞き従い、救い主の前にいることを喜び、その御手から救いを受けた者はほんのわずかであったことを、わたしは知っていたからである。

27 しかし、死者の中での救い主の働きは、十字架上の死と復活の間の短い時間に限られていた。

28 わたしは、神の御子は昔ノアの時代に神が寛容をもつて待っておられたのに従わなかった獄にいる霊たちに宣べ伝えられた、というペテロの言葉を不思議に思った。神の御子は、どのようにしてそのような短い時間内にその霊たちに宣べ伝え、彼らの中で必要な働きを成し遂げることがおできになったのであろうか。

29 不思議に思っていると、わたしの目は開かれ、わたしの理解は活気づけられた。そして、わたしは、主が悪人や真理を拒んだ不従順な者を教えるために彼らの中へ自ら行かれたのではないことを知った。

30 見よ、主は義人の中から軍勢を組織し、力と権能をまとった使者たちを任じて、暗闇の中にいる

者たち、すなわちすべての人の霊のもとへ行つて福音の光を伝えるように彼らに命じられた。このようにして、福音が死者に宣べ伝えられたのである。31 選ばれた使者たちは、主の恵みの日を告げ知らせ、束縛されている囚われ人、すなわち、自分の罪を悔い改めて福音を受け入れるすべての人に自由を宣言するために出て行った。

32 このようにして、真理を知らずに罪のうちに死んだ者や、預言者たちを拒んで背きのうちに死んだ者に、福音が宣べ伝えられた。

33 これらの者は、神を信じる信仰、罪の悔い改め、罪の赦しのための身代わりのバプテスマ、按手による聖霊の賜物について教えを受けた。

34 またこのほかに、肉においては人間として裁きを受けるが、霊においては神のように生きるための資格を得るうえで知っておく必要がある、福音のすべての原則が教えられた。

35 そしてこのように、神の御子の十字架の上での犠牲によつて贖いが行われたことが、死者の間に、すなわち、小さな者にも大いなる者にも、不義な者にも忠実な者にも知らされたのである。

27 ① マコ 8
② ① 教義 76
③ ルカ 24:49
④ GS「暗闇 (霊的な)」
30 ① ② ③ 教義 1:2
31 ① イザ 61:2
② ルカ 4:17
③ ④ 「自由」
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
32 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
33 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
34 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
35 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
GS「贖罪」
GS「犠牲」

36 このようにして、わたしたちの贖い主は、霊の世界に滞在しておられる間、肉において贖い主の事を証した忠実な預言者たちの霊を教え、備えるのに、その時間を費やされたということが知らされたのである。

37 それは、この預言者たちの霊が、背反と戒めに対する背きのゆえに贖い主御自身が行くことのできなかった、すべての死者に贖いの知らせを伝えて、彼らも贖い主の僕たちの働きによって御言葉を開けるようにするためであった。

38 この義人の大群衆の中に集まった偉大な力ある者たちの中に、日の老いたる者であって、すべての者の先祖である父祖アダムがおり、

39 また、わたしたちの栄光ある母エバも、様々な時代に生きてまことの生ける神を礼拝した多くの忠実な娘たちとともにいた。

40 最初の殉教者アベルも、またその弟で、アダムに生き写しであった、力ある者たちの一人であるセツもいた。

41 洪水について警告を与えたノア、偉大な大祭司セム、忠実な者の先祖アブラハム、イサク、ヤコ

ブ、およびイスラエルの偉大な立法者モーセ、
42 それに、イザヤもそこにいた。このイザヤは、贖い主が油を注がれて、打ち砕かれた心を持つ者を癒し、囚われ人に自由を宣言し、縛られていた者に獄が開かれることを宣言される、と預言によって言明した人である。

43 さらに、枯れた骨のある大いなる谷を示現によって見せられ、それらの骨が死者の復活の時に肉をまとって再び出て来て生けるものとなるのを見たエゼキエル、

44 未日に神の王国が設立されて、それが決して再び滅ぼされることも、ほかの民に渡されることもないのを予見して告げたダニエル、

45 変貌の山でモーセとともにいたエライアス、
46 それに、エリヤが来ることを証した預言者マラキもそこにいた。モロナイも預言者ジョセフ・スミスに、このエリヤについて語り、彼は主の大いなる恐るべき日が来る前に訪れると宣言した。

47 預言者エリヤは先祖に与えられた約束を子孫の心に植えることになつていた。

48 これは、主の来臨の時に全地がのろいをもって

37 36 ① 教義 138 : 57
 38 ① GS 「アダム」
 39 ① GS 「エバ」
 40 ① GS 「殉教者、殉教」
 41 ① GS 「アベル」
 42 ① GS 「アベル」
 43 ① GS 「アベル」
 44 ① GS 「アベル」
 45 ① GS 「アベル」
 46 ① GS 「アベル」
 47 ① GS 「アベル」
 48 ① GS 「アベル」
 49 ① GS 「アベル」
 50 ① GS 「アベル」
 51 ① GS 「アベル」
 52 ① GS 「アベル」
 53 ① GS 「アベル」
 54 ① GS 「アベル」
 55 ① GS 「アベル」
 56 ① GS 「アベル」
 57 ① GS 「アベル」
 58 ① GS 「アベル」
 59 ① GS 「アベル」
 60 ① GS 「アベル」
 61 ① GS 「アベル」
 62 ① GS 「アベル」
 63 ① GS 「アベル」
 64 ① GS 「アベル」
 65 ① GS 「アベル」
 66 ① GS 「アベル」
 67 ① GS 「アベル」
 68 ① GS 「アベル」
 69 ① GS 「アベル」
 70 ① GS 「アベル」
 71 ① GS 「アベル」
 72 ① GS 「アベル」
 73 ① GS 「アベル」
 74 ① GS 「アベル」
 75 ① GS 「アベル」
 76 ① GS 「アベル」
 77 ① GS 「アベル」
 78 ① GS 「アベル」
 79 ① GS 「アベル」
 80 ① GS 「アベル」
 81 ① GS 「アベル」
 82 ① GS 「アベル」
 83 ① GS 「アベル」
 84 ① GS 「アベル」
 85 ① GS 「アベル」
 86 ① GS 「アベル」
 87 ① GS 「アベル」
 88 ① GS 「アベル」
 89 ① GS 「アベル」
 90 ① GS 「アベル」
 91 ① GS 「アベル」
 92 ① GS 「アベル」
 93 ① GS 「アベル」
 94 ① GS 「アベル」
 95 ① GS 「アベル」
 96 ① GS 「アベル」
 97 ① GS 「アベル」
 98 ① GS 「アベル」
 99 ① GS 「アベル」
 100 ① GS 「アベル」

打たれて、ことごとく荒廃することのないように、
 時満ちる神権時代に、主の神殿で死者の贖いと親
 子の結び固めのために大いなる業が行われること
 をあらかじめ示すものである。

49 これらすべての者と、さらに多くの者、すなわ
 ち、ニーファイ人の中に住んで神の御子の来臨につ
 いて証した預言者たちが、その大群集の中に交じ
 って解放を待っていた。

50 死者は、その霊が体から長い間離れていること
 を一つの束縛と考えたからである。

51 この預言者たちを主は教え、彼らに力を与えて、
 彼らが、主が死者の中から復活された後に出て来
 て、御父の王国に入り、そこで不死不滅と永遠の
 命を冠として受け、

52 主から約束を受けたようにその後も働きを続
 け、主を愛する者たちのために取っておかれたすべ
 ての祝福にあずかる者となるようにされた。

53 預言者ジョセフ・スミスや、わたしの父ハイラ
 ム・スミス、ブリガム・ヤング、ジョン・テーラ
 ー、ウィルフオード・ウッドラフ、そのほか選ばれ
 た霊たちも霊界にいた。彼らは、大いなる末日の業

の基を据える務めに携わるために、時満ちる時代
 に来るようにとどめられていた者である。

54 神殿を建て、そこで死者の贖いのために儀式を
 執行することも、その大いなる末日の業に含まれる
 のである。

55 わたしは、彼らもまた神の教会で治める者とな
 るように初めに選ばれた、高潔で偉大な者たちの
 中にいるのを見た。

56 まことに、彼らは生まれる前に、ほかの多くの
 者とともに、霊の世界において最初の教えを受け、
 主の定められたときに出て行って人々の霊の救い
 のために主のぶどう園で働く準備をしたのである。

57 わたしは、この神権時代の忠実な長老たちが、
 死すべき世を去っても彼らの働きを続け、死者の霊
 たちの大いなる世界において暗闇と罪の束縛の下に
 いる者たちの間で、悔い改めと神の独り子の犠牲に
 よる贖いの福音を宣べ伝えているのを見た。

58 悔い改める死者は、神の宮の儀式に従うことに
 よって贖われるであろう。

59 彼らは自分の背きの代価を支払い、洗われて清
 くなつた後、その行いに応じて報いを受けるであ

48 GS「神権時代」
 ③ GS「神殿・主の宮」
 ② GS「家族・永遠の
 家族」
 「結び固め」
 49 GS「死者の救い」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 50 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 51 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 52 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 53 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 54 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 55 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 56 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 57 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 58 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 59 GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」
 ① GS「死」

ろう。彼らは救いを受け継ぐ者だからである。
 60 このように、死者の贖いの示現がわたしに示された。そして、わたしは証する。わたしたちの主で

あり救い主であるイエス・キリストの祝福によつて、わたしはこの証が真実であることを知っている。まことにそのとおりである。アーメン。

公式の宣言一

「聖書」と「モルモン書」は、主の宣言がないかぎり一夫一婦制が結婚に関する神の標準であると教えている（サムエル記下第十章七、八節、ならびにモルモン書のヤコブ書第二章二十七節、三十節を参照）。シヨセフ・スミスに啓示が与えられた後、千八百四十年代の初めに教会員の間で多妻結婚が制度として定められた（第三百三十二章を参照）。千八百六十年代から千八百八十年代にかけて、合衆国政府はこの宗教上の慣行を違法とする数々の法律を制定した。これらの法律は最終的に連邦最高裁判所によって合憲とされた。ウィルフォード・ウッドラフ大管長は啓示を受けた後、次の「宣言」を発した。この宣言は、千八百九十年十月六日に、権威と拘束力のあるものとして教会により受け入れられた。その結果、教会における多妻結婚の実施に終止符が打たれたのである。

関係者各位

ユタ委員会が内務長官にあてた最近の報告の中で、多妻結

婚は今なお挙行されており、昨年の六月以来、または過去一年間に四十以上のそのような結婚がユタで行われた、そして教会の指導者たちが公の説教の中で一夫多妻制の実施の継続を教え、奨励し、促してきた、と申し立てられているという旨の速報が、ソルトレーク・シティーから政治的な目的をもつて発信され、広く公表されることとなった。

そこで、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として、これらの非難が誤りであることを、ここに最も厳粛に宣言するものである。わたしたちは現在一夫多妻制、すなわち多妻結婚を教えておらず、だれにもそれを実施することを許していない。また、その期間中に当教会の神殿でも準州内のいずれの場所でも、四十またはいかなる数であっても多妻結婚が挙行されたということを、わたしは否定するものである。

千八百八十九年の春にソルトレーク・シティーのエンダウメントハウスで結婚が執行された、と当事者たちが申し立てているという報告が一件あったが、だれがその式を執行したのか、わたしはいまだに知る事ができない。この件で何が行われたとしても、それはわたしの知らないことであつた。この申し立てのあつた事件の結果として、エンダウメントハウスは、わたしの指示によって直ちに取り壊された。

多妻結婚を禁じる法律が議會によつて制定され、それらの法律が最高裁判所により合憲であると宣言された以上、わたしは、それらの法律に従い、またわたしは管理する教会の会員にもわたしの影響力を行使して同様にそれらの法律に従わせるようにすることを、ここに宣言するものである。

前述の期間中、教員にあてたわたしの教え、あるいはわたしの同僚の教えの中には、一夫多妻制を教え込んでゐる、あるいは奨励してゐると正当に解釈できるものはただの一つもない。また、だれであるかと教会の長老が、このような教えを伝えてゐるように思われる言葉を使つたならば、その人は直ちに叱責されてゐる。そしてわたしは今、国の法律によつて禁じられたいかなる結婚も、それを行うのを差し控えるようにというのが、末日聖徒に対するわたしの勧告である、と公に宣言するものである。

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長

ウィルフォード・ウッドラフ

ロレンゾ・スノー会長は、次のように述べた。

「わたしは提議します。すなわち、わたしたちがウィルフォード・ウッドラフを末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長であり、また現在結び固めの儀式の鍵を保有してゐる地上でただ一人の人であると認め、彼には、わたしたちが今読み上げられるのを聞いた、千八百九十年九月二十四日付けの『宣言』を發するに十分な権能が、その地位によつて与えられてゐると考え、また総大会に集まつた教会の総意として、わたしたちが多妻結婚に関するこの宣言を權威と拘束力のあるものとして受け入れることを、ここに提議します。」

ユタ準州ソルトレーク・シテイー

千八百九十年十月六日

「宣言」に関する

ウィルフオード・ウツドラフ大管長の

三つの説教からの抜粋

主はわたしであるうと、ほかのどれであらうと、この教会の大管長として立つ者が皆さんを誤った道へ導くのをお許しになることは決してありません。そうすることは、計画の中にはありません。それは神の御心の中にありません。もしわたしがそうしようとしたならば、主はわたしをこの日から退けられることでしょう。また、ほかのどれであらうと人の子らを神託や彼らの職務から誤った道に導こうとする者に、主はそのようにされるでしょう。(第六十一回、半年総大会、千八百九十年十月六日、月曜日、ユタ準州ソルトレーク・シティー。Deseret Evening News [「デゼレト・イブニング・ニュース」] 千八百九十年十月十一日付け、二ページ)

だれが生きようと、だれが死のうと、だ

れがこの教会を導くために召されよう、それは問題ではなく、彼らは全能の神の霊感によって教会を導かなければならないという事です。彼らはそれによって教会を導かなければ、決して教会を導けないのです。……

わたしは最近幾つかの啓示を、それもわたしにとって非常に重要な啓示を受けました。そこで、主がわたしに言われたことを皆さんにお話ししましょう。「宣言」と呼ばれているものを思い出してください。……主はわたしに、末日聖徒に対して一つの質問をするように告げられました。また、主はわたしに、彼らがわたしの言うことに耳を傾け、提示された質問に神の御霊と力によって答えるならば、彼らは皆同じように答え、この件に関して同じように信じるであらうとも告げられました。

その質問とはこれです。すなわち、末日聖徒が取るべき最も賢明な道はどちらであろうか。多妻結婚を禁じる国の法律と六千万の人々の反対があり、すべての神殿の没

収と損失、生者と死者のためのすべての儀式の中止、大管長会と十二使徒会と教会内の家族の長たちの投獄、ならびに人々の個人財産の没収という代価を求められながら、多妻結婚を行う努力を続けることか。(これらすべてによって、その行為はおのずと中止されるでしょう。)それとも、この原則を固く守ることによってこれまで行ってきたことを行い、苦しんだ後に、その行為をやめて法律に従い、そうすることによって、預言者たちと使徒たちと父親たちを家に残して、彼らが人々を教え、教会の務めを果たせるようにし、また神殿も聖徒たちの手に残して、彼らが生者と死者のために福音の儀式に携われるようにすることか。

わたしたちがこの行為をやめなければ、わたしに何が起るかを、主は示現と啓示によってわたしに示してくださいました。もしわたしたちがそれをやめていなかったならば、ローガンのこの神殿で……人々は必要とされなかったことでしょう。シオンの

全地ですべての儀式が差し止められたに違いないからです。混乱がイスラエル全体に及び、多くの人が囚人となっていたことでしょう。この苦難は全教会に及び、わたしたちはその行為をやめるように追い込まれていたことでしょう。さて、その質問とは、このような方法でそれをやめるか、それとも主がわたしたちに明らかにされた方法でやめて、わたしたちの預言者たちと使徒たちと父親たちを自由な人として残し、また神殿を民の手に残して死者が贖われるようにするか、ということです。すでに多くの者が、この民によつて霊界における獄から救い出されてきました。この業を続けるか、それともやめるか。これが、わたしが末日聖徒の前に提示する質問です。皆さんは自ら判断しなければなりません。わたしは、皆さんが自らそれに答えるように望んでいます。わたしはそれに答えません。しかし、わたしたちが実際に取った道を取らなかったならば、それがまさにわたしたちが一つの民として陥っていた状態である

と、皆さんに申し上げます。

……わたしは、もし何かを行わなければまさに何が起るかを見ました。わたしは長い間この気持ちを抱いてきました。しかし、わたしはこう申し上げたいと思いません。すなわち、もしも天の神がわたしの行ったことを行うようにわたしに命じられなかったならば、わたしはすべての神殿を手放し、わたし自身監獄に入り、またほかのすべての人もそこへ行かせたことでしょう。時が来て、それを行うように命じられたとき、わたしにはそれはすべて明らかでした。そこで、わたしは主の前に行き、主が書くように告げられたことを書き記したのでです。……

皆さんがじっくり考え、熟考するように、わたしはこれを皆さんにゆだねます。主はわたしたちとともに働いてくださっています。(キャットシユステーク大会、ユタ準州ローガン、千八百九十一年十一月一日、日曜日。Deseret Weekly (「デゼレト・ウィークリー」) 千八百九十一年十一月十四日付け)

さて、わたしは皆さんに、何がわたしに示され、神の御子がこのことによつて何を行われたかを申し上げます。……もしも「宣言」が与えられなかったならば、全能の神が生きておられるように、これらのことがすべて起こっていたことでしょう。

そこで、神の御子は御自分の心の内にある様々な目的のために、このことを教会と世に知らせることを望まれました。主はシオンの設立を命じておられました。主はこの神殿の完成を命じておられました。主は生者と死者の救いが山間のこの谷において与えられることを定められました。また、全能の神は、悪魔がそれを妨げることはないと定められました。皆さんがこのことを理解できれば、これがそれに対する一つの鍵なのです。(ソルトレーク神殿の第六回奉獻式における話、千八百九十三年四月。ユタ準州ソルトレーク・シティー、教会歴史部記録保管所、奉獻式のタイプ原稿)

公式の宣言二

『モルモン書』は、「黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も」含めて、「すべての人が神にとつて等しい存在なのである」と教えている（ニーファイ第二書第二十六章三十三節）。教会の歴史のどこを取つてみても、これまで多くの国であらゆる人種と民族の人々がバプテスマを受け、教会の忠実な会員として生活している。ジョセフ・スミスの存命中に、教会の少数の黒人男性会員が神権に聖任されたが、教会歴史の初期のころ、教会指導者はアフリカ系の黒人男性に神権を授けることを中止した。この慣行がどのように始まつたのか、教会の記録からは明らかではない。教会の指導者たちは、この慣行を変更するためには神からの啓示が必要であると信じており、心を込めて祈つて導きを求めた。こうして、それに関する啓示が教会のスペンサー・W・キンボール大管長に与えられ、それは千九百七十八年六月一日にソルトレーク神殿でほかの教会指導者たちに伝えられた。この啓示によつて、かつて神権に適用されていた、人種に関するすべての制約が撤廃されたのである。

関係者各位

千九百七十八年九月三十日、末日聖徒イエス・キリスト教会の第四百四十八回半期総大会において、教会の大管長会第一顧問、N・エルドン・タナー管長により次のことが提示された。

今年の六月初旬、大管長会は、教会のすべてのふさわしい男性会員に神権と神殿の祝福が授けられるようになるという啓示が、スペンサー・W・キンボール大管長に与えられたことを発表しました。キンボール大管長の要請により、わたしはこの大会に出席しておられる方々にお知らせします。この啓示はキンボール大管長が聖なる神殿の神聖な部屋で長い間瞑想し祈つた後に下されたもので、大管長はこの啓示を受けた後、それを顧問たちに提示し、顧問たちはそれを受け入れ、承認しました。次いで、それは十二使徒定員会に提示され、彼らは全会一致でそれを承認し、次に、ほかのすべての中央幹部に提示され、彼らも同様に全会一致でそれを承認しました。

キンボール大管長の要請により、ここにこの手紙を読み上げます。

千九百七十八年六月八日

全世界の末日聖徒イエス・キリスト教会の
中央ならびに地方の神権役員各位

拝啓

主の業が地の至る所で進展しているのを目にするに当たり、わたしたちは、多くの国の人々が回復された福音のメッセージに応じ、ますます多くの人が教会に加わっていることを感謝してきました。このことからわたしたちは、教会のすべてのふさわしい会員に、福音のもたらす特権と祝福のすべてが授けられるように望む気持ちを抱くよう靈感を与えられました。

神の永遠の計画の中で、すべてのふさわしい兄弟がいつか神権を受けるようになるという約束が、わたしたちよりも前の預言者たち、教会の大管長たちにより与えられたことを知っていたわたしたちは、神権を差し止められていた人々の忠実さを目にして、これらの忠実な兄弟たちのために長い間、熱心に主に懇願しました。そして、わたしたちは神聖な導きを主に嘆願しながら、神殿の階上の部屋で何時間も過ぎました。

主はわたしたちの祈りを聞いてくださいました。そして、

預言されて久しい約束の日が訪れたことを、主は啓示によって確認してくださいました。すなわち、教会の忠実なふさわしい男性が皆、聖なる神権をその神の権能を行使する力とともに受けることができ、またそれからもたらされる、神殿の祝福を含むあらゆる祝福を愛する人々とともに享受することのできる日が訪れたのです。したがって、教会のすべてのふさわしい男性会員は、人種や肌の色にかかわらず、神権への聖任を受けることができます。神権指導者は、アロン神権でもメルキゼデク神権でも、神権への聖任に当たっては、すべての候補者と入念に面接するという方針に従って、候補者がふさわしさに関する既定の標準を満たしていることを確認するようにしてください。

主の権能を与えられた僕たちの声に聞き従い、福音のあらゆる祝福を受けようと自らを備える、全地の主の子らすべてに祝福をもたらし、主は今やその御心を知らせてくださいました。このことを、わたしたちは厳肅に宣言します。

敬具

大管長会

スペインサー・W・キンボール

N・エルドン・タナー

マリオン・G・ロムニー

スペンサー・W・キンボールを預言者、聖見者、啓示者、
 および末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長であると認
 めて、わたしたちが律法制定の集まりとしてこの啓示を主の
 御言葉および御心として受け入れるように、ここに提議しま
 す。賛成してくださる方は全員、右手を挙げてその意を表し
 てください。反対の方は同じ方法でその意を表してください。

前述の提議を支持する採決は、全会一致で同意を得た。

ユタ州ソルトレーク・シテイー

千九百七十八年九月三十日

